LIFELINE
ライフライン訳新約聖書

新約聖書　目次

マタイの福音書……4
マルコの福音書……76
ルカの福音書……121
ヨハネの福音書……198
使徒の働き……269
ローマ人への手紙……336
コリント人への手紙　第一……368
コリント人への手紙　第二……396
ガラテヤ人への手紙……414
エペソ人への手紙……424
ピリピ人への手紙……434
コロサイ人への手紙……442
テサロニケ人への手紙　第一……449
テサロニケ人への手紙　第二……455
テモテへの手紙　第一……459
テモテへの手紙　第二……466
テトスへの手紙……471
ピレモンへの手紙……475
ヘブル人への手紙……477
ヤコブの手紙……498
ペテロの手紙　第一……506
ペテロの手紙　第二……514
ヨハネの手紙　第一……519
ヨハネの手紙　第二……527
ヨハネの手紙　第三……529
ユダの手紙……531
ヨハネの黙示録……533

質問&答え……563
必要な時の助け……564
人生の問題の対策……565
最後のお招き……566

マタイの福音書

1

1 アブラハムの息子であり、ダビデの息子でもあるイエス・キリストの家系の書。
2 アブラハムにイサクが生まれ、イサクにヤコブが生まれ、ヤコブにユダとその兄弟たちが生まれ、
3 ユダに、タマルによってパレスとザラが生まれ、パレスにエスロンが生まれ、エスロンにアラムが生まれ、
4 アラムにアミナダブが生まれ、アミナダブにナアソンが生まれ、ナアソンにサルモンが生まれ、
5 サルモンに、ラハブによってボアズが生まれ、ボアズに、ルツによってオベデが生まれ、オベデにエッサイが生まれ、
6 エッサイにダビデ王が生まれた。ダビデ王に、かつてウリヤの妻であった女によってソロモンが生まれ、
7 ソロモンにレハベアムが生まれ、レハベアムにアビヤが生まれ、アビヤにアサが生まれ、
8 アサにヨサパテが生まれ、ヨサパテにヨラムが生まれ、ヨラムにウジヤが生まれ、
9 ウジヤにヨタムが生まれ、ヨタムにアハズが生まれ、アハズにヒゼキヤが生まれ、
10 ヒゼキヤにマナセが生まれ、マナセにアモンが生まれ、アモンにヨシヤが生まれ、
11 ヨシヤに、バビロンへの強制移住のころエコニヤとその兄弟たちが生まれた。
12 バビロン強制移住の後、エコニヤにサラテルが生まれ、サラテルにゾロバベルが生まれ、
13 ゾロバベルにアビウデが生まれ、アビウデにエリヤキムが生まれ、エリヤキムにアゾルが生まれ、
14 アゾルにサドクが生まれ、サドクにアキムが生まれ、アキムにエリウデが生まれ、
15 エリウデにエレアザルが生まれ、エレアザルにマタンが生まれ、マタンにヤコブが生まれ、
16 ヤコブにマリヤの夫ヨセフが生まれた。キリストと呼ばれるイエスがこのマリヤからお生まれになった。
17 それで、アブラハムからダビデまでの全世代は十四代である。また、ダビデからバビロン強制移住までは十四代である。そして、バビロン強制移住よりキリストまでは十四代である。
18 さて、イエス・キリストの誕生はこうであった。イエスの母マリヤはヨセフと婚約していた時、二人が一緒になる前に、マリヤは**聖霊**によって身重になっていることが分かった。
19 しかし、マリヤの夫ヨセフは正しい人であり、彼女を

さらし者にしたくなかったので、ひそかにマリヤとの関係を切ろうと決めた。

20 そして、彼がこれらのことを考えていた間に、見よ、**主**の御使いは彼に夢に現われて言った。「ダビデの子孫であるヨセフよ。マリヤを妻としてめとることを恐れるな。彼女の中にやどるのは、**聖霊**によるものだからである。

21 そして、マリヤは息子を産む。彼の名前を**イエス**とつけなさい。なぜなら、この方は自らの民をその罪からお救いになるからである。」

22 これらすべてのことが行なわれた理由は、預言者を通して言われた**主**からの言葉が成就するためであった。こう言われた。

23 「見よ。その処女が身重になって息子を産む。そして人は彼の御名をインマヌエルと呼ぶ。」インマヌエルを訳すと、「我らと共におられる**神**」の意味である。

24 それで、ヨセフは眠りから起き上がり、**主**の御使いが自分に命じた通りに行なった。彼は妻を受け入れたが、

25 マリヤの長男が生まれるまで、彼女を知ることはなかった。そして息子に「**イエス**」という名前をつけた。

2

1 さて、ヘロデ王の時代に、イエスがユダヤ州のベツレヘムでお生まれになった後、見よ、賢者たちが東方からエルサレムにやって来た。

2 そして、言った。「ユダヤ人の**王**としてお生まれになった方はどこにいますか。と言いますのは、私たちは東方でその方の星を見、その方を拝みに参りました。」

3 これを聞いたヘロデ王と、彼と共にエルサレムの全員は、動揺した。

4 そして、民のすべての大祭司たちと律法学者たちをヘロデは集めてから、キリストがどこで生まれるかを彼らに尋ねた。

5 そして、「ユダヤのベツレヘムです。」と彼らは王に言った。「なぜなら、預言者たちを通してこのことはそう書いてあります。

6 『そして、ユダの地にあるベツレヘムよ、お前はユダの支配者の中で、決して最小ではない。わたしの国民であるイスラエルを牧する**支配者**が、お前から出られるからである。』」

7 そこで、ヘロデは秘密裏に賢者たちを呼んだ時、彼らに星がいつ現われたかを正確に調べた。

8 そして、彼らをベツレヘムへ遣わす時、ヘロデは言った。「行って、その幼児のことを細かく調べよ。いつであれ見つ

かった時は、私に報告せよ。私も行って、その幼児を拝むから。」

9 それで、王の話を聞くと、賢者たちは出発した。すると、見よ、彼らが東の地で見た星は、その子のおられる所の上に止まるまで、彼らの前を行った。

10 そして、彼らはその星を見て、大いに喜び、

11 そして、家に入り、母マリヤと共にいる幼児を見て、ひれ伏して幼児を拝んだ。そして、彼らの宝箱を開けて、黄金と乳香と没薬の贈り物を幼児に捧げた。

12 それから夢を通してヘロデの所に戻らないようにと、警告された賢者たちは、別の道で自分の国へ引き返して行った。

13 しかし、賢者たちが去った後、見よ、**主**の御使いは夢を通してヨセフに現れて言った。「ヘロデは幼児を捜し出し、殺そうとしている。ゆえに立ち上がり、幼児とその母を連れ、エジプトに逃れ、わたしが声をかけるまでそこにとどまれ。」

14 それで、ヨセフは起き上がって、幼児とその母を夜中に連れ出し、エジプトに下った。

15 そして、ヘロデの死まで、ヨセフはそこにいた。それは、「わたしはエジプトよりわたしの息子を呼んだ。」と預言者を通して言われた**主**からの言葉が成就されるためであった。

16 その時、賢者たちに騙されたことが分かったヘロデは激しく怒った。そして、家来を派遣し、ベツレヘムとその近郊のすべての、二才以下の男の子を殺した。それは賢者たちから聞いた事から、時を正確に割り出したからである。

17 その時、預言者エレミヤによって言われたことが成就された。

18 「ラマで声が聞こえた。嘆きと泣き声と大勢の泣き悲しむ声である。ラケルは彼女の子たちのために泣いている。そして、子たちはいないので、彼女が慰められることを拒否している。」

19 でも、ヘロデが死んだ時に、見よ。**主**の御使いがエジプトでヨセフに夢の中に現れて言った。

20 「幼児の命を求める者たちは死んだから、起き上がって幼児とその母を連れてイスラエルの地に行きなさい。」

21 それで、ヨセフは起き上がって、幼児とその母を連れてイスラエルの地に入った。

22 しかし、アケラオが自分の父ヘロデの代わりにユダヤを支配していたことを聞いたヨセフは、そこに行くのを恐れた。そして、夢で**神**から忠告を受けていた彼はガリラヤ地方に帰った。

23 やって来たヨセフは、ナザレという町に住んだ。これは預言者たちを通して言われた言葉、すなわち、「彼はナザレ人と呼ばれる。」という言葉が成就されるためである。

3

1 そのころ、浸礼者ヨハネはユダヤの荒野にやって来て、宣言して、**2** 言った。「天の王国は近づいて来たから、悔い改めなさい。」

3 なぜなら、これは預言者イザヤによって言われた御言葉、「荒野で叫ぶ者の声がする。**主**の道を準備せよ。その方の道を真っ直ぐにせよ。」とは彼だからである。

4 そして、このヨハネはらくだの毛の衣を着て、動物の皮の帯を腰にしめていた。そして、彼の食べ物はバッタと野の蜜であった。

5 その時、エルサレム、ユダヤ全土、ヨルダン川のすべての流域の人たちは、ヨハネの所にやって来た。

6 それで、人々は自分たちの罪を言い表しながら、ヨルダン川でこの男によって浸礼①を授けられた。

7 しかし、大勢のパリサイ派とサドカイ派の人たちが、ヨハネの浸礼式に来ているのを見て、ヨハネは彼らに言った。「まむし一族の者たちよ、来るべき怒りから逃れよと、誰がお前たちに警告をしたのか。

8 そのために、悔い改めにふさわしい実を結べ。

9 そして、『私たちの父はアブラハムである。』と自らに言い聞かせようと、考えてはいけない。なぜなら、私はお前たちに言う。**神**はこれらの石から、アブラハムに子どもを立ち上がらすことができるのだ。

10 そして、斧はもうすでに、木の根元に当てがわれている。ゆえに、すべて良い実を結ばない木は切り倒されて、火の中へ投げ入れられる。

11 私はもちろん、悔い改めのゆえに、お前たちに水で浸礼を授けているが、私の後からおいでになる方は、私より力ある方です。その方の履き物を持つ値さえ、私にはありません。その方はお前たちに**聖霊**と炎で浸礼をお授けになります。

12 その方の手には、ご自分の箕があり、その方はご自分の脱穀する場所を徹底的に清められます。そして、その方はご自分の麦を集め、倉に収めるが、殻は消すことのできない炎で焼き尽くしてしまいます。」

---

6 ① ギリシャ語のβαπτισμα（バプティスマ）の意味は、「浸し、浸すこと、漬けること、沈めること」である。（「新約聖書ギリシャ語小辞典」、織田昭編、58ページ）。

13 その時、イエスはガリラヤからヨルダン川に、ヨハネから浸礼を授けられるために、ヨハネの所に姿を現された。**14** しかし、ヨハネはイエスをさし止めて言った。『私はあなたから浸礼を授けられる必要があるのに、あなたが私の所に来られるのですか。」**15** しかし、イエスは答えて彼に言われた。「今、許可しなさい。なぜなら、わたしたちにとって、このようにすべての義を全うすることは当然です。」それで、ヨハネはイエスを許可した。**16** そして、イエスが浸礼をお受けになるやいなや、すぐに水中から立ち上がられた。そこで、見よ、天はイエスに開き、そしてイエスは**神**の**御霊**が、鳩のように降りて来て、ご自分の上に来るのをご覧になった。**17** そして、見よ。天からの声がして言われた。「これこそがわたしの愛する**息子**である。わたしが喜ぶ者である。」

4

1 それから、イエスは悪魔に誘惑されるため、**聖霊**に荒野へ導かれた。**2** そして、イエスは四十日昼夜にわたり断食されたので、その後空腹を覚えられた。**3** そして、誘惑者がイエスの所に来て、言った。「もしあなたが**神の子**なら、パンになるよう、これらの石に命じなさい。」**4** しかし、イエスは答えて言われた。「『人はパンだけではなく、一つ一つ**神**の口から出る御言葉によって生きる。』と書いてある。」**5** その時、悪魔はイエスを聖なる町へ連れて行き、神殿の最も高い所に立たせた。**6** そして、イエスに言った。「もしあなたが**神の子**なら、自らを下へ投じなさい。『**神**はご自分の御使いたちに、あなたについて命じられる。』それと、『あなたはあなたの足が石に打ち当たらないように、御使いたちはあなたを手で支える。』と書いてあるからだ。」**7** イエスは悪魔に言われた。「『あなたの**神**である**主**を試してはいけない。』とも書いてある。」**8** また悪魔はイエスを大変高い山に連れて行き、世界のすべての王国とその栄華をイエスに見せた。**9** そして、イエスに言った。「もしあなたが伏して私を拝めば、私はこれらすべてをお前に与える。」**10** そこでイエスは悪魔に言われた。「サタンよ、失せよ！『あなたの**神**である**主**を拝み、その方のみに仕えよ。』と書いてあるからだ。」

11 その時、悪魔はイエスから離れた。そして見よ、御使いたちが来て、イエスに仕えていた。**12** さて、イエスはヨハネが逮捕されたと聞かれ、ガリラヤへ帰られた。**13** そして、イエスはナザレを後にされ、カペナウムへ行き、そこに住まわれた。カペナウムは海に沿って、ゼブルンとナフタリの境にある。**14** これは預言者イザヤを通して言われた御言葉が成就するためであった。イザヤは言った。

15 「ゼブロンの地とナフタリの地、海への道、ヨルダンの向こう、異邦人のガリラヤである。」**16** 暗やみに座っているその国民は、巨大な光を見た。そして、死の地方と影に座っている人たちに光が昇った。」

17 その時からイエスは説き始め、「天の王国が近づいたから、悔い改めなさい。」と言われた。

18 そして、ガリラヤの海の岸辺を歩かれていたイエスは、二人の兄弟、ペテロと呼ばれるシモンと彼の兄弟アンデレが、網を海に投げ入れているのをご覧になった。彼らは漁師であったからである。**19** そして、イエスは二人に言われた。「わたしに従いなさい。そしてわたしはあなたがたを人間をとる漁師にします。」**20** そこで二人はすぐ網をそのまま残して、イエスに従った。**21** そして、そこから先に進んで行くと、さらに二人の兄弟、彼らの父ゼベダイと共に船に乗って彼らの網を繕っている、ゼベダイの息子ヤコブとその兄弟ヨハネを、イエスはご覧になった。そして二人を呼ばれた。**22** すると、二人は即座に船と彼らの父親を離れ、イエスに従った。

23 そしてガリラヤ人たちのシナゴーグ①でイエスは教えたり、王国の福音を宣べ伝えたりして、全ガリラヤを行き巡られ、民の中のすべての病気やすべての弱っている人を治された。**24** そして、イエスの名声は、シリア全土に行き渡ったので、人たちは色々な病気と苦痛で悩んで弱っているすべての人たち、悪霊に占領されている人たち、てんかんの人たち、中風の人たちを、

---

23 ① ユダヤ教の会堂。

イエスの所に連れて来た。そして、イエスは彼らを治された。

25 そして、ガリラヤやデカポリスやエルサレムやユダヤやヨルダンの向こうから、大勢の群衆はイエスに従った。

5

1 そこで、群衆をご覧になったイエスは山に登られた。そして、イエスが座られると、弟子たちはイエスの所に来た。 **2** そこで、イエスは口を開き、彼らを教えて言われた。

3 「霊にあって貧しい人たちは祝福されています。天の王国はその人たちのものだからです。

4 悲しむ人たちは祝福されています。慰められるからです。

5 穏やかな人たちは祝福されています。地を受け継ぐからです。

6 義に飢えかつ乾いている人たちは祝福されています。満たされるからです。

7 慈悲深い人たちは祝福されています。慈悲を与えられるからです。

8 心の清い人たちは祝福されています。**神**を見るからです。

9 平和をつくりだす人たちは祝福されています。**神**の子どもと呼ばれるからです。

10 義のために迫害された人たちは祝福されています。天の王国は彼らのものだからです。

11 わたしが原因で、人たちがあなたがたの悪口を言ったり、迫害したり、いろいろなおぞましいことを偽って言う時、あなたがたは祝福されています。

12 喜びなさい。歓喜しなさい。あなたがたの天での褒賞は大きいからです。あなたがたより前に来た預言者たちを、彼らは同様に迫害したからです。

13 あなたがたは地の塩です。しかし、もしその塩が塩の味をなくしたら、何によってそれに塩気を与えられますか。投げ捨てられ、人に踏まれる他に、何の役にも立てません。

14 あなたがたは世の光です。山の上にある町も、隠れることができません。

15 また、灯りに火をつけ、枡をかぶせることはせず、むしろ灯りを燭台の上に置きます。それで灯りは家にいるすべての人を照らします。

16 このように、人々はあなたがたの良い行為を見て、天におられるあなたがたの**父**に栄光を捧げるように、人々の前であなたがたの光を輝かせなさい。

17 律法または預言者たちを廃絶するために、わたしが来たと思ってはいけません。わたしは廃絶するためにではなく、成就するために来たのです。

18 なぜなら、わたしはまことにあなたがたに言います。こ

の空と地が消え去るまで、すべてが成就するまで、律法の一字一画は決して消えません。

19 したがって、もし誰かこの律法の一番小さいもの一つを破り、またそうするようにと人々に教えれば、その人は天の王国で、一番小さい者と呼ばれます。しかし、律法を実行したり教えたりする人は、天の王国で偉大な者と呼ばれます。

20 それで、わたしはあなたがたに言います。もしあなたがたの義が、律法学者たちやパリサイ派の人たちの義を越えなければ、あなたがたは絶対に天の王国に入ることはありません。

21 『殺人を犯してはいけない。』①そしてまた、『殺人を犯す者は、裁きの危険に陥っています。』と昔の人に言われたことを、あなたがたは聞いています。

22 しかし、わたしはあなたがたに言います。すべて理由なしに自分の兄弟に腹を立てる者は、裁きを受ける危険な状態にある。また、すべて自分の兄弟に、『脳なし』と言う者は、議会①に呼ばれる危険な状態にいる。かつ『バカ』と言う者は、地獄の炎に入る危険な状態である。

23 それで、もしあなたの捧げ物を祭壇まで持って行き、そこであなたの兄弟が何かあなたに対して恨みがあるのを思い出したら、

24 そこで、捧げ物を祭壇の前に置いて、行き、まずあなたの兄弟と仲直りをしてから、また来て、捧げ物を捧げなさい。

25 あなたの相手と道中にいるうち、すぐ仲直りしなさい。そうしないと、相手はあなたを裁判官に引き渡し、そして裁判官はあなたを下役に引き渡し、牢獄に投げ込まれてしまいます。

26 わたしは本当にあなたに言います。最後の一コドラント①を支払うまで、あなたはそこを決して出ることはありません。

27 昔の人たちに、『姦淫してはいけない。』と言われたことをあなたがたは聞いたことがあります。

28 しかし、わたしはあなたがたに言います。誰であれ、女を欲情のために見る者は、すでに自分の心の中でその女と姦淫をしたのです。

29 それで、もしあなたの右の目があなたをつまずかせるなら、えぐり出して、捨てなさい。なぜなら、あなたの体全体が地獄に投げ込まれるより、

---

21 ① 旧約聖書の十戒の引用。

22 ① ギリシャ語でサンヘドリン。当時のイスラエルの最高裁判所。

26 ① ローマ帝国の銅貨。

あなたの体の一部分が消滅した方がよいからです。

30 そしてもしあなたの右の手があなたをつまずかせるなら、それを切り取り捨てなさい。あなたの体全体が地獄に投げ込まれるより、あなたの体の一部分が消滅した方がまだましです。

31 そして、『妻を離婚する者は、離縁状を与えよ。』と言われています。

32 しかし、わたしはあなたがたに言います。性的不品行の理由以外で、自分の妻を離婚する者は妻に姦淫をさせ、そして、もし誰であれその離婚された女と結婚すれば、その者は姦淫をします。

33 また、『偽って誓ってはいけない。しかし、あなたの誓いは**主**にすべきである。』と昔の人たちに言われたことを、あなたがたは聞いたことがあります。

34 しかし、わたしはあなたがたに言います。絶対に誓ってはいけません。天にかけて誓ってはいけません。天は**神**の王座だからです。

35 また、地は**神**の足載せ台だから、地にかけて誓ってもいけません。また、エルサレムは大いなる**王**の町だから、エルサレムにかけて誓ってもいけません。

36 また、あなたの髪の毛一本さえも、白くも黒くもできないので、自分の頭にかけて誓ってはいけません。

37 それで、あなたがたの言葉を『はい、はい』そして『いいえ、いいえ』にしなさい。これら以上は悪人より来るからです。

38 『一つの目には一つの目、そして一本の歯には一本の歯。』と言われたことを、あなたがたは聞いたことがあります。

39 しかし、わたしはあなたがたに言います。悪人に反対せず、誰であれあなたの右の頬を打つ人に、左の頬も向けなさい。

40 そして、誰であれあなたの下着を取ろうとして訴えるのならば、あなたの上着も与えなさい。

41 そして、あなたを強制して一ミリオン①行かせる人が誰であれ、その人と共に、二ミリオン行きなさい。

42 あなたに求める人には与えなさい。また、あなたから借りたい人を拒否してはいけません。

43 『あなたの隣人を愛し、あなたの敵を憎みな

---

41 ① 約千五百メートルの距離。

さい。』と言われたことを、あなたがたは聞いたことがあります。

44 しかし、わたしはあなたがたに言います。あなたがたの敵を愛しなさい。あなたがたを呪う人たちを祝福しなさい。あなたがたを憎む人たちに良くしなさい。そして、悪意であなたがたに接する人たち、あなたがたを迫害したりする人たちのために祈りなさい。

45 こうして、あなたがたは、あなたがたの天国におられる**父**の子となるでしょう。その方は善人たちの上にも、悪人たちの上にも、ご自分の太陽を昇らせ、雨を正しい人たちの上にも、正しくない人たちの上にも降らせるからです。

46 なぜなら、もしあなたがたを愛している人を、あなたがたが愛したからといって、褒賞は何かありましょうか。収税人でさえそうしているではありませんか。

47 そして、あなたがたは自分の兄弟たちにだけ挨拶すれば、あなたがたは他の人よりそれ以上の何をしていると言うのですか。収税人でさえそのようにしているではありませんか。

48 それで、天国におられるあなたがたの**父**が完全であられるように、あなたがたも完全でいなさい。

6

1 あなたがたは人前で、見られるために、慈善をしないように気をつけなさい。そうでないと、あなたがたは、天国におられるあなたがたの**父**からの褒賞を手にすることはありません。

2 したがって、あなたがたは慈善をする時、人から栄光を受けようと、シナゴーグ①や道で、人前でラッパを鳴らす偽善者たちのようにしてはいけません。本当にわたしはあなたがたに言います。その者たちはもうすでに自分たちの褒賞を手にしてしまったのです。

3 そうでなく、あなたは慈善をする時、自分の右手のしていることを、左手に知らせてはいけません。

4 これは、あなたの慈善が秘密になるためです。そうすると、秘密裏にご覧になっているあなたの**父**は、人前であなたに褒賞を下さいます。

5 そして、あなたがたは祈る時、偽善者のようであってはいけません。なぜなら、その者たちは人に注目されようと、シナゴーグや通りの角に

---

2 ① ユダヤ教の会堂。

立って祈るのが好きです。わたしは本当にあなたがたに言います。その者たちは褒賞を手にしてしまったのです。

6 しかし、あなたが祈る時は、あなたの奥まった部屋に入り、ドアを閉じ、秘密の場所にもおられるあなたの**父**に祈りなさい。そうしたら、秘密裏にご覧になっているあなたの**父**は、人前であなたに褒賞を下さいます。

7 そして、祈る時に、異国人がするように、空しい言葉を繰り返してはいけません。なぜなら、彼らは、言葉が多ければ、聞き入れられると思っているからです。

8 したがって、彼らのようであってはいけません。あなたがたが**父**に願う前に、あなたがたの**父**は、あなたがたの必要とするものをご存じだからです。

9 それで、あなたがたは次のように祈りなさい。『天国におられる私たちの**父**よ。あなたの御名が尊ばれますように。

10 あなたの王国が来ますように。あなたのご意志が天国で行なわれているように、地上ででも行なわれますように。

11 今日も私たちの日ごとのパンを与えてください。

12 そして、私たちも私たちの負い目のある人たちを赦しますから、私たちの負い目も、赦してください。

13 そして、私たちを誘惑に導かず、邪悪なものから救い出してください。王国と力と栄光は、永遠にあなたのものだからです。アーメン。』

14 もしあなたがたが、人たちの悪行を赦せば、天国のあなたがたの**父**もあなたがたを赦してくださるからです。

15 しかし、もしあなたがたが、人たちの悪行を赦さなければ、あなたがたの**父**も、あなたがたの過ちを赦してくださいません。

16 また、断食する時に、つらそうな顔をする偽善者のようにあってはいけません。彼らは、断食しているように見えるよう、悲痛な顔を作るからです。本当に、あなたがたに言います。彼らはもうその褒賞を手にしてしまっています。

17 しかし、あなたは断食する時に、頭に油をつ

け、顔を洗いなさい。

18 それは、断食していると人に目立つためではなく、隠れた場所におられるあなたの**父**に目立つためです。そして、隠れた場所でご覧になるあなたの**父**は、みんなの前で褒賞を与えてくださいます。

19 衣蛾①やさびがだめにしたり、泥棒が入り込んで盗んだりするこの地上に、自分のために宝を積み上げてはいけません。

20 それより、あなたがたは天国に宝を積み上げなさい。そこは、衣蛾もさびもだめにしないし、泥棒が入り込んで盗むことはありません。

21 なぜなら、あなたがたの宝がある場所に、あなたがたの心もあるからです。

22 体の灯は目です。したがって、もしあなたの目が健全ならば、体全体も光で満たされます。

23 しかし、もしあなたの目が悪いのであれば、あなたの体全体も暗くなります。それで、もしあなたの中の光が暗黒であれば、その暗黒はどんなにか深いことでしょう。

24 誰も二人の主に仕えることができません。なぜなら、一人を憎み、もう一人を愛するようになるか、または、一人に執着し、もう一人を軽視するようになります。あなたがたは**神**と富に、同時に仕えることができません。

25 それで、わたしはあなたがたに言います。何を食べようか、何を飲もうか、あなたがたの命を心配してはいけません。また何を身に付けようかと、体のことを心配してはいけません。命は食べ物以上、またたましいは衣服以上ではありませんか。

26 空の鳥を見なさい。なぜなら、彼らは蒔いたり刈り取ったり納屋に納めたりしないが、あなたがたの天国の**父**は、彼らに食べ物を与えています。あなたがたは彼らより、はるかに価値があるのではありませんか。

27 また、あなたがたの中の誰が、心配したからと言って、自分の身長に一キュウビット①を加えることができるでしょうか。

28 それで、あなたがたはなぜ服装のことを心配するのですか。野のユリがどう育つのですか、よく考えて見なさい。ユリは労働も紡ぎもしません。

29 しかし、わたしはあなたがたに言います。

---

19 ① 毛皮、毛織物、羽毛などの食害をする虫。

27 ① 約四五センチ。

栄光が絶頂時のソロモンでさえ、この一輪のユリの花ほども着飾ってはいなかったのです。

30 したがって、今日は存在するが、明日はかまどに投げ込まれてしまう野の草を、**神**はこのように服を着せるのだから、それ以上のものをあなたがたに着せないことがあるでしょうか。ああ信仰の薄い者たちよ。

31 したがって、『何を食べたら良いのか。』とか、『何を飲んだら良いのか。』とか、『何を着たら良いのか。』と言って、心配してはいけません。

32 なぜなら、すべてこれらの物を異邦人は求めます。しかし、これらすべての物を、あなたがたが必要としていることは、あなたがたの天の**父**はご存じです。

33 第一に、**神**の王国と**神**の義とを求めなさい。そうすれば、これらすべての物があなたがたに加えられます。

34 それで、明日は明日で心配するから、あなたがたは明日のことを心配してはいけません。その日の苦しみはその日で十分だからです。

7

1 裁いてはいけません。裁かれないためです。

2 自分たちの裁く裁きで裁かれ、また、自分たちの量る秤で、あなたがたは計られるからです。

3 あなたは自分の目にある梁を気にもせず、兄弟の目にあるちりが見えるのは、なぜでしょうか。

4 または、見よ、自分の目に梁があるのに、兄弟に、『あなたの目からちりを取ってあげよう。』と、どうして言うことができるのですか。

5 偽善者よ、まず自分の目からその梁を取りなさい。そうすればはっきりと目が見え、兄弟の目からそのちりを取り除けます。

6 聖なるものを犬たちに与えてはいけません。また、あなたの真珠を豚たちの前に投げてはいけません。豚たちはそれを足蹴にし、向きを変えてあなたがたを引き裂いてしまうことがないためです。

7 求め続けなさい。そうしたら、それはあなたがたに与えられます。探し続けなさい。そうしたら、それをあなたがたは見いだします。戸をたたき続けなさい。そうしたら、戸はあなたがたのため開かれます。

8 なぜなら、求める人は誰であれ受け取り、そして探す人は見いだし、そして戸をたたく人には開かれるからです。

9 あるいは、パンを求める息子に、石を与える父親はあなたがたの間にいるでしょうか。

10 そして、魚を求める息子に、その父は蛇を与えるでしょ

うか。
11 従って、あなたがたは、悪い者でありながら、自分の子どもには良い贈り物を与えることを知っているのだから、なおさらのこと、あなたがたの天におられる**父**は、ご自分に願う人たちに良いものをくださいます。
12 それで、あなたがたこそが人たちからして欲しいことは何でも、人たちにしなさい。これこそが律法と預言者たちだからです。
13 狭い門を通って入りなさい。なぜなら、崩壊への門は広く、その道は幅広く、またその門を通る人たちは多いのです。
14 しかし、永遠の命へ通じる門は狭く、その道は苦しいのです。そして、それを見つけ出す人はまれです。
15 しかし、中は極度の空腹の狼だが、羊の服であなたがたの所に来るにせ預言者に気をつけなさい。
16 あなたがたは彼らをその実によって知ります。人は葡萄を茨から、またはイチジクをアザミから集めはしないでしょう。
17 同様に、すべての良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結びます。
18 良い木は悪い実を結べません。また悪い木は良い実を結べないのです。
19 良い実を結ばないすべての木は、切り倒され、火に投げ入れられます。
20 それで、その実によってあなたがたは彼らを知ります。
21 わたしに、『**主**よ、**主**よ』というすべての人が、天の王国に入るわけはなく、天におられるわたしの**父**のご意志を実行する人だけが入ります。
22 その日、多くの人はわたしに言います。『**主**よ、**主**よ、私たちはあなたの御名によって預言をしたり、あなたの御名によって悪霊を追い出したり、あなたの御名によって多くの力ある業を行なったではありませんか。』
23 その時わたしはその人たちにはっきり言います。『わたしはあなたがたにまったく会ったことがありません。律法を認めない行為をする者たちよ、わたしから立ち去れ。』
24 それでは、これらわたしの言葉を聞き、実行するすべての人を、岩の上に自分の家を建てた賢い人と、わたしはその人をたとえましょう。
25 そして、雨が降り、洪水が来て、風が吹いてその家を打ちつけたが、家は岩の上に置かれていたので、倒れませんでした。
26 しかし、わたしのこれらの言葉を聞いて、実行しないすべての人は、自分の家を砂の上に建てた愚かな者にたと

えられます。

27 そして、雨が降り、洪水が来、風が吹いてその家を叩き付け、その家は倒れ、その倒れ方はすさまじかったのです。」

28 そこで、ことの次第はこうであった。イエスがこれらの言葉を語り終えられた時、群衆はイエスの教えに驚嘆していた。

29 イエスは、律法学者①たちと違い、権威ある人として群衆を教えてこられたからである。

8

1 それから、イエスが山からくだられると、大群衆が彼について来た。

2 すると見よ、一人のレプラ病①の人が来て、イエスを拝して言った。「主よ、もしあなたがお望みになれば、私を清めることができます。」

3 そこでイエスはご自分の手を差しのべ、その男に触れ、言われた。「わたしはそう望みます。清くなりなさい。」そして、たちどころにその人のレプラ病は清められた。

4 さらにイエスは男に言われた。「心して誰にも話さないように。それより行って、あなた自身を祭司に見せ、そして人々に証になるように、モーセが命じた捧げ物をしなさい。」

5 さて、イエスはカペナウムに入られると、一人の百人隊長がイエスの所に来て、イエスに執拗に願って、

6 言った。「主よ、私の僕①は家で中風で横になり、拷問されています。」

7 イエスは彼に言われた。「わたしが行って、僕を治します。」

8 そして、百人隊長は答えて明言した。「主よ、あなたが私の屋根の下に来ていただくほどの値打ちは、私にはありません。しかし、ただ一言を言ってくだされば、僕は治ります。

9 なぜなら、私も権威の下にいる者の一人で、私の下に兵士たちがいます。そして私はこの兵士に、『行け』と言ったら、行きます。また、別の一人に、『来い』と言えば来ます。そして私は自らの僕に『これをせよ』と言ったら、彼はそうします。」

10 すると、イエスはこれを聞いて驚き、従って来た人たちに言われた。「まことに、わたしはあ

---

29 ① 律法学者たちは、旧約聖書の解釈書をそのまま知識として教えた。

2 ① 現代はハンセン病と言う。

6 ① この単語は、普通の僕ではなく、子どもである僕、あるいは、子どものようになった僕、という意味である。

なたがたに言います。イスラエルにさえも、わたしはこのような偉大な信仰を見いだしたことがありません。

11 そして、わたしはあなたがたに言います。大勢の人たちが、東と西から来て、天の王国でアブラハムとイサクとヤコブと共に座るが、

12 王国の息子たちは、外の暗やみに投げ出されます。そこは泣き悲しみ、歯をかみならします。」

13 それから、イエスは百人隊長に言われた。「帰りなさい。あなたが信じたとおりに、あなたにはそうなれ。」そしてその時、百人隊長の僕は治った。

14 さて、イエスはペテロの家に着いた時、熱で横になっていたペテロの義理の母に目を止められた。

15 そこで、イエスはその女の手を触れ、熱は去った。そして、女は起きてイエスたちを接待した。

16 夜になると、悪霊に占領された多くの人たちを、イエスの所に人たちは連れて来た。そして、イエスは一言で霊を追い出し、すべて体の悪い人を治された。

17 これは、預言者イザヤを通して言われた御言葉が成就されるためである。つまり、『その方は、私たちの弱さを引き受け、私たちの体の悪いところを取り除かれた。』

18 そして、イエスはご自分のまわりに多くの群衆を見られ、向こう岸に行くように命じられた。

19 それから、一人の律法学者がイエスの所に来て、言った。「**先生**、私はあなたの行かれる所なら、どこにでも従って行きます。」

20 イエスは彼に言われた。「キツネには穴があり、空の鳥には巣があるが、人の**子**には頭を置く場所がありません。」

21 また、イエスのもう一人の弟子は彼に言った。「**主**よ、先ず、我が父を葬りに行かせてください。」

22 しかし、イエスは男に言われた。「わたしに従いなさい。そして死者に死者たちを葬むらせなさい。」

23 さて、イエスが船に乗られると、彼の弟子たちは後に続いた。

24 そして、見よ、海上に大嵐が起き、船は波をかぶっていたが、イエスは眠っておられた。

25 そこで、弟子たちはイエスの所に行き、起こして、言った。「**主**よ、私たちを救ってください。滅ぼされそうです。」

26 すると、イエスは弟子たちに言われた。「信仰の薄い者たちよ、あなたがたはなぜ臆病になっているのですか。」そして、イエスは起き上がられ、風と海をしかりつけた。すると、大凪になった。

27 それから男たちは驚いて、言った。「風と海さえもが

聞き従うこの方は、いったいどなたなのでしょうか。」

28 さて、イエスは向こう岸、つまりガダラ人の地方に行かれた時、悪霊に占領された二人の者が墓場から出て、イエスに出会った。誰もその道を通れないほど、彼らは非常に凶暴な者であった。

29 そしてなんと、この男たちは叫んで言った。「**神**の**子**であるイエスよ、俺たちはあなたと何の関係がありますか。時の前なのに、俺たちを拷問しに来たのですか。」

30 彼らからずっと離れた所に、豚の群れが餌を食べていた。

31 それで、悪霊はイエスに願って言った。「俺たちを追い出したら、豚の群れに入ることを許してください。」

32 次に、イエスは彼らに言われた。「行け。」そして、悪霊たちは外に出て来るやいなや、豚の群れに入った。見よ、豚の群れは一頭残らず、崖を全速で駆け下り、海に入り、水中で死んだ。

33 それから、豚飼たちは逃げ出し、町に入って悪霊に占領された人たちのことを含めて、一部始終を伝えた。

34 すると見よ、町の人は皆、イエスに会いに出てきた。彼らに会い、彼らの地方から出て行くように願って言った。

9

1 その後、イエスは船に乗り、湖を渡り、彼ご自身の町に行かれた。

2 そして、見よ、男たちは床に横たわっている中風の男をイエスの所に運んで来た。イエスはその男たちの信仰を見て、身体の不自由な人に言われた。「勇気を出しなさい。子よ、あなたの罪は赦されました。」

3 そうすると、見よ、律法学者たちの中には互いに、「この者は**神**を冒涜している。」と言った者がいた。

4 しかし、イエスは彼らの考えを知って言われた。「あなたがたはなぜ心の中で悪いことを考えていますか。

5 なぜなら、『あなたの罪は赦されました』と言うのと、『起き上がって歩きなさい』と言うでは、どちらが簡単でしょうか。

6 しかし、人の**子**は、地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたに知らせるためです。」それからイエスは中風の男に言われた。「起き上がれ、あなたの床を持って、あなたの家に帰りなさい。」

7 男は立ち上がり、自分の家に帰った。

8 群衆はこれを見て驚き、そこで、このような権威を人間に与えられた**神**に栄光を捧げた。

9 さて、イエスはそこを去り、収税所に座っている、マタイという名前の男をご覧になった。イエスは彼に言われ

た。「わたしについて来なさい。」そこで、マタイは立ち上がり、イエスに従った。

10 そうして、イエスが家で食卓についておられると、なんと、収税人や罪人が大勢来て、イエスと彼の弟子たちと共に食卓についた。

11 すると、パリサイ派の人たちはこれを見て、イエスの弟子たちに言った。「あなたがたの**先生**はなぜ、収税人や罪人と共に食事をするのですか。」

12 イエスはこれを聞き彼らに言われた。「健康な人は医者を必要としません。必要とするのは、病人です。

13 しかし行き、この意味を学びなさい。『わたしが求めるのはいけにえではなく、哀れみである。』なぜなら、正しい人ではなく、わたしは罪人を呼び集め、悔い改めさせるために来たのです。」

14 そこでヨハネの弟子たちはイエスの所に来て言った。「私たちとパリサイ派の人たちはよく断食しますが、あなたの弟子たちは断食しないのは、なぜでしょうか。」

15 すると、イエスは彼らに言われた。「花婿の立会人たちは、花婿と共にいる間、悼むことができますか。しかし、花婿が立会人たちから取り上げられる日々が来ます。その期間は、立会人たちは断食します。

16 また、古い服に縮んだことのない布を当てる人はいません。その布切れは服を引き裂き、破れたところはもっとひどくなるからです。

17 また、誰も新しい葡萄液を古い革袋には入れはしません。入れれば、革袋は破れ、葡萄の果汁はこぼれ、革袋は裂けるからです。しかし、新しい葡萄の果汁を新しい革袋に入れると、両方とも保全されます。」

18 イエスがこれらのことを彼らに話される間に、見よ、ある支配者がイエスの所に来て、彼を拝して、言った。「私の娘はいま死にましたが、来て彼女の上に御手を置いてください。そうすれば娘は生きかえります。」

19 そこで、イエスは立ち上がり、彼について行くと、弟子たちもそうした。

20 そして見よ、十二年間出血していた女が、イエスの背後に近づき、イエスの服のへりに触れた。

21 「もし、あの方の服に触れられたら、私は治される。」と女は独り言を言っていたからである。

22 そこで、イエスはふり向いて、女をご覧になり、言われた。「娘よ、勇気を出しなさい。あなたの信仰が、あなたを治しました。」そして、彼女はその時から健康になった。

23 さて、イエスはその支配者の家に入られ、笛を吹く者

や、大騒ぎしている群衆を見られ、**24** イエスはその人たちに言われた。「引き下がりなさい。なぜなら、少女は眠っているのです。死んではいません。」しかし、その人たちはイエスをあざ笑った。**25** そこで、群衆が外に追い出された時、イエスは入られ、少女の手を取られた。そして、少女は立ち上がった。**26** それで、この評判はその全土に広がった。

27 さて、イエスはそこから発ち去られると、二人の盲目の男がイエスについて来て、叫んで言った。「ダビデの**子**よ、私たちを哀れんでください。」**28** それから、イエスは家に入られると、盲目の男たちはイエスの所に来た。そこで、イエスは彼らに言われた。「わたしにこのことができると、あなたがたは信じますか。」彼らはイエスに言った。「はい、**主**よ。」**29** それから、イエスは彼らの目に触れ、言われた。「あなたがたの信仰にふさわしくそうなれ。」**30** そして、彼らの目は開けられ、「誰もこのことを知ることのないよう心せよ。」とイエスは厳しく警告して言われた。**31** しかし、彼らは出て行き、イエスの名声をその国全土に広めた。

32 さて、彼らが出て行くと、見よ、人たちは口がきけず、悪霊で占領された男をイエスの所に連れて来た。**33** そして、悪霊が追い出されると、口がきけない人が口をきいた。すると、「イスラエルで、こんなことは目にしたことがない。」と群衆は驚いて言った。**34** しかし、パリサイ派の人たちは言った。「あの者は、悪霊たちの支配者によって悪霊を追い出すのだ。」

35 さて、イエスはすべての町と村を歩き回って、彼らのシナゴーグで教えたり、王国の福音を語ったりし、国民の間ですべての病気やすべてのわずらいを治されていた。**36** しかし、イエスは群衆をご覧になり、彼らに心を痛められた。彼らは、羊飼いのいない羊のように、疲れ切って、散り散りになっていたからである。**37** その時、イエスはご自分の弟子たちに言われた。「実りは真に豊かだが、働き人がほとんどいません。**38** だから**主**の取り入れに働き人を送り出すように、刈り入れの**主**に祈りなさい。」

10

1 さて、イエスはご自分の十二人の弟子を呼び集め、汚れた霊どもを追い出す権限、またすべての病気や弱さを治す権威を与えられた。

2 それで、十二人の使徒の名前は次の通りである。まず、

ペテロと呼ばれているシモン、そして彼の兄弟アンデレ、またゼベダイの息子ヤコブと彼の兄弟ヨハネ、

3 ピリポとバルトロマイ、トマスと収税人のマタイ、アルパヨの息子ヤコブとレバイと言う名字のタダイ、

4 カナン人のシモンとイスカリオテのユダである。ユダはイエスを裏切った者である。

5 「異邦人の道に入らず、またサマリヤ人の町に入ってはいけません。」と言って、イエスはこの十二人に命じて遣わされた。

6 「むしろ、イスラエルの家の滅びた羊たちの所に行きなさい。

7 そして行きながら、『天の王国は近づいています。』と説きなさい。

8 弱い人たちを治しなさい。レプラ病の人たちを清めなさい。死人たちを復活させなさい。悪霊どもを追い出しなさい。あなたがたは値なしで与えられたのだから、値なしで与えなさい。

9 金も、銀も、銅もをあなたがたの胴巻きに入れてはいけません。

10 また、働き人は自分の食べ物に値するから、この旅行には、皮袋も、二枚の下着も、サンダルも、杖も用意してはいけません。

11 そして、どこの町や村に入っても、そこで誰がふさわしい人かと聞き、そこを去るまで、その所にとどまりなさい。

12 そして、家屋に入る時、家の人たちに挨拶しなさい。

13 そして、もしその家の人たちがふさわしい人であれば、あなたがたの平安がその上に来るようにしなさい。しかし、もしその家の人たちが値のない人ならば、あなたがたの平安があなたがたの所に戻るようにしなさい。

14 そして、誰であれ、あなたがたを受け入れず、また、あなたがたの言葉を聞き入れない者がいれば、その家かその町を去る時に、足からちりを振り落としなさい。

15 本当にあなたがたに言います。裁きの日に、その町よりソドムとゴモラの地の方がしのぎやすいのです。

16 見よ、あなたがたを遣わすのは、狼たちの真ん中に羊を遣わすようなものです。だから、蛇のように鋭く、鳩のように無害な者になりなさい。

17 しかし、人たちに気をつけなさい。あなたがたを議会に連行し、そしてシナゴーグであなたがたをむちで打つからです。

18 総督たちや王たちの前に、あなたがたはわたしが原因で、彼らと異邦人に証言のため連れて行かれます。

19 しかし、人々があなたがたを連れて行く時、どう言おうか、何を話そうかと、心配してはいけません。なぜなら、あなたがたは何が話すべきか、その時与えられます。**20** それは話すのはあなたがたではなく、あなたがたの中で話す**父**の**聖霊**だからです。**21** それで、兄弟はその兄弟を、また父はその子を死に引き渡します。そして、子どもは親たちに反逆して立ち上がり、親を死に至らせます。**22** そして、あなたがたは、わたしの名のために、すべての人に憎まれます。しかし、最後まで堪え忍ぶ人は、救われます。**23** しかし、人たちがこの町であなたがたを迫害する時はいつでも、別の町に逃げなさい。本当にわたしはあなたがたに言います。人の**子**が来るまで、あなたがたは、決してイスラエルの町すべてを通り終えることはないからです。**24** 弟子は師より上でなく、また僕は彼の主人の上ではありません。**25** 弟子は彼の師のように、僕はその主人のようになれば、十分です。もし人たちは家の主人をベルゼブル①と呼んだなら、それに加えて、家の者全員をそう呼びます。**26** したがって、彼らを恐れてはいけません。覆われているもので、現われないものはないし、隠されたもので、知られないものはないからです。**27** わたしが暗やみの中であなたがたに言うことは何であれ、光の中で言いなさい。また、耳で聞くことは、屋根の上で説きなさい。**28** そして、肉体を殺して後、魂を殺せない者を恐れてはいけません。魂も身体も、地獄で滅ぼすことができる方をむしろ恐れなさい。**29** 二羽の雀は、銅貨一個で売られてはいませんか。しかし、あなたがたの**父**の同意なしに、その一羽も地に落ちることはありません。**30** また、あなたがたの頭の髪の毛さえ一本一本すべて、数えられています。**31** 従って、恐れてはいけません。あなたがたは多数の雀よりもっと価値があります。**32** それゆえに、人々の前でわたしを言い表す人は誰であれ、わたしもその人を天国にいるわたしの**父**の前で言い表します。

---

25 ① エクロンという国の偶像で、「ハエの主」という意味である。

33 しかし、人々の前でわたしを否定する人は、わたしもその人を、天国にいるわたしの**父**の前で否定します。 **34** 地球に平和を持って来るためにわたしがやって来たと思ってはいけません。平和ではなく、剣を持って来るためにわたしは来たのです。 **35** わたしは男を父に対して、娘は母に対して、義理の娘は義理の母に対し、仲違いさせるために来たからです。 **36** そして、男の敵は、その家の者たちになります。 **37** 父や母をわたしよりも愛している者は、わたしにはふさわしくない者です。そして、息子や娘をわたしよりも愛している者は、わたしにはふさわしくない者です。 **38** そして、自らの十字架を背負わず、そしてわたしに従わない者は、わたしにふさわしくない者です。 **39** 自分の命を見つける者は、それを失います。そして、わたしのために自分の命を失う人は、それを見つけます。 **40** あなたがたを受け入れる人たちは、わたしを受け入れています。そして、わたしを受け入れる人は、わたしを遣わした方を受け入れています。 **41** 預言者を預言者として受け入れる人は、預言者の報酬を受けます。また、義人であると認めて義人を受け入れる人は、義人の報酬を受けます。 **42** そして、誰であれこの小さい者たちの一人に、弟子の名ゆえに、ただ一杯の冷たい水を与えれば、まことにあなたがたに言いますが、その者は決してその報酬を失うことはありません。」

11

1 さて、ことの次第はこうであった。ご自分の十二弟子に命じるのを終えたイエスは、彼らの町々で教えたり説いたりするために、そこを去って行かれた。 **2** それで、キリストのわざを牢獄で聞き、ヨハネは自分の弟子二人を遣わし、 **3** イエスに言った。「あなたが、来られることになっている方ですか、それとも私たちは別の人をさがすべきですか。」 **4** イエスは答えて彼らに言われた。「行って、

あなたがたが聞くこと、見ることをヨハネに報告しなさい。

5 盲人たちは見え、足の不自由な人たちは歩き、レプラ病①の人たちは清められ、耳の聞こえない人たちは聞こえ、死人たちは復活させられ、貧しい人たちは福音が説かれるのを聞いています。

6 そして、わたしのことでつまずかない人は、幸いです。」

7 さて、ヨハネの使者たちは去ると、ヨハネについてイエスは群衆に説き始められた。「あなたがたは何を見るつもりで、荒野に出て来たのですか。風で揺れる一本の葦ですか。

8 では、何を見に出て行ったのですか。柔らかい服を着ている一人の男ですか。見よ。柔らかい服を着ている人々なら王の家にいます。

9 では、あなたがたは何を見に出て行ったのですか。預言者ですか。そうです。あなたがたに言いますが、預言者以上の人です。

10 『見よ。わたしの使者をあなたの眼前に、わたしは遣わし、この人はあなたの道をあなたの前で準備する。』と、書かれている人がこの人だからです。

11 まことに、あなたがたに言います。女性から生まれた中で、浸礼者ヨハネより偉大な人は起きていません。しかし、天の王国の最も小さい人でも、ヨハネより偉大です。

12 そして、浸礼者のヨハネの日より今に至るまで、天の王国で暴力がふるわれ、また、暴力をふるう者たちは、王国を力で占領します。

13 ヨハネに至るまで、すべての預言者と律法は預言したからです。

14 そして、あなたがたがこれを受け入れる意志があれば、来ることになっているエリヤが彼なのです。

15 聞く耳のある人には聞かせなさい。

16 しかし、わたしはこの世代を何に例えましょうか。市場に座り込んで仲間を呼ぶ子どもに似ています。

17 その子どもたちは言います。『私たちは君たちのため、笛を吹いたのに、君たちは踊らなかった。私たちは君たちのため、死者を悲しんだのに、君たちは胸を叩かなかった。』①

18 なぜなら、ヨハネは来て飲み食いしなかった

---

5 ① 現代はハンセン病と言う。

17 ① 当時の子供たちの遊び。

ので、人々は言います。『あの者には悪霊がいる。』**19** 人の**子**が来て、飲み食いすると、『見よ。大食いで、大酒飲みで、収税人や罪人の友人だ。』と人々は言います。しかし、知恵は、知恵の子どもたちによって義と認められます。」

20 そして、その町々は悔い改めなかったので、イエスは自らの力あるわざの大部分が行なわれた町々を責め始められた。

21 「コラジンよ、お前に災いあれ。ベッサイダよ、お前に災いあれ。なぜなら、もしお前たちの中で行なわれた力あるわざが、ツロやシドンで行なわれたなら、その町はきっと大昔に荒布を着て、灰で悔い改めたのです。

22 だが、わたしはお前たちに言う。裁きの日には、お前たちの裁きよりツロとシドンの裁きの方が耐えやすい。

23 そして、天へ上げられたカペナウムよ、お前は地獄に引きずり落とされます。なぜなら、もしお前の中で行なわれた力あるわざが、ソドム①で行なわれたなら、ソドムは今日まで残ったのです。

24 しかし、わたしはお前たちに言う。裁きの日には、お前たちの裁きより、ソドムの地の裁きの方が耐えやすい。」

25 その時、イエスは答えて言われた。「天と地の**主**である**父**よ。あなたはこれらのことを賢い人や理解力のある人から隠し、赤子に啓示されたことを、あなたに感謝します。

26 はい、**父**よ、なぜならそれはあなたの前で、大いに喜ばしいことでした。

27 すべてのものはわたしの**父**からわたしに渡され、そして**父**以外、誰も**息子**を完全にはわかりません。そして**息子**以外、また**息子**が啓示しようと決める人以外、誰も**父**を完全に知る者はいません。

28 すべて疲れた人たちや、重荷を背負う人たちよ、わたしの所に来なさい。そうすれば、わたしはあなたがたを休ませてあげます。

29 わたしは柔和で、心はへりくだっているので、わたしのくびきを背負って、わたしから学びなさい。そうすればあなたがたは魂に休息を見つけ出します。

30 わたしのくびきは背負いやすく、わたしの重荷は軽いからです。」

---

23 ① ソドムは旧約時代のもっとも悪い評判を持つ町であった。（ユダ書7節）

12

1 その頃、イエスは安息日に穀物畑の中を通られた。そして、イエスの弟子たちは空腹であったので、穂を摘み始め、食べた。**2** そこで、これを見たパリサイ派の人たちは、イエスに言った。「見よ、あなたの弟子たちは安息日に、律法に反することをしている。」**3** しかし、イエスは彼らに言われた。「ダビデと供にいた人たちが空腹になった時に、ダビデが何をしたか、読んでいないのですか。**4** つまり、ダビデは**神**の家に入り、祭司たちだけに、食べることを許されている供えのパンを、ダビデにも供をしていた者にも、食べることが不法であった供えのパンを食べた事実を読んだことがないのですか。**5** または、安息日に、祭司たちは神殿の敷地で安息日を乱用しても、罪にならないことを、律法書で読んだことがないのですか。**6** しかし、わたしはあなたがたに言います。ここに全神殿より、偉大な人がいます。**7** でも、『わたしは犠牲ではなく、哀れみを望む。』とあなたがたがもしこの意味がわかっていたなら、あなたがたは罪のない人たちを罪があると断定しなかったのです。**8** 人の**子**は、安息日でも**主**だからです。」**9** さて、イエスはそこを離れ、彼らのシナゴーグに入られた。**10** そして、見よ。そこに手のなえた男がいた。そこで、そこにいた人たちはイエスを訴えようと、イエスにたずねて言った。「安息日に治すことは、合法ですか。」**11** そこでイエスは彼らに言われた。「あなたがたの中に、一頭の羊を持っている男が、もしその羊が安息日に穴に落ちたなら、その羊を引き上げないのですか。**12** なおさらのこと、人間の方が羊よりはるかに価値があると、違いますか。したがって、安息日に善いことをすることは、合法です。」**13** とその時、イエスはその男に言われた。「手を伸ばしなさい。」それで男は手を伸ばした。すると、その手は治って、もう一本の手と同じように回復した。**14** そこで、パリサイ派の者たちは出て行き、イエスを抹殺する方法を、イエスに反対して企み始めた。**15** しかし、イエスはそれを知り、そこから退いて行かれた。そして、多くの群衆はイエスについて行った。そこで、イエスは彼らを全員治された。**16** しかし、イエスはご自身のことを明らかにしないよう、

彼らに警告をされた。

17 これは、預言者イザヤを通して言われた御言葉が成就されるためである。すなわち、

18 「見よ、わたしが選んだわたしの僕、わたしのたましいが大いに喜ぶ愛しい人を。わたしはわたしの霊を彼の上に置く。そして、彼は異邦人に正義を宣言する。

19 その人は争いもせず、大声も出さず、人たちは広い道で彼の声を聞かない。

20 彼は、正義を勝利へ送り出すまでは、打ちすえられた葦を折らず、くすぶっている灯心を消さない。

21 そして、異邦人たちは彼の名によって望む。」

22 それから、悪霊に占領され、盲目で、口がきけない人がイエスの所に連れて来られた。イエスは彼を治されたので、この盲目で口がきけない人は話し、目は見えるようになった。

23 それで、群衆はすべて驚いて言った。「この方はダビデの**御子息**ではないでしょうか。」

24 しかし、パリサイ派の者たちはこれを聞き、言った。「悪霊の支配者、ベルゼブル①によらなければ、この者は悪霊を追い出しはしない。」

25 しかし、イエスはその人たちの思いを知られ、彼らに言われた。「すべてそれ自身が分裂し対立する王国は、廃墟になります。そして、それ自体が分裂し対立する町も家も立ちいきません。

26 もしサタン①がサタンを追い出せば、サタン自身が対立し分裂します。それでは、サタンの王国はどうして立つのですか。②

27 そして、もしわたしがベルゼブルによって悪霊を追い出すとするなら、あなたがたの息子たちは誰によって悪霊を追い出すのですか。ですから、あなたがたの息子たちが、あなたがたの裁判官になるのです。

28 しかし、もしわたしが**神**の**御霊**によって悪霊たちを追い出しているのなら、もう**神**の王国は間違いなくあなたがたの所に来ています。

29 または、もしまず強い男を縛らない限り、どうして強い男の家に入り、財産を強奪できるでしょうか。その後で強い男の家の財産を強奪します。

30 わたしと共にいない者は、わたしに反対する者です。そして、わたしと共に集めない者は、

---

24 ① 「ハエの主」という意味で、悪魔を指している。

26 ① サタンとは、悪魔の長であり、名前は「敵」という意味である。

26 ② 参考（マルコ3章22、26節）

散らしています。

31 ゆえに、わたしはあなたがたに言います。人たちのあらゆる罪や冒涜は赦されます。しかし、**御霊**に対する者たちの冒涜は決して容赦されることはありません。

32 そして、誰であれ人の**子**に逆らいの言葉を言う者は赦されるが、誰であれ**聖霊**に逆らいの言葉を言う者は、この時代でも、これから来る時代でもそれは容赦されることはありません。

33 その木を良しとしたら、その果実も良しとせよ。またその木を悪としたら、その果実も悪とせよ。木はその果実によって知られているからです。

34 マムシの子たちよ、お前たちは悪人なのに、どうして善いことが話せますか。心を満たしているものが口をついて出るのです。

35 善人は心の善い宝の蔵から善い物を出し、そして、悪人は心の悪い宝の蔵から悪い物を出します。

36 だが、わたしはあなたがたに言います。口にする、役に立たない一言一言のために、人たちは裁きの日にそれを清算することになります。

37 あなたは、あなたの言葉によって義と認められ、あなたの言葉によって不義と断定されるからです。」

38 そこで、ある律法学者とパリサイ派の人たちは答えて言った。「**先生**、私たちはあなたからのしるしを見たいのです。」

39 しかし、イエスは答えて彼らに言われた。「悪と姦淫の時代はしるしを求めるが、預言者ヨナのしるしの他は何のしるしもこの時代には与えられません。

40 つまり、ヨナは三日三晩、巨大な魚の腹の中にいたように、人の**子**も三日三晩、地の中①にいるからです。

41 ニネベの男たちは、ヨナの語ることで悔い改めたから、裁きの時に、ニネベ人は今の世代の人たちと共に立ち上がり、今の世代を糾弾します。そして見よ、ヨナより偉大なる人はここにいます。

42 あの南の女王は裁きで、今の世代の人と共に立ち上がり、今の世代を糾弾します。女王はソロモンの知恵を聞きに、地のはてから来たからです。そして、見よ、ソロモンより偉大なる人がここにいます。

40
① 直訳、心臓。

43 それで、汚れた霊は人から出て行く時、休息を求めて乾燥地帯を通るが、見いだせません。**44** それで、その者は言います。『私は出て来た元の家に戻ろう。』そして、汚れた霊は帰ると、家は空っぽで、ほうきで掃かれ、きちんと整頓されていることに気がつきます。**45** それで、汚れた霊は行って、その霊自身よりも悪い、七つの霊を連れて来ます。そしてその霊たちは中に入り、そこに住みます。そうなると、その男の後の状態は、最初の状態より悪くなります。同様に、この悪い世代もそうなります。」

46 イエスがまだ群衆に話しておられる間、見よ、彼の母と弟たちは外に立って、イエスと話したがっていた。**47** そこで、一人の人がイエスに言った。「ご覧なさい、あなたのお母さんと兄弟たちが外に立って、あなたと話したがっています。」**48** しかしイエスは答えて、ご自分にそう言った人に言われた。「わたしの母とか、わたしの兄弟たちとは誰ですか。」**49** そこで、イエスはご自分の弟子たちへご自分の手を伸ばし、言われた。「わたしの母とわたしの兄弟たちをご覧なさい。**50** なぜなら、天におられるわたしの**父**のご意志を行なう人は誰であれ、わたしの兄弟であり、姉妹であり、母です。」

13

1 さて、その同じ日に、イエスは家を出、海辺に座られた。**2** そこで、大群衆がイエスの所に集まったので、イエスは船に乗り、座られた。そして、群衆は皆岸に立った。**3** イエスは群衆に多くのことを例え話で話され、言われた。「見よ。種を蒔く人が、種蒔きに出かけました。**4** そして、その男が蒔くと、ある種は路肩に落ち、鳥たちが来てそれを食べ尽くしました。**5** また、あまり土のない岩地の上に落ちた種もあったが、そこは土が深くなかったため、その種はすぐ芽を出しました。**6** しかし、太陽が昇ると、それは焼けて、そして根がなかったため、枯れてしまいました。**7** そして、茨の中に落ちた種もあったが、茨が伸びて、種を覆い塞ぎました。**8** しかし、良い土に落ちた種は、あるものは百倍、あるものは六十倍、またあるものは三十倍もの実を結びました。**9** 聞く耳のある人には聞かせなさい。」**10** そこで、弟子たちはイエスの所に来て、彼に言った。「なぜ例え話で彼らに話しをされるのですか。」**11** それで、イエスは答えて弟子たちに言われた。「あな

たがたが天の王国の奥義を知ることは、許されているが、他の人たちには許されていないからです。

12 誰であれ、持っている人はもっと与えられ、あふれるほど持つが、誰であれ、持っていない人は、持っているものさえも、彼から取りあげられるからです。

13 彼らは見ても見ず、聞いても聞かず、理解しないから、わたしは例え話で彼らに話すのです。

14 そして、イザヤの預言は彼らに成就されています。その預言は言います。『あなたがたはよく聞くが、決して理解せず、そしてよく見るが、気が付かない。

15 この国民の心は鈍感になり、その耳は聞こえなくなり、その目は閉じてしまったからである。これは、彼らは自分の目で見ず、自分の耳で聞かず、心で理解せず、引き返さず、わたしが彼らを治すことのないようにするためである。』

16 しかし、あなたがたの目は見え、あなたがたの耳は聞こえるから、あなたがたは祝福されています。

17 それで、真にわたしはあなたがたに言います。あなたがたが見ていることを、大勢の預言者や正しい人たちは見たかったが、見ていません。そして、あなたがたが聞くことを聞きたかったが、聞いていません。

18 したがって、蒔く人の例え話を聞きなさい。

19 王国の御言葉を聞いても理解しないとは、悪者が来て、その人の心に蒔いてある種を強奪します。これは、道端に蒔かれた種のことです。

20 それで、岩地で蒔かれた種とは、この人は御言葉を聞き、喜びを持ってすぐ受け入れます。

21 しかし、この人は自らの中に根を持っていないが、しばらくは耐えます。しかし、御言葉のために苦難や迫害が起こると、たちどころに、つまずきます。

22 それで、茨の中で蒔かれた種を受け入れたこの人は、御言葉を聞く人です。そして、今の世の不安と富の惑わしは御言葉を覆い塞ぎ、その人は実を結ばなくなります。

23 しかし、良い土で蒔かれた種は、御言葉を聞いて理解し、そして実を付け、稔る人です。ある人は百倍、ある人は六十倍、ある人は三十倍に稔ります。」

24 イエスはもう一つの例え話を彼らに口に出し、言われた。「天の王国は、自らの畑でよい種を蒔く人のようです。

25 しかし、皆が寝ている間に、彼の敵が来て、麦の中に毒麦を蒔いて去って行ってしまいました。

26 それで、麦が芽を出し、稔った時、毒麦も現われました。

27 そこで、持ち主の奴隷たちは来て、彼に言いました。『ご主人様、あなたの畑にあなたは良い種を蒔かなかったので

すか。それでは、なぜ畑に毒麦があるのですか。』**28** 主人は彼らに言いました。『敵のしたことだ。』それで、奴隷たちは彼に言いました。『それなら、私たちが行って、毒麦を集めることをあなたは私たちに命令されますか。』**29** しかし、主人は言いました。『いや、毒麦を集めながら、麦もいっしょに抜き取らないよう、**30** 稔りの時まで両方を共に育つようにしなさい。そして、稔りの時に私は刈り取る人たちに言います。「まず毒麦を集めて、燃やすため束にしなさい。それから、麦を集めて私の倉に入れなさい。」』。」

31 イエスは例え話をもう一つ口に出し、彼らに言われた。「天の王国は、人が手に入れて、自分の畑に蒔いたからし種のようです。**32** その種はすべての種の中で本当に最も小さなものだが、成長すると、空の鳥たちが来てその枝に巣を作るほどになり、どの作物より大きな木になります。」

33 イエスはもう一つの例え話を彼らに話された。「天の王国は、パン種に似ています。女がこれを取り、三サトン①の粉の中に隠し入れて、全体が膨れたのです。」

34 イエスはこれらすべてのことを群衆に例え話で話された。そして、例え話によらずに群衆に話すことがなかった。**35** それは、預言者が言った言葉が成就されるためであった。すなわち、「わたしは例え話で口を開ける。わたしは、世の土台のころより隠されてきたことを声に出す。」

36 その時イエスは群衆を去らせ、家に入られた。そして、イエスの弟子たちは彼の所に来て、言った。「私たちに、畑の毒麦の例え話を説明してください。」**37** イエスは答えて彼らに言われた。「良い種を蒔く人は、人の子です。**38** 畑は世界であり、良い種は王国の子どもたちですが、毒麦は悪者の子どもたちです。**39** それらを蒔いた敵は悪魔であり、稔りはこの時代の終わりであり、刈り取る者は御使いたちです。**40** したがって、毒麦は集められ、火で燃やされるように、この時代の終わりにも、そうなります。

---

33 ① 四十リットルぐらい。

41 人の**子**は自分の御使いたちを遣わします。そして、御使いたちは彼の王国からすべてつまずかせる者や不法をする者たちを集めます。**42** そして、そのような者たちを火の炉に投げ込んでしまいます。そこで彼らは泣き悲しみ、歯をかみならします。**43** その時、正しい人たちは、彼らの**父**の王国で、太陽のように光ります。聞く耳のある人には聞かせなさい。**44** また、天の王国は畑に隠された宝のようです。人がそれを見つけ、隠しました。そして、その人は自分の喜びのあまり、行って自分のすべての財産を売って、その畑を買います。**45** また、天の王国は、美しい真珠を探している商人のようです。**46** その人は、値段のとても高い一つぶの真珠を見つけ、行って、自分のすべての所有物を売り、その真珠を買ったのです。**47** また、天の王国は、海に投げ入れられ、いろいろな種類のものを集めた地引き網のようです。**48** 網がいっぱいになったら、彼らは海辺に引き上げました。そして、彼らは座り、良いものを器に入れ、価値のないものは捨てました。**49** この時代の終わりもこうなります。御使いたちがやって来て、義人の中から悪者たちを分け、**50** 彼らを火の炉に投げ込みます。そこで、泣いたり歯をかみならしたりします。

51 これらのすべてのことがわかりましたか。」とイエスは弟子たちに言われた。「はい、**主**よ。」と彼らはイエスに言った。**52** そこで、イエスは彼らに言われた。「したがって、天の王国について教えられたすべての律法学者は、自分の倉から新旧の宝物を出す一家の主人のようです。」

53 そうして、次のようになった。イエスはこれらの例え話を終えられ、そこをお離れになった。**54** そして、ご自分の故郷に来られ、彼らのシナゴーグで彼らを教えられた。すると、彼らは驚愕し、言った。「この人のこの知恵とこの力ある業は、どこからなのか。**55** これはあの大工の息子ではないのか。彼の母はマリヤと呼ばれ、兄弟たちはヤコブとヨセフとシモンとユダと呼ばれているではないのか。**56** そして、姉妹たちはみんな私たちといっしょにいるのではないか。だから、この人は、これらすべてのことは、どこからなのか。」**57** それで、彼らはイエスにつまずいた。しかし、イエスは皆に言われた。「預言者は、恥ずべき者とされないのは、自分の故郷と自分の家の外です。」

58 そして、イエスは、皆の不信仰のため、その町ではあまり多くの力ある業をなさらなかったのである。

14

1 その時、領主ヘロデは、イエスのうわさを聞き、**2** そして、彼の家来たちに言った。「これは浸礼者のヨハネだ。彼は死人の中から復活したのだ。だから、こんな力が彼の中で働いているのだ。」

3 ヘロデはヨハネを捕まえ、縛り、自分の兄弟ピリポの妻、ヘロデヤのためにヨハネを牢に入れたからである。

4 これはヨハネがヘロデに、「あなたが彼女を所有するのは律法に反する。」と言ったからである。

5 また、ヘロデはヨハネを殺したかったが、群衆を恐れていた。群衆はヨハネを預言者として支持していたからである。

6 しかし、ヘロデの誕生日が祝われた時、ヘロデヤの娘は皆の前で踊り、ヘロデを喜ばした。

7 そこで、ヘロデは少女に、願ったものは何でも与えると誓って約束した。

8 それで、母にそそのかされた娘は言った。「ここに、盆に載せた浸礼者のヨハネの首をお与えください。」

9 すると、王は後悔した。しかし、誓いのため、また共に座っている人たちの手前、少女に与えるように命じた。

10 そして、人を遣わし、牢にいるヨハネの首をはねさせた。

11 それで盆に載せられたヨハネの首は持って来られ、少女に与え、そして、少女は母の所に持って行った。

12 そこで、ヨハネの弟子たちがやって来て、ヨハネの死体を持って行き、葬った。そして行って、イエスに知らせた。

13 イエスはこれを聞かれ、お一人でそこを離れ、寂しい所に船で去って行かれた。すると、群衆はこれを聞き、町々から徒歩でイエスについて行った。

14 そして、イエスが出て行かれると、大変な数の群衆をご覧になった。そして、哀れに思われ、彼らの病を治された。

15 さて、夕方になり、弟子たちはイエスの所に来て言った。「ここは寂しい所で、もう遅い時刻ですから、村に行き、食べ物を買うことができるように、群衆を去らせてください。」

16 しかし、イエスは弟子たちに言われた。「彼らは去る必要はありません。あなたがたが群衆に食べ物を与えなさい。」

17 すると、弟子たちはイエスに言った。「我々にはここにパン五個と魚二匹しかありません。」

18 イエスは言われた。「それらをわたしの所に持って来なさい。」

19 それで、イエスは群衆に草の上に座るようにと命じられた。そして、パン五個と魚二匹を手に取り、天を見上げ、

祝福し、パンを裂いて、弟子たちに与えられた。そして、弟子たちは群衆に分け与えた。
20 そして、一人残らず食べ、満腹し、弟子たちは残った食べ物でいっぱいになった十二かごを手にした。
21 さて、食べた人たちは、女と子どもを除いて、およそ男五千人であった。
22 そして、イエスはすぐご自分の弟子たちを船に乗せ、イエスより先に対岸に行かせた。その間にイエスは群衆を去らせた。
23 そして、イエスは群衆を去らせ、祈るためご自身だけで山に登られた。そして夕方になり、そこに一人でおられた。
24 しかし、船はその時海の中ほどで、向かい風のため、波に激しく揺れた。
25 夜の第四時間目①に、イエスは海上を歩いて、弟子たちの所に行かれた。
26 すると、弟子たちはイエスが海上を歩いておられるのを見て、おびえて、言った。「幽霊だ！」そして、恐怖のために叫んだのである。
27 しかし、イエスはすぐ彼らに話しかけ、言われた。「しっかりしなさい。わたしです。恐れてはいけません。」
28 そうすると、ペテロはイエスに答えて言った。「**主**よ、あなたでしたら、水上を歩いてあなたの所に来いと、私に命じてください。」
29 そこで、イエスは言われた。「来なさい。」すると、ペテロは船を降り、イエスの所に行くべく水上を歩いた。
30 しかし、ペテロは強い風を見て、怖くなり、沈み出したので、叫んで言った。「**主**よ、助けてください。」
31 イエスはすぐ手をさし伸ばし、ペテロをつかまえ、彼に言われた。「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか。」
32 そして、二人が船に乗ると、風が凪いだ。
33 船の中にいる弟子たちは来て、イエスを拝み、言った。「まことに、あなたは**神**の**御子息**です。」
34 そして渡り終え、ゲネサレの地に入った。
35 すると、その地の男たちはイエスであると分かり、その周辺のすべての地に人を遣わした。そして、すべての病人をイエスのいる所に連れて

---

25 ① 三時ごろ。

来た。
36 そして、彼らはイエスの衣のへりを触れるだけと執拗に願った。そして、触れた人は誰であれ治された。

15

1 さて、エルサレムから来た律法学者たちとパリサイ派の人たちが、イエスの所に来て言った。
2 「あなたの弟子たちはなぜ、長老たちの伝統をやぶっているのですか。というのは、彼らはパンを食べる時に、手を洗いません。」
3 しかし、イエスは答えて彼らに言われた。「あなたがたも、なぜあなたがたの伝統を理由に、**神**の命令をやぶっているのですか。
4 なぜなら、**神**は命じて言っています。『あなたがたの父と母に敬意を払いなさい。』そして、『父または母の悪口を言う者は、死に至らしめよ。』
5 しかし、あなたがたは言います。『誰でも父または母に、「あなたが私から受けたものは**神**への捧げ物です。」と言うその人は、
6 その人の父または母に決して敬意を払う必要はない。』それで、あなたがたは己の伝統のゆえに、**神**の命令をないがしろにしています。
7 偽善者たちよ。イザヤはあなたがたについて、適切に預言し、こう言っています。
8 『この国民は、口でわたしに近づき、唇でわたしに敬意を払うが、彼らの心はわたしから遠く離れている。
9 そして、この者たちは意味もなくわたしを礼拝して、人間の命令を教理として教える。』」
10 そして、イエスは群衆をご自分の所に呼び、言われた。「聞きなさい、そして理解しなさい。
11 人を汚すのは、口に入ってくるものではなく、人の口から出るもので、これこそが人を汚します。」
12 そうすると、イエスの弟子たちはイエスの所に来て、言った。「パリサイ派の人たちは、この言葉を聞いて、つまずいたのをご存じではないのですか。」
13 しかし、イエスは答えて言われた。「わたしの天の**父**が植えられなかった植物はすべて根から抜き取られてしまいます。
14 彼らはほっておきなさい。彼らは盲目で、盲人たちの指導者です。そしてもし盲人が盲人を導けば、二人とも穴に落ちます。」
15 そこで、ペテロは答えて、イエスに言った。「この例え話を私たちに説明してください。」
16 それで、イエスは言われた。「あなたがたもまだ分かっ

ていないのですか。
17 口に入るすべての物は、腹の中に入り、そして排泄されるのを知らないのですか。
18 しかし、口から出るものは、心から出て来ます。そして、これらは人を汚すのです。
19 悪い思い、殺人、姦淫、性的な罪、盗み、偽証、悪口雑言は心から出るからです。
20 これらのことこそ人を汚すものだが、洗わない手で食べることは、人を汚しません。」
21 その後、イエスはそこを出て、ツロとシドンの国境地方に引き下がられた。
22 すると、見よ。その同じ地方から来た一人のカナンの女が、イエスに叫んで言った。「**主**よ、ダビデの**御子息**よ、私を哀れんでください。私の娘はかわいそうに悪霊に占領されています。」
23 しかし、イエスは一言も答えようとされなかった。それで、彼の弟子たちはイエスの所に来て、懇願して言った。「彼女を去らせてください。なぜなら、私たちについて来て、大声で叫ぶのです。」
24 しかし、イエスは答えて言われた。「わたしはイスラエルの家の消滅した羊たち以外に、遣わされたのではありません。」
25 しかし、女はイエスの所に来て、拝み、言った。「**主**よ、私を助けてください。」
26 しかし、イエスは答えて言われた。「子どもたちのパンを取って、小犬らに投げ与えるのは良くありません。」
27 すると、女は言った。「はい、**主**よ。でも、小犬らも、彼らの主人の食卓から落ちる食べくずを食べます。」
28 その時、イエスは答えて婦人に言われた。「婦人よ、あなたの信仰は偉大です。あなたの望むとおりになるように。」そうすると、彼女の娘はその時点から治った。
29 そして、イエスはそこを去り、ガリラヤの海のへりを行き、山に登り、そこに座られた。
30 すると、多くの群衆は、足のなえた人、盲人、口がきけない人、体に障害のある人、その他大勢の人たちを連れて、イエスの所に来た。彼らはその人たちをイエスの足下に横たえた。イエスは彼らを治された。
31 ろうあ者が話し、体に障害のある人は完全な者となり、足のなえた人は歩き、盲人は見えるようになったのを見て、群衆は驚き、イスラエルの**神**に栄光を捧げた。
32 そこで、イエスはご自分の弟子たちを呼び寄せて、言われた。「群衆はすでに三日間わたしと共にいます。食べ

物は何も持っていません。だから、わたしは哀れに思います。途中で倒れてしまわないように、空腹のままで、わたしは彼らを去らせたくないからだ。」

33 それで、弟子たちはイエスに言った。「私たちは、この大群衆を満腹させるのに、この荒れ果てた所で十分なパンを手に入れることができるでしょうか。」

34 すると、イエスは弟子たちに言われた。「パンは何個ありますか。」弟子たちは言った。「七個、それから小魚数匹です。」

35 すると、イエスは地面に座るよう、群衆に命じられた。

36 そして、イエスはパン七個と魚を手に取り、感謝をささげ、それらを裂き、ご自分の弟子たちに与えられた。そして、弟子たちは群衆に与えた。

37 そこで、みんなは食べ、満腹した。そして、食べ残しでいっぱいになった七個の大きなかごを弟子たちは手にした。

38 さて、食べた人たちは、女と子どもを除いて、四千人の男であった。

39 そして、イエスは群衆を去らせ、船に乗り、マグダラの近郊に行かれた。

16

1 さて、パリサイ派の人たちとサドカイ派の人たちがやって来て、イエスを試して、天からのしるしを見せるように願った。

2 イエスは答えて彼らに言われた。「夕方になると、あなたがたは言います。『空は赤いから、晴れだ。』

3 また朝、あなたがたは言います。『空は赤くて不安だ。今日の天気は悪い。』偽善者たちよ。あなたがたは空の表情を判断する力がありながら、時代のしるしを判断する力がありません。

4 悪と姦淫の世代はしるしを求めるが、預言者ヨナのしるし以外、しるしは与えられません。」イエスは彼らと別れ、去って行かれた。

5 さて、イエスの弟子たちは対岸に来て見ると、なんと、パンを持って来るのを忘れていた。

6 そこで、イエスは彼らに言われた。「注意しなさい。パリサイ派とサドカイ派の者たちのパン種には気をつけなさい。」

7 そこで、弟子たちは自分たちだけで話し合い、言った。「私たちがパンを持って来なかったからだ。」

8 しかし、イエスはこのことに気づかれ、彼らに言われた。「信仰の薄い者たちよ、パンを持って来なかったことを、なぜあなたがただけで議論しているのですか。

9 五千人の五個のパン、それと何かごのパンを手にしたのか、まだ分からず、記憶にもうないのですか。

10 また、四千人の七個のパンと、大きなかごをいくつ手にしたのですか。 **11** 一体どうしてわたしの言うことが分からないのですか。パンのことをわたしは話したのではありません。パリサイ派とサドカイ派の者たちのパン種に注意しなさい、と言っただけなのです。」 **12** それで、パン種のことではなく、パリサイ派とサドカイ派の者たちの教理に注意しなさいと、イエスは言われたのであると分かった。

13 さて、ピリポ・カイザリヤの地に入られ、イエスは弟子たちに尋ね、言われた。「人々は、人の**子**であるわたしのことを、何者だと言っているのですか。」 **14** そこで弟子たちは言った。「浸礼者のヨハネだと言う人たちもいるし、エリヤと言う人たちもいるし、エレミヤとか預言者の一人だと言う人たちもいます。」 **15** イエスは弟子たちに言われた。「しかし、あなたがたはわたしを何者だと言うのですか。」 **16** シモン・ペテロは答えて言った。「あなたはあのキリストであり、生ける**神**の**御子息**です。」 **17** そして、イエスは答えて彼に言われた。「シモン・バル・ヨナよ、あなたは祝福されています。肉と血の者ではなく、天におられるわたしの**父**はこれをあなたに啓示されたからです。 **18** それで、わたしはあなたに言います。あなたはペテロ①で、わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。そして、地獄の門はそれに打ち勝つことができません。 **19** そして、わたしはあなたに天の王国の鍵を与えます。それで、あなたが地上で結んだものは、何でも天国でも、もう結ばれ、地上で解くものは天国でもう解かれました。」 **20** その時、イエスは弟子たちに、ご自分がキリストであるイエスだと、誰にも言わないように命じられた。

21 イエスはご自分がエルサレムに行き、長老たちと大祭司たちと律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、三日後に復活しなければならないと、この時から、弟子たちに示し始められた。 **22** そして、ペテロはイエスを脇に来て頂き、非難しだし、言った。「**主**よ、哀れみがあなたにあ

---

18 ① ペテロとは、「石」という意味である。

りますように。そんなことは決してあなたにおきません。」

23 しかし、イエスは振り向いて、ペテロに言われた。「サタン①よ、わたしの後ろに行け。あなたは**神**のことを考えず、人間のことを考えているから、わたしの妨害者です。」

24 ついで、イエスは弟子たちに言われた。「もし誰であれわたしの後について来たいのなら、自らを否定し、自らの十字架を担い、そしてわたしに従いなさい。

25 誰であれ、自らの命を救おうとする者は、命を失うが、誰であれ、わたしのために命を失う者は、命を見いだすからです。

26 なぜなら、もし全世界を獲得しても、自らのたましいを損じるなら、何の利益になりましょうか。あるいは、自らのたましいを、人は何と交換し得ましょうか。

27 なぜなら、人の**子**は将来、御使いたちと共に、自らの**父**の栄光のうちに来ます。そして、その時彼はそれぞれの人に、各自の行ないに応じて報いを与えます。

28 まことにわたしはあなたがたに言います。ここに立っている人たちの中で、人の**子**が彼の王国と共に来るのを見るまで、死を決して味わわない人たちがいます。」

17

1 さて、六日後、イエスはペテロとヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れ、高い山に登って行かれた。

2 そしてイエスは彼らの前で御姿を変えられた。御顔は太陽のように輝き、衣服は光のように白くなった。

3 そして、見よ。モーセとエリヤは彼らに現れ、イエスと話をしていた。

4 そこで、ペテロは答えてイエスに言った。「**主**よ、ここにいることは、私たちには、嬉しいことです。ご希望なら、私たちはここに三つの天幕を作りましょう。一つをあなたのため、一つをモーセのため、一つをエリヤのためにです。」

5 ペテロがまだ話している間に、見よ、明るく輝く雲が皆を覆った。そして、見よ、その雲の中からの声が言われた。「これはわたしの愛しい**息**

---

23 ① サタンの意味は「敵」である。

子である。わたしは息**子**を喜ぶ。息**子**に耳を傾けよ。」

6 弟子たちはそれを聞くと、ひれ伏し、恐怖にかられた。

7 しかし、イエスは近づいて来て、彼らに触れ、言われた。「立ち上がりなさい。恐がってはいけません。」

8 そして、目を上げて見ると、イエスのほか、誰一人として人は見かけなかった。

9 さて、イエス一行が山を下りている時、イエスは彼らに命じて言われた。「人の**子**が死人たちの中から復活するまで、見た光景を誰にも話してはいけません。」

10 それで、弟子たちはイエスに尋ねて言った。「では、なぜ律法学者たちは、エリヤは先に来なければならない、と言っているのですか。」

11 しかし、イエスは答えて弟子たちに言われた。「エリヤは間違いなくまず先に来て、すべてのものを元の状態に戻します。

12 しかし、わたしはあなたがたに言います。エリヤはもう来たが、人々はエリヤが分からず、勝手気ままにエリヤを扱いました。それで、人の**子**が彼らの手で苦しむ時が同様に来ます。」

13 それで、弟子たちは、イエスが彼らに浸礼者のヨハネのことを言われたと分かった。

14 さて、彼らが群衆の所に行った時、ある男がイエスの所に来て、御前にひざまずいて言った。

15 「**主**よ、私の息子はてんかんで、よく火の中や水の中へ倒れます。とても辛い経験をしています。ですから、息子を哀れんでください。

16 それで、私は息子をあなたの弟子たちの所に連れて来ましたが、弟子たちは治すことができませんでした。」

17 それでイエスは答えて言われた。「信仰のない、歪んだ世代の人たちよ、わたしはいつまで、あなたがたと共にいられようか。いつまで我慢するのか。その子をわたしの所に連れて来なさい。」

18 そして、イエスは悪霊を叱り付け、悪霊は子どもから出て、子どもはその時点から治された。

19 それで、弟子たちはひそかにイエスの所に来て言った。「私たちはなぜ悪霊を追い出せなかったのですか。」

20 イエスは彼らに言われた。「あなたがたの不信仰のためです。従って、まことにわたしはあなたがたに言います。もしあなたがたに、からし種一粒ほどの信仰があれば、あなたがたはこの山に、『ここから向こうに移動せよ。』と言えば、山は移動します。そして、あなたがたに不可能なことは何もありません。

21 しかし、この種のものは、祈りと断食なしには、出て

行きません。」

22 さて、弟子たちがガリラヤに滞在していた時、イエスは弟子たちに言われた。「人の**子**は今に、裏切られ、人々の手に渡されます。

23 そして、人々は人の**子**を殺します。そして、人の**子**は第三日目に復活します。」それで、弟子たちは非常に悲しんだ。

24 さて、彼らがカペナウムに入った時、二ドラクマ①を受け取る人たちがペテロの所に来て、言った。「あなたがたの先生は、二ドラクマを払わないのですか。」

25 ペテロは「払います。」と言った。そして、ペテロは家に入った時、イエスは彼の先手を打って、言われた。「シモンよ、どう思いますか。地上の王たちは、誰から関税や税金を受け取りますか。自分の息子たちからですか、他人からですか。」

26 ペテロはイエスに言った。「他人からです。」イエスはペテロに教えられた。「では、息子たちはかかわりがありません。

27 しかし、彼らにつまずきを与えないように、海に行って、つり針を投げ入れ、最初に上がって来た魚を取りなさい。そして、その魚の口をあけると、一枚のスタテルのコインがあります。それを取って、わたしとあなたに代わって彼らに与えなさい。」

18

1 その時、弟子たちはイエスの所に来て、言った。「では、天の王国では、誰が一番偉いのですか。」

2 そうすると、イエスは一人の幼児を呼び寄せ、弟子たちの中央に立たせ、

3 言われた。「まことにあなたがたに言います。あなたがたは回心し、幼児のようにならなければ、決して天の王国に入ることはありません。

4 したがって、この幼児のように、誰であれ自らへりくだる人が、天の王国ではもっとも偉い人です。

5 そして、このような幼児の一人を、わたしの名によって受け入れる者は、誰でもわたしを受け入れたことになります。

6 でも、わたしを信じるこの小さき者の一人を、つまずかせる者は誰であれ、石臼を首にぶら下げられて、海の深みに沈められた方がましです。

---

24 ① 神殿の税金。

7 つまずきがあるから、災いは世界に来ます。なぜなら、つまずきは必ず来るけれど、つまずきを来させる人に災いが来るからです。 **8** しかし、もしあなたの手または足があなたをつまずかせるなら、切り落としなさい。両手両足そろって、永遠の火の中に投げ込まれるより、両足が不自由、あるいは両手が不自由のままで、命に入る方が、あなたにとって優っています。 **9** また、もしあなたの目の一つがあなたをつまずかせるなら、それをえぐり出し捨てなさい。両目そろって、地獄の火に投げ込まれるより、あなたにとって、片目で、命に入る方が優っています。

10 この小さき者たちの一人も、侮らないように気をつけなさい。なぜなら、あなたがたに言います。天国で彼らの御使いたちは、天国にいるわたしの**父**の顔をいつも見ています。 **11** 人の**子**は、失われた人を救うために来たからです。 **12** あなたがたはどう思いますか。もし百頭の羊を持っている一人の男が、その中の一頭が帰る道を失えば、九十九頭の羊を残し、帰る道を失った一頭を探しに、山へ行くではありませんか。 **13** また、まことにあなたがたに言います。もしその一頭を見つければ、迷わなかった九十九頭より、彼はその一頭を喜びます。 **14** このように、この小さき者たちの一人でも滅びることは、あなたがたの天国におられる**父**のご意志ではありません。

15 また、もしあなたの兄弟があなたに対して罪を犯せば、行って、彼とあなたの間だけで、兄弟の非を認めさせなさい。もし彼があなたの言うことを聞けば、あなたは兄弟を獲得したことになります。 **16** しかし、もし彼が聞いてくれなければ、すべての言葉は、二人か三人の証人の口によって立証できるよう、もう一人か二人をあなたと共に連れて行きなさい。 **17** それでも、もし彼が証人たちを拒否すれば、教会に話しなさい。しかし、もし彼が教会も拒否すれば、あなたにとって異教徒、そして収税人のように扱いなさい。 **18** わたしはまことにあなたがたに言います。あなたがたが何かを地上で結ぶなら、それは何であれ、天国でもう結ばれました。そしてもしあなたがたが何かを地上でほどくなら、それは何であれ天国でほどかれます。 **19** また、わたしはあなたがたに言います。あなたがたの中の二人が、何の願い事であれ、地上で同意すれば、それは天国にいるわたしの**父**が彼らのためにそうされます。 **20** わたしの名において二人もしくは三人集まる所に、わ

たしは彼らの真ん中にいるからです。」

21 その時、ペテロはイエスの所に来て、言った。「**主**よ、私の兄弟が私に対して罪を犯したら、私は何度彼を赦すべきですか。七度までですか。」

22 イエスは彼に言われた。「わたしはあなたに七度までと言わず、七度を七十倍するまでと言います。

23 このため、天の王国は、自分の僕たちと決済を求めた一人の王のようです。

24 王が決済を始めた時、一万タラント①の債務がある一人の僕が王の所に連れて来られました。

25 しかし、その僕は支払いができなかったので、彼は妻と子どもとすべての持ち物を売って支払うようにと、僕の主人が命じました。

26 そうすると、僕は主人の前に伏して、哀願して言いました。『ご主人様、ご勘弁ください。全額お支払いいたします。』

27 それで、その僕の主人は哀れんで、彼を解き、債務をゆるしました。

28 しかし、その僕は出て行って、百デナリ①を貸してある僕の仲間の一人を見つけ、その僕を捕まえ、彼の首を絞めて、言った。『貸した金を、全額払え。』

29 そうすると、その僕の仲間は彼の足下に伏して、懇願して言いました。『ご勘弁ください。全額お支払いいたします。』

30 しかし、彼はそのつもりがなく、行って、仲間の僕がすべての借りを払い終わるまで、牢獄に投げ入れました。

31 しかし、僕の仲間たちはその僕がした事を見ると、とても悲しみ、彼らの主人の所に行き、一部始終を述べました。

32 そこで、僕の主人は彼を呼びよせて、言いました。『悪い僕よ。お前は懇願したから、私はあの借金を全部ゆるした。

33 私がお前を哀れんだように、お前もお前の仲間の僕を哀れむべきではなかったのか。』

34 そうして、彼の主人は腹を立て、すべての借りを払うまで、彼を拷問役に引き渡しました。

35 だから、もしあなたがた一人一人、心よりあなたがたの兄弟の悪行を赦さなければ、天にいるわたしの**父**も同じ事をあなたがたにします。」

---

24 ① これはものすごい大金であった。

28 ① ローマ帝国の銀貨。一デナリは一般労働者の一日分の賃金。

19

1 さて、ことの次第はこうであった。イエスはこれらの話を終えられ、ガリラヤを離れ、ヨルダンの対岸、ユダヤの地方に行かれると、**2** 大勢の群衆がイエスについて来たので、イエスはそこで彼らを治された。

3 パリサイ派の人たちもイエスの所に進み出て、イエスを試し、言った。「男がどんな理由でも、妻を離婚することは合法ですか。」

4 しかし、イエスは答えて彼らに言われた。「人間を造った方は、最初から『人間を男と女として造った。』と読んだことがないのですか。**5** そして、言われた。『このため、男は父と母を離れ、妻と結ばれる。そして、この二人は一つの肉体になる。』**6** したがって、もう二人ではなく、一体です。それで、**神**が結ばれたものを、人が離してはいけません。」

7 彼らはイエスに言った。「では、モーセはなぜ離縁状を与え、彼女を去らせよ、と命じましたか。」

8 イエスは彼らに言われた。「あなたがたの心のかたくなさのため、モーセはあなたがたの妻たちを離婚することを許しました。しかし、最初からはそうではありませんでした。**9** そこで、わたしはあなたがたに言います。性的な罪以外で、自分の妻を離婚して、他の女と結婚する男は、姦通を犯します。また、離婚された女と再婚する者も、姦通を犯します。」

10 弟子たちは彼に言った。「男と妻の関係がもしそういうものならば、結婚しない方がましです。」

11 しかし、イエスは彼らに言われた。「すべての人がこの言葉を受け入れるわけではありません。ただ、それを与えられた人たちだけです。**12** 母の胎内からそう生まれた宦官もいれば、人たちに強制されて宦官になった人もいるし、天の王国のために、自ら宦官になった人もいるからです。これを受け入れることができる人は、受け入れなさい。」

13 その時、イエスに手を触れて祈っていただくために、人たちが幼い子どもたちをイエスの所に連れて来た。しかし、弟子たちはその人たちをたしなめた。**14** それでイエスは言われた。「幼い子どもたちを許し、わたしの所に来させなさい。さまたげてはいけません。天の王国は、このような者たちの所だからです。」**15** そして、イエスは子どもたちに手を置き、その場から去って行かれた。

16 さて、見よ、一人の男がイエスの所に来て、イエスに言った。「よい**先生**よ、私が永遠の命を受け継ぐには、どんなよいことをすればよいのでしょうか。」**17** そうすると、イエスはその男に言われた。「あなたはなぜわたしを『よい』と言うのですか。**神**一人以外、誰もよい人はいません。しかし、もしあなたが命に入りたいなら、命令を守りなさい。」**18** 彼はイエスに言った。「どの命令ですか。」イエスは彼に言われた。「『殺人を犯してはいけない。姦淫をしてはいけない。窃盗をしてはいけない。偽証をしてはいけない。**19** あなたの父と母に敬意をはらいなさい。』そして、『あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい。』」**20** 若者はイエスに言った。「私はこれらすべてを青年時代から守ってきています。私のまだ足りないことは、何ですか。」**21** イエスは男に言われた。「もしあなたが完全になりたいなら、自分の持ち物を売り、貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、あなたは天国で宝を手にします。そして来て、わたしに従いなさい。」**22** しかし、若者はその言葉を聞き、悲しみながら帰った。彼には多くの富があったからである。**23** その時、イエスはご自分の弟子たちに言われた。「まことに、わたしはあなたがたに言います。金持ちが天の王国に入るのは難しいことです。**24** わたしは改めてあなたがたに言います。金持ちが**神**の王国に入るより、らくだが針の穴を通る方が簡単です。」**25** イエスの弟子たちはこれを聞いて、驚愕していて、言った。「では、誰が救われることができましょうか。」**26** しかし、イエスは弟子たちをご覧になり、言われた。「人間には不可能ですが、**神**にとってすべては可能です。」**27** それで、ペテロは答えてイエスに言った。「ご覧下さい。私たちはすべてを捨て、あなたに従って来ました。それで、私たちはどうなるのでしょうか。」**28** イエスは彼らに言われた。「まことに、わたしはあなたがたに言います。人の**子**は自分の栄光の王座につく再生の時、わたしに従って来たあなたがたも、十二の座について、イスラエルの十二部族を裁きます。**29** そして、家、兄弟、姉妹、父、母、妻、子ども、土地をわたしの名のため、捨てて来たその者たちすべては、その百倍を受けて、永遠の命を相続します。**30** しかし、最初である大勢の人たちは最後になり、最後の人たちは最初になります。」

20

1「なぜなら、天の王国は、自分のぶどう園のために労働者を雇いに、朝早く出かけたある家の主人のようです。
2 そこで、主人は労働者たちと一日一デナリで合意し、彼らを自分のぶどう園へ送りました。
3 第三時間目①ごろ、主人は出かけ、市場に立って何もしていない人たちを見ました。
4 そして、彼らに言いました。『あなたたちもぶどう園に行きなさい。そうすれば私は正当な額を払う。』それで彼らは行きました。
5 彼はまた、第六時間目①と九時間目②ごろに出かけて、同じようにしました。
6 そして、第十一時間目①ごろ、彼は出かけ、市場で何もせず立っている他の人たちを見つけて、彼らに言いました。『何であなたたちは一日中ここに何もせず立っているのか。』
7 彼らは主人に言いました。『誰も雇ってくれなかったからだ。』彼は彼らに言いました。『あなたたちもぶどう園に行きなさい。そして、正当な額を受けとれる。』
8 そうして、夕方になり、ぶどう園の主人はその現場監督に言いました。『労働者を呼び、最後の者から最初の者に、報酬を与えなさい。』
9 それで、第十一時間目①に雇われた人たちが来て、一人一人、一デナリをもらった。
10 しかし、最初の人たちが来ると、もっともらえると思ったが、彼らも同じく一デナリずつもらいました。
11 しかし、それを受けとった人たちは、主人に苦情を言いました。
12『この最後の人たちは一時間しか働かなかったのに、今日の重荷や暑さに耐えた我々と、彼らをあなたは同じに扱った。』と言いました。
13 すると、主人はその中の一人に答えて言いました。『仲間よ、私はあなたに悪いことはしていない。私と一デナリの合意をしなかったのか。
14 自分のものを持って行きなさい。この最後の人に同じ賃金を私は与えたいのだ。
15 私のもので、私のしたいことをするのは合法でないのか。それとも、私は善だから、あなたの目はよこしまなのか。』

---

3 ① 午前九時。
5 ① 正午。 ② 午後三時。
6 ① 午後五時。
9 ① 午後五時。

16 このように、最後の人たちが最初になり、最初の人たちが最後になります。招かれる人は多いが、選ばれる人は少ないからです。」

17 さて、イエスはエルサレムに上る途中、自分たちだけで道ばたに寄せ、十二弟子たちに言われた。

18 「見よ、わたしたちはエルサレムに上り、人の**子**は祭司長たちと律法学者たちに裏切られ、その者たちは人の**子**を死に定め、

19 異邦人は人の**子**をあざけり、鞭打ち、十字架刑にするため、彼を異邦人に渡します。そして、人の**子**は三日目に復活します。」

20 その時、ゼベダイの息子の母が、彼女の息子たちと共にイエスの所に来て、ひざまずき、イエスに何事かを願った。

21 そこで、イエスは彼女に言われた。「あなたは何を願うのですか。」彼女はイエスに言った。「私のこの二人の息子を、あなたの王国で、一人はあなたの右に、もう一人はあなたの左に、座れますようお願いします。」

22 しかし、イエスは答えて言われた。「あなたがたは何を願っているのか自分でも理解していません。わたしが飲むカップを飲み、わたしの受けようとしている浸しを受けることができるのですか。」二人はイエスに言った。「私たちはできます。」

23 それで、イエスは彼らに言われた。「あなたがたはまことにわたしのカップを飲み、わたしの受ける浸しを受けます。しかし、わたしの右とわたしの左に座ることは、わたしが与えることではなく、それはわたしの**父**によって準備されたもので、定められた人たちのためです。」

24 そうすると、残りの十人はそれを聞き、二人の兄弟にとても腹を立てた。

25 しかし、イエスは弟子たちをご自分の所に呼び寄せて、言われた。「異邦人の支配者たちは、異邦人の上に君臨する、また偉い者たちは、異邦人の上に権力を振るうことを、あなたがたは知っています。

26 しかし、あなたがたの間ではそうはなりません。かえって、あなたがたの間では、大物になりたい人は、あなたがたの中の僕になりなさい。

27 そして、誰であれあなたがたの間で一番になりたい人は、まずあなたがたの奴隷になりなさい。

28 それと同じように、人の**子**は、仕えてもらうために来たのではなく、仕えるため、そして、自分の命を大勢の人のために身代金として、与えるために来たのです。」

29 さて、彼らがエリコを出た時、大群衆がイエスについ

て行った。

30 すると、見よ、二人の盲目の男が道ばたに座って、イエスが通りかかっておられるのを聞き、叫んで言った。「**主**よ、ダビデの**御子息**よ、私たちを哀れんでください。」 **31** そこで、群衆は二人が静かにするよう警告したが、二人はさらに叫んで言った。「**主**よ、ダビデの**御子息**よ、私たちを哀れんでください。」 **32** それでイエスは立ち止まり、盲人たちを呼び、言われた。「あなたがたのため、わたしに何をしてほしいのですか。」 **33** 二人はイエスに言った。「**主**よ、私たちの目が開かれますように。」 **34** それで、イエスは盲人たちに同情し、彼らの目を触れられた。すると、たちどころに彼らの目は見えるようになった。そして彼らはイエスに従った。

21

1 さて、イエス一行はエルサレムの近くに行って、ベテパゲに入り、オリーブ山まで来た。そこでイエスは二人の弟子を遣わされ、 **2** 二人に言われた。「向こう側の村に行きなさい。そうすると、あなたがたは繋がれているロバとそのロバの子をすぐ見つけます。解いてわたしの所に連れて来なさい。 **3** もし誰かがあなたがたに何か言えば、『**主**がこれらを必要としているからです。』と言いなさい。すると、その人はすぐロバを送ってくれます。」 **4** これらすべては、預言者を通して言われた言葉が成就されるために起こった。すなわち、 **5** 「シオンの娘に言いなさい。『見よ、あなたの**王**は、優しく、ロバに、すなわち荷を負うロバの子に乗って来る。』」 **6** それで、弟子たちは出かけ、イエスが彼らに命じられた通りにした。 **7** 二人の弟子はロバとロバの子を連れて来て、その上に自分たちの服を敷き、イエスをその上に乗っていただいた。 **8** そして、多くの群衆は彼らの服を道に広げ、また他の人たちは木から枝を切って、道に敷いた。 **9** すると、先に行った群衆と後からついて来た群衆が叫び、言っていた。「ダビデの**御子息**に、

ホサナ①。**主**の御名により来られる方に、祝福あれ。最高位のホサナよ。」

10 そして、イエスがエルサレムに入られた時、町中は動転し、言った。「これは何者か。」

11 それで群衆は言った。「これこそが、ガリラヤのナザレ出身の預言者イエスです。」

12 そこで、イエスは**神**の神殿の敷地に入り、神殿の敷地で売り買いしているすべての者たちを追い出され、また、イエスは両替人たちの卓と、鳩を売る者たちの床几をひっくり返された。

13 そして、イエスは商売人たちに言われた。「『わたしの家は祈りの家と呼ばれる。』と書いてあります。しかし、あなたがたはわたしの家を強盗の巣窟にしてしまった。」

14 すると、神殿の敷地で、盲人や足の不自由な人たちが、イエスの所に来たので、イエスは彼らを治された。

15 しかし、大祭司たちや律法学者たちは、イエスのなさるすばらしい業を、また、神殿の敷地内で、「ダビデの**御子息**にホサナ」と叫ぶ子どもたちを見ると、彼らは怒り、

16 そして、イエスに言った。「この者たちが何と言っているか聞いているか。」イエスは彼らに言われた。「しかり。あなたがたは読んだことがないのですか。『あなたは赤子や乳飲み子の口から出る賛美を、全うされた。』」

17 それから、イエスは彼らから離れ、町を出、ベタニヤに行き、そこに滞在された。

18 さて、朝になり、イエスは町へ帰られると、空腹であったので、

19 道端のイチジクの木をご覧になり、その木に行かれたが、探せば葉のほか、木に何も見あたらなかったので、イエスはその木に言われた。「今後お前は二度と果実が実らないように。」するとイチジクの木はたちどころに枯れてしまった。

20 すると、弟子たちはそれを見て、驚いて言った。「イチジクの木はどうして急に枯れてしまったのですか。」

21 イエスは答えて弟子たちに言われた。「まことにわたしはあなたがたに言います。もしあなたがたは信仰をもって、疑うことがなければ、このイチジクの木にされたしるしと同じことをする

---

9 ① ユダヤ人が礼拝のため使う言葉、ヘブル語で、「お救いください」という意味である。

だけではなく、あなたがたはこの山に、『移動せよ、そして、海に投げ込まれよ。』と言えば、それは実現します。

22 そして、あなたがたは信じて祈れば、何であれ願うものを頂けます。」

23 さて、イエスは神殿の敷地に入られた時、大祭司や国民の長老たちが、教えておられたイエスの所に来て、言った。「お前は何の権威によってこれらのことを行なっているのか。そして、その権威を誰がお前に与えたのか。」

24 すると、イエスは答えて彼らに言われた。「わたしもあなたがたに一つ尋ねましょう。どれかとわたしに教えてくれれば、わたしも、何の権威によってこれらのことを行なうのかを教えましょう。

25 ヨハネの浸礼は、どこからでしたか。天からでしたか、それとも人間からでしたか。」大祭司たちと長老たちは自分たちの間で互いに言い合った。「もし我々が『天から』と言えば、イエスは、『それでは、あなたがたはなぜヨハネを信じなかったのか。』と私たちに言う。

26 そして、もし我々が、『人間から』と言えば、我々は群衆を恐れている。群衆は皆、ヨハネを預言者として認めているからだ。」

27 それで、彼らはイエスに答えて言った。「我々は知らない。」それで、イエスは彼らに言われた。「わたしも、何の権威によってこれらのことを行なうかを、言いません。

28 しかし、あなたがたはどう思いますか。ある男に二人の息子がいました。そして彼は長男の所に行って、言いました。『息子よ、今日私のぶどう園に行って、働いてくれ。』

29 それで、長男は、『行きたくない。』と答えて言ったが、あとで後悔して行きました。

30 次いで、次男の所に行って、同じように言いました。次男は、『主よ、ぼくは行きます。』と答えて言ったが、行きませんでした。

31 二人のうち、どちらが父の心を行ないましたか。」彼らはイエスに言った。「長男です。」イエスは彼らに言われた。「まことにわたしはあなたがたに言います。収税人や売春婦があなたがたより先に**神**の王国に入ります。

32 なぜなら、ヨハネは義の道であなたがたの所に来たが、あなたがたは彼を信じませんでした。しかし、収税人や売春婦はヨハネを信じたが、あなたがたはそれを見ても、最後まで悔い改めもせず、ヨハネを信じることがなかったからです。

33 例え話をもう一つ聞きなさい。ある男がいました。一家の主人で、ぶどう園を植え、ぶどう園を作り、その周り

に垣を作り、またその中に穴を掘り、ぶどうしぼり器を置き、塔を建てました。そして、彼は農夫たちに賃貸して、遠く旅に出ました。

34 さて、収穫時期が近くなった時、ぶどう園の収穫を受け取るために、主人は僕たちを農夫たちに派遣しました。

35 農夫たちは彼の僕たちを捕らえ、一人を何度も殴り、もう一人を殺し、もう一人も石を投げつけました。

36 再び彼は最初より多くの他の僕たちを農夫たちに派遣したが、彼らは同じようにあつかいました。

37 そこで、主人は最後に自分の息子を遣わし、言いました。『農夫らは息子なら敬意を払ってくれる。』

38 しかし、農夫たちは息子を見た時、互いに言いました。『奴は相続人だ。さあ来い、奴を殺して、相続する財産を取ろう。』

39 そこで、農夫たちは息子を捕らえ、ぶどう園から放り出し、そして殺しました。

40 それで、ぶどう園の主人が来ると、この農夫たちをどうしますか。」

41 彼らはイエスに言った。「主人はその悪い者たちを情け容赦なく殺し、季節になると成果を主人に返す他の農夫たちに、ぶどう園を貸します。」

42 イエスは彼らに言われた。「あなたがたは聖書で読んだことがないのですか。『建築家たちが拒んだ石こそが、礎になった。これは**主**がなさったことで、私たちの目には、驚異である。』

43 そのためにわたしはあなたがたに言います。**神**の王国はあなたがたから取り上げられ、その実を結ぶ国に与えられます。

44 そして、この石の上に落ちる者は誰であれ破壊されるが、この石が上に落ち、下になった者は、石はその者を粉砕してしまいます。」

45 それで、イエスの例え話を聞いた時、大祭司たちやパリサイ派の人たちは、イエスは自分たちのことを話していると彼らが分かった。

46 しかし、大祭司たちとパリサイ派の人たちはイエスを捕らえようとしたが、群衆を恐れた。群衆はイエスを預言者として認めていたからである。

22

1 さて、イエスは答え、また彼らに例え話で話された。そして、言われた。

2 「天の王国は、息子のために結婚式を設けたとある王のようです。

3 招かれた人たちを結婚式に呼ぶため、王は僕たちを派

遣したが、招かれた人たちは行きたくありませんでした。
4 もう一度、王は別の僕たちを派遣して言いました。『招かれた人たちに言いなさい。「さあ、私が自ら正餐を準備した。私の雄牛も太らせた家畜も屠殺され、すべてのものは用意されている。結婚式に来なさい。」』
5 しかし、招かれた人たちはこれを無視しました。ある男は畑に、ある男は商売にと、それぞれの道を行きました。
6 残りの男たちは王の僕たちを捕まえ、恥をかかせ、そして殺害しました。
7 それで、王はそれを聞いて、激怒し、彼の軍隊を派遣し、その殺人者たちを壊滅し、彼らの町を焼き尽くしました。
8 そして、王は自分の僕たちに言いました。『結婚式は準備ができたが、招かれた者たちはふさわしくなかった。
9 それで、大通りに出て行き、出合った人を全員、結婚式に招け。』
10 そこで、その僕たちは道に出て行き、善人でも悪人でも、出会った人たちを集めたので、結婚式場は食事をする招待客で満たされました。
11 しかし、王は招待客を見に入って来た時、そこに結婚式の衣を着ていない男を見かけ、
12 その男に言いました。『友よ、お前はなぜ結婚式の衣を着ないでここに入って来たのか。』しかし、彼は無言でした。
13 その時、王は僕たちに言いました。『この者の手足を縛り、運んで行き、外の暗闇の中に投げよ。そこは泣き、歯をかみならす所だ。
14 招かれる人は多いが、選ばれる人は少ないからだ。』」
15 その時、パリサイ派の人たちは行って、どうすればイエスの言葉でイエスを絡めとることができるかと計画を立てた。
16 パリサイ派の人たちは自分たちの弟子たちを、ヘロデ党の人たちと共に、イエスの所に送り、言わせた。「**先生**、あなたは真であり、また真理によって**神**の道を教えていることを、我々は知っています。そして、あなたは人の顔色を見ないから、あなたはえこひいきはしません。
17 ですから、あなたの考えていることを教えてください。カイザルに税金を納めることは、律法に叶っているでしょうか。叶っていないでしょうか。」
18 しかし、イエスは彼らの悪意を知り、言われた。「偽善者たちよ、なぜわたしを試すのか。
19 税用の硬貨を一枚わたしに見せなさい。」それで、彼らはイエスにデナリ一個をもって来ると、
20 イエスは彼らに言われた。「これは誰の像と銘ですか。」
21 彼らはイエスに言った。「カイザルのです。」それで、

イエスは彼らに言われた。「それでは、カイザルのものはカイザルに返し、**神**のものは**神**に返しなさい。」
22 この言葉を聞き、彼らは驚き、イエスを離れ、去って行った。
23 その同じ日、復活がないと言うサドカイ派の人たちはイエスの所に来て、尋ね、
24 そして、言った。「**先生**、もし男が子どもがなく死ねば、その男の兄弟はその妻と結婚して、兄弟のために子孫を上げよ、とモーセは言いました。
25 では、私たちの仲間に、七人兄弟がいました。そして、長男は妻をめとり、跡継ぎがないまま、死に、妻を兄弟に残しました。
26 そして次男も、三男も、七人目さえそうなりました。
27 最後にその女も死にました。
28 それで、復活の時、この女はその七人の中、誰の妻になるのですか。なぜなら、七人ともこの女をめとったからです。」
29 しかし、イエスは答えてサドカイ派の人たちに言われた。「聖書も**神**の力も分かっていないから、あなたがたは間違っています。
30 復活の時、彼らは、めとったり、嫁がされたりせず、天国にいる**神**の御使いたちに似ているからです。
31 それに、死人の復活については、**神**により、あなたがたに言われたことを、読んだことがないのですか。**神**は言われています。
32 『わたしはアブラハムの**神**、イサクの**神**、ヤコブの**神**である。』**神**は死人の**神**ではなく、生きている者の**神**です。」
33 それで、群衆はこれを聞き、イエスの教えに驚嘆していた。
34 しかし、パリサイ派の人たちがサドカイ派の人たちを黙らせたと聞いて、イエスの所に共に集まった。
35 そこで、その中の律法の専門家の一人が、イエスを試して、尋ねて言った。
36 「**先生**、律法の中で、偉大な命令はどれですか。」
37 イエスは彼に言われた。「『あなたは、心のすべてを尽くし、たましいのすべてを尽くし、知力のすべてを尽くし、あなたの**神**であられる**主**を愛しなさい。』
38 これが第一であり、また偉大な命令です。
39 そして、第二の命令はこれに似ています。『あなたの隣人を、あなた自身のように愛しなさい。』
40 律法と預言者のすべては、この二つの命令にかかっています。」
41 パリサイ派の人たちが集まっている間に、イエスは彼らに尋ねられ、

42 言われた。「キリストについてあなたがたはどう考えていますか。キリストは誰の息子でしょうか。」彼らはイエスに言った。「ダビデの**息子**です。」
43 イエスは彼らに言われた。「それでは、ダビデはどういう理由で、霊によってキリストを『**主**』と呼ぶのですか。ダビデは言っています。
44 『**主**は私の**主**に言われた。「わたしがあなたの敵をあなたの足台にするまで、わたしの右に座りなさい。」』
45 もしダビデがキリストを『**主**』と呼んでいるのなら、キリストはどうしてダビデの子息なのでしょうか。」
46 すると、イエスに一言も答えることができる者はいなかった。また、その日から、イエスに尋ねる勇気のある者もいなかった。

23

1 その時、イエスは群衆とご自分の弟子たちに話して、
2 言われた。「律法学者たちとパリサイ派の者たちは、モーセの席に座ります。
3 したがって、彼らが言う、守るべきことは何であっても守り、実行しなさい。しかし、彼らのすることを習ってはいけません。彼らは言うが、実行しないからです。
4 なぜなら、彼らは担いがたい重い荷を縛り、人々の肩に乗せるが、彼ら自身は指一本も使って動かそうともしません。
5 しかし、彼らはすべての行為を人たちに見られるためにします。彼らは聖句箱①を大きくして、衣のふさを長くします。
6 彼らは宴会の最上座、シナゴーグの最高の席、
7 また、市場での挨拶、人々に『ラビ、ラビ』と呼ばれることを好みます。
8 しかし、あなたがたは『ラビ』と呼ばれてはいけません。あなたがたの**師**は一人、つまりキリストで、あなたがたは皆兄弟だからです。
9 そして、地上の誰をもあなたがたの父と呼んではいけません。あなたがたの**父**は一人、すなわち天におられる方だからです。
10 また、師と呼ばれてはいけません。あなたがたの**師**は一人、つまりキリストだからです。

---

5 ① 経札とも言われる。

11 しかし、あなたがたの中でもっとも偉大なのは、あなたがたの僕になります。 **12** そして、誰であれ自らを偉くする人は低くされ、自分を低くする人は偉くされます。 **13** 律法学者たちとパリサイ派の者たち、偽善者たちよ、あなたがたに災いあれ。あなたがたは、天の王国を人たちの前で閉じ、また、自らも入らず、入ろうとする人たちを入らせないからです。 **14** 律法学者たちとパリサイ派の者たちよ、偽善者たちよ、あなたがたに災いあれ。なぜなら、あなたがたは、未亡人たちの家を食い尽くし、また、偽りで長い祈りをします。このため、あなたがたはもっと厳しい裁きを受けます。 **15** 律法学者たちとパリサイ派の者たちよ、偽善者たちよ、あなたがたに災いあれ。なぜなら、一人の改宗者をつくるために、あなたがたは海と地を行き巡ります。そして、改宗者になった人を、あなたがた自身の倍の地獄の息子にするからです。 **16** 目の見えない案内者よ、あなたがたに災いあれ。あなたがたは言う。『神殿をさして誓う者なら、それは何でもない。しかし、神殿の黄金をさして誓う者は、それを負う。』 **17** 愚か者たち、盲人たちよ。黄金か、黄金を聖別する神殿か、どちらが偉大なのか。 **18** また、あなたがたは言う。『もし誰か祭壇をさして誓えば、それは何でもないが、その上にある捧げ物をさして誓う者は、それを負う。』 **19** 愚か者たち、盲人たちよ。捧げ物か、捧げ物を聖別する祭壇か、どちらが偉大か。 **20** それは、祭壇をさして誓う者は、祭壇とその上にあるすべての物をさして誓います。 **21** 神殿をさして誓う者は、神殿とその中に住んでいる**神**をさして誓います。 **22** そして、天国をさして誓う者は、**神**の王座とその座に就いておられる**神**をさして誓います。 **23** 律法学者たちとパリサイ派の者たちよ、偽善者たちよ、あなたがたに災いあれ。なぜなら、あなたがたはハッカ、アニス、クミンの十分の一を捧げるのに、律法のもっと重要なこと、すなわち正義や哀れみや信仰を無視しました。これらは当然なすべきことであり、他の方も無視してはいけないことです。 **24** 目の見えない案内者たちよ。あなたがたはぶよを一匹こして取り、らくだを飲み込みます。 **25** 律法学者たち、パリサイ派の者たち、偽善者たちよ、

あなたがたに災いあれ。なぜなら、あなたがたはカップと皿の外側を清潔にするが、内側は貪欲や自制心の欠如で満たされています。

26 盲目のパリサイ派の者よ、カップや皿の外側を清潔にするには、まずカップや皿の内側を清潔にしなさい。

27 律法学者たち、パリサイ派の者たち、偽善者たちよ、あなたがたに災いあれ。なぜなら、あなたがたは、外側は白い石灰で塗ってある墓にそっくりです。外側は美しく見えるが、内側は死人の骨やすべてが不潔なもので満たされているからです。

28 このように、あなたがたも外面は人たちに正しく見えるが、中は偽善と不法で満たされています。

29 律法学者たち、パリサイ派の者たち、偽善者たちよ、あなたがたに災いあれ。なぜなら、あなたがたは預言者の墓を建て、義人たちの廟を飾り、

30 そして言う。『もし私たちが父祖たちの日に生きていたなら、父祖たちと共に預言者たちの血には関わらなかったでしょう。』

31 このように、あなたがたは預言者たちを殺した者たちの息子らであることを、あなたがた自らが証明しています。

32 それで、あなたがたの父祖たちの秤を満たしなさい。

33 蛇たちよ、マムシの子たちよ。お前たちはどうして地獄の裁きを逃げられようか。

34 それで、見よ、預言者たち、知者たち、律法学者たちを、わたしはあなたがたに遣わすが、あなたがたはその中のある者たちを殺し、十字架につけ、また、ある者たちをあなたがたのシナゴーグでむち打ち、町から町へ追い詰める。

35 それは、あなたがたの上に、地上で流されたすべての正義の血が来るためです。すなわち、正しいアベルの血より、あなたがたが祭壇と神殿の間で殺したバラキヤの息子ザカリヤの血までです。

36 まことにまことに、あなたがたに言います。これらすべてのことはこの世代の者の頭上に来ます。

37 エルサレム、エルサレムよ、預言者たちを殺し、あなたに遣わされた人たちを石投げの刑に処す者よ、めん鶏がひなを翼の下に集めるように、わたしは何度もあなたの子らを集めようとしたが、あなたがたは望まなかった。

38 見よ、あなたがたの家は、荒れ果ててあなたがたに残る。

39 なぜなら、わたしはあなたがたに言います。『**主**の御名によって来る方は、祝福される。』とあなたがたが言う時まで、あなたがたは決してわたしを見ません。」

24

1 さて、イエスは出て、神殿の敷地から去って行かれた。そして、イエスの弟子たちは神殿の敷地内の建物を見せるために、イエスの所に来た。 **2** しかし、イエスは弟子たちに言われた。「これらすべての物が見えないのですか。まことにわたしはあなたがたに言います。引き倒さずに、石一つとして重なって残されることは決してありません。」 **3** そして、イエスがオリーブ山で座ると、弟子たちはひそかにイエスの所に来て、言った。「私たちに教えてください。そのことはいつで、あなたの来臨のしるしは、またこの時代の終わりのしるしは何ですか。」 **4** それで、イエスは答えて彼らに言われた。「誰にも騙されないように気をつけなさい。 **5** 『私がキリストです。』と言って、多くの者がわたしの名を語ってやって来て、多くの人を騙すからです。 **6** そして、あなたがたはこれから戦争や戦争の噂を聞きます。混乱に陥らないよう、気をつけなさい。これらのことはすべて起こらざるを得ないのですが、まだ終わりではないからです。 **7** なぜなら、国家は国家に敵対して、王国は王国に敵対して立ち上がります。そして、各地で飢饉や疫病や地震が起こります。 **8** これらすべては産みの苦しみの始まりです。 **9** その時、人々はあなたがたを苦しませるために渡し、そして殺します。そして、わたしの名のために、あなたがたはすべての国に憎悪されます。 **10** その時多くの者たちはつまずかされ、互いに裏切り、互いに憎み合います。 **11** そして、偽預言者は大勢立ち上がり、多くの者を騙します。 **12** そして、悪行が溢れるから、多くの者たちの愛は冷たくなります。 **13** しかし、終わりまで耐え抜く者、その者は救われます。 **14** そして、すべての民族への証になるため、王国のこの福音は、地球のすべてで語られます。その時、終わりが来ます。

15 したがって、あなたがたは、預言者ダニエルが話した、荒らす忌むべき者が聖所に立っているのが見えれば、（読む人よ、理解しなさい。）
16 その時は、ユダヤにいる人たちは、山地①に逃げなさい。
17 屋上にいる者は、自分の家から何かを取りに、下に降りるな。
18 また、野にいる者は、服を取りに戻るな。
19 そしてその日々の間は、身ごもっている者たち、乳を飲ませている者たちは、悲惨です。
20 しかし、あなたがたのこの脱出が冬でも、安息日でもないように祈りなさい。
21 その時、世の始まりから、今この時に至るまでない、また今後も決してないような大きな艱難があります。
22 そして、その日々は短くされることがなければ、救われる人は誰もいません。しかし、選ばれた人たちのために、その日々は短くされます。
23 その時、誰であれあなたがたに、『見よ、キリストは、ここにおられる、あそこにおられる。』と言っても、それを信じてはいけません。
24 偽キリストたちや、偽預言者たちが立ち上がって、大きなしるしや不思議な業を行なうからです。それが、もし可能であれば、そういう者は選ばれた人たちさえも、騙そうとします。
25 見よ、わたしは前もって、あなたがたに話しました。
26 したがって、もし人々があなたがたに、『見よ、彼は砂漠にいる。』と言っても、出て行ってはいけません。または、『見よ、彼は奥の秘密の部屋にいる。』と言っても、それを信じてはいけません。
27 なぜなら、稲妻は東から出て来て、西まで光るように、人の**子**の来臨もそのようになるからです。
28 なぜなら死体のある所は、どこにでも鷲①は集まるからです。
29 その日々の艱難の直後、太陽は暗くなり、月はその光を出さず、また、星は宇宙から落ち、天の力は揺れ動かされます。
30 そしてその時、人の**子**のしるしは、空に現われます。その時、地球のすべての部族はひどく嘆き、力と偉大な栄光を帯びて、空の雲に乗って来られる、人の**子**を人々は見ます。

---

16 ① 原語では、山は冠詞付きの複数形である。

28 ① パレスチナの鷲は、時々死んだものの肉を食べる。

31 そして、人の**子**はラッパの大きい音と共に、自分の御使いたちを遣わし、そして、彼らは人の**子**の選んだ人たちを、四つの風から、天の隅々から集めます。

32 そして、イチジクの木の例え話を忘れてはいけません。その枝はもう柔らかくなって、葉を出す時、あなたがたは夏が近いと分かります。

33 それと同じように、あなたがたもこれらすべてのことを見ると、来臨は近く、戸口まで来ていると理解します。

34 まことにわたしはあなたがたに言います。これらすべてのことが起こるまで、この時代は決して過ぎ去りません。

35 天も地も消滅します。しかしわたしの言葉、一つ一つは決して消滅しません。

36 しかし、その日と時刻は、わたしの**父**以外、天国の御使いたちでさえ誰も知りません。

37 しかし、人の**子**の来臨は、ちょうどノアの日々のようになります。

38 なぜなら、洪水前の日々、ノアが箱船に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、娶ったり嫁いだりしていました。

39 そして、あの洪水が来て、みんなを連れ去るまで、彼らは知らなかったからです。人の**子**の来臨も、そのようになります。

40 その時、二人は野良にいて、一人は連れ去られ、一人は残されます。

41 二人の女が臼をひいていて、一人は連れ去られ、もう一人は残されます。

42 したがって、警戒していなさい。あなたがたの**主**が来られる時を、あなたがたは分からないからです。

43 しかし、このことは覚えておきなさい。もし家長は泥棒が何時に来るかを知っていたなら、彼は見張りをし、家に押し入ることを許さなかったでしょう。

44 したがって、あなたがたも備えなさい。あなたがたの考えもしない時に、人の**子**は来るからです。

45 では、定められた時に、食事を与えるため、主人が、家人を支配する者にした、忠実で賢い僕は誰ですか。

46 主人が来た時、こうしている姿を、主人に見られる僕は、祝福されています。

47 まことにわたしはあなたがたに言います。主人はその僕を自分の全財産の支配者にします。

48 しかし、もしその悪い僕は心の中で、『私の主は遅れて来る。』と言って、

49 仲間の僕たちを殴り始め、酔っぱらいと共に飲み食いすれば、

50 その僕の主人が思いがけない日に、僕の気が付かない時に来て、

51 主人は彼を二つに斬り分け、僕の取り分を偽善者と同じにします。そこには泣きと歯の噛みならしみがあります。

25

1 その時、天の王国は、灯りを持って、花婿を出迎えに出かけた十人の処女に似ています。

2 さて、五人は賢く、五人は愚かでした。

3 愚か者は自分の灯りを持って行ったが、油をたずさえて行きませんでした。

4 しかし、賢い五人は灯りと油を入れた器をたずさえて行きました。

5 さて、花婿が遅くなったので、彼女たちは皆うとうとし、眠ってしまいました。

6 そうすると、真夜中に叫び声が聞こえました。『見よ、花婿がやって来る。迎えに出なさい。』

7 それで、この処女たちは全員起き上がって、灯りを整えました。

8 愚か者たちは賢い者たちに言いました。『私たちの灯りは消えかけているので、あなたがたの油を少しください。』

9 しかし、賢い者たちは答えて言いました。『私たちとあなたがたの分には足りません。それより、売っている人たちの所に行って、自分たちの分を買いなさい。』

10 そこで、彼女たちが買いに出て行った間に、花婿が到着し、そして、準備ができた人たちは花婿と共に結婚式場に入り、戸は閉められました。

11 その後で他の処女たちも来て言いました。『ご主人様、ご主人様、私たちです。開けてください。』

12 しかし主人は答えて言いました。『まことに私はお前たちに言う。私はお前たちを知らない。』

13 したがって、あなたがたは人の子の来る日も時刻も知らないのですから、警戒していなさい。

14 それで、天の王国は、遠くへ旅をしようとしている人のようです。彼は自分の僕たちを呼び、彼の財産を彼らに預けました。

15 そして、一人に五タラント、①もう一人に二タラント、もう一人には一タラントを、各々の才能に応じて与え、彼はすぐ旅に出ました。

16 そこで、五タラントを受け取った人は行って、

---

15 ① 一タラントは六千デナリで、かなりの大金であった。

それで商売をし、さらに五タラントを儲けました。**17** 同じように、二タラントを受けた人もさらに二タラントを儲けました。**18** しかし、一タラントを受け取った人は出かけ、地面を掘り、彼の主人の銀を隠しました。**19** さて、長い間経ってから、その僕たちの主人は帰って来て、彼らと収支決算をしました。**20** そこで、五タラントを受け取った人はさらに五タラントを持って来て、言いました。『ご主人様、あなたは私に五タラントを渡してくださいました。見てください。私はそのお金の他に、五タラントを儲けました。』**21** 僕の主人は彼に言いました。『よくやった、良き忠実な僕よ。お前はわずかな物にも忠実だった。私はお前に多くの物を任せる。主人の喜びを共有しなさい。』**22** そして、二タラントを受け取った人も来て言いました。『ご主人様、あなたは私に二タラントを渡しました。見てください。私はそのお金の他に、二タラントを儲けました。』**23** 主人は彼に言いました。『よくやった、良き忠実な僕よ。お前はわずかな物にも忠実だった。私はお前に多くの物を任せる。主人の喜びを共有しなさい。』**24** しかし、タラントを一つ受け取った人も来て言いました。『ご主人様。あなたは、蒔いたことのない所から収穫し、散らさなかった所から集める、厳しい方であると、私は知っていました。**25** だから、私は恐くなって、出かけて行って、あなたのタラントを地中に隠しました。見てください。あなたの物はあなたの物です。』**26** しかし、僕の主人は彼に答えて言いました。『邪悪で怠け者の僕よ。私は蒔いたことのない所から収穫し、種を散らしたことのない所から集めることを知っていたのに、**27** そうなら、お前は私の銀を銀行に預けるべきだった。そうしたら、帰ると、利息を含めて私の銀を受け取っただろうに。**28** だから、あの者からそのタラントを取り、十タラントを持っている僕に与えよ。**29** 持つ人は誰でも、もっと与えられ、その人は豊かに所有し、持っていない者からは、持っている物さえ取り上げられるからだ。**30** そして、この役立たずの僕を外の暗やみに投げ捨てよ。そこには、泣くことと歯を噛みならすことがある。』**31** しかし、すべての聖なる御使いを従えて、人の子が自らの栄光に包まれて来る時、彼は自らの栄光の座に着きます。**32** そして、すべての国々は彼の前に集められ、羊飼いが

羊を山羊から分けるように、彼は国を国から分け、**33** そして、彼は羊を彼の右手に立たせるが、山羊は彼の左手に立たせます。**34** その時、**王**は彼の右手にいる人たちに言います。『わたしの**父**に祝福された人たちよ、来なさい。世の土台を置いた時から、あなたがたのために準備された王国を相続しなさい。**35** なぜなら、空腹のわたしに、あなたがたは食べ物をくれ、のどの渇いたわたしに、あなたがたは飲み物をくれました。外国人であったわたしを、あなたがたは受け入れてくれたからです。**36** 裸のわたしに、あなたがたは服を着せてくれ、病気のわたしを見舞ってくれ、牢獄にいるわたしの世話をしてくれました。』**37** その時、義人たちは彼に答えて言います。『**主**よ、私たちはいつあなたが飢えたのを見て食べ物をあげ、あなたがのどが渇いていたのを見て、あなたに飲み物をあげましたか。**38** そして、私たちはいつ外国人であるあなたを見て、受け入れ、裸のあなたを見て服を着せましたか。**39** またいつ、私たちは病気のあなたを見舞い、また牢獄にいるあなたの所に行きましたか。』**40** それで、**王**は答えて彼らに言います。『まことにあなたがたに言います。あなたがたはこれら、わたしの最も小さい兄弟たちの一人にしたほど、それをわたしにしてくれたのです。』

41 その時、彼は左手の者たちにも言います。『呪われた者たちよ、悪魔とその使いたちのために準備された、永遠の火の中に入り、わたしから離れよ。**42** なぜなら、空腹のわたしに、お前たちは食べ物をくれず、のどが渇いたわたしに、飲み物をくれず、**43** 外国人だったわたしを、お前たちは受け入れず、裸のわたしに、服を着せず、病気や、牢獄にいた時に、お前たちはわたしの世話をしなかったからだ。』**44** その時、彼らは王に答えて言います。『**主**よ、私たちはいつあなたが飢えたり、のどが渇いたり、裸だったり、病気だったり、牢獄にいた時に、あなたに仕えなかったのでしょうか。』**45** その時、王は彼らに答えて言います。『まことにわたしはお前たちに言う。これら最も小さい人たちにしなかったほど、わたしにしなかったことになるのだ。』**46** そして、この者たちは永遠の罰の中に入り去るが、義人たちは永遠の命に入ります。」

26

1 さて、ことの次第はこうであった。イエスはこれらのすべての言葉を言い終えると、ご自分の弟子たちに言われた。**2** 「二日後に過越祭①が来るとあなたがたは知っています。そして、人の子は十字架につけられるために引き渡されます。」

3 その時、大祭司たち、律法学者たち、それに国民の長老たちは、カヤパという大祭司の屋敷の中庭に集まり、**4** そして、彼らは策略を用いてイエスを捕まえ、殺す方法を相談した。**5** しかし、彼らは言った。「民衆の間に騒動が持ち上がるから、祭りの日はまずい。」

6 さて、イエスはベタニヤにある、レプラ病①のシモンの家にいた時、**7** ある女が、とても高価な香油が入っている石膏のつぼを持って、イエスの所に来た。そして、彼女は食卓についておられるイエスの頭の上に注いだ。**8** イエスの弟子たちはこれを見ると、憤慨して言った。「なぜこんな無駄なことをするのか。**9** この香油を、多額の金で売れば、貧しい人たちに与えることができたのに。」**10** しかし、イエスはこれに気付かれ、弟子たちに言われた。「なぜこの女を困らせるのですか。わたしのためによいことをしてくれたのです。**11** なぜなら、貧しい人たちはいつもあなたがたと共にいるが、わたしはいつもあなたがたと共にいる訳ではないからです。**12** わたしの埋葬のため、この香油をわたしの身体に注いだからです。**13** まことにあなたがたに言います。全世界のどこでも、この福音が説かれる所では、この女がしたことも、この人の記念として話されます。」

14 さて、その時、イスカリオテ・ユダという、十二弟子の一人が、大祭司たちの所に行き、**15** 言った。「イエスをあなたたちに渡したら、何をくれますか。」そこで、彼らはユダに銀貨を三十枚数えて渡した。**16** こうして、ユダはその時からイエスを裏切る機会を狙っていた。

---

2 ① ユダヤ人の祭りで、モーセがエジプトからユダヤ人を導いたことを記念する日である。

6 ① 現代はハンセン病と言う。

17 さて、種なしパンの祭りの日に、弟子たちはイエスの所に来て、言った。「どこで過越祭の食事を準備しましょうか。お望みの所はありますか。」**18** イエスは言われた。「町に入り、ある男の所に行って、彼に言いなさい。『**先生**は言います。「わたしの時は近づきました。わたしの弟子たちと共に、あなたの所で過越祭を守ります。』」**19** それで、弟子たちはイエスの言う通りにし、過越祭の準備をした。

20 夜になると、イエスは十二人と共に食卓につかれた。**21** さて、彼らは食べていた時に、イエスは言われた。「まことにあなたがたに言います。あなたがたの中の一人が、わたしを裏切ります。」

22 それで、彼らはとても悲しみ、一人一人イエスに言い始めた。「**主**よ、私ですか。」

23 イエスは答えて言われた。「わたしと共に深い皿に手を浸ける者が、わたしを裏切ります。**24** 人の**子**について書かれているように、人の**子**は正に行くが、人の**子**を裏切るその者に、災いあれ。その男は、生まれなかったほうがましです。」

25 それで、イエスを裏切ろうとしていたユダは答えて言った。「**ラビ**よ、私ですか。」イエスは彼に言われた。「あなたが言った通り。」

26 そして、弟子たちが食べている間に、イエスはパンを取り、それを祝福し、裂き、弟子たちに与え、言われた。「取って、食べなさい。これはわたしの体です。」**27** それからイエスはカップを取り、感謝を捧げ、弟子たちに与え、言われた。「皆、これから飲みなさい。**28** これは新しい契約の、わたしの血であり、多くの人々の罪の赦しのために、流される血であるからです。**29** しかし、あなたがたに言います。今からわたしの**父**の王国であなたがたと共にこれを新たに飲むその日まで、わたしはこの蔓の実からできたものを決して飲むことがありません。」**30** そして、彼らは賛美の歌を一曲歌ってから、オリーブ山へ出かけた。

31 そこで、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたは今夜、わたしのことで全員、つまずかされます。『わたしは羊飼いを殴り、そして、群れの羊たちは散らされる。』と、こう書いてあるからです。**32** しかし、わたしは復活させていただいた後、あなたがたより先にガリラヤに行きます。」

33 それで、ペテロは答えてイエスに言った。「全員はあなたのことでつまずいても、私は決してつまずきません。」 **34** イエスはペテロに宣言された。「まことにわたしはあなたに言います。今晩、雄鶏が鳴く前に、あなたはわたしを三回否定します。」 **35** ペテロはイエスに言った。「あなたと共に、たとえ死ぬ羽目になっても、私はあなたを決して否定しません。」弟子たちは全員そのように言った。

36 その時、イエスは弟子たちと共にゲッセマネという所に行かれ、弟子たちに言われた。「わたしがあそこに行って祈る間は、ここに座っていなさい。」 **37** そして、イエスはペテロとゼベダイの二人の息子を連れて行かれた。すると、イエスは悲しく、また心が非常に重くなり出した。 **38** それで、イエスは三人に言われた。「わたしの魂は、死に至るほどとても悲しい。ここにいて、わたしと共に警戒していなさい。」

39 そして、イエスはもう少し離れて行き、顔を地に付け、祈って言われた。「我が**父**よ、できることなら、このカップをわたしから取り去ってください。ただ、わたしが望むようにでなく、あなたの望むとおりにしてください。」

40 そしてイエスは弟子たちの所に来て、眠ったのを見つけ、ペテロに言われた。「こうして、あなたがたは一時間、わたしと共に目を覚ましている力がないのですか。 **41** 誘惑に陥らぬように警戒し、祈りなさい。心は遂行の意志があっても、肉は弱いのです。」

42 また、イエスは再び去り、祈って言われた。「我が**父**よ、もしわたしがこのカップを飲まなければ、カップはわたしから過ぎ去れないのなら、あなたのご意志が行なわれますように。」 **43** そこでイエスは来られ、弟子たちが眠っているのを再度見つけられた。なぜなら、弟子たちのまぶたは重たかったからである。

44 イエスはまた彼らを残して行かれ、同じ言葉を繰り返して三度祈られた。 **45** それから、イエスはご自分の弟子たちの所に来られ、彼らに言われた。「あなたがたは未だ眠って休んでいるのですか。見よ、時は近づき、人の**子**は罪人の手で裏切られているところです。 **46** 起きなさい。我ら全員行きましょう。見なさい。わたしを裏切る者が近づいて来ました。」

47 すると、イエスがまだ話しておられる間に、見よ、十二人の一人であるユダが近づいて来た。そのユダと共に、

大祭司たち、そして国民の長老たちからの大群衆が、剣や棍棒を持って来た。**48** そこで、イエスを裏切ろうとしている者が群衆に合図を決め、言った。「私が口づけする人、それがその人だ。その男を捕まえなさい。」**49** そして、ユダはただちにイエスに近づき、言った。「今日は、ラビ。」そして、イエスに口づけをした。**50** しかし、イエスは彼に言われた。「友よ、あなたはなぜ来たのですか。」その時、群衆が来て、イエスに手をかけ捕らえた。**51** そして見よ、イエスと共にいた一人は、手を伸ばして、剣を抜き、大祭司の一人の僕を打ち、その男の耳を切り落とした。**52** その時、イエスは彼に言われた。「あなたの剣をもとの所に戻しなさい。すべて剣を取る者は、剣によって滅びるからです。**53** あるいは、わたしが**父**に今頼んで、十二レギオン①以上の御使いを、わたしに任せてもらうことができないとでも、あなたは思っているのですか。**54** それでは、この通りになるべきとある聖書は、どうして成就されるでしょうか。」**55** その時、イエスは群衆に言われた。「あなたがたは、強盗に向かうように、剣や棍棒を持ってわたしを捕まえに出かけて来たのですか。わたしが毎日あなたがたと共に座り、神殿の敷地で教えていたのに、あなたがたはわたしを捕まえませんでした。**56** しかし、これらすべては、預言者たちの書かれた聖書は成就されるために行なわれたのです。」その時、全員の弟子たちはイエスを捨てて、逃げ去った。**57** そこで、イエスを捕まえた者たちは、律法学者たちと長老たちが集まっていた、カヤパ大祭司の所へ、イエスを連れて行った。**58** しかし、ペテロは離れて、大祭司の屋敷の中庭までイエスについて行き、中に入り、終わりを見るために、役人たちと共に座った。**59** そして、大祭司たち、長老たち、それに全議会は、イエスを死刑にするため、イエスに対する偽証を求めていたが、**60** 何も得られなかった。にせ証人は大勢進み出

---

53 ① レギオンはローマ軍の六千人隊であった。

たのに、偽証は何も得られなかった。しかしその後、にせ証人が二人進み出た。

61 そして、彼らは言った。「この人は言いました。『わたしは**神**の神殿を破壊して、三日間でそれを建て直すことができます。』」

62 それで、大祭司は立ち上がり、イエスに言った。「お前は何も答えないのか。この男たちがお前にした証言は何なんだ。」

63 しかし、イエスは黙っておられた。それで、大祭司は再びイエスに言った。「私はお前を生ける**神**を指して誓わせる。お前はキリストで、**神**の**御子息**なのか、私たちに言え。」

64 イエスは彼に言われた。「あなたの言ったとおりです。しかし、わたしはあなたがたに言います。人の**子**が力の方の右の座に座り、空の雲に乗って来る姿を、あなたがたはこの後で見ます。」

65 その時、大祭司は自らの服を裂き、言った。「この者は**神**の冒涜を口にした。我々はもうこれ以上、証人の必要があろうか。見よ。あなたがたは今この者の冒涜を聞いた。

66 そしてどう思うか。」彼らは答えて、「イエスは死に値します。」と言った。

67 それで、彼らはイエスの顔につばきをかけ、彼を殴った。そして、他の人たちは平手打ちして、

68 言った。「キリストよ、私たちに預言しなさい。お前を殴ったのは、誰だ。」

69 さて、ペテロは外で屋敷の中庭に座っていた。そして、一人の女奴隷が彼の所に来て言った。「あなたもガリラヤのイエスといっしょにいた人です。」

70 しかし、彼はみんなの前で否定して、言った。「私はお前の言っていることがわからない。」

71 それで、ペテロは門の外に出た時、もう一人の女奴隷が彼を見て、そこにいた人たちに言った。「この者もナザレのイエスといっしょでした。」

72 しかし、ペテロはもう一度否定し、誓って言った。「私はあの男を知らない。」

73 それから、少したち、そばに立っていた人たちがやって来て、ペテロに言った。「お前は間違いなく仲間の一人だと、お前の話し方でさえ、お前のことを明らかにする。」

74 その時、ペテロは悪態をつき、誓い、言い出した。「私はその男を知らない。」するとすぐ、雄鶏が鳴いた。

75 すると、ペテロは、「雄鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを否定します。」と言われたイエスの御言葉を思い出し、その場を離れ、号泣した。

27

1 さて、朝になると、大祭司たち全員や国民の長老たちは、イエスを死刑にするために会議を開いた。**2** そして、イエスを縛り、連れ出し、ポンテオ・ピラト総督に引き渡した。

3 その時、裏切り者のユダは、イエスに有罪の判決が下ったことが分かり、後悔し、銀貨三十枚持ち、大祭司たちと長老たちに返しに来て、**4** 言った。「私は罪のない血を裏切り、罪を犯しました。」しかし、彼らは言った。「それは私たちにとって何か。お前が片づけよ。」**5** すると、ユダはその銀貨を、神殿の中で投げ出し、そこを離れ、自ら首をつった。

6 しかし、大祭司たちは銀貨を取り、言った。「この銀貨は血の代価だから、これらを神殿の収入にすることは違法です。」**7** それで、彼らは会議を開き、外国人の埋葬のために、陶工の畑を買った。**8** したがって、その畑は今日まで、「血の畑」と呼ばれている。**9** その時、預言者エレミヤを通して言われたことは成就された。すなわち、エレミヤは言った。「そして、彼らはその銀貨三十枚、すなわちイスラエルの子らに値段をつけられた方の代価を受け取り、**10** 主が私に指図されたように、陶工の畑のために彼らに与えた。」

11 さて、イエスは総督の前に立たれた。そこで総督はイエスに尋ねて言った。「お前はユダヤ人の王か。」それでイエスはピラトにはっきり言われた。「あなたはそう言います。」**12** それから、イエスは大祭司たちや長老たちに糾弾されている間は、何もお答えにならなかった。**13** その時、ピラトはイエスに言った。「あの者たちはお前に対してこんなに多くのことを証言しているのに、お前は聞いていないのか。」**14** それでも、総督がたいへん驚くほど、イエスは一言もお答えにならなかった。

15 さて、祭りで群衆が求める囚人一人を、総督が釈放する習慣があった。**16** それで、その時バラバという悪名高い囚人がいた。**17** したがって群衆が集まった時、ピラトは彼らに言った。「お前たちは、バラバか、キリストと呼ばれるイエスか、誰をお前たちに釈放してほしいのか。」**18** 大祭司たちはねたみでイエスを引き渡したことを、ピラトは知っていたからである。

19 それで、ピラトは裁きの席に座っている間、彼の妻は人を派遣して、言った。「あの正しい人と、かかわりを持たないでください。私は今日、彼のことで、夢でいろいろと苦しんだからです。」 **20** しかし、大祭司たちや長老たちはバラバを求め、イエスをぶち殺すようにと、群衆を説得した。 **21** それで、総督は答えて、彼らに言った。「二人の内、お前たちは誰を釈放してほしいか。」彼らは言った。「バラバだ。」 **22** ピラトは彼らに言った。「では、キリストと呼ばれるイエスを、私はどうしようか。」群衆は皆、総督に言った。「十字架刑にせよ。」 **23** すると総督は言った。「なぜだ。この男は何の悪を行なったのか。」しかし、群衆はますます強く叫んで言った。「その男を十字架刑にせよ。」 **24** そこで、ピラトは何も得ることができず、かえって騒ぎ出している群衆を見て、水を取り、群衆の前で手を洗って、言った。「私はこの正しい人の血に関して無罪だ。お前たちが片づけよ。」 **25** それで、民は皆、答えて言った。「彼の血は、我々の上に、そして我々の子どもの上にありますように。」

26 それから、ピラトはバラバを群衆に釈放し、イエスをむちで打ってから、イエスを十字架につけるために引き渡した。 **27** それで、総督の兵士たちは、イエスを宮殿の中へ連れて行き、彼のまわりに部隊①の全員を集めた。 **28** そして、兵士たちはイエスの服を剥ぎ取り、真紅の上着を着させた。 **29** そして、兵士たちは茨の冠を編んで、イエスの頭にかぶせ、右手に葦を持たせた。そして、彼らはイエスの前にひざまずいて、彼を馬鹿にして、「ユダヤ人たちの**王**サマ、ご挨拶申しあげます。」と言った。 **30** そして、兵士たちはイエスにつばきをかけ、葦を取り、イエスの頭をたたいた。 **31** 次いで、イエスを馬鹿にしてから、上着を脱がせ、元の服を着せ、十字架につけるために連れ去った。

32 さて、彼らが出てきた時、シモンという名前のクレネ人を見つけた。兵士たちはシモンを強制

27
① この部隊は大体六百人であった。

し、イエスの十字架を背負わせた。
33 そして、ゴルゴタ、つまり「どくろの地」①と呼ばれている所に来た時、
34 彼らはイエスに苦い薬を混ぜた酢を与えた。しかし、イエスは味を見、飲もうとされなかった。
35 そこで、彼らはイエスを十字架につけ、くじを引き、イエスの服を分配した。これは預言者によって言われた言葉が成就するためであった。すなわち、「彼らはわたしの上着を自分たちの間に分けた。そして、彼らはわたしの服のためにくじを引いた。」
36 そして、彼らは座り、そこでイエスを見張った。
37 そして、彼の頭上に、「これがユダヤ人の**王**、イエスである。」と書いた罪状書きをかけた。
38 その時、右に一人、左に一人、二人の強盗が、イエスと共に十字架につけられた。
39 そして、通りかかった者たちはイエスを侮辱し、頭を振りながら、
40 言っていた。「神殿を破壊し、三日のうちに建てる者よ、自分自身を救え。もし**神**の**御子息**ならば、十字架から下りて来い。」
41 そして、大祭司たちも同様に、律法学者たちや長老たちと共に、イエスを馬鹿にして言った。
42 「あの男は他人を救ったが、自分は救えない。もし彼がイスラエルの**王**ならば、今十字架から下りて来てもらおう。そうすれば、私たちは彼を信じる。
43 彼は**神**を信頼した。もし**神**が望むなら、**神**が今彼を助けよう。なぜなら、彼は『わたしは**神**の**子**だ』と言ったからだ。」
44 イエスと共に十字架につけられた強盗たちでさえも、同じことでイエスを侮辱した。
45 さて、第六時間目①から第九時間目まで、全地上が暗くなった。
46 そして、第九時間目①ごろ、イエスは大声で叫んで言われた。「エリ、エリ、ラマ、サバクタニ。」これはすなわち、「我が**神**、我が**神**、なぜわたしを見放したのですか。」という意味である。
47 すると、そこに立っていた者たちの中で、これを聞いたある者は、「この人はエリヤを呼んでいる。」と言った。
48 そして、その人たちの中の一人がすぐ走って

---

33 ① ラテン語で、「カルバリ」と言う。
45 ① 正午。
46 ① 午後三時。

行き、海綿を取り、それに酔い葡萄酒を十分含ませ、葦につけ、イエスが飲めるように差し出した。

49 残りの者たちは言った。「そのままほっておこう。エリヤが彼を救いに来るかどうか見ようではないか。」

50 それで、イエスは再び大声で叫び、ご自分の霊を差し出された。

51 すると見よ。神殿の幕は上から下まで真二つに裂かれ、地が震え、岩が裂かれた。

52 そして、墓は開けられ、眠っていた聖徒たち[1]の多くの身体は復活させられた。

53 そして、イエスの復活の後、その聖徒たちは墓から出て、聖なる都市に入り、多くの人に現われた。

54 それで、百人隊長と、イエスを共に見張っていた人たちは、地震が起こったのを見て、とても恐れ、言った。「本当に、この方は**神**の**御子息**でした。」

55 そして、ガリラヤからイエスに従い、イエスに仕えていた大勢の女が、そこから遠く離れて見守っていた。

56 その中に、マグダラのマリヤ、ヤコブとヨセフの母マリヤ、ゼベダイの息子たちの母がいた。

57 さて、夜になると、アリマタヤから、彼自身もイエスの弟子であった、ヨセフと言う名前の金持ちの男が来た。

58 この男はピラトのもとに行き、イエスの遺体を願った。すると、ピラトは、遺体を彼に与えるように命じた。

59 そして、ヨセフはイエスの遺体を引き取り、清潔な亜麻布で包んだ。

60 そして、イエスの遺体を、岩に掘った自分の新しい墓に横たえ、大きい石を墓の入り口へ転がして置き、立ち去った。

61 そこで、マグダラのマリヤと、もう一人のマリヤはそこにいて、墓の反対側に座っていた。

62 さて、次の日に、つまり準備[1]の日の後、大祭司たちやパリサイ派の者たちはピラトの所で共に集まり、

63 言った。「総督様、ペテン師のあの男がまだ生きていた時、『わたしは三日後に復活します。』

---

52 [1] 旧約聖書時代の信者たち。

62 [1] 過越祭の準備の日。

と言ったことを、私たちは思い出しました。

64 そのため、三日目になるまで墓を見張るように命令してください。そうしないと、もしかしてあの男の弟子たちが夜中に来て、彼を盗み出し、『彼は死人の中から復活された。』と、国民に言うかもしれません。これでは、初めの嘘より、後の嘘の方がもっとひどいことになります。」

65 ピラトは彼らに言った。「お前たちは番兵がいる。行って、知っている限りの方法で見張れ。」

66 それで、彼らは行って、墓を保全し、石の封印をし、番兵たちを配置した。

28

1 さて、安息日の後の週の最初の日の夜明け、マグダラのマリヤともう一人のマリヤは、墓を見に来た。

2 すると、見よ、大きな地震があった。**主**の一人の御使いが天から降りて来て、石を入り口から転がして、その上に座っていたからである。

3 彼の姿は稲妻のようであり、またその服は雪のように白かった。

4 そして、番兵たちは御使いへの恐れで震え、死人のようになった。

5 しかし、御使いは答えて女たちに言った。「十字架刑にされたイエスをあなたがたが探していることを、私は知っているのだから、恐れることはありません。

6 ご自分で言われたとおりに復活されたので、イエスはここにはいらっしゃいません。来て、**主**が横になっておられた所を見なさい。

7 そして急いで行って、あの方が死人たちの中から復活されたことを、弟子たちに伝えなさい。見よ、イエスはあなたがたより先にガリラヤに行かれます。あなたがたはそこでイエスにお会いします。見よ、私はあなたがたに伝えました。」

8 それで女たちは恐れと大いなる喜びで急いで墓を出、イエスの弟子たちに伝えるために走った。

9 しかし、女たちがイエスの弟子たちに伝えに行く途中、見よ。イエスは女たちに会って言われた。「おはようございます。」そこで、女たちは近寄って、イエスの足を抱いて、拝した。

10 その時、イエスは女たちに言われた。「恐れてはいけません。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように伝えなさい。彼らはそこでわたしを見ます。」

11 それで、女たちが行っている間に、見よ。番兵の中のある者たちは町に入り、大祭司たちに、起きたことの一部始終を報告した。

12 大祭司たちは長老たちと集まって、相談し、多額の金を兵たちに与え、**13** 言った。「人たちに言いなさい。『私たちが眠っていた時、イエスの弟子たちが夜間に来て、彼を盗み出した。』と。**14** そして、もしこれが総督の耳に入れば、私たちは総督を説得して、お前たちの安全を守る。」**15** それで兵たちは金を受け取り、指示されたとおりにした。この言葉は今日まで、ユダヤ人たちの間に言い広められている。

16 それで、十一弟子たちはガリラヤへ去り、イエスが彼らのために指示された山に行った。**17** そして、イエスを見た彼らは、イエスを拝した。しかし、その中に疑う人たちもいた。**18** そこで、イエスは来て、彼らに説いて言われた。「天でも、地でも、すべての権威はわたしに与えられました。**19** したがって、行って、すべての国々を弟子とし、**父**と**子**と**聖霊**の御名①によって浸礼を授け、**20** わたしがあなたがたに命じた、すべてのことを守るように教えなさい。そして、見よ。いつの日にも、世の終りまで、わたしはあなたがたと共にいます。」アーメン。

---

19 ① この「御名」とは、ギリシャ語の単数であり、三位一体を示す。

マルコの福音書

1

1 **神**の**御子息**、イエス・キリストの福音のはじめ。
2 数々の預言の書に書いてあるように、「見よ、わたしはわたしの使者をあなたの眼前に遣わす。彼はあなたの前にあなたの道を用意する。
3 荒野で叫ぶ者の声がする。あなたがたは**主**の道を準備し、その方の道をまっすぐにしなさい。』」と。
4 ヨハネは来て、荒野で浸礼①を授けて、罪の赦しに至る悔い改めの浸礼を説いていた。
5 そこで、ユダヤ全土、そしてエルサレムからの人たちは、ヨハネの所にやって来て、罪を言い表し、ヨルダン川でこの男によって浸礼を授けられた。
6 そして、ヨハネはらくだの毛の衣を着て、動物の皮の帯を腰にしめていた。そして、彼の食べ物はバッタと野の蜜であった。
7 そして、ヨハネは説いて言った。「私より偉大な方が、私の後からおいでになっています。私自身は、この方の履き物のひもをかがんで解く値さえありません。
8 私はもちろん、お前たちに水で浸礼を授けているが、その方はあなたたちに**聖霊**で浸礼をお授けになります。」
9 そして、ことの次第はこうであった。当時、イエスはガリラヤのナザレから来て、ヨルダン川でヨハネによって浸礼を授けられた。
10 そして、イエスが水中から立ち上がると、すぐに、天が開き、**神**の**御霊**が鳩のように降りてきて、イエスの上に来るのをヨハネは見た。
11 そして、天から声がした。「あなたこそがわたしの愛する**子**である。わたしが喜ぶ者である。」
12 そして、すぐ、イエスを荒野へと**御霊**は駆り立てた。
13 そして、イエスはその荒野に、サタンに誘惑されながら、野生の動物と共に四十日間、そこに滞在された。そして御使いたちがイエスに仕えていた。
14 さて、ヨハネが投獄された後、イエスはガリラヤに来られ、**神**の王国の福音を説き、

4
① ギリシャ語の動詞βαπτιζω (baptizo, バプティゾ)の意味は、「浸す、漬ける、沈める」である。(「新約聖書ギリシャ語小辞典」、織田昭編、58ページ)。

15 言われた。「時は満ち、**神**の王国は近づきました。悔い改め、福音を信じなさい。」
16 そして、ガリラヤの海の岸辺を歩かれていた時、イエスはシモンとその兄弟アンデレが、網を海に投げ入れているのをご覧になった。ふたりは漁師であったからである。
17 そして、イエスはその二人に言われた。「わたしに従いなさい。そしてわたしはあなたがたを人間をとる漁師にします。」
18 そこでふたりはすぐ網をそのまま残し、イエスに従った。
19 そして、そこから先に進んで行くと、船に乗って網を繕っているゼベダイの息子ヤコブとその兄弟ヨハネを、イエスはご覧になった。
20 そしてイエスは即座に、二人を呼ばれた。すると二人は雇い人と共にいた父親ゼベダイを船に残し、イエスに従った。
21 さて、彼らはカペナウムに入り、そして安息日にイエスはすぐシナゴーグに入り、教えられた。
22 すると、人々はイエスの教えに驚嘆していた。イエスは、律法学者①たちと違い、権威ある人として群衆を教えて来られたからである。
23 さて、彼らのシナゴーグに、汚れた霊を持つ男がいた。そして、この男は叫んで、
24 言った。「俺たちをほっておいてください。ナザレのイエスよ、俺たちはあなたと何の関係がありますか。俺たちを滅ぼしに来たのですか。あなたがどなただか、俺は知っています。**神**の**聖なる人**です。」
25 しかし、イエスはその霊を強く咎めて言われた。「黙れ。この男から出て来い。」
26 それで、汚れた霊はこの男の身をもだえさせて、大声でわめき、男から出た。
27 それで、全員は驚き、互いに言葉を交わし、言った。「これは何だ!これは何か新しい教えですか。この方が権威を持っていて命じると、悪霊たちでさえ、この方に従います。」
28 こうして、イエスに関する名声は、すぐ、ガリラヤ地方一帯に広がった。
29 さて、シナゴーグを出るとすぐ、イエス一行は、ヤコブとヨハネと共にシモンとアンデレの家

22
① 律法学者たちは、旧約聖書の解釈書をそのまま知識として教えた。

に入られた。
30 しかし、シモンの義母は熱で寝ていた。それで、皆はすぐ義母のことをイエスに話した。
31 そこで、イエスは側に行かれ、その女の手を取り、立たせると、熱はたちどころに去った。そして、女はイエスたちを接待した。
32 日が沈み夜になると、すべての病人と悪霊に占領された皆を、人々はイエスの所に連れて来た。
33 そして、町の人全員が戸口の所に集まっていた。
34 そして、イエスは様々な病気で苦しむ多くの人たちを治し、多くの悪霊を追い出された。そして、悪霊たちはイエスを知っていたから、イエスは悪霊たちが話すのをお許しにならなかった。
35 さて、翌朝、まだ暗いうちに、イエスは起き上がり、出かけ、寂しい所に行き、そこで祈られた。
36 そして、シモン一行はイエスを捜しに出た。
37 そして見つけると、イエスに言った。「皆があなたを求めています。」
38 だが、イエスはシモンたちに言われ、「わたしが説けるように、次々と隣の町に行きましょう。わたしはそのために出て来たのだからです。」
39 そして、全ガリラヤでイエスはそれぞれのシナゴーグで説いたり、また悪霊を追い出したりしておられた。
40 すると、一人のレプラ病①の人がイエスの所に来て、願って拝して言った。「主よ、もしあなたが望めば、あなたは私を清めることができます。」
41 そこでイエスは心を動かされ、ご自分の手を差しのべ、その男に触れ、言われた。「わたしはそう望みます。清くなりなさい。」
42 そして、イエスが言われると、たちどころにその人のレプラ病は消え、男は清められた。
43 そして、イエスはその男を厳しく警告し、送り出された。
44 さらにイエスは男に言われた。「心して誰にも話さないように。途中で、あなた自身を祭司に見せ、その時、人々に証になるように、清めに関する、モーセが命じた捧げ物をしなさい。」
45 しかし、その男はそこを出て、多くのことを話し、多くの所でこのことを話しはじめたので、

---

40 ① 現代はハンセン病と言う。

イエスはもう自由に町に入れず、人の気配のない外におられると、人々が四方からイエスの所にやって来た。

2

1 さて、イエスは数日後、またカペナウムに入られた。そして、イエスは家におられるという話しが知れ渡った。 **2** それで、すぐ大勢の人たちが集まったので、全員を受け入れる場所がなくなり、戸口の所さえもいっぱいであった。そこで、イエスは皆に御言葉を説かれた。 **3** すると、中風の男を四人の男が運んで来る、一行がイエスの所に来た。 **4** すると、人が多すぎて、イエスのそばに行くことができず、イエスのおられる所の屋根をはがした。そして、押し入り、中風の男が横になっている寝床を降ろした。 **5** イエスは男たちの信仰を見て、中風の男に言われた。「子よ、あなたの罪は赦されました。」 **6** すると、そこに座っていた律法学者のある者たちが、心の中で議論していた。 **7** 「この者はなぜこのように冒涜する言葉を口にするのか。**神**、お一人のほか、誰が罪を赦すことができるのか。」 **8** しかしすぐ、イエスは自らの霊の中で、学者たちが仲間同士で議論しているの感知され、学者たちに言われた。「なぜあなたがたは心の中でこれらのことを議論していますか。 **9** 中風の男に、『あなたの罪は赦されました。』と言うのと、『起き上がり、あなたの寝床を手に持ち、そして歩きなさい。』と言うでは、どっちが簡単でしょうか。 **10** しかし、人の**子**は、地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたが知るためにです。」それでイエスは中風の男に言われた。 **11** 「あなたに言います。起き上がれ、あなたの寝床を持ち上げて、あなたの家に帰りなさい。」 **12** するとたちどころに、男は起き上がり、寝床を持ち上げて、皆の前を出て行ったので、皆驚き、**神**に栄光を捧げ、「私たちはこのようなことを見たことがありません。」と言った。 **13** さて次に、イエスは出て再び海辺に行かれた。すると、全群衆がイエスの所に来たので、イエスはその人たちを教えられた。 **14** そして、イエスが通りかかると、収税所に座っている、アルパヨの息子レビをご覧になった。イエスはレビに言われた。「わたしについて来なさい。」それで、レビは立ち上がり、イエスに従った。 **15** そうして、イエスがレビの家で食卓に着いておられると、大勢の収税人や罪人もイエスの弟子たちと共に食卓に

着いていた。彼らは大勢で、イエスについて来たからである。

16 そして、律法学者たちとパリサイ派の人たちは、イエスが収税人たちと罪人たちと共に食卓に着いているのを見て、イエスの弟子たちに言った。「あなたがたの先生はなぜ、収税人や罪人と共に飲み食いをするのですか。」

17 イエスはこれを聞き、彼らに言われた。「医者を必要とするのは、病人であり、健康な人ではありません。正しい人でなく、わたしは罪人を呼び集め、悔い改めさせるために来ました。」

18 さて、ヨハネの弟子たちとパリサイ派の弟子たちは、断食をしていた。そこで彼らはイエスの所に来て言った。「ヨハネの弟子たちとパリサイ派の人たちは断食しますが、あなたの弟子たちは断食しないのは、なぜでしょうか。」

19 すると、イエスは彼らに言われた。「花婿の立会人たちは花婿と共にいる間、断食ができますか。花婿が共にいる限り、彼らは断食はできません。

20 しかし、花婿が彼らから取り上げられる日が来ます。その時、彼らは断食します。

21 また、古い服に縮んだことのない布を当てる人はいません。その布切れは服を引き裂き、破れた所はもっとひどくなるからです。

22 また、誰も新しい葡萄液①を古い革袋には入れはしません。入れれば、革袋は破れ、ぶどうの果汁はこぼれ、革袋は裂けるからです。だから、新しいぶどうの果汁は新しい革袋に入れるべきです。」

23 さて、イエスが安息日に穀物畑の中を通られた時のことであった。道を進みながら、イエスの弟子たちは穂を摘み始めた。

24 そこで、パリサイ派の人たちはイエスに言った。「見よ、あなたの弟子たちはなぜ、安息日に律法に反することをしているのですか。」

25 しかし、イエスは彼らに言われた。「ダビデが食べ物に事欠き、空腹になった時、ダビデと供をしていた人たちが何をしたか、読んでいないのですか。

26 すなわち、アビヤタルが大祭司であった時、ダビデは**神**の家に入り、祭司たちだけが、食べることが許されている供えのパンを食べ、そして、

22
① ギリシャ語のオイノス。葡萄から作ったすべての飲み物を含む。

供をしていた者にも与えました。」

27 そして、イエスはパリサイ派の人たちに言われた。「人間は安息日のためではなく、安息日は人間のためにつくられたのです。

28 従って、人の**子**は、安息日の**主**でもあります。」

3

1 さて、イエスはまたシナゴーグに入られた。そしてそこに、手のなえた男がいた。

2 そして、そこにいた人たちはイエスを訴えようとよく見張った。それはイエスが安息日にこの男を治すかどうかである。

3 そして、イエスは手のなえた男に言われた。「立ち上がり、真ん中に行きなさい。」

4 そして、イエスは全員に言われた。「安息日に、善を行なうのと、悪を行なうのと、また、命を救うのと、命を奪うのと、どちらが律法にかないますか。」しかし、全員無言であった。

5 そして、そこの人たちの心のかたくなさを悲しみ、怒りを持って全員を見回し、イエスはその男に言われた。「あなたの手を伸ばしなさい。」それで男は手を伸ばした。すると、その手はもう一方の手と同じように元通りになった。

6 そこで、パリサイ派の者たちは出て行き、すぐイエスに反対して、抹殺する方法を、ヘロデ党の者たちと企み始めた。

7 それで、イエスは弟子たちと共に海へ退かれた。すると、ガリラヤからの大群衆がついて来た。そして、ユダヤ、

8 エルサレム、イドマヤ、ヨルダンの向こう、ツロとシドンから、イエスがどんなに多くのことをなさっているかを聞いて、大群衆がイエスの所に来た。

9 それで、群衆がイエスを押しつぶすことのないように、小舟を準備するようにと、イエスは弟子たちに言われた。

10 なぜなら、イエスは多くの人を治したので、身体の悩みを抱えている人たち皆、イエスに触れようと、押しかけて来たからである。

11 そして、汚れた霊たちはイエスを見る度に、イエスの御前にひれ伏し叫んで言った。「あなたは**神**の**御子息**です！」

12 しかし、イエスはご自身のことを明らかにしないよう、汚れた霊たちに何度も厳しく警告をされていた。

13 さて、イエスは山に登り、呼びたい人たちをご自分の所に召された。そして、その者たちはイエスの所に来た。

14 そして、十二人を指名された。その者たちはイエスと同行し、そして教えを説くために、遣わす十二人である。

15 また、この者たちが病気を治し、悪霊を追い出す力を

16 持つためでもあった。**17** それに、ゼベダイの息子ヤコブとヤコブの兄弟ヨハネ、イエスはこの男たちにボアネルゲ、すなわち、「雷鳴の息子たち」という名をつけられた。**18** そして、アンデレ、ピリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス、アルパヨの息子ヤコブ、タダイ、カナン人のシモン、**19** そして、イエスを裏切ったイスカリオテのユダもいた。そして、全員、家に入った。**20** また、パンさえ食べることができないほど、群衆が再び集まって来た。**21** しかし、イエスの身内の者たちはこれを聞き、イエスを捕まえようと、出かけて行った。「あの男は狂っている。」と身内の者たちが言ったからである。**22** そしてまた、エルサレムから下って来た律法学者たちは言った。「この者はベルゼブル①を持っている。」そして、「悪霊の支配者によって、この者は悪霊を追い出している。」**23** それで、イエスは学者たちをご自分の所に呼び寄せ、例え話で話された。「サタン①はどうすればサタンを追い出せますか。**24** そして、ある王国が、もしその王国内で対立があり分裂すれば、その王国は立ちいきません。**25** そしてまた、もしある家それ自体の中で対立し、分裂すれば、その家は立ちいきません。**26** もしサタンが立ち上がり、自らの中で対立し、分裂すれば、サタンは立つことができず、終わりです。**27** もしまず強い男を縛らない限り、誰も強い男の家に入り、財産を強奪できるわけはありません。縛れば、その男の財産を強奪できます。**28** まことに、わたしはあなたがたに言います。人の子たちのあらゆる罪も、人の子たちが口にするどんな冒涜も赦されます。**29** しかし、**聖霊**に対する冒涜を口にする者は決して容赦されることなく、永遠の裁きを受ける危険な状態にあります。」**30** それは、学者たちが、「イエスは汚れた霊を持っている。」と言ったからである。**31** 次いで、イエスの兄弟たちと母がやって来

---

22 ①「ハエの主」という意味で、悪魔を指している。

23 ① サタンとは、悪魔の長であり、名前は「敵」という意味である。

て、戸外に立ち、人をやりイエスを呼ばせた。 **32** すると、イエスの周囲に座っていた大勢の人がイエスに言った。「ご覧なさい、あなたのお母さんと兄弟たちが外にいて、あなたを探しています。」 **33** しかしイエスは答えて、その人たちに言われた。「わたしの母とか、わたしの兄弟とは誰ですか。」 **34** そこで、イエスはご自分の周囲に座っている人たちを見回し、言われた。「わたしの母とわたしの兄弟たちをご覧なさい。 **35** なぜなら、わたしの**父**のご意志を行なう人は誰であれ、その人はわたしの兄弟であり、姉妹であり、母です。」

4

1 さて、イエスは海辺で再び教え始められた。すると、大群衆がイエスの所に集まったので、イエスは座るため船に乗り、海に出られた。そして、群衆はみんな海に向かって陸にいた。 **2** それからイエスは群衆に多くのことを例え話で教え、その中で、次の教理を語られた。 **3** 「聞きなさい。見よ。種を蒔く人が、種蒔きに出かけました。 **4** そうして、その男が蒔くと、路肩に落ちた種がありました。すると、空の鳥たちが来てそれを食べつくしました。 **5** また、あまり土のない岩地の上に落ちた種もあったが、そこは土が深くなかったため、その種はすぐ芽を出しました。 **6** しかし、太陽が昇ると、やけて枯れてしまいました。根がなかったためです。 **7** また、茨の中に落ちた種もありました。すると茨が伸びて、種を覆いふさぎ、そして実は稔りませんでした。 **8** しかし、良い土に落ちた種は芽を出し実を結び、あるものは三十倍、あるものは六十倍、またあるものは百倍にもなりました。」 **9** それから、イエスは彼らに言われた。「聞く耳のある人には聞かせよ。」 **10** しかし、イエスが一人になると、十二人の弟子と共に、周りにいた人たちは、この例え話について質問し出した。 **11** それで、イエスは言われた。「**神**の王国の奥義を知ることは、あなたがたにはすでに許されています。しかし、他の人たちには、すべて、例え話で知らされます。 **12** それは、『彼らは見ることは見るが、認めず、聞くことは聞くが、理解しない。だから彼らは向きを変えず、よって罪は赦されない。』」 **13** そして、イエスは周りにいた人たちに言われた。「こ

の例え話が分からないのですか。それで、どうしてすべての例え話を理解できるのですか。

14 種を蒔く人は、御言葉を蒔きます。**15** これは、御言葉が蒔かれた道端にいる人たちのことです。聞くとすぐ、サタンが来て、聞いた人たちの心の中に蒔かれた御言葉を持ち去ります。**16** そして、同様に、岩地に蒔かれた人たちは御言葉を聞き、喜びを持ってすぐ御言葉を受け入れます。**17** しかし、この者たちは自らの中に根を持っていないが、しばらくは耐えます。後で、御言葉のために苦難や迫害が起こると、たちどころにつまずきます。**18** さて、茨の中で御言葉を蒔かれた人たち、この人たちは御言葉を聞く人たちです。**19** しかし、今の時代の不安、富の惑わし、その他の物の欲望も入り込み、御言葉を覆いふさぎ、御言葉は実を結ぶことはないのです。**20** しかし、良い土に種を蒔かれた人たちがいます。この人たちは御言葉を聞き、それを受け入れ、そして実は稔ります。ある人は三十倍、ある人は六十倍、ある人は百倍に稔ります。」

21 また、イエスは群衆に言われた。「灯りは升や床の下に置くべき物でしょうか。そうではなく、燭台の上に置くべきではありませんか。**22** なぜなら、明らかにならないで、隠れているものはないように、また隠れているものがすべて明らかになるためです。**23** 誰であれ、聞く耳のある者には聞かせよ。」

24 そして、周りにいた人たちに言われた。「耳にすることに注意せよ。あなたがたの量る秤で、あなたがたは量られるからです。そして、耳にするあなたがたには、もっと加算されます。**25** 誰であれ、持っている人は与えられ、誰であれ、持っていない人は、持っているものさえも、取り上げられるからです。」

26 そして、イエスは言われた。「**神**の王国は、男が土地に種を撒き散らすようなものです。**27** そして、男は夜は寝、昼は起き、そして種は芽を出し、成長するが、その男自身、その訳を知りません。**28** 地はおのずから実を結ばせるからです。まず発芽し、それから頭、その後その中に豊かな実をつけます。**29** そして、実が熟すると、すぐ鎌を入れます。刈り入れの時が来たからです。」

30 そしてイエスは言われた。「**神**の王国は、何に似てい

るでしょうか。そして、何の例え話で説明しましょうか。**31** **神**の王国はからし種のようです。地に蒔かれると地上のどの種よりも小さいが、**32** いったん蒔かれると、成長し、畑のどの作物より大きくなり、大きな枝を広げ、空の鳥たちは巣を作るために来ます。」**33** そして、このような多くの例え話で、人々の聞いて理解する能力に従い、イエスは御言葉を話された。**34** イエスは例え話によらずに人々に話すことはなかった。そして、イエスと弟子たちだけになった時、あらゆることを弟子たちに解き明かされた。

35 さて、その日、夜が来た。イエスは弟子たちに言われた。「向こう岸に渡りましょう。」**36** それで、弟子たちは群衆を離れ、イエスをその船に乗せたまま連れて行った。他に数艘の小舟が同行した。**37** すると、激しい暴風が発生し、その船の中に波が激しく入り込み、ほとんど水浸しになるところであった。**38** しかし、イエスは船尾で枕をして寝ておられた。弟子たちはイエスを起こして、言った。「**先生**、私たちが消滅しても気にしないのですか。」**39** すると、イエスは起き上がり、風を叱りつけ、海に言われた。「静まれ、騒ぐな。」すると風はやみ、大凪になった。**40** そこで、イエスは弟子たちに言われた。「なぜそんなに恐れるのですか。それほどまでも、信仰がないのですか。」**41** すると弟子たちは非常に恐れ、互いに言った。「風と海さえもが聞き従うこの方は、いったいどなたなのでしょうか。」

5

1 さて、イエス一行は海の向こう岸、つまりガダラ人の地方に行かれた。**2** 船を降りられるとすぐ、墓地から悪霊に占領された一人の男がイエスに出会った。**3** 男は墓地に住まいがあり、そして、鎖を使ってさえ、誰もこの男を縛ることができなかった。**4** それで、誰もが、この男を取り押さえることができなかったのは、何度拘束しても、鎖を引っ張って外し、手錠を壊してしまったからである。**5** そして、男はいつも、夜も昼も、山の中や、墓地にいて、叫んだり自分を石で切ったりしていた。**6** しかし、男は遠くからイエスを見ると、走って、イエスを拝んだ。**7** そして、この男は大声で叫んで言った。「いと高き**神**の**御子息**であるイエスよ、私はあなたと何の関係がありますか。**神**によってお願いします。私を拷問にかけないでく

ださい。」

8 「汚れた霊よ、この男から出よ。」とイエスは男に言われたからである。

9 それから、イエスは霊に尋ねられた。「お前の名は何と言うか。」すると、霊は答えて言った。「私の名はレギオン①です。私たちは大勢いるからです。」

10 そしてまた、この地から仲間たちを追い出さないように、汚れた霊はイエスに強く願った。

11 さて、この山地の近くで、豚の大きな群れが餌を食べていた。

12 それで、悪霊たち全員はイエスに願って言った。「私たちを豚に送ってください。豚たちの中に入ることができるのですから。

13 すると直ちに、イエスは悪霊たちの願いを許可された。そして、汚れた霊たちは男を出て、豚の体に入った。（およそ二千匹いた。）そして、豚の群れは急な崖をいっせいに転げ落ち、海に入り、海中で溺れ死んだ。

14 それで、豚飼たちは逃げ出し、町や各地で人々に伝えた。それで、人々は何が起こったのかを確認するため、やって来た。

15 すると、人々はイエスの所に来た。そして、悪霊たちに占領されていた、あのレギオンに占領されていた男が、服を着、正気に戻って座っているのを見て、皆恐れた。

16 それで、このことを目撃した人々は、悪霊に占領されていた男に起こったことと豚のことを触れ回った。

17 すると、この地方から去るように、人々はイエスに願い出た。

18 そして、イエスが船に乗られると、悪霊に占領されていた男は、共に行けるようにイエスに願い出た。

19 しかし、イエスは許可されず、言われた。「自分の家に帰り、あなたの身近な人々に、**主**があなたにどんなことをなさったかを、また、**主**があなたをいかに哀れんでくださったかを伝えなさい。」

20 それでこの男は立ち去り、デカポリスでイエスがどんなに大きいことを自分にして下さったかを一部始終、説き始めた。すると、人々は皆、

---

9 ① レギオン：ローマ軍の六千人隊。

不思議に思った。

21 さて、イエスがまた船で向こう岸に渡られると、イエスの所に大群衆が集まった。その時イエスは海辺におられた。

22 そして見よ、ヤイロという名の、シナゴーグの支配者の一人が来て、イエスを見ると、足下にひれ伏し、

23 そして、イエスに必死に願って言った。「私の小さな娘が死にかけています。病気を治すため、お出でになって、娘の上に御手を置いてください。そうすれば、娘は生き続けます。」

24 それでイエスはヤイロと共に行かれた。すると、群衆はイエスについて行き、イエスを押しつけた。

25 ところで、ある女がいて、十二年間、不正出血が止まらず、

26 そして、大勢の医者たちから数々、ひどい目にあわされた。この女は所持金すべて使ったのに、良くはならず、かえって悪くなった。

27 女はイエスのことを聞き、群衆に混じりイエスの背後に来て、イエスの服に触れた。

28 「もし、あの方の服に触れさえしたら、私は治される。」と女は言っていたからである。

29 すると、たちどころに女の血の泉は乾き、忌まわしい病気は治ったと、体で分かった。

30 そしてすぐ、ご自分の中から力が出て行ったと分かったイエスは、群衆の中で振り返り、言われた。「誰がわたしの服に触れたのですか。」

31 しかし、弟子たちはイエスに言った。「群衆が四方からあなたを押しつけているのに、『誰がわたしに触れたのですか。』と、言っておられますか。」

32 そして、触れた女を見るため、イエスは振り向かれた。

33 すると、女は自分に何が起こったかを知り、恐れ、震えながら、イエスの御前に来てひれ伏し、すべての真実を話した。

34 そこで、イエスは女に言われた。「娘よ、あなたの信仰が、あなたを治しました。安心して行きなさい。あなたのあの忌まわしい病気から健やかでいなさい。」

35 イエスはまだ話しておられる間、シナゴーグのあの支配者の家から、数人の者が来て、言った。「あなたの娘さんは亡くなりました。なぜこれ以上、**先生**を煩わせることがあるでしょうか。」

36 しかし、イエスはそれを聞くとすぐ、シナゴーグの支配者に言われた。「恐れるな。ただ信じなさい。」

37 そして、ペテロ、ヤコブ、ヤコブの兄弟ヨハネ以外は、誰も同行することをイエスは許可されなかった。

38 さて、イエスはその支配者の家に来られ、そして大騒ぎして、泣いたり盛んに叫んでいる者たちをイエスは見られた。**39** イエスは家に入り、その人たちに言われた。「なぜこんなに泣き騒いでいるのですか。子どもは死んではいません。眠っているのです。」**40** しかし、人たちはイエスをあざ笑った。イエスはその人たちを外に出し、子どもの父と母とご自分を伴って来た人たちを連れ、子どもが横になっている所に入られた。**41** イエスは子どもの手を取られ、少女に「タリタ、クミ。」と言われた。訳すると、「少女よ、あなたに言います。立ち上がりなさい。」**42** すると、すぐ少女は立ち上がり、歩いた。少女は十二歳であったからである。そして全員、驚き、動転した。**43** そして、このことを誰にも知らせてはならないと、厳重に命じられ、少女に何か食べ物を与えるよう言われた。

6

1 さて、イエスはそこを出、ご自分の故郷に来られた。そして、イエスの弟子たちも同行した。**2** それで、安息日になり、イエスはシナゴーグで教え始められた。すると、イエスの話を聞いている大勢の人たちは驚愕し、言った。「この人は、これらのことをどこから得たか。また、この人の手によって行なわれたこのような力ある業をするための、与えられたこの知恵は一体何か。**3** これはあの大工ではないのか。マリヤの息子で、兄弟たちはヤコブとヨセとユダとシモンではないのか。そして、姉妹たちは私たちといっしょにここにいるのではないか。」それで、皆、イエスにつまずいた。**4** しかし、イエスは皆に言われた。「預言者が敬意を払われるのは、自分の故郷と自分の親戚の間と自分の家の外です。」**5** イエスはあまり多くの力ある業をそこではできなかったが、ただ何人かの病人に手を置いて、治された。**6** そして、イエスは皆の不信仰を意外に思われた。それから、各村に回り、教えられた。**7** さて、イエスは十二人をご自分の所に呼び集め、二人一組として遣わし始め、汚れた霊どもに対する権限を与えられた。**8** そして、この旅行には杖の他、皮袋も、パンも、胴巻きに金銭も、何も持って行ってはいけないと命じられた。**9** 「しかし、サンダルは履きなさい。だが、二枚の上着を着てはいけません。」**10** そして、弟子たちに言われた。「いかなる所で家に入ろうが、そこを去るまで、その家にとどまりなさい。

11 そして、誰であれ、あなたがたを受け入れず、また、聞き入れない者がいれば、そこを去る時、その者たちへの証として、足からほこりを振り落としなさい。まことに、わたしはあなたがたに言います。ソドムとゴモラの町の方が裁きの日は、その町よりしのぎやすいのです。」**12** それで、弟子たちは出かけ、人は悔い改めるべきであると説いた。**13** そして、多くの悪霊を追い出し、大勢の病人に油を塗り、治した。

14 さて、イエスの御名は広く知れ渡ったので、ヘロデ王は、イエスのことを耳にし、言った。「バプテスマのヨハネが死人の中から復活したのだ。だから、こんな力が彼の中で働いているのだ。」**15** 他の人たちは、「エリヤだ。」と言い、またさらに他の人たちは、「預言者だ。そうでなければ、預言者にちかい人だ。」と言っていた。**16** 聞いたヘロデは言った。「この人こそ、私が首を斬ったヨハネが、死人の中から復活したのだ。」**17** ヘロデは自分の兄弟ピリポの妻、ヘロデヤと結婚していたので、人を遣わし、ヘロデヤのためヨハネを牢に入れ縛った。**18** ヨハネがヘロデに、「兄弟の妻を所有するのは律法に反する。」と言ったからである。**19** それで、ヘロデヤはヨハネに遺恨を持ち、ヨハネを殺したかったが、殺せなかった。**20** なぜなら、ヘロデはヨハネが義人であり、聖なる人であると知っていたので、ヨハネを恐れ、保護していた。そしてヨハネの話を聞くと、色々なことをしたが、喜んでヨハネの話を聞いた。

21 すると、都合の良い日が来た。ヘロデは自分の誕生日に、地位のある者たち、千人隊長たち、ガリラヤの主立った人たちのために、祝宴を設けた。**22** そして、ヘロデヤの娘、彼女自身がやって来て、踊り、ヘロデとヘロデと共にいた人たちを喜ばした。その時、王はこの少女に言った。「欲しいものを何でも願え。願えば、与える。」**23** また、ヘロデは少女に誓って言った。「願ったものは何でも与える。半分までなら我が王国もやる。」**24** それで、少女は退出し、母に言った。「私は何を願いましょうか。」それで母は言った。「バプテスマのヨハネの首を。」**25** それで、少女は即、王のもとに行き、願って言った。「今すぐ、盆に載せたバプテスマのヨハネの首を、私にお

与えください。」

26 すると、王はとても後悔した。しかし、誓いのため、また共に座っている人たちの手前、少女を拒否したくなかった。

27 それで、王は死刑執行人をすぐ派遣し、ヨハネの首を持って来いと命じた。そして、死刑執行人は行き、牢にいるヨハネの首をはねた。

28 そして、盆に載せられたヨハネの首を持って来て、少女に与え、そして、少女はそれを母に渡した。

29 すると、それを聞いて、ヨハネの弟子たちがやって来て、ヨハネの死体を引き取り、墓に入れた。

30 さて、使徒たちはイエスの所に集まり、自分たちがしたことと、教えたことを、一部始終イエスに伝えた。

31 すると、イエスは使徒たちに言われた。「あなたがただけで、寂しい所に行き、少し休みなさい。」と言うのは、大勢の人の出入りがあり、使徒たちは食事を取る時間さえもなかったからである。

32 そして、使徒たち一行だけで、寂しい所に船で行った。

33 しかし、群衆は、使徒たち一行が去って行くのを見て、大多数の人はイエスと分かり、どの町からもイエスの所に走った。群衆は使徒たちより早く着き、イエスの所に集まった。

34 そして、イエスが出て行かれ、大変な数の群衆をご覧になった。そして、群衆は羊飼いのいない羊のようであったから、イエスは哀れに思われ、群衆に多くのことを教え始められた。

35 その日が終わりに近づいていた時、弟子たちはイエスの所に行き、イエスに言った。「ここは寂しい所で、もう遅い時刻ですから、

36 群衆を去らせてください。そうすれば、パンを買いに里や村に行けます。食べ物は何も持っていないのですから。」

37 すると、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたが群衆に食べ物を与えなさい。」それで弟子たちはイエスに言った。「私たちが二百デナリ分①のパンを買いに行き、群衆にその食べ物を与えるのですか？」

---

37 ① ローマ帝国の銀貨。一デナリは一般労働者の一日分の賃金。

38 しかし、イエスは弟子たちに言われた。「パンは何個ありますか。行って見て来なさい。」弟子たちは調べて、言った。「パン五個と魚二匹です。」

39 そして、弟子たちは全員を、グループに別け、緑の草の上に横にならせよ、とイエスは弟子たちに命じられた。

40 それで、百人、五十人と、群衆は仲間ごとに座った。

41 そして、イエスはパン五個と魚二匹を手に取り、天を見上げ、祝福し、そのパンを裂き、皆の前に置くようにと、弟子たちに与え、イエスが裂かれた魚も弟子たちは全員に分配された。

42 そして、全員が食べ、満腹した。

43 弟子たちは残ったパン切れと魚でいっぱいの、十二のかごを手にした。

44 さて、パンを食べた人たちは、およそ男性五千人であった。

45 そして、イエスはすぐご自分の弟子たちを船に乗せ、ご自分より先に対岸のベッサイダへ行かせ、その間にイエスは群衆を去らせた。

46 そして、イエスは群衆を去らせ、祈るため山に行かれた。

47 そして、夕方になり、船は海の中央にあった。そして、イエスは陸に一人でおられた。

48 向かい風のため、弟子たちが漕ぐのを苦しんでいるのを、イエスはご覧になられた。さて、夜の第四時間目①に、イエスは海上を歩いて、弟子たちの所に来て側を通り過ぎようとされた。

49 すると、弟子たちはイエスが海上を歩いておられるのを見て、幽霊だと思い、叫んだ。

50 弟子たちは全員イエスを見て、おびえた。しかし、イエスはすぐ弟子たちに話しかけ、言われた。「しっかりしなさい。わたしです。恐れてはいけません。」

51 そして、イエスが船の弟子たちの所に行かれると、風は凪いだ。弟子たちは心中驚愕し、いぶかった。

52 なぜなら、弟子たちの心はかたくなになっていたので、あのパンのことを理解していなかったのである。

53 渡り終え、一行はゲネサレの地に入り、そこで投錨した。

---

48 ① 三時ごろ。

54 そして、一行は船から降りると、人々はすぐイエスだと分かり、**55** その周辺のすべての地に走って行き、イエスのおられる所と聞けば、床のまま病人たちを連れて来た。**56** そして、イエスは村々、町々、田舎に入られると、病人たちを市場に寝かせ、人々はイエスの衣のへりをただ触れるだけでもとイエスに願った。そして、触れた人は誰であれ治された。

7

1 さて、パリサイ派の人たちとある律法学者たちが、エルサレムから来てイエスの元に集まった。**2** そして、イエスの弟子のある者たちが不浄な手、つまり手を洗わずパンを食べているのを見て、あら捜しをした。**3** パリサイ派の人たちと全ユダヤ人は、手は肘まで洗わない限り、長老たちの伝統を守り、食事はしないからである。**4** また、市場から帰った時でも、沐浴しない限り食事をせず、その他、保持すべしと受け継いだことは多くある。カップ、壺、青銅の器、床を水に浸す。**5** そこで、パリサイ派の人たちと律法学者たちは、「あなたの弟子たちはなぜ、長老たちの伝統を歩まずに、洗わない手でパンを食べるのですか。」とイエスに尋ねた。

6 すると、イエスは答えて言われた。「書いてある通りです。イザヤはあなたがた偽善者について、正に預言しました。『この国民は、唇でわたしに敬意をはらうが、心は、わたしから遠く離れている。**7** そして、この者たちは意味もなくわたしを礼拝し、人間の命令を教理として教える。』**8** あなたがたは**神**の命令を脇に置き、人間のする、たとえば、壺、カップを水に浸すなど、他の多くの伝統を守ります。」**9** そして、イエスは全員に言われた。「あなたがたは、自分たちの伝統を守るため、**神**の命令をも正に拒みます。**10** なぜなら、モーセは言いました。『あなたの父と母に敬意を払いなさい。』そして、『父または母の悪口を言う者は、死に至らしめよ。』**11** しかし、あなたがたは言います。『父または母に、私から受け取ることになっている利益は、「コルバン」』(すなわち、奉げ物)と言えば、**12** それで、その男の父のためであろうが母のためであろうが、それ以上何もあなたがたは要求しません。**13** あなたがたは、受け継いできた己の伝統のゆえに、**神**の御言葉をないがしろにし、この類のことを多く行なっています。」

14 そして、イエスはご自分の所に、全群衆を呼び、言われた。「皆さん、わたしの言うことを聞きなさい、そして理解しなさい。
15 外から人に入ってくるものは何も、その人を汚すことができないが、その人の中から出るもの、それが人を汚します。
16 聞く耳のある人がいれば、聞かせよ。」
17 そして、イエスは群衆から離れた家に入られると、弟子たちはこの例え話についてイエスに尋ねた。
18 それで、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたも未だ分かっていないのですか。外から人に入るものは、人を汚すことができないことを、理解していないのですか。
19 なぜなら、それはその人の心に入らずに、腹の中に入り、そして排泄され、それで、すべての食べ物を清めるのです。」
20 そして言われた。「人から出るものは、人を汚すのです。
21 なぜなら、悪い思い、姦淫、性的な罪、殺人は内部から、すなわち人々の心から出るからです。
22 また、盗み、貪欲、悪、偽り、好色、悪の目、冒涜、傲慢、愚かさも心から出ます。
23 これらの悪事はすべて人の内部から出て、人を汚します。」
24 さて、そこからイエスは立ち上がり、ツロとシドンの国境地方に行かれた。そして、家に入られた時、そのことをイエスは誰にも知られたくないと思われたが、隠れることができなかった。
25 それは、汚れた霊を持つ幼い娘のいる女が、イエスのことを聞き、やって来て、イエスの足もとにひれ伏したからである。
26 この女はギリシャ人であり、スロ・フェニキヤの生まれであった。そして、娘から悪霊を追い出してくださるよう、イエスに頼み続けた。
27 しかし、イエスは答えて言われた。「子どもたちのパンを取って、小犬らに投げ与えるのは良くありません。まず最初に子どもを満腹させなさい。」
28 すると、女は答えて、イエスに言った。「はい、主よ。でも、食卓の下にいる小犬らは、子どもたちの食べくずを食べるのです。」
29 イエスは女に言われた。「そう言うのであれば家に帰りなさい。悪霊はあなたの娘から去ったのです。」
30 それで、家に帰ると、悪霊は去り、床に娘が横になっているのを見た。
31 さて、ツロとシドンの国境地方を去り、イエスは再びデカポリス地方の中心部を通り、ガリラヤの海に行かれた。
32 そして、御手を置いてくださるように願うため、人々は

耳が聞こえず、言葉の不自由な男をイエスの所に連れて来た。**33** すると、イエスはこの男を群衆から連れ出し、両の耳にご自分の指を入れ、つばきをし、男の舌を触れられた。**34** そして、天を仰ぎ、吐息し、男に「エファッタ」、すなわち「開けよ」と言われた。**35** すると、たちどころに男の両の耳は開き、舌を縛るものは解除され、明瞭に話した。**36** それから、誰にもこのことを話してはいけないと、イエスは人々に命じられたが、強く言えば言うほど、人々は広範囲に伝えた。**37** そして、人々は非常に驚愕し、言った。「この方はすべてのことを立派になさいました。耳が聞こえない男を聞こえるようにし、おしの男を話せるようにもなさいました。」

8

1 さて、この数日間、群衆は大変な数で、食べ物を持っていなかったので、イエスは弟子たちを呼び寄せて、言われた。**2** 「群衆はすでに三日間わたしと共にいます。食べ物は何も持っていません。だから、哀れとわたしは思います。**3** そして、群衆の中には、遠くからやって来た者たちもいるから、空腹のまま、家に帰せば、途中で倒れてしまいます。」**4** それで弟子たちはイエスに答えた。「この荒れ果てた所でこの人たちをパンで満腹させるのに、どうすればよいのですか。」**5** すると、イエスは弟子たちに尋ねられた。「パンは何個ありますか。」弟子たちは言った。「七個です。」**6** すると、イエスは地面に座るよう、群衆に命じられた。そして、イエスはその七個のパンを手に取り、感謝をささげ、それらを裂き、群衆に与えるよう、弟子たちに渡された。そして、弟子たちはそのパンを群衆の前に置いた。**7** そして、弟子たちは小魚を数匹持っていた。イエスはそれを祝福し、みんなの前にそれも置くように言われた。**8** それで、みんなは食べ、満腹した。そして、食べ残しの入ったかご、七個を弟子たちは手にした。**9** そして、食べた人たちは、およそ四千人であった。それからイエスは群衆を去らせた。**10** そして、イエスはすぐ弟子たちと共に船に乗り、ダルマヌタの地方に行かれた。**11** そこに、パリサイ派の人たちがやって来て、イエスを試みようと、天からのしるしを要求し、論争を始めた。**12** しかし、イエスは自らの霊で深く吐息し、言われた。「この世代はなぜしるしを求めますか。まことに、あなたがた

に言います。この世代にしるしは与えられません。」

13 イエスはパリサイ派の人たちと別れ、また船に乗り、対岸へ去って行かれた。

14 さて、弟子たちは、パンを持って来るのを忘れていた。そして、船の中には、パンは一つしかなかった。

15 そこで、イエスは弟子たちに命じ、言われた。「注意しなさい。パリサイ派の人たちのパン種と、ヘロデのパン種には警戒しなさい。」

16 そこで、弟子たちは自分たちだけで話し合い、言った。「私たちにはパンがないからだ。」

17 しかし、イエスはこのことに気付かれ、言われた。「あなたがたはパンがないからと言って、なぜ話し合いしているのですか。まだ悟らず、理解できないのですか。心は未だかたくなのままなのですか。

18 目があっても、見えないのですか。そして、耳があっても、聞こえないのですか。そして、記憶にもうないのですか。

19 五千人のため、五つのパンを裂いた時、パン切れでいっぱいになったかごを、いくつ手にしたのですか。」弟子たちは、「十二個です。」とイエスに言った。

20 「そして、四千人のため、七つのパンを裂いた時、パン切れでいっぱいになっていたかごを、いくつ手にしたのですか。」弟子たちは、「七個です。」とイエスに言った。

21 そして、イエスは弟子たちに言われた。「どうして分からないのですか。」

22 さて、イエスはベツサイダに行かれた。そして、人々はイエスの所に盲目の男を連れて来て、手を触れるように願った。

23 すると、イエスは盲目の男の手を取り、村の外に連れて行かれた。そして、盲目の男の両目につばきし、男に手を置き、何か見えるかと尋ねられた。

24 そして、盲人は見上げて言った。「男たちが見えます。木が歩いているようです。」

25 それから、イエスは男の目に改めて手を置き、見上げさせた。すると、視力が戻り、すべてがはっきりと見えた。

26 それで、イエスは「村に入ってはいけません。また村の誰にも話してはいけません。」と言い、男を帰宅させられた。

27 さて、イエスと弟子たちは、ピリポ・カイザリヤの村々に行かれた。そして、途中、イエスは弟子たちに尋ね、言われた。「人々はわたしのことを、何者だと言っているのですか。」

28 それで弟子たちは答えた。「バプテスマのヨハネです。しかし、エリヤだと言う人たちもいるし、預言者たちの

一人だと言う人たちもいます。

29 そして、イエスは弟子たちに言われた。「しかし、あなたがた自身はわたしを何者だと言うのですか。」ペテロは答えて言った。「あなたはあのキリストです。」

30 そして、イエスは弟子たちに、ご自分のことについて誰にも言わないように厳しく命じられた。

31 人の**子**は多くの苦しみを受け、長老たちと大祭司たちと律法学者たちに拒否され、殺され、三日の後に復活しなければならないと、イエスは弟子たちに教え始められた。

32 イエスはこの言葉をはっきりと言われた。するとペテロはイエスを脇に来て頂き、非難しだした。

33 しかし、イエスは振り向いて、弟子たちをご覧になり、ペテロを非難して言われた。「サタン①よ、わたしの後ろに行け。あなたは**神**のことを考えず、人間のことを考えているからです。」

34 そして、群衆をご自分の弟子たちと共に呼び寄せ、全員に言われた。「もし誰であれわたしの後について来たいのなら、自分を捨て、自分の十字架を持ち上げ、そしてわたしに従いなさい。

35 誰であれ、自らの命を救おうとする者は、命を失うが、誰であれ、わたしと福音のために命を失う者は、自らの命を救うからです。

36 なぜなら、もし全世界を手に入れても、自らのたましいを損じるなら、何の利益になりましょうか。

37 あるいは、自らのたましいを、人は何と交換し得ましょうか。

38 なぜなら、人の**子**は将来、聖なる御使いたちと共に、自分の**父**の栄光の中に来る時、この姦淫と罪深い時代では、わたしとわたしの言葉を恥じる者を、人の**子**もその者を恥じとします。」

9

1 そして、イエスは弟子たちに言われた。「まことにわたしはあなたがたに言います。ここに立っている人たちの中で、**神**の力強い王国が来るのを見るまで、死を決して味わわない人たちがいます。」

2 さて、六日後、イエスは他の弟子たちからペテロとヤコブとヨハネを離し、四人で高い山に登って行かれた。そしてイエスは三人の前で御

---

33 ① サタンの意味は「敵」である。

姿を変えられた。

3 イエスの衣服は輝き出すし、地上のどんな漂白する職人も白くすることができないほど、雪のように極めて白くなった。

4 すると、エリヤがモーセと共に三人に現れ、そして、彼らはイエスと話をしていた。

5 そこで、ペテロは答えてイエスに言った。「**ラビ**よ、私たちはここにいるのは、良いことです。私たちはここに三つの幕屋を作りましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、一つはエリヤのためにです。」

6 三人はとても恐怖に陥っていたので、ペテロは何を言っていいか分からなかったからである。

7 すると雲が現れ皆を覆った。そして、その雲からの御声が言われた。「これはわたしの愛しい**息子**である。**息子**に耳を傾けなさい。」

8 そして、三人の弟子があたりを見回すと、急に、共におられたイエスのほか、誰一人としてもう人は見かけなかった。

9 さて、イエス一行が山を下りている時、人の**子**が死人の中から復活するまで、今見たことを誰にも話してはいけないと、イエスは弟子たちに命じられた。

10 それで、弟子たちは今の御言葉を自分たちだけのものとし、死人たちの中からの復活とは、どう言う意味かを互いに論争した。

11 それで、弟子たちはイエスに尋ねて言った。「では、なぜ律法学者たちは、エリヤが先に来なければならない、と言っているのですか。」

12 すると、イエスは答えて弟子たちに言われた。「エリヤが間違いなくまず先に来て、すべてのものを元の状態に戻します。そして人の**子**は数々の苦しみを受け、侮辱をもって扱われます。このことはどう書かれていますか。

13 しかし、わたしはあなたがたに言います。エリヤも来たが、エリヤについて書いてある通り、人々は勝手気ままにエリヤを扱いました。」

14 さて、イエスは弟子たちの所に来られると、弟子たちの回りの大群衆と、論争している律法学者たちを、イエスがご覧になった。

15 そして、すぐ人々はイエスを見、とても驚き、イエスの所に走りより、挨拶した。

16 すると、イエスは律法学者たちに尋ねられた。「この人たちと、何を論じているのですか。」

17 すると、群衆の一人が答えて言った。「**先生**、私はおしの霊に占領された我が息子をあなたの所に連れて来ました。

18 そして、霊はどこで息子を捕らえようが、投げ飛ばします。そして、息子は口から泡を吹き、歯ぎしりし、やせ衰えて来ました。それで、私は霊を追い出すように、お弟子さんたちに言いましたが、できませんでした。」 **19** イエスはその男に答えて言われた。「おお、信仰のない世代の人たちよ、わたしはいつまで、あなたがたと共にいられようか。わたしはいつまであなたがたに我慢できようか。その子を連れて来なさい。」 **20** すると人々は、その子をイエスの所に連れて来た。そして悪霊がイエスを見ると、たちどころにその子をもだえさせた。そして、その子は地に倒れ、身を転がし、口から泡を吹いた。 **21** それでイエスは父親に尋ねられた。「いつからこの子はこうなったのですか。」父親は、「小さい時からです。」と言った。 **22** 「そして、しばしば息子を滅ぼすため、霊は息子を火の中、また水の中に投げ入れたことがあります。しかし、もし何かしていただけるのであれば、私たちを憐れみ、お助けください。」 **23** するとイエスは男に言われた。「あなたが信じるのであれば、信じるその者には、すべてのことが可能です。」 **24** すると、直ちに子どもの父は叫び、涙を流しながら言った。「**主**よ、私は信じます。私の不信仰から私をお助けください。」 **25** イエスは人々が走って集まって来るのを見て、汚れた霊を叱責し、言われた。「口が利けない、耳が聞こえない霊よ、お前に命じる。子どもから出て、二度と入るな。」 **26** すると霊は叫び、その子を激しくもだえさせ、その子から出た。そして子は死人のようになったので、多くの人は「子どもは死んだ。」と言った。 **27** しかし、イエスは子の手を取り、抱き起こされると、その子は立った。 **28** そして、イエスは家に入られると、弟子たちはひそかにイエスに尋ねた。「私たちはなぜ悪霊を追い出せなかったのですか。」 **29** すると、イエスは弟子たちに言われた。「この種のものは、祈りと断食の外、他のものでは、出て行くことはありません。」 **30** それから、イエス一行はそこを離れ、ガリラヤを通過中、このことをイエスは誰にも知られたくなかった。 **31** なぜなら、「人の**子**は、裏切られ、人々の手に渡されます。そして、人々は人の**子**を殺します。そして、殺されてから、人の**子**は、第三日目に復活します。」と、イエス

は弟子たちに言って、教えておられたからである。

32 しかし、弟子たちはこの御言葉を理解せず、尋ねるのが怖く、イエスに質問はしなかった。

33 さて、イエスはカペナウムに来られた。そして、イエスは家の中におられ、弟子たちに尋ねられた。「来る途中、あなたがたは何を論争していたのですか。」

34 しかし、来る途中で弟子たちは、誰が一番偉くなるかと、論争したので、黙っていた。

35 それで、イエスは座り、十二人を呼び、言われた。「一番になろうと思う者が、全員の最後になり、全員の僕になります。」

36 そして、イエスは一人の幼児を弟子たちの中央に立たせた。そして、幼児を抱擁し、弟子たちに言われた。

37 「このような幼児の一人を、わたしの名によって受け入れる者は、誰でもわたしを受け入れます。そして、誰でもわたしを受け入れるなら、わたしをではなく、わたしを遣わした方を受け入れます。」

38 さて、ヨハネはイエスに答えて、言った。「**先生**、あなたのお名前によって悪霊を追い出している男を私たちは見ました。私たちと共にあなたに従っていない男でしたので、中止させました。」

39 しかし、イエスは言われた。「中止させてはいけません。わたしの名によって奇跡を行なう者は、その後すぐわたしの悪口を言うことができないからです。

40 なぜなら、わたしたちに反対しない者は、わたしたちの側の者だからです。

41 なぜなら、もし誰であれ、あなたがたに、わたしの名ゆえに、あなたがたはキリストの者たちだからと言って、ただ一杯の水を与えても、まことにあなたがたに言いますが、その者は決してその報酬を失うことはありません。

42 でも、わたしを信じるこの小さき者の一人を、つまずかせる者は誰であれ、石臼を首にぶら下げられて、海に投げ込まれた方がましです。

43 そして、もしあなたの手が、あなたをつまずかせるなら、切り落としなさい。両手がそろって、地獄の消えることのない火の中に入るより、不具で、命に入る方が優っています。

44 そこでは、彼らのうじ虫は死ぬことはなく、また火も消されることはありません。

45 しかし、もしあなたの足が、あなたをつまずかせるなら、切り落としなさい。両足そろって、地獄の消えることもない火に投げ込まれるより、不具で、命に入る方が遥かに優っています。

46 そこは、彼らのうじ虫は死ぬことはなく、また火も消されることはありません。

47 また、あなたの目の一つが、あなたをつまずかせるなら、それをえぐり出しなさい。両目がそろって、地獄の火に投げ込まれるより、片目で、**神**の王国に入る方が遥かに優っています。

48 そこは、彼らのうじ虫は死ぬことはなく、また火も消されることはありません。

49 すべては火によって味を付けられ、また、すべての生贄は塩で味を付けされるからです。

50 塩はよい物だが、もしその塩が塩の味をなくしたら、何によってそれに塩気を与えられますか。あなたがたは内に塩を持ち、互いに平安を持ちなさい。」

10

1 さて、イエスは立ちあがり、そこを去り、ヨルダン川を越え、ユダヤの地方に行かれた。そして、再度、群衆がイエスの所に集まったので、また、いつものように群衆を教えられた。

2 そして、パリサイ派の人々が進み出て、イエスに尋ねた。「男が妻を離婚することは合法ですか。」と、イエスを試みた。

3 すると、イエスはパリサイ派の人々に答えて言われた。「モーセは、何をあなたがたに命じましたか。」

4 すると、パリサイ派の人々は言った。「離縁状を書き、妻を去らせるのを、モーセは許しました。」

5 それでイエスはパリサイ派の人々に答えて言われた。「あなたがたの心がかたくななため、モーセはこの命令を書いたのです。

6 しかし、創造の最初から**神**は、『人間を男と女として造った。

7 このため、男は父と母を離れ、妻と結ばれる。

8 そして、この二人は一つの肉体になる。』したがって、もう二人ではなく、一体です。

9 それで、**神**が結ばれたものを、人が離してはいけません。」

10 そして、家に入ってから、弟子たちもまたこの同じことをイエスに尋ねた。

11 それで、イエスは弟子たちに言われた。「自分の妻を離婚して、他の女と結婚する男は、妻に対して姦通を犯します。

12 そして、女は自分の夫を離婚して、他の男と結婚すれば、姦通を犯します。」

13 さて、イエスに手を触れてもらおうと、人たちが幼い子どもたちをイエスの所に連れて来た。しかし、弟子たちは連れて来た人たちをとがめた。

14 これを見たイエスは激しい不快感を示し、弟子たちに言われた。「幼い子どもたちを、わたしの所に来させなさい。さまたげてはいけません。**神**の王国は、このような者たちの所だからです。

15 まことにあなたがたに言います。人は幼い子どもとして**神**の王国を受け入れなければ、**神**の王国に入ることはありません。」

16 そして、イエスは子どもたちを抱き上げ、子どもたちに手を置き、祝福された。

17 さて、イエスは道に出て行かれると、一人の男がイエスの所に走って来て、イエスの前にひざまずき尋ねた。「よい**先生**よ、私が永遠の命を受け継ぐには、何をすればよいのでしょうか。」

18 そうすると、イエスはその男に言われた。「あなたはなぜわたしを『よい』と言うのですか。**神**お一人以外、誰もよい人はいません。

19 『姦通をしてはいけない。殺人を犯してはいけない。窃盗をしてはいけない。偽証をしてはいけない。欺き取ってはいけない。あなたの父と母に敬意をはらいなさい。』と言う命令をあなたは知っています。」

20 男は答えてイエスに言った。「**先生**、これらすべてを青年時代から守ってきています。」

21 イエスはその男を見て、愛で、言われた。「あなたはまだ足りないことが一つあります。帰って、すべての持ち物を売り、貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、あなたは天国で宝を手にします。そして、十字架を手に取り、わたしに従いなさい。」

22 しかし、男はこの言葉を聞き落胆し、悲しみながら帰った。多くの富があったからである。

23 そして、イエスは見回し、弟子たちに言われた。「財産を持つ者が、**神**の王国に入ることは、本当に難しいことです。」

24 すると弟子たちはイエスの言葉に驚いた。しかし、イエスはもう一度答えて、弟子たちに言われた。「子らよ、富に信頼を置く者が、**神**の王国に入ることの、本当に難しいことです。

25 金持ちが**神**の王国に入るより、らくだが針の穴を通る方が簡単です。」

26 それで弟子たちは非常に驚愕し、互いに言った。「では、誰が救われることができましょうか。」

27 しかし、イエスは弟子たちをご覧になり、言われた。「人間には不可能だが、**神**は違います。**神**にはすべて可能だからです。」

28 すると、ペテロはイエスに言い出した。「ご覧下さい。私たちは何もかもおいて、あなたに従って来ました。」

29 それでイエスは答えて言われた。「まことに、あなたがたに言います。家、兄弟たち、姉妹たち、父、母、妻、子どもたち、土地をわたしのため、そして福音のため、捨てて来たその者たちすべては、

30 今のこの時代に、家、兄弟たち、姉妹たち、母たち、子どもたち、土地を、そして迫害も共に、すべてその百倍にして受け、そして来るべき時代に、永遠の命を受けます。

31 しかし、最初の多勢の人は最後に、最後の人たちは最初になります。」

32 さて、エルサレムに上って行く道の途中、イエスは弟子たちの前に行かれると、弟子たちは驚いていた。そして、従って来た人たちは、従いながら恐ろしくなった。それでイエスはもう一度、十二人を道ばたに寄せ、ご自分に起ころうとすることを彼らに教え始められた。

33 「見よ、わたしたちはエルサレムに上り、人の**子**は祭司長たちと律法学者たちに裏切られ、その者たちは人の**子**を死に定め、異邦人に渡します。

34 異邦人たちは人の**子**をあざけり、むち打ち、つばきをかけ、そして殺します。そして、人の**子**は三日目に復活します。」

35 その時、ゼベダイの息子、ヤコブとヨハネが、イエスの所に来て、言った。「**師**よ、私たちの願うことを何であれ叶えてください。」

36 そこで、イエスは二人に言われた。「あなたがたはわたしに何を願うのですか。」

37 それで、二人はイエスに言った。「私たちを、あなたのご威光で、一人はあなたの右に、もう一人はあなたの左に、座れますようお願いします。」

38 しかし、イエスはヤコブとヨハネに言われた。「あなたがたは何を願っているのか理解していません。わたしが飲むカップを飲み、わたしの受けようとしている浸しを受けることができるのですか。」

39 二人はイエスに言った。「私たちはできます。」それで、イエスは彼らに言われた。「あなたがたはまことにわたしが飲むカップを飲み、わたしの受ける浸しで浸しを受けます。

40 しかし、わたしの右、わたしの左に座ることは、わたしが与えることではなく、それはすでに準備されたものであり、定められた人たちのためです。」

41 すると、残りの十人はそれを聞き、ヤコブとヨハネに対し激しい不快の念を持ち始めた。

42 しかし、イエスは弟子たちをご自分の所に呼び寄せて、

言われた。「異邦人の支配者と尊敬されている者たちは、異邦人の上に君臨します。また民の大物たちは、異邦人の上に権力を振るうことを、あなたがたは知っています。

43 しかし、あなたがたの間ではそうはなりません。あなたがたの間では、大物になりたい人はあなたがたの中では僕になります。

44 そして、誰であれあなたがたの間で一番になりたい人は、全員の僕になります。

45 なぜなら、人の**子**は、仕えてもらうために来たのではなく、仕えるため、そして、自分の命を大勢の人の身代金として、与えるために来たのです。」

46 さて、イエスと弟子たちは、エリコに行った。それから、イエスと弟子たちと大群衆がエリコを出た時、テマイの息子、盲人のバルテマイが、道ばたに座り、こじきをしていた。

47 そして、その方がナザレのイエスであると聞き、バルテマイは叫び出し、言った。「ダビデの**御子息**イエスよ、私を哀れんでください。」

48 そこで、多くの人たちは、静かにするようバルテマイに警告したが、彼はさらにいっそう大声を出した。「ダビデの**御子息**よ、私を哀れんでください。」

49 それでイエスは立ち止まり、バルテマイを呼ぶように命じられた。そして彼らはその盲人を呼び、盲人に言った。「勇気を出しなさい。立ちなさい。イエスがあなたを呼んでいます。」

50 それで、盲人は服を投げ捨て、立ち上がり、イエスの所に来た。

51 すると、応えてイエスはその盲人に言われた。「あなたのため、あなたはわたしに何をしてほしいのですか。」盲人はイエスに言った。「**主**よ、視力を頂きたいのです。」

52 それでイエスは盲人に言われた。「行きなさい。あなたの信仰があなたを治しました。」すると、たちどころに、盲人は再び見えるようになり、イエスに従い同行した。

11

1 さて、イエス一行はエルサレムの近くに来た時、ベテパゲとベタニヤに入り、オリーブ山で、イエスは二人の弟子を遣わされた。

2 そして、イエスは二人の弟子に言われた。「向こう側の村に行きなさい。村に入るとすぐ、あなたがたはつながれている、誰も乗ったことがないロバの子が見つかります。手綱を解いて連れてきなさい。

3 もし誰かがあなたがたに、『何をしているのか。』と言えば、『**主**はこれを入用としています。』と言いなさい。す

ると、その人はすぐロバをここに送り届けてくれます。」

4 それで、弟子たちは出かけ、ロバの子が戸外に、通りの戸口に繋がれているのを見つけ、解いた。

5 しかし、そこに立っていた人たちの中のある人たちが二人に言った。「ロバの子を解いて、どうするのか。」

6 すると、弟子たちはイエスが命じた通り、彼らに言った。すると、その人たちは弟子たちを許した。

7 そして、二人の弟子はロバの子をイエスの元に連れて来て、その上に自分たちの服を敷いた。イエスはその上に乗られた。

8 そして、多くの人たちは彼らの服を道に広げ、また他の者たちは木から葉の茂った枝を切り、道に広げた。

9 すると、先に行った群衆と後からついて来た群衆が叫び、言っていた。「ホサナ。① **主**の御名により来られる方に、祝福あれ。」

10 **主**の御名により来るべき、私たちの父ダビデの王国に、祝福あれ。最高位の、ホサナよ。」

11 そして、イエスはエルサレムに入り、神殿の敷地内に入られた。そして、すべてあたりのものを見渡し、もう時刻が遅かったので、十二人と共にベタニヤに入られた。

12 さて、翌日ベタニヤを出た時、イエスは空腹であった。

13 それで、遠くから葉の茂った一本のイチジクの木をご覧になり、探せば何かあるかも知れないと、その木に行かれたが、イチジクの季節ではなかったので、葉のほか、木には何も見あたらなかった。

14 それで、その木にイエスは話しかけ、言われた。「今後、誰も二度とお前から実を食べる者がいないように。」そして、イエスの弟子たちはそれを聞いた。

15 さて、彼らはエルサレムに来た。そこで、イエスは神殿の敷地に入り、そこで物を売買しているすべての者たちを追い出し始められた。また、イエスは両替人の卓と、鳩を売る者の床几をひっくり返された。

16 そして、誰もかごを持って神殿の敷地を通る

---

9 ① ユダヤ人が礼拝のため使う言葉、ヘブル語で、「お救いください」という意味である。

ことも許されなかった。

17 そして、イエスは彼らに教えて言われた。『わたしの家は、すべての国々の民のため、祈りの家と呼ばれる。』と書いてはないですか。しかし、あなたがたはわたしの家を強盗の巣窟にしてしまった。」

18 すると、律法学者たちや大祭司たちはこれを聞き、どうすればイエスを亡き者にできるか、その方法を探し求めた。民の全員はイエスの教えに驚愕していたので、律法学者たちや大祭司たちはイエスを恐れていたからである。

19 さて、夕方になり、イエスは町を出られた。

20 そして、朝、通り過ぎると、根から枯れたあのイチジクの木を彼らは見た。

21 そしてペテロは思い出して、イエスに言った。「**ラビ**よ、見てください。あなたの呪ったイチジクの木は枯れてしまいました。」

22 イエスは答えて弟子たちに言われた。「**神**を信仰しなさい。

23 まことにわたしはあなたがたに言います。誰であれこの山に、『移動せよ、そして、海に投げ込まれよ。』と、心の中で疑わず言い、そうなると信じれば、その者の言うことは、何でも実現します。

24 ですから、あなたがたに言います。祈る時、願うものは何であれ頂けると信じれば、願うものを頂けます。」

25 そして、立って祈る時、もし誰かに恨みがあるなら、その人を赦しなさい。そうすれば、天におられるあなたがたの**父**も、あなたがたの悪行を赦してくださいます。

26 しかし、もしあなたがたが赦さなければ、あなたがたの天におられる**父**も、あなたがたの悪行をお赦しになりません。」

27 さて、イエスと弟子たちはまたエルサレムに入った。そして、イエスは神殿の敷地を歩いていた時、大祭司たち、律法学者たち、長老たちが、イエスの所に来た。

28 そして、彼らはイエスに言った。「お前は何の権威によってこれらのことを行なうのか。そして、これらのことを行なう権威を誰がお前に与えたのか。」

29 しかし、イエスは答えて彼らに言われた。「わたしもあなたがたに一つ尋ねましょう。そして、わたしに答えなさい。そうすれば、わたしも、何の権威によってこれらのことを行なうのかを教えましょう。

30 ヨハネの浸礼は、天からでしたか、それとも人間からでしたか。わたしに答えなさい。」

31 それで、彼らは互いに言い合った。「もし我々が『天から』と言えば、イエスは、『それでは、あなたがたはな

ぜヨハネを信じなかったのか。』と言うし、
32 そして、もし我々が、『人間から』と言えば…。」民は全員、ヨハネを預言者として認めていたから、彼らは民を恐れていたからである。
33 それで、彼らはイエスに答えて言った。「我々は分かりません。」それで、イエスは答えて彼らに言われた。「わたしも、何の権威によってこれらのことを行なうか、言いません。」

12

1 さて、イエスはその人たちに例え話で話し始められた。「ある男がぶどう園を作り、その周りに垣を作り、またぶどう汁を入れる大桶の穴を掘り、塔を建てた。そして、彼は農夫たちに賃貸して、遠く旅行しました。
2 さて、収穫の時になり、ぶどう園の成果を農夫たちより受け取るために、主人は僕を農夫たちの元に遣わしました。
3 すると、農夫たちは僕を捕え、何度も殴り、から手で送り返しました。
4 すると、主人は農夫たちにもう一人の僕を遣わしたが、農夫たちは僕に石を投げ、頭にけがをさせ、辱め、送り返しました。
5 すると、主人はまた別の僕を遣わしたが、農夫たちはこの僕を殺しました。そして、その他に、大勢の者を遣わしたが、農夫たちはある者は殴り、ある者は殺しました。
6 それで、愛する一人息子がまだいたから、最後にこの息子も農夫たちの元に遣わし、言いました。『農夫たちは息子なら敬意を払ってくれる。』
7 しかし、農夫たちは互いに言いました。『こいつは相続人だ。さあ来い、こやつを殺してしまおう。そうすれば、こいつの相続する財産は俺たちのものだ。』
8 そこで、農夫たちは息子を捕え、殺し、ぶどう園の外に捨てました。
9 それで、ぶどう園の主人はどうしますか。来て、農夫たちを容赦なく殺し、ぶどう園を他の者たちに与えます。
10 あなたがたはこの聖書を読んだことがないのですか。『建築家たちが拒んだ石こそ、その石が礎になった。
11 これは**主**がなさったことで、私たちの目には、驚異である。』」
12 そして、彼らはイエスを捕えようとしたが、群衆を恐れた。イエスは自分たちのことを話していると彼らは分かったからである。それで彼らはイエスから離れ、去って行った。
13 そして、イエスの御言葉でイエスを罠にかけるため、パリサイ派とヘロデ党は、仲間の数人をイエスの所に遣わした。

14 彼らは来て、イエスに言った。「**先生**、あなたは人の顔色を見ずに、真理によって**神**の道を教えているから、あなたは真であり、誰のことをも気にしないことを我々は知っています。カイザルに税金を納めることは、律法に叶っているでしょうか、叶っていないでしょうか。**15** 私たちは払いましょうか、それとも払わずにおきましょうか。」しかし、イエスは彼らの偽善を知り、彼らに言われた。「偽善者たちよ、なぜわたしを試すのか。見るから、デナリ①を持って来なさい。」

16 それで、持って来たので、イエスは彼らに言われた。「これは誰の像と銘ですか。」彼らはイエスに言った。「カイザルのです。」

17 それで、イエスは答えて、彼らに言われた。「カイザルのものはカイザルに返し、**神**のものは**神**に返しなさい。」すると、彼らはイエスを不思議に思った。

18 そして、復活がないと言うサドカイ派の人たちはイエスの所に来て、尋ねて言った。

19 「**先生**、もし妻を残し、子どものいない男が死ねば、その男の兄弟はその妻と結婚して、死んだ兄弟のために子孫を上げよ、とモーセは私たちに書きました。

20 それでは、七人兄弟がいました。長男は結婚して、跡継ぎがなく、死にました。

21 次男は長男の妻をめとりましたが、跡継ぎがないまま死にました。三男もそうなりました。

22 そして、七人ともこの女をめとり、跡継ぎがないまま死にました。最後にその女も死んでしまいました。

23 それでは、復活の時、この兄弟たちが復活すると、七人全員がこの女を妻としていましたから、この女は誰の妻になるのですか。」

24 しかし、イエスはサドカイ派の人たちに言われた。「あなたがたは、聖書も**神**の力も分かっていないから、間違っているのではありませんか。

25 人々は死人たちの中から復活すると、結婚したり、嫁に行ったりはせず、天国にいる**神**の御使いたちに似ています。

26 それに、死人については、彼らは復活することは、モーセの書には、柴の個所で**神**はどういう

---

15 ① ローマ帝国の銀貨。

ふうにモーセに話したか読んだことがないのですか。**神**はモーセに言われました。『わたしはアブラハムの**神**、イサクの**神**、ヤコブの**神**である。』

27 **神**は死人たちの**神**ではなく、生きている者の**神**です。したがって、あなたがたは大間違いをしています。」

28 そこで、律法学者の一人が来て、彼らが論じ合っていることを聞き、イエスが見事に答えられたことがわかり、イエスに尋ねた。「すべての命令の中で、第一の命令は何ですか。」

29 イエスは彼に答えられた。「『イスラエルよ、聞け。私たちの**神**であられる**主**は、お一人である。』これこそがすべての命令の中、第一の命令です。

30 『あなたは、心のすべてを尽くし、魂のすべてを尽くし、知力のすべてを尽くし、力のすべてを尽くし、あなたの**神**であられる**主**を愛しなさい。』これが第一の命令です。

31 そして、第二の命令はこれに似ています。『あなたの隣人を、あなた自身のように愛しなさい。』これらより、大いなる命令はありません。」

32 それで、律法学者はイエスに言った。「**先生**、真理を見事に言われました。『**神**はお一人であり、そしてこの方以外の**神**はない。』

33 そして、『心のすべてを尽くし、知力のすべてを尽くし、魂のすべてを尽くし、力のすべてを尽くし、**神**を愛し、また隣人を自分自身のように愛する』ことは、どんな全焼のいけにえや供え物よりも大きいのです。」

34 そして、この男は思慮深く答えたとイエスは知り、男に言われた。「あなたは**神**の王国から遠くはいません。」そしてその後、イエスにあえて尋ねる者はいなかった。

35 それから、イエスは神殿の敷地で続いて教えられた。「律法学者たちはどういう理由でキリストはダビデの**息子**だと言うのですか。

36 ダビデ自身は、**聖霊**によって言いました。『**主**は私の**主**に言われた。「わたしはあなたの敵をあなたの足台にするまで、わたしの右に座りなさい。」』

37 したがって、ダビデ自身がキリストを『**主**』と呼んでいるから、キリストはどうしてダビデの息子なのでしょうか。」それで、多くの群衆は喜んでイエスの話を聞いた。

38 そして、イエスは自らの教理で人々に言われた。「律法学者たちに気をつけなさい。彼らは長い衣を着て歩き回ることや、市場で敬意ある挨拶が大好きです。

39 シナゴーグでは上座を、宴席では上席が大好きです。

40 また、彼らは未亡人たちの家を食い尽くし、偽りの長い祈りをします。この者たちはより厳しい裁きを受けます。」

41 さて、イエスは献金箱の向かいに座られ、献金箱にどのように人々は金を入れるのか見ておられた。すると、大勢の金持ちは多く入れた。**42** その時、一人の貧しい未亡人が来て、一コドラントに当たるレプタ①二枚を入れた。**43** それで、イエスは弟子たちをご自分の所に呼び寄せて、弟子たちに言われた。「まことにわたしはあなたがたに言います。この貧しい未亡人は、献金箱に献金を入れた誰よりも多く入れました。**44** なぜなら、入れた人は皆、有り余っている中から献金したが、未亡人は貧しさの中から、持っている物すべて、命に関わる生活費まで入れたのです。」

13

1 さて、神殿の敷地を出られると、弟子の一人がイエスに言った。「**先生**、ご覧ください。何という石、それに何という建物群でしょう！」**2** するとイエスは答えて、その弟子に言われた。「この大建物群を眺めているのですか。崩れずに、石一つとして重なっては残されることはありません。」

3 そして、神殿の向かいにあるオリーブ山にイエスが座ると、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレがイエスの所に来て、ひそかに言った。**4** 「私たちに教えてください。そのことはいつで、それが成就する直前どんなしるしがありますか。」**5** それで、イエスは答えて彼らに話し始められた。「誰にも騙されないよう気をつけなさい。**6** 『私がキリストです。』と言って、多くの者がわたしの名をかたってやって来て、多くの人を騙すからです。**7** そして、あなたがたは戦争や戦争の噂を聞いても、混乱に陥ってはいけません。これらのことは起こらざるを得ないのですが、まだ終わりではないからです。**8** なぜなら、国家は国家に敵対して、王国は王国に敵対して立ち上がります。そして、各地で地震が起こり、飢饉や紛争が発生します。これらは産みの苦しみの始まりです。**9** しかし、あなたがた自身、自分たちのため気をつけなさい。あなたがたは最高議会に引き渡され、シナゴーグで何でも激しく殴られるからで

---

42 ① 小さくて少額の銅貨。

す。そして、わたしのために、あなたがたは支配者たちと王たちの前に、連行されます。
10 そして、福音は先ず、すべての民族に説かれなければなりません。
11 しかし、人々があなたを連行し、引き渡す時、あらかじめどう言おうか、事前に心配してはいけません。また言うべきことを前もって考えてもいけません。ただ、その時あなたがたに与えられることを話しなさい。話すのはあなたがたではありません。話をするのは、**聖霊**だからです。
12 そして、兄弟は兄弟を裏切り死に渡し、父は子を裏切り死に渡し、子どもらは親たちに反逆し、親たちを死に至らしめます。
13 そして、わたしの名のために、あなたがたはすべての人たちに憎悪されます。しかし、終わりまで耐え抜く者、その者は救われます。
14 したがって、あなたがたは、預言者ダニエルが話した、荒らす忌むべき者が立つべき所でない所に立つのを見れば(読む人よ、考えなさい。)、その時は、ユダヤにいる人たちは、山々に逃げなさい。
15 屋上にいる者は、降りて家の中へ入るな。自分の家から何かを持ち出そうと家に入るな。
16 また、野にいる者は、服を取りに戻るな。
17 そしてその数日間は、身ごもっている者たち、乳を飲ませている者たちは、悲惨です。
18 しかし、あなたがたの脱出が、冬にならないよう祈りなさい。
19 この日々の間、**神**が世界を創られた創造から、今に至るまで、また今後も決してない艱難があります。
20 そして、その日々を**主**が短くされることがなければ、救われる肉の人はいません。しかし、選ばれた人たちのために、その日々を**主**が短くします。
21 その時、もし誰であれ、あなたがたに、『見よ、キリストは、ここにおられる、あそこにおられる。』と言っても、それを信じてはいけません。
22 偽キリストたちや、偽預言者たちが立ち上がって、しるしや不思議な業を行なうからです。それが、もし可能であれば、そういう者たちは選ばれた人たちさえも騙します。
23 しかし、気をつけなさい。見よ、わたしは前もって、すべてのことをあなたがたに話しました。
24 しかし、その日々に、その艱難の後、太陽は暗くなり、月はその光を出しません。
25 また、宇宙の星は落ち、宇宙の色々な力は揺れ動かさ

れます。

26 そしてその時、大いなる力と栄光を帯びて、雲に乗って来られる人の**子**を、人たちは見ます。

27 そしてその時、人の**子**はご自分の御使いたちを遣わし、ご自分の選んだ人たちを、四つの風から、そして地の果てから天の果てまで集めます。

28 さて、イチジクの木の例え話を忘れてはいけません。枝がもう柔らかくなって、葉を出す時、あなたがたは夏が近いと分かります。

29 それと同じように、あなたがたもこれらが起こっていることを見ると、それは近く、戸口まで来ていると分かります。

30 まことにわたしはあなたがたに言います。これらすべてのことが起こるまで、この時代は決して過ぎ去りません。

31 天も地も過ぎ去って行きます。しかし、わたしの言葉は決して過ぎ去りません。

32 しかし、その日と時刻は、**父**以外、天国の御使いたち、そして**息子**さえも知りません。

33 その時はいつか、あなたがたは知らないのだから、目を開け、警戒して祈りなさい。

34 それはちょうど、僕たちに権限を与え、各自になすべき仕事を与え、警戒せよと門番に命じ、それから、自分の家を後にする、遠くに旅に出る男のようです。

35 したがって、警戒していなさい。夕方か、真夜中か、雄鶏が時を作る時か、それとも朝か、いつ家の主人が来るか、あなたがたは分からないからです。

36 つまり、主人が不意に帰って来て、眠っているあなたがたを見つけるでしょう。

37 そして、あなたがたに言うわたしのこの言葉は、すべての人に言う言葉です。警戒していなさい。」

14

1 二日後に過越祭と種なしパンの祭りがあった。そして、大祭司たちと律法学者たちは、策略を用いてイエスを捕まえ、殺す方法を相談した。

2 そして、彼らは言った。「民衆の間に騒動が持ち上がるから、祭りの日はまずい。」

3 さて、イエスはベタニヤにある、レプラ病①のシモンの家にいた時、イエスが食卓についていた時、ある女が、とても高価なナルド油が入って

---

3 ① 現代はハンセン病と言う。

いる石膏のつぼを持って来た。そして、イエスの所に来て石膏のつぼを壊し、イエスの頭の上にその油を注いだ。**4** しかし、ある人たちは自分たちの間で憤慨して言った。「なぜこのよい香の油が無駄になってしまったか。**5** この香油は、三百デナリ以上で売れたのに、そうすれば貧しい人たちにあげることができたのに。」そして、女を厳しく非難した。

6 しかし、イエスは言われた。「好きなようにさせなさい。なぜこの女を困らせるのですか。わたしによいことをしてくれたのです。」**7** 貧しい人たちはいつもあなたがたと共にいるから、望む時はいつでも、よくしてあげれます。しかし、わたしはいつもあなたがたと共にいる訳ではありません。**8** この女性はできるだけのことをしたのです。前もって、わたしの埋葬のため、わたしの身体に香油を注いだのです。**9** まことにあなたがたに言います。全世界のどこでも、この福音が説かれる所では、この女性がしたことも、この人の記念として語られます。」

10 さて、イエスを裏切るため、イスカリオテ・ユダという、十二弟子の一人が、大祭司たちの所に行った。**11** そして、大祭司たちは聞いて喜び、ユダに金を与えると約束した。そして、ユダはイエスをうまく裏切る方法を探した。

12 さて、種なしパンの祭りの最初の日、それは過越の子羊を殺す日に、弟子たちはイエスに言った。「どこに行ってあなたの過越祭の食事を準備しましょうか。お望みの所はありますか。」

13 それで、イエスはご自分の弟子二人を遣わし、言われた。「町に入りなさい。すると、水がめを運んでいる男にあなたがたは会います。その男について行きなさい。**14** そして、その男が、どこに入ろうが、その家の主人に言いなさい。『弟子たちと共に、過越祭の食事をする客間はどこですか、と**先生**が言っています。』**15** すると、その家の主人はあなたがたに広い、調度の整った、二階の部屋を見せてくれます。そこでわたしたちのために準備しなさい。」

16 そして、イエスの二人の弟子たちは出かけ、町には入り、イエスが二人に言われた通りの部屋を見つけ、過越祭の準備をした。

17 そして、夜になり、イエスは十二人と共に来られた。**18** さて、彼らは座って食べていた時に、イエスは言われた。「まことにあなたがたに言います。わたしと共に食べ

ているあなたがたの中の一人が、わたしを裏切ります。」

19 それで、弟子たちは悲嘆にくれだし、「それは私ですか？」、「それは私ですか？」と一人一人、イエスに言った。

20 イエスは答えて言われた。「十二人の一人、わたしと共に深い皿に手を浸す者が、わたしを裏切ります。

21 人の**子**について書かれているように、正に行くが、人の**子**を裏切る者に、災いあれ。その男は、生まれなかったほうがましです。」

22 そして、弟子たちが食べている間に、イエスはパンを取り、それを祝福し、裂き、弟子たちに与え、言われた。「取って、食べなさい。これはわたしの体です。」

23 それからイエスはカップを取り、感謝を捧げ、弟子たちに与えた。そして、彼ら全員、カップから飲んだ。

24 そして、イエスは弟子たちに言われた。「これは新しい契約の、わたしの血であり、多くの人々のために流される血です。

25 まことに、あなたがたに言います。今からわたしの**父**の王国でこれを飲むその日まで、わたしは蔓の実を決して飲みません。」

26 そして、彼らは賛美の歌を一曲歌ってから、オリーブ山へ出かけた。

27 そこで、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたは今夜、わたしのことで全員、つまずかされます。『わたしは羊飼いを殴り、そして、羊たちは散らされる。』と、こう書いてあるからです。

28 しかし、わたしは復活させていただいた後、あなたがたより先にガリラヤに行きます。」

29 しかし、ペテロはイエスに言った。「全員がつまずいても、私はつまずきません。」

30 それで、イエスはペテロに言われた。「まことにわたしはあなたに言います。今日、すなわち今晩、雄鶏が二回時を作る前に、あなたはわたしを三回否定します。」

31 ペテロはイエスに非常に強く、さらに言った。「あなたと共に、たとえ死ぬ羽目になっても、私はあなたを決して否定しません。」彼ら全員はそのように言った。

32 それから、イエスと弟子たちはゲッセマネという名の所に行った。そして、イエスはご自分の弟子たちに言われた。「わたしが祈る間は、ここに座っていなさい。」

33 そして、イエスはペテロとヤコブとヨハネを連れて行かれた。すると、イエスの心は乱れ出し、非常に重くなり出された。

34 それで、イエスは三人に言われた。「わたしの魂は、死

に至るほどとても悲しい。ここにいて、警戒していなさい。」

35 そして、イエスはもう少し行き、地に倒れ、できることなら、この時が自分を通り過ぎて行くように、と祈られた。

36 そして、イエスは言われた。「アバ、**父**よ、何でもあなたはお出来になります。このカップをわたしから取り去ってください。ただ、わたしが望むようにでなく、あなたのご意志のままにしてください。」

37 そしてイエスは戻って来て、眠っている弟子たちを見つけ、ペテロに言われた。「シモンよ、眠っているのですか。一時間、目を覚ましている力もないのですか。

38 誘惑に陥らないよう、警戒し、祈りなさい。霊は遂行の意志があっても、肉は弱いのです。」

39 そして、イエスは再び去り、そして、同じ言葉で祈られた。

40 そしてイエスは戻って来られ、弟子たちが眠っているのを再度見つけられた。なぜなら、彼ら三人のまぶたは重たかったからである。また、弟子たちはイエスにどう答えればいいか分からなかった。

41 そして、イエスは三度目に戻られた時、弟子たちに言われた。「あなたがたは未だ眠って休んでいるのですか。もうよい。時は来ました。人の**子**は、罪人の手に裏切られようとしています。

42 起きなさい。我ら全員行きましょう。見なさい。わたしを裏切る者が近づいて来ました。」

43 すると、その直後、イエスがまだ話しておられる間に、十二人の一人であるユダが近づいて来た。そのユダと共に、大祭司たち、そして律法学者たち、そして長老たちからの大群衆が、剣や棍棒を持って来た。

44 そこで、イエスを裏切ろうとしている者が群衆に合図し、言った。「私が口づけする人、それがその人だ。その男を捕まえ、間違いなく連れて行きなさい。」

45 そして、ユダが来ると、ただちにイエスに近づき、「ラビ、ラビ」と言って、イエスに口づけをした。

46 その時、群衆が来て、イエスに手をかけ捕らえた。

47 そして、そばに立っていたある男が剣を抜き、大祭司の僕を打とうとし、その男の耳を切り落とした。

48 そして、イエスは人々に向かって言われた。「あなたがたは、強盗に向かうように、剣や棍棒を持ってわたしを捕まえに出かけて来たのですか。

49 わたしは毎日あなたがたと共に、神殿の敷地で教えていたのに、あなたがたはわたしを捕まえませんでした。しかし、御言葉が成就するためです。」

50 そして、弟子たち全員はイエスを捨てて、逃げ去った。

51 さて、亜麻布一枚を裸の体にまといた、ある若い男がイエスについて行った。そして、若い男たちがこの男を捕まえた。**52** すると、若い男は亜麻布を棄て、裸で彼らから逃げた。

53 そして、人々はカヤパ大祭司の所へ、イエスを連れて行った。そこに、大祭司たち、長老たち、律法学者たち全員が集まっていた。**54** しかし、ペテロは遠く離れて、大祭司の屋敷の中庭に入り、イエスについて中に入り、役人たちと共に座り、焚き火で暖を取っていた。

55 さて、大祭司たち、それに全議会が、イエスを死刑にするため、イエスに対する証言を求めていたが、得られなかった。**56** なぜなら、多くの者たちはイエスに対して偽証したが、その者たちの証言は一致していなかった。**57** すると、数人のある者が進み出て、イエスに対して偽証をして、言った。**58** 「『わたしは人間の手で建てられたこの神殿を破壊し、三日間で人間の手を使わず、別の神殿を建てます。』とこの人は言ったことを、私たちは聞いた。」**59** しかし、それにしても彼らの証言は一致してはいなかった。

60 それで、大祭司は中央に立ち上がり、イエスに尋ねて言った。「お前は何も答えないのか。この男たちがお前にした証言は何なんだ。」**61** しかし、イエスは黙って何もお答えにならなかった。それで、大祭司は再びイエスに言った。「お前はキリスト①、祝福された方の**御子息**なのか。」**62** イエスは言われた。「わたしはその通りです。そして、人の**子**が力の方の右の座に座り、空の雲とともに来る姿を、あなたがたは見ます。」**63** すると、大祭司は自らの衣を裂き、言った。「これ以上、我々には証人の必要がまだあろうか。**64** あなたがたは今この者の冒涜の言葉を聞いた。どう考えるか。」彼ら全員は、イエスが死に値すると裁いた。**65** 彼らの中のある者はイエスの顔につばきをかけ始め、目隠しし、殴り、イエスに言った。「預言せよ。」そして、役人たちはイエスを平手

61
① 「キリスト」とは、「油注がれた」救世主と言う意味である。

打ちした。

66 さて、ペテロは下の中庭にいた時、大祭司の女奴隷たちの一人が来た。**67** そして、暖を取っていたペテロを見ると、女奴隷は言った。「あなたもナザレのイエスといっしょにいた人です。」**68** しかし、ペテロは否定して言った。「お前の言っていることは理解できないし、分からない。」そして、ペテロは前庭に出ると、雄鶏が時を作った。**69** すると、女奴隷は再びペテロを見て、回りに立っている人たちに言い始めた。「この男はあの人たちの一人です。」**70** しかし、ペテロはもう一度否定した。それから少したち、そばに立っていた人たちがもう一度ペテロに言った。「お前は間違いなく仲間の一人だ。ガラリヤ人でないか。お前の話し方で分かる。」**71** すると、ペテロは悪態をつき、誓い、言い出した。「あなたがたが言っているその男を、私は知らない。」**72** その時、雄鶏が二度目の時を作った。すると、ペテロは、「雄鶏が二回時を作る前に、あなたはわたしを三回否定します。」と言ったイエスの言葉を思い出した。そして、それを考えると、泣いた。

15

1 さて、朝になると直ちに、大祭司たち、長老たち、そして律法学者たちは、議会議員たち全員と合同で会議を開いた。そして、イエスを縛り連れ出し、ピラトに引き渡した。**2** そして、ピラトはイエスに尋ねて言った。「お前はユダヤ人の王か。」それでイエスは彼に答えて言われた。「あなたはそう言います。」**3** それから、大祭司たちはイエスに対して多くのことを糾弾したが、イエスは何もお答えにならなかった。**4** それで、ピラトは再びイエスに尋ねた。「お前は何も答えないのか。あの者たちはお前に対してこんなに多くのことを証言しているのに、理解せよ。」**5** それでも、ピラトが驚くほど、イエスはそれでもまだ一言もお答えにならなかった。**6** さて、祭りで群衆が求める囚人一人を、総督が釈放する習慣があった。**7** 仲間たちと反乱を起こし、人を殺し、仲間たちと鎖で縛られていたバラバという者がいた。**8** それで、群衆は叫び、ピラトにいつもと同様に行なうように願い始めた。**9** すると、ピラトは群衆に答えて、言った。「ユダヤ人

の**王**を釈放してほしいか。」
10 大祭司たちはねたみでイエスを引き渡したことを、ピラトは知っていたからである。
11 しかし、ピラトがバラバを群衆に釈放するよう、大祭司たちは群衆を扇動した。
12 ピラトは群衆に言った。「では、お前たちがユダヤの**王**と呼ぶこの男を私にどうせよと言うのか。」
13 すると、群衆は再び皆叫んだ。「十字架刑にせよ。」
14 するとピラトは群衆に言った。「なぜだ。この男はどんな悪を行なったのか。」しかし、群衆はますます強く叫んだ。「その男を十字架刑にさせよ。」
15 それで、ピラトは群衆を満足させようとして、バラバを群衆に釈放した。そして、イエスをむちで打ってから、イエスを十字架につけるために引き渡した。
16 それで、兵士たちは、イエスをプライトリオンと呼ばれていた広間の中へ連れて行き、六百人部隊全員を呼び集めた。
17 そして、兵士たちはイエスに紫の衣を着させ、茨で冠を編み、イエスの頭にかぶせた。
18 そして、イエスに挨拶をし始めた。「ユダヤ人たちの**王**サマ、ご挨拶申しあげます。」
19 そして、兵士たちは葦でイエスの頭をたたき、つばきをかけ、そして、ひざまずき、イエスを拝んだ。
20 次いで、イエスを馬鹿にして、紫の衣を脱がせ、元の服を着せ、十字架につけるため連れ出した。
21 そして、アレキサンデレとルポスの父、田舎から出てきて通りかかった、クレネ人のシモンと言う男がイエスの十字架を背負うことを強制された。
22 そして、「どくろの地」と訳されているゴルゴタに連れて行った。
23 兵士たちはイエスに、没薬を混ぜた葡萄液を飲ませようと与えたが、イエスはそれをお飲みにならなかった。
24 そこで、彼らはイエスを十字架につけ、イエスの服を分配した。各自何を取るかを決めるため、くじを引いた。
25 彼らがイエスを十字架につけたのは、その日の第三時間目①であった。

26 そして「ユダヤ人たちの**王**」と、イエスの罪状が頭上に書いてあった。**27** そして、彼らはイエスと共に、右に一人、左に一人、二人の強盗を十字架につけた。**28** それで、「彼は犯罪人の数の中に入った。」と言う御言葉は成就された。**29** そして、通りかかった人たちは、イエスを侮辱し、頭を振りながら、言っていた。「神殿を破壊し、三日のうちに建てる者よ、**30** 自分自身を救い、そして、十字架から下りて来い。」**31** 大祭司たちも同様に、律法学者たちと共に次々と、イエスを馬鹿にして言った。「あの男は他人を救ったが、自分は救えない。**32** あのキリスト、イスラエルの**王**に今こそ、十字架から下りて来てもらおう。それを見て、私たちが信じるためだ。」と言った。イエスと共に十字架につけられた強盗たちが、イエスを侮辱していた。**33** さて、第六時間目①になり、第九時間目まで、全地上が暗くなった。

34 そして、第九時間目に、イエスは大声で叫んで言われた。「エリ、エリ、ラマ、サバクタニ。」これは訳すと、「我が**神**、我が**神**、なぜわたしを見放したのですか。」という意味である。**35** すると、そこに立っていた者たちの中で、これを聞いたある者は、「この人はエリヤを呼んでいる。」と言った。**36** ある人が走って行き、海綿に酢を十分含ませ、葦につけ、イエスが飲めるように差し出して、言った。「そのままにしておけ。エリヤが彼を降しに来るか見ようではないか。」**37** そして、イエスは大声で叫び、最後の息をなされた。**38** すると見よ。神殿の幕が上から下まで真二つに裂けた。**39** それで、イエスの向かいに立っている百人隊長は、イエスがこう叫ばれ、最後の息をなされたのを見て、言った。「本当に、この方は**神**の**御子息**でした。」**40** そして、遠く離れて見守っていた女たちもいた。その中に、マグダラのマリヤ、小ヤコブとヨ

---

25 ① 午前九時。

33 ① 正午。

セの母マリヤ、サロメがいた。

41 イエスがガリラヤにおられた時、イエスに従い、仕えていた女たちである。そして、その他、イエスとともにエルサレムに上って来た大勢の女もいた。

42 さて、もう夜になると、準備の日、すなわち安息日の前日であったから、

43 高い身分の議会員のアリマタヤのヨセフという人がいた。彼は**神**の王国を待ち望んでいた。そして、勇気を持って、ピラトのもとに行き、イエスの遺体を求め願った。

44 イエスはもう死んでしまったのか、と驚いたピラトは、百人隊長を呼び、イエスはもう死んでしまったのかと確認した。

45 それで、百人隊長に確かめ、ヨセフに遺体を渡すことを許した。

46 そのあと、ヨセフは亜麻布を持ってきて、イエスをそれで包んだ。そして、その遺体を、岩に掘られた墓に横たえ、石を墓の入り口に転がして置いた。

47 マグダラのマリヤと、ヨセの母マリヤは、イエスの置かれた場所を見つめていた。

16

1 さて、安息日が過ぎ、マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤ、そしてサロメは、イエスの遺体に塗るため、香料を買った。

2 その週の最初の日、朝とても早く、日の出の時、女たちは墓に行った。

3 そして、互いに言った。「私たちのため、お墓の入り口の石を、転がしてくれる人がいるでしょうか。」

4 しかし、見上げてよく見ると、石は転がされていた。この石はとても大きかったからである。

5 そして、墓①には入ると、白くて長い衣を着ている若い男が右側に座っているのを見て、女たちは驚き恐れた。

6 しかし、その若い男は女たちに言った。「恐れることはありません。十字架刑にされたナザレのイエスをあなたがたは探していますが、イエスは復活されました。ここにはいらっしゃいません。ヨセフたちがイエスを横にされた所を見なさい。

7 しかし、行って、『イエスはあなたがたより

---

5 ① 洞窟の墓であった。

先にガリラヤに行かれます。』イエスが言われた通り、あなたがたはそこでイエスにお会いします。』と弟子たちとペテロに伝えなさい。」

8 それで女たちは震え驚き、急いで外に出て、墓から逃げ出した。そして、恐怖のため、誰にも何も言わなかった。

9 そして、その週の最初の日の朝早く、復活されたイエスは、最初にマグダラのマリヤにお姿を見せられた。イエスは以前、この女から七つの悪霊を追い出された。

10 悲嘆にくれ、そして泣いている人たち、つまりイエスの供をした人たちの所にマリヤは行って、このことを伝えた。

11 そして、この人たちはイエスが生きておられ、マリヤに目撃されたと聞いても、信じなかった。

12 その後、田舎へ歩いて行く途中の二人に弟子に、イエスは別の姿でご自分のお姿を見せられた。

13 この二人は行って他の弟子たちに伝えたが、その弟子たちも二人の話しを信じなかった。

14 その後、イエスは食卓に付いている十一人にお姿を見せられた。そして、復活後のイエスを見た人たちの話を信じなかった十一人の不信仰と、頑迷さをイエスは責められた。

15 そして、イエスは十一人に言われた。「全世界に行き、すべての造られた者に福音を説きなさい。

16 信じて、浸礼を受ける人は救われるが、信じない人は罪に定められます。

17 そして、信じる人たちには、これらのしるしが付随してきます。すなわち、わたしの名によって、悪霊を追い出すこと、新しい言語を話すことです。

18 信じる人たちは蛇を摘み上げます。そして、毒を飲んでも決してその毒は害を与えません。信じる人たちは病人たちに手を置くと、病人たちは良くなります。」

19 そして、**主**は十一人にお話しになった後、天国に引き上げられ、**神**の右手にお座りになった。

20 そして、弟子たちは出かけ、あらゆる所で説いた。そして、**主**は弟子たちと共に働き、付随したしるしを通して御言葉を確かなものにされた。アーメン。

ルカの福音書

1

1 私たちの間で成就されたことを、大勢の人たちが順序よく記録するように、すでに手がけていますから、
2 御言葉の、最初からの目撃者であり奉仕者であった人たちも、私たちにそのことを任せてくれたように、
3 最も敬愛するテオピロ殿、最初から①すべての出来事を完全に確認して、あなたに順序正しく書き送るのがよいと私は思いました。
4 それは、あなたが教えられたことの確実性をあなたが確信することができるためです。
5 ユダヤの王ヘロデの代に、アビヤの組①のザカリヤという祭司がいた。ザカリヤの妻はアロンの娘の一人で、名はエリサベツであった。
6 この夫婦は共に**神**の御前で正しく、**主**の命令と戒めすべてを咎められることなく歩んでいた。
7 しかし、エリサベツは不妊症であったので、二人には子がなかった。そして二人ともかなり高齢になっていた。
8 さて、ことの次第はこうであった。ザカリヤは自分の組の順番がきて、**神**の御前で祭司としての職を務めると、
9 祭司職の習慣により、くじを引いたところ、**主**の神殿に入り、香をたくことになった。
10 それで、群衆は全員、香の時間、外で祈っていた。
11 その時、**主**の御使いがザカリヤに現れ、香壇の右に立っていた。
12 そして、ザカリヤは御使いを見ると、不安になり、恐怖が彼を襲った。
13 しかし、御使いは彼に言った。「ザカリヤよ、あなたの祈りは聞き届けられたので、恐れてはいけません。そして、あなたの妻エリサベツは息子を産みます。息子の名前をヨハネと呼びなさい。
14 すると、あなたに喜びと幸せが来ます。また、その誕生を多くの人たちは喜びます。
15 なぜなら、ヨハネは**主**の御前に偉大な人になり、葡萄液もその他の酔うものは飲みません。そして、母の胎内にいる時からでさえ、**聖霊**で満たされます。

---

3 ① このギリシャ語の単語は、「上から」という意味もある。
5 ① ユダヤ教の祭司が神殿の奉仕をする順番を決めるグループであった。

16 そして、ヨハネはイスラエルの多くの子らを、彼らの**神**である**主**へ帰らせます。
17 そして、父親たちの心を子どもたちに向けるため、また不従順の者たちを義人の知恵に向けるため、また**主**のために準備された一つの民を整えるため、ヨハネはエリヤの霊と力によって、**主**の御前を先に進みます。」
18 すると、ザカリヤは御使いに言った。「私はどうしてそれを知ることが出来ましょうか。なぜなら、私は老人で、妻は盛りを過ぎています。」
19 すると、御使いは答えて、ザカリヤに言った。「私は**神**の御前に立つガブリエルです。あなたと話し、この良い知らせを伝えるため、遣わされたのです。
20 見よ。時が来て、私の言葉が成就されるとあなたは信じなかったから、これらのことが行なわれる日まで、あなたは口がきけない者になり、話せなくなります。」
21 さて、ザカリヤを待っていた民は、彼が神殿の中に長く留まっていたことを不思議に思った。
22 やがて、ザカリヤが出てきた時、人々に言葉を発することが出来なかった。それで、彼は手まねするのみで、無言のままであったから、人々はザカリヤは神殿の中で幻を見たと分かった。
23 さて、ことの次第はこうであった。奉仕の日々が終わるとすぐ、ザカリヤは家に帰った。
24 その後幾日かして、彼の妻エリサベツはみごもり、五ヶ月間、身を隠した。そして言った。
25 「人々の間で、私の恥になっていたことを取り除くため、**主**は私に目をとめてくださった日々、**主**が私にこうしてくだったのです。」
26 さて、六ヶ月目に、ナザレというガリラヤの町に、御使いガブリエルが**神**により遣わされた。
27 ダビデの家系のヨセフという男の婚約者である処女の所に、彼は遣わされた。処女の名前はマリヤであった。
28 そして、御使いは入ってきて、マリヤに言った。「恵まれた方よ、おめでとう。**主**はあなたと共におられます。女性たちの中で、あなたは祝福されています。」
29 しかし、御使いに会い、マリヤはその言葉に困惑し、この挨拶はいったい何なのかと考え込んだ。
30 それで御使いは彼女に言った。「マリヤよ、あなたは**神**から恵みを受けたのですから、恐れてはいけません。
31 そして、見よ。あなたの胎は身ごもり、**御子息**を生みます。**御子息**の御名をイエスと呼びなさい。
32 この方は偉大な方であり、**至高者**の**御子息**と呼ばれま

す。そして、**主**である**神**はイエスの父ダビデの王座をイエスにお与えになります。**33** そして、**御子息**は永遠にヤコブの家を支配します。そして、この方の王国は終わりがありません。」

34 しかし、マリヤは御使いに言った。「私は男を知りませんのに、どうしてそんなことが起こり得るのでしょうか。」

35 御使いはマリヤに答えて言った。「**聖霊**はあなたの上に下り、**至高者**の力はあなたを覆います。したがって、生まれる聖なる方は『**神**の**御子息**』と呼ばれます。

36 そして見よ。あなたの親戚エリサベツも、年老いて、息子をみごもっています。うまずめと呼ばれていたエリサベツは、今、六月目になります。

37 なぜなら、**神**にとって不可能なことはないからです。」

38 それでマリヤは言った。「ご覧ください。私は**主**のはしためです。あなたの言葉通りになりますように。」すると、御使いはマリヤから去って行った。

39 さて、その時期、マリヤは立ち上がり、急いで丘陵地方の、ユダの町の一つに行き、

40 ザカリヤの家に入り、エリサベツに挨拶をした。

41 そして、ことの次第はこうであった。エリサベツはマリヤの挨拶を聞くと、胎内で胎児は喜びおどった。そして、エリサベツは**聖霊**で満たされた。

42 そして、彼女は大声をあげて言った。「あなたは女性の中で祝福され、あなたの胎内の実は祝福されています。

43 しかし、私の**主**の母が、私を訪問して下さるほど、私はなぜ、認められているのでしょう。

44 なぜなら、まったくの所、あなたの挨拶が私の耳に響いた時、お腹の子は喜びのあまりで、おどりはねました。

45 信じた女性は幸いです。**主**がその女性に話されたことはすべて成就されるからです。」

46 するとマリヤは言った。「私のたましいは**主**をあがめ、

47 そして、私の霊は私の**救い主**である**神**により喜びおどっています。

48 なぜなら、**主**はご自分のはしための低い身分をご覧になりましたので、御覧なさい、これからのすべての世代は、私を祝福された者と呼びます。

49 なぜなら、力ある方は私のために偉大なことをしてくださったからです。その方の御名は神聖です。

50 そして、その方の哀れみは、世代を通し、ご自分を恐れる人たちの上にあります。

51 その方は御腕の力強さを示し、心の思いにおごりのある者たちを散らされました。

52 その方は支配者たちをその座から引きずり降ろし、低い者たちを高めました。
53 その方は、飢えている者たちを良い物で満たし、富む者たちを空手で帰らせました。
54 **主**はご自分の哀れみを忘れず、ご自分の僕、イスラエルをお助けになりました。
55 私たちの父たちに言われたように、『永遠にアブラハムとその子孫に。』」
56 そして、マリヤはおよそ三ヶ月間エリサベツの所に滞在し、自分の家に帰った。
57 さて、出産の時が満ち、エリサベツは息子を産んだ。
58 そして、**主**が大いなる哀れみをエリサベツに与えられたことを聞き、マリヤの隣人たちと親戚たちは、エリサベツと共に喜んだ。
59 そして、ことの次第はこうであった。八日目にこの子に割礼をするため、人々がやって来た。そして、親戚たちと隣人たちは父ザカリヤの名で、その子を呼んでいた。
60 しかし、子の母は答えて、言った。「いいえ、ヨハネと呼びます。」
61 しかし、人々はエリサベツに言った。「あなたの親戚の中、この名前で呼ばれている人は、一人もいません。」
62 それで、人々は父親に、何と呼んでほしいか、と身振りで聞いた。
63 そして、ザカリヤは書き板を頼み、書いた。「この子の名はヨハネです。」それで皆驚いた。
64 すると直ちに、ザカリヤの口は開かれ、彼の舌は解放され、話し、**神**を誉めたたえた。
65 すると、恐怖が近所に住んでいたすべての人々に襲い、このやり取りした言葉は、ユダヤの丘陵地方中で話題になった。
66 そして、このやり取りを聞いたすべての人々は、それを心にとどめ、言った。「この子はどういう子になるでしょう。」そして、**主**の御手はこの子と共にあった。
67 さて、ヨハネの父ザカリヤは**聖霊**に満たされ、預言して言った。
68 「イスラエルの**神**である**主**に、祝福あれ。なぜなら、ご自分の民を訪ね、購いをなされたからです。
69 そして、ご自分の僕、ダビデの家に、我らのために救いの角をお立てになりました。
70 世の初めからいた、聖なる預言者たちの口を通して、**主**が言われた通りです。
71 つまり、我らを敵から、また我らを憎むすべての者から、救い出されるためです。

72 我らの父祖たちに約束されたあわれみを実行され、その聖なる契約を忘れず、
73 我らの父アブラハムに誓われた誓いを忘れず、
74 敵の手から救い出された我らが、恐れず**主**に仕えることができる特権を**主**は下さり、
75 **主**の御前に、我らの全生涯を、聖と義によって過ごせますようにお与えになりました。
76 そして子よ、あなたは至高の方の預言者と呼ばれます。なぜなら、あなたは**主**の数々の道を整えるため、**主**の御前を先立って行きます。
77 また、あなたがたが、**主**の民が犯した数々の罪の赦しから来る、救いの知識を**主**の民に知らせます。
78 その知識とは、我らの**神**の深い哀れみを通して来ます。その昇る日は高い所から私たちにお臨みになりました。
79 昇るその日は、暗闇に、そして死の陰に座っている者たちに光を与え、平安の道に私たちの足を導くためです。」
80 そしてこの子は成長し、霊に強くなり、イスラエルに姿を現すまで砂漠にいた。

2

1 さて、ことの次第はこうであった。その当時、カイザル・アウグストより、全世界①の人は登録すべしとの勅令が出された。
2 クレニオがシリアを支配していた時に行われた、最初の登録であった。
3 それで、すべての人々は登録のため、それぞれ自らの町に行った。
4 ヨセフもダビデの家系であり、その血統であったので、ナザレの町からガリラヤを出て、ユダヤに入り、ベツレヘムと呼ばれるダビデの町に上って行った。
5 いいなずけの妻マリヤと共に登録のためである。マリヤは身ごもっていた。
6 こうして、二人はそこにいた間、日が満ち、マリヤの出産日が来た。
7 そして、マリヤは息子、彼女の長男を産み、その**御子息**を布にくるみ、飼い葉桶に寝かせた。この家族のための部屋は宿屋にはなかったからである。
8 さて、同じ地域に、野原で暮らす羊飼いたちがいて、夜、群れを見守っていた。

1
① 当時のローマ帝国のすべての地方。

9 すると、見よ、**主**の御使いが羊飼いたちの前に立ち、**主**の栄光が羊飼いたちの回りを照らした。すると、彼らはとても恐れた。**10** すると、御使いは羊飼いたちに言った。「恐れてはいけません。なぜなら、見よ、すべての民に大いなる喜びの良い知らせを、私は持って来たのです。**11** なぜなら今日、**救い主**、つまり**主**キリストが、ダビデの町で、あなたがたのためにお生まれになりました。**12** そして、布にくるまれ、飼い葉桶に寝ておられる幼児を、あなたがたは見いだします。それがあなたがたへのしるしです。」**13** すると突然、その御使いの側に、天の御使いたちの大群が現れ、**神**を誉め讃えて言った。**14** 「いと高き所の**神**に栄光がありますように。そして、地に平和、人々の間には、善意がありますように。」**15** さて、ことの次第はこうであった。御使いたちが天国へ去ると、羊飼いたちは互いに言った。「さあ、ベツレヘムへ行こう。そして**主**がなされ、私たちに知らせて下さったことを見よう。」**16** それで急いで行き、マリヤとヨセフ、それと飼い葉桶に寝ておられる幼児を探し出した。**17** 羊飼いたちは**御子息**を見、この**御子息**について彼らに言われた言葉を広く伝えた。**18** そして、それを聞いたすべての人たちは、羊飼いたちが言ったことを不思議に思った。**19** しかし、マリヤはこれらのことをしっかり記憶し、心に留め幾度も考えた。**20** そして、言われた通りのことを、すべて見、聞いたので、羊飼いたちは、**神**をあがめ、賛美しながら帰った。

21 そして、**御子息**の割礼のための八日間①が過ぎると、**御子息**はイエスと呼ばれた。それは、まだ胎内に宿る前、御使いにより付けられた御名である。

22 さて、モーセの律法によって、マリヤの清めの日々が終わった時、**主**に捧げるため、両親はイエスを伴いエルサレムに上った。**23** **主**の律法に書いてある通り、「胎を開く男の子はすべて、**神**に関して聖なるものと呼ばれる。」**24** また、「山鳩二羽か、若い家鳩二羽」と**主**の

21
① 当時の表現で、一週間という意味。

律法に言われた通り、いけにえを捧げるためであった。

25 そして見よ、エルサレムにシメオンという男がいた。この男は正しく、信仰心厚く、イスラエルの慰めを待ち望んでいた。そして、**聖霊**はシメオンの上におられた。

26 **主**のキリストを見るまで、シメオンは死を見ることがないと、**聖霊**によって示されていた。

27 それでシメオンは**御霊**に導かれ、神殿の敷地に入った。そして、両親は律法の習慣通りに行なうため、**御子息**を抱いて来た時、

28 シメオンは腕に**御子息**を抱き、**神**を祝福して、言った。

29 「**主**よ、あなたの御言葉通り、今、あなたの僕を安らかに去らせてくださいます。

30 私の目はあなたの救いを見たからです。

31 **主**はその救いを、すべての民の面前に整えられ、

32 異邦人たちに啓示を与える光であり、また、あなたの民イスラエルの栄光です。」

33 それでヨセフと**御子息**の母は、**御子息**について話されたことに驚いた。

34 そして、シメオンは彼らを祝福し、**御子息**の母マリヤに言った。「見よ、イスラエルで、多くの者が倒れ、また立ち上がるため、また、逆らいの言葉を受ける象徴に、この**御子息**は決められました。

35 そして、あなた自身のたましいも剣が刺し通します。それは、大勢の人々の心の思いが表れるためです。」

36 さて、アセル族のパヌエルの娘、女預言者のアンナがいた。彼女はとても高齢であり、処女の時、夫の元に行き、共に七年間暮らした。

37 それで、アンナは八十四歳ぐらいの未亡人であり、神殿の敷地を離れず、昼も夜も断食と祈りで**神**に仕えていた。

38 そして、ちょうどその時、アンナは入って来て、**主**に感謝し、エルサレムの贖いを待っていたすべての人々に、**主**のことを話した。

39 さて、**主**の律法に定められたすべてを終え、ヨセフたちはガリラヤに戻り、自分の町ナザレへ帰った。

40 そして、**御子息**は成長し、霊において強くなり、知恵で満たされ、そして、**神**の恵みは**御子息**の上にあった。

41 さて、イエスの両親は毎年過越祭の時、エルサレムに行った。

42 そして、イエスが十二歳になると、この家族は祭りの習慣に従ってエルサレムに上った。

43 祭りが終わり、家族が帰る時、少年イエスはエルサレムに残っておられた。しかし、ヨセフとイエスの母はそれ

を知らなかった。

44 それで、イエスは皆と共にいると両親は思い、一日の道のりを終え、親戚や知り合いの中を捜していた。

45 それでも、イエスを見つけられず、エルサレムに戻り、イエスを捜していた。

46 それで、三日経ってから、神殿の中で、教師たちの中央に座り、教師たちの話を聞いたり、質問をしたりしておられるイエスを見つけた。

47 イエスの話を聞いた人は皆、イエスの理解力と返事に大変驚いていた。

48 それで、ヨセフとマリヤはイエスを見て、驚愕した。母はイエスに言った。「息子よ、なぜこんなことを私たちにしたのですか。ほら、あなたの父と私は心配してあなたを捜していたのです。」

49 そして、イエスは両親に言われた。「なぜわたしを捜したのですか。わたしはわたしの**父**のご用をする必要があると言うことを、知らなかったのですか。」

50 しかし、ヨセフとマリヤはイエスの言ったことを理解できなかったのである。

51 それで、イエスは二人と共に下り、ナザレに帰り、二人に従っておられた。しかし、マリヤはこの言葉をすべて心に留めおいた。

52 そして、イエスは知恵、及び、背丈、ともに成長し、**神**、及び人ともさらに良い関係に成長した。

3

1 さて、カイザル・テベリオの支配の十五年目、そして、ポンテオ・ピラトがユダヤの総督であった時、ヘロデがガリラヤの領主、その兄弟ピリポがイツリヤとテラコニテ地方の領主、ルサニヤがアビレネの領主であった時、

2 アンナスとカヤパが大祭司であった時、**神**の御言葉は荒野でザカリヤの息子ヨハネに下った。

3 そして、ヨハネはヨルダン川のほとりのすべての地方に行き、罪の赦しを得る、悔い改めの浸礼①を説いていた。

4 これは、「預言者イザヤの言葉の書」に書かれ、言われているように、「荒野で叫ぶ者の声がする。**主**の道を準備せよ。その方の道を真っ直ぐにせよ。

5 すべての谷は埋められ、すべての山と丘はな

3
① ギリシャ語の βαπτισμα (baptisma, バプティスマ) の意味は、「浸し、浸すこと、漬けること、沈めること」である。(「新約聖書ギリシャ語小辞典」、織田昭編、59ページ)。

らされ、曲がっている場所は真っ直ぐにされ、でこぼこの場所は滑らかにされる。

6 そして、すべての肉なる者は**神**の救いを見る。」

7 それで、ヨハネに浸礼を受けるためやって来た群衆に言った。「まむし一族の者たちよ、来るべき怒りから逃れよと、誰がお前たちに警告したのか。

8 逃れるそのためには、悔い改めにふさわしい実を結べ。そして、『私たちの父はアブラハムである。』と自分たちに言い出してはいけない。なぜなら、私はお前たちに言う。**神**はこれらの石から、アブラハムに彼の子どもを立ち上がらすことができるからだ。

9 そして、斧はもうすでに、木の根元に当てがわられている。ゆえに、すべて良い実を結ばない木は切り倒され、火の中へ投げ入れられる。」

10 すると、群衆はヨハネに尋ねて言った。「私たちはどうしたらいいのでしょうか。」

11 ヨハネは答えて言った。「短い上着を二枚持っている人は、持っていない人に与えなさい。食べ物を持つ人も同じようにしなさい。」

12 すると、収税人たちも浸礼を受けるためにやって来て、ヨハネに言った。「先生、私たちはどうしたらいいのでしょうか。」

13 ヨハネは収税人たちに言った。「指示された以上の金額を取り立ててはいけない。」

14 同様に兵士たちもヨハネに尋ねて言った。「それで、私たちはどうしたらいいのでしょうか。」ヨハネは兵士たちに言った。「人を脅迫してはいけない。また、偽証をしてはいけない。自分の給料で満足しなさい。」

15 そして、全国民は、期待していたので、皆、ヨハネはキリストであるかどうかを、心の中で論争していたので、

16 ヨハネは答えて、皆に言った。「私はもちろん、あなたがたに水で浸礼を授けているが、おいでになる方は、私より力ある方です。その方の履き物のひもを解く値さえ私にはありません。その方はお前たちに**聖霊**と炎で浸礼をお授けになります。

17 その方の手には、ご自分の箕があり、その方はご自分の脱穀する場所を徹底的に清められます。そして、その方はご自分の麦を集め、倉に収めるが、殻は消すことのできない炎で焼き尽くしてしまいます。」

18 そして、他の多くの励ましの言葉で、民に福音を説いた。

19 さて、領主ヘロデは、彼の兄弟ピリポの妻、ヘロデヤについて、またヘロデが行なったいろいろな悪事のために、

20 ヨハネに叱責されたので、その上になお、ヨハネを牢獄に閉じ込める悪事を重ねた。**21** さて、ことの次第はこうであった。民全員が浸礼を授けられ、イエスも浸礼をお受けになる時、イエスが祈っておられると、天が開かれ、**22** そして、**聖霊**が鳩のような姿で降りて来られ、イエスの上に来られた。そして、天からの声が言われた。「あなたはわたしの愛する**子**である。あなたはわたしが喜ぶ者である。」**23** そして、イエスご自身が活躍を始められたのは、およそ三十歳であった。イエスはヨセフの息子であると思われていた。ヨセフはヘリの子、**24** マタテの子、レビの子、メルキの子、ヤンナイの子、ヨセフの子、**25** マタッテアの子、アモスの子、ナホムの子、エスリの子、ナンガイの子、**26** マアツの子、マタッテアの子、シメイの子、ヨセフの子、ヨダの子、**27** ヨアンナの子、レサの子、ゾロバベルの子、サラテエルの子、ネリの子、**28** メルキの子、アデイの子、コサムの子、エルモダムの子、エルの子、**29** ヨセの子、エリエゼルの子、イヨレムの子、マタテの子、レビの子、**30** シメオンの子、ユダの子、ヨセフの子、ヨナンの子、エリヤキムの子、**31** メレアの子、マイナンの子、マタタの子、ナタンの子、ダビデの子、**32** エッサイの子、オベデの子、ボアズの子、サルモンの子、ナアソンの子、**33** アミナダブの子、アラムの子、エスロムの子、パレスの子、ユダの子、**34** ヤコブの子、イサクの子、アブラハムの子、テラの子、ナホルの子、**35** セルクの子、ラガウの子、ペレグの子、エベルの子、サラの子、**36** カイナンの子、アルパクサデの子、セムの子、ノアの子、ラメクの子、**37** メトセラの子、エノクの子、ヤレデの子、マハラレルの子、カイナンの子、**38** エノスの子、セツの子、アダムの子、このアダムは**神**の子であった。

4

1 さて、イエスは**聖霊**に満ち、ヨルダン川から帰り、**御霊**によって荒野の中へ導かれ、**2** 四十昼夜にわたり、悪魔に試された。この期間、イエスは何も召し上がることはなかった。それで、この期間が終わると、空腹を覚えられた。**3** すると、悪魔はイエスに言った。「もしあなたが**神**の**御子息**なら、この石にパンになれと命じなさい。」**4** すると、イエスは悪魔に答えて言われた。「『人はパンだけではなく、**神**の一つ一つの御言葉によって生きる。』と書いてある。」

5 すると悪魔はイエスを高い山に連れて行き、一瞬のうちに世界のすべての王国をイエスに見せた。**6** そして、悪魔はイエスに言った。「私はこの権威とその栄光をすべてあなたに与える。なぜなら、権威も栄光も私に引き渡されているのだ。そして、与えようと思う者に、私は与えることができる。**7** 従って、もしあなたが私の前に伏し、私を拝めば、すべて、あなたのものになる。」**8** するとイエスは悪魔に答えて言われた。「サタンよ、わたしの後に行け。『あなたの**神**である**主**を拝み、その方のみに仕えよ。』と書いてあるからだ。」

9 その時、悪魔はイエスをエルサレムに連れて行き、神殿の最も高い所に立たせた。そして、イエスに言った。「もしあなたが**神**の**御子息**なら、自らを下へ投じなさい。**10**『**神**はあなたを守るため、ご自分の御使いたちに、あなたについて命じられる。』と書いてあるからだ。**11** それと、『あなたの足が石に打ち当たらないように、御使いたちはあなたを手で支える。』」**12** すると、イエスは答えて、悪魔に言われた。「『あなたの**神**である**主**を試みてはいけない。』と言われている。」**13** すると、悪魔はすべての試みを止め、好機が来るまでイエスから離れた。

14 さて、イエスは**御霊**の力によりガリラヤに帰られると、イエスの評判はその全土に広がった。**15** そして、イエスは彼らのシナゴーグで教え、全員から栄光をお受けになった。

16 さて、イエスはご自分が育ったナザレに行かれた。そして、ご自分の習慣で、安息日にシナゴーグに入り、読むために立たれた。**17** すると、イエスは預言者イザヤの書を手渡された。書を開き、こう記録されている所を見いだされた。

18 「**主**の**御霊**はわたしの上におられる。**主**がわたしに油を注がれたので、貧しい人々に福音を説く。心が砕かれた人々をいやし、囚人たちに解放を宣言し、盲人たちに視力を回復させ、虐げられた人々に自由を返し、このためにわたしは遣わされ、

19 **主**のふさわしい年を宣言するために**主**はわたしを遣わされた。」

20 次いでイエスは書を閉じ、係りに返し、座られた。シナゴーグにいた会衆の全員の目はイエスに釘付けになった。

21 イエスは一同に言い始められた。「今日、あなたがたの耳が聞いた御言葉が成就されました。」

22 それで全員、イエスのことを証して、イエスの口から出た優しい言葉に驚いた。そして、「これはヨセフの息子ではないのか。」と、一同は言った。

23 イエスは一同に言われた。「あなたがたはきっとこの諺をわたしに言うでしょう。『「医者よ、自らを治せ。」あなたがカペナウムで行われたことを、私たちは聞いています。ここで、つまりあなたの故郷でもやってください。』」

24 そしてイエスは言われた。「真に、わたしはあなたがたに言います。自らの故郷では、預言者は誰一人受け入れられていません。

25 しかし、わたしはあなたがたに正確に言います。エリヤの時代に、イスラエルに多くの未亡人がいました。それは、天は三年半閉じられ、国中に大飢饉があった時です。

26 しかし、その未亡人たちの誰一人にもエリヤは遣わされず、シドンのサレプタのやもめになった女性のみに遣わされた。

27 そして、預言者エリシャの時代に、レプラ病①の人は多くいたが、シリア人のナアマン以外、誰も清められなかったのです。」

28 すると、シナゴーグにいた全員はこれを聞き、激しく憤慨し、

29 立ち上がって、イエスを町の外へ追い出し、その町が建っている丘の崖へ連れて行き、投げ出すために、断崖へイエスを連れて行った。

30 しかし、イエスは彼らの中央を通り、自らの道を行き、去られた。

---

27 ① 現代はハンセン病と言う。

31 そして、イエスはガリラヤにある町、カペナウムに下って行き、安息日毎に人々を教えておられた。**32** そして、イエスは権威ある御言葉で語られたから、人々はイエスの教えに驚嘆していた。**33** さて、シナゴーグに、汚れた悪魔の霊を持つ男がいた。そして、この男は大声で叫んで、**34** 言った。「俺たちをほっておいてくれ。ナザレのイエスよ、俺たちはあなたと何の関係があるのか。俺たちを滅ぼしに来たのか。あなたは誰か、俺は知っている。**神の聖なる人**だ。」**35** しかし、イエスはその霊に警告し、言われた。「黙れ、この男から出てこい。」すると、悪魔はその男をそこにいた人たちの中に倒したが、けがをさせずに、男から出て来た。**36** それで、全員は驚き、互いに言葉を交わし、言った。「これは何の言葉だ！この方が権威と力を持って、悪魔たちに命じると、悪霊たちは人から出て来る。」**37** こうしてイエスに関する名声は、その周りの地方一帯に広がって行った。

38 さて、イエスは立ち上がりシナゴーグを離れ、シモンの家に入られた。しかし、シモンの義母は病で高熱があった。それで、家の者たちは彼女のためにイエスにお願いした。**39** イエスは病人の上にかがみ、熱をたしなめられると、熱は去った。そして、女はすぐ起きてイエスたちを接待した。

40 そして、日が正に沈もうとする頃、様々な病気を患う人を抱えている人たちが、病人たちをイエスの所に連れて来た。そして、イエスは一人一人すべての病人の上に手を置かれ、治された。**41** そして、多くの人から悪霊たちは、わめきながら出てきて、言った。「あなたは**神**の**御子息**、キリストです！」そして、悪霊たちはイエスがキリストであると知っていたので、イエスは悪霊たちを叱責し、口を封じたのである。

42 明るくなると、イエスは去り、寂しい所に行かれた。すると、群衆はイエスを探し出し、そこに行き、イエスが去って行くのを止めようとした。**43** しかし、イエスは群衆に言われた。「わたしは他の町々でも**神**の王国を説かなければなりません。このためにこそ、わたしは遣わされてきたのです。」**44** そしてイエスはガリラヤ各地のシナゴーグで説き続けられた。

5

1 さて、ことの次第はこうであった。群衆は**神**の御言葉を聞くために、イエスの周りに押し寄せて来た。それ

で、イエスはゲネサレの湖畔に立ち、**2** 岸に上げてある二隻の船をご覧になった。しかし、漁師たちは船から離れ、網を洗っていた。**3** それで、イエスはシモンの船であるその一隻に乗り、シモンに岸から少し離れるようにイエスは頼まれた。そして、イエスは座り、船から群衆を教えられた。**4** イエスは話を終えられると、シモンに言われた。「深いところへ船を出し、魚を獲るために網を降ろしなさい。」**5** しかし、シモンは答えて、イエスに言った。「**師**よ、私たちは一晩中苦労をしましたが、何も獲れませんでした。でも、あなたのお言葉ですので、私は網を降ろします。」**6** そしてシモンたちがその通りにすると、彼らは大量の魚を獲ったが、網が破れ出した。**7** それで、もう一隻の船に乗っていた仲間たちに、来て助けるように手で合図した。仲間たちは来て、二隻を魚で満たしたので、船は沈み始めた。**8** すると、これを見たシモン・ペテロは、イエスの膝元に伏して言った。「**主**よ、私は罪深い男です。だから、私から離れてください。」**9** なぜなら、ペテロも、共にいた仲間たちも、獲れた大量の魚に衝撃を受けたからである。**10** シモンの仲間で、ゼベダイの息子たちヤコブとヨハネも驚いた。それで、「恐れてはいけません。これからあなたは人を漁どるのです。」とイエスはシモンに言われた。**11** 彼らは船を岸につけ、何もかも捨て、全員イエスに従った。

12 さて、ことの次第はこうであった。イエスがある町におられた時、見よ、全身レプラ病で覆われた男がイエスを見て、ひれ伏し、イエスに哀願して、言った。「**主**よ、もしあなたがお望みになれば、私を清めることができます。」**13** そこでイエスはご自分の手を差しのべ、その男に触れ、言われた。「わたしは望みます。清くなりなさい。」そして、たちどころにその人のレプラ病は清められた。**14** そして、イエスは誰にも話すなと命じられた。「祭司の所に行き、あなた自身を祭司に見せ、あなたの清めのため、モーセが命じたように、皆に証するため、捧げ物をしなさい。」**15** しかし、イエスについての情報はさらに広がった。そして、お話を聞き、病を治されようと多くの人たちが各地からやって来た。**16** それで、しばしばイエス自ら寂しい所に退き、祈っておられた。

17 さて、ことの次第はこうであった。ある日のこと、イエスが教えておられた。そこにガリラヤのすべての村、またユダヤとエルサレムから出てきた、パリサイ派の人たちと、律法の教師たちが座っていた。そして、病人たちを治すのに、**主**の力があった。

18 すると見よ、床に寝ている中風の男を、男たちが運んで来た。運び入れ、そして、イエスの前に置こうとした。

19 そして、群衆のため、持ち込む方法が分からず、屋上に行き、床と共に、人たちの真ん中に、瓦屋根を通して病人をイエスの前に降ろした。

20 すると、イエスはこの人たちの信仰をご覧になり、病人に言われた。「男よ、あなたの罪は赦されました。」

21 すると、律法学者たちとパリサイ派の人たちは、論争を始め、言った。「冒涜の言葉を口にするこの者は何者だ。罪を赦すことができる方は、**神**以外おいでになるのか。」

22 しかし、イエスは彼らの考えをお知りになり、答えて、言われた。「あなたがたは心の中で何を論じているのですか。

23 『あなたの罪は赦されました。』と言うのと、『起きて歩きなさい。』と言うのと、どちらが簡単ですか。

24 しかし、人の**子**が、地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたが知らせるために。」それでイエスは中風の男に言われた。「わたしはあなたに言います。起き上がれ、あなたの寝床を持って、あなたの家に帰りなさい。」

25 それで、たちどころに男は立ち上がり、寝ていた床を持ち、**神**に栄光を捧げながら、自分の家に帰った。

26 すると全員驚き、**神**に栄光を捧げ、恐怖に満たされ、言った。「今日私たちは信じられないことを目の当りにしました。」

27 さて、この後イエスは出かけ、収税所に座っているレビという収税人をご覧になった。そして、レビに言われた。「わたしについて来なさい。」

28 それで、レビは何もかもおいて、立ち上がり、イエスに従った。

29 そして、レビは自分の家で、イエスのため、大きな食事会を開いた。そして、大勢の収税人と他の人たちはレビたちと共に座った。

30 すると、パリサイ派の人たちはイエスの弟子たちに向かって、苦情を言った。「あなたがたはなぜ、収税人や罪人と共に飲み食いするのですか。」

31 イエスは答えて、彼らに言われた。「健康な人は医者を必要としません。必要とするのは、病人です。

32 正しい人でなく、わたしは罪人を呼び集め、悔い改め

させるために来たのです。」

33 それで、人たちはイエスに言った。「ヨハネの弟子たちはパリサイ派の人たちと同様、よく断食し、祈りをしますが、あなたの弟子たちは飲み食いをします。」

34 イエスは彼らに言われた。「立会人たちと花婿が共にいる間、立会人たちを断食させることができますか。

35 しかし、花婿は立会人たちから取り上げられる日が来ます。その期間は、立会人たちは断食します。」

36 それで、イエスは彼らに例え話を話された。「誰も古い服に新しい布を当てる人はいません。さもなくば、その布切れは服を引き裂きます。新しいものは古いものに合いません。

37 また、だれも新しい葡萄液を古い革袋には入れはしません。入れれば、革袋は破れ、葡萄液はこぼれ、革袋は裂けるからです。

38 しかし、新しい葡萄液を新しい革袋に入れると、両方とも保全されます。

39 そして、古い葡萄液を飲んだ人は、誰もすぐ新しい葡萄液を欲しがりません。なぜなら、『古い方がいい。』と人は言うからです。」

6

1 さて、ことの次第はこうであった。次の次の安息日に、イエスは麦畑の中を通られ、そして、イエスの弟子たちは穂を摘み、そして手でもんで食べていた。

2 すると、パリサイ派の中の人たちはイエスたちに言った。「あなたがたはなぜ、安息日にしては不法な事をしているのですか。」

3 しかし、イエスは答えて彼らに言われた。「ダビデと供をしていた人たちが空腹であった時に、ダビデが何をしたか、読んでいないのですか。

4 すなわち、祭司たちだけに、食べる事を許されている供えのパンを、ダビデは**神**の家に入り、受け取り、食べ、また供をしていた者にも与えました。」

5 そして、イエスはパリサイ派の人たちに言われた。「人の**子**は、安息日の**主**でもあるからです。」

6 さて、ことの次第はこうであった。ほかの安息日にも、イエスはシナゴーグに入り、教えておられた。そこに、右手のなえた男がいた。

7 それで、律法学者たちとパリサイ派の人たちは、イエスが安息日に人を治すかどうか、注意して見ていた。それは、イエスに対する告発の口実を見つけ出すためであった。

8 しかし、イエスは彼らの考えを知り、手のなえた男に言われた。「立ち上がり、真ん中に立ちなさい。」彼は腰を

上げ、立った。

9 すると、イエスは彼らに言われた。「あなたがたに一つ聞きます。安息日に、良いことをするのと、悪いことをするのと、また、命を救うのと、命を殺すのと、どちらが律法にかなっているでしょうか。」

10 そして、イエスは皆を見回し、その男に言われた。「あなたの手を伸ばしなさい。」男はそうした。そして、その手はもう一本の手と同じように回復した。

11 しかし、律法学者たちとパリサイ派の人たちは狂気に満たされ、イエスをどうしてやろうかと、互いに相談した。

12 さて、ことの次第はこうであった。この数日間、イエスは祈るために山に出かけ、一晩中、**神**への祈りで過ごされた。

13 そして、昼になり、自らの弟子たちをご自分の所に呼び寄せ、その中から十二人を選び、その十二人を使徒①と言う名前でも呼ばれた。

14 イエスがペテロとも名付けたシモン、その兄弟アンデレ、ヤコブとヨハネ、ピリポとバルトロマイ、

15 マタイとトマス、アルパヨの息子ヤコブ、熱心党員と呼ばれるシモン、

16 ヤコブの息子ユダ、そして裏切り者にもなったユダ・イスカリオテである。

17 そして、イエスは使徒たちと共に降り、平坦な所に立たれると、ご自分の大勢の弟子たち、そしてユダヤとエルサレムの全地から、またツロとシドンの海辺から来た大勢の群衆がやって来た。皆イエスの話を聞くために、また病気を治して頂くために来たのである。

18 汚れた霊に苦しまされている人たちも来て、治された。

19 そして、力はイエスから出て、全員を治したので、群衆は皆、イエスに触れようとした。

20 そして、イエスは目を上げ、弟子を見て言われた。「貧しいあなたがたは祝福されています。天の王国はあなたがたのものだからです。

21 今、飢えているあなたがたは祝福されています。満たされるからです。

22 人々はあなたがたを憎み、人の**子**が原因で、

13
① 弟子（ギリシャ語 μαθητης、apostolos ）とは、従う人。使徒（ギリシャ語 αποστολος、mathetes ）とは、遣わされた人である。

あなたがたを排除し、あなたがたをののしり、あなたがたの名を邪悪なものとして呼びます。その時、あなたがたは祝福されます。

23 その日は喜び、かつ跳び上がって喜びなさい。あなたがたの天での報償は大きいからです。あの人々の父祖たちも預言者たちを、同様に迫害したからです。

24 金持ちたちよ、あなたがたに災いあれ。すでに自分の慰めを受けているからです。

25 満腹している者たちよ、あなたがたに災いあれ。飢えるからです。今、笑う者たちよ、あなたがたに災いあれ。悲しみ、泣くからです。

26 すべての人たちがあなたがたを誉めそやす時、あなたがたに災いあれ。なぜなら、誉めそやした人たちの父祖たちも、にせ預言者たちにそうしたからです。

27 しかし、聞いている皆さんに言います。あなたがたの敵を愛しなさい。あなたがたを憎む人たちに良くしてあげなさい。

28 あなたがたを呪う人たちを祝福しなさい。そして、悪意であなたがたに接する人たちのために祈りなさい。

29 誰であれあなたの頬を打つ人に、他の頬も向けなさい。そして、誰であれあなたの上着を取る者には、下着をとることも禁じてはいけません。」

30 誰が求めても、あげなさい。また、あなたの物を取った人から取り戻してはいけません。

31 そして、あなたがたが他人からして欲しい事を、そのまま他人にしなさい。

32 しかし、もしあなたがたを愛している人を、あなたがたが愛したからといって、何か恵みはあるでしょうか。罪人でさえ自分を愛している人たちを愛します。

33 そして、もし良い事をしてくれた人たちに、良い事をしても、あなたがたにとって何の恵みがあるでしょうか。罪人たちでさえもしているからです。

34 そして、返してもらおうと、貸すのであれば、あなたがたにとって何の恵みがあるでしょうか。なぜなら、罪人に貸す罪人でさえ、貸した金額と同額を受け取ろうと思って貸すからです。

35 ですから、あなたがたの敵を愛し、良いことを行ない、何の返済も望まず貸しなさい。そうすれば、あなたがたは大きな報酬を受けます。そして、あなたがたは最高位の方の子どもになります。その方は感謝を知らない者たちや、悪人たちに優しい方だからです。

36 従って、あなたがたの**父**も哀れみ深い方なのだから、哀れみ深い人でいなさい。

37 そしてまた、裁いてはいけません。裁かれないためです。人を罪に定めてはいけません。罪に定められないためです。赦しなさい。赦されるからです。**38** 与えなさい。そうすれば、与えられます。押し、揺すり、あふれるまで、量を良くして、人々はあなたがたのふところに入れます。あなたがたの計る秤で、あなたがたは計られるからです。」

39 それで、イエスは弟子たちに例え話を話された。「盲人は盲人を導けるでしょうか。二人とも穴に落ちるのではありませんか。**40** 弟子はその先生の上の者ではないが、誰であれ完全に備えた者は、その先生のようになります。**41** あなたは自分の目にある梁を気にもせず、兄弟の目にあるちりが見えるのは、なぜでしょうか。**42** または、自分の目にある梁が見えないのに、あなたはどうして、『兄弟よ、あなたの目にあるちりを取らせてください。』と、どうして言えるのですか。偽善者よ、まず自分の目からその梁を取りなさい。そうすればはっきりと目が見え、兄弟の目にあるそのちりを取り除けます。

43 良い木は悪い実を結びません。また悪い木は良い実を結ばないからです。**44** すべての木はその実によって判断できるからです。なぜなら、人々は茨からイチジクを収穫しないし、また葡萄を野バラから収穫しません。**45** 善人は自らの心の良い宝の蔵から良い物を出し、そして、悪人は自らの心の悪い宝の蔵から悪い物を出します。心の豊かなところより、人の口は話します。

46 しかし、あなたがたはなぜわたしを『主よ、主よ』と呼ぶのに、わたしの言うことを実行しないのですか。**47** わたしの所に来て、これらわたしの言葉を聞き、実行するすべての人は、どのような人であるかを、あなたがたに示します。**48** その人は、深くほり、岩の上に土台を置き、家を建てる人のようです。そして、洪水が来て、水の流れがその家に激しく、何度も当たりましたが、家の土台は岩の上に置かれていたので、水の流れはその家をびくとも動かすことはできませんでした。**49** しかし、聞いて何もしない人は、土台なしで地面に家を建てた人のようです。水の流れはその家に何度も激しく当たった時、すぐ倒れました。そして、その家は瓦礫の山になりました。」

7

1 さて、民の聴衆にご自分の言葉を語り終え、イエスはカペナウムの町に入られた。
2 すると、ある百人隊長の僕が、病気で、臨終を迎えていた。隊長にとって大切な僕であった。
3 それで、イエスのことを聞いていた、この隊長は、ユダヤ人の長老たちをイエスの所に送り、僕を救ってくださるよう願わせた。
4 それで、長老たちはイエスの所に行き、イエスに必死に願って、言った。「これを願っているのは、この願いにふさわしい者です。
5 なぜなら、この男は私たちの国を愛し、私たちにシナゴーグを建ててくださいました。」
6 それで、イエスは長老たちと共に行かれ、そして、さほどその家から遠くない所に来た時、百人隊長は親友たちをイエスの所に送り、言わせた。「主よ、わざわざ、あなたが私の屋根の下までお出でになるほどの価値は、私にはありません。ですからご足労には及びません。
7 従って、私自身が、あなたの所に行くのさえ、ふさわしくないと私は思っていました。しかし、ただ一言言ってくだされば、僕は治ります。
8 なぜなら、私も権威の下に置かれている者の一人です。私も配下に兵士たちがいます。そしてこの一人の兵士に、私が、『行け』と言ったら、彼は行きます。また、別の一人に、『来い』と言えば来ます。そして私は自らの僕に『これをせよ』と言ったら、彼はそうします。」
9 すると、イエスはこれらを聞いて、この百人隊長に驚き、振り向いて従って来た群衆に言われた。「まことに、わたしはあなたがたに言います。イスラエルにさえも、わたしはこのような偉大な信仰を見いだしたことがありません。」
10 そこで、使いに出されていた人たちが家に帰ると、元気になった病気の僕を見いだした。
11 さて、ことの次第はこうであった。翌日、大勢の弟子たちと、大群衆を従え、イエスはナインという町に入られた。
12 そして、イエスが町の門に近づくと、見よ、遺体が外へ運び出されているところであった。未亡人である母親の唯一の息子の遺体であった。そして、町から、かなりの群衆が未亡人と同行していた。
13 主は彼女をご覧になり憐れみ、彼女に言われた。「泣いてはいけません。」
14 そして、イエスは蓋のない棺に手をお置きになると、運んでいた人たちは立ち止まった。するとイエスは言われた。

「若者よ、あなたに言います。起き上がりなさい。」

15 すると死者は起き上がり、話し出した。そしてイエスはその若者をその母に渡された。

16 すると、恐怖が全員を襲い、皆、**神**に栄光を捧げ、「私たちの中に大いなる預言者が立ち上がった。」そして、「**神**がご自分の民を訪ねて来られた。」と言った。

17 イエスについてのこの出来事はユダヤ全土、及びその周辺全域に広がった。

18 それで、これらの事に関する全てを、ヨハネの弟子たちは、ヨハネに報告をした。

19 それでヨハネはとある弟子二人を自分の所に呼び、そして、「あなたが、来られることになっている方ですか、それとも私たちは別の人をさがすべきですか。」と尋ねるよう言い、イエスの所に送り出した。

20 その二人の弟子はイエスの所に来て、言った。「浸礼者のヨハネはあなたの所に私たちを遣わして、『あなたが、来られることになっている方ですか、それとも私たちは別の人をさがすべきですか。』と言っています。」

21 ちょうどその時イエスは多くの人たちの病気、疫病、悪霊を治された。また、多くの盲人たちに視力をお与えになった。

22 イエスはヨハネの弟子たちに、答えて言われた。「行って、あなたがたの見たこと、聞いたことをヨハネに伝えなさい。盲人たちは見え、足の不自由な人たちは歩き、レプラ病①の人たちは清められ、耳の聞こえない人たちは聞こえ、死人たちは復活させられ、貧しい人たちは福音が説かれるのを聞いています。

23 そして、わたしのことでつまずかない人は、幸いです。」

24 さて、ヨハネの使者たちが去ると、ヨハネについてイエスは群衆に語り始められた。「あなたがたは何を見るつもりで、荒野に出て行ったのですか。風で揺れる一本の葦①ですか。

25 では、何を見に出て行ったのですか。柔らかい服を着ている一人の男ですか。見よ。豪華な服を着て、ぜいたくな生活をしている人々なら王の宮殿にいます。

26 では、あなたがたは何を見に出て行ったので

---

22 ① 現代はハンセン病と言う。

24 ① この葦は、弱い人間の象徴である。ここでは、ヨハネを指す。

すか。預言者ですか。そうです。あなたがたに言うが、預言者以上の人です。

27 『見よ。わたしの使者をあなたの面前に遣わし、この人はあなたの道をあなたの前に準備する。』と、書かれている人がこの人です。

28 なぜなら、あなたがたに言います。女性から生まれた中で、浸礼者のヨハネより偉大な人はいません。しかし、天の王国の最も小さい人でも、ヨハネより偉大です。」

29 それで、すべての民はイエスの話を聞くと、収税人でさえ**神**の義を認め、浸礼者のヨハネの浸礼を受けた。

30 しかし、ヨハネの浸礼を受けず、パリサイ派の人たちと律法の専門家たちは彼らのための、**神**のご意志を拒否した。

31 さて、**主**は言われた。「わたしはこの世代の人々を何に例えましょうか。彼らは何に似ているでしょう。

32 市場に座り込んで互いに呼びかける子どもに似ています。その子どもたちは言います。『我らはお前らのため、笛を吹いたのに、お前らは踊らなかった。我らはお前らのため、死者を悲しんだのに、お前らは胸を叩かなかった。①』

33 なぜなら、浸礼者のヨハネが、パンを食べず、葡萄液も飲まずに来ると、『あの者には悪霊がいる。』と人々は言うからです。

34 人の**子**が、来て飲み食いすると、『見よ。大食いで、大酒飲みで、収税人や罪人の友人だ。』とあなたがたは言います。

35 しかし、知恵は、知恵の子どもたちによって義と認められます。①」

36 さて、パリサイ派の一人が、イエスに食事を共にしてくれるよう願った。それで、イエスはパリサイ派の人の家に行き、食卓につかれた。

37 すると、見よ。罪人であった町の女性が、イエスがパリサイ派の人の食卓に座っていると分かり、香油の入っていた石膏の壺を持ってやって来て、

38 イエスの後ろに立ち、足下で泣き、イエスの足を自らの涙で濡らし、自らの髪の毛で拭き始めた。そして、イエスの足に口づけし、香油を塗った。

39 すると、イエスを招待したパリサイ派の者はこれを見て、心の中で言った。「もしこの人が預

---

32 ① 当時の子供たちの遊び。

35 ① この場合、「知恵」は擬人法で女性で受ける。

言者なら、自分に触れている者が誰か、どんな女かを分かるはずだ。女は罪人なのだから。」

40 それで、イエスはシモンに答えて言われた。「シモンよ、あなたに言いたいことがあります。」シモンは言った。「**先生**、言ってください。」

41 「ある金貸しから、二人の人が借りていました。一人は五百デナリの借り、もう一人は五十デナリの借りがありました。

42 そして、二人は返すお金がまったくなかったので、金貸しは二人とも許しました。ところで、二人の内どちらが、この金貸しに大きな愛を覚えるでしょうか。私に教えてください。①」

43 それで、シモンは答えて言った。「多くを許された者だろうと、私は想像します。」イエスはシモンに言った。「あなたの判断は正しい。」

44 それで、イエスは女性の方を向いて、シモンに言った。「この女性を何と見なしますか。わたしはあなたの家に入りました。足のための水をあなたはくれなかったが、この女性はわたしの足を自らの涙で洗い、自らの髪の毛で拭いてくれました。

45 あなたはわたしに口づけをしてくれなかったが、この女性はわたしの足に口づけするのを、わたしが入って来てから、止めようとはしませんでした。

46 あなたはわたしの頭に油を塗ってくれなかったが、この女性はわたしの両足に香油を塗ってくれました。

47 ですから、わたしはあなたに言います。この女性は多く愛してくれたのだから、多くの罪は赦されました。しかし、わずか愛した者はわずかしか赦されません。」

48 それからイエスは女性に言われた。「あなたの罪は赦されました。」

49 すると、イエスと共に食卓についていた人たちは、心の中で問い始めた。「罪までも赦すこの人は、誰なのだろうか。」

50 そこで、イエスは女性に言われた。「あなたの信仰が、あなたを救ったのです。安らかに行きなさい。」

8

1 さて、その後の次第はこうであった。イエスは説教し、**神**の王国の福音を説きながら、

---

42 ① 負債を返済しなければ、牢獄に入れられる。

一つ一つ、町と村を通過した。十二人も同行した。**2** そして悪霊や病気から解放されたとある女性たち、すなわち七人の悪霊が去ったマグダラと呼ばれるマリヤ、**3** ヘロデの執事クーザの妻ヨハンナ、そしてスザンナ、その他にも自らの財産からイエスを援助していた大勢の女性たちも共にいた。

4 そしてすべての町から、大群衆がイエスの所に集まった時、イエスは例え話を通して彼らに話された。

5 「種をまく人が、種まきに出かけました。そして、その男がまくと、ある種は道端に落ち、踏みつけられ、鳥たちが来てそれを食べつくしました。

6 そして、岩の上に落ちた種もあったが、水分がなかったため、芽を出すと枯れてしまいました。

7 そして、茨の中に落ちた種は、茨が伸びて、種を覆い塞ぎました。

8 しかし、他の種はよい土に落ち、芽を出すと百倍の実を結びました。」イエスはこれらのことを語った後、大声で言われた。「聞く耳のある人には聞かせよ。」

9 すると、弟子たちはイエスに尋ねて、言った。「この例え話は、どういう意味ですか。」

10 それで、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたが天の王国の奥義を知ることは、すでに許されているが、他の人たちには例え話で与えられます。それは、見ても見ず、聞いても聞かずの状態に彼らをするためです。

11 さて、これがこの例え話です。種は**神**の御言葉です。

12 道端にいる人たちとは、聞く人たちです。聞いても、信じて救われることがないように、悪魔が来て、その人たちの心にある御言葉を取り去ります。

13 また、岩の上の人たちは聞いて、喜びを持って御言葉を受け入れます。でも、この人たちは根がないので、しばらくは信じるが、誘惑の時は離れてしまいます。

14 また、茨の中に落ちた種は聞き、進み行くときに、不安、富、生活の快楽で成長を止められ、熟した実を結びません。

15 しかし、よい土に落ちた種は、善良で真摯な心で御言葉を聞き、それを保持し、忍耐を持って実を結ぶ人です。

16 また、火をつけた灯りに、枡をかぶせたり、または床の下に置いたりする人はいません。それどころか、人は燭台の上に置きます。家に入るすべての人に灯りが見えるからです。

17 なぜなら、明らかにならない秘密はなく、知られ、明るみに出ない秘密はないからです。

18 したがって、どのように聞くか、気をつけなさい。な

ぜなら、持っている人にはもっと与えられ、持っていない人は、持っていると思うものさえも、取りあげられるからです。」

19 すると、イエスの母と兄弟たちがイエスの所に来たが、群衆のため、近づくことができなかった。

20 そこで、イエスに伝えられた。彼らは言った。「あなたのお母さんと兄弟たちが外に立って、あなたに会いたがっています。」

21 しかし、イエスは答えて、その人たちに言われた。「わたしの母と兄弟たちとは、**神**の御言葉を聞き、それを行なう人たちです。」

22 さて、ことの次第はこうであった。ある日、イエスは弟子たちと船に乗られた。そして、弟子たちに言われた。「湖の向こう岸に渡りましょう。」そして、イエス一行は船を出した。

23 しかし、帆走していると、イエスは眠られた。すると、湖上に突風が吹きくだり、船は水で満たされ、危険な状態になった。

24 そこで、弟子たちはイエスの所に行き、イエスを起こし、言った。「師よ、師よ、私たちは滅ぼされそうです。」すると、イエスは起き上がられ、風と暴れている水を叱り付けた。すると、波も風も止み、大凪になった。

25 そして、弟子たちに言われた。「あなたがたの信仰はどこにあるのですか。」すると、弟子たちは恐がり、驚き、互いに言った。「この方はいったいどなたなのでしょうか。この方が命じれば、風も水も従います。」

26 さて、イエス一行は、ガリラヤの対岸にあるガダラ人の地方へ船で行った。

27 イエスがその地に足を踏み入れると、長い間、悪霊に占領されていた男が、イエスに会いにガダラ人の町から来ていた。その男は何も着ず、家に住まず、墓場に住んでいた。

28 男はイエスを見て、叫び、イエスの前にひれ伏し、大声で言った。「いと高き**神**の**御子息**であるイエスよ、あなたと俺は何の関係がありますか。お願いだから、拷問にかけないでくれ。」

29 それは、汚れた霊に男から出て来るよう、イエスは命じられていたからである。そして、しばしばこの男は悪霊に捕らえられ、人に縛られ、鎖と足かせを付けられて、監視されていたが、その拘束具を壊し、悪霊に荒野に追い立てられていたのである。

30 イエスは男に尋ねて言われた。「名は何と言うか。」多くの悪霊がその男に入っていたので、男は言った。「レギ

オンだ。①」

31 すると、出て底なしの所①へ入れ、と命じないでくださいと、悪霊たちはイエスに懇願した。**32** それで、その辺の山に、多くの豚の群れが餌を食べていた。そこで、豚の群れの中に入らせてくださいと、悪霊たちは願った。イエスは悪霊たちの願いを許された。**33** すると、悪霊たちは男を出て、豚の群れに入った。そして、豚の群れは崖を全速で駈け、落下して、湖に入り、おぼれ死んだ。**34** それで、豚飼たちは、この出来事を見ると、逃げだし、町、そしてその地方に伝えた。**35** それから、ことの次第を見に出て来た人々は、イエスの所に来て、悪霊を追い出してもらった男が服を着、正気に戻り、イエスの足下に座っているのを見いだした。そして、人々は恐れた。**36** そして、悪霊に占領されていた男が治ったことを目撃した人たちは、その治された方法を伝えた。**37** それで、ガダラ周辺地域の全群衆は、大きな恐怖に襲われ、イエスに自分たちから離れ去るように願った。それでイエスは船に乗り、帰られた。

38 さて、悪霊を追い出してもらった男は、お供することを願ったが、イエスは男を帰らせ、そして、言われた。**39** 「自分の家に帰り、**神**があなたのためにどんなに偉大なことをなさったかを伝えなさい。」それで、男は帰り、町中に、イエスが自分のためなさった、偉大な業を説いた。

40 さて、ことの次第はこうであった。イエスは帰られると、群衆はイエスを歓迎した。イエスを待っていたからである。**41** そして見よ。ヤイロという人が来た。ヤイロはそこのシナゴーグの支配者であった。彼はイエスの足下にひれ伏し、自分の家に来るよう、イエスに必死に願った。**42** なぜなら、ヤイロには十二才ぐらいの一人娘がいて、娘は死にかけていた。しかし、イエスが行かれようとすると、群衆がイエスの周りに押し寄せてきた。

43 そして、十二年間出血していて、生活費を医者にすべて使っても、どの医者にも治してもらえ

---

30 ① ローマ軍の六千人隊。

31 ① 悪魔を入れる牢獄のようなもので、一度入ると、出ることはできない。

なかった女性がいた。

44 その女がイエスの後ろに近づき、イエスの服のへりに触れた。すると、女の出血はたちどころに止まった。

45 すると、イエスは言われた。「誰がわたしに触れたのですか？」全員、否定した。すると、ペテロとその供をしていた人たちは言った。「**師**よ、群衆が四方から来て、あなたを押しつけているのに、あなたは、『誰がわたしに触れたのですか？』と言っておられます。」

46 しかし、イエスは言われた。「誰かがわたしに触れました。力が出て行くのを感じたからです。」

47 それで、隠れることはできないと知った女性は、震えながら来て、イエスの御前にひれ伏し、民全員の前で、イエスに触れた理由と、たちどころに治されたことを話した。

48 すると、イエスは女に言われた。「娘よ、勇気を出しなさい。あなたの信仰が、あなたを治しました。安心して行きなさい。」

49 イエスはまだ話しておられる間、シナゴーグのあの支配者の家から、一人の者が来て、支配者に言った。「あなたの娘さんは亡くなりました。**先生**を煩わせないでください。」

50 しかし、イエスはそれを聞き、シナゴーグの支配者に答えて言われた。「恐れるな。ただ信じなさい。そうすれば、娘は治されます。」

51 そして、イエスは家にお入りになると、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、そしてその少女の父と母だけ、入ることが許された。

52 全員、少女のために泣いたり悲しんだりしていたが、イエスは言われた。「泣いてはいけません。少女は死んでいません。眠っているだけです。」

53 しかし、少女は死んでいるのが分かっていたので、その人たちはイエスをあざ笑った。

54 しかし、全員、外に追い出され、イエスは少女の手を取り、呼びかけられ、言われた。「子よ、立ち上がりなさい。」

55 すると、少女の霊が戻り、少女はすぐに立ち上がった。それで、イエスは食べ物を与えるように命じられた。

56 少女の両親は非常に驚いたが、この出来事は誰にも言ってはいけないと、イエスは命じられた。

9

1 さて、イエスはご自分の十二人の弟子たちを呼び集め、すべての悪霊に対しての力と権威を、また病気を治す力と権威を与えられ、

2 そして、**神**の王国を説き、病人を治すため、この十二人を遣わされた。

3 その時、彼らに言われた。「道中、何も持って行って

はいけません。杖、革袋、パン、金銭を持って行ってはいけません。そして、一人、二着の上着を持って行ってはいけません。

4 そして、どの家に入っても、そこに滞在し、そこから出発しなさい。

5 そして、誰であれ、あなたがたを受け入れない者たちがいれば、その町を去る時に、その町の人たちに対する証として、足からほこりを振り落としなさい。」

6 そして、十二人は出発し、町々を通り、どんな所でも福音を説き、また、人々を治した。

7 さて、領主ヘロデは、イエスが行われたすべてのことを聞き、途方に暮れた。なぜなら、ある人たちによれば、ヨハネが死人の中から復活したのだと言い、

8 また、ある人たちによれば、エリヤが現れたのだと言い、そしてさらに、昔の預言者たちの一人が復活したのだと言う人たちもいた。

9 ヘロデは言った。「ヨハネの首は私が斬ったが、色々噂のあるこの者は何者か。」それで、イエスに会う方法をさがした。

10 さて、使徒たちは帰ってくると、自分たちが行なったことを一部始終イエスに伝えた。すると、イエスはベツサイダと呼ばれる町の一部の人里離れた所に、使徒たちを密かに連れて行かれた。

11 しかし、群衆はそれを知って、イエスについて行くと、イエスは群衆を受け入れ、**神**の王国について説かれ、治療が必要な人たちを治された。

12 そして、日が傾いたので、十二人は来てイエスに言った。「付近の村か町の宿で必要な食べ物を手に入れるべく、群衆を去らせてください。ここは人里離れた所ですから。」

13 しかし、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたが群衆に何か食べ物を与えなさい。」すると、弟子たちはイエスに言った。「我々がこの人たち全員のため、食べ物を買いに行かない限り、我々にはパン五個と魚二匹しかありません。」

14 おおよそ五千人の男がいたからである。そしてイエスは弟子たちに言われた。「五十人を一組にして座らせなさい。」

15 それで、弟子たちはそのようにし、全員を座らせた。

16 そして、イエスはパン五個と魚二匹を手に取り、天を見上げ、手にした物を祝福し、裂き、群衆の前に置くように、弟子たちに与えられた。

17 そして、群衆は一人残らず食べ、満腹し、弟子たちは残った食べ物でいっぱいになったかご十二を、弟子たちは手にした。

18 さて、ことの次第はこうであった。イエスは一人で

祈っておられると、弟子たちも加わった。するとイエスは弟子たちに尋ねられた。「群衆はわたしのことを、何者だと言っているのですか。」

19 それで弟子たちは答えて言った。「浸礼者のヨハネだと、また、エリヤという人たちもいるし、昔の預言者の一人が復活したのだ、と言う人もいます。」

20 イエスは弟子たちに言われた。「しかし、あなたがたはわたしを誰だと言うのですか。」ペテロは答えて言った。「あなたは**神**のキリストです。」

21 すると、イエスは弟子たちに、このことは誰にも言わないように、厳しく警告し、そして命じ、

22 言われた。「人の**子**は多くの苦しみを受け、長老たちと大祭司たちと律法学者たちに拒まれ、殺され、三日目に復活しなければなりません。」

23 それで、イエスは弟子全員に言われた。「もし誰であれわたしの後をついて来たいのなら、自らを否定し、日々自らの十字架を担い、そしてわたしに従いなさい。

24 誰であれ、自らの命を救おうとする者は、命を失うが、誰であれ、わたしのために命を失う者は命を救うからです。

25 なぜなら、もし全世界を獲得しても、滅ぼされ、命を失うならば、それは何の役に立ちましょうか。

26 なぜなら、自らの栄光と**父**の栄光のうちに、聖なる御使いたちと来る時、人の**子**は、わたしとわたしの言葉を恥じる者を恥とします。

27 まことにわたしはあなたがたに言います。ここに立っている人たちの中で、**神**の王国を見るまで、死を決して味わわない人たちがいます。」

28 さて、ことの次第はこうであった。この言葉のおよそ八日後、イエスはペテロとヨハネとヤコブだけを連れ、祈るため、山に登って行かれた。

29 祈っておられる間に、御顔の様子は変貌され、衣服は白くなり、そして輝いていた。

30 そして、見よ。二人の男がイエスと話をしていた。モーセとエリヤであった。

31 モーセとエリヤは栄光のうちに現れ、イエスがエルサレムで正に、やり遂げようとするご自分の最後をお話をしていた。

32 しかし、ペテロ、そして共にいた人たちは、すっかり眠っていたが、完全に目を覚まし、イエスの栄光とイエスと共に立っている二人を見た。

33 その時、事が起きた。モーセとエリヤがイエスから離れて行く時、ペテロがイエスに言った。「**師**よ、ここにい

る事は私たちには、嬉しいことです。私たちはここに三つの天幕を作りましょう。一つをあなたのため、一つをモーセのため、一つをエリヤのためにです。」しかし、ペテロは自分が何を言っているのか理解していなかった。

34 ペテロがまだこのことを話している間に、雲が現れ、皆を覆った。そして、彼らは雲の中に入ると、恐れた。

35 そして、雲からの声が言われた。「これはわたしの愛しい**息子**である。**息子**に耳を傾けよ。」

36 そして、声が止むと、イエスお一人の姿があった。しかし、三人は沈黙を守り、その時見たことを何一つ、誰にも話さなかった。

37 さて、ことの次第はこうであった。翌日、四人が山から下りると、大変な数の群衆がイエスを迎えた。

38 すると見よ、突然、群衆の中から一人の男が叫んで言った。「**先生**、お願いします。私の息子にお目をとめてください。ただ一人の息子だからです。

39 ご覧下さい。霊が息子を我が物とし、息子は突然叫び出します。息子が口から泡を吹くほど、霊はひきつけを起こさせ、引き裂くようにして離れます。

40 それで、あなたの弟子たちに霊を追い出すよう、お願いしましたが、弟子の皆さんはできませんでした。」

41 それでイエスは答えて言われた。「信仰のない、歪んだ世代の人たちよ、わたしはいつまで、あなたがたと共にいて、我慢するのか。わたしの所にあなたの息子を連れて来なさい。」

42 息子がイエスに近づこうとすると、悪霊は子どもを地面に投げつけ、ひきつけを起こさせた。すると、イエスは汚れた悪霊を叱り付け、子どもを治し、父親に返された。

43 そして、人々は皆、**神**の威厳に驚愕していた。しかし、人々がイエスの行なわれたことに驚いていると、イエスはご自分の弟子たちに言われた。

44 「人の**子**は今正に、裏切られ、人々の手に渡されようとしているのだから、これらの言葉は耳に留めておきなさい。」

45 しかし、弟子たちはこの御言葉を理解しなかった。弟子たちが理解しないよう、隠されていたからである。それで、弟子たちはこの言葉について、イエスに尋ねるのを恐れていた。

46 さて、弟子たちの間に、誰が一番偉くなるか、と言う論争が起きた。

47 そうすると、イエスは弟子たちの心を察知し、一人の幼児を呼び寄せ、ご自分のそばに立たせ、

48 弟子たちに言われた。「この幼児を、わたしの名によっ

て受け入れる者は、誰であれわたしを受け入れた事になります。そして、わたしを受け入れる者は誰であれわたしを遣わした方を受け入れたことになります。あなたがたの間で最も小さな者が偉大になるからです。」

49 すると、ヨハネは答えて言った。「**師**よ、あなたのお名前によって悪霊を追い出している男を私たちは見ました。私たちと共にあなたに従っていない男でしたので、中止させました。」

50 しかし、イエスはヨハネに言われた。「中止させてはいけません。わたしたちに反対しない人は、わたしたちの仲間だからです。」

51 さて、ことの次第はこうであった。イエスの昇天なさる日時が満たされつつあると、イエスは、エルサレムに行くべく断固とした御顔をなされた。

52 そして、ご自分に先立ち、使者たちを遣わされた。そして、使者たちは行き、イエスのため準備をするため、サマリア人のある村に入った。

53 しかし、イエスは、エルサレムに行くべく断固とした御顔であったので、サマリア人たちはイエスを受け入れなかった。

54 それで、弟子のヤコブとヨハネはこれを見て、こう言った。「**主**よ、エリヤがしたように、ここの人たちを消すため、天から火が降るよう、我々が命じましょうか。」

55 しかし、イエスは振り向き、二人を叱り、言われた。「あなたがたの霊が何なのかも、あなたがたは分かっていません。

56 人の**子**は人々の命を滅ぼすためではなく、救うために来たからです。」そう言って一行は別の村に行った。

57 さて、事が起きた。旅を続けている途中、ある人がイエスに言った。「**主**よ、あなたの行く所は、どこであれ私は従います。

58 すると、イエスはその男に言われた。「狐には穴があり、空の鳥には巣があるが、人の**子**には、枕する所がありません。」

59 すると、もう一人の人にイエスは言われた。「わたしについて来なさい。」その男は言った。「**主**よ、先ず、我が父を葬りに行かせてください。」

60 しかし、イエスは男に言われた。「死者に死者たちを葬らせなさい。あなたは行って、**神**の王国を説きなさい。」

61 すると、別のもう一人も言った。「**主**よ、私はあなたに従いますが、まず、私の家にいる者たちに別れの挨拶をさせてください。」

62 しかし、イエスは男に言われた。「誰であれ、鋤に手をかけ、振り向く人は、**神**の王国にふさわしくありません。」

10

1 その後、**主**はさらに他の七十人を任命され、ご自分の面前で、ご自分が行く予定のすべての町と場所に、二人ずつ遣わされた。

2 そして七十人に言われた。「稔りは、真に豊かだが、働き人はほとんどいません。だから**主**の取り入れに働き人を送り出すように、取り入れの**主**に祈りなさい。

3 あなたがたの道を行きなさい。見よ、狼たちの真ん中にあなたがた子羊たちを遣わすようなものです。

4 財布も、皮袋も、サンダルも、持って行ってはいけません。また、途中、誰にも挨拶をしてはいけません。

5 しかし、どんな家に入っても、『この家に平安がありますように。』と、最初に言いなさい。

6 そして、もし平安の子がその家にいれば、あなたがたの平安はその家に留まります。そうでなければ、あなたがたの平安があなたがたの所に戻ります。

7 そして、その同じ家に留まり、その家の人たちがくれる物を食べ、飲みなさい。働き人が賃金を受けるのは当然だからです。家から家へ移ってはいけません。

8 そして、どこの町に入っても、そこの人たちが受け入れてくれれば、出された物を食べなさい。

9 そしてそこにいる病人たちを治し、そこの人たちに言いなさい。『**神**の王国はあなたがたの近くに来ています。』

10 しかし、いかなる町に入っても、もしその町の人たちが、あなたがたを受け入れなければ、その町の通りに出て言いなさい。

11 『私たちの足についた、あなたがたの町のちりさえも、私たちはあなたがたに対して払い落とします。しかし、**神**の王国はあなたがたに近づいて来ていることを、知りなさい。』

12 わたしはあなたがたに言います。その日はソドムの町の方が、この町よりしのぎやすいのです。」

13 「コラジンよ、お前に災いあれ。ベツサイダよ、お前に災いあれ。なぜなら、もしお前たちの中で行なわれた力ある業が、ツロやシドンで行なわれたなら、その町はきっと大昔に荒布を着て、灰に座って悔い改めたのです。

14 裁きの時、お前たちの裁きよりツロとシドンの裁きの方が耐えやすい。

15 そして、天へ上げられたカペナウムよ、お前は地獄に引きずり落とされます。

16 あなたがたの話を聞く人たちは、わたしの話も聞くが、あなたがたを拒む者たちは私を拒みます。そして、わたしを拒む者たちは、わたしを遣わされた方を拒みます。」

17 その後、七十人は喜びながら戻って来て、言った。「**主**よ、悪霊どもでさえ、あなたのお名前によって私たちに服従します。」

18 それで、イエスは七十人に言われた。「稲妻のように、サタンが天から落ちるのをわたしは見ました。

19 見よ、蛇、サソリ、また敵のすべての力を踏み潰す権威を、私はあなたがたに与えています。そして、どんな方法でも、あなたがたを害するものは何もありません。

20 しかし、このことで、霊たちが、あなたがたに服従することで喜んではいけません。むしろ、あなたがたの名が、天国に記載されたのを喜びなさい。」

21 その時、イエスは**御霊**によって喜び、言われた。「天と地の**主**である**父**よ。あなたはこれらのことを賢い人や理解力のある人から隠し、赤子に啓示されたことを、あなたに感謝します。そうです。**父**よ、あなたの視点では喜ばしいことと思われます。」

22 そして、イエスは弟子たちに向かって、言われた。「すべてのものはわたしの**父**からわたしに引き渡されました。そして、**子**が何者であるかを知る者は、**父**の他、誰もいません。また**父**が何者であるかを知っているのは、**子**と、**子**が明らかにすると決めた人の他、誰も知りません。」

23 それで、イエスは弟子たちの方に向かって、ひそかに言われた。「あなたがたが見るものを見る目は祝福されています。

24 なぜなら、あなたがたに言います。多くの預言者たちや王たちは、あなたがたが見るものを見ようと望んだが、見られず、またあなたがたが聞くものを聞こうと望んだが、聞くことができなかったからです。」

25 さて、とある一人の律法の専門家が立って、イエスを試みようとして言った。「**先生**、永遠の命を相続するには、私は何をすればいいですか。」

26 イエスは彼に言われた。「律法に何と書いてありますか。あなたはどう読み取りますか。」

27 律法の専門家は答えて、言った。「『あなたの**神**である**主**を、心の全てを尽くし、魂の全てを尽くし、力の全てを尽くし、知力の全てを尽くし、愛しなさい。』そして、『あなたの隣人を、あなた自身のように愛しなさい。』」

28 イエスは律法の専門家に言われた。「あなたは正しく答えました。そう実行しなさい。そうすればあなたは生きます。」

29 しかし、男は自分を正当化しようとして、イエスに言った。「私の隣人とは、誰ですか。」

30 それでイエスは応えて言われた。「ある一人の男がエルサレムからエリコに下って行く途中、強盗たちに取り囲

まれました。男の服をはぎ取り、傷つけ、半死半生にして、強盗たちは去って行きました。

31 さて、そこに偶然、ある一人の祭司がその道を下って来ました。そして、その男を見ると、反対側を通り、行ってしまいました。

32 同様に、ある一人のレビ人はその場に着くと、近づいて見たが、反対側を通り過ぎて行きました。

33 しかし、旅行中のある一人のサマリヤ人が、その男の所に来ました。そして、男を見て、同情しました。

34 それで、男に近寄り、数々の傷にオリーブ油と葡萄液を注ぎ、包帯をしました。そして、自分の家畜に乗せ、宿屋に連れて行き、介抱しました。

35 そこで、翌日別れる時、二デナリ出し、宿屋の主人に与え、言いました。『この男を介抱してください。また、これ以上の金がかかれば、私がまた来る時、支払います。』

36 それで、この三人の中、強盗に襲われた男に対して、誰が隣人だったとあなたは思いますか。」

37 それで、律法の専門家は言った。「男への哀れみを実行した人です。」それでイエスは彼に言った。「あなたも行って、同じようにしなさい。」

38 さて、ことの次第はこうであった。イエスと弟子たちの旅行中、イエスは一つの村に入られた。そして、マルタと言う一人の女性がイエスを自分の家に歓迎した。

39 さて、マルタには、マリヤという姉妹がいた。マリヤもイエスの足下に座り、イエスの御言葉を聞いた。

40 しかし、マルタは接待でひどく忙しく、イエスの側に立ち、言った。「**主**よ、私の姉妹は私一人に接待を押しつけているのを、あなたは何とも気になさらないのですか。手伝うよう、姉妹に言ってください。」

41 しかし、イエスは答えて、マルタに言われた。「マルタ、マルタ、あなたは多くの事を抱えすぎ、困っています。

42 しかし、必要なのは一つです。マリヤは良い方を選んだのです。そして、それはマリヤから奪われることはありません。」

11

1 さて、ことの次第はこうであった。イエスはある所で祈っておられた。祈り終わった時、イエスの弟子の一人がイエスに言った。「**主**よ、ヨハネも彼の弟子たちに教えたように、私たちにも祈ることを教えてください。」

2 それでイエスは弟子たちに言われた。「祈る時、こう言いなさい。『天国におられる私たちの**父**よ。あなたの御名が尊ばれますように。あなたの王国が来ますように。あな

たのご意志が天国で行なわれているように、地上でも行なわれますように。

3 日々の私たちのパンを毎日与えてください。

4 そして、私たちも私たちのすべての負い目のある人たちを赦しますから、私たちの罪を赦してください。そして、私たちを誘惑に導かず、邪悪なものから救い出してください。」

5 また、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたの中の誰かに、友人がいるとして、真夜中にその友人の所へ行き、『友よ、パン三切れ貸してくれ。』と言います。

6 『私の一人の友が、旅の途中、私の所に来たが、この友人の前に出すものは何もないのです。』

7 すると、友人は中から答えて言います。『迷惑をかけないでくれ。戸締りをし、子どもたちと床についているのだから、起きてあなたにあげることはできない。』

8 わたしはあなたがたに言います。この男は友だからといって、起きてパンを与えることはありません。しかし、友人の執拗さに男は起き、彼の必要なものは何でも与えます。

9 だから、わたしはあなたがたに言います。求め続けなさい。そうしたら、それはあなたがたに与えられます。探し続けなさい。そうしたら、見いだします。戸をたたき続けなさい。そうしたら、戸はあなたがたのため開かれます。

10 なぜなら、求める人はだれでも受け取り、また、探す人は見いだすからです。また、戸をたたく人には開かれます。

11 もし、あなたがた父親たちの中で、パンを求める息子に、石を与えるでしょうか。または、魚を求める息子に、魚の代わりに蛇を与えるでしょうか。

12 また、もし息子が卵を求めるなら、サソリを差し出す父親がいるでしょうか。

13 したがって、あなたがたは悪い者でありながら、自分の子どもには良い贈り物を与えることを知っているのだから、なおさらのこと、あなたがたの天国におられる**父**は、ご自分に願う人たちに**聖霊**を下さいます。」

14 さて、イエスは悪霊を追い出された。そして、それは口のきけない悪霊であった。それで、その

悪霊が出た時、その口のきけない男は話し出した。すると、群衆は驚いた。 **15** しかし、「悪霊の支配者、ベルゼブル①によって、この者は悪霊を追い出すのだ。」と、言う人たちが、群衆の中にいた。 **16** その他の人たちはイエスを試みて、天からのしるしをイエスに求め続けた。 **17** しかし、イエスはその人たちの思いを知られ、言われた。「すべてそれ自身が分裂し対立する王国は、廃墟になります。そして、それ自体が分裂し対立する家は倒れます。 **18** しかし、サタン自身が分裂し対立するなら、サタンの王国はどうして立ち行くのですか。わたしがベルゼブルによって悪霊たちを追い出すと、あなたがたは言うからです。 **19** そして、もしわたしがベルゼブルによって悪霊を追い出すとするなら、あなたがたの息子たちは、誰によって悪魔を追い出すのですか。ですから、あなたがたの息子たちが、あなたがたの裁判官になるのです。 **20** しかし、もしわたしが**神**の指によって悪霊たちを追い出しているのなら、もう**神**の王国は間違いなくあなたがたの所に来ています。 **21** 完全武装した屈強な男が、自らの宮殿を守るなら、その男の所有物は安泰です。 **22** しかし、この男より強い者が彼を襲い、そして倒せば、そして男が頼りにしていた、全ての装備を奪い、分捕り品として分配します。 **23** わたしと共にいない者は、わたしに反対する者です。そして、わたしと共に集めない者は、散らしています。 **24** 汚れた霊は人から出て行く時、休息を求めて乾燥地帯を通ります。そして休息の場所を見いださず、汚れた霊は言います。『私は出て来た元の家に戻ろう。』 **25** そして、汚れた霊が家に帰ると、家はほうきで掃かれ、きちんと整頓されていることに気がつきます。 **26** それから、汚れた霊は行き、その霊自身より悪い、七つの霊を連れて来ます。そしてその霊たちは中に入り、そこに住みます。そうなると、その男の後の状態は、最初の状態より悪くなります。」

---

15 ①「ハエの主」という意味で、悪魔を指している。

27 そして、イエスがこれらのことを話しておられると、ことが起きた。一人の女が群衆の中から声を上げた。「あなたを産んだ胎と、あなたが乳を吸った乳房は祝福されています。」と言った。

28 しかし、イエスは言われた。「それより、**神**の御言葉を聞き入れ、それを守る人たちの方がもっと祝福されています。」

29 そして、群衆の人数が増えると、イエスは話し始められた。「今は悪の世代です。この世代はしるしを求めるが、預言者ヨナのしるしの他は何のしるしもこの世代には与えられません。

30 なぜなら、ヨナがニネベ人たちにとって、しるしになったと同様に、人の**子**もこの世代にとってしるしとなります。

31 あの南の女王は裁きで、今の世代の男たちと共に立ち上がり、彼らを糾弾します。女王はソロモンの知恵を聞きに、地のはてから来たからです。そして、見よ、ソロモンより偉大なる人がここにいます。

32 ニネベの男たちは、ヨナの語ることで悔い改めたから、裁きの時に、ニネベ人は今の世代の人とともに立ち上がり、今の世代を糾弾します。そして、見よ、ヨナより偉大なる人がここにいます。

33 灯りに火をつけ、隠れた場所に置く人や、枡をかぶせる人は誰もいません。むしろ燭台の上に置きます。それで灯りは家にいるすべての人を照らします。入って来る人たちが、その灯りを見るためです。

34 体の灯りは目です。したがって、あなたの目が健全である時、体全体も光で満たされます。しかし、あなたの目が悪い時、あなたの体全体も暗くなります。

35 あなたの中の光が暗黒でないように、気をつけなさい。

36 従って、もしあなたの体全体は輝き、暗い所がなければ、その灯りが輝く光であなたを照らすように、体全体は光で満たされます。」

37 さて、イエスが話をなさっていると、とある一人のパリサイ派の人が食事を共にしてくれるよう、イエスに願った。それで、イエスは入り、食卓に着かれた。

38 このパリサイ派の男はこれを見て、イエスが

食事の前に、先ず浸しの儀式をされなかった①ことに驚いた。

39 それで**主**はその男に言われた。「今、あなたがたパリサイ派の人たちはカップと皿の外側を清潔にするが、あなたがたの内側は貪欲と邪悪で満たされています。

40 愚か者たちよ。外部を作ったお方は、内部は作られなかったのですか。

41 ですから、あなたがたの持っているものの中から、施しなさい。そうすると、そうです、あなたがたにとって、すべてのものは清潔です。

42 しかし、パリサイ派の者たちよ、あなたがたに災いあれ。なぜならあなたがたはハッカとヘンルーダとあらゆる種類のハーブの十分の一を捧げるのに、正義や**神**の愛を無視します。これらは当然なすべきことであり、他のこともおざなりにしてはいけません。

43 パリサイ派の者たちよ、あなたがたに災いあれ。なぜなら、あなたがたはシナゴーグの最上席や、市場での挨拶が大好きだからです。

44 律法学者たち、パリサイ派の者たち、偽善者たちよ、あなたがたに災いあれ。あなたがたは、上を行く人には、それと気づかずに歩く、隠れた墓のようです。」

45 それで律法の専門家の一人は答えて、イエスに言った。「**先生**、今の言い方は、私たちをも侮辱しています。」

46 するとイエスは言われた。「律法の専門家たちよ、あなたがたに災いあれ。あなたがたは担いがたい重い荷を、人々に担がせるが、あなたがた自身は、指一本も、荷に触れません。

47 あなたがたに災いあれ。なぜなら、あなたがたは預言者の墓を建てるが、その預言者たちを殺したのは、あなたがたの父祖たちだからです。

48 事実、あなたがたの父祖たちの行為に賛同すると、あなたがたは証言しています。なぜなら、父祖たちは預言者たちを殺し、あなたがたはその墓を建てているからです。

49 従って、**神**の知恵は言いました。『わたしは彼らに、預言者たち、使徒たちを遣わすが、彼らはその中のある人たちを殺したり、迫害したりする。

50 それは、世の礎の時より、すべての預言者た

---

38 ① 儀式的な洗いであった。

ちの流された血が、今の世代に責任を取らせるためである。**51** アベルの血より、あなたがたが祭壇と神殿の間で死んだザカリヤの血までです。そうです、あなたがたに言います。その血は今の世代から要求される。』

52 律法の専門家たちよ、あなたがたに災いあれ。なぜなら、あなたがたは知識の鍵を取り上げ、あなたがた自身も入らず、そして、入ろうとする人たちを妨げました。」

53 それで、イエスは彼らにこれらのことを言うと、律法学者たちとパリサイ派の人たちはイエスを激しく攻撃し、数々のことについて敵意を持ってイエスを問いただし、**54** イエスを訴えるため、言葉尻を捕らえようと待ち構えた。

12

1 その間に、互いに足を踏むほど、数限りない人々が集まっていた。イエスはまず弟子たちに言い始められた。「偽善であるパリサイ派の人たちのパン種に気を付けなさい。

2 覆われているもので、現われないものは何もないし、隠されたもので、知られないものは何もありません。

3 従って、暗やみの中で言った事は何であれ、光の中で聞こえます。また、奥まった部屋で、耳元でささやいた事は何であれ、屋上で公表されます。

4 ですから、私はあなたがた友人たちに言います。肉体を殺して後は、何もできない者たちを恐れてはいけません。

5 しかし、誰を恐れるべきかを、わたしは告げます。殺して後、地獄に投げ込む権威を持つ方です。そうです、あなたがたに言います、その方を恐れなさい。

6 雀五羽は、銅貨二個で売られてはいませんか。しかし、その五羽の中の一羽も**神**の前では、忘れられていません。

7 しかし、あなたがたの頭髪さえ一本一本すべて、数えられています。従って、恐れてはいけません。あなたがたは多数の雀よりもっと値があります。

8 また、わたしはあなたがたに言います。人々の前でわたしを言い表す人は誰であれ、人の**子**はその人を**神**の御使いたちの前で言い表します。

9 しかし、人々の前でわたしを否定する人は、わたしもその人を、**神**の御使いたちの前で否定します。

10 そして、誰であれ、人の**子**に敵対の言葉を用いる者は、赦されます。しかし、**聖霊**を冒涜する者のその冒涜は容赦されることはありません。

11 しかし、人々があなたがたをシナゴーグや、支配者たち、また権威ある者たちの所に連れて行く時、どのように、また、何を答えようか、何を言おうかと、心配してはいけません。

12 なぜなら、あなたがたは何を言うべきか、その時こそ

聖霊が教えてくださいます。」

13 そこで、群衆の中の一人がイエスに言った。「**先生**、私の兄弟に、相続財産を私と分けるよう言ってください。

14 しかし、イエスはその男に言われた。「男よ、誰がわたしをあなたの上に、裁判官、または仲介者に据えたのですか。」

15 そして、イエスは人々に言われた。「貪欲には、気を配り、注意しなさい。なぜなら、人の命は、所有するものの豊かさで成り立っているのではないからです。」

16 それで、イエスは例え話を人々に話され、言われた。「ある金持ちの畑が豊かに稔りました。

17 そして、その男は心の中で考えて言いました。『収穫物を貯蔵するのに、空いている所はもうない。どうしようか。』

18 それで男は言った。『こうしよう。今の納屋を壊し、もっと大きい納屋を建てよう。そして、そこに私の全収穫物と値打ちのある物を保管しよう。

19 そして、私の魂に私は言います。「魂よ、お前はこれから長年の間やっていける、値打ちのある物を十分積み上げたのだから、休み、食え、飲め、そして楽しめ。」』

20 しかし、**神**はその男に言われました。『愚か者よ。今晩お前の魂をお前から返してもらう。そうすると、お前の用意したものは、誰のものになるか。』

21 **神**に対して宝を積まず、自分のために宝を積んだ男の姿です。」

22 それから、イエスはご自分の弟子たちに言われた。「だから、わたしはあなたがたに言います。命のために何を食べようか、また、体のために何を着ようかなどと、心配してはいけません。

23 命は食べ物以上、また体は衣服以上ではありませんか。

24 大ガラスのことを考えなさい。大ガラスは、種蒔きも刈り入れもせず、倉も納屋もありませんが、**神**は食べ物を与えます。あなたがたはこの鳥たちより、もっと価値があるのではないですか。

25 また、あなたがたの中の誰が心配したからと言って、自分の身長に一キュウビット①を加えることができるでしょうか。

26 最小のことさえ出来ないのに、なぜそれ以

---

25 ① 約四五センチ。

上の事を心配するのですか。

27 ユリはどう育つのか、よく考えて見なさい。ユリは働かず、紡ぎもしません。しかし、わたしはあなたがたに言います。栄光が絶頂時のソロモンでさえ、この一輪のユリの花ほども着飾ってはいなかったのです。

28 したがって、今日は野にあるが、明日はかまどに投げ込まれてしまう野の草を、**神**はこのように服を着せてくださるのだから、それ以上のものをあなたがたに着せないことがあるでしょうか。ああ信仰の薄き者たちよ。

29 そして、何を食べたら良いのか、また、何を飲んだら良いのか探し求め、不安になってはいけません。

30 なぜなら、すべてこれらの物を世の国々は求めます。しかし、これらの物を、あなたがたが必要としていることは、あなたがたの**父**はご存じです。

31 しかし、**神**の王国を求めなさい。そうすれば、これらすべての物があなたがたに加えられます。

32 小さな群れよ、恐れてはいけません。なぜなら、あなたがたに王国を与えることが、あなたがたの**父**の喜びなのです。

33 あなたがたの持ち物を売り、施しなさい。自らのために、古くならない金袋を準備し、天にある朽ちない宝を入れなさい。それは泥棒は近づかず、虫も食べません。

34 なぜなら、あなたがたの宝がある場所に、あなたがたの心もあるからです。

35 腰に帯を締め、灯りに火を付けていなさい。

36 そして、あなたがたは、結婚式から帰って来る主人を待つ男たちのようでありなさい。主人が帰り、戸を叩けばすぐに開けれるからです。

37 主人が帰って来た時、僕たちが警戒していると主人が分かれば、その僕たちは祝福されています。私は真にあなたがたに言います。主人は腰に帯を締め、僕たちを食事のため座らせ、自ら来て、僕たちに給仕します。

38 そして、もし主人が二度目の見回り、三度目の見回りに来て、見張っている僕たちを見たなら、その僕たちは祝福されています。

39 しかし、このことは理解しておきなさい。もし家の主人が、泥棒が何時に来るかを知っていたなら、主人は見張っていて、自らの家に押し入ることは許しません。

40 ですから、あなたがたも備えなさい。あなたがたの考えもしない時に、人の**子**は来るからです。」

41 すると、ペテロはイエスに言った。「**主**よ、あなたはこの例え話を私たちだけに話されていますか、それとも、皆にですか。」

42 それで主は言われた。「定められた時に、食事を分配し与えるため、主人が、家人を支配する者にした、忠実で賢い執事は誰ですか。」
43 主人が来た時、こうしている姿を、主人に見られる僕は、祝福されています。
44 まことにわたしはあなたがたに言います。主人はその僕を自分の全財産の支配者にします。
45 しかし、もしその僕が心の中で、『私の主は遅れて来る。』と言って、男の召使い、女の召使いを殴打し、飲み食いし、酔っ払うと、
46 その僕の主人が思いがけない日に、僕の気が付かない時に来て、男を二つに斬り分け、彼の取り分を信仰のない者と共にします。
47 そして、主人の意向を知っていて、自ら準備もせず、主人の意向で行動しなかった僕は、数多くむち打たれます。
48 しかし、知らずに、数多くむち打たれるのにふさわしい事をした者は、むちの数はわずかです。なぜなら、すべて、多く与えられた人は、多く要求されます。そして、多く任された人は、多く要求されます。
49 わたしは地に火を投ずるために来ました。そして、すでに着火していればと、私はどんなにか望んでいることでしょう。
50 しかし、浸されるべき浸礼はわたしにはあり、それが完了するまでに、わたしの苦悩はともかく続くのです。
51 平和を地にもたらすため、わたしが来たのだと思っているのですか。あなたがたに言うが、まったく違います。それどころか分裂をもたらすために来たのです。
52 なぜなら、今後、一軒の家に五人がいて、三人対二人、また二人対三人、と分裂します。
53 父は息子に対して、息子は父に対して、母は娘に対して、娘は母に対して、義理の母は義理の娘に対して、義理の娘は義理の母に敵対します。」
54 次いで、イエスはまた群衆に言われた。「西から雲が昇って来るのを見ると、あなたがたはすぐ言います。『にわか雨になるぞ。』そして、そうなります。
55 また、南風が吹いているのを見ると、あなたがたは言います。『暑くなるぞ。』そして、そうなります。
56 偽善者たちよ。あなたがたは空と地の表情を判断する力がありながら、この時代を判断することができないのは、なぜですか。
57 そうです、何が正しいかを、自ら自分たちで、なぜ判断しないのですか。
58 あなたに敵対する者と支配者の所に行く時、道中、相

手と和解するため、あらゆる努力をしなさい。そうしないと、相手はあなたを裁判官の所に引きずって行き、そして裁判官はあなたを役人に引き渡し、そして役人はあなたを牢獄に投げ込みます。**59** わたしはあなたに言います。最後の一レプタ①を支払うまで、あなたはそこを決して出ることはないでしょう。」

13

1 その時、ガリラヤ人たちの血を、ピラトが混ぜたと言うことを、イエスに伝えた何人かの人たちがいた。**2** すると、イエスは答えて、その人たちに言われた。「そのガリラヤ人たちがそんな苦しみを受けたからと言って、他のガリラヤ人たち以上に、ひどい罪人だとあなたがたは思うのですか。**3** あなたがたにわたしは言います。いいえ。しかし、あなたがたも悔い改めなければ、全員、そのように消滅します。**4** または、シロアムの塔が倒れ、押しつぶされ死んだあの十八人のことですが、あの人たちは、エルサレムに住んでいた、他の全部の男たち以上に、悪い罪人だと、あなたがたは思っているのですか。**5** わたしはあなたがたに、そうではない、と言います。しかし、あなたがたも悔い改めなければ、あなたがたも皆、そのように消滅します。」

6 そして、イエスはこの例え話も話された。「一人の男が、自分のぶどう園にイチジクの木を一本植えさせました。そして、その木に実を探し求めて来たが、一個も発見できませんでした。**7** それで、男はぶどう園のぶどう栽培人に言いました。『見なさい。三年間続けて、私はこのイチジクの木に実を求めて来たが、一個も見つからない。切り倒しなさい。なぜ土地を無駄にするのか。』**8** しかし、ぶどう栽培人は男に言った。『ご主人様、私が木の回りを掘って、肥料をやりますから、今年もそのままにしておいてください。**9** それでもし、実を結べば、結構なことです。実を結ばなければ、それからでも切り倒すことはできます。』」

10 さて、イエスは安息日に、あるシナゴーグで教えておられた。

59
① 小さくて少額の銅貨。

11 すると、見よ、十八年間、病気の霊に占領された女がいた。女の腰は曲がり、どうしても自分でまっすぐ立つことができなかった。**12** しかし、イエスはその女を見ると、ご自分の側に呼び寄せ、女に言われた。「婦人よ、あなたは病気から解放されました。」**13** そして、御手を女にお置きになると、たちどころに曲がった腰は真直ぐに治され、そして女は**神**に栄光を捧げた。**14** しかし、イエスは安息日に人を治したので、シナゴーグの支配者は怒り、群衆に答えて言った。「人々には働くべき六日間がある。だから、安息日ではなく、その六日間に来て治してもらいなさい。」**15** それで**主**は男に答えて、言われた。「偽善者よ。あなたがたはだれでも、安息日に牛やロバを小屋から出して、水の所に連れては行かない者は一人でもいるのですか。**16** だから、見よ、十八年間サタンが縛っていた、アブラハムの娘であるこの女を、安息日にこの拘束から解いてはならないのですか。」

17 そして、イエスがこれらのことを言われると、イエスに反対する者たちは皆、恥じ入り、そして、群衆は皆、イエスによりなされた、すべての栄光あることを目にし、群衆は皆喜んだ。**18** さて、イエスは言われた。「**神**の王国は何に似ているでしょう。また、何と比べましょうか。**19** 一粒のからしの種を、手にいれた男が、その種を自分の庭にまくと、種は成長し、大きな木になったのに似ています。空の鳥たちはその枝に巣を作りました。」**20** 次いで、イエスはさらに言われた。「**神**の王国は何に比べましょうか。**21** パン種に似ています。女がこれを取り、三サトン①の粉の中に隠し入れれば、全体が膨れたのです。」**22** さて、イエスは教えながら町や村を通り、エルサレムに向かって旅をしておられた。**23** その時、ある人がイエスに言った。「**主**よ、救われる人たちは少ないのですか。」それでイエスは皆に言われた。**24** 「あの狭い門を通って入れるように努力しな

---

21 ① 四十リットルぐらい。

さい。なぜなら、わたしはあなたがたに言います。大勢の人は入ろうと探し求めるが、入ることができません。

25 家の主人が一度起きて、戸を閉めた時に、あなたがたは外に立って、戸を叩き、『**主**よ、**主**よ、私たちのために開けてください。』と言い出しても、**主**は答えて、あなたがたに言います。『私はお前たちはどこから来たのかを知らない。』

26 その時あなたがたは言い出します。『私たちは**主**の御前で飲食しました。また、**主**は私たちの大通りで教えてくださいました。』

27 すると、**主**は言います。『言っておくが、お前たちが何者か、またどこから来たのか、私は知らない。不正を行なう者どもよ、皆私から立ち去れ。』

28 あなたがたは、**神**の王国にいる、アブラハム、イサク、ヤコブ、それに預言者全員を、目の当りにしているのに、己自身は追い出され、泣き悲しみ歯をかみならします。

29 そして人々は東から、西から、北から、南から来て、**神**の王国で座に着きます。

30 そして，最後の人たちが最初になり、最初の人たちが最後になるのは真のことです。」

31 ちょうどその日、何人かのパリサイ派の人たちが来て、イエスに言った。「ヘロデがあなたを殺そうとしていますので、出発し、ここを離れなさい。」

32 それで、イエスはパリサイ派の人たちに言われた。「行って、あの狐に言いなさい。『見よ、わたしは今日、明日と、悪霊を追い出し、病を治します。そして、三日目に、わたしが完成された者となります。』

33 しかし、預言者はエルサレム以外の地で死ぬことはあり得ないから、今日、明日、あさってと、わたしは旅をしなければなりません。

34 エルサレム、エルサレムよ、預言者たちを殺し、お前に遣わされた人たちを石投げの刑に処す者よ、めん鶏がひなを翼の下に集めるように、幾たびもわたしはお前の子らを集めようとしたが、お前たちは望まなかった。

35 見よ。お前たちの家は、荒廃したままお前たちに残される。そして、わたしは真にお前たちに言う。『**主**の御名によって来る方は祝福される。』とお前たちは言う時が来るまで、お前たちはわたしを見ない。」

14

1 さて、ことの次第はこうであった。安息日にパンを食べるために、パリサイ派の指導者である一人の家に、イエスが入られたので、皆はイエスを注意深く観察した。

2 すると見よ、イエスの御前に、水腫のある一人の男がいた。

3 そこで、イエスは答えて、律法の専門家とパリサイ派の人たちに言われた。「安息日に病気を治すことは合法なのですか。」
4 しかし、全員、無言であった。それで、イエスはその男を手を触れ、治し、去らせられた。
5 そこで、「あなたがたの中で、ロバか牛がいて、それが安息日に穴に落ちたら、すぐ引き上げない人がいますか。」と、イエスは皆に答え、言われた。
6 すると、皆はイエスが言われるこれらのことに答えられなかった。
7 そこで、招かれた人たちが最上席を選んだと分かり、イエスは皆に例え話を話され、そして、皆に言われた。
8 「誰からであれ、結婚式の宴席に招かれた時は、最上席に座ってはいけません。そうしないと、あなたよりもっと偉い人が招かれている可能性があるからです。
9 そして、もっと偉い人と、あなたを招いた人が来て、あなたに言います。『この方に席を空けなさい。』それで、あなたは恥をかきながら末席に着きます。
10 しかし、あなたが招かれた時は、末席に行き座りなさい。そうすれば、あなたを招いた人は来て、あなたに言うでしょう。『友よ、もっと上の席に行ってください。』そこで、あなたと同席する人たちの前で、あなたに栄光があるでしょう。
11 なぜなら、誰であれ自らを偉くする人は低くされ、自分を低くする人は偉くされるからです。」
12 そして、ご自分を招いた人たちにも言われた。「正餐であろうが夕食であろうが、あなたが催す時、友人たち、兄弟たち、親戚たち、金持ちの隣人たちを招いてはいけません。その人たちは返礼として、あなたを招き、お返しします。
13 そうでなく、食事会を催す時、貧しい人たち、体の不自由な人たち、足が悪い人たち、目が見えない人たちを招きなさい。
14 それで、その人たちはお返しができないのだからこそ、あなたは祝福されます。なぜならあなたは義人の復活の時、返礼を受けるからです。」
15 イエスと共に食卓に座っていた一人の男はこれを聞くと、イエスに言った。「**神**の王国でパンを食べる男は祝福されます。」
16 それでイエスはその男に言われた。「ある男が豪華な夕食会を催し、大勢の人たちを招きました。
17 そして、夕食会の時刻に、自分の僕を遣わし、招かれた人たちに言わせました。『すべての準備が整いました。お出でください。』

18 しかし、招かれた人は皆一斉に言い訳を言い始めました。最初の人がその僕に言いました。『私は土地を買ったから、見に行かなければなりません。出席はお断りさせてください。』
19 すると、もう一人が言いました。『私は五対の牛を買いましたから、試すために行きます。出席はお断りさせてください。』
20 また、別の一人が言いました。『私は妻をめとったから、行けません。』
21 そこで、その僕は来て、主人にこのことを報告しました。それで、家の主人は怒り、その僕に言いました。『急いで、町の大通りや小さな通りに出て行き、貧しい人たち、体の不自由な人たち、足が不自由な人たち、目の見えない人たちをここに連れて来い。』
22 すると、僕は言った。『ご主人様、あなたが命じたとおりにしましたが、空席がまだあります。』
23 それで主人は僕に言いました。『私の家が一杯になるよう、街道や垣根の所に出かけて行き、無理にでも人々を来させよ。
24 なぜなら、私はお前たちに言うが、あの招待された者たちは誰一人として私の夕食の味を見ない。』」
25 さて、大群衆がイエスについて来ていた。それで、イエスは向きを変え、群衆に言われた。
26 「わたしの所に来る者は、誰でも自分の父、母、妻、子どもたち、兄弟たち、姉妹たち、また自らの命さえも憎まなければ、わたしの弟子になることはできません。
27 そして、誰であれ、自らの十字架を背負い、わたしに従う者ではなければ、わたしの弟子になることはできません。
28 なぜなら、あなたがたの中で、塔を建てようとするその者は、先ず腰を下ろし、かかる費用を見積もり、完成するのに十分な資金があるかどうかを計算しないでしょうか。
29 そうでなければ、土台を据えた後、完成しなければ、それを目にする人々は、全員、その男をあざけり、
30 言います。『この男は建て始めはしたが、完成できなかった。』
31 また、他の国王と戦争をしに出て行く国王は、先ず腰を下ろし、二万人の兵で挑んで来る王に、一万人の兵で対抗できるかと、よく考えない王がいますか。
32 そうでないなら、一方の兵の王がまだ遥か遠くにいる時、使者を派遣し、和平の条件を願い出ます。
33 従って、あなたがたも同様に、自ら持つすべてのものを捨てなければ、わたしの弟子になることはできません。
34 塩は良い物だが、もしその塩が塩の味をなくしたら、

何によってこの塩の味を取りもどすことができますか。**35** 土地にも、肥やしとしても役立たず、人々は捨てます。聞く耳のある人には聞かせよ。」

15

1 さて、収税人と罪人は皆、話を聞こうとイエスに近づいた。**2** すると、パリサイ派の人たちと律法学者たちは不満を言った。「この人は罪人を受け入れ、罪人たちと食事を共にする。」**3** それで、パリサイ派の人たちと律法学者たちに、イエスはこの例え話を話し、言われた。**4** 「あなたがたの中で、百匹の羊を持っている男が、一匹でも見失えば、他の九十九匹を荒野に残し、その見失った一匹を見つけるまで、捜しに行かない人はいますか。**5** そして見つけると、羊を担ぎながら、喜んで、**6** 家に帰り、友人たち、隣人たちを呼び集め、皆に言います。『一緒に喜んでください。私の行方知れずであった羊を見つけたからです。』**7** わたしはあなたがたに言います。これと同じで、悔い改める必要のない九十九人の義人に関することより、悔い改める一人の罪人に関する方が、天国ではもっと喜びがあります。

8 また、銀貨十枚を持っている女が、一枚を失くせば、それを見つけるまで、灯りをつけ、ほうきで注意深く家を掃かない女はいますか。**9** そして、その銀貨を見つけると、友人、隣人たちを共に呼び、言います。『失くした銀貨を見つけたから、一緒に喜んでください。』**10** それと同じで、わたしはあなたがたに言います。悔い改める一人の罪人のことで、**神**の御使いたちの前に喜びがあるのです。」

11 さらに、イエスは言われた。「ある男に二人の息子がいました。**12** そして、若い方が父親に言いました。『お父さん、私がいただく財産の取り分をください。』それで、父親は自分の財産を二人に分け与えました。**13** それで、幾日もしないうちに、若い方の息子はすべての物をまとめて、遠い国に旅立ち、そこで放蕩し、財産を無意味に使い果たしました。**14** しかし、若い息子がすべて使い切った時、その地方にひどい飢饉が起り、息子は困窮しだしました。**15** そこで息子はその土地のある住民の一人にすがりまし

た。すると、その人は息子を、自分の畑に送り、豚を飼わせました。

16 そこで、豚の餌であるイナゴ豆のさやをいとわず食べて、空腹を満たそうとしたほどでしたが、食べ物をくれる人は誰もいませんでした。

17 しかし、その時、男は我に返り、言いました。『父の雇い人はほとんど有り余るパンがあるのに、私は餓死しようとしている。

18 腰を上げよう。父の元に行って、父に言おう。「お父さん、私は天に背き、また、あなたの眼前でも、罪を犯しました。

19 それで、あなたの息子と呼ばれる価値はもうありません。私をあなたの雇い人の一人のように扱ってください。」』

20 そして、次男は腰を上げ、父の所に行きました。しかし、まだ家から遠く離れていた時、父は次男を見て、哀れに思い、駆け寄り、息子の首に抱きつき、口づけしました。

21 それで、次男は父に言いました。『父上、私は天に背き、あなたの眼前でも、罪を犯しました。それで、あなたの息子と呼ばれる価値はもうありません。』

22 しかし、この父親は僕たちに言いました。『一番良い衣を出して、次男に着せ、そして、手に指輪をはめ、足に履き物をはかせなさい。

23 そして、肥えた子牛をここに連れて来て、ほふりなさい。そして私たちは食べ、楽しもう。

24 なぜなら、私のこの息子は死んでいたが、生き返った。失われていたが、見つかった。』それで、皆はお祝いを始めました。

25 さて、年上の息子は畑にいました。そして、やって来て、家に近づくと、音楽や踊りの音が聞こえました。

26 それで、長男は一人の僕を呼び寄せ、これは一体何事かと尋ねました。

27 すると、僕は長男に言いました。『あなたの弟さんが帰って来ました。そして、弟さんが無事で帰ってきたのだから、父上はあの肥えた子牛を殺したのです。』

28 それで長男は怒り、家に入ろうとしませんでした。そこで、父親は出てきて、長男に懇願しました。

29 すると長男は答えて、父親に言いました。『いいですか、私はこの永年父上に仕えてきました。私は父上の命令に背いたことはありません。にもかかわらず、私が友人たちと楽しもうとしても、一匹の子ヤギもくれませんでした。

30 しかし、売春婦たちと組み、父上の財産を食い尽くした、あなたのこの息子が帰るやいなや、あいつのために太

らせた子牛を父上は屠りました。』

31 それで、父は長男に言った。『息子よ、お前はいつも私と共にいる。そして、私の持ち物すべてはお前の物だ。

32 お前の弟は死んでいたが生き返り、また失われていたが、見つかったのだから、私たちが祝い、また喜ぶことは当然のことである。』」

16

1 イエスはまた弟子たちに言われた。「ある金持ちがいました。この男には一人の執事がいました。この執事が主人の財産を撒き散らしていると、告発が主人にもたらされました。

2 そこで、金持ちは執事を呼び、言いました。『お前の事を聞いた。これは何事か。執事として会計報告をしなさい。お前はもう執事としては失格だ。』

3 しかし、執事は心の中で言いました。『主人は私から執事職を取り上げようとしているのだが、どうしようか。土を掘ることはできないし、物乞いをするのは恥ずかしい。

4 執事職から追放されても、人たちが私を家庭に受け入れてくれる方法を決めた。』

5 それで、執事は自分の主人に負債のある者を一人残らず呼び、そして最初の人に言いました。『私の主人からの負債はいくらありますか。』

6 その男は言いました。『油百バテ①です。』それで執事はその男に言いました。『あなたの証書を手に取り、すぐ座り、五十と書きなさい。』

7 次に、執事は別の一人に言いました。『あなたの債務はいくらありますか。』するとその男は言いました。『百コル①の小麦です。』すると執事は言いました。『あなたの債務証書を取って、八十と書きなさい。』

8 それで、この抜け目のないやり方をした不正な執事を、主人は誉めました。なぜなら、今の世の子たちは、光の子たちの世代より抜け目がないからです。

9 それで、わたしはあなたがたに言います。不正の富によって、自分のために友人を作りなさい。そうすれば、あなたがたが失敗した時、その友人たちはあなたがたを永遠の住まいに受け入れることができます。

---

6 ① 一バテは三七リットルぐらいである。

7 ① 一コルは三七〇リットルぐらいである。

10 最小のことに忠実な人は、何にでも忠実です。そして、最小のことに忠実でない者は、何にでも不正を働きます。**11** 従って、もし不義の富にあなたがたが忠実でなかったら、誰がまことの富を、あなたがたに委ねますか。**12** そして、他人のことに忠実ではなかったなら、誰があなたがたに、あなたがたのものを任せますか。**13** 二人の主人に仕えることのできる僕はいません。なぜなら、一人を憎み、もう一人を愛するからです。または、一人に従い、もう一人を疎んじます。あなたがたは**神**と富に仕えることはできません。」**14** しかし、金銭を愛するパリサイ派の人たちも、これらのことを聞き、イエスをあざ笑っていた。**15** それで、イエスは彼らに言われた。「あなたがたは人々の前で自らを正しいと正当化してるが、**神**はあなたがたの心をご存じです。人間の間で尊ばれるものは、**神**の前では忌み嫌われるものだからです。**16** 律法と預言者たちはヨハネの時まででした。それ以来、**神**の王国は説かれ、一人残らず、そこに殺到しています。**17** そして、律法の一画が消えるよりも、天地が消える方が簡単です。**18** 誰であれ、自分の妻を離婚し、他の女と結婚する者は、姦淫を犯します。そして、誰であれ、夫から離婚された女と結婚する者も、姦淫を犯すのです。**19** 紫色の服と緻密な亜麻布を着て、毎日、ぜいたくに暮らしている一人の金持ちの男がいました。**20** また、ラザロという一人の物乞いがいました。ラザロは全身吹き出物だらけで、その金持ちの門で横になり、**21** 金持ちの食卓から落ちる食べくずで空腹を満たそうと願っていました。しかし、犬どもがやって来て、ラザロの吹き出物をなめていました。**22** 時は過ぎ、物乞いは死に、御使いたちによりアブラハムの懐に運ばれました。金持ちも死に、墓に葬られました。**23** そして、金持ちは地獄で苦しみながら、目を上げて、遠くにいるアブラハムとその懐にいるラザロを見ました。**24** そこで金持ちは叫んで、言いました。『父アブラハムよ、私を哀れみ、ラザロの指先を水に浸し、私の舌を冷やすためラザロを遣わしてください。私はこの炎で苦しんでいるからです。』**25** しかし、アブラハムは言いました。『子よ、あなたは生きている時良いものを受け、そして、ラザロは同じように悪いものを受けた事を思い出しなさい。でも今、ラザロは慰められ、あなたは苦しめられているのです。

26 そしてこれらの事を全部加えても、私たちとあなたの間に、巨大な淵が定められてあり、ここからあなたの所に渡ろうと思う者らがいても渡れず、そしてあなたの所から、誰もここに来られません。』
27 『それでは』と、金持ちは言いました。『父よ、ではお願いします。ラザロを私の父の家に遣ってください。
28 なぜなら、私には兄弟が五人いて、ラザロは兄弟たちに証できるからです。兄弟たちもまた、この苦しみの所に来ないためです。』
29 アブラハムは金持ちに言いました。『兄弟たちにはモーセと預言者たちがいます。モーセと預言者たちに聞けばよいのです。』
30 すると金持ちは言いました。『父アブラハムよ、違います。人が死人の中から兄弟たちの所に行けば、悔い改めます。』
31 しかし、アブラハムは金持ちに言いました。『兄弟たちはモーセや預言者たちの言葉を聞かないのであれば、死人の中から復活した人がいても、兄弟たちは説得されません。』」

17

1 次いで、イエスは弟子たちに言われた。「数々のつまずきが来ることは防ぎようがないが、つまずきを起こす者に災いあれ。
2 この小さき者の一人をつまずかせる者は、首に石臼をぶら下げられて、海に投げられた方がましです。
3 あなたがたは自分自身に気をつけなさい。もしあなたの兄弟があなたに対して罪を犯せば、兄弟を注意しなさい。そして、その兄弟が悔い改めれば、赦しなさい。
4 そして、もしその兄弟が日に七度、あなたに対して罪を犯し、日に七度あなたの所に戻って来て、『私は悔い改める。』と言えば、あなたは兄弟を赦しなさい。」
5 それで使徒たちは**主**に言った。「**主**よ、私たちの信仰を増してください。」
6 すると**主**は言われた。「もしあなたがたに、からし種一粒ほどの信仰があれば、あなたがたはこの桑の木に、『根から引き抜かれて、海に生えよ。』と言えば、木はあなたがたに従います。
7 そして、あなたがたのだれかに、耕しの仕事や、羊飼いの仕事をする僕がいるなら、その僕は野原から帰ってくると、『すぐ来て、食卓につきなさい。』と言いますか。
8 それどころか、主人はその僕にこう言うのではありませんか。『私の夕食に、何か用意せよ。私が飲み食いするまで、帯を締め、給仕せよ。その後でお前は飲み食いするのだ。』
9 僕は命じられた通りのことをしたのだから、主人はそ

の僕に感謝しますか。わたしはそう思いません。

10 そのように、あなたがたも、命じられたことをすべてした時、『私たちは役に立たない僕です。やるべき義務を果たしました。』と言いなさい。」

11 さて、ことの次第はこうであった。エルサレムに行く途中、イエスはサマリヤとガリラヤの中を通られた。

12 そして、イエスがある村に入ると、十人のレプラ病①の男がイエスに出迎えようとしていた。彼らは遠くで立っていた。

13 そして、病人たちは声を上げて言った。「イエス、**師**よ、私たちを哀れんでください。」

14 すると、イエスは彼らを見て、言われた。「行って、あなたがたの体を祭司たちに見せなさい。」すると見よ、行く途中、彼らは清められた。

15 すると、その中の一人は治されたと分かったので、戻って来て大声で**神**に栄光を捧げた。

16 そしてイエスの足もとにひれ伏し、感謝した。ちなみにこの男はサマリヤ人であった。

17 次いでイエスは答えて言われた。「清められたのは十人ではないのですか。九人はどこにいますか。

18 **神**に栄光を捧げるために戻って来た人はこの外国人以外、誰も見いだせなかったのですか。」

19 そして、イエスは言われた。「立ち上がり、あなたの道を行きなさい。あなたの信仰があなたを治しました。」

20 さて、**神**の王国はいつ来るか、とパリサイ派の人たちに尋ねられた時、イエスは彼らに答えて言われた。「**神**の王国はよく観察したからと言って来るものではありません。

21 『ここを見よ！』とか、『あそこを見よ！』と、人々は言いません。なぜなら、真実、**神**の王国はあなたがたの中にあるからです。」

22 それで、イエスは弟子たちに言われた。「人の**子**の日々を、あなたがたは一日でも見たいと望む日々は来ます。だが、あなたがたはその一日も見ることはありません。

23 それで、『ここを見よ！』とか『あそこを見よ！』と、人々はあなたがたに言います。その人々の後を追ってはいけません。また、ついて行ってもいけません。

---

12 ① 現代はハンセン病と言われる。

24 稲妻が天の一方から一方に、光るように、人の**子**もご自分の日に、そのようになるからです。 **25** しかし、人の**子**は先に多くの苦しみを受け、この世代に拒まれなければなりません。」 **26** そして、ちょうどノアの日々と同じように、人の**子**の日々もそうなります。 **27** ノアが箱船に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、娶ったり嫁いだりしていました。そして洪水がすべての人を滅ぼしました。 **28** そして、ロトの日々もそうでした。人々は食べたり飲んだり、買ったり売ったり、植えたり、建てたりしていました。 **29** しかし、ロトがソドムを出た日に、火と硫黄が天から降り、すべてを滅ぼしました。 **30** 人の**子**が現れる日も、これらのことと同様になります。 **31** その日、屋上にいて、財産が家の中にある者は、財産を取りに降りてはいけません。同様に、野原にいる者は、戻ってはいけません。 **32** ロトの妻を忘れてはいけません。 **33** 誰であれ、自らの命を救おうと努力する者は、命を失うが、誰であれ、命を失う者はそれを保持します。 **34** わたしはあなたがたに言います。その夜、一つの床にいる二人は、一人は連れ去られ、一人は残されます。 **35** 二人の女が臼をひいていて、一人は取られ、もう一人は残されます。 **36** 二人が野原にいて、一人は連れ去られ、一人は残されます。」 **37** 弟子たちは答えて、イエスに言った。「**主**よ、どこですか。」それで**主**は弟子たちに言われた。「死体のある所は、どこにでも鷲①は集まります。」

18

1 さて、人は失望せず、常に祈るべきであると、イエスは弟子たちに例え話を話された。 **2** 「ある町に、**神**を恐れず、人を人とも思わない一人の裁判官がいました。」とイエスは言われた。 **3** 「さて、その町に一人の未亡人がいました。そして、裁判官の所に来て、その女は言いました。『私の敵に、私に代わり正義を行なってください。』 **4** それで、しばらくの間、裁判官は女の願いを

37 ① パレスチナの鷲は、死んだものの肉を食べることがある。

聞き入れる気はなかったが、その後、心の中で言いました。『私は**神**を恐れず、人を人とも思わないが、 **5** この未亡人は迷惑だ。だから、仕返しをしてやろう。そうでないと、四六時中来られてうんざりだ。』」 **6** そこで、**主**は言われた。「この不正な裁判官の言ったことを聞きなさい。 **7** **神**ご自身が選ばれた者たちが、夜も昼も助けを求めて叫ぶのを、**神**は長期間耐えるとしても、その者たちに仕返ししない訳はありません。 **8** わたしはあなたがたに言います。**神**はその者たちに速やかに裁きを行ないます。しかし、人の**子**が来る時、地上に信仰をまことに見つけますか。」 **9** そして、自分が義人であると自ら信じて他人を軽蔑しているある人たちに、イエスはこの例え話を話された。 **10** 「二人の男が、祈るために神殿に上って行きました。一人はパリサイ派の男であり、もう一人は収税人でした。 **11** パリサイ派の男は立って、自らの中でこう祈りました。『**神**様、私は他の男たち、つまり強奪する者たち、不正な者たち、姦淫者たち、ましてこの収税人のようではないことをあなたに感謝します。 **12** 私は週二回断食します。私は得る物すべての十分の一を献金しています。』 **13** 一方、収税人は遠く離れて立ち、天に目を向けようとせず、胸を叩いて言いました。『**神**よ、罪人の私を哀れんでください。』 **14** わたしはあなたがたに言います。この男は義と認められ、自分の家に帰りました。パリサイ派の男より。自らを高くする者は誰であれ低くさせられ、自らを低くする人は高くさせられるからです。」 **15** 次いで、イエスに手を触れていただくため、人々は幼児たちをイエスの御元に連れて来たが、弟子たちはこれを見て、その人たちを叱った。 **16** しかし、イエスは弟子たちをご自分の所にお呼びになり、言われた。「小さい子どもたちをわたしの所に来させなさい。止めてはいけません。**神**の王国はこのような者のためだからです。 **17** まことに、わたしはあなたがたに言います。小さな子どものように、**神**の王国を受け入れる者でなければ、誰であれ、決して王国に入ることはできません。」 **18** さて、一人の支配者はイエスに言った。「善なる**師**よ、永遠の命を受け継ぐために、私は何をしたらよいのでしょうか。」

19 それでイエスはその支配者に言われた。「わたしを『善なる師』と、なぜあなたは言うのですか。一人を除いて、つまり**神**以外に、誰も善なる者はいません。」**20**『姦淫をしてはいけない。殺人を犯してはいけない。偽証をしてはいけない。』『あなたの父と母に敬意をはらいなさい。』という命令をあなたは知っています。」**21** そして、その支配者は言った。「私はこれらすべてを青年時代から守ってきています。」**22** それで、イエスはこれらのことを聞き、男に言われた。「一つまだ足りないところがあります。自分の持ち物をすべて売り、貧しい人たちに分け与えなさい。そうすれば、あなたは天国で宝を手にします。そして、わたしに従いなさい。」**23** しかし、その支配者はこれを聞き、とても悲しくなった。彼は大金持ちであったからである。**24** イエスはとても悲しくなるのをご覧になり、言われた。「富がある者は**神**の王国に入るのは本当に難しいことです。**25** 金持ちが**神**の王国に入ることより、らくだが針の穴を通る方が簡単だからです。」**26** これを聞いた人々は言った。「では、誰が救われることができましょうか。」**27** しかし、イエスは言われた。「人間にとって不可能なことでも、**神**にとっては可能です。」**28** それで、ペテロは言った。「ご覧下さい。私たちはすべてをおいて、あなたに従って来ました。」**29** それで、イエスは彼らに言われた。「まことに、わたしはあなたがたに言います。家、両親、兄弟、妻、子どもを**神**の王国のため、捨てて来たその者は、**30** いまこの時代に何倍も受け、来るべき時代には永遠の命を受けない者はいません。」**31** さて、イエスは十二人を呼び寄せて、弟子たちに言われた。「見よ。わたしたちはエルサレムに上って行きます。そして、人の**子**について、預言者を通して書かれたすべてのことは完成されます。**32** なぜなら、人の**子**は異邦人に渡され、あざけられ、侮辱され、つばきをかけられます。**33** 人々は人の**子**をむち打ち、そして殺します。そして、人の**子**は三日目に復活します。」**34** しかし、弟子たちはこれらのことを何一つ理解しなかった。言われたことは弟子たちには隠されていて、言われたことが分からなかった。**35** さて、ことの次第はこうであった。イエスがエリコに近づいて来られると、一人の盲目の男が道端に座り、物乞

いをしていた。
36 そして、群衆が通りかかるのを聞き、何事かとその男は尋ねた。
37 それで、ナザレのイエスが通りかかっていると、人々は物乞いに教えた。
38 物乞いは叫んで言った。「イエスよ、ダビデの**御子息**よ、私を哀れんでください。」
39 すると、先頭を行く人たちが、静かにするよう叱りつけたが、物乞いはますます何度も何度も叫んだ。「ダビデの**御子息**よ、私を哀れんでください。」
40 すると、イエスは立ち止まり、盲目の男を自分の所に連れてくるように命じられた。そして、男が近づくと、イエスは尋ね、
41 言われた。「あなたは、わたしに何をしてほしいのですか。」物乞いは言った。「**主**よ、視力を頂きたいのです。」
42 そこで、イエスは物乞いに言われた。「あなたの視力を受けよ。あなたの信仰があなたを救いました。」
43 そこでその瞬間、男は目が見えるようになり、**神**に栄光を捧げながら、イエスに従った。そして、このことを目撃した人々は皆、**神**を誉めたたえた。

19

1 さて、イエスはエリコに入り、通過された。
2 そして、名前がザアカイという、収税人の長である男がいた。なお、ザアカイは金持ちであった。
3 そこで、イエスがどんな人かと見ようとしたが、ザアカイは背が低く、群衆がじゃまで見えなかった。
4 それで、イエスがその道を通過しようとしていたので、ザアカイは前方に走り、イエスを見るためにイチジク桑の木に登った。
5 そして、イエスがその所に来ると、上を向きザアカイをご覧になり、言われた。「ザアカイよ、急いで降りて来なさい。今日あなたの家にわたしは泊まらなければならないからです。」
6 それでザアカイは急いで降り、イエスを喜んで迎えた。
7 しかし、皆はそれを見て、つぶやいて言った。「イエスは罪深い男の家に客として行った。」
8 それで、ザアカイは立ち上がり、**主**に言った。「申し上げます、**主**よ。私の所有物の半分を、貧しい人に差し出します。そして、もし、私が虚偽の告発で、いかなる人からいかなる物を取ったとしたら、それを四倍にして返します。」
9 イエスはザアカイに言われた。「今日この家に救いが

来ました。ザアカイもアブラハムの息子の一人だからです。**10** 人の**子**は、失われた人を捜し、救うために来たからです。」

11 さて、人々がこれらのことを聞いていると、イエスはもう一つの例え話を話された。イエスはエルサレムに近づいておられたし、また、人々は、**神**の王国はすぐ現れるであろうと、思っていたからである。

12 それで、イエスは言われた。「ある高貴な生まれの男が、遠国に王国を受け取りに自ら行き、帰って来ることになりました。**13** それで、自分の僕、十人を呼び寄せ、十ミナ①を渡し、僕たちに言いました。『私が帰って来るまで、商売をしなさい。』**14** しかし、この男の人民たちは、この男を嫌悪したので、男の後から代表の人たちを派遣し、言いました。『この男が我々を支配することを我々は望みません。』**15** そして、ことの次第はこうでした。男が王国を受け取り、帰って来ると、金を受け取った僕たちが商売をして、どれだけ儲けたかを知るために、僕たちを呼ぶように命じました。**16** それで、一人目が来て言いました。『御主人様、あなたの一ミナで十ミナ儲けました。』**17** 主人は最初の僕に言いました。『よくやった、良き僕よ。お前はわずかな物にも忠実だったから、十の町を支配せよ。』**18** 次いで二人目が来て、言いました。『御主人様、あなたの一ミナで五ミナ儲けました。』**19** そして主人は二人目にも言いました。『お前も、五つの町を支配せよ。』**20** すると、もう一人が来て、言いました。『御主人様、見てください。これはあなたの一ミナです。布に包みしまっておきました。**21** なぜなら、あなたは厳しい方ですから、私はあなたを恐れていました。あなたは預けていない物を徴収し、まいていない物を刈り取ります。』**22** 主人はこの僕に言いました。『悪い僕よ。お前の口から出たことで、お前を裁く。預けていない物を徴収し、まいていない物を刈り取る、私は厳しい者だとお前は知っていた。

---

13 ① 六十日分ぐらいの労賃。

23 そうであれば、私の金をなぜ銀行に貯金しなかったのか。帰ってきた時利息と共に、私は回収できたであろうに。』

24 そして、主人は側に立っている人たちに言いました。『奴からこの一ミナを取り上げ、十ミナある者に与えよ。』

25 しかし、その人たちは主人に言いました。『御主人様、彼はもう十ミナを持っています。』

26 それで、わたしはあなたがたに言います。誰であれ、持っている者は、与えられます。しかし、誰であれ、持っていない者からは、持っている物でさえ、取り上げられます。

27 『しかし、私に支配されることを望まない、私の敵どもをここに連れて来て、私の前で奴らを殺せ。』」

28 そして、このことを言われ、イエスは前進し、エルサレムに上って行かれた。

29 さて、ことの次第はこうであった。オリーブと呼ばれる山の所にあるベテパゲとベタニヤに近づくと、イエスは弟子の二人を送り、

30 言われた。「あなたがたの向こう側の村に行きなさい。そうすると、あなたがたはすぐ、誰も乗ったことのない、繋がれている、ロバの子を見つけます。解いてわたしの所に連れて来なさい。

31 もし誰かがあなたがたに、『なぜ解いていますか。』と尋ねれば、その男に、『**主**がこれを必要としているからです。』と言いなさい。」

32 それで、送り出された二人が行くと、イエスが言われた通りのロバの子を見つけた。

33 しかし、二人がロバの子を解いていると、その持ち主たちは言った。「なぜロバの子を解いているのか。」

34 二人は言った。「**主**はこれが必要としておられます。」

35 それから、二人の弟子はロバの子をイエスの所に連れて来た。そして、自分たちの服をロバの子の上に投げかけ、そしてイエスをその上に乗っていただいた。

36 そして、イエスが進んで行かれると、人たちが自分たちの服を道に敷いた。

37 そこで、イエスがオリーブ山の下り道に近づくと、多くの力ある業を目にした弟子たちの全群集は喜びだし、大声で**神**を誉めたたえ、

38 言った。「**主**の御名により来られる**王**は、祝福されます。天に平安を、そして、最高位の所に栄光がありますように。」

39 すると、パリサイ派のある人たちが、群衆の中からイエスに呼びかけた。「**先生**、あなたの弟子たちを注意してください。」

40 すると、イエスは答えて、パリサイ派の人たちに言わ

れた。「わたしはあなたがたに言います。もしこの人たちが沈黙すれば、石がたちどころに叫び出します。」

41 さて、イエスが近づき、エルサレムの町をご覧になり、その町のためお泣きになり、**42** 言われた。「お前さえ、特にお前の日である今日、お前の平和に至る道を知っていたなら。だが今、それはお前の目には隠されている。**43** なぜなら、敵はお前の回りに砦を作り、お前を包囲し、あらゆる方向からお前を攻め、**44** お前を倒し、そして、お前の子らをお前の中に、共々地に倒す。敵はお前の中に、石の上に石一つ残さない。それは、お前はお前の訪れの時を知らなかったからだ。」

45 そこで、イエスは神殿の敷地に入り、神殿の敷地で売り買いしている者たちを追い出し始められ、**46** 商売人たちに言われた。「『わたしの家は祈りの家である。』と書いてあります。しかし、あなたがたはわたしの家を強盗の巣窟にしてしまいました。」

47 そして、イエスは毎日神殿の敷地で教えておられた。しかし、大祭司たち、律法学者たち、民の指導者たちはイエスを破滅させせようとしたが、**48** しかし、できそうなことは何も見つからなかった。なぜなら、民全員、熱心にイエスの話を聞こうとしていたからである。

20

1 ことの次第はこうであった。イエスが神殿の敷地で人々を教え、福音を説いていたある日、大祭司たちや律法学者たちが、長老たちと共に、**2** イエスに話しかけ、言った。「何の権威によってこれらのことを行なっているのか。そして、その権威を与えたのは誰なのか、我々に言え。」

3 すると、イエスは答えて彼らに言われた。「わたしもあなたがたに一つ尋ねましょう。そして、わたしに答えなさい。**4** ヨハネの浸礼は、天からでしたか、それとも人間からでしたか。」

5 彼らは互いに言い合った。「もし我々が『天から』と言えば、イエスは、『それでは、あなたがたはなぜヨハネを信じなかったのか。』と言います。**6** しかし、もし我々が、『人間から』と言えば、群衆は我々を石投げの刑にします。群衆は皆、ヨハネを預言者と信じているからです。」

7 それで、どこからか知らないと、彼らは答えた。

8 それで、イエスは彼らに言われた。「わたしも、何の権

威によってこれらのことを行なっているかと、言いません。」

9 そして、イエスは人々にこの例え話を始められた。「ある男が、ぶどう園にぶどうを植え、農夫たちに貸し、長期間、遠く旅に出ました。

10 そこで、収穫の時に、ぶどう園の収穫のいくらかを農夫たちから徴収するため、主人は一人の僕を派遣しました。しかし、農夫たちは僕を何度も殴り、手ぶらで帰しました。

11 再度、別の僕を送ったが、農夫たちはその僕も何度も殴り、はずかしめ、手ぶらで帰しました。

12 それで、三人目を送ったが、農夫たちはその僕にけがをさせ、放り出しました。

13 そこで、ぶどう園の主人は言いました。『どうしようか。我が愛する息子を遣わそう。農夫らはきっと息子を見ると、敬意を払ってくれる。』

14 しかし、農夫たちは息子を見た時、互いに言いました。『奴は相続人だ。さあ、来い、相続権は我らのものになるように、奴を殺そう。』

15 そこで、農夫たちはぶどう園から息子を放り出し、そして殺しました。さて、ぶどう園の主人はこの農夫たちをどうしますか。

16 主人は来て、その農夫たちを破滅し、ぶどう園を他の人たちに与えます。」これを聞いて、彼らは言った。「まさか、あり得ません。」

17 イエスは人々を見つめ、言われた。「それでは、こう書いてあるのは何ですか。『建築家たちが拒んだ石こそが、礎になった。』

18 その石の上に落ちる者は誰であれ破滅されるが、この石が上に落ち、下になった者は、石はその者を粉砕してしまいます。」

19 そして、ちょうどその時、大祭司たちと律法学者たちは、イエスに手をかけようとしたが、人々を恐れた。イエスがしたこの例え話は自分たちのことを言っているのだと、分かったからである。

20 それで、彼らはイエスを見張り、イエスの言葉尻を掴み、総督の支配と権威にイエスを引き渡せるよう、義人に偽装したスパイたちを送った。

21 そこで、イエスに尋ねて、言った。「**先生**、あなたは正しく話し、かつ正しく教えていることを、我々は知っています。あなたはえこひいきはせず、真理によって**神**の道を教えています。

22 カイザルに税金を納めることは、律法に叶っているでしょうか、叶っていないでしょうか。

23 しかし、イエスは彼らの企みを知り、言われた。「なぜわたしを試すのですか。
24 デナリ硬貨を一枚わたしに見せなさい。誰の像と銘がありますか。」彼らは答えてイエスに言った。「カイザルのです。」
25 それで、イエスは彼らに言われた。「それでは、カイザルのものはカイザルに返し、**神**のものは**神**に返しなさい。」
26 それで、人々の前で、彼らはイエスの言葉尻を捕らえることができなかった。そして、イエスの答えに驚き、沈黙した。
27 その時、復活を否定するサドカイ派の人たちはイエスの所に来て、尋ね、
28 言った。「**先生**、もし一人の男に妻がいて、子どもがなく死ねば、その男の兄弟はその妻と結婚して、兄弟のために子孫を上げよ、とモーセは私たちに書きました。
29 では、七人兄弟がいました。そして、長男は妻をめとり、子がないまま死にました。
30 そして、次男はその女を妻としてめとり、子どもがないまま死にました。
31 三男もこの女をめとり、このようにして、七人ともそうなりました。兄弟全員子どもを残さずに死にました。
32 最後にその女も死にました。
33 それで、復活の時、この女は誰の妻になるのですか。七人ともこの女をめとったからです。」
34 イエスは答えて、彼らに言われた。「今の時代の子たちはめとったり、嫁がされたりします。
35 しかし、その時代に至るようにふさわしい人たち、また死人の中からの復活にふさわしい人たちは、結婚したり嫁がされたりしません。
36 そして、その人たちは御使いたちと同等であり、もう死ぬことはできません。復活の子であり、**神**の子たちだから。
37 モーセでさえ、燃える柴の節で、**主**を『アブラハムの**神**、イサクの**神**、ヤコブの**神**である。』と呼び、死人たちは復活させられることを示しました。
38 **神**は死人の**神**ではなく、生きている者の**神**です。すべての人は**主**に対して生きるからです。」
39 それで、ある律法学者たちは答えて言った。「**先生**、あなたは正確に言われました。」
40 そして、その後もう、あえてイエスに質問をする律法学者たちはいなかった。
41 それで、イエスは彼らに言われた。「どういう理由で、キリストはダビデの子息だと、人々は言うのですか。

42 ダビデ自らが詩篇の書で言っています。『**主**は私の**主**に言われた。「わたしの右に座りなさい。」**43** わたしがあなたの敵をあなたの足台にするまでである。』**44** ダビデがキリストを『**主**』と呼んでいます。それなら、キリストはどうしてダビデの子息なのでしょうか。」

45 それで、人々は全員、聞いている時、イエスはご自分の弟子たちに言われた。**46**「律法学者たちに気をつけよ。彼らは長い衣を着て歩き回るのを好み、市場での挨拶、シナゴーグの最高の席、宴会の最上の座が大好きです。**47** 律法学者たちは、未亡人の家々をむさぼり、見せるための長い祈りをします。この者たちは大変厳しい裁きを受けます。」

21

1 さて、イエスは目を上げ、献金箱に捧げ物を入れる金持ちたちをご覧になり、**2** またレプタ①二枚入れる一人の貧しい未亡人もご覧になった。**3** そして、言われた。「まことに、あなたがたに言っておきます。この貧しい未亡人は誰よりも多く入れました。**4** 他の人たちは皆、自らの豊かさの中から**神**へ捧げ物を入れたが、この未亡人は貧しさの中から、生活費をすべて入れたからです。」

5 さて、ある人たちが神殿の全体、つまり美しい石や捧げ物で飾られていることを話すと、イエスは言われた。**6**「あなたがたが目にしているこれらの物は、石の上に石一つとして残されず、引き倒される時期が来ます。」**7** それで、彼らはイエスに尋ねて、言った。「**先生**、それらはいつのことですか。そして、これらのことは起ころうとする時、どんなしるしがあるでしょうか。」

8 イエスは言われた。「騙されないように気をつけなさい。多くの者がわたしの名で、『私がキリストです。』とか、『時は近づいてきました。』と言って、やって来るからです。ですから、そういう者たちについて行ってはいけません。**9** しかし、戦争や動乱の話を耳にして、恐怖心

---

2 ① 小さくて少額の銅貨。

を起こしてはいけません。まずこれらのことはすべて起こらざるを得ないのですが、終焉はすぐ来ません。」

10 その時、イエスは弟子たちに言われた。「国家は国家に敵対して、王国は王国に敵対して立ち上がります。

11 そして、巨大地震が各地で起こり、また飢饉や疫病が発生します。そして、天から恐ろしい光景、そして偉大なしるしがあります。

12 しかし、これら全てが起こる前に、人々はあなたがたに手をかけ、あなたがたを迫害し、シナゴーグや牢獄にあなたがたを引き渡します。そして、わたしの名のために、あなたがたは王たちと支配者たちの前に、連行されます。

13 しかし、それはあなたがたにとって証の機会になります。

14 したがって、何を答えるかと、前もって考えないように、心に決めなさい。

15 なぜなら、あなたがたに敵対する全員が、攻撃も反論もできない口と知恵を、わたしが与えるからです。

16 しかし、あなたがたは両親と兄弟たちからさえ裏切られ、また、親戚と友人たちからさえも、裏切られます。そして、あなたがたの中のある者たちを、人々は死に追いやります。

17 そして、わたしの名のために、あなたがたは皆に憎悪されます。

18 しかし、あなたがたの頭髪の一本も失われることはありません。

19 あなたがたは自ら忍耐して、自らの魂を得よ。

20 そして、数々の軍隊に包囲されたエルサレムをあなたがたは見ます。その時、エルサレムの滅亡は近いと知りなさい。

21 その時、ユダヤにいる人たちは、山地①に逃げなさい。そして、エルサレムの中にいる人たちは、立ち去りなさい。また、田舎の人々を、エルサレムの中に入れてはいけません。

22 書かれてあることのすべてが成就されるための、これらの日々は復讐のためだからです。

23 しかし、その日々の間は、身ごもっている者たち、乳を飲ませている者たちは、悲惨です。この地方は大いに窮乏し、またこの民に怒りが下

---

21 ① 原語では、山は冠詞付きの複数形である。

るからです。

24 そして、人々は剣の刃に倒れ、すべての国々に捕虜として連行されます。そして、異邦人の時が満たされるまで、エルサレムは異邦人に踏みつぶされます。

25 そこで、太陽、月、星々にしるしがあり、地球には混乱に伴う国々の苦難があり、また海と波は大音響を発します。

26 恐怖と地上に起こるべきことを予想し、人々は動けなくなります。天の力が揺れ動かされるからです。

27 そしてその時、力と偉大な栄光を帯びて、雲に乗って来られる、人の**子**を人々は見ます。

28 これらのことが起こり始めると、あなたがたの贖罪は近づいているから、上を見て、頭を上げなさい。」

29 それで、イエスは弟子たちに例え話を話された。「イチジクの木や、他のすべての木を見なさい。

30 すでに芽を出している時、夏が近いと、あなたがたはおのずと分かります。

31 それと同じように、あなたがたも、これらのことが起こっていることを見ると、**神**の王国は近いと理解します。

32 まことにわたしはあなたがたに言います。すべてのことが起こるまで、この時代は決して過ぎ去りません。

33 天も地も消滅します。しかしわたしの言葉、一つ一つは決して消滅しません。

34 しかし、羽目を外して騒いだり、泥酔したりして、この世の心配事で、心が押しつぶされている所へ、その日が突然あなたがたを襲わぬよう、自分自身に気をつけなさい。

35 なぜなら、全地表に住むすべての者たちにとって、その日は罠としてやって来ます。

36 だから、これら起ころうとするすべてのことを逃れるのに、また人の**子**の前に立てるのに、自分はふさわしい者だと認めてもらえるように、警戒し、そして常に祈っていなさい。」

37 さて、昼間は、イエスは神殿の敷地で教えていたが、夜は神殿を出て、オリーブと呼ばれる山にお泊まりになっていた。

38 それから、早朝、民衆は皆、イエスの話を聞きに神殿の敷地に来た。

22

1 さて、過越祭と呼ばれる種なしパンの祭りが近づいた。

2 それで、民を恐れていたので、大祭司たち、律法学者たちは、イエスを殺す方法を探していた。

3 さて、十二人の一人として数えられていた、イスカリ

オテという名字のユダの中に、サタンが入った。
4 そこで、ユダは大祭司たちと守衛長たちの所に行き、どうすればイエスを裏切ることができるかと、彼らと相談した。
5 すると、大祭司たちと守衛長たちは喜び、金をユダに与えると合意に達した。
6 それで、ユダは同意し、群衆がいない時、大祭司たちと守衛長たちのため、イエスを裏切る機会を探した。
7 さて、過越のいけにえをほふるべき、種なしパンの日が来た。
8 それで、イエスはペテロとヨハネを遣わし、言われた。「わたしたちが食事をできるよう、行って、わたしたちのため、過越の準備をしなさい。」
9 それでペテロとヨハネはイエスに言った。「どこに準備するか、ご希望の場所はありますか。」
10 すると、イエスは弟子たちに言われた。「見よ。町に入ると、水がめを運んでいる男にあなたがたは出会います。その男について行き、男が入る家へ入りなさい。
11 そこで、その家の主人に言いなさい。『わたしの弟子たちと共に、過越祭の食事をする客間はどこですか、と**先生**はあなたに言っています。』
12 そこでその家の主人はあなたがたに広い、調度の整った、二階の部屋を見せてくれます。そこで準備しなさい。」
13 そして、ペテロとヨハネは出かけ、イエスが言われた通りの部屋を見つけ、過越祭の準備をした。
14 時刻になり、イエスは食卓にお着きになった。そして十二人の使徒たちもイエスと共に座った。
15 そして、イエスは弟子たちに言われた。「わたしは苦しみの前に、あなたがたと共に、この過越の食事をすることを、切に望んでいました。
16 あなたがたに言います。**神**の王国でそれが成就される時まで、わたしは二度と過越の食事をしないからです。」
17 そして、イエスはカップを取り、感謝し、言われた。「これを取り、あなたがたの間で分けなさい。
18 なぜなら、あなたがたに言います。**神**の王国が来るまで、わたしはこの蔓の実からできたものを決して飲むことがないからです。」
19 イエスはパンを取り、それを祝福し、裂き、弟子たちに与え、言われた。「これはあなたがたのために捧げられるわたしの体です。わたしを忘れないため、このことを行いなさい。」
20 同様に、食事が終わった後、イエスはカップも取り、言われた。「このカップは、あなたがたのために流される

わたしの血による、新しい契約です。

21 しかし、見よ、わたしを裏切る者は、わたしと共にこの食卓に片手を置いています。

22 それで、人の**子**は、定められた通りにここを去ります。しかし、人の**子**を裏切るその者に、災いあれ。」

23 それで、仲間内で、こんなことをする者は誰かと、弟子たちは互いに詮索し始めた。

24 さて、弟子たちの中で、誰が一番偉い者と思われるかと、議論が起こった。

25 それで、イエスは弟子たちに言われた。「異邦人の王たちは異邦人たちの上に権力を行使します。そして、異邦人の上に権威を行使する人たちは『援助者たち』と呼ばれています。

26 しかし、あなたがたの間では、全く違います。むしろ、あなたがたの間で一番偉い人は、一番若い人のようになり、支配する人は仕える人のようになりなさい。

27 なぜなら、食卓に着く人と、給仕する人では、どちらが偉いのですか。食卓に着く人ではないのですか。しかし、わたしはあなたがたの間で、給仕をする者のようです。

28 しかし、あなたがたはわたしの試練の間、わたしと共に堪え忍んできた人たちです。

29 そして、わたしの**父**がわたしに与えてくださったように、わたしもあなたがたに王国を授けます。

30 それは、あなたがたがわたしの王国でわたしの食卓で飲食し、そして王座に着き、イスラエルの十二部族を裁くためです。」

31 さらに、**主**は言われた。「シモンよ、シモンよ。見よ。サタンはあなたがたを麦のように、ふるいにかけるため、あなたがたを要求してきました。

32 しかし、あなたの信仰が無にならぬよう、わたしはあなたのために祈りました。ですから、向きを変えたら、あなたの兄弟たちを強固な者にしなさい。」

33 それで、ペテロはイエスに言った。「**主**よ、牢獄でも、死でも、あなたと共に行く覚悟はできています。」

34 すると、イエスはペテロに言われた。「ペテロよ、わたしはあなたに言います。今日、雄鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと、わたしを否定します。」

35 そして、イエスは弟子たちに言われた。「わたしはあなたがたを財布、皮袋、サンダルを持たさず遣わした時、何か不足の物がありましたか。」弟子たちは、「何もありませんでした。」と言った。

36 すると、イエスは弟子たちに言われた。「しかし今、

財布を持っている人はそれを手にし、また皮袋を持っている人もそうしなさい。そして、剣を持っていない人は、服を売り、剣を買いなさい。

37 なぜなら、わたしはあなたがたに言います。わたしに関しての、この書きしるされたことは、まだ成就せねばなりません。つまり、『この男は犯罪人と共に数えられた。』そして、『わたしに関することは、終局がある。』と。」

38 それで弟子たちは言った。「**主**よ、ご覧ください。ここに剣が二振りあります。」すると「十分です。」とイエスは弟子たちに言われた。

39 イエスは出かけ、自らの習慣に従い、オリーブ山に行かれた。そして、弟子たちもイエスに従った。

40 そして、その場所に来ると、イエスは弟子たちに言われた。「誘惑に陥らぬように祈りなさい。」

41 それで、石を投げれば、届くほどの距離を離れ、ひざまずき、祈り、

42 言われた。「**父**よ、あなたのご意志ならば、このカップをわたしから取り去ってください。しかし、わたしの意志ではなく、あなたのご意志が行なわれますように。」

43 すると、天から一人の御使いがイエスに現れ、イエスに力を注入した。

44 そして、イエスは苦しみ悶えられ、さらに熱心に祈られた。すると、イエスの汗は、血の大きな雫になり、地面に落ち続けた。

45 そして、イエスは祈りから立ち上がり、ご自分の弟子たちの所に来られると、弟子たちは悲しみの果て、眠っているのをご覧になった。

46 それで、イエスは弟子たちに言われた。「なぜ眠っているのですか。立ち上がり、誘惑に陥らぬよう、祈りなさい。」

47 すると、イエスがまだ話しておられる間に、見よ、群衆と十二人の一人であるユダと呼ばれる者が、イエスたちの前に行き、口づけするためイエスに近づいた。①

48 すると、イエスはユダに言われた。「ユダよ。口づけで人の**子**を裏切るのですか。」

49 イエスの回りにいる人たちは、事件の成り行きを見て、イエスに言った。「**主**よ、剣で打ちすえましょうか。」

47
① この口づけは、頬に軽く唇を触れる挨拶であった。

50 そして、弟子の一人が、大祭司の僕を打ちすえ、その男の右の耳を切り落とした。 **51** しかし、イエスは答えて、言われた。「このことまでは許しなさい。」そしてイエスはその男の耳に触れ、その男を治された。 **52** それで、イエスは大祭司たち、神殿の守衛長たち、そして、ご自分の所に来ていた長老たちに言われた。「あなたがたは、強盗に敵対するように、剣や棍棒を持って出かけて来たのですか。 **53** わたしが毎日あなたがたと共に、神殿の敷地にいた間は、あなたがたはわたしに手をかけようとしませんでした。だが、今はあなたがたの時であり、そして闇の力の時です。」 **54** そこで、イエスを捕まえ、大祭司の家の中へ連れて行った。しかしペテロは遠く離れて、ついて行った。 **55** さて、人々は屋敷の前庭の中央に火をたき、共に座ると、ペテロも皆と共に腰をかけた。 **56** すると、一人の女奴隷が、火のそばに座っているペテロを見かけ、じっと見て言った。「この男もイエスといっしょにいました。」 **57** しかし、ペテロはイエスを否定して、言った。「女よ、私はあの男を知らない。」 **58** そしてしばらく経つと、別の一人がペテロを見て、言った。「あなたも、仲間の一人だ。」しかし、ペテロは言った。「男よ、私は違う。」 **59** それから、一時間ほど経つと、また別の一人が自信満々に断言した。「確かにこの者は、あの男といっしょだった。なぜなら、この男もガリラヤ人だからだ。」 **60** しかし、ペテロは言った。「旦那、あなたの言っていることが私は分かりません!」すると、ペテロが言い終わらぬうちに、雄鶏が鳴いた。 **61** そこで、**主**は振り向き、ペテロをご覧になった。すると、ペテロは、「雄鶏が鳴く前に、あなたは三回わたしを否定します。」と**主**が言われた言葉を思い出した。 **62** それで、ペテロはその場を離れ、号泣した。 **63** さて、イエスを拘留していた男たちは、イエスを侮辱し、何度も殴った。 **64** そして、イエスを目隠しして、顔を殴り、尋

ねて言った。「お前の預言はどうなっている。①お前を殴ったのは、誰だ。」

65 そして、その他にも、イエスに対して数々の冒涜的な言葉を言った。

66 さて、夜が明けるやいなや、民の長老たち、つまり大祭司たちと律法学者たちは共に集まり、イエスを自分たちの議会①に連れ出して、言った。

67「お前がキリストなら、我々に言いなさい。」しかし、イエスは彼らに言われた。「もしあなたがたに言っても、あなたがたは決して信じません。

68 そして、もしわたしがあなたがたに聞いても、あなたがたは決して答えず、わたしを解放することもしないのです。

69 この後、人の**子**が**神**の力の右の座に座ります。」

70 すると、全員が言った。「では、お前は**神**の**御子息**か。」イエスは彼らに言われた。「あなたがたが言ったとおりです。」

71 それで、民の長老たちは言った。「我々はもうこれ以上、証人の必要があろうか。我々は、この男自身の口から聞いたのだから。」

23

1 そこで、全群衆は立ち上がり、イエスをピラトの所へ連れて行った。

2 そして、イエスを訴え始め、言った。「この者は国をあらぬ方向に誘導し、カイザルに税を払うことを禁じ、自分自身は**王**であるキリストだと言っていることが明らかにしました。」

3 そこでピラトはイエスに尋ねて言った。「お前はユダヤ人の**王**か。」それでイエスはピラトに答えて言われた。「それはあなたの言うことです。」

4 それでピラトは大祭司たちと群衆に言った。「私はこの男に、何の罪科も認めない。」

5 しかし、皆はさらに激しく言った。「この者はガリラヤから始め、この地まで、ユダヤ全土で教え、民を扇動しています。」

6 ガリラヤのことを耳にし、この男はガリラヤ人かとピラトは尋ねた。

7 そして、イエスはヘロデの管轄であると分かり，ヘロデも当時エルサレムにいたから、直ちに、ヘロデの所に送った。

8 そこで、ヘロデはイエスを見ると、非常に

---

64 ① 預言は**神**から預かった言葉である。ゆえに、イエスは過去、未来、全ての出来事は、イエスは**父**なる**神**から預かっている預言者である。

66 ① 当時のイスラエルの最高裁判所。

喜んだ。イエスについて多くのことをヘロデは聞いており、長い間イエスに会いたいと思っていたからである。またイエスが何か奇蹟を行なうのを見たいと望んでいた。

9 それで、ヘロデは多くの言葉でイエスを問いただしたが、イエスはヘロデに何もお答えにならなかった。

10 それで、大祭司たちと律法学者たちは立ち上がり、イエスを激しく糾弾した。

11 それでヘロデは、自分の兵士たちと共に、イエスを軽蔑で処遇し、嘲笑した。そして、イエスに派手な衣を着せ、ピラトの所に送り返した。

12 その日から、ピラトとヘロデは友人になった。それ以前、二人は互いに敵対していたのである。

13 それでピラトは大祭司たち、支配者たち、そして民を呼び寄せ、

14 彼らに言った。「お前たちは民を惑わす者として、この男を私の所に連れて来た。しかし、見よ。お前たちの前で私はこの男を問いただしたが、お前たちが訴えていることに関して、この男に何の罪科も見あたらない。

15 そして、ヘロデも咎を見いだせなかった。お前たちはヘロデの所にこの男を送り返したが、見よ、死に相当することは、何もイエスによって行なわれていない。

16 よって、余は、イエスをムチ打ち、釈放する。」

17 (なぜなら、その祭りに囚人一人を、釈放する必要がピラトにあったからである。)

18 それで、皆は一斉に叫んで、言った。「この男を連れて行き、バラバを私たちに釈放せよ。」

19 バラバは、町で起こったある反乱事件で、殺人のため投獄されていた。

20 したがって、イエスを釈放しようとするピラトは、再度群衆に呼びかけた。

21 しかし、群衆は叫んで言った。「イエスを十字架につけろ。イエスを十字架につけろ。」

22 すると三度目にピラトは言った。「なぜだ。この男はどんな悪を行なったのか。私はイエスに、死に当たる理由は見つけられなかった。だから、イエスをむち打ち刑にし、釈放する。」

23 しかし、群衆は執拗に、イエスを十字架につけよと、大声で要求した。そして、群衆と大祭司たちの声が勝った。

24 それで、群衆の願い通り、ピラトは判決を下した。

25 そして、ピラトは、群衆が願った者、つまり反乱と殺人のため、牢獄に投げ込まれていた者を釈放したが、群衆の意に沿いイエスを引き渡した。

26 そして、群衆がイエスを連れて行く途中、田舎から来たクレネ人のシモンを拘束し、十字架を背負わせ、イエスの後から運ばせた。**27** さらに、大勢の民と、イエスを悲しみ、そして嘆く女たちがその後に従った。**28** しかし、イエスは女たちの方に向きを変え、言われた。「エルサレムの娘たちよ。わたしのために泣いてはいけません。むしろ、自分自身と自分の子どもたちのために泣きなさい。**29** なぜなら、『不妊の女、子を産んだことのない子宮、授乳したことのない乳房は祝福されている。』と人々が言う日々がまことに来るからです。**30** その時、人々は山に向かい、『私たちの上に倒れてくれ。』そして丘に向かい、『私たちを埋めてくれ。』と言い始めます。**31** というのは、こんなことを生木にするのなら、一体、枯れ木には何をするのですか。」**32** それで、犯罪人である別の二人も、イエスと共に処刑のため連れて行かれた。**33** そして、「カルバリ」①と呼ばれる所に来た時、兵隊たちはイエスを十字架につけ、そして犯罪人の一人をイエスの右側、もう一人を左側の十字架につけた。**34** すると、イエスは言われた。「**父**よ、この者たちを赦してください。彼らは何をしているのか分からないのですから。」そして、兵隊たちはくじを引き、イエスの服を分配した。**35** そして、群衆は立って成行きを見ていた。さらに、群衆と共にいた支配者たちもあざ笑い、言った。「あの男は他人を救ったのだ。もし**神**が選ばれたキリストならば、自らを救わせろ。」**36** 兵隊たちもイエスの所に行き、イエスを馬鹿にしながら、酸い葡萄酒を差し出した。**37** そして、言った。「お前はユダヤ人たちの王なら、自分を救え。」**38** そして、イエスの頭上に、ギリシャ文字、ラテン文字、ヘブライ文字で、「これがユダヤ人の**王**である。」という罪状も書かれていた。**39** そして、十字架上の犯罪人の一人はイエスを冒涜し、言った。「お前がキリストなら、己と俺たちを救え。」**40** しかし、別の犯罪人は答え、その男を非難し、

---

33 ① ラテン語で、「どくろ」という意味である。

言った。「お前も同じ刑なのに、**神**さえも恐れていないのか。
41 それに、自らの行為の当然の報いを受けているのだから、俺たちは完全に正しく裁かれた。しかし、この方は不法なことは何もしたことはない。」
42 それでその男はイエスに言った。「**主**よ、あなたがあなたの王国に入る時、私を忘れないでください。」
43 それで、イエスはその男に言われた。「まことに、わたしはあなたに言います。あなたはわたしと共に今日、パラダイスにいます。」
44 さて、第六時間目ころから、全地上が第九時間目①まで暗くなった。
45 その時、太陽は暗くされ、神殿の幕は二つに裂かれた。
46 それで、イエスは大声で叫び、そして言われた。「**父**よ、あなたの御手にわたしの霊を委ねます。」こう言って、イエスは息を引き取られた。
47 そこで、この出来事を見た百人隊長は、**神**に栄光を捧げ、言った。「本当にこの方は正しい人だった。」
48 そして、その光景を見に集まった群衆全員は、数々の実行されたこれらのことを目撃し、胸を叩きながら帰って行った。
49 しかし、イエスの知人たち、またガリラヤからイエスに従って来た女たちは、遠くに立って、これらのことを見つめていた。
50 さて、見よ、議会員で、ヨセフと言う名の男がいた。善人で、正しい男であった。
51 この男は議会が決議し、実行したことに賛成していなかった。ヨセフはユダヤ人のある町のアリマタヤの出身で、ヨセフ自身も**神**の王国を待ち望んでいた。
52 この男はピラトのもとに行き、イエスの遺体を願った。
53 そして、ヨセフはイエスの遺体を取り降ろし、亜麻布で包み、誰も葬られたことのない、岩を削って作った墓にイエスを納めた。
54 その日は「準備の日」であり、安息日は近づいていた。
55 そして、ガリラヤからイエスの供をして来た

44
① 午後三時ごろ。

女たちが後に従い、墓とイエスの遺体はどう納められたかを見届けた。

56 そしてその女たちは帰って、香料と香油を準備した。そして、掟通り、安息日に休んだ。

24

1 さて、その週の最初の日に、夜明けごく早く、女たちは他の女たち数人と、用意した香料を持って墓に行った。

2 すると、例の石が墓から転がされているのが分かった。

3 それで女たちは中に入ったが、**主**イエスの遺体は見つからなかった。

4 ことの次第はこうであった。女たちはこのことにすっかり動転していると、見よ、光り輝く服を着ている二人の男が、女たちの側に立っていた。

5 それで、女たちは恐れおののき、頭を垂れると、二人は女たちに言った。「なぜ生きている方を、死人たちの中に捜しているのですか。

6 復活されたので、イエスはここにはいらっしゃいません。まだガリラヤにおられた時、その方があなたがたにどう話されたかを思い出しなさい。

7 イエスは言われた。『人の**子**は罪深い男たちの手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活しなければなりません。』」

8 すると、女たちはイエスの言葉を思い出した。

9 それで、女たちは墓から戻り、十一人と他の全員にこれらのことを伝えた。

10 使徒たちにこれらのことを伝えたのは、マグダラのマリヤ、ヨハンナ、ヤコブの母であるマリヤ、その他共にいた女たちであった。

11 それで、女たちの言葉は、荒唐無稽な話に聞こえ、使徒たちは女たちの言葉を信じなかった。

12 しかし、ペテロは立ち上がり、走って墓に行き、身を屈め見ると、亜麻布だけが置かれていた。起こったことに驚き、ペテロは、自らも不思議に思いながら帰った。

13 さて、見よ、弟子の二人はその同じ日に、エルサレムから七スタディオン①離れている、エマオという村へ向け旅をしていた。

14 そして、起こったすべてのことを語り合った。

---

13 ① 一スタディオンは約一・六キロメートル。

15 ことの次第はこうであった。二人が語り合い、論じ合っていると、イエスご自身が近づき、共に歩かれた。**16** しかしイエスであると分からないよう、二人の目は制限を受けていた。**17** そして、イエスは二人に言われた。「悲嘆にくれ歩きながら、二人で何の話をしているのですか。」**18** それで、クレオパという名前の一人が答えて、イエスに言った。「あなたはこの数日、エルサレムで起こったことを知らない、ただ一人のよそ者とでも言うのですか。」**19** それでイエスは二人に言われた。「何事ですか。」それで、二人はイエスに言った。「ナザレのイエスに関することです。この男の方は**神**と民全員の前で、行ないも言葉も力ある預言者でした。**20** そして、大祭司たちと私たちの支配者たちが、イエスを、死刑の判決を受けさせるため引き渡し、十字架につけた計略のことです。**21** しかし、イスラエルを贖ってくださる方だと私たちは望みをかけていました。それればかりでなく、これら一連のことが起こってから今日で三日目なのです。**22** おまけに、朝早く墓に行った私たちの仲間のとある女たちは、私たちを驚かしました。**23** イエスの遺体は探したが、見あたらず女たちは帰って来ました。そして、イエスは生きておられると告げた御使いたちの幻を見たと言うのです。**24** そして、私たちの仲間のある人たちが墓に行きますと、女たちが言った通りだと分かりました。やはり、イエスの姿は見あたりませんでした。」**25** それで、イエスは二人の弟子に言われた。「おお、愚か者たち、預言者たちが言ったすべてのことを、信じることを学ぶのに、心の働きの遅い者たちよ。**26** キリストはこれら一連のことを苦しみ、それから自らの栄光に入るはずではなかったのですか。」**27** そして、モーセ①および全預言者を始めとする、すべての御言葉の中のイエスご自身に関することをお示しになった。**28** そして、二人が目的の村に近づいても、イエスはまだ歩み進めるご様子を示された。

---

27 ① モーセ五書を指す。

29 しかし、二人はイエスに強く勧めて言った。「もう夕刻で、日は傾いています。私たちといっしょにご滞在ください。」それで、イエスは彼らと滞在するため、中に入られた。**30** ことの次第はこうであった。イエスはその二人と共に食卓につき、パンを取り、祝福し、裂き、二人に与えられた。**31** そこで、二人の目は開かれ、イエスであると分かった。そして、イエスは二人の視界から姿を消された。**32** そこで、二人は互いに言った。「道の途中、あの方が私たちと話した時、また私たちに御言葉をお示しになってくださった時、私たちの心は燃えていたではありませんか。」**33** そして、その時すぐ、二人は立ち上がり、エルサレムに戻ると、十一人と、その仲間たちが共に集まっているのが分かり、**34** 言った。「主はまことに復活し、シモンに現れました。」**35** それから、道の途中で起こった様々なこと、そして、あの方がパンを裂く時、イエスであると分かったことを、二人は伝えた。**36** それで、二人はこれらのことを話していると、イエスご自身が皆の中央に立ち、言われた。「あなたがたに平安あれ。」**37** しかし、全員恐怖におちいり、恐れおののき、幽霊を見ているのだと思った。

38 すると、イエスは皆に言われた。「あなたがたはなぜ動転しているのですか。そして、あなたがたの心に、なぜ疑いが起こるのですか。**39** わたしの手と足を見なさい。わたしそのものです。手で触れ確認しなさい。あなたがたが目にしている通り、わたしには肉も骨もあります。幽霊にはないのです。」**40** そして、イエスはこう言われると、弟子たちにご自分の手と足をお示しになった。**41** しかし、喜びのあまり、弟子たちはまだ信じず、驚いていると、イエスは言われた。「あなたがたはここに、何か食べ物を持っていますか。」**42** それで弟子たちはイエスに焼いた魚一切れと蜜蜂の巣の一部を差し上げた。**43** イエスはそれらを手に取り、皆の前で召し上がった。**44** それでイエスは弟子たちに言われた。「わたしについて、モーセの律法、預言者たち、そして詩篇に書いてあることはすべて成就される必要があるとわたしがまだあなたがたと共にいた時、あなたがたに話した言葉はこれです。」**45** それから、弟子たちが聖書を理解できるように、彼らの理解力の制限を解放された。**46** そして、イエスは弟子たちに言われた。「こう言う訳

で書かれ、そしてこう言う訳で、キリストには苦しみ、また、三日目に死人たちの中から復活する必要があったのです。
47 また、キリストの名によって、悔い改めと罪の赦しはエルサレムから始まり、すべての国々に説かれます。
48 そして、あなたがたはこれらのことの証人です。
49 そして、見よ。わたしは我が**父**の約束をあなたがたの上に送ります。あなたがたが、高き所より力を身に付けて頂くまで、エルサレムにとどまりなさい。」
50 それから、イエスは弟子たちをベタニヤまで連れて行き、両手を上げ、彼らを祝福された。
51 さて、ことの次第はこうであった。弟子たちを祝福している間に、イエスは弟子たちから離れ、天に引き上げられた。
52 そして、弟子たちはイエスを礼拝し、驚喜してエルサレムに戻った。
53 そして、絶えず神殿の敷地にいて**神**を賛美しつつ、祝福していた。アーメン。

ヨハネの福音書

1

1 初めに**言葉**①あり、**言葉**は**神**と共にあり、**言葉**は**神**であった。
2 この方は、初めに**神**と共におられた。
3 すべての物は、この方によって造られた。そして、この方によらずに造られた物は、何一つなかった。
4 この方に命があり、その命は人間の光であった。
5 また、その光は暗やみの中に輝いておられる。そして、暗やみは光を理解しなかった。
6 **神**から派遣された人がいた。彼の名前はヨハネであった。
7 この人は、**光**について証をするための証人として来た。それは、すべての人がこの**光**を通して、信じるようになるためである。
8 彼はその**光**ではなかったが、その**光**について証するために派遣されたのである。
9 それは、この世に来るすべての人を照らす真の**光**である。
10 **光**はこの世におられ、世はこの方によって造られたのに、世は彼を知らなかった。
11 この方はご自分の民の中へ入って来られたのに、ご自分の民は彼を受け入れなかった。
12 しかし、この方を受け入れた一人一人、すなわち、彼の御名を信じた人々には、**神**の子どもとなる権利を、この方は与えられた。
13 その人々は、血から生まれたのではなく、肉の意志や、人の意志からでもなく、**神**によって生まれたのである。
14 そして、**言葉**は肉体となり、私たちの中に宿られた。私たちは、その方の栄光を見た。それは、**父**の唯一の生まれた**御子息**としての栄光であり、恵みと真理に満ちておられた。
15 ヨハネはこの方について証をし、大声で言った。「『私の後においでになる方は、私に勝る方である。私より先におられたからである。』と、私が言ったのは、この方のことです。」

1
① 原語「ロゴス」というギリシャ語は、意味が広い。言葉、説明、理性、話題、メッセージ、考えなどの意味がある。

16 そして、私たちは皆、この方の満ちあふれている中から、恵みの上に恵みを受けた。

17 というのは、律法はモーセを通して与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストを通して生まれたのである。

18 人は、未だかつて**神**を見た者は一人もいない。**父**のふところにおられる唯一の生まれた**御子息**が、**父**のことを明らかに話されたのである。

19 さて、ユダヤ人たちがエルサレム①から、「あなたは誰ですか。」と問うため、祭司たちとレビ人たちとをヨハネの所に、派遣した時であった。次のことは、その時のヨハネの証である。

20 そして、彼は否定せずに、「私自身は、キリストではありません。」と言い表した。

21 そこで、彼らはヨハネに尋ねた。「では、何ですか。あなたはエリヤですか。」しかし、彼は言った。「そうではありません。」「あの預言者ですか。」しかし、彼は答えた。「違います。」

22 そこで、彼らはヨハネに言った。「あなたは誰ですか。私たちを遣わした人たちに答えを持ち帰らなければなりません。あなたは自分を何だと言っているのですか。」

23 彼は続けて言った。「私は預言者イザヤが言ったように、『**主**の道をまっすぐにしなさい。』と、荒野で叫び続けている者の声です。」

24 派遣された者たちは、パリサイ派に属している者たちであった。

25 彼らはまたヨハネに尋ねて言った。「では、もしあなたがキリストでも、エリヤでも、あの預言者でもないのなら、なぜ浸礼を授けているのですか。」

26 ヨハネは彼らに答えて言った。「私は、水の中で浸礼①を授けているが、あなたがたの中に、あなたがたの知らない方が立っておられます。

27 その方こそ、私の後においでになっているのに、私より前に存在しておられた方です。私自身は、この方の履き物のひもを解く価値もありません。」

28 これらのことは、ヨハネが浸礼を授けていた

---

19 ①イスラエルの首都。

26 ①ギリシャ語のバプティゾの根本的な意味は、「浸す、漬ける、沈める」である。（「新約聖書ギリシャ語小辞典」、織田昭編、58ページ）。

ヨルダン川の対岸のベタバラで起こった。

29 その翌日、ヨハネは自分の方に来られるイエスを見て言った。「見よ、世の罪を取り去る、**神の子羊**を！

30 『私の後においでになる方は、私に勝る方です。私より先におられたからです。』と、私が言ったのは、この方のことです。

31 私はこの方を知らなかったが、この方がこれを通してイスラエルに明らかにされるために、私自身が来て、水の中で浸礼を授けているのです。」

32 ヨハネは、また証をして言った。「私は、**御霊**が鳩のように天からおりてきて、この方の上におとまりになるのを見ました。

33 私は、この方を知りませんでした。しかし、水の中に浸礼を授けるようにと私を遣わされた方が、私に言われました。『**御霊**がおりてその方の上にとまるのをあなたは見る。その人こそ、**聖霊**によって浸礼を授ける方である。』と。

34 私はそれを見ました。それで、この方こそが、**神の御子息**であられると証をしたのです。」

35 その翌日、ヨハネはまた、自分の弟子の二人と共に立っていた。

36 そして、イエスが歩いておられるのを見て、言った。「見よ、**神の子羊**を！」

37 そこで、ヨハネの二人の弟子は、彼が話しているのを聞いて、イエスについて行った。

38 すると、イエスは振り向き、彼らがついて来るのを見て、彼らに言われた。「何を求めているのですか。」彼らはイエスに言った。「**ラビ**（訳すると、**先生**）、あなたはどちらにお泊まりですか。」

39 イエスは彼らに言われた。「来て、見なさい。」彼らは行って、イエスの泊まっておられる所を見た。そして、その日は、イエスと共に泊まった。第十時間目ごろ①であった。

40 ヨハネの話しを聞いて、イエスについて行った二人のうちの一人は、シモン・ペテロの兄弟アンデレであった。

41 この人はまず、自分の兄弟シモンを探し出し

39
① 今の時計では午後四時ごろを指す。当時の人は昼の時間を朝六時から、その時間を数え始め、夜六時まで十二時間数えた。

て彼に言った。「私たちはメサイア①（訳すると、キリスト）を見つけた。」

42 そして、シモンをイエスの所に連れて行った。そして、イエスは彼に目を注いで言われた。「あなたはヨナの息子、シモンです。あなたは、ケパ①（訳すると、石）と呼ばれます。」

43 翌日イエスはガリラヤへ行こうとし、ピリポを探し出して、彼に言われた。「わたしについて従いなさい。」

44 さて、ピリポは、アンデレとペテロの町、ベツサイダ出身であった。

45 ピリポは、ナタナエルを探し出して彼に言った。「私たちは、モーセが律法の中に書き、また、預言者たちも書き記した方に出会った。ヨセフの息子で、ナザレ出身のイエスだ。」

46 すると、ナタナエルは彼に言った。「ナザレから、どんなよいものが出ることがあり得るだろうか。」ピリポは彼に言った。「来て見なさい。」

47 イエスはナタナエルが自分の方に来るのを見て、彼について言われた。「見よ。真のイスラエル人です。彼の中には、いつわりがありません。」

48 ナタナエルはイエスに言った。「どうして私のことを知っておられるのですか。」イエスは答えて彼に言われた。「ピリポがあなたを呼ぶ前に、わたしはあなたがイチジクの木の下にいるのを見ました。」

49 ナタナエルは、イエスに答えて言った。「**ラビ**、あなたは**神の御子息**です。あなたはイスラエルの**王**です。」

50 イエスは彼に答えて言われた。「わたしがイチジクの木の下にいたあなたを見たと言ったので、あなたは信じますか。あなたは、これよりもっと偉大なことを見ます。」

51 イエスは、また彼に言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。これからあなたがたは、天が開いて、**神**の御使いたちが人の**子**の上を昇り下りするのを見ることになります。」

---

41 ① 油を注がれた者。すなわち、民を導くために神から遣わされた者。

42 ① 「ケパ」は、アラム語で「石」を意味し、「ペテロ」はギリシャ語で「石」を意味している。

2

1 さて、三日目にガリラヤのカナで結婚式があった。イエスの母がそこにいた。
2 そして、イエスと彼の弟子たちも、結婚式に招かれた。
3 ところで、葡萄液①が不足してきたので、イエスの母は彼に、「彼らは葡萄液がありません。」と言った。
4 イエスは彼女に言われた。「婦人、わたしは、あなたに何のかかわりがあるでしょうか。わたしの時はまだです。」
5 イエスの母は、使用人たちに言った。「この方があなたがたに言われることは、何でもしてください。」
6 さて、そこにユダヤ人の清め①のために、石の水瓶が六個置かれてあった。それぞれ二か三メトレテス②入りであった。
7 イエスは彼らに言われた。「水瓶に水を満たしなさい。」そこで、彼らは縁まで満たした。
8 そして、イエスは彼らに言われた。「さあ、汲み出し、宴会長の所に持って行きなさい。」そこで、彼らは持って行った。
9 宴会長は葡萄液になった水を味見した時、それがどこから来たのか知らなかった。しかし、水を汲んだ使用人たちは知っていた。宴会長は花婿を呼び、
10 彼に言った。「人は皆、よい葡萄液を最初に出すものです。そして、皆が十分飲んだ頃に、劣る方を出します。あなたはよい葡萄液を今までとっておいたのですね。」
11 イエスは、この最初の奇蹟をガリラヤのカナで行ない、ご自分の栄光を現された。それで、彼の弟子たちはイエスを信じた。
12 この後、イエスは、母、兄弟たち、弟子たちと、カペナウムに下り、多くの日ではないが、そこに泊まられた。
13 さて、ユダヤ人の過越祭①が近かったので、イエスはエルサレムに上られた。

---

3 ① ギリシャ語のオイノス。葡萄から作ったすべての飲み物を含む。

6 ① ユダヤ人の清めの儀式であった。
② 一メトレテスは約三九リットルである。

13 ① ユダヤ人の祭で、モーセがエジプトからユダヤ人を導いたことを記念する日である。

14 そして、イエスは牛、羊、鳩を売る者たちや両替する者たちが、神殿の敷地に座り込んでいるのを見つけられた。 **15** そしてなわでむちを作り、彼はすべてを、羊や牛も神殿の敷地から追い出された。そしてイエスは両替人の金を散らし、その台をひっくり返された。 **16** そして、鳩を売る者たちに言われた。「これらの物をここから持って出て行け。わたしの**父**の家を、商売の家にするな。」 **17** そこで、イエスの弟子たちは、「あなたの家への熱意が、わたしを食い尽くした。」と書いてあるのを思い出した。 **18** そこで、ユダヤ人たちは答えてイエスに言った。「あなたが、これらのことをするからには、どんなしるしを私たちに見せてくれるのか。」 **19** イエスは答えて彼らに言われた。「この神殿を壊してみなさい。わたしは三日で、建て直します。」

20 そうすると、ユダヤ人たちは言った。「この神殿は四十六年間かけて建てられたのに、それを三日であなたは建てると言うのか。」 **21** しかし、イエスは神殿すなわちご自分の体のことを言われたのである。 **22** それゆえ、イエスが死者の中から復活させられた時、イエスの弟子たちは、イエスが彼らに言われたこのことを思い出し、聖書とイエスの言われた言葉を信じた。 **23** さて、イエスが過越祭と過越祭を祝う食事に参加して、エルサレムにおられた時、多くの人はイエスのなさっておられた奇蹟を見て、イエスの御名を信じた。 **24** しかし、イエスご自身は、ご自分を彼らに任せられなかった。すべての人を知っておられたからであり、 **25** また、イエスは、人について誰も証言することを必要とされなかったからである。それは、イエスが人の内に何があるかを知っておられた

からである。

3

1 さて、パリサイ派の一員で、ニコデモという名前で、ユダヤ人の支配者の一人がいた。 **2** この人が夜イエスの所に来て、彼に言った。「**ラビ**①、私たちはあなたが、**神**のみもとから教師として来られたことを知っています。**神**が共におられなければ、誰もあなたがなさるこれらの奇蹟を行なうことができないからです。」

3 イエスは答えて彼に言われた。「まことに、まことに、あなたに言います。人は新しく生まれるのでなければ、**神**の王国を見ることができないのです。」

4 ニコデモはイエスに言った。「年老いた人が、どのようにして生まれることができるのですか。人は再び自分の母の胎内に入って、生まれることなどできるのですか。」

5 イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに言います。人は水と霊によって生まれるのでなければ、**神**の王国に入ることができないのです。 **6** 肉によって生まれた者は肉であり、**御霊**によって生まれた者は霊なのです。 **7** 『あなたがたは、新しく生まれなければならない。』とわたしがあなたに言ったことを、不思議に思ってはいけません。 **8** 風は思うままの所に吹き、あなたはその音を聞きますが、それがどこから来て、どこへ行くのかわかりません。**御霊**によって生まれた人も皆、これと同じです。」

9 ニコデモは答えてイエスに言った。「どうしてそんなことが、起こりえますか。」

10 イエスは答えて彼に言われた。「あなたこそイスラエルの教師でありながら、これらのことを知らないのですか。 **11** まことに、まことに、あなたに言います。わたしたちは知っていることを話し、わたしたちは見たことを証言しているのです。それなのに、あ

---

2 ① ヘブライ語で、先生という意味。

なたがたはわたしたちの証言を受け入れません。

12 わたしがあなたがたに地上のことを話しても信じないのなら、ましてわたしが天上のことを話すとしても、どうしてあなたがたは信じることがありましょうか。

13 そして、天国から降りて来た者、すなわち天国にいる人の**子**以外は、誰一人、天国に昇った人はいません。

14 そして、モーセが荒野で蛇を上げたように、人の**子**も上げられなければなりません。

15 それはすべて、彼を信じる人が滅びることなく、永遠の命を持つためです。

16 なぜなら、ご自分の唯一お生みになった**御子息**を与えられたほどに、**神**はこうしてこの世を愛された。それは、すべて**御子息**を信じる人が、滅びることなく、永遠の命を持つためなのである。

17 **神**がご自分の**御子息**を世に派遣された理由は、この世を裁くためではなく、**御子息**を通してこの世が救われるためなのである。

18 **御子息**を信じる人は裁かれることはない。しかし、信じない者はもうすでに裁かれている。その人は**神**の唯一お生みになった**御子息**の名を信じなかったからである。

19 その裁きとは、これである。すなわち、光がこの世に来られたのに、人たちは光よりも暗やみを愛した。彼らの行為が悪かったからである。

20 なぜなら、悪を行なっているすべての者は、光を憎む。また、自分の行為が責められないように、光の所に来ない。

21 しかし、真理を行なう者は、光の所に来る。それは、彼の行ないが**神**にあって行なわれていることを、明らかにされるためである。」

22 その後、イエスは彼の弟子たちとユダヤの地に行き、そこで彼らと共に滞在し、浸礼を授けられた。

23 ヨハネもサリムに近いアイノン①で浸礼を授けていた。なぜなら、そこには水が多かったからである。人々はやって来て、浸礼を受けていた。

---

23 ① アラム語で「泉」。

24 それは、ヨハネはまだ投獄されていなかったからである。**25** そこで、ヨハネの弟子たちとユダヤ人たちの間で、清めについての議論が始まった。**26** そして、彼らはヨハネの所に来て、彼に言った。「ラビ、見てください。ヨルダン川の向こうで、あなたといっしょにいた方で、あなたが証をしたあの人のことですが、あの方が浸礼を授けています。そして、みんなは彼の方に行っています。」

27 ヨハネは答えて言った。「もしそれが天から与えられたものでなければ、人は何も受け取ることができません。**28** 『私はキリストではなく、かえってあの方の先に派遣されたのです。』と私が言ったことを、あなたがた自身が証をしています。**29** 花嫁を持つ者は、花婿です。しかし立って、花婿の話に耳を傾ける花婿の友人は、彼の声を大いに喜んでいます。それゆえ、私のこの喜びも満たされています。**30** あの方は盛んにならなければなりませんが、私は衰えなければなりません。**31** 上から来られる方は、すべてのものの上におられます。地から出る者は、地からであり、地からのことを話します。天国から来られる方は、すべての物事の上におられます。**32** そして、その方は見たことと聞いたこと、このことを証していますが、誰もその方の証を受け入れません。**33** 彼の証を受け入れる人は、**神**が真実であると、証印を押したのです。**34** というのは、**神**が派遣された方は、**神**の御言葉を話されます。**神**は測り知れないほどに**御霊**を与えられるからです。**35** **御父**は**御子息**を愛し、**御子息**の手にすべての物事を委ねられたのです。**36** **御子息**を信じる人は、永遠の命を持っていますが、**御子息**を信頼しない者は命を見ません。かえって、**神**の怒りがその人の上にとどまっています。」

4

1 さて、パリサイ派の人たちは、イエスがヨハネよりも多く弟子をつくり、浸礼を授けておられると聞いた。そのことを**主**が知られた時、**2** (実は浸礼を授けていたのはイエスご自身ではなく、イエスの弟子たちであった。)

3 **主**はユダヤを去り、再びガリラヤに入って行かれた。
4 しかし、**主**はどうしても、サマリヤを通って行かなければならなかった。
5 そこで、ヤコブがその息子ヨセフに与えた土地の近くにある、スカルと呼ばれるサマリヤの町に、彼は入られた。
6 そして、そこにはヤコブの井戸があった。それで、イエスは旅で疲れていたので、そのまま井戸の上に腰をかけておられた。時は第六時間目①であった。
7 一人のサマリヤの女は、水を汲みにやってきた。イエスは女に、「わたしに水を飲ませてください。」と言われた。
8 (なぜなら、彼の弟子たちは食べ物を買いに町に行っていたのである。)
9 そこで、サマリヤの女はイエスに言った。「どうしてあなたはユダヤ人でありながら、サマリヤの女である私に、飲み水を求めるのですか。」これは、ユダヤ人がサマリヤ人と交際がないからである。
10 イエスは女に答えて言われた。「もしあなたが**神**の賜物と、『わたしに水を飲ませてください。』と言う人が、誰であるかを知っていたなら、あなたはその人に願い求め、そしてその人は、あなたに生ける水を与えただろうに。」
11 女はイエスに言った。「**主**よ、あなたは汲む物を何も持っていません。しかも、この井戸は深いのです。あなたはその生ける水をどこからお持ちになるのですか。
12 私たちにこの井戸を与えた私たちの先祖ヤコブよりも、あなたは偉大ですか。ヤコブはこれより飲み、また彼の息子たちも、家畜も飲んだのです。」
13 イエスは女に答えて言われた。「誰であろうがこの水を飲む人は、また渇きます。
14 しかし、わたしが与える水を飲む者は、いつまでも絶対に渇くことがありません。わたし

---

6 ① 正午。

が与える水は、その人の内で泉となり、永遠の命に至る水が湧き出るのです。」

15　女はイエスに言った。「**主**よ、私が渇くことがなく、またここに汲みに来なくてもよいように、その水を私にください。」

16　イエスは女に言われた。「行って、あなたの夫をここに呼んで来なさい。」

17　女は答えて言った。「私には夫はいません。」イエスは女に言われた。「『私には夫はいません。』と言ったのは、もっともです。

18　あなたには五人の夫がいたが、今いっしょにいる男は、あなたの夫ではありません。あなたの言ったことは、本当です。」

19　女はイエスに言った。「**主**よ、私はあなたは預言者だということが、よくわかりました。

20　私たちの父祖たちは、この山で礼拝しました。しかしあなたがたは、礼拝すべき場所はエルサレムだと言います。」

21　イエスは女に言われた。「婦人よ、わたしを信じなさい。あなたがたがこの山でも、エルサレムでもない所で、**父**を礼拝する時が来ています。

22　あなたがたは知らないものを礼拝しているが、わたしたちが礼拝している方は誰であるのかを、わたしたちは知っています。救いはユダヤ人から来るからです。

23　しかし、真の礼拝者たちが、霊と真理において、**父**を礼拝する時が来ます。今がその時です。なぜなら、**父**はご自分を礼拝するそのような者を求めておられるからです。

24　**神**は**霊**です。そして、**神**を礼拝する人たちは、霊と真理において礼拝しなければなりません。」

25　女はイエスに言った。「私はキリストと呼ばれるメサイアが来られることを知っています。その方が来られた時、私たちにすべてのことを教えてくださるのです。」

26　イエスは女に言われた。「あなたと話しているわたしこそ、その者です。」

27　さて、ちょうどこの時、イエスの弟子たちが戻って来て、イエスがこの女と話しをされているのを不思議に思った。それにもかかわらず、誰も、「何を求めておられますか。」とか、「なぜその女と話しておられるのですか。」とも言わなかった。

28 やがて、その女は水瓶を置いたまま町の中に入って行き、男たちに言った。**29**「私のしてきたすべてのことを、私に言われた方をどうぞ見に来てください。この方がキリストではないでしょうか。」**30** そこで、人たちは町を出て、イエスの所に来た。

31 その間に弟子たちはイエスに、「**ラビ**、①召し上がってください。」と勧めて言ったが、**32** イエスは彼らに言われた。「わたしには、あなたがたの知らない食べ物があります。」**33** そこで、弟子たちは互いに言った。「誰かが**主**に食べ物を持ってきたはずはないのだが。」**34** イエスは彼らに言われた。「わたしの食べ物とは、わたしを遣わされた方のご意志を実行し、その方の働きを完成することです。**35** あなたがたは、『収穫の刈入れが来るまで、まだ後四カ月ある』と言っているではありませんか。見よ、わたしはあなたがたに告げます。さあ、目を上げて、畑をよく見なさい。なぜなら、すでに色づいていて収穫の時です。**36** そして、刈る人は報酬を受け、永遠の命に至る実を集めます。こうして蒔く人も収穫する人も、ともに喜ぶことができるためです。**37** だから、これで、『ある者が蒔き、別の者が刈り取る。』ということわざは真実です。**38** 私は、あなたがた自身が労苦しなかったものを、あなたがたが収穫するために派遣しました。他の人々が先に労苦し、それからあなたがたが、彼らの働きに加わったのです。」

39 そこで、その町の多くのサマリヤ人は、「この方が、私のしてきたすべてのことを、私に言われました。」と女の証しした言葉によって、イエスを信じた。**40** そこで、サマリヤ人たちはイエスのもとに来て、彼らと共に泊まってくださるように、イエスに頼んだ。それで、イエスは二日間そこに泊まられた。

---

31 ① ヘブライ語で、先生という意味。

41 そして、さらに多くの人が、イエスご自身の言葉によって信じた。**42** そして、サマリヤ人たちはその女に言った。「もう私たちは、お前の話しによって信じているのではない。この方こそまことに世の**救い主**で、キリストであることを、われら自らが聞き、知ったからだ。」**43** さて、二日後、イエスはその地を離れて、ガリラヤに入られた。**44** ところで、イエスご自身は、「預言者は自分の故郷では敬意をはらわれない。」と証言しておられた。**45** それでも、彼がガリラヤに行かれた時、ガリラヤ人たちはイエスを受け入れた。それは、彼らも祭に行って来たので、その時、イエスがエルサレムでの祭でなさったすべてのことを見ていたからである。**46** それで、イエスは再びガリラヤのカナに行かれた。そこは、イエスが水を葡萄液にされた所である。さて、王の側近がいて、その息子はカペナウムで病気であった。**47** この人は、イエスがユダヤを出て、ガリラヤにおられると聞いて、イエスのもとに来た。そこで、彼はイエスに、下って来て自分の息子を治してくださるように懇願した。息子は、今にも死にかかっていたからである。**48** そこで、イエスは彼に言われた。「しるしや不思議な業を見なければ、あなたがたは決して信じようとしない。」**49** 王の側近はイエスに言った。「**主**よ、私の子どもが死なないうちに、来てください。」**50** イエスは彼に言われた。「行きなさい。あなたの息子は生きるのです。」そこで、その男はイエスが彼に言われた言葉を信じて、行った。**51** そこで、彼が下って行く途中で、彼の僕たちは彼に出会い、「お子様は、生きておられます。」と言って彼に告げた。**52** そこで、彼は僕たちに、息子が良くなった時

刻を尋ねると、彼らは、「きのう第七時間目①ごろ、息子さんの熱が引きました。」と彼に答えて言った。

53 そこで、ちょうどイエスが、「あなたの息子は生きるのです。」と彼に言われたのと同じ時刻であることを、父親は知った。そして、彼自身と彼の家全員は信じた。

54 これはまた、ユダヤ地方を出てガリラヤ地方に入られてから、イエスが行なわれた第二の奇蹟である。

5

1 この後、ユダヤ人の祭があった。それでイエスはエルサレムに上られた。

2 さて、エルサレムには、羊の門のほとりに、ヘブライ語でベテスダと呼ばれる、五つの柱廊が付属している池がある。

3 この柱廊の中に、体の不自由な人たち、つまり目が不自由な人たち、歩けない者たち、弱り果てた者たちがとても大勢、体を横たえて水の動きを待っていた。

4 なぜなら、折々、御使いが下ってきて、池に入り、水を動かすことがあった。それで、水が動いてから一番先に入った者は、その者に取り付いていた病気が治ったからである。

5 さて、三十八年間、病気であったある男がそこにいた。

6 イエスはこの男が横たわっているのを見、もう長い間この状態であるのを知って、彼に言われた。「健康になりたいのですか。」

7 体の不自由な人はイエスに答えた。「**主**よ、水が動く時に、私を池に入れてくれる人がいません。ですから、私自身が行く前に、私より早く他の人が下って行きます。」

8 イエスは彼に言われた。「起き上がりなさい。あなたの寝床を手に取り上げ、そして歩きなさい。」

9 そうすると、その男はたちどころに不自由な所が健康になり、彼の寝床を取り上げて歩いた。ところで、その日は安息日であった。

52
① 午後一時。

10 それで、ユダヤ人たちは治された人に言った。「今日は安息日だ。お前が寝床を運んだことは、不法だ。」

11 その男は彼らに答えた。「私を治してくださったあの方が、私に言いました。『あなたの寝床を取り上げて、歩きなさい。』」

12 それで、「お前に、『あなたの寝床を取り上げて歩きなさい。』と言った男は、誰か。」と彼らは男に尋ねた。

13 しかし、治された男は、イエスが誰なのか知らなかった。大勢の人がその場所にいたので、イエスはすでに立ち去られたからである。

14 この後、イエスはその男を神殿の敷地で見つけ、彼に言われた。「見よ。あなたは健康になりました。もう罪を犯してはなりません。それは何かもっと悪いことがあなたに起こらないためです。」

15 その男はそこを去り、ユダヤ人たちに、自分を健康にしてくださった方はイエスであると告げた。

16 そして、イエスがこれらのことを安息日になされたので、ユダヤ人たちはイエスを迫害し、殺そうとイエスを捜していた。

17 しかし、イエスは彼らに答えられた。「わたしの**父**も今にいたるまで働いておられ、わたしも働いています。」

18 ゆえに、ユダヤ人たちはそのため、ますますイエスを殺そうとつけ狙った。安息日を破っただけでなく、**神**をご自分の**父**と言い、ご自身を**神**と等しい者とされたからである。

19 それゆえイエスは答えて、彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。**子**は**父**のなすことを見なければ、**子**自身で何も行なうことができません。なぜなら、何であれ、**父**のなすことは、**子**も同じように行なうからです。

20 **父**は**子**を愛し、**子**にご自分がなすことをことごとく示されるからです。また、あなたがたが驚くように、**父**はこれらよりさらに大きなことを**子**に示されるのです。

21 なぜなら、ちょうど**父**が死人を復活させ、命を与えられるように、**子**もまたその与えたい者に命を与えます。

22 なぜなら、**父**は誰をも裁くことなく、**子**にすべての裁きを委ねられているのです。

23 これはすべての人が**父**に敬意をはらうように、**子**に敬意をはらうためです。**子**に敬意をはらわない者は、**子**を遣

わされた**父**に敬意をはらいません。

24 まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしの言葉を聞いて、わたしを遣わされた方を信じる者は、永遠の命を持ち、また裁きに入ることはなく、死から命に移っているのです。

25 まことに、まことに、あなたがたに言います。死人が**神の子**の声を聞き、聞いた人は生きる時が来ます。今がその時です。

26 なぜなら、**父**がご自身のうちに命を持っておられるように、**子**にもそのとおり、自身のうちに命を持つようにして下さったからです。

27 そして、彼は人の**子**だから、**父**は彼にも裁きを行なう権威をも与えられたのです。

28 このことに驚いてはいけません。というのは、墓にいる者たちが皆、人の**子**の声を聞く時が来るのです。

29 そして、彼らは出て来ます。善を行なった者たちは命の復活に、そして悪を行ない続けた者たちは裁きの復活に至るのです。

30 わたしは、自分自身からは何も行なうことができません。わたしは聞くとおりに裁きます。そしてわたしの裁きは正しいのです。それは、自分の意志を求めず、わたしを遣わされた方、すなわち**父**のご意志を求めるからです。

31 もしわたしが自分自身について証をすれば、わたしの証は真実ではありません。

32 わたしについて証する人がほかにいます。そして、わたしについて証する人の証が、真実であることをわたしは知っています。

33 あなたがたはヨハネのもとに人を遣わしました。そして、ヨハネは真理について証をしました。

34 しかし、わたし自身は人からの証を受けませんが、これらのことを言うのは、あなたがたが救われるためです。

35 その人は燃えて輝く灯火でした。それであなたがたはしばらくの間、彼の光の中で自ら喜びに満ちあふれました。

36 しかしわたしには、ヨハネよりも大きな証があります。それは、わたしが成し遂げるために、**父**がわたしに与えられた業、すなわちわたしが行なっている業こそが、**父**がわたしのことに関して、わたしを遣わされたことを証しているからです。

37 またわたしを遣わした方、すなわち**父**は自らわたしについて証をされました。あなたがたは、まだ一度もその御声を聞いたことがなく、その御姿を見たこともありません。**38** また、あなたがたは、**父**の御言葉を内にとどめてもいません。遣わされたその者を、あなたがたは信じていないからです。**39** 聖書をよく調べてみなさい。あなたがたはその中に永遠の命があると思っているからです。しかし、聖書はわたしについて証しているものです。**40** しかも、あなたがたは、命を持つために、わたしの所に来ようとしません。**41** わたしは人から栄光を受けません。**42** しかし、あなたがた自身のうちに、**神**の愛がないことをわたしは知っています。**43** わたしはわたしの**父**の御名によって来たのに、あなたがたはわたしを受け入れません。もし別の者がその者自身の名によって来れば、あなたがたはその者を受け入れるでしょう。**44** 互いに相手からの栄光を受けながら、唯一の**神**からの栄光を求めないので、あなたがたは、どうして信じることができましょうか。**45** わたしがあなたがたを**父**に訴えると思ってはいけません。あなたがたを訴える者がいます。あなたがたが頼りにしているモーセです。**46** なぜなら、もしあなたがたが、モーセを信じていたならば、わたしを信じていたでしょう。なぜなら、モーセはわたしのことを書きしるしたからです。**47** しかし、もしモーセの書物を信じないなら、あなたがたはどうしたらわたしの言葉を信じるのですか。」

6

1 これらのことの後、イエスはガリラヤの海、すなわち、テベリヤの海の向こう岸へ渡られた。**2** すると、大勢の群衆がイエスについて行った。それは彼が病人たちになさっていた奇蹟を見たからである。**3** さて、イエスは山に登り、弟子たちと共にそこに座られた。**4** ちなみに、過越というユダヤ人の祭が、間近であった。**5** イエスは目を上げて、大勢の群衆がご自分の方に来る

のを見た時、ピリポに言われた。「あの人々が食事ができるように、わたしたちはどこからパンを買うのですか。」

6 イエスはピリポを試すためにこう言われた。なぜなら、ご自分は何をしようとしているのかご存じであったからである。

7 ピリポは答えた、「皆がほんのわずかずつ食べるにしても、二百デナリ①のパンでは足りません。」

8 弟子の一人で、シモン・ペテロの兄弟アンデレがイエスに言った。

9 「ここに、大麦のパン五個と、小さな魚二匹を持っている少年がいます。しかし、これほど多くの人では、それが何になりましょう。」

10 それでイエスは、「皆を座らせなさい。」と言われた。ところで、その場所には草が多くあったので、人々は座った。男の数は、約五千人であった。

11 イエスはパンを手に取り、感謝を捧げてから、弟子たちに分け与えられた。そして弟子たちは座っていた人たちに分け与え、また小さい魚も同様にして、彼らに欲しいだけ与えられた。

12 彼らが満腹になった時、イエスはご自分の弟子たちに言われた。「何もむだにならないように、残り物を集めなさい。」

13 そこで、彼らは集めた。そして、大麦のパン五個を食べた人々が残したパン切れが、十二かごを満たした。

14 それで、イエスのなさったこの奇蹟を見た人々は、「確かにこの方は、世に来られるべきあの預言者です。」と言った。

15 さて、イエスは、人たちがやって来て、力ずくでご自分を捕らえ、王にしようとするのを知っておられた。そのために、再び一人で山に退かれた。

16 それで、夕方になると、弟子たちは海へ下り、**17** 船に乗ってカペナウムへ海を渡る途中であった。すでに暗くなっていたが、イエスはまだ弟子たちの所に着いていなかった。

18 そして、強風が吹いてきたので、海は荒れていた。

---

7 ①ローマ帝国の銀貨。一デナリは一般労働者の一日分の賃金。

19 それで、二五か三十スタディオン①ほどこぎ出した時、弟子たちはイエスが海の上を歩き、船に近づいて来られるのを見て恐怖に陥った。**20** しかし、イエスは彼らに言われた、「わたしです。恐れてはいけません。」**21** そこで弟子たちは喜んでイエスを船に迎え入れた。すると、船はすぐに彼らが行こうとしていた地に着いた。

22 次の日、海の向こう岸に立っていた群衆は、そこにはイエスの弟子たちが乗った小舟のほかに、一そうの小舟もないことに気がついた。また、イエスは弟子たちと共に小舟に乗らず、ただ弟子たちだけで出て行ったことに気がついた。**23** （しかし、**主**が感謝を捧げられた後、人々が食事をした場所の近くに、ほかの小舟が数そうテベリアから来たのである。）**24** それで、群衆はイエスも彼の弟子たちもそこにいないのが分かった時、自分たちもそれぞれの船に乗り、イエスを探してカペナウムに行ったのである。**25** そして、海の向こう側でイエスを探し出すと、彼らはイエスに言った。「**ラビ**①、いつこちらにおいでになったのですか。」

26 イエスは彼らに答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。あなたがたがわたしを探しているのは、奇蹟を見たからではなく、パンを食べて満たされたからです。**27** 腐る食べ物のために働くのではなく、永遠の命に至る食べ物のために働きなさい。それは人の**子**があなたがたに与えるものです。彼こそ**父**なる**神**が承認の印を押されたからです。」

28 そこで彼らはイエスに言った。「私たちは**神**の御業を行なうために、何をしたらよいのでしょうか。」

29 イエスは彼らに答えて言われた。「**神**が遣わされた者を信じることが、**神**の御業です。」

30 従って、彼らはイエスに言った。「では、私たちが見て、あなたを信じるために、あなたはど

---

19 ①　五．六キロメートル。

25 ①　ヘブライ語で、先生という意味。

んなしるしを示してくださいますか。何をなさいますか。

31 私たちの父祖たちは荒野でマナを食べました。『**神**は彼らに天国からのパンを食べるために与えてくださった。』と書いてあるとおりです。」

32 するとイエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、わたしはあなたがたに言います。モーセはあなたがたに天国からそのパンを与えたのではありません。しかし、わたしの**父**は、天国からまことのパンを、あなたがたに与えてくださいます。

33 というのは、**神**のパンは、天国から下って来て、世に命を与える者です。」

34 すると彼らはイエスに言った。「**主**よ、いつも私たちにこのパンを与えてください。」

35 しかし、イエスは彼らに言われた。「わたし自身が命のパンです。わたしに来る者は決して飢えることはなく、わたしを信じる者は決して渇くことがありません。

36 しかし、あなたがたもわたしを見たのに信じないと、わたしはあなたがたに言いました。

37 **父**がわたしに与えられる人は皆、わたしの所に来ます。またわたしは、わたしの所に来る人を決して追い出しはしません。

38 なぜなら、わたしが天国から下って来たのは、わたし自身の意志を行なうためでなく、わたしを遣わされた方のご意志を実行するためだからです。

39 そして、これがわたしを遣わされた**父**のご意志です。すなわち、**父**がわたしに与えてくださったすべての人の中から、わたしは一人も失うことはなく、最後の日にその人を復活させることです。

40 また、これがわたしを遣わされた**父**のご意志です。つまり、**子**を見て彼を信じる人が皆、永遠の命を持つことです。また、わたし自身は最後の日にその人を復活させます。」

41 すると、ユダヤ人たちはイエスが、「わたしは天国から下って来たパンです。」と言われたので、イエスについてぶつぶつ言っていた。

42 そして彼らは続けて言った。「これはヨセフの息子で、私たちは彼の父と母を知っている、そのイエスではないか。では、何でこの男は、『わたしは天国から下って来ました。』と言うのか。」

43 それで、イエスは彼らに答えて言われた。「仲間内でぶつぶつ言うのは止めなさい。**44** もしわたしを遣わした**父**が引き寄せなければ、誰もわたしの所に来ることができません。そして、わたし自身は最後の日にその人を復活させます。**45**『そして、彼らは皆**神**によって教えられる。』と預言者たちの書に書いてあります。だから、**父**から聞き学んだすべての者は、わたしの所に来ます。**46** **神**から来た者の他に、誰も**父**を見た者はいません。この者は**父**を見たことがあります。**47** まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしを信じる者は永遠の命を持つのです。**48** わたしはその命のパンです。**49** あなたがたの父祖たちは、荒野でマナを食べたが死にました。**50** これは、誰でもこれを食べて死ぬことがないように、天国から下って来たパンです。**51** わたしこそが、天国から下って来た生けるパンです。誰でもこのパンを食べれば、永遠に生きます。またわたしが与えるパンは、世の命のために与えるわたし自身の肉です。」**52** そこで、「どういうふうにして、この男は、自分の肉を私たちが食べることができるようにして、与えるのか。」とユダヤ人たちは互いに議論して、言った。**53** すると、イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。もしあなたがたは人の**子**の肉を食べ、また彼の血を飲まなければ、命はあなたがたの内にありません。**54** 誰でもわたしの肉を食べ、またわたしの血を飲む者は永遠の命を持っています。そして、わたしは最後の日にその人を復活させます。**55** と言うのは、わたしの肉は真実の食物であり、わたしの血は真実の飲み物だからです。**56** わたしの肉を食べ、またわたしの血を飲む者は、わたしのうちにとどまり、またわたしは彼のうちにとどまります。**57** 生ける**父**がわたしを遣わし、また**父**によってわたしが生きるように、わたしを食べる人こそがわたしによって生きるのです。**58** これが天国から下って来たそのパンです。あなたがた

の父祖たちは、マナ①を食べても死んでしまいました。そのような者ではなく、このパンを食べる者は永遠に生きるのです。」

59 イエスはカペナウムで教えておられた間に、シナゴーグ①でこれらのことを言われた。

60 そこで、イエスの弟子たちの多くは、これを聞いた時にこう言った。「これは耐え難い言葉です。誰が聞いておられようか。」

61 しかしイエスは、ご自分の弟子たちが、これについてぶつぶつ言っているのをご自身のうちで知った時、彼らに言われた。「このことがあなたがたをつまずかせるのですか。

62 ましてや、もしあなたがたは人の**子**が以前いた所に昇るのを見るとすればどうでしょうか。

63 生かすのは霊です。肉は何の益にもなりません。わたしがあなたがたに話すこの言葉は霊であり、命なのです。

64 しかし、あなたがたのうちに信じない者たちがいます。」イエスは初めから、信じない者たちは誰か、また誰がイエスご自身を裏切るのかを知っておられたからである。

65 またイエスは言われた。「こういうわけで、『もしわたしの**父**から与えられていなければ、誰もわたしの所に来ることができません。』とわたしはあなたがたに言ったからです。」

66 それ以来、弟子たちの多くは離れ去って、もはやイエスと共に歩まなかった。

67 そこで、イエスは十二人に言われた。「あなたがたも立ち去るつもりですか。」

68 すると、シモン・ペテロはイエスに答えて言った。「**主**よ、私たちは誰の所に行きましょう。あなたが永遠の命の言葉をお持ちなのです。

69 また、あなたこそ生ける**神の御子息**であるキリストですと、私たちは信じ、確信しているのです。」

70 イエスは彼らに答えられた。「あなたがた十二人を選んだのは、わたしではありませんか。そしてそのうちの一人は悪魔です。」

71 彼は、シモンの息子ユダ・イスカリオテに

---

58 ① 天国からのパン。

59 ① ユダヤ教の会堂。

ついてこれを言われた。ユダは十二人の一人でありながら、イエスを正に裏切ろうとする者であった。

7

1 これらの後、イエスはガリラヤ地方を歩いておられた。ユダヤ人がイエスを探し出し、殺そうとしていたから、ユダヤ地方を歩こうとされなかった。

2 さて、ユダヤ人の仮庵の祭が近づいていた。

3 それで、イエスの兄弟たちは彼に言った。「弟子たちも、あなたの行なう業を見るように、ここを離れてユダヤに行きなさい。

4 というのは、公に人自ら知られることを求めているのに、秘密裏にことをする者はいない。これらのことをしているのなら、あなた自身を世に示しなさい。」

5 こう言ったのは、ご自分の兄弟たちも、イエスを信じなかったからである。

6 それからイエスは彼らに言われた。「わたしの時はまだ訪れていませんが、あなたがたの時はいつでも準備ができています。

7 世はあなたがたを憎むことができませんが、わたしを憎んでいます。なぜなら、世の行ないが悪だと、わたしが証言するからです。

8 あなたがたは、この祭に上って行きなさい。わたしはまだこの祭に上りません。わたしの時がまだ満ちていないからです。」

9 イエスは、彼らにこのことを言い、ガリラヤに泊られた。

10 しかし、実際には、兄弟たちがその祭に上った後、イエスご自身も公にではなく、秘密裏に祭に上って行かれたのであった。

11 それで、ユダヤ人たちは、祭でイエスを探し、「あの人はどこにいますか。」と言った。

12 群衆の間でイエスのことが、大いにささやかれていた。「彼は善い人です。」と言う者もいれば、「違う、イエスは群衆を惑わしているのです。」と言う者もいた。

13 しかしながら、ユダヤ人を恐れて、誰もイエスについてはっきり意見を言う者はいなかった。

14 しかし祭が半ばほど過ぎた時、イエスは神殿の敷地に入って教えられた。

15 そうすると、ユダヤ人たちは驚いて言った。「この人は、

師事したこともないのに、どうして学問があるでしょうか。」

16 イエスは、彼らに答えて言われた。「わたしの教えは、わたし自身のものではなく、わたしを遣わされた方の教えです。

17 もしこの方のご意志を行なおうとすれば、誰であれ、この教えが**神**から出たのか、それともわたし自身から出たものを話すのか、その者はわかります。

18 自分自身から話す者は、自分の栄光を求めています。しかし、自分を遣わした方の栄光を求めるこの者は真実な者であり、その者の中には不義がありません。

19 モーセはあなたがたに律法を与えたではありませんか。それなのに、あなたがたは誰も、律法を守っていません。なぜわたしを殺そうとしているのですか。」

20 群衆は答えて言った。「あなたは悪霊を所有している。誰があなたを殺そうとしているのか。」

21 イエスは答えて彼らに言われた。「わたしが一つの業を行なったというので、あなたがたはみんな驚いています。

22 このために、モーセがあなたがたに割礼を与えました。なぜなら、割礼はモーセからではなく、父祖たちから来たのです。そして、あなたがたは安息日にも人に割礼をしています。

23 モーセの律法が破られないようにと安息日に人は割礼を受けるのなら、安息日にわたしが人を完全に治したというので、あなたがたはわたしに腹を立てるというのですか。

24 外見で人を裁いてはいけません。正しい裁きで裁きなさい。」

25 そこで、エルサレム出身のある人たちが、「これはあの人たちが殺そうとしている人ではないですか。

26 しかし、見よ。彼は恐れることなく話しているが、人たちは彼に何も言いません。支配者たちにも、この人がほんとうにキリストであることが分かったのでしょうか。

27 ところが、この人がどこから来たかは、私たちは知っています。しかし、キリストが来られる時は、どこから来られるのか、誰も知りません。」

28 すると、神殿の敷地で教えておられたイエスが叫んで言われた。「あなたがたはわたしを知っています。また、わたしがどこの出身かも知っています。しかし、わたしは自分で勝手に来たのではありません。わたしを遣わした方は真実です。あなたがたは、その方を知りません。

29 しかし、わたしはその方を知っています。なぜなら、わたしがその方から来たのであり、その方がわたしを遣わされたからです。」
30 それから、彼らはイエスを捕らえたかったが、彼に手をかけた者は誰もいなかった。なぜなら、イエスの時はまだ来ていなかったからである。
31 しかし、群衆の中から大勢の者たちがイエスを信じた。そして、「キリストが来られる時、この方がなさったより多くの奇蹟をなさいますか。」と言った。
32 群衆がイエスについて、このようなことをつぶやいているのが、パリサイ派の人たちの耳に入った。それで、パリサイ派の人たちや祭司長たちが、イエスを逮捕するために、役人たちを派遣した。
33 それで、イエスは彼らに言われた。「今しばらく、わたしはあなたがたと共にいますが、その後、遣わされた方のみもとへわたしは帰ります。
34 あなたがたはわたしを捜しますが見つかりません。わたしがいる所にあなたがたは来ることができません。」
35 それで、ユダヤ人たちは互いに言った。「私たちが見つけることはないように、この人はどこかへ行くつもりなのか。まさかギリシャ人のディアスポラ①の間に散らされたユダヤ人たちの所に行き、ギリシャ人を教えるつもりはないと思うが。
36 『あなたがたはわたしを捜すが見つからない。わたしがいる所にあなたがたは来ることができない。』と彼が言ったこの言葉は、どういう意味なのだろうか。」
37 祭の最後の日、大いなる日に、イエスは立って大声で言われた。「渇く者がいれば、誰でもわたしの所へ来て飲みなさい。
38 わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、『その人の腹①の底から生ける水が川となって流れ出る。』」
39 しかし、イエスは、ご自分を信じる人々が受

---

35 ① 他国に住むユダヤ人たち。

38 ① 直訳すれば、腸という意味である。ユダヤ人にとって、深い感情の元は腸であった。

けることになっている**御霊**について、このことを話された。なぜなら、イエスはまだ栄光をお受けになっていなかったので、**聖霊**はまだ与えられていなかった。

40 それで、この言葉を聞いた群衆の多くの者は、「この方は確かに、あの預言者だ。」と言った。

41 他の者たちは、「この方はキリストでいらっしゃる。」と言った。しかし、「ガリラヤからキリストが出るとでも言うのか。」と言う者もいた。

42 「聖書は、『キリストがダビデの種から、またダビデの住んでいた町ベツレヘムから来る。』と言っているではないか。」

43 そこで、イエスのことで、群衆の中で分裂が起こった。

44 そして、彼らの中から、イエスを捕まえようと思った者たちもいたが、自ら手をかけた者は誰もいなかった。

45 神殿の役人たちは大祭司たちとパリサイ派の人たちの所へ帰って行った。そうして彼らは役人たちに言った。「なぜあの人を連れて来なかったのか。」

46 役人たちは答えた。「あの方のように話した男は、未だかつて誰もいませんでした。」

47 すると、パリサイ派の人たちは彼らに答えた。「お前たちまでもだまされたのではないだろうね。

48 支配者たちやパリサイ派の人たちの中の誰か、彼を信じたと言うのか。

49 しかし、律法を知らないこの群衆どもは呪われているのだ。」

50 彼らの中の一人で、夜中にイエスの所に行ったニコデモが彼らに言った。

51 「我々の律法は、まず本人から聞き、彼の行なったことを知った上でなければ、判決を下さないこととされているではありませんか。」

52 彼らはニコデモに答えて言った。「あなたも、ガリラヤ出身ですか。なぜなら、ガリラヤから預言者は出ないことをよく調べてみなさい。」

53 そして彼らは一人一人、それぞれの家に帰って行った。

8

1 さて、イエスはオリーブ山に行かれた。

2 そして、朝早く、イエスはまた神殿の敷地に来られた。そして、民衆のみんなはイエスの所に来た。イエスは座り、彼らを教えられた。

3 そして、律法学者たちとパリサイ派の人たちは、姦淫の現場で捕らえられた女をイエスの所に連れて来た。そして、彼女を真ん中に立たせ、**4** 彼らはイエスに言った。「**先生**、この女は姦淫している現場で捕らえられました。**5** それで、モーセは私たちに律法で、そういう人は石投げの刑にせよと命じました。ですが、あなたは何とおっしゃるのですか。」**6** これは、彼らはイエスを試みて訴える理由を得ようとしてこう言ったのである。しかし、イエスは、聞いていないふりをしてしゃがんで、指で地面に書かれた。**7** それで、彼らは問い続けると、イエスは身を起こし、彼らに言われた。「あなたがたの中で罪のない者は、まずこの女性に石を投げつけなさい。」**8** そして、イエスはもう一度身を屈めて、地面に書かれた。**9** そして、それを聞いた者たちは、自分たちの良心に罪を認めさせられ、最年長の者たちから始めて一人ずつ、最後の一人まで去ってしまった。それでイエスは一人残され、女は真ん中に立っていた。**10** イエスは自ら身を起こし、女以外に誰もいないのを見て、彼女に言われた。「婦人よ、あなたを訴えるあの者たちは、どこにいますか。誰もあなたを罪に定めなかったのですか。」**11** 彼女は言った。「**主**よ、誰もいません。」イエスは彼女に言われた。「わたしもあなたを罪に定めません。行きなさい。そして、もう罪を犯さないでいなさい。」**12** それで、イエスはまた彼らに話しかけて言われた。「わたしは世の光です。わたしに従う者は決して暗やみを歩まず、命の光を持つのです。」**13** それで、パリサイ派の人たちはイエスに言った。「あなたはあなた自身について証言をしています。あなたの証言は、真実ではありません。」**14** イエスは彼らに答えて言われた。「わたしはわたし自身について証言をしても、わたしの証言は真実です。わたしは自分がどこから来たのか、そしてどこへ行くのかを、知っているからです。しかし、あなたがたは、わたしがどこから来るのか、そしてどこへ行くのかを知りません。**15** あなたがたは、肉に従って裁いています。わたしは自

ら誰も裁きません。

16 しかし、もしわたしも自ら裁けば、わたしの裁きは真実です。わたしは一人ではなく、わたしはわたしを遣わした**父**と一つだからです。

17 また、二人の証言は真実である、とあなたがたの律法に書いてあります。

18 わたしが、わたしのことを証言している本人であるし、わたしを遣わした**父**もわたしについて証言をしています。」

19 それから、彼らはイエスに言った。「あなたの**父**はどこにいますか。」イエスは答えられた。「あなたがたは、わたしをもわたしの**父**をも知りません。もしわたしを知っていたなら、わたしの**父**をも知っていたに違いありません。」

20 イエスは、神殿の敷地で教えた時に、献金箱のある所でこれらの言葉を言われた。そして、イエスの時はまだ来ていなかったため、誰も彼を捕らえなかった。

21 それで、イエスはまた彼らに言われた。「わたしは行きます。しかしあなたがたはわたしを捜しますが、自分たちの罪のままに死んでしまいます。あなたがたは、わたしの行く所には来ることはできません。」

22 そこで、イエスは、「あなたがたはわたしの行く所には来ることはできません。」と言われたので、「あの人は、まさか自殺をするつもりではないでしょうね。」とユダヤ人たちは言った。

23 それで、イエスは彼らに言われた。「あなたがたは下から出て、わたしは上から出てきました。あなたがたはこの世からの者です。わたしはこの世からの者ではありません。

24 だから、わたしはあなたがたに言いました。『あなたがたは、自分たちの罪のままに死んでしまいます。』もしあなたがたはわたしが、『わたしはある』①ということを信じなければ、あなたがたは、自分たちの罪のままに死んでしまいます。」

25 それで、彼らはイエスに言った。「あなたは誰ですか。」そしてイエスは彼らに言われた。

---

24 ①「わたしはある」とは、神の呼称の一つである。

「最初からあなたがたに話していることです。

26 わたしは、あなたがたについて多くのことを言ったりさばいたりすることがあります。しかし、わたしを遣わした方は真実です。そしてわたしは、その方から聞いたことを世に話しています。」

27 彼らは、イエスが**御父**のことを彼らに言われたことが分からなかった。

28 それから、イエスは彼らに言われた。「あなたがたは人の**子**を高く上げてしまった時、あなたがたはその時、『わたしはある』ということ、そして自分勝手にわたしは何もしないということが分かります。ただわたしの**父**がわたしに教えたように、わたしは話しています。

29 そして、わたしを遣わした方は、わたしと共におられます。**父**はわたしを一人にされませんでした。なぜなら、わたしはいつも**父**が喜ぶことを行なっているからです。」

30 イエスがこれらのことを言われた時、大勢の人はイエスを信じた。

31 それから、イエスはご自分を信じたユダヤ人たちに言われた。「もしあなたがたが、わたしの言葉にとどまれば、あなたがたは本当にわたしの弟子です。

32 そして、あなたがたは真理を知り、また、真理はあなたがたを自由にします。」

33 彼らはイエスに答えた。「私たちはアブラハムの種で、決して誰かの奴隷にされたことはありません。『あなたがたは自由になる。』と、いったいどうやって言えるのでしょうか。」

34 イエスは彼らに答えられた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。すべて罪を犯す者は、罪の奴隷なのです。

35 そして、奴隷はいつまでも家に住むのではありません。**子**はいつまでも住んでいます。

36 だから、もし**子**があなたがたを自由にすれば、あなたがたは間違いなく自由になります。

37 あなたがたはアブラハムの種であることをわたしは知っていますが、わたしの言葉は、あなたがたの中に居場所がないので、あなたがたはわたしを殺そうとしています。

38 わたしは、わたしの**父**のもとで見たことを話しています。ところがあなたがたは、自分たちの父のもとで見たこ

とを行なっています。」

39 彼らは答えて、イエスに言った。「私たちの父はアブラハムです。」イエスは彼らに言われた。「アブラハムの子どもなら、あなたがたはアブラハムの業を行なうはずです。

40 しかし、あなたがたは今、あなたがたに**神**から聞いた真理を教えた人であるわたしを殺そうとしています。アブラハムは、こんなことはしませんでした。

41 あなたがたは、あなたがたの父の業を行なっています。」そのために、彼らはイエスに言った。「私たちは性的な罪によって生まれたのではありません。私たちは**神**である唯一の**父**を持っています。」

42 それで、イエスは彼らに言われた。「もし**神**があなたがたの**父**なら、あなたがたはわたしを愛しているはずです。なぜなら、わたしは**神**から出て来て、そしてここに来ました。わたしは自分から来たのではなく、**神**がわたしを遣わされたからです。

43 あなたがたは、どうしてわたしの話を理解していないのですか。あなたがたは、わたしのメッセージが聞こえないからです。

44 あなたがたは、あなたがたの父、つまり悪魔から出たのであり、その父の欲望を実行しようとしています。悪魔は初めから人殺しであり、その内には真理がないので、真理に立たなかったのです。悪魔が嘘を言う時、自分自身から出たことを言っています。なぜなら、悪魔は嘘つきであり、嘘そのものの父親だからです。

45 しかしわたしは真理を言うから、あなたがたはわたしを信じません。

46 あなたがたのうちの誰が、わたしを罪に定めますか。もしわたしが真理を言っているなら、わたしを信じない理由は何ですか。

47 **神**からの人は、**神**の言葉を聞きます。だから、あなたがたは聞き従わないのは、あなたがたは**神**からの者ではないからです。」

48 それで、ユダヤ人たちは答えて、イエスに言った。「あなたはサマリヤ人で、悪霊を持っていると、私たちは正にそう言っているではないか。」

49 イエスは答えられた。「わたしは悪霊を持っていませんが、わたしは自分の**父**を尊ぶのです。しかし、あなたが

たは、わたしを尊びません。
50 そして、わたし自身は、自分の栄光を求めていません。それを求め、裁かれる方がおられます。
51 まことに、まことに、あなたがたに言います。誰であれわたしの言葉を守れば、その人は決して永遠に死を見ることがありません。」
52 そのために、ユダヤ人たちは彼に言った。「あなたは悪霊を持っていることが今、分かった。アブラハムや預言者たちは死んだのに、あなたは、『誰であれわたしの言葉を守れば、その人は決して永遠に死を味わうことはありません。』と言っている。
53 あなたは、すでに死んでしまった私たちの父祖アブラハムより偉いのか。預言者たちも死んでしまった。あなたは、何様になろうとしているのか。」
54 イエスは答えられた。「もしわたしが栄光を自分のものとすれば、わたしの栄光はむなしいものです。わたしに栄光を下さる方は、あなたがたが自分たちの**神**だと言っている、わたしの**父**です。
55 しかし、あなたがたは、その方を知りませんでしたが、わたしはその方を知っています。そして、もしわたしがその方を知らないと言えば、あなたがたのように嘘つきになってしまいます。しかし、わたしはその方を知っており、その御言葉を守っているのです。
56 あなたがたの父アブラハムは、わたしの日を見るのを大いに楽しみにし、そして、彼は見て、喜んだのです。」
57 それで、ユダヤ人たちはイエスに言った。「あなたはまだ五十歳にもなっていないのに、アブラハムを見たのか。」
58 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。アブラハムが存在する前から、わたしはいます。」
59 それで、ユダヤ人たちは、イエスに投げつけるために、石を取り上げた。しかし、イエスは姿を隠し、群衆の中を通りぬけて神殿の敷地を出られた。このようにして立ち去って行かれた。

9

1 さて、イエスは道を過ぎ行く時、生まれつきの盲人の男に目を留められた。
2 そこで、イエスの弟子たちは、イエスに尋ねて言った。

「**ラビ**①よ、生まれつき盲目ということは、誰が罪を犯したのでしょうか、この男でしょうか、それともこの男の両親でしょうか。」

3 イエスは答えられた。「この人も、両親も罪を犯さなかったのです。しかし、これは**神**の御業が、彼に表わされるためです。

4 わたしは、わたしを遣わした方の御業を、昼の間に行なわなければなりません。誰も働くことのできない夜が来ます。

5 わたしは世にいる間は、世の光です。」

6 イエスはこれらのことを言われてから、地面につばを吐き、つばきで泥を作り、盲人の両目にその泥を塗られた。

7 そして、イエスは彼に言われた。「シロアムの池に行って、洗いなさい。」(シロアムとは、訳すると、「遣わされた」である。)ゆえに、彼は行って、洗い、目が見えるようになり、帰って来た。

8 そこで、近所の人たちと、以前その人が盲目であったのを見た人たちは言った。「これは、座って物乞いをしていた人ではありませんか。」

9 「これがあの男だ。」と言う人もいたし、「あの男に似ている人だ。」と言う人もいたが、本人は「ぼくです。」と言った。

10 それで、近所の人たちは彼に言った。「あなたの目は、どういうふうに開かれましたか。」

11 彼は答えて言った。「イエスという人が、泥を作って、ぼくの目に塗り、『シロアムの池に行って、洗いなさい』とぼくに言いました。それで、ぼくが行って洗ったら、見えるようになったのです。」

12 それから、彼らはその人に言った。「その人はどこにいますか。」彼は言った。「知りません。」

13 彼らは、以前盲目であった人を、パリサイ派の人たちの所へ連れて行った。

14 ところで、イエスが泥を作り、その人の目を開けられた日は、安息日であった。

15 それで、パリサイ派の人たちも、もう一度そ

---

2 ①ヘブライ語で、先生という意味。

の人にどういうふうに目が見えるようになったか、と尋ねた。その人は彼らに言った。「イエスはぼくの目に泥を塗りました。そしてぼくは洗いました。そして、見えているのです。」

16 すると、パリサイ派の中には、「安息日を守らないから、この者は**神**から来たのではありません。」と言う者たちもいたし、また「罪人である者が、どうしてこんな奇蹟ができるでしょうか。」と言う者たちもいた。そして、パリサイ派の人たちの間に、分裂が起こった。

17 彼らはまた盲人に言った。「お前は、あの人があなたの目を開けてくれたことに関して、あの人について何を言うか。」彼は言った。「あの方は預言者です。」

18 それで、ユダヤ人たちは、視力を回復した男の両親を呼ぶまで、盲目であったことと、見えるようになったことをこの人に関して信じなかった。

19 そこで、ユダヤ人たちは両親に尋ねて言った。「あなたがたが生まれつきの盲目であると言っているこの人は、あなたがたの息子ですか。では、彼はどうやって今見ているのですか。」

20 その人の両親は彼らに答えて言った。「これは私たちの息子で、生まれつきの盲目だったと知っています。

21 しかし、息子がどうやって今見えるのか、分かりません。また、誰が彼の目を開けたのかも、私たちは分かりません。息子は成人ですから、本人に尋ねてください。自分で自分のことは話します。」

22 彼の両親は、ユダヤ人たちを恐れていたから、このように言ったのである。なぜなら、ユダヤ人たちはもう既に、誰であれ、イエスはキリストであると言い表すならば、その者をシナゴーグから破門すると決定していたのである。

23 であるから、彼の両親は、「息子は成人ですから、本人に尋ねてください。」と言ったのである。

24 ゆえに、ユダヤ人たちは再び、盲目であった男を呼び、彼に言った。「**神**に栄光を帰しなさい。この男は罪人であることを、私たちは知っています。」

25 したがって、彼は答えて言った。「あの方が罪人かどうか、ぼくは知りません。一つだけ知っています。ぼくは盲目だったが、今は見えます。」

26 そこで、ユダヤ人たちはまた彼に言った。「あの者は

お前に何をしたのか。あの者はどうやってお前の目を開けたのか。」

27 彼はユダヤ人たちに答えた。「ぼくはもう既にあなたがたに話したが、聞き入れませんでした。何でもう一度聞きたいのですか。あなたがたもあの方の弟子になりたいのではないでしょうね。」

28 ゆえに、ユダヤ人たちは彼をののしって言った。「お前はあの者の弟子だが、私たちはモーセの弟子だ。

29 我々は、**神**がモーセにお話しになったと知っているが、この者がどこの者か知らない。」

30 その男は彼らに答えて言った。「どうやら、これにはすごいことがあります。あの方はぼくの目を開けてくださったのに、あの方がどこの方か、あなたがたは知らないということです。

31 しかし、ぼくたちは**神**が罪人たちに耳を傾けてくださらないことを知っています。しかし、もし誰でも**神**を礼拝する者であり、**神**のご意志を行なえば、**神**はその人に耳を傾けてくださいます。

32 この世が始まって以来、人が生まれつきの盲人の目を開けたなどということは、耳にしたことがありません。

33 もしこの方が**神**からでなかったのなら、何事も行なえなかったでしょう。」

34 ユダヤ人たちは彼に答えて言った。「お前はまったく罪そのものから生まれたのに、私たちを教えるのか。」そして、彼を追放した。

35 イエスは、ユダヤ人たちは彼を追放したことを聞かれた。そして、イエスは彼を探し出し、彼に言われた。「あなたは**神の子**を信じますか。」

36 彼は答えて言った。「その方はどなたですか。**主**よ、ぼくはその方を信じることができますように。」

37 そして、イエスは彼に言われた。「あなたはもう彼が見えました。そしてあなたと話しているのが、その人です。」

38 それで、彼は言い出した。「**主**よ、私は信じます。」そして、彼はイエスを礼拝した。

39 それからイエスは言われた。「わたしは裁きのためにこの世に来ました。それは、見えない者は見、見える者が盲人になるためです。」

40 そして、イエスと共にいたパリサイ派の何人かは、こ

の言葉を聞き、イエスに言った。「私たちも、盲目ではないでしょうね。」

41 イエスは彼らに言われた。「もしあなたがたが盲目であったなら、あなたがたには罪がなかったでしょう。しかし、今あなたがたは自分が見えると言っています。したがって、あなたがたの罪は残るのです。」

10

1 「まことに、まことに、わたしはあなたがたに言います。羊の囲いに門を通って入らずに、門以外の所から登って侵入する者は、どろぼうであり、強盗です。 **2** しかし、門を通って入る者は、羊たちの牧者です。 **3** 牧者のために門番は門を開け、羊たちは牧者の声を聞きます。そして彼は自分の羊たちを名前で呼び、羊たちを連れて出かけます。 **4** そして牧者は自分の羊たちを連れ出す時、羊の前を行きます。そして羊たちは彼の声を知っているので、牧者について行きます。 **5** しかし、羊たちは決して門の外の者について行かないで、むしろその者から逃げます。なぜなら、羊たちは門の外の者の声を知らないからです。」

6 イエスはこのたとえを彼らに話されたが、彼らはイエスの言われていることが理解できなかった。

7 であるから、イエスはもう一度彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしは羊たちの門です。 **8** わたしの前に来たすべての者は、泥棒で強盗です。しかし、羊たちは彼らに聞き従わなかったのです。 **9** わたしは門です。もし誰であれわたしを通して入れば、その者は救われます。そして、その者は出たり入ったりして、牧草を見つけます。 **10** 泥棒が来るのは、盗み、虐殺、破壊のためにほかならないのです。わたしは羊たちに命を持たせ、しかも羊たちがその命を溢れるばかりに持つために来たのです。 **11** わたしこそが善い牧者なのです。善い牧者は、羊のために自らの命を与えます。 **12** しかし、牧者ではなく、雇人である者、つまり羊の持ち主ではない者は、狼が来るのを見ると羊を置いて逃げてしまいます。それで、狼は羊たちを奪い去り、羊たちを散

らしてしまいます。

13 雇人は、雇人であって、羊たちのことを気にとめないから、逃げてしまいます。

14 わたしこそが善い牧者なので、自分の羊たちを知り、また自分の羊たちに知られています。

15 **父**がわたしを知っていると同じように、わたしも**父**を知っています。そして、わたしは自分の命を羊たちのために与えます。

16 そして、わたしはこの囲いの羊でないほかの羊たちを持っています。わたしは彼らをも連れて来なければなりません。そこで、彼らはわたしの声を聞きます。そして、一つの群れ、一人の牧者となります。

17 それゆえに、**父**はわたしを愛しています。なぜなら、わたしは、再び命を取り戻すことができるように、自分の命を与えるからです。

18 わたしから命を取る者は誰もいませんが、わたしは自ら命を投げ出しています。わたしは、投げ出す権威がありますし、再びそれを取り戻す権威もあります。わたしはこの命令をわたしの**父**からいただきました。」

19 それで、これらの言葉のゆえに、またユダヤ人の間に分裂が起こった。

20 それで、彼らの多くは言った。「彼の中に悪霊がいて彼は狂っている。何でやつの話を聞くのか。」

21 他の者たちは言った。「この言葉は、悪霊に占領された者の言葉ではない。悪霊は盲人の目を開けることができるか。」

22 さて、エルサレムの神殿の奉献の祭①があり、季節は冬であった。

23 そして、イエスは神殿の敷地内にあるソロモンの柱廊を歩いておられた。

24 そこで、ユダヤ人たちはイエスを囲み、彼に言った。「あなたはいつまで私たちを疑わせるのですか。もしあなたがキリストなら、私たちにはっきりと言ってください。」

25 イエスは彼らに答えられた。「わたしはあな

---

22 ① ハヌカー、神殿清め。

たがたに言いましたが、あなたがたは信じなかったのです。わたしが**父**の名によって行なう業は、わたしのことを証言しています。

26 しかし、あなたがたに言ったように、あなたがたはわたしの羊ではないから、信じません。

27 わたしの羊たちはわたしの声を聞きます。そして、わたしは彼らを知っています。それで、羊たちはわたしについて来ます。

28 そして、わたしは羊たちに永遠の命を与えます。そして、彼らは決して滅びず、誰もわたしの手から彼らを奪い去ることはありません。

29 わたしに羊たちを与えてくださったわたしの**父**は、何ものよりも偉大です。そして、誰もわたしの**父**の手から奪い去ることができません。

30 わたしと**父**とは、一つなのです。」

31 そこで、ユダヤ人たちは、イエスを投石刑にしようと、再び石を取り上げた。

32 イエスは彼らに答えられた。「わたしはわたしの**父**からの多くの良い業を、あなたがたに見せました。これらの業のどれのために、わたしを投石刑にしようとするのですか。」

33 ユダヤ人たちはイエスに答えて言った。「私たちは良い業のためにあなたを投石刑にしようとしているのではなく、冒涜のためだ。そして、あなたは人でありながら、自らを**神**にしているからだ。」

34 イエスは彼らに答えられた。「あなたがたの律法に、『わたしは言った。あなたがたは神々である。』と書いてはいないのですか。

35 あの方が、**神**の御言葉が与えられた人たちを、『神々』と呼んだなら、（そして、聖書は破棄されることは不可能である）、

36 そして、**父**が聖別し、世に遣わされた者が、『わたしは**神の子**です。』と言ったからと言って、『お前は冒涜をしている。』とあなたがたは言うのですか。

37 もしわたしが自分の**父**の業を行なっていないなら、わたしを信じてはいけません。

38 しかし、もしわたしが行なっているなら、わたしを信じなくても、その業を信じなさい。それは、**父**がわたしの中におられ、わたしが**父**の中にいることをあなたがたが理

解し、信じるためです。」

39 それで彼らはもう一度イエスを捕らえようとしたが、イエスは彼らの手から去って行かれた。

40 そして、イエスはまたヨハネが初めて浸礼を授けた所、ヨルダン川の対岸に行かれ、そこに滞在された。

41 そして、大勢の人たちはイエスの所へ行って、言った。「ヨハネは何の奇蹟をも行なわなかったが、ヨハネがこの方について言ったことは、すべて、本当でした。」

42 そして、この地で大勢の人々はイエスを信じた。

11

1 さて、マリヤと彼女の姉妹マルタの村ベタニヤの出身で、ラザロという一人の病人がいた。

2 マリヤは**主**に香油を塗り、**主**の足を自分の髪の毛で拭いたその女であり、病気のラザロはこの女の兄弟であった。

3 それで、ラザロの姉妹たちは、「**主**よ、見てください。あなたの大事な人が病気です。」と言うようにイエスに人を送った。

4 しかし、イエスはこれを聞いて彼に言われた。「この病気は死に至るのではなく、**神**の栄光のためであり、また**神の子**がそれを通して栄光を受けるためです。」

5 さて、イエスはマルタとその姉妹とラザロを愛しておられた。

6 しかしながら、ラザロが病気であると聞いた時、イエスはご自分が滞在していた所にさらに二日間とどまられた。

7 それからその後、彼は弟子たちに言われた。「もう一度ユダヤに行きましょう。」

8 弟子たちは彼に言った。「**ラビ**①よ、ユダヤ人たちは、つい最近あなたを投石刑にしようとしていたのに、あなたはもう一度あそこに行かれるのですか。」

9 イエスは答えられた。「昼間は十二時間でな

---

8 ① ヘブライ語で、先生という意味。

いのですか。だれでも、昼間歩けば、その人はこの世の光を見ているから、つまずきません。**10** しかし、人は夜中に歩けば、彼の中に光がないため、その人はつまずきます。」**11** イエスはこれらのことを話された後、弟子たちに言われた。「わたしたちの友人ラザロは眠っていますが、わたしは彼を起こしに行きます。」**12** それで、イエスの弟子たちは**主**に言った。「**主**よ、もし彼が眠っているなら、全快します。」**13** しかし、イエスはラザロの死について話しておられたのであるが、弟子たちは、イエスは、休息のための眠りについて言っていると思った。**14** そこで、その時イエスは彼らにはっきりと言われた。「ラザロは死んだのです。**15** そして、わたしがそこにいなかったことを、あなたがたのために喜んでいます。あなたがたが信じるためです。ともかく彼の所に行きましょう。」**16** そうしたら、デドモ①と呼ばれるトマスは、仲間の弟子たちに言った。「イエスといっしょに死ぬために、私たちも行きましょう。」

17 さて、イエスが来てみると、ラザロはすでに四日間、墓の中に横たわっていたことを知らされた。**18** それで、ベタニヤはエルサレムに近く、十五スタディオン①ほど離れていた。**19** そして、ユダヤ人は大勢、その兄弟のことでマルタとマリヤを慰めるために、彼女たちの回りにいる人たちの所に来ていた。**20** それでマルタは、イエスが来られると聞いてすぐ彼を出迎えに行った。しかし、マリヤは家の中で座っていた。**21** その時、マルタはイエスに言った。「**主**よ、あなたがここにおられたなら、私の兄弟は死にはしませんでしたのに。**22** しかし、あなたが**神**に願えば、何であれ**神**があなたになして下さることを、私は今でも知っています。」**23** イエスは彼女に言われた。「あなたの兄弟は復活します。」

---

16 ① 双子という意味。

18 ① 三キロメートル（一スタディオンは百八十五メートル）。

24 マルタは彼に言った。「最後の日の復活の時に、彼が復活することを、私は知っています。」 **25** イエスは彼女に言われた。「わたしは復活であり、命です。わたしを信じる者は、死んだとしても生きます。 **26** そして、誰であれ生きていて、わたしを信じる者は、決して永遠に死ぬことはありません。あなたはこのことを信じますか。」 **27** 彼女はイエスに言った。「はい、**主**よ、あなたが唯一のキリストであり、世に来られることになっている**神の御子息**であられることを信じています。」 **28** マルタはこれらのことを言ってから、帰って、自分の姉妹マリヤを、目立たないように呼んで言った。「**先生**は近くまでいらしていて、あなたを呼んでいらっしゃいます。」 **29** マリヤはそれを聞くとすぐ、すばやく立ち上がり、イエスの所に行った。 **30** しかし、イエスはまだ村に入っておられず、マルタが迎えに来た場所におられた。 **31** さて、マリヤと共に家にいて、彼女を慰めていたユダヤ人たちは、マリヤが急に立ち上がり、家を出たのを見て、「墓の所で泣くために、墓に向かった。」と言いながら、彼女について行った。 **32** それから、マリヤはイエスがおられる所に行き、イエスを見ると、イエスの足元に平伏して、彼に言った。「**主**よ、あなたがここにおられたら、私の兄弟は死ななかったでしょう。」 **33** それで、イエスは泣き悲しんでいるマリヤと、共に泣き悲しんでいるユダヤ人たちを見ると、霊の中でうなり、心を乱された。 **34** そして言われた。「彼をどこにねかしましたか。」彼らはイエスに言った。「**主**よ、来てご覧ください。」 **35** イエスは涙を流された。 **36** それから、ユダヤ人たちは言った。「イエスはラザロをどんなに愛していたかをご覧なさい。」 **37** そして、ユダヤ人の中には、「盲目の人の目を開けたこの方が、この男が死なないように、何かできなかったのでしょうか。」と言う者たちがいた。 **38** それから、イエスはまた、ご自分の中でうなりながら墓に行かれた。墓は洞窟であり、石がそれに立てかけてあった。

39 イエスは言われた。「石を取りなさい。」故人の姉妹マルタは彼に言った。「**主**よ、四日目ですから、もうすでに臭くなっております。」

40 イエスは彼女に言われた。「信じれば、あなたは**神**の栄光を見るとわたしはあなたに言わなかったのですか。」

41 その時、彼らは故人が横になっている所から石を取り除いた。そしてイエスは目を上げて言われた。「**父**よ、わたしを聞き入れてくださったことを、あなたに感謝します。

42 それで、あなたがいつもわたしを聞き入れてくださることをわたしは知っていました。しかし、わたしのまわりに立っている人々のために、あなたがわたしを遣わされたことを彼らが信じるために、わたしは言ったのです。」

43 イエスはこれらのことを言われてから、大声で叫ばれた。「ラザロよ、出て来なさい。」

44 そして、死んでいた者は、死人の服装で手も足も縛られ、顔は布で巻かれたままで出て来た。イエスは彼らに言われた。「彼をほどいてやり、帰らせてやりなさい。」

45 それから、マリヤの所に来て、イエスのなさったことを見た大勢のユダヤ人はイエスを信じた。

46 しかし、彼らの中のある人たちは、パリサイ派の人たちの所に去って行って、イエスがなさったことを彼らに告げた。

47 それで、大祭司たちとパリサイ派の人たちは、議会を召集し、言った。「我々は何かやっていますか。というのは、この男はたくさんの奇蹟を行なっているのです。

48 もしこの男をこのままほっておけば、すべての者は彼を信じます。そして我々の場も国家も、ローマ人たちは来て取り上げてしまいます。」

49 しかし、パリサイ派の一人で、その年の大祭司であったカヤパという人が彼らに言った。「あなたがたはまったく何も理解していないし、

50 さらに、あなたがたは、国全体が滅びないで、一人の人が国民のために死ぬことは、私たちにとって益となるとも考えていません。」

51 しかし、彼はこれを自ら言ったのではなく、彼はその年の大祭司であったので、イエスはこの国家のために死のうとしている、と彼は預言したのである。

52 そして、この国家のためだけではなく、広く散らされ

た**神**の子どもを一つに集めるためなのである。

53 それで、彼らはその日から、イエスを死刑にしようと、全員で協議し始めた。

54 それで、イエスはもはやユダヤ人の中を公然とは歩かず、その所を立ち去り、荒野の近くにあった田舎のエフライムという町に行かれた。そして、ご自分の弟子たちと共にそこで過ごされた。

55 そして、ユダヤ人の過越祭が近く、大勢の人たちは、自らを清めるために、過越祭の前に、地方からエルサレムに上って行った。

56 ゆえに、人々はイエスを探し、そして神殿の敷地に立って互いに、「皆さん、どう思いますか。まさかあの方が祭に来るとは思っていないでしょうね。」と話し合っていた。

57 さて、もしイエスのいる所を知っている人がいれば、イエスを逮捕するから知らせよ、と大祭司たちとパリサイ派の人たちは、命令を出してあった。

12

1 それから、イエスは過越祭の六日前にベタニヤに行かれた。ご自分が死人の中から復活させたラザロがそこにいた。

2 それで、人々はそこでイエスのために夕食を作った。マルタは給仕をしていたが、ラザロはイエスと共に卓についた者たちの一人であった。

3 その時、マリヤは非常に高価で純粋なナルドの香油を一リトラ①取り、イエスの足に注ぎ、彼の足を自分の髪の毛で拭いた。それで、家は香油の香りで満たされた。

4 そこで、後にイエスを裏切る者であり、イエスの弟子の一人であった、シモンの息子ユダ・イスカリオテが言った。

5 「なぜこの香油を三百デナリ①で売り、貧しい人たちに与えなかったのですか。」

6 彼がこれを言った理由は、貧しい人たちに関心があったからではなく、泥棒でありながら、財布を持ち、その中に入れる物を担当していたか

---

3 ① 三百二十七．五グラム。

5 ① 一デナリは一日の生活費に相当する金額。

らである。

7 そこでイエスは言われた。「彼女をそのままにしておきなさい。わたしの埋葬の日のために、これを取って置いたのです。

8 貧しい人々はいつもあなたがたと共にいますが、わたしはずっとあなたがたと共にいるわけではないからです。」

9 その時、ユダヤ人の大勢の群衆は、イエスがそこにおられたことを知っていた。そして、ただイエスがいるというだけではなく、またイエスが死人の中から復活させたラザロをも見に来た。

10 しかし、大祭司たちは、ラザロをも殺そうと企んだ。

11 なぜなら、ラザロのゆえに、大勢のユダヤ人は去り、イエスを信じたからである。

12 次の日に、祭に来ていた大勢の群衆は、イエスがエルサレムに来られると聞いて、

13 やしの木の枝を取って、イエスを迎えに出て行った。そして、「ホサナよ。**主**の御名で来られるイスラエルの**王**が、祝福されますように。」と彼らは叫んだ。

14 そして、書いてあるとおり、イエスは若いロバを見つけそれに乗られた。

15 「シオンの娘よ、恐れるな。見よ、あなたの**王**は、ロバの子に座して来られる。」

16 それで、イエスの弟子たちは最初、これらのことを理解しなかった。しかし、イエスが栄光を受けられた時に、彼らはこれらのことがイエスについて書かれたことであり、また人たちはこれらのことをイエスに対して行なったことを思い出した。

17 その時、イエスがラザロを墓の中から呼び出され、彼を死人の中から復活させた時に、イエスと共にいた群衆は証をしていた。

18 このゆえにも、群衆がイエスに会いに行ったのは、イエスがこの奇蹟を行なわれたことを聞いたからである。

19 そうして、パリサイ派の人たちは互いに言った。「あなたがたは何も効果のないことをしていることが分かっているのか。見なさい。全世界はあの人の後について行ってしまった。」

20 さて、祭で礼拝するために上って来た人々の中に、何人かのギリシャ人がいた。

21 ところが、この人たちは、ガリラヤのベッサイダ出身のピリポの所へ行って、「ご主人様、私たちは、イエスにお目にかかりたいのです。」と彼に願って言った。**22** ピリポは行ってアンデレに伝えた。そしてまたアンデレとピリポはイエスに伝えた。**23** そして、イエスは彼らに答えて言われた。「人の**子**が栄光を受ける時が来ています。**24** まことに、まことに、あなたがたに言います。土に落ちた麦の種一粒が死ななければ、一つのままです。しかし、死ねば、多くの実を結びます。**25** 自分の命を愛している者は、それを失ってしまいます。そして、この世で自分の命を憎んでいる者は、その命を保ち、永遠の命に至るのです。**26** 誰であれわたしに仕えるのであれば、わたしについて来なさい。そして、わたしのいる所に、わたしに仕える人もそこにいます。そして、誰であれわたしに仕えるのであれば、**父**はその人を誉めてくださいます。**27** 今わたしのたましいは困難な状態です。そしてわたしは何と言ったら良いでしょうか。『**父**よ、わたしをこの時から救ってください。』と言おうか。しかし、このためにわたしはこの時に来ました。**28** **父**よ、あなたの御名に栄光を与えてください。」その時、天からの声がした。「すでに栄光を与えた。また、改めて栄光を与える。」**29** ところが、近くに立っていてこれを聞いた群衆は、「雷が鳴った。」と言った。「御使いは彼に話した。」と言う者たちもいた。**30** イエスは答えて言われた。「この声が臨んだのは、わたしのためではなく、あなたがたのためです。**31** 今はこの世の裁きなのです。今はこの世の支配者は外へ投げ出されます。**32** それで、もしわたしこそが地から上げられるなら、すべての人を自分の所に引き寄せます。」**33** イエスはこれを言われ、ご自分はどのような死に方で死に向かうかと、知らせたのである。**34** 群衆はイエスに答えた。「私たちは律法から、キリストは永遠に留まると聞きました。なのに、あなたはどういうふうにして、『人の**子**は、上げられなければならない。』

と言いますか。この『人の**子**』とは、誰のことですか。」

35 それで、イエスは彼らに言われた。「まだしばらくの間、光はあなたがたと共にいます。暗やみがあなたがたを襲いかからないように、あなたがたに光がいる間に歩みなさい。それに、暗やみの中を歩む者は、自分がどこに行くか分かりません。

36 光がいる間に、光の子たちになるように、光を信じなさい。」イエスはこれらのことを言われ、去って行き、彼らから姿を隠された。

37 しかし、イエスは彼らの前でこれほど多くの奇蹟をなさったのに、彼らはイエスを信じなかった。

38 それは、預言者イザヤのこう言った言葉が成就されるためである。「**主**よ、誰が私たちの報告を信じたか。**主**の御腕が誰に啓示されたか。」

39 そのゆえに、彼らは信じることができなかった。イザヤはさらに言ったからである。

40 「**神**は彼らの目を見えなくされ、彼らの心をかたくなにされた。それは、彼らは目で見ず、心で理解せず、回心せず、そしてわたしが彼らを治すことがないようにするためである。」

41 イザヤがこれらのことを言ったのは、イエスの栄光を見た時、イエスについて話した。

42 しかしながら、それにもかかわらず、支配者たちの中にも大勢の人たちはイエスを信じた。しかし、パリサイ派の人たちのせいで、シナゴーグから破門されないように、彼らはイエスを言い表さなかった。

43 なぜなら、**神**の誉れよりも、人間の誉れを愛したからである。

44 それで、イエスは叫んで言われた。「わたしを信じる者は、わたしを信じているのではなく、わたしを遣わされた方を信じているのです。

45 そして、わたしを見る者は、わたしを遣わされた方を見ています。

46 わたしは、世に来た光です。それは、誰であれわたしを信じる者が、暗やみにとどまらないためです。

47 そして、もし誰であれわたしの言葉を聞いても、信じないならば、わたし自身はその者を裁きません。世を裁くためにではなく、世を救うためにわたしは来たからです。

48 わたしを拒否し、わたしの言葉を受け入れない者には、

その者を裁くものがあります。わたしが話した言葉、それが最後の日にその者を裁きます。

49 なぜなら、わたしを遣わされた**父**、その方がわたしに何を言うべきか、そして何を話すべきか、命令を与えられたので、わたしが自ら話したのではありません。

50 また、**父**の命令は永遠の命であると、わたしは知っています。したがって、わたしの話すことは何でも、**父**がわたしに言われたとおりにわたしは話すのです。」

13

1 さて、過越祭の前に、イエスはこの世から去り、**父**の所に行くべきご自分の時が来たことを知り、今まで愛してきたこの世にいるご自分の者たちを、極限まで愛された。

2 そして、夕食が終わった後、悪魔はもうすでにシモンの息子ユダ・イスカリオテの心に、イエスを裏切ることの思いを入れ込んでいたが、

3 イエスは**御父**がすべてのことをご自分の手に与えられたこと、それとご自分は**神**から来て、**神**の所に行くことを知っておられ、

4 夕食から立ち上がって、上着を側に置き、手ぬぐいを取り、自ら腰につけられた。

5 それからイエスは、水をたらいに注ぎ、弟子たちの足を洗い始め、そして腰につけてあった手ぬぐいで拭き始められた。

6 ところが、イエスがシモン・ペテロの所に来られると、「**主**よ、あなたが私の足をお洗いになるのですか。」とペテロはイエスに言った。

7 イエスはペテロに答えて言われた。「あなたは今はわたしの行なうことを理解していませんが、後で分かってきます。」

8 ペテロはイエスに言った。「あなたは決して永遠に私の足をお洗いになることがありません。」イエスは彼に答えられた。「もしあなたを洗わなければ、あなたはわたしと何の関係もありません。」

9 シモン・ペテロはイエスに言った。「**主**よ、私の足だけではなく、私の手も頭もどうぞ。」

10 イエスはペテロに言われた。「水浴した者は、洗う必要があるのは足だけです。その者は全身きれいです。それで、あなたがたはきれいですが、全員ではありません。」

11 イエスはご自分を裏切る者は誰であるかを知っておら

れた。それで、「あなたがたは全員がきれいではありません。」と言われたのである。

12 さて、イエスは弟子たちの足を洗われ、ご自分の服を取り、再び席についた時、彼らに言われた。「わたしがあなたがたにしたことが分かりましたか。

13 あなたがたはわたしのことを『**先生**』とも『**主**』とも呼んでいます。そう言うのはよいのです。わたしはそのとおりだからです。

14 ゆえに、あなたがたの**主**であり、**先生**であるわたしが、あなたがたの足を洗ったなら、あなたがたもお互いの足を洗うべきです。

15 なぜなら、わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、模範を示したからです。

16 まことに、まことに、あなたがたに言います。僕は主人より偉大ではないし、使徒は自分を遣わした人よりも大きくはありません。

17 もしあなたがたがこれらのことを知っていて、これらのことを実行すれば、幸いです。

18 わたしは、あなたがた全員のことを話しているのではありません。わたし自身が自分で選んだその者たちを知っています。しかし、『わたしと共にパンを食べる者が、わたしに対して彼のかかとをあげた。』という聖書が成就するためです。

19 わたしはそれが現実のものとなる前に、今あなたがたに言います。それが現実のものとなった時に、あなたがたが、わたしが『わたしはある』①ことを信じるためです。

20 まことに、まことに、あなたがたに言います。誰であれ、わたしが遣わす者を受け入れれば、その人はわたしを受け入れているのです。そして、わたしを受け入れる人は、わたしを遣わした方を受け入れているのです。」

21 イエスはこれらのことを言われてから、霊がかきたてられ、証をして言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。あなたがたの中の一人が、わたしを裏切ります。」

19
①「わたしはある」とは、神の呼称の一つである。

22 それから、イエスは誰のことを言われたのであろうかと不審に思った弟子たちは、互いに顔を見合わせた。

23 さて、イエスの弟子の一人で、イエスが愛していた弟子が、イエスの御胸にもたれて座っていた。

24 それで、シモン・ペテロは、イエスは誰のことを話しておられるのかと尋ねるように、彼に合図した。

25 ゆえに、イエスの御胸に寄りかかって座っていた人は、イエスに言った。「**主**よ、それは誰ですか。」

26 イエスは返事された。「わたしがパン一切れを浸し、それを手渡す者です。」そして、イエスはパン切れを浸し、シモンの息子ユダ・イスカリオテに与えられた。

27 そして、一切れのパンの後、サタンもその者の中に入った。それから、イエスはその者に言われた。「お前がやることを、早くしなさい。」

28 しかし、卓についている①人たちは、イエスがユダにこれを言われたことの意図が誰も分からなかった。

29 そのために、ユダが財布を持っていたから、「祭のために、わたしたちが必要としている物を買いなさい。」とか、貧しい人たちに与える物のことをイエスが彼に言われたのかと思った者たちもいた。

30 それで、ユダはパン切れを受け取るやいなや、出て行った。夜中であった。

31 それで、彼が出て行った時、イエスは言われた。「今、人の**子**は栄光を受け、**神**は人の**子**において栄光を受けられました。

32 **神**が人の**子**において栄光を受けられたのなら、**神**もご自分において彼に栄光を与えられます。そして、直ちに**神**は彼に栄光を与えられます。

33 子どもたちよ、わたしはまだしばらくの間あなたがたと共にいます。あなたがたはわたしを捜します。そして、わたしがユダヤ人たちに言った

28

① 当時のイスラエルでは、低いテーブルに横になって食事をする習慣であった。

とおりに、『あなたがたは、わたしの行く所には来ることができません。』とあなたがたにも、今そう言います。

34 互いに愛し合いなさい、という新しい命令をわたしはあなたがたに与えます。あなたがたも互いに愛し合うように、わたしがそのようにあなたがたを愛しました。

35 このことで、もしあなたがたが互いに対して愛があれば、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人は分かります。」

36 シモン・ペテロはイエスに言った。「主よ、あなたはどこに行かれますか。」イエスは彼に答えられた。「わたしの行く所に、あなたは今はついて来られません。しかし、あなたは後でわたしについて来ます。」

37 ペテロはイエスに言った。「主よ、なぜ私は今あなたについて行けないのですか。あなたのためなら、私は命を投げ出します。」

38 イエスは彼に答えられた。「わたしのためなら、自分の命を投げ出しますか。まことに、まことに、あなたに言います。あなたが三回わたしを否定し終わるまで、雄鶏は決して鳴きません。

14

1 あなたがたの心を乱してはいけません。あなたがたは**神**を信じています。わたしをも信じ続けなさい。

2 わたしの**父**の家には、住居がたくさんあります。もしそうでなければ、わたしはあなたがたにそう教えたでしょう。わたしは、あなたがたのために、場所を準備しに行きます。

3 そして、わたしが行って、あなたがたのために場所を準備したら、わたしは再び来て、あなたがたをわたしの場所に受け入れます。それは、わたしがいる所に、あなたがたもいるためです。

4 そして、わたしが行く所を、あなたがたは知っています。またその道を知っています。」

5 トマスはイエスに言った。「**主**よ、私たちは、あなたがどこへ行かれるかを知りません。また、その道をどうしたら知ることができますか。」

6 イエスは彼に言われた。「わたしこそがその道であり、真理であり、命なのです。わたしを通してではなければ、誰も**父**の所に行く者はいません。

7 もしあなたがたはわたしを知っていたならば、わたし

の**父**をも知っていたでしょう。また、これからは、あなたがたは**父**を知っています、また見たことがあります。」

8 ピリポはイエスに言った。「**主**よ、私たちにその**父親**を見せてください。私たちにとって、それで十分です。」

9 イエスは彼に言われた。「こんなに長い間、わたしはあなたがたと共にいるのに、ピリポよ、わたしを知らないのですか。わたしを見た者は、**父**をも見たのです。それなのに、あなたはいったいどうやって、『私たちにその**父親**を見せてください。』と言うのですか。

10 わたしは**父**の中におり、**父**はわたしの中におられることを信じませんか。わたしがあなたがたに話す言葉は、わたしが自分自身から話しているのではないし、業を行なっているのは、わたしの中に住んでおられる**父**なのです。

11 わたしは**父**の中におり、**父**はわたしの中におられる、このわたしを信じなさい。あるいは、業そのものでわたしを信じなさい。

12 まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしを信じるその者は、わたしのするこれらの業を彼も行ないます。また、わたしは**父**の所に行きますから、その者の行なう業は、これらの業を越えます。

13 そして、**父**が**子**によって栄光を受けるため、わたしの名によってあなたがたの願うことは何でも、わたしはそれを行ないます。

14 何でもわたしの名において、あなたがたが願うなら、わたしはそれを行ないます。

15 わたしを愛しているのであれば、わたしの命令を守りなさい。

16 そして、わたしは**父**に祈ります。それで、**父**はあなたがたにもう一人の**慰め主**を与えます。それは、その方が永遠にあなたがたと共に住んでくださるためです。

17 その方とは、世は見ていないし、知らないので、彼を受け入れることができない真理の**御霊**なのです。しかし、この方はあなたがたと共に住んでいて、そしてあなたがたの中にいることになるから、あなたがたはこの方を知っています。

18 わたしはあなたがたを孤児のままにしておきません。あなたがたの所に戻って来ます。

19 しばらくすると、もはや世はわたしの姿を見ることが

ありませんが、あなたがたはわたしの姿を見ます。わたしは生きているので、あなたがたも生きるようになります。

20 その日に、わたしがわたしの**父**の中にいて、そしてあなたがたはわたしの中にいて、わたしはあなたがたの中にいることを、あなたがたは分かります。

21 わたしの命令を持って、それらを守る者こそが、わたしを愛している者です。そして、わたしを愛している者は、わたしの**父**に愛されます。わたしもその人を愛し、その人にわたしを現します。」

22 イスカリオテでない方のユダが、彼に言った。「**主**よ、ご自分を私たちに現されるが、世には現されない理由は何ですか。」

23 イエスは答えて彼に言われた。「もし誰であれわたしを愛しているなら、その人はわたしの言葉を守ります。また、わたしの**父**は、その人を愛されます。そして、わたしたちはその人の所に行き、その人と共にわたしたちの住まいをつくります。

24 わたしを愛さない者は、わたしの言葉を守りません。また、あなたがたが聞いている言葉は、わたしの言葉ではなく、わたしを遣わされた**父**の言葉です。

25 わたしは、まだあなたがたと共にとどまっている間に、これらのことをあなたがたにもうすでに話しました。

26 そして、**父**がわたしの名によって遣わす**慰め主**、すなわち**聖霊**は、あなたがたにすべてのことを教えてくださいます。また、あなたがたにわたしが言ったすべての言葉を、その方は思い出させてくださいます。

27 わたしはあなたがたに平安を置いて行きます。わたしの平安を与えます。わたしの与え方は、世の与え方ではありません。あなたがたの心を乱してはいけない、また怖がってもいけません。

28 『わたしは去って行き、またあなたがたの所に戻る』とわたしがあなたがたに言ったことをあなたがたは聞いています。もしあなたがたはわたしを愛していたなら、**父**の所にわたしは行くと言ったのだから、あなたがたは喜んだはずです。なぜなら、わたしの**父**は、わたしより偉大だからです。

29 そして、それが起こる前に、あなたがたが信じるために、前もって、わたしはあなたがたに今言っておきました。

30 わたしはもう、あなたがたと共に多く話すことはあり

ません。この世の支配者は来ますが、その者はわたしに何の関係もないからです。

31 しかし、わたしが**父**を愛していること、それと**父**がわたしに与えた命令をそのまま実行していることを、世が知るためです。さあ、立ちなさい。ここを去りましょう。」

15

1 「わたしこそが真のぶどうの木であり、わたしの**父**がその農夫です。

2 わたしにつながっているが実を結ばない枝を、**父**は取り去られます。そして、実を結んでいるすべての枝は、ますます豊かに実を結ばせるために、**父**は剪定します。

3 あなたがたは、わたしが話した言葉を通して、すでに清くなっています。

4 わたしの中にとどまりなさい。そうしたら、わたしはあなたがたの中にとどまります。枝は、もしぶどうの木にとどまらなければ、自ら実を結ぶことができないように、あなたがたもわたしの中にとどまらなければ、実を結べません。

5 わたしはぶどうの木であり、あなたがたは枝です。わたしの中にとどまる人、そしてわたしが中にとどまる人こそが、豊かな実を結びます。というのも、あなたがたはわたしなしでは、何もできないからです。

6 もし人はわたしの中にとどまっていなければ、その人は枝として投げ捨てられ、枯れてしまいます。そして、人たちはそれらを集め、火の中へ投げ入れ、それらの枝は燃やされてしまいます。

7 もしあなたがたがわたしの中にとどまっていて、わたしの言葉があなたがたの中にとどまっていれば、あなたがたが望むことを願ったら、何であれそうなります。

8 わたしの**父**はこれ、すなわちあなたがたが豊かな実を結ぶことによって、栄光を受けられます。そしてあなたがたはわたしの弟子となります。

9 **父**がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛の中にとどまり続けなさい。

10 もしあなたがたはわたしの命令を守るなら、わたしの愛の中にとどまります。同じように、わたしはわたしの**父**の命令を守ってきているので、**父**の愛の中にとどまっているのです。

11 これらのことをあなたがたに言ったのは、わたしの喜

びがあなたがたの中にとどまり、あなたがたの喜びが満ち溢れるためです。

12 わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。これこそがわたしの命令です。

13 人が自分の友人たちのために、自分の命を投げ出す以上の大いなる愛を、持っている人は誰もいません。

14 もしわたしがあなたがたに命じるどのようなことでも行なえば、あなたがたはわたしの友人なのです。

15 わたしはもはやあなたがたを僕とは呼びません。僕は主人が何をするか分からないからです。しかし、わたしはあなたがたを友人と呼んでいます。わたしの**父**から聞いたすべてのことを、わたしはあなたがたに教えたからです。

16 あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選びました。そして、あなたがたは行って、実を結び、その実が残るために、わたしはあなたがたを任命しました。これは、あなたがたがわたしの名によって**父**に願うものは何であれ、**父**はあなたがたに与えてくださるためです。

17 あなたがたが互いに愛し合うために、わたしがこれらのことをあなたがたに命じています。

18 世があなたがたを憎んでいるなら、その以前から、世はわたしを憎んでいたということを、あなたがたは知っています。

19 もしあなたがたが世に属している者であったなら、世は世に属している者を愛したでしょう。しかし、あなたがたは世に属している者ではないので、わたしはあなたがたを世から選びました。それゆえに、世はあなたがたを憎んでいます。

20 『僕は主人より偉大ではない』とわたしがあなたがたに言った言葉を覚えておきなさい。もし彼らがわたしを迫害したなら、あなたがたをも迫害します。もし彼らがわたしの言葉を守ったなら、あなたがたの言葉をも守ってくれます。

21 しかし、わたしを遣わされた方を彼らは知らないので、わたしの名のゆえにこれらすべてのことをあなたがたにしてしまいます。

22 もしわたしが来て話さなかったならば、彼らに罪はなかったが、今となっては、彼らは自分たちの罪の弁解の余地がありません。

23 わたしを憎んでいる者は、わたしの**父**をも憎んでいます。

24 もし他の誰もしたことのない業を、彼らの間でわたしがしなかったならば、彼らには罪はありませんでした。しかし今、彼らはわたしをも、わたしの**父**をも見てしまい、憎むにいたったのです。**25** しかし、『彼らは訳もなくわたしを憎んだ』と彼らの律法に書いてある言葉が成就するためです。**26** しかし、**父**の所からあなたがたにわたしが遣わす**慰め主**、つまり、**父**から出て来られる真理の**御霊**が来る時、その方はわたしについて証します。**27** そして、あなたがたは初めからわたしと共にいるのだから、あなたがたも証することになります。

16

1 あなたがたがつまずかないように、わたしはこれらのことを話したのです。**2** 彼らはあなたがたをシナゴーグから破門します。しかも、あなたがたを殺す者は誰でも、**神**に奉仕をしている者と思ってしまう、という時が来ています。**3** このようなことをあなたがたにするのは、彼らが**父**をもわたしをも知らなかったからです。**4** しかし、わたしがこれらのことを、あなたがたに言ったのは、その時が来ると、わたしの言ったこれらのことを、あなたがたが思い出すためです。最初にこれらのことを言わなかったのは、わたしはあなたがたと共にいたからです。**5** そして今、わたしは、わたしを遣わした方のもとに行きますが、『どこへ行かれるのですか。』とあなたがたの中でわたしに尋ねている者はいません。**6** むしろ、わたしがこれらのことをあなたがたに話したので、悲しみがあなたがたの心を満たしているのです。**7** しかし、わたしはあなたがたに真実を教えます。わたしが去って行くことは、あなたがたにとって有益です。なぜなら、もしわたしが去って行かなければ、**慰め主**はあなたがたの所に来ません。しかし、わたしが離れて行けば、わたしはその方をあなたがたに遣わします。**8** そして、その方が来る時には、罪について、義について、裁きについて世に認めさせます。**9** 罪についてとは、人たちはわたしを信じていないからです。**10** そして、義についてとは、わたしの**父**のもとにわたし

が行って、あなたがたはもうわたしの姿を見ないからです。

11 そして、裁きについてとは、この世のあの支配者なる者①はすでに裁かれているからです。

12 わたしはまだあなたがたに話すことは多くありますが、今のあなたがたは耐えることができません。

13 しかし彼、つまり真理の**御霊**が来る時には、あなたがたをすべての真理に導いてくださいます。なぜなら、その方はご自分から話すのではなく、聞いていることをすべて話し、そして来るべきことをあなたがたに知らせてくださるからです。

14 その方はわたしに栄光をくださいます。なぜなら、彼はわたしのものを受け入れ、あなたがたにそのことを知らせてくださるからです。

15 **父**が所有されるものすべてはわたしのものです。ゆえに、その方はわたしのものを受け入れ、あなたがたにそのことを知らせてくださるとわたしは言ったのです。

16 もうしばらくすると、あなたがたはわたしの姿を見ず、そしてまたしばらくすると、あなたがたはわたしの姿を見ますが、それはわたしが**父**のもとに行くからです。」

17 そこで、イエスの弟子たちのある者は互いに言った。「『もうしばらくすると、あなたがたはわたしの姿を見ず、そしてしばらくすると、あなたがたはわたしの姿を見ます。』そして、『それはわたしが**父**のもとに行くからです。』とイエスが言われるこのことは、何のことでしょう。」

18 そこで、彼らは言った。「イエスが言われるこの言葉、『もうしばらく』とは何ですか。彼の言われたことが、私たちには分かりません。」

19 それで、イエスは弟子たちが質問したがっているのを知って、彼らに言われた。「『もうしばらくすると、あなたがたはわたしの姿を見ず、そしてまたしばらくすると、あなたがたはわたしの姿を見ます。』とわたしが言ったこのことについて、互いに尋ねているのですか。

---

11 ① 世界の支配者は悪魔である。

20 まことに、まことに、わたしはあなたがたに言っておきます。あなたがたは泣いたり嘆いたりしますが、世は喜びます。そして、あなたがたは悲しみますが、あなたがたの悲しみは喜びに変わります。**21** 女はお産をする時、時間が来ると、陣痛があり子が生まれるが、一人の人間が世に生まれてきた喜びのため、もうその苦難を記憶していません。**22** そして、こういうわけで、あなたがたは今悲しみがあります。しかし、わたしはもう一度あなたがたの姿を見ます。そして、あなたがたの心は喜び、あなたがたの喜びを、あなたがたから取る者はいません。**23** そして、その日にはあなたがたはわたしに何も尋ねません。まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしの名によって**父**に願うものは何でも、**父**はあなたがたにくださいます。**24** 以前あなたがたはわたしの名によって何も願いませんでした。願いなさい。そして喜びが満ち溢れるために、あなたがたは受け取るのです。**25** わたしはこれらのことをあなたがたに、たとえによって話してきましたが、もうたとえによって話さず、**父**についてはっきりと、あなたがたに告げる時が来ます。**26** その日に、あなたがたはわたしの名によって願います。そして、あなたがたのことについて、わたしが**父**に尋ねるとは、あなたがたに言っていません。**27** というのは、**父**ご自身があなたがたを愛しておられます。なぜなら、あなたがたがわたしを愛していて、わたしが**神**から来たと信じているからです。**28** わたしは**父**から出て来て、世の中に入って来ました。わたしはまた世を去り、**父**のもとに行きます。」**29** イエスの弟子たちは彼に言った。「ああ、今あなたはもうたとえで話さずに、はっきりと話しておられます。**30** 今、あなたがすべてのことをご存じで、誰もあなたに尋ねる必要がないことが、私たちは分かっています。このことで、あなたが**神**から出て来られたことを信じています。」**31** イエスは彼らに答えられた。「今はあなたがたは信じていますか。**32** 見よ、あなたがたは一人一人、各々の所に散らされ、わたしを置き去りにする時が来る、いや、もう来ています。

しかし、**父**がわたしと共におられるから、わたしは一人ではありません。

33 これらのことをわたしがあなたがたに話したのは、わたしの中にいて平安を持つためです。この世の中では、あなたがたは苦しみを受けますが、すでにわたしは世を打ち破りました。勇気を出しなさい。」

17

1 イエスはこれらのことを語り終えてから、目を天に向け言われた。「**父**よ、時が来ました。あなたの**子**があなたに栄光を現すように、あなたの**子**に栄光を現してください。

2 同様に、あなたが彼にくださったすべての肉なる者たちに、永遠の命を与えるようにと、あなたはすべての肉体の者の上に、権威を**子**に与えました。

3 唯一真の**神**であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストを彼らが知るということ、これこそが永遠の命です。

4 地上でわたしはあなたに栄光を現しました。あなたがわたしに与えられた、実行せよという使命をやり遂げました。

5 そして今、**父**よ、世が存在する前から、わたしがあなたと並んで①持っていた栄光で、ご自身と並んでわたしに栄光を与えてください。

6 わたしは、世の中からあなたが与えてくださった者たちに、あなたの御名を明らかにしました。その者たちはあなたのものでしたが、あなたはわたしにくださいました。そして、彼らはあなたの御言葉を守り続けてきました。

7 あなたがわたしにくださったものすべては、あなたからのものであると彼らは、今は知っています。

8 なぜなら、わたしはあなたがわたしにくださった言葉を彼らに与えたからです。そして彼らは自らその言葉を受け入れ、わたしがあなたから出て来たことを本当に知りました。また、あなたがわたしを遣わされたことを彼らは信じました。

5
① 父なる**神**と**御子息**は、永遠から永遠まで、永遠の唯一の**神**である。この箇所は三位一体の教理を教える。**父**なる**神**と**御子息**イエスは同等である。

9 わたしは彼らのために祈っています。わたしは世のために祈っていないが、あなたがわたしにくださった者たちのために祈っています。彼らはあなたのものだからです。

10 そして、わたしの者はすべてあなたのものであり、あなたの者はすべてわたしのものです。わたしは彼らによって栄光を受けました。

11 そして、わたしはもう長くは世にいませんが、この者たちは世にいます。また、わたしはあなたのもとに行きます。**聖なる父**よ、あなたの御名によって、わたしとあなたが一つであるように、わたしにくださったこの者たちも一つであるように、彼らを守ってください。

12 わたしは彼らと共に世にいた時、わたしはあなたの御名によって彼らを守りました。わたしは、あなたがわたしにくださった者たちを守りました。そして、聖書が成就されるように、滅びの子以外、彼らのうちから一人の者も失われていません。

13 それで今わたしはあなたのもとに行きます。そして、彼らがわたしの喜びを持って、彼ら自身が満ちあふれるように、わたしはこれらのことを世で話しています。

14 わたしは彼らにあなたの御言葉を与えました。そして、わたしが世の者でないと同様に、彼らも世の者でないので、世は彼らを憎みました。

15 あなたが彼らを世から取り去ると祈らずに、あなたが彼らを邪悪なものから守ってくださるようと、わたしは願っています。

16 わたしがこの世からの者でないように、彼らもこの世の者ではありません。

17 あなたの真理によって、彼らを聖別してください。あなたの御言葉は真理です。

18 あなたがわたしを世の中に遣わされたように、わたしも彼らを世の中に遣わしました。

19 そして、彼らも真理によって聖別されるために、わたしは彼らのためわたし自身を聖別します。

20 わたしはこの者たちのためだけではなく、彼らの言葉を通してわたしを信じる者たちのためにも願っています。

21 **父**よ、これは、あなたがわたしの中におられ、わたしがあなたの中にいると同様に、彼ら全員が一つになるためです。そしてあなたがわたしを派遣されたことを世が信じ

るために、彼らもわたしたちの中にいて一つになるためです。

22 そして、わたしたちが一つであるように、彼らも一つになるために、あなたがわたしにくださった栄光を、わたしは彼らに与えました。

23 彼らは完全な一つのものになるために、そしてあなたがわたしを遣わされたことと、あなたがわたしを愛したように、あなたは彼らをも愛したことを世が知るために、わたしは彼らの中に、同時にあなたはわたしの中にもおられます。

24 **父**よ、わたしにくださった者たちが、あなたがわたしにくださったわたしの栄光を見るために、わたしがいる所に彼らもわたしと共にいることを望んでいます。なぜなら、あなたは世の創造の前から、わたしを愛したからです。

25 正義の**父**よ、世はあなたを知りませんでした。しかし、わたしはあなたを知りました。そしてこの者たちは、あなたがわたしを遣わされたことを知りました。

26 そして、あなたがわたしを愛した愛は彼らの中にあり、またわたしも彼らの中にいるために、わたしは彼らにあなたの御名を明らかにしました、そしてこれからも明らかにします。」

18

1 イエスはこれらのことを言われ、弟子たちと共に出て行き、ケデロン小川を渡り、そこにあった園に、彼と弟子たちは入られた。

2 そしてそこは、イエスがご自分の弟子たちとよく集まった所であったから、イエスを裏切ったユダも知っていた所であった。

3 その時、ユダは、大祭司たちとパリサイ派の人たちから構成された分遣隊と下役人たちを連れて、たいまつや灯り、それに武器を持ってそこに来た。

4 それで、イエスは、すべてご自分に起ることを知りながら、進み出て、彼らに言われた。「だれを捜しているのですか。」

5 彼らはイエスに答えた。「ナザレ人のイエス。」イエスは彼らに言われた。「わたしです。」そして、イエスを裏切ったユダも、彼らと共に立っていた。

6 その時、すなわち、イエスが彼らに、「わたしです。」と言われた時、彼らは後ろに下がって、地面に倒れた。

7 それで、イエスは再び彼らに尋ねられた。「だれを捜しているのですか。」そして、彼らは言った。「ナザレ人のイエス。」

8 イエスは答えられた。「『わたしです。』とあなたがたに言いました。それゆえに、もしわたしを捜しているのなら、この人たちが立ち去ることを許しなさい。」

9 これは、「あなたがわたしにくださった人たちを、彼らのうちの一人も失わなかった。」とイエスが言われた御言葉が成就されるためであった。

10 その時、剣を持っていたシモン・ペテロが、剣を抜き、大祭司の僕を打ち、彼の右耳を切り落とした。その僕の名前はマルコスであった。

11 それで、イエスはペテロに言われた。「あなたの剣をさやに収めなさい。わたしは、**父**がわたしにくださったカップを飲むのは当然ではありませんか。」

12 そこで、分遣隊と千人隊長とユダヤ人の下役人たちは、イエスを逮捕して、彼を縛った。

13 まず、イエスをアンナスの所へ連れて行った。彼はその年の大祭司カヤパの義理の父であったからである。

14 そして、一人の男が国家のために死ぬことは好都合である、とユダヤ人たちに勧めたのは、このカヤパであった。

15 そして、シモン・ペテロと他の弟子一人は、イエスについて行っていた。その弟子は大祭司の知人であって、イエスと共に大祭司の中庭に入った。

16 しかし、ペテロは外で門の所に立っていた。したがって、大祭司の知人であるその弟子は出て行って、門番の女に話し、ペテロを連れて入った。

17 そこで、門番である若い女奴隷はペテロに言った。「あなたもあの人の弟子の一人ではありませんか。」彼は言った。「私は違う。」

18 そして、寒かったので、僕たちや下役人たちは炭火をおこし、そこに立っていた。そして、彼らは暖をとっていた。ペテロも彼らと共に立って、暖をとっていた。

19 その時、大祭司はイエスの弟子について、そして彼の教理について、イエスに尋問した。

20 イエスは大祭司に答えられた。「わたしはみんなの前で世に話しました。ユダヤ人がいつも集まるシナゴーグや神殿の敷地で、わたしはいつも教えました。そして、わた

しは人に隠れて話したことはありません。

21 なぜわたしに尋問しますか。わたしが何を言ったかを、わたしの聞き手である彼らに尋問しなさい。見よ、わたしが彼らに何を言ったのか、彼らは知っています。」

22 そして、イエスはこれらのことを言われると、そばに立っていた一人の下役人が、イエスを平手で打ち、言った。「お前はこんなふうに、大祭司に答えるのか。」

23 イエスは彼に答えられた。「もし、わたしの言い方が悪かったとしたら、その悪かったことについて証明しなさい。しかし、もし良かったなら、あなたはなぜわたしをたたくのですか。」

24 ところが、アンナスはイエスを縛ったままで、大祭司カヤパの所に送った。

25 一方、シモン・ペテロは立って、暖をとっていた。そこで、彼らはペテロに言った。「あなたもあの人の弟子の一人ではないか。」ペテロはそれを否定して言った。「私は違う。」

26 大祭司の僕の一人で、ペテロが耳を切り落とした者の親戚が言った。「私があの人といっしょにいるあなたを、園で見なかったとでも言うのですか。」

27 そこでまた、ペテロは否定した。そのとたん、雄鶏が鳴いた。

28 それから、彼らはイエスをカヤパの所から官邸に連れて行った。早朝であった。そして、汚れずに過越祭の食事ができるように、彼ら自身は官邸に入らなかった。

29 それで、ピラトは彼らの所に出て行って、言った。「この男に対してどのような訴えをするというのか。」

30 彼らはピラトに答えて言った。「もしこの男が悪人でなかったら、あなたに引き渡さなかったでしょう。」

31 ついで、ピラトは彼らに言った。「この男を連れて行って、お前たち自身の律法によって裁け。」それで、ユダヤ人たちはピラトに言った。「誰をも死刑にすることは、私たちには非合法なのです。」

32 これは、ご自分がどの死に方で死ぬかと、イエスが示して言われた言葉が成就するためであった。

33 そこで、ピラトはまた官邸に入り、イエスを呼び、言った。「あなたがユダヤ人の王なのか。」

34 イエスは彼に答えられた。「あなたはこのことを自ら

言っているのですか、または、わたしに関して他人があなたに言ったのですか。」

35 ピラトは答えた。「私はユダヤ人だとでもいうのか。あなたの同国人と大祭司たちがあなたを私に引き渡したのだ。あなたは何をしたのか。」

36 イエスは答えられた。「わたしの王国は、この世からのものではありません。もしわたしの王国がこの世からのものであったならば、わたしの下役人たちは、わたしがユダヤ人に引き渡されないように戦ったのです。しかし、わたしの王国は現在、ここからのものではありません。」

37 したがって、ピラトはイエスに言った。「では、あなたは王なのか。」イエスは答えられた。「あなたはわたしが王であると言います。わたしはこのため、すなわち真理について証するために生まれ、この目的のために世に来ました。すべて真理に属する者は、わたしの声を聞きます。」

38 ピラトはイエスに言った。「真理とは何か。」そして、ピラトはこう言って、ユダヤ人たちの所へ再び出て、彼らに言った。「私は、この男に何の犯罪も認めない。

39 しかし、お前たちには過越祭に、一人をお前たちに放免してもらう習慣がある。したがって、ユダヤ人の王をお前たちに放免することを私に要求するのか。」

40 そうすると、彼らは皆、再び叫んで言った。「あいつではなく、バラバを。」ところで、バラバは強盗であった。

19

1 そこで、ピラトはその時イエスを捕らえさせ、イエスを鞭で打たせた。

2 そして、兵士たちはいばらで冠を編み、イエスの頭上にかぶらせた。そして、彼らはイエスに紫の上着を着せた。

3 そうして、兵士たちは、「おめでとう、ユダヤ人の王よ。」と言って、イエスを平手で打った。

4 そこで、ピラトはまた出て行き、彼らに言った。「見よ、私はこの人に何の不法行為も認め得ないので、お前たちにわかるように、お前たちの前に連れて来た。」

5 それで、イエスはいばらの冠をかぶり、紫の上着を着たまま出て来られた。そしてピラトは彼らに言った。「見よ、この男だ。」

6 そこで、その時、大祭司たちや下役人たちはイエスを見ると、叫んで言った。「十字架につけろ、十字架につけろ。」

ピラトは彼らに言った。「お前たちがイエスを連れて行き、十字架につけよ。なぜなら、私はこの人に不法行為を認め得ないからだ。」

7 ユダヤ人たちは彼に答えた。「私たちには律法があります。そして、私たちの律法によれば、彼は死ぬべき者です。それは、自らを**神の御子息**にしたからです。」

8 それで、ピラトはその言葉を聞いたとたん、ますます恐れた。

9 そして、彼はまた官邸に入り、イエスに言った。「あなたはどこから来たのですか。」しかし、イエスは彼に返事をされなかった。

10 そうすると、ピラトは彼に言った。「私に話さないのか。私は、あなたを十字架につける権威もあれば、放免する権威もあるのを知らないのか。」

11 イエスは答えられた。「もしそれが上からあなたに与えられたのでなければ、わたしに対して何の権威も持つことはありませんでした。したがって、わたしをあなたに引き渡した者の方こそ、もっと重い罪があります。」

12 この時から、ピラトはイエスを放免する道を探したが、ユダヤ人たちは叫んで言った。「この男を放免すれば、あなたはカイザル様の味方ではありません。すべて自分を王にする者は、カイザル様に反対を唱える者です。」

13 それで、ピラトはその言葉を聞くと、イエスを連れ出し、「敷石」と言われる（ヘブライ語でガバタという）場所で裁判の座についた。

14 そして、当日は過越祭の準備の日であり、第六時間目ごろ①であった。そこで、ピラトはユダヤ人たちに言った。「見なさい。お前たちの**王**だ！」

15 しかし、彼らは叫んだ。「連れて行け、連れて行け。彼を十字架につけろ。」ピラトは彼らに言った。「お前たちの**王**を私に十字架につけよと言うのか。」大祭司たちは答えた。「私たちには、カイザル様以外の王はいません。」

14
① 正午ごろ。

16 そこで、十字架につけるために、ピラトはイエスを彼ら①に引き渡すと、彼らはイエスを受け取り、連れて行った。 **17** そして、イエスはご自分の十字架を背負って、ヘブライ語でゴルゴタ、すなわち「どくろの地」と言われている所へ向かわれた。 **18** その場所で、彼らはイエスを十字架につけたが、イエスと共に他の二人を両側に、イエスを真ん中にした。 **19** そして、ピラトは罪状書を書き、十字架にかけた。そして、そこには、「ナザレのイエス、ユダヤ人の**王**」と書かれてあった。 **20** イエスが十字架につけられた場所は町の近くにあり、そして、ヘブライ語、ギリシャ語、ラテン語で書かれてあったので、大勢のユダヤ人はこの罪状書を読んだ。 **21** それで、ユダヤ人の大祭司たちはピラトに言った。「『ユダヤ人の**王**』と書かないで、『自分はユダヤ人の**王**であると彼は言った。』と書いてください。」 **22** ピラトは答えた。「私が書いたことは、私が書いたのだ。」 **23** そこで、兵士たちはイエスを十字架につけると、イエスの衣服を取り、四つの部分に分け、兵士たちはそれぞれを一つずつ分けた。イエスの内側の衣もあったが、内側の衣には、縫い目がなく、上からすべてが一つに織った物であった。 **24** そこで、彼らは互いに言った。「私たちはこれを裂かないで、誰の物にするか、くじで決めよう。」これは、「彼らはわたしの衣服を自分たちの間に分け、わたしの上着のためにくじを引いた。」という聖書が成就するためであった。ゆえに、兵士たちはこれらのことを行なったのである。 **25** さて、イエスの母と、彼の母の姉妹であるクロパの妻マリヤと、マグダラのマリヤは、イエスの十字架のそばに立っていた。 **26** それで、イエスはご自分の母とご自分が愛された弟子がそばに立っているのを見て、ご自分の

---

16 ① ローマ帝国の兵士を指す。二三節を参考。

母に言われた。「婦人よ、見なさい、あなたの息子を。」

27 それから、彼はその弟子に言われた。「見なさい、あなたの母を。」そして、その時から、その弟子はマリヤを自分の家に受け入れた。

28 この後、イエスはすべてのことはもう行なわれたとわかって、聖書が成就するために言われた。「わたしは渇く。」

29 そこで、酢①で満たされた器が置いてあったので、彼らは海綿をその酢で満たし、ヒソプの枝につけて、イエスの口もとへ差し出した。

30 そこで、イエスは酢を受けられて、言われた。「全うした。」そして、頭を下げられ、霊を渡された。

31 さて、準備の日であったから、安息日に十字架の上に遺体が残らないように（その安息日が大いなる日であったから）、ユダヤ人たちは、足を彼らに折ってもらい、そして彼らを取り下ろしてくれるようにとピラトに願った。

32 それで、兵士たちが来て、最初の男と、イエスと共に十字架につけられたもう一人の男の足を折った。

33 しかし、彼らがイエスの所に来た時、イエスはもう死亡しているのを見て、彼の足は折らなかった。

34 しかし、兵士たちの一人が槍でイエスのわき腹を刺したとたん、血と水が出て来た。

35 そして、それを見た者は証言をしてきて、かつ彼の証言は真実である。その者は真実を言うということを知っている。その理由は、あなたがたが信じるためである。

36 なぜなら、「彼の骨は一本も折られることがない。」という聖書が成就されるように、これらのことは行なわれたからである。

37 そして、また聖書の別の箇所が言う。「彼らは自分たちが刺した人を見る。」

38 この後、ユダヤ人たちへの恐れのゆえにひそかにイエスの弟子であったアリマタヤ出身の

29
① 酸っぱいぶどうの果汁で、当時ローマの兵士の飲み物であった。

ヨセフは、イエスの遺体を引き取ることを、ピラトに願った。そしてピラトは許した。それで、ヨセフは来て、イエスの遺体を引き取った。

39 そして、かつて夜中にイエスの所に来たニコデモも、没薬とアロエの混ぜ物を百リットラぐらい①持って来た。

40 それから、彼らはイエスの遺体を受け取り、それを香料と共に亜麻布で巻いた。ユダヤ人の葬りの習慣に従ったのである。

41 さて、イエスが十字架につけられた所に園があった。そして、園には、まだ誰も置かれたことのない、新しい岩穴の墓があった。

42 したがって、ユダヤ人の準備の日のために、彼らはイエスをそこに置いた。その岩穴の墓は近かったからである。

20

1 週の最初の日の朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリヤは岩穴の墓に行き、石が墓から取り外されているのを見た。

2 そこで、マリヤは走って、シモン・ペテロとイエスが愛されたもう一人の弟子の所に行って、彼らに言った。「彼らは主を墓から取り出してしまいました。彼らが主をどこに置いたのか、私たちにもわからないのです。」

3 それで、ペテロとそのもう一人の弟子は出て行き、墓に向かっていた。

4 そこで、二人は共に走り出したが、もう一人の弟子が、ペテロより速く走って、先に墓に着いた。

5 そして、かがんで見ると、亜麻布が置いてあった。しかし、彼は中に入らなかった。

6 そこで、シモン・ペテロが彼について来て、墓の中に入り、置いてあった亜麻布を見た。

7 そして、イエスの頭部に置いてあった布は、亜麻布と共に置かれていたのではなく、別の所に巻かれたまま、置いてあった。

8 そこでその時、先に墓に着いたもう一人の弟子も墓に入った。そして、彼は見て、信じた。

9 なぜなら、彼らは、イエスが死人たちの中か

---

39 ① 三十キログラムぐらい。

ら復活しなければならないという聖句をまだ理解していなかったからである。

10 それで、弟子たちはまた自分たちの所に去って行った。

11 しかし、マリヤは墓の外に立って泣いていた。そこで、彼女は泣きながら、身をかがめて墓の中を見た。

12 そして、イエスの遺体を横たえていた所に、彼女は、白い服装をした二人の御使いが座っているのを見た。一人は頭の所に、もう一人は足の所にいた。

13 そして、彼らはマリヤに言った。「ご婦人よ、なぜ泣いているのですか。」マリヤは彼らに言った。「あの人たちは私の**主**を持ち去り、彼らは**主**をどこに置いたのかはわからないからです。」

14 マリヤはこれを言い終わり、後ろを振り返って、イエスが立っているのを見たが、イエスであると気づかなかった。

15 イエスはマリヤに言われた。「婦人よ、なぜ泣いているのか。だれを捜しているのか。」彼女は、イエスが庭師かと思って、彼に言った。「だんな様、もしあなたはあの方をここから運び去ったなら、どこに置いたかを私に教えてください。そうしたら、私があの方を取りに行きます。」

16 イエスは女に言われた。「マリヤよ。」彼女は振り向き、イエスに言った。「**ラボニ**」、すなわち「**先生**」という意味である。

17 イエスはマリヤに言われた。「わたしはまだ**父**の所に昇っていないから、わたしに触れてはいけません。しかし、わたしの兄弟たちの所に行って、『わたしは、わたしの**父**とあなたがたの**父**に、またわたしの**神**とあなたがたの**神**の所に昇ります。』と彼らに言いなさい。」

18 マグダラのマリヤは行って、自分が**主**を見たこと、そして**主**はこれらのことを自分に話されたと、弟子たちに言った。

19 さて、その日は週の最初の日の夜であった。ユダヤ人への恐れのため、弟子たちは集まっていた所のドアが閉じておいたが、イエスは入って来られ、彼らの中央に立ち、彼らに言われた。「あなたがたに、平安がありますように。」

20 そして、イエスはこう言われると、彼らにご自分の手と脇をお見せになった。それで、**主**を見て弟子たちは喜んだ。

21 それで、イエスはまた彼らに言われた。「あなたがたに平安がありますように。**父**がわたしを遣わしたように、

わたしもあなたがたを遣わします。」

22 そして、イエスはこのことを言われ、弟子たちに息を吹きかけ、彼らに言われた。「**聖霊**を受け入れなさい。

23 あなたがたが赦すと、誰の罪にしても、その人たちの罪は赦されます。あなたがたがそのままにしておくと、誰でもその人たちの罪はそのまま残ってしまいます。」

24 しかし、十二人の一人で、デドモ①と呼ばれるトマスは、イエスが来られた時に彼らと共にいなかった。

25 それで、他の弟子たちは彼に言った。「私たちは**主**を見たのだ。」するとトマスは彼らに言った。「**主**の御手の釘の跡を、もし見なければ、また指を釘の跡に入れなければ、また手を**主**の脇に差し入れなければ、私は決して信じない。」

26 そして、八日後①、イエスの弟子たちはまた屋内にいた。そして、トマスも共にいた。ドアは閉じてあったが、イエスは来られ、中央に立ち、言われた。「あなたがたに平安がありますように。」

27 それからイエスはトマスに言われた。「あなたの指をここまでおき、わたしの両手を見なさい。そして、あなたの手を伸ばし、わたしの脇に入れなさい。そして、信仰のない人にならないで、信仰のある人になりなさい。」

28 それで、トマスは答えて、イエスに言った。「私の**主**、私の**神**。」

29 イエスは彼に言われた。「トマスよ、あなたはわたしを見たので、信じたが、見ないでも信じる人たちは祝福されているのです。」

30 さて、イエスはこのほかにも、ご自分の弟子たちの前で多くのしるしを確かに行なわれた。それらはこの本に書かれていない。

31 しかし、これらのことが書かれてあるのは、イエスがキリストであり、**神の御子息**であることをあなたがたが信じるように、また信じた上で、あなたがたが命を持つよ

---

24 ① 双子という意味。

26 ① 当時の表現で、一週間を指す。

うになるためである。

21

1 これらのことの後、イエスはテベリヤの海で弟子たちに再びご自分を示された。そして、ご自身を現されたのはこのような方法であった。

2 シモン・ペテロと、デドモと呼ばれるトマスと、ガリラヤのカナ出身のナタナエルと、ゼベダイの息子たちと、イエスの他の弟子二人が共にいた。

3 シモン・ペテロは彼らに言った。「私は漁に行く。」彼らはペテロに言った。「私たちもあなたと一緒に行く。」彼らは出て行って、すぐ船に乗り込んだ。そして、その夜は、捕ったものは何もなかった。

4 さて、すでに夜が明けてから、イエスは岸に立っておられた。しかし、それがイエスであると、弟子たちは分からなかった。

5 そこで、イエスは彼らに言われた。「子らよ、食べられそうな魚は何かありますか。」彼らは答えた。「ありません。」

6 それで、イエスは彼らに言われた。「網を船の右側に投げなさい。そこであなたがたは魚を見つけます。」それで、網を投げると、おびただしい魚で、もう網を引き上げることができなかった。

7 ゆえに、イエスが愛されたあの弟子がペテロに言った。「主です。」それで、シモン・ペテロは、主であると聞いて、裸であったので、上着を身に付け、湖に飛び込んだ。

8 しかし、他の弟子たちは、魚の入った網を引きながら小舟で来た。なぜなら、およそ距離は二百ペーキュス①ぐらいで、陸から遠くなかったからである。

9 そこで彼らは陸に上がったら、そこに炭火があり、その上にのせた魚があり、そしてパンがあるのが見えた。

10 イエスは彼らに言われた。「今捕った魚を少し持って来なさい。」

---

8 ① 百メートル。一ペーキュスは、四五センチぐらいである。

11 シモン・ペテロは上がって来て、網を陸の上に引っ張り上げた。網は大きな魚でいっぱいで、百五十三匹いた。このように多かったが、網はさけなかった。**12** イエスは彼らに言われた。「来て、朝食を食べなさい。」**主**であると知っていたので、弟子たちは誰も、「あなたは誰ですか。」と尋ねることはあえてしなかったのである。**13** それから、イエスは来て、パンを取り、彼らに与え、また同様に魚もお与えになった。**14** イエスが死人の中から復活された後、ご自分の弟子たちに自らを示されたのは、これがすでに三度目である。

15 さて、彼らが朝食を食べ終わった時、イエスはシモン・ペテロに言われた。「ヨナの息子シモンよ、これらのものよりわたしを愛していますか。」彼はイエスに言った。「はい、**主**よ、私があなたのことが大好きであることをあなたはご存知です。」イエスは彼に言われた。「わたしの子羊たちに食事をさせなさい。」**16** 二度目に、イエスはまたペテロに言われた。「ヨナの息子シモンよ、わたしを愛していますか。」彼はイエスに言った。「はい、**主**よ、私があなたのことが大好きであることを、あなたはご存知です。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊たちを飼いなさい。」**17** 三度目、イエスはペテロに言われた。「ヨナの息子シモンよ、わたしのことが大好きですか。」イエスは彼に、「わたしのことが大好きですか。」と三度目に言われたので、ペテロは悲しんだ。そして、ペテロは**主**に言った。「**主**よ、あなたはすべてご存知です。私があなたのことが大好きであることをご存知です。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊たちに食事をさせなさい。**18** まことに、まことに、あなたに言います。あなたがもっと若かった時は、あなたは自分で服を着て、望む所へ歩いて行きました。しかし、あなたは歳を取ると、自分の手を差し出すようになり、そして、他人があなたに服を着せ、あなたの望んでいない所へ連れて行きます。」**19** イエスはこれを言われたのは、ペテロがどういう死によって、**神**に栄光を捧げるかを示すためであった。そして、イエスはこれを話されてから、ペテロに言われた。「わたしに従いなさい。」

20 すると、ペテロは振り向いて、イエスが愛された一人

の弟子がついて来るのを見た。それはまた、夕食でイエスの御胸に寄りかかって座って、「主よ、誰があなたを裏切る者ですか。」とイエスに尋ねた者であった。

21 その者を見て、ペテロはイエスに言った。「主よ、あの者は何を？」

22 イエスはペテロに言われた。「もしわたしが、あの者がわたしが来るまで残ると決めるとしても、それがあなたにどうしたというのか。あなたはわたしに従いなさい。」

23 それで、あの弟子は死なないと言うこの言葉は、兄弟たちの間に広がった。しかし、イエスは彼に、「あの人は死なない。」と言われたのではなく、「もしわたしは、あの者がわたしが来るまで残ると決めるとしても、それがあなたにどうしたというのか。」と言われたのである。

24 この弟子こそが、これらのことについて証をして、そしてこれらのことを書いたのである。そして、彼の証は真実であることを、私たちは知っている。

25 しかし、イエスが行なわれたことは、他にもたくさんある。それらの一つ一つ、もし書かれたとすれば、世界でさえ、その書かれた本を収める余地はない、と私は思う。アーメン。

使徒の働き

1

1 テオピロよ、すべてイエスの行ない始め、及び教え始められたことを、私は以前に記録した。**2** イエスが**聖霊**を通して、ご自分が選ばれた使徒たちに命令を与えた後、上げられる日までであった。

3 イエスは、苦しみの後、多くの確かな証拠によって、生きていることを示されてご自分を使徒たちに現された。イエスは、四十日間使徒たちに見られ、**神**の王国のことについて説かれた。

4 そして、使徒たちと集まり、エルサレムから離れず、**父**の約束を待てと命じられた。「約束とは、あなたがたがわたしから聞いたあの約束です。」と、イエスは言われた。

5 「なぜなら、ヨハネは間違いなく水で浸礼①を授けたが、あなたがたはこれからそれほど日数の経たないうちに、**聖霊**によって浸されます。」

6 そこで、使徒たちは共に集まった時、イエスに聞いて言った。「**主**よ、この時、イスラエル王国を昔に戻してくださいますか。」

7 しかし、イエスは彼らに言われた。「**父**は時、季節を自らの権威においています。あなたがたの知るところではありません。

8 しかし、**聖霊**があなたがたの上に来られた時、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレムにも、ユダヤとサマリヤのすべてに、地球の果てまで、あなたがたは私の証人となります。」

9 さて、これらのことを言われた後、使徒たちが見ている間に、イエスは上げられ、雲はイエスを受け入れ、彼らの視界から消えられた。

10 そして、イエスが昇天されると、彼らは空をしっかり見上げている時、見よ、白い服の二人の男が、使徒たちの脇に立っていた。

11 そして、二人は言った。「ガリラヤ人の男たち、あなたがたはなぜ立って天を見つめているのか。天に上げられたこの同じイエスは、あなたがたが見た、上げられたと同様の方法で、また来られる。」

12 それから、使徒たちは、エルサレムの近くにあるオリーブと呼ばれる山からエルサレムに

---

5 ① ギリシャ語の動詞 baptizo（バプティゾ）の意味は、「浸す、漬ける、沈める」である。（「新約聖書ギリシャ語小辞典」、織田昭編、58ページ）

帰った。これは安息日の旅程である。

13 そして、使徒たちは中に入り、上の部屋にのぼった。そこには、ペテロとヤコブとヨハネとアンデレ、ピリポとトマス、バルトロマイとマタイ、アルパヨの息子ヤコブと熱心党員シモンとヤコブの息子ユダが泊まっていた。

14 この人たちはみんな、女たち、イエスの母マリヤ、イエスの兄弟たちと共に、心を一つにして、祈りと願いを続けていた。

15 そして、その日々、ペテロはその弟子たち（名前から想像すると、合わせて百二十ぐらい）の間に立って、言った。

16 「男たち、兄弟たちよ。イエスを逮捕した者たちの手引となったユダについて、**聖霊**が、前もってダビデの口を通して言われた、この御言葉は、成就されなければならなかったのです。

17 ユダは私たちと共に数えられ、この奉仕の役わりを得たからです。

18 それで、この男は不正の報酬で畑を買い、真っ逆さまに堕ち、真中で砕け、内臓はすべて飛び出しました。

19 そして、これはエルサレムに住むみんなに知られました。それで、その畑は彼らの言葉で、アケレダマ、つまり、血の畑と呼ばれています。

20 なぜなら、『彼の住まいは荒れ果てた所にさせ、誰もそこに住まないようにさせよ。』そして、『彼の職務は、別の者に取らさせよ。』と詩篇の書に書いてあります。

21 したがって、**主**イエスが行き来された間、私たちといつも共にいた男たちの間から、

22 つまり、ヨハネのバプテスマから、イエスが私たちから上げられたその日まで、この人たちの一人は、私たちと共にイエスの復活の証人になるべきです。」

23 そこて、ユストとも言われる、バルサバと呼ばれるヨセフと、マッテヤという二人を彼らは立てた。

24 そして、みんなは祈り、言いました。「すべての人の心をご存じのあなた、**主**よ、この二人のどちらを選ばれたかを、お示しください。

25 ユダが自分の場所に行けるように、不正を犯して放棄したこの奉仕の務めと使徒の職務を、その人はユダの役わりを受けるためです。」

26 それで、彼らはくじを投げると、くじはマッテヤに落ちました。それで、マッテヤは十一人の使徒と共に承認された。

2

1 さて、五旬節の日が満ちた時、弟子たちは心を一

つにして、同じ場所にいた。
2 すると、突然天から、恐ろしく吹く風のような音がして、それは、みんなが座っている家全体を満たした。
3 それから、炎のようなものが分裂した舌のように現れ、一人一人の上に座った。
4 すると、全員、**聖霊**に満たされ、話できるように、**御霊**が与えた言語に応じて、他の諸々の言語で話しだした。
5 そして、天の下のすべての国々から、ユダヤの信仰心厚い男たちが来て、エルサレムに住んでいた。
6 この音がして、群衆が集まって来た。みんなは怪しみ、戸惑った。弟子たちが各自の言葉で話すのを聞いたからである。
7 それで、人々はみんな驚き不思議に思い、互いに言った。「見よ。話しているこの人たちはみんな、ガリラヤ人ではないのですか。
8 それで、私たちが生まれた所の言葉で、私たちは聞いているのはなぜですか。
9 パルテヤ人とメジヤ人とエラム人、またメソポタミヤとユダヤとカパドキヤとポントとアジア①に住んでいる人たち、
10 フルギヤとパンフリヤ、エジプトとクレネに近いリビヤ地方などに住んでいる人たち、また滞在中のローマからのユダヤ人も改宗者も、
11 クレテ人もアラビヤ人も、私たちみんな、**神**のすばらしい働きを私たち自身の言語で彼らが語っているのを聞いています。」
12 それで、人々はみな驚き、訳が分からず、「これはいったいどうなっているんだ。」と互いに言い合っていた。
13 他の人たちは馬鹿にして言った。「あの者たちは葡萄ジュースで満たされたのだ。」
14 しかし、十一人と共に立っていたペテロは、声を高くし、彼らに宣言した。「ユダヤの男たち、そして、エルサレムに住んでいるすべての男たちよ、あなたがたに知って欲しいのです。私の言葉を聞いてください。
15 あなたがたが想像するように、この人たちは酔ってはいません。今は一日の第三時①だからです。
16 しかし、これは預言者ヨエルを通して説かれ

---

9 ① ローマ帝国の一つの州。

15 ① 午前九時。

たことです。

17 **神**は言われます。『最後の日々にこうなる。わたしはすべての肉の上に私の霊から注ぐ。そして、あなたがたの息子たちと娘たちは預言し、あなたがたの若い男たちは幻を見、あなたがたの老人たちは夢を見る。

18 そして、その日々にわたしは自らの霊をわたしの男どれいと女どれいの上に注ぐ。すると彼らは預言する。

19 そして、わたしは上の天で不思議なわざを与え、下にある地球でしるし、つまり、血と火と煙の霧を与える。

20 **主**の偉大な、輝かしい日が来る前に、太陽は暗やみに変えられ、月は血に変えられる。

21 そして、**主**の御名を呼び求める者は誰でも救われる、ということになる。』

22 イスラエルの男たちよ、この言葉を聞いてください。あなたがたも知っているとおり、イエスを通して、**神**があなたがたの間で行なわれた奇跡と不思議なわざやしるしにより、**神**によりあなたがたに、ナザレのイエスは示されました。

23 **神**の定められたご意志と予知によって、渡されたこのイエスを、あなたがたは不法の手で捕らえ、十字架につけ、殺してしまいました。

24 イエスが死に拘束されることは不可能であったから、**神**はイエスの死の苦しみを解かれ、彼を復活させられました。

25 なぜなら、ダビデはイエスについて言っています。『私が動揺することのないように、**主**は私の右の手のところにおられるから、私の目の前に、私はいつも**主**を見た。

26 このため、私の心はうれしくなり、私の舌はとても喜んだ。それに、私の肉体は希望の内に止まる。

27 なぜなら、あなたは私の魂を黄泉①に置き去りにしない。また、あなたは、あなたの**聖なる者**が、朽ち果てるのを見るのを許されない。

28 あなたは私に命の道を教えてくださった。あなたの御前で、あなたは私を喜びで満たしてくださる。』

29 男たちよ、兄弟たちよ。先祖ダビデのことを、私に自由にあなたがたに話させてください。彼は

27
① 聖書の原語ギリシャ語では、「ハデス」である。死人の場所で、地獄という意味もある。

死に、そして葬られました。そして、彼の墓は今日まで私たちと共にあります。

30 それで、ダビデは預言者であり、**神**が誓いをたて、ダビデの体の実から、肉によって、ご自分の王座につけるため、キリストを復活させると、誓われたことをダビデは知っていました。

31 ダビデはこれを前もって見て、キリストの魂はハデスに置き去りにせず、その肉体が朽ち果てたのを見なかったと、キリストの復活について語りました。

32 このイエスを、**神**は復活させてくださいました。私たちはみんなこのことの証人です。

33 したがって、**神**の右の手は上げられ、**父**から**聖霊**の約束を受けたイエスは、今あなたがたが見たり聞いたりしているものにそれを注がれました。

34 ダビデは天に上らなかったが、彼は自ら言ったからです。『**主**は私の**主**に言われた。「わたしの右手に座りなさい。

35 わたしがあなたの敵をあなたの足台にするまでである。」』と。

36 それで、あなたがたが十字架刑にしたこのイエスを、**神**は**主**にも、またキリストにもされたことを、イスラエルのすべての家に、確実に伝えてください。」

37 すると、彼らはこれを聞き、心を突き刺され、ペテロと他の使徒たちに言った。「男たちよ、兄弟たちよ。私たちはどうしたらよいのでしょうか。」

38 そこで、ペテロは彼らに言った。「悔い改めなさい。そして、あなたがた一人一人イエスの御名により、赦されている罪のゆえに、浸礼を受けなさい。そうすれば、あなたがたは**聖霊**の賜物を受けます。

39 なぜなら、この約束はあなたがたと、あなたがたの子どもに、また遠くにいるすべての人たちに、私たちの**神**である**主**が、お呼びになる人たち全員に、与えられています。」

40 そして、他にも数多くの言葉でペテロは彼らに証をし、彼らに勧めて言った。「この邪悪な世代から救われなさい。」

41 それから、彼の言葉を喜びを持って受け入れた人たちに、浸礼を授けた。そしてその日、およそ三千の魂が彼らに加えられた。

42 そして、使徒たちの教え、交流、パンを裂くこと、それに祈りを、彼らは確実に続けていた。

43 すると、すべての魂の上に恐れが来た。そして、使徒たちを通して多くの不思議なことと、しるしが行なわれた。

44 さて、信じた人たちはみんな同じところにいて、すべての物を共有していた。

45 そして、彼らは資産と金目の物を売り、必要とする人、誰とでも分かち合った。 **46** 毎日休むことなく、神殿の敷地で一心に、家から家へとパンを裂き、彼らは大喜びで、純な心で食事をしていた。 **47** 彼らは**神**を誉めたたえ、すべての国民に好意を持たれた。そして、**主**は毎日救われる人たちを教会に加えてくださっていた。

3

1 さて、祈りの時である第九時に、ペテロとヨハネは共に神殿の敷地に上った。 **2** そして、神殿の「美しき」と呼ばれる門に、母の胎内にいた時から、足の不自由な男が毎日、人たちに運ばれ、置かれた。それは、男が神殿の敷地に入る人たちから施しを求めるためであった。 **3** ペテロとヨハネが神殿の敷地に入ろうとするのを見て、足が不自由な男は施しを願った。 **4** それで、ヨハネと共に、ペテロはその男に目をとめ、言った。「私たちの方を見なさい。」 **5** そこで、彼らが何かくれるかと思い、男は彼らに注意をはらった。 **6** そして、ペテロは言った。「私は銀も金も持っていないが、持っているものをあなたにあげる。ナザレのイエス・キリストの御名によって、立って歩きなさい。」 **7** そして、ペテロは男の右手をつかみ、立たせた。すると、男の足と足首の骨はたちどころに力を受けた。 **8** そして、男は飛び跳ねながら、立って、歩きながら、使徒たちと共に神殿の敷地に入った。歩き、飛び跳ね、そして**神**を賛美しながらである。 **9** そこで、神殿の敷地で歩いたり**神**を賛美したりするのを、すべての民は見た。 **10** ほどなく、神殿の敷地の美しきの門で施しを求めていたのが、この男であったことを人たちは理解した。それで、彼の身に起こったことに、人たちは驚きと不可解に満たされた。 **11** そして、不自由な足がいやされたこの男が、ペテロとヨハネを離さずにいると、すべての民はとても驚き、「ソロモンの柱廊」と呼ばれる柱廊にいた彼らの所へ、共に走って行った。 **12** それで、ペテロはそれを見て、民に反応して答えた。「イスラエルの男たちよ、あなたがたはなぜこれに驚いていますか。また、私たちは私たち自身の力か、敬虔さでこの男を歩かせたかのように、私たちをなぜ見つめるのですか。 **13** アブラハムとイサクとヤコブの**神**、すなわち私たちの

父たちの**神**は、彼の**御子息**、イエスに栄光を与えられました。そのイエスを、ピラトが釈放することを決めていたのに、あなたがたは渡して、ピラトの前で否定してしまいました。

14 しかし、あなたがたは**聖なる**、**正しい方**を拒否し、人殺しを渡せと要求し、

15 命の**王子**を殺しました。**神**はその方を死者たちの中から復活させました。私たちはそのことの証人です。

16 そして、その方の御名の信仰によって、その方の御名は、あなたがたが見知っているこの男を、強くしました。そして、その方を通してくる信仰は、あなたがた全員の前で、この人にこの健やかさを与えました。

17 そして、兄弟たちよ、無知ゆえに、あなたがたがそうした事を私は知っています。あなたがたの支配者たちもそうです。

18 しかし、**神**の全預言者の口を通して、**神**が前もって言われたこと、すなわちキリストは苦しまれることを、**神**はこうして成就されたのです。

19 だから、**主**の御前から、休息の時が来るように、あなたがたの罪が残らず消されるために、悔い改め、改心しなさい。

20 それは、以前、あなたがたに教えられたイエス・キリストを、**神**が遣わしてくださるためです。

21 すべてが復興する時まで、天国はこのイエスを受け入れなければなりません。世界が始まってから、**神**はご自分の全預言者の口を通してこのことを語られました。

22 なぜなら、モーセは本当に父たちに言いました。『あなたがたのために、あなたがたの兄弟の中から、**主**であるあなたがたの**神**は、私のような預言者を上げられる。その人が言うことは何でも、あなたがたはすべてのことにおいて聞かねばならない。

23 そして、その預言者の話を聞こうとしないすべてのたましいは、国民の中から完全に抹殺される。』

24 サムエルとその後の預言者たち、すべての預言者たち、すなわち語ったことのある預言者たちは、みなこれらの日を預言しました。

25 あなたがたは預言者たちの息子たち、また**神**が私たちの父たちと結んだその契約の息子たちです。**神**はアブラハムに言われました。『そして、あなたの種によって、地球のすべての家族は祝福される。』

26 ご自身の**御子息**、イエスを復活させられ、**神**は最初にイエスをあなたがたに遣わされました。一人一人が、悪から向きを変えるあなたがたを、祝福するためです。」

4

1 さて、ペテロたちが民に話していた間、祭司たちと神殿の守衛長とサドカイ派の人たちが彼らの所にやって来た。**2** ペテロとヨハネは民を教え、イエスについては死人たちの中からの復活を説いたので、その人たちは動転して、**3** ペテロとヨハネを手にかけ、すでに夕方であったので、次の日まで彼らを拘置した。**4** しかし、御言葉を聞いた多くの人たちは信じ、男の人数は約五千に達した。

5 さて、ことの次第はこうであった。日は過ぎ、翌日になり、民の支配者たち、長老たち、律法学者たち、**6** また、大祭司のアンナスとカヤパとヨハネとアレキサンデレ、そしてその大祭司の家族の者全員、共にエルサレムにいた。**7** それで、ペテロとヨハネを彼らの真ん中に立たせ、質問してきた。「お前たちは、どんな力によって、または何の名によってこれをやったのか。」

8 すると、**聖霊**に満たされていたペテロは彼らに言った。「民の支配者たちとイスラエルの長老たちよ、**9** もし、弱者にしたよい行ないのため、すなわち、その人がそれによって健全な体になったことで、今日この日に私たちが裁かれるなら、**10** あなたがたみんなにも、イスラエルの民みんなにも、知ってもらいます。この男が完全な体で、あなたがたの前に立っているのは、あなたがたが十字架につけ、**神**が死人たちの中から復活させた、ナザレのイエス・キリストの御名によるのです。**11** これは、『家を建てるあなたがたに拒否された石で、隅の礎となった』その石です。**12** しかし、他にはいかなる救いもありません。なぜなら、私たちが救われる必要がある御名は他には、天の下、人間の間には与えられていないからです。」

13 そこで、彼らはペテロとヨハネの大胆さを見、彼らは教育もなく、平民であるとわかって、驚いた。そして、二人は以前イエスと共にいたことに、彼らは気がついた。**14** そして、治された人が、二人と立っているのを見ると、彼らはそのことに反対しては何も言えなかったのである。**15** しかし、その三人を議会から出て行くように命じ、彼らは各自相談して、**16** 言った。「あの者たちを、どうしようか。なぜなら、彼らを通して明白なしるしが行なわれたことは、エルサレム

に住んでいる者全員に明らかで、私たちはそれを否定することができないからだ。

17 しかし、民の間にこれ以上広がらないように、この名で彼らが話さぬよう、厳しく脅かそう。」

18 それで、彼らはペテロとヨハネを呼び、イエスの御名により、一言も口にしたり、教えたりしてはならないと、命じた。

19 すると、ペテロとヨハネは答えて、彼らに言った。「**神**に聞くより、あなたがたに聞く方が、**神**の前で正しいのか、あなたがたが裁きなさい。

20 私たちは見たこと、聞いたこと以外は話せないからです。」

21 それで、民のことでは、ペテロとヨハネを罰する方法を見つけれず、さらに脅かしてから、二人を放免した。民はみな、行なわれたことに、**神**に栄光を捧げたからである。

22 四十歳を超えていた男に、この治しのしるしが行なわれたからである。

23 それで、放免されると、二人は仲間の所に行き、大祭司たちと長老たちが、彼らに言ったことをすべて伝えた。

24 それで、仲間たちはそれを聞き、心を合わせて**神**に向かって声をあげ、言った。「**主**よ、あなたは天と地と海と、その中にあるすべてのものを造られた**神**です。

25 あなたはあなたの僕、ダビデの口を通して言われた**神**です。『国々はなぜ、騒ぎ立て、民はなぜむなしいことを企んだのか。

26 **主**と**主**のキリストに反対して、地球の王たちは立ち上がり、支配者たちは共に集まった。』

27 なぜなら、ヘロデもポンテオ・ピラトも、異邦人たちも、そしてイスラエルの民も、集められ、あなたが油を注がれた、あなたの聖なる子イエスに実際に敵対しました。

28 それは、あなたの御手とあなたのご意志が、前もって定められたことを、それらが何であれ、彼らが行なうためでした。

29 それで**主**よ、今彼らの脅かしをご覧になり、そして、あなたの僕たちに、あなたの御言葉をすべて話せる大胆さを与えてください。

30 御手を差し出すことにより治し、また、あなたの聖なる子イエスの御名を通して、しるしと不思議なわざが行なわれるためです。」

31 そして、祈り終わった時、彼らが集まっていた所が揺れ動かされた。そして彼らは全員、**聖霊**に満たされ、**神**の御言葉を大胆に語った。

32 さて、信じたその群衆は、心もたましいも一つにして、

自分の持ち物は自分の物であると言う者はなく、すべての物を共有した。**33** そして、大きな力で、使徒たちは**主**イエスの復活を証した。そして、大きな恵みも全員にあった。**34** それは、彼らの間に誰も乏しい人はいなかったからである。なぜなら、土地か家を持つ人は全員、それを売り、売れた物の代価を持って来て、**35** 使徒たちの足もとに置いたからである。使徒たちは誰であれ、各自の必要に応じて配った。**36** そして、キプロス出身のレビ人で、使徒たちにバルナバ（訳すると、慰めの息子）とも呼ばれた、ジョセスは、**37** 土地を持っていたが、それを売り、その代価を使徒たちの足もとに置いた。

5

1 しかし、アナニヤという一人の男が、妻サッピラと共に資産を売り、**2** 妻もそれを知った上で、代価の一部を残し、ある部分は持って行き、使徒たちの足もとに置いた。**3** すると、ペテロは言った。「アナニヤよ、**聖霊**にうそをつき、土地の代価の一部を自分のため、残しておくように、サタンはなぜ、お前の心に満ちてしまったのか。**4** そのままにしておけば、お前の物のままでは、なかったのか。そして、土地は売られてからも、お前の手中ではなかったのか。お前はなぜこれをお前の心の中に抱いたのか。お前は人にではなく、**神**にうそをついたのだ。」**5** すると、この言葉を聞くやいなや、アナニヤは倒れ、最後の息をした。そして、これらのことを聞いた全員に、大きな恐れが生じた。**6** そして、若い男たちが立ち上がり、彼を包み、運び出し、埋葬した。**7** さて、三時間ぐらい後、何が起こったか知らず、彼の妻が入って来た。**8** そこで、ペテロは彼女に答えた。「私に言いなさい。土地はこのぐらいで売ったのか。」彼女は言った。「はい、そのぐらいです。」**9** それで、ペテロは彼女に言った。「お前たちはどうして、**主の霊**を試そうと二人で決めてしまったのか。見よ。お前の夫を埋葬した男たちの足は、戸口のところに来ている。そして、彼らはお前を運び出す。」**10** それで、彼女はたちどころに、ペテロの足もとに倒れ、最後の息をした。そして、例の若い男たちが入ってきて、死んでいる彼女を見つけ、彼女を運び出し、夫のとなりに

埋葬した。

11 そして、全教会員と、これらのことを聞いた者全員に、大きな恐れが生じた。

12 また、使徒たちの手を通して、民の間で多くのしるしと不思議なわざが行なわれた。そして、全員、心を一つにして、ソロモンの柱廊にいた。

13 しかし、残りの人たちは誰も勇気を出して彼らに加わろうとはしなかったが、民は彼らを高く評価していた。

14 そして、さらに男も女も、信者は多く**主**に加えられた。

15 それに続き、人たちは病人たちを通りに運び出し、せめて通り過ぎるペテロの影が彼らの上に落ちるように、床や布団の上に寝かした。

16 また、周辺の町から、群衆はエルサレムに集まった。彼らは病人や汚れた霊で苦しんでいる人たちを運んできた。そして彼らは全員、治された。

17 それで、大祭司と彼と共にいた人たち（それはサドカイ派の人たちである）は全員立ち上がり、彼らは憤りに満ち、

18 使徒たちに自ら手を出して、彼らを公のさらし者にした。

19 しかし、夜になると、**主**の御使いが来て、牢獄の扉を開け、使徒たちを連れ出し、言った。

20 「行って、神殿の敷地に立ち、民全員に、この命の言葉を伝えなさい。」

21 彼らはこれを聞き、朝早く神殿の敷地に入り、教えていた。しかし、大祭司と共にいた人たちが来て、議会の人たちも、イスラエルの子らの長老議会の全員も集め、使徒たちを連れに来るよう、人たちを牢獄に派遣した。

22 しかし、役人たちは行ったが、牢獄に使徒たちを見つけれず、戻って報告して、

23 言った。「間違いなく、牢獄はすべて確実に閉じられたままであり、また、扉の前には番兵たちは立っていましたが、扉を開けると、中には誰もいませんでした。」

24 それで、祭司たちと神殿警護隊長と、大祭司たちはこれらの言葉を聞き、この結果はどうなるかと、途方に暮れた。

25 すると、一人の人が来て、伝えた。「御覧なさい。あなたがたが牢獄に入れた男たちが、神殿の敷地に立って、民を教えています。

26 それで、警護隊長は部下たちと共に行き、手荒なことをせず、使徒たちを連れてきた。それは、石投げで殺されるのでないかと、民を恐れたからである。

27 そして、使徒たちを連れてきて、議会員たちの前に立たせ、大祭司は彼らを問いただして、

28 言った。「お前たちはこの名によって教えないように

と、私たちは厳しく命じたのではなかったか。それで、見なさい。お前たちはお前たちの教理でエルサレムを満たして、あの男の血を私たちに返そうとしている。」

29 しかし、ペテロと他の使徒たちは答えて言った。「私たちは人間よりも、**神**に従わなければなりません。

30 あなたがたが、木にぶら下げて殺したイエスを、我らの父たちの**神**は復活させてくださいました。

31 悔い改めと罪の赦しをイスラエルに与えるために、**君主**と**救い主**になるように、**神**はその方をご自分の右手に上げられました。

32 そして、私たちは、これらのことの、イエスの証人です。また、イエスに従う人たちに、**神**が与えられた**聖霊**の証人でもあります。」

33 これを聞いて、彼らは激怒し、使徒たちを殺そうと企んだ。

34 そこで、律法の教師であり、民みんなに尊敬されていたガマリエルという、議会員の一人が立ち上がり、しばらく使徒たちを外に出すように命じた。

35 そして、彼は議員たちに言った。「イスラエルの男たちよ。この男たちに関して行なおうとしていることには、十分気をつけなさい。

36 なぜなら、以前、チゥダは立ち上がって、自分が偉いと言いました。それで、人数四百人ぐらい、彼の仲間になりました。彼は殺され、彼に説得された人たちは散らされ、無になりました。

37 この者の後、人口登録の当時、ガリラヤのユダは立ち上がり、多くの民を引きつけました。彼も死に、従った者全員、散らされました。

38 それで今、私はあなたがたに言います。この人たちから離れて、ほっておきましょう。なぜなら、もしこの計画、あるいはこの働きが人間から来たのなら、無になります。

39 しかし、もし、これが**神**からのものならば、覆すことはできません。それどころか、**神**ご自身と戦っていた、などとならないようにしなさい。

40 彼らはガマリエルに賛成し、使徒たちを呼び、彼らをむち打ってから、もうイエスの名によって説かないように命じて、彼らを放免した。

41 それで、イエスの名のために、恥を受けるようにふさわしくされたことを喜びながら、使徒たちは議会から去って行った。

42 そして、毎日神殿の敷地、またすべての家で、イエスをキリストとして説くのを、彼らは止めなかった。

6

1 さて、そのころ、弟子たちの人数は増えていて、ギリシャ語を使うユダヤ人たち①から、ヘブライ語を使うユダヤ人たちへ非難があがった。なぜなら、彼らの未亡人たちは、日常の配給で、ないがしろにされていたからである。

2 それで、例の十二人は弟子たち全員を呼び、言った。「私たちが**神**の御言葉を離れ、食事の世話をするのは好ましくありません。

3 それで、兄弟たちよ、この用務に当たるため、評判のよい、**聖霊**と知恵で満たされた七人の男を、あなたがたの中から見つけ出しなさい。

4 私たちは、祈りと御言葉の奉仕だけをたゆまず続きます。」

5 そして、その言葉は群衆全員を喜ばせた。それで彼らは、信仰と**聖霊**とに満ちた人であるステパノ、そしてピリポとプロコロとニカノルとテモンとパルメナと、アンテオケの改宗者ニコラオを選び、

6 彼らは使徒たちの前にその七人を立てた。そして、使徒たちは祈って、七人の上に手を置いた。

7 それで、**神**の御言葉は成長し、また、エルサレムで弟子の人数が大いに増加し、大勢の祭司も信仰に従った。

8 そして、信仰と力で満たされたステパノは、民の間で不思議なわざとしるしを行なっていた。

9 それで、「リベルテン①のシナゴーグ」の中から、クレネ人とアレキサンドリヤ人とキリキヤやアジアの人たちは、立ち上がり、ステパノと論争した。

10 しかし、彼らはステパノが話した知恵と**御霊**の抵抗できなかった。

11 それで、彼らは男たちを誘導し、言わせた。「ステパノがモーセと**神**に対して、冒涜の言葉を言うのを、私たちは聞いたことがあります。」

12 そして、彼らは民、長老たち、そして律法学者たちをたきつけ、ステパノの所に行き、彼を捕まえ、議会①に連れて行った。

13 また、彼らは偽の証人を立て、言った。「この者はこの聖なる場所と律法に対して、冒涜の言葉を言うのを止めません。

14 このナザレのイエスは、この場所を破壊し、

---

1 ① ギリシャの文化と言葉を取り入れたユダヤ人たち。

9 ① 自由人という意味。

12 ① 当時のイスラエルの最高裁判所。

モーセが私たちにもたらした習慣を変える、と私たちはこの人が言うのを聞いたからです。」

15 それで、議会に座っていた者たちが全員ステパノをよく見ると、彼の顔が御使いの顔のように見えた。

7

1 それで、大祭司は言った。「今のことは、本当にそうか。」

2 ステパノは言った。「男たち、兄弟たち、それに父たちよ、聞いてください。私たちの父アブラハムはカランに住む前、まだメソポタミヤにいた時、栄光の**神**がアブラハムに現れ、

3 彼に言われました。『あなたの土地から、そして親族から出て、わたしが示す土地に入りなさい。』

4 それで、アブラハムはカレデヤ人の土地を出て、ハランに住みました。彼の父が死んだ時、あなたがたが今住んでいるこの土地に、**神**は彼を移されました。

5 しかし、片足を置くほどの土地も、**神**は彼に相続させず、また、アブラハムに子どもがいなかった時も、**神**はこの土地を彼に所有物として与え、また彼の後の子孫に与えると約束してくださいました。

6 しかし、**神**はこのように言われました。すなわちアブラハムの子孫は外国に住み、外国人は彼らをどれいにして、四百年虐待します。

7 そして、『彼らがどれいとして仕える国を、わたしは裁く。』と**神**は言われました。『そしてその後、彼らは出て来て、この場所でわたしに仕える。』

8 それから、**神**はアブラハムに割礼の契約を与えられました。それから、アブラハムはイサクをもうけ、第八日①に彼に割礼をしました。イサクはヤコブをもうけ、ヤコブは十二人の父祖をもうけました。

9 そして父祖たちはねたみ、ヨセフをエジプトへ売りました。しかし、**神**はヨセフと共におられました。

10 それで、**神**は、ヨセフのすべての苦しみから、彼を救い出され、エジプトの王である、ファラオの前で恵みと知恵を与えられました。そして、

---

8 ① ユダヤ人のイディオムでは、一週間という意味。

彼をエジプト全土とファラオの家全体の司にしました。

11 さて、ききんと大きい艱難が、エジプトとカナンの全土に来ました。そして私たちの父祖たちは、食べ物は見いだせませんでした。

12 しかし、エジプトに穀物があると聞いて、ヤコブはまず私たちの父祖たちを送り出しました。

13 そして、二回目に、ヨセフは自分の兄弟たちに身の上を話し、ヨセフの家族はファラオに知られることになりました。

14 彼の父ヤコブとそのすべての親族、七十五人をヨセフは人を遣わして呼び寄せました。

15 それで、ヤコブはエジプトに下って行き、彼と私たちの父祖たちはそこで死にました。

16 そして、彼らはシケムに運ばれ、アブラハムはシケムの父であるハモルの息子たちから、いくらかの銀で買った墓に葬られました。

17 しかし、**神**がアブラハムに誓われた約束の時が近づくにしたがい、民はエジプトで成長して、人数は増えました。

18 このことは、ヨセフを知らない別の王が立つまででした。

19 この男は我々一族を、先祖たちを緻密な悪巧みを持って扱い、父祖たちの乳児は生存できないよう、遺棄させました。

20 そのころ、モーセは生まれました。そして、彼は**神**にとってうるわしく、三ヶ月間父親の家で育てられました。

21 しかし、モーセは遺棄され、ファラオの娘は彼を取り上げ、自らの息子として育てました。

22 そして、モーセはエジプト人たちのすべての英知で教え込まれ、言葉にも行為にも力がありました。

23 さて、彼が四十歳の時、イスラエルの子らである、彼の兄弟たちを訪ねて見ようかと、彼の心に浮かんできました。

24 そして、その兄弟の一人がエジプト人に不当に扱われるのを見、モーセは彼を守り、虐待された兄弟の敵に復讐し、そのエジプト人を殴り倒しました。

25 なぜなら、**神**が彼の手により、彼らに救いを与えられることを、兄弟たちは理解してくれると思っていましたが、理解してくれませんでした。

26 そして次の日、モーセはけんかをしている二人の前に現れ、仲直りをさせようとして、言いました。『男たちよ、お前たちは兄弟だ。なぜ互いに害を与えているのか。』

27 しかし、この隣人に害を与える方の者は、モーセを押しのけ、言いました。『我々の上に、誰がお前を支配者と裁判官にしたのか。

28 昨日殺したエジプト人と同じように、俺を殺す気か。』

29 それで、この言葉で、モーセは逃げ、ミデアンの地の住民になりました。そこで、息子二人をもうけました。

30 さて、四十年経ってから、シナイ山の荒野で、藪の火の炎の中で彼に**主**の御使いは現れました。

31 そして、モーセはそれを見て、その光景に驚きました。そこで、モーセはよく見ようと近づいた時、**主**の声が彼に聞こえました。

32 **主**は言われました。『わたしはお前の父祖の**神**である、すなわち、アブラハムの**神**、イサクの**神**、ヤコブの**神**である。』それでモーセは震え、眺める勇気がありませんでした。

33 すると、**主**は彼に言われました。『サンダルを足から脱ぎなさい。あなたの立っている所は聖なる地だからである。

34 エジプトにいるわたしの民の虐待を、わたしは見た。そして、わたしは彼らの嘆きを聞き、彼らを連れ出すため下って来た。さあ今だ、来なさい。わたしはあなたをエジプトへ遣わす。』

35 『誰があなたを、支配者と裁判官にしたのか。』と言って、彼らが拒否したあのモーセを、藪の中に現れた御使いの手により、**神**が支配者と救出者にするため、遣わされたあのモーセです。

36 エジプトの地で、紅海で、また四十年間、荒野で、不思議なわざとしるしを行なった後、モーセは彼らを連れ出しました。

37 『あなたの**主**である**神**は、あなたがたの兄弟たちの中から、あなたがたのために私のような預言者を立たせます。あなたがたは彼の言葉を聞きます。』とイスラエルの子らに言ったのは、このモーセです。

38 シナイ山で話しかけた御使いと共に、荒野での会合にいたのは、この人でした。また私たちの父祖たちと共に、私たちに与えるため、生きている啓示を受け取ったのは、この人でした。

39 私たちの父祖たちはこの人に従わず、この人を拒否しました。そして、彼らは心の中で、エジプトに心を向け、

40 アロンに言いました。『私たちの前を行く神々をつくってください。エジプトの地から私たちを連れ出したあのモーセは、今、どうなっているのか私たちは知らないからです。』

41 そしてその頃、彼らは子牛を作り、偶像に供え物を捧げ、自らの手の技を楽しんだのです。

42 それで、**神**は背を向け、天の軍を拝むよう、彼らを渡されました。預言者の巻物に書いてあるとおりです。『荒

野にいた四十年の間、屠殺した動物と捧げ物をお前たちはわたしに捧げなかったのか。イスラエルの家よ。

43 また、ひれ伏すために作った偶像、モロクの天幕とお前たちの神ロンパの星を、お前たちはかついだ。それで、わたしはバビロンの向こうまで、お前たちを移す。』

44 私たちの父祖たちは、荒野に証の天幕を持っていました。それは**神**がモーセに、彼の見たとおりの形に従い作れ、と指示したものです。

45 また私たちの父祖たちは、その天幕を何代に渡り受け継ぎ、異邦人所有の地へヨシュアと共に持って入り、ダビデの時代まで、父祖たちの目の前から、**神**が異邦人を追い出されました。

46 ダビデは**神**の御前に恵みを見いだし、ヤコブの**神**のために住む所を探し出したいと願いました。

47 しかし、**神**に家を建てたのは、ソロモンでした。

48 しかし、最も高い方は、手で造られた神殿にはお住みになりません。それは、預言者が言うとおりです。

49 『天はわたしの王座、また地球はわたしの足台である。わたしのために、どんな家を建てるか。』と**主**は言われます。『わたしの休息の場は何か。

50 わたしの手は、これらのものをすべて造らなかったのか。』

51 がんこで、心と耳に割礼を受けていない者たちよ。あなたたちの父祖たちと同様に、いつも**聖霊**に逆らっています。

52 あなたがたの父祖たちが、迫害しなかったのはどの預言者ですか。そして、義なる方のおいでになるのを、前もってはっきりと語った預言者たちを、殺しました。あなたたちはその義なる方の裏切り者と、そして殺す者になりました。

53 御使いたちの配慮によってそのあなたがたは律法を受けたが、守りませんでした。」

54 彼らはこれを聞いて、心の中まで切り込まれ、ステパノに対して歯をかみならしていた。

55 しかし、**聖霊**に満たされていたステパノは、天を見つめ、**神**の栄光と、**神**の右に立っておられるイエスを見た。

56 そして言った。「見よ。天が開かれ、**神**の右に立っておられる、私は人の**子**が見えます。」

57 すると、彼らは大声で叫び、耳をおおい、いっせいにステパノをめがけて駆け出した。

58 そこで、ステパノを彼らは町から追い出し、彼に石投げで殺した。そして、この石投げの証人たちは自分たちの服をサウロと呼ばれている、若い男の足下に置いた。

59 そして、「**主**イエスよ、私の霊を受け入れてください。」と**神**を呼び続けているステパノに、彼らは石を投げ続けて

いた。

60 すると、ステパノはひざまずき、大声で叫んだ。「**主**よ、彼らにこの罪を負わせないでください。」と言い終わり、彼は眠りに落ちた。

8

1 さて、そのサウロはステパノの殺人に賛成していた。その日、エルサレムの教会に対して、激しい迫害が起こり、使徒たち以外、全員は、ユダヤとサマリヤの各地方に散らされた。

2 それで、信仰心厚い男たちは、埋葬のためステパノを運び出し、ステパノのことで悲嘆にくれた。

3 しかし、サウロは教会に大打撃を与え、一軒残らず入り込み、男も女も引きずり出し、投獄した。

4 人たちは散らされていたので、よき知らせの御言葉を説きながら、あらゆる所に行った。

5 そうして、ピリポはサマリヤの町に下り、彼らにキリストを説いた。

6 そして、群衆はピリポが話すことを、心を一つにして、注意深く聞き、彼の行なうしるしを見た。

7 悪霊に占領されていた大勢の人から、汚れた霊は大声で叫びながら、出て来、また、中風の人や足の不自由な人が大勢治されたからである。

8 そして、その町に大きな喜びがあった。

9 しかし、その町に、シモンという男がいた。その町で以前、妖術を使い、サマリヤの人たちを驚かして、自らを偉大なる者であると、言っていた。

10 地位のない者から、最高の地位の者まで、全員シモンに注目して、言っていた。「この人こそが**神**の偉大な力です。」

11 そして、長い間、妖術で人を驚かしていたから、人はみな、彼に注目していた。

12 しかし、**神**の王国に関すること、またイエス・キリストの御名に関してピリポが良き知らせを説いた時、彼らはピリポを信じ、男も女も浸礼を授けられた。

13 それでシモン自身も信じ、そして、浸礼を授けられた時、彼は引き続きピリポと共にいて、力ある大きな業と、しるしが行なわれるのを見てひどく驚いた。

14 さて、エルサレムにいた使徒たちが、サマリヤが**神**の御言葉を受け入れたと聞き、ペテロとヨハネを彼らに遣わした。

15 二人は下って来て、彼らが**聖霊**を受け入れるように祈った。

16 **聖霊**はまだ誰にも降っておらず、ただ**主**イエスの御名

によって彼らは、浸礼を授けられただけであったからである。**17** 使徒たちが、彼らの頭に手を置いたその時、彼らは**聖霊**を受けた。**18** すると、使徒たちの手を置くことを通し、**聖霊**が与えられるのを見たシモンは、お金を差し出し、**19** 言った。「私が手を置く人は誰であれ、**聖霊**を受けられるように、その力を私にもください。」**20** しかし、ペテロはシモンに言った。「**神**の賜物はお金で買えるのだと思ったあなたの銀貨も、あなたも共に破滅に至るように。**21** このことではあなたには、役目もなければ、場所もない。あなたの心は**神**の御前で正しくないからだ。**22** だから、あなたのこの悪事を悔い改めよ。それから、あなたの心の思いはもしかして赦してくだされるかと、**神**に祈れ。**23** なぜなら、あなたは胆汁で苦み、不義で縛られているのが私には見える。」**24** するとシモンは答えて言った。「あなたが言ったことが何も、私に起こらないように、私のために**主**に祈ってください。」**25** さて、使徒たちは証をし、**主**の御言葉を語り、サマリヤ人の多くの村で福音を伝え、エルサレムに帰った。

26 それで、**主**の一人の御使いがピリポに話して、言った。「立ち上がり、南の方へ向かいなさい。エルサレムからガザまで下っていく道です。」そこは砂漠である。**27** それで彼は立ち上がり、行った。すると見よ、エチオピヤの女王カンダケの宦官であり、女王の宝すべてを管理する、エチオピアの男が、礼拝するためにエルサレムに上って行き、**28** 帰る途中であった。そして、彼の馬車の中に座り、預言者イザヤの書を読んでいた。**29** すると、**御霊**はピリポに言われた。「馬車に近づき、追いつき、その馬車と同行せよ。」**30** そこで、ピリポは走って行き、宦官が預言者イザヤの書を読んでいるのを聞き、言った。「失礼ですが、読んでいることが理解できますか。」**31** すると、彼は言った。「誰かが、私を導いてくれなければ、どうして理解できるでしょう。」そして、上がって共に座ることをピリポに願った。**32** 彼が読んでいた聖書の箇所はこれである。「彼はほふられるために連れて来られた羊のように、また、毛を刈る人の前に言葉のない子羊のように、その方は口を開けなかっ

たのである。

33 その方は謙虚で、彼の正義は取り上げられ、命は地球から取り去られたので、誰が彼の世代を語るのか。」

34 それで、宦官はピリポに答えて言った。「あなたにお聞きします。この預言者は誰のことを言っているのですか。預言者自身ですか、それとも別の人ですか。」

35 そこで、ピリポは自らの口を開き、この聖書の箇所をはじめ、宦官にイエスの福音を伝えた。

36 さて、彼らが道を行くと、水場に来た。すると、宦官は言った。「見てください。水です。私が浸礼を授かるのに、妨げるものが何かあるでしょうか。」

37 するとピリポは言った。「もしあなたが心を尽くして信じるのなら、可能です。」すると、「**神の御子息**はイエス・キリストであることを信じます。」と宦官は答えて言い、

38 馬車を止めよと命じた。そして、ピリポも宦官も水に入り、ピリポは彼に浸礼を授けた。

39 さて、二人は水から出ると、**主**の**御霊**はピリポを取り去られた。宦官はもうピリポを見ることなく、喜びながら自らの道を進んで行った。

40 しかし、ピリポはアゾトで見つかり、カイザリヤに着くまで、すべての町を通り、福音を伝えていた。

9

1 さて、**主**の弟子たちに対してまだ、脅しと殺人の息を口から吐き、サウロは大祭司の所に行き、

2 ダマスコの各シナゴーグへ、大祭司からの手紙を願った。男であろうと女であろうと、この道の者を見つけたら、その者を縛り、エルサレムへ連れて行くためである。

3 そして、サウロは旅をし、ダマスコに近づいた時、突然天からの光が彼の回りを照らした。

4 すると、サウロは地面に倒れ、自分に言う声を聞いた。「サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害しているのか。」

5 そしてサウロは言った。「あなたはどなたですか、**主**よ。」すると**主**は言われた。「あなたが

迫害しているイエスである。突棒①に逆らい蹴るのは、あなたには難しい。」

6 すると、震えかつ驚いているサウロは言った。「**主**よ、あなたは私が何をすることを望んでおられるのですか。」すると、**主**は彼に言われた。「立ち上がり、町に入れ。そうすると、あなたは何をすべきかが、教えられる。」

7 サウロと共に旅をしていた男たちは、声を聞いたが、誰も見えず、何も言えず立っていた。

8 それで、サウロは地面から立ち上がり、目を開けると、誰も見えなかった。そして、彼らはサウロの手を取り、彼を導き、ダマスコに入った。

9 そして、サウロは三日間、目が見えず、食べたり飲んだりしなかった。

10 しかし、ダマスコにアナニヤという一人の弟子がいた。そして**主**は幻を通して彼に話された。「アナニヤよ。」そして彼は言った。「ご覧ください、**主**よ。私です。」

11 **主**は彼に言われた。「立ち上がって、『まっすぐ』と呼ばれている通りに行き、ユダの家でタルソスのサウロと言う名の人を探しなさい。なぜなら、見よ、彼は祈っているからである。

12 そして、アナニヤという名の人が入って来て、目が以前のように見えるようにと、片手を彼に置くのを幻を通して見た。」

13 すると、アナニヤは答えた。「**主**よ、エルサレムでこの男は、あなたの聖徒たちにどんなにひどいことをしたか、多くの人からこの男のことを私は聞いています。

14 そして、ここであなたのお名前を呼ぶ人たちを、全員縛る権威を大祭司から受けています。」

15 しかし、**主**は彼に言われた。「行きなさい。異邦人、王たち、それとイスラエルの子らの前に、サウロはわたしの名を持って行くための、わたしの選んだ器だからである。

16 それは、わたしの名のため、彼がどんなに多く苦しまなければならないかを、わたしは彼に示すためである。」

17 それで、アナニヤは行き、その家に入り、サウロに両手を置いて言った。「サウロ兄弟よ。あなたが来る途中で、あなたに現れた**主**イエスが、

---

5 ① 動物をコントロールするための、とげのついた棒。

あなたが以前のように見えるようになり、そして**聖霊**で満たされるようにと、私を遣わされました。」

18 すると、たちどころにサウロの目からうろこのような物が落ち、彼の目は以前のように見えるようになった。そして、彼は立ち上がり、浸礼を授けられた。

19 それで、食事をし、元気になり、それから、幾日かを弟子たちと共にサウロはダマスコで過ごした。

20 そこで、彼はすぐシナゴーグでキリストのこと、すなわち**神の御子息**であると説いた。

21 すると、聞いたすべての人たちは驚いて、言った。「エルサレムでこの名を呼び求めた人たちを打ち倒し、またその人たちを縛ったままで、大祭司たちの所に連れて行けるよう、ここに来たのは、この男ではありませんか。」

22 サウロはますます力を増し、イエスはキリストであることを証明し、ダマスコに住んでいるユダヤ人を戸惑わせた。

23 それで、多くの日が過ぎてから、ユダヤ人たちはサウロを殺そうと企んだ。

24 しかし、彼らの企みはサウロに知られた。彼らは昼も夜もそれぞれの門を見張っていた。サウロを殺すためである。

25 それで、弟子たちは夜中サウロを連れて、大きなかごで、壁を通して彼を降ろした。

26 そして、サウロがエルサレムに来て、弟子たちの仲間入りをはかったが、弟子たちはみんなサウロを恐れ、彼が弟子であることを信じなかった。

27 しかし、バルナバは彼を受け入れ、使徒たちの所へ連れて行った。それで、サウロが道で**主**を見て、**主**がサウロに話され、サウロがダマスコでイエスの御名によって大胆に説いたことを使徒たちに伝えた。

28 それで、サウロは彼らと共にエルサレムに入ったり出たりしていた。

29 そして彼は**主**イエスの御名によって大胆に話し、ギリシャ語を話すユダヤ人たちに反論していた。それで彼らはサウロを殺そうとした。

30 それを知った兄弟たちは、彼をカイザリヤに連れて下り、タルソへ送った。

31 それで、ユダヤとガリラヤとサマリヤの地方の諸教会には平安があり、基礎ができあがった。そして、**主**の恐れと**聖霊**の励ましによって歩み、人の数は増えた。

32 さて、ことの次第はこうであった。ペテロは全土をまわり、ルダに住む聖徒たちの所にも下った折に、

33 そこで、中風で、八年間寝たきりのアイネヤという名の人を見いだし、

34 そして、ペテロは彼に言った。「アイネヤよ、キリストであるイエスはあなたを治してくださいます。立ち上がり、床をかたづけなさい。」すると、彼はすぐ立ち上がった。 **35** それで、ルダとサロンに住んでいた者はみな、彼を見て、**主**に向かい、**主**を信頼した。

36 ヨッパにタビタという弟子がいた。訳すとドルカスである。この女性は自らの善行と施しのわざで、満たされていた。 **37** しかし、ことの次第はこうであった。そのころ、タビタは病気になり死んだ。人たちは彼女を洗って、上の部屋に横たえた。 **38** ルダはヨッパに近いので、弟子たちは、ペテロがそこにいると聞いていたので、二人の男をペテロに遣わし、彼らを待たすことのないように、来てくれるよう願った。 **39** それで、ペテロは立ち上がり、二人と共に行った。着いた時、人たちは上の部屋に彼を連れて行った。そして、未亡人たちはみな、彼のそばに立ち、泣きながらドルカスが彼女らと共にいた時に作った衣と、上着のすべてを見せていた。 **40** しかし、ペテロは全員外に出して、ひざまずいて祈った。そして、その体の方に向きを変え、ペテロは言った。「タビタよ、立ち上がれ。」すると彼女は目を開けた。そして、ペテロを見て、彼女は起きて座った。 **41** それで、ペテロは手をかし、彼女を立たせた。そして、聖徒たちと未亡人たちを呼び、生きているタビタを示した。 **42** これはヨッパ中に知られるようになり、多くの人たちは**主**を信じた。 **43** このようにして、ペテロはヨッパのなめし屋、シモンの所に多くの日々、滞在した。

10

1 さて、カイザリヤにコルネリオと言う男がいた。彼は「イタリア」と呼ばれていた六百人部隊の百人隊長で、 **2** 敬虔な人で、家の者全員と共に**神**を恐れ、人々に気前よく施し、常に**神**に祈っていた。 **3** その日の第九時間目ごろ①、彼は幻で、**神**の御使いが入って来て、彼に「コルネリオよ」、と

---

3 ① 午後三時ごろ。

言っているのを、はっきり見た。
4 そして、御使いをよく見ると、彼は怖くなり、言った。「**主**よ、何事ですか。」すると御使いは言った。「お前の祈りと施しは、記念のため**神**の前に上がって来た。
5 それで今すぐ、ヨッパに男たちを遣わし、ペテロと名付けられたシモンを迎えに行け。
6 その人は、海辺のなめし屋、シモンの家に滞在している。お前は何をすべきかを、その人は教えてくれる。」
7 それで、コルネリオに話しかけた御使いが去って行くと、彼は自分の家の僕二人と、いつも彼に仕えている敬虔な兵隊の一人を呼び、
8 そして、これらすべてを彼らに説明してから、彼は三人をヨッパに遣わした。
9 次の日、彼らは旅を進め、町に近づくと、ペテロは祈るため、屋上に上って行った。第六時間目のころ①である。
10 それで、彼は空腹になり、食を求めた。しかし、彼らが準備をしている間に、彼の上に恍惚状態に落ちた。
11 彼は見た。開かれて天、巨大なシーツのような物体、四隅が結ばれ、ペトロに下り、地上に達した。
12 その中に、地球の、四足動物全種と野生の獣、這う物、空の鳥がいた。
13 そして、声がペテロに響いた。「立ち上がれ、ペテロよ、ほふり、食べよ。」
14 しかし、ペテロは言った。「それはだめです、**主**よ。私は決して清くない物や汚れた物を食べたことがないからです。」
15 すると、また声が彼に響いた。二度目である。「**神**が清められた物を、お前は『清くないもの』と呼んではいけない。」
16 このことは三度行なわれた。そして、その物体は再び空中へと取り上げられた。
17 さて、ペテロは彼自身の中で見たこの幻が、何を意味するのかと迷っている間に、見よ、コルネリオから遣わされた男たちは、シモンの家を尋ね、門前に立っていた。
18 そして、彼らは声を出し、ペテロと名付けられているシモンはここに滞在しているかと尋ねた。

---

9 ① 真昼。

19 しかし、ペテロは幻について熟考していると、**御霊**が彼に言われた。「見よ。三人の男があなたを探しています。**20** 立ち上がり、降りて行き、何も疑わずに彼らと共に行きなさい。わたしが彼らを遣わしたのだからです。」**21** それで、コルネリオから遣わされた男たちの所へ、ペテロは降りて行き、言った。「見よ。この私が、あなたがたの探している者です。あなたがたは、何の理由で来たのですか。」**22** すると、彼らは言った。「百人隊長コルネリオは正しい男で、**神**を恐れ、ユダヤ人の国中で評判がよく、聖なる御使いによりあなたを彼の家に迎えに行き、あなたからの言葉を聞くように指示されました。」**23** それで、ペテロは彼らを呼び入れ、滞在させた。そして翌日、ペテロは彼らと共に出かけた。また、ヨッパからの兄弟たち何人かが同行した。**24** そしてその翌日、彼らはカイザリヤに入った。そこでコルネリオはすでに親戚や親友を呼び集めて、彼らを待っていた。

25 そして、ペテロは入って行くと、コルネリオは彼に会うとすぐ、足もとにひれ伏して、彼を拝んだ。**26** しかし、ペテロは彼を立たせて、言った。「立ちなさい。私自身も人間です。」**27** そして、彼と話しながら、ペテロは中に入り、集まった大勢の人たちがいるのを見た。**28** ペテロは彼らに言った。「ユダヤ人の男が他国の人と接したり、共に行くことは、どれほど違法であるかを、あなたがたはご存じです。しかし、どの人が清いとか、汚れているとか、言ってはいけない、と**神**は私に示してくださいました。**29** それで、迎えを受けるとすぐ、私は一言も異議を唱えず来ました。それでお聞きします。何のことで私を迎えに来たのですか。」**30** それで、コルネリオは言った。「四日前から、私はこの時刻まで断食をしていました。そして、第九時間目①、私は私の家で祈っていました。すると、見よ、輝く服を着ている男が私の前に立っていました。**31** そして、彼は言いました。『コルネリオよ、

---

30 ① 午後三時。

あなたの祈りは聞かれて、あなたの施しは神の御前に覚えられています。

32 ですから、ヨッパに遣わし、そこでペテロと名付けられているシモンを招きなさい。この男は、海辺に家がある、なめし屋のシモンの所に滞在しています。彼は来ると、あなたに話しかけます。』

33 ですから、私はすぐにあなたに人たちを遣わしました。よくぞ来てくださいました。さあ、私たち全員、神の御前に今います。神により命じられたすべてのことを聞くためです。」

34 それから、ペテロは口を開き、言った。「まことに、神は差別を示されない方であられることに、気付きました。

35 それどころか、いかなる国の人でも、神を恐れ、義の働きをする人は神に受け入れられることもです。

36 神がイスラエルの子らにお送りになった御言葉、すなわち、イエス・キリストを通して、平安の福音を伝えることです。この方はすべての主です。

37 ガリラヤでヨハネが説いた浸礼の後、ガリラヤから始まり、ユダヤの全土で説かれた、あなたがたの知っているあの御言葉です。

38 神がナザレのイエスになさったのは、聖霊と力で油を注がれました。そのイエスは、神が共におられたから、悪魔に抑圧されているすべての人を治し、よいことをしながら、巡回しておられました。

39 そしてユダヤ人の地、エルサレム、両方の地で、その方が行なわれたすべてのことの、私たちは証人です。そして、彼らはその方を木にかけて殺してしまいました。

40 神はそのイエスを三日目に復活させ、公に彼を示されました。

41 全国民でなく、神の御前に前もって選ばれた証人たちに、すなわちキリストが死人の中から復活された後、その方と共に飲食した私たちに示されました。

42 そして、キリストは生きている人たちと、死んだ人たちの裁き人になるよう、神により任命された方であることを、私たちに国民に説くよう、神は命じられました。

43 彼を信じる人は誰でも、キリストの御名を通し、罪の赦しを受けると、全預言者がこの方のことを証しています。」

44 ペテロがこれらの言葉をまだ話していた間、聞いている人々すべての上に聖霊が降られた。

45 すると、ペテロと共に来ていた、割礼の信者、全員は驚いた。聖霊の賜物は異邦人にも注がれていたからである。

46 その人たちは違う言語で話し、かつ神を賛美するのを

聞いたからである。それで、ペテロは答えた。

47「**聖霊**を私たちと同様に受け入れたこの人たちが、浸礼されないように、水を拒否できる人はいますか。」

48 それで、彼らが**主**の御名によって浸礼を授けられるよう、ペテロは彼らに命じた。その後、彼らは数日滞在してくれるように彼に願った。

11

1 さて、異邦人も**神**の御言葉を受けたことを、使徒たちとユダヤにいる兄弟たちも聞いた。

2 そして、ペテロはエルサレムに上った時、割礼の人たちは彼と論争して、

3 言った。「あなたは、割礼を受けていない男たちの所に入り込み、彼らと共に食事をしました。」

4 しかし、ペテロは最初から順序だてて彼らに説明し、言った。

5「私はヨッパの町で祈っていると、恍惚状態で私は幻を見ました。巨大なシーツのような物体が四隅が結ばれ、下ってきて、私の所に来ました。

6 それをじっと見ながら考えていると、私は四つ足の動物と野生の獣と這うものと空の鳥を見ました。

7 また、私に言う声を聞きました。『ペテロよ、立ち上がって、ほふって、食べよ。』

8 しかし、私は言った。『だめです、**主**よ。私は決して清くない物や汚れた物を口に入れたことがないからです。』

9 しかし、その声は再び天から私に答えました。『**神**が清められた物を、あなたは清くないと呼んではいけない。』

10 それで、これは三度行なわれ、すべて再び天に引き上げられました。

11 正に、ちょうどその時、カイザリヤから遣わされた三人の男が、私がいた家の前に立ったのです。

12 次に、**御霊**は、何も疑うことなく、彼らと共に行け、と私に言われました。それで、この六人の兄弟は私と共に行って、みんなでその男の家に入りました。

13 そして、家の中に立っている御使いを見、その御使いが、『ヨッパに男たちを遣わし、ペテロと名付けられているシモンを迎えに行け。』と言った事の次第を話しました。

14『その人は、あなたとあなたの家の者全員が救われる言葉を、教えてくれる。』と言いました。

15 そして、私は話しかけると、最初の時に我々の上に降られたと同じように、**聖霊**は彼らの上に降りて来られました。

16 それで、私は**主**の言葉を思い出しました。**主**はこのように言われました。『ヨハネは水で浸礼を授けたが、あな

たがたは聖霊で浸礼されます。』

17 従って、私たちが主イエス・キリストを信じた時と同様に、神は彼らに全く同じ賜物を与えられたのだから、私が神に逆らえるのなら、私は何者でしょう。」

18 これらの事を聞いて、彼らは黙った。そして、彼らは神に栄光を捧げ、言った。「では、神は異邦人にも、命に至る悔い改めを与えられたのです。」

19 さて、ステパノのことで起きた迫害で、散らされた人たちは、フェニキヤ、キプロス、アンテオケまで行ったので、ユダヤ人にしか御言葉を語っていなかった。

20 しかし、彼らの中に、数人のキプロス人とクレネ人がいた。そして、その人たちがアンテオケに着いた時、ギリシャ派のユダヤ人たちに話しかけ、そして主イエスの福音を伝えていた。

21 そして、主の手は彼らと共にあり、大勢の人たちは信じ、主の方へと向きを変えた。

22 それで、この出来事に関するニュースは、エルサレムの教会の耳に達し、そして、彼らはアンテオケにバルナバを遣わした。

23 彼は行き、神の恵みをすでに見たので、喜び、そして、心に定め、主にしっかりついて行くよう、彼ら全員に勧めた。

24 彼はよい男で、聖霊と信仰で満たされていたからである。それで、かなり多くの人たちが主に加えられた。

25 しかし、バルナバはサウロを捜しにタルソに出発した。

26 そして彼を見つけ、アンテオケに連れて行った。それでことの次第はこうであった。彼らは教会と共に集い、多くの人たちを教え、丸一年間過ごした。そして、弟子たちはアンテオケで初めてクリスチャンと呼ばれた。

27 さて、そのころエルサレムから預言者たちはアンテオケに下って来た。

28 その中の一人、アガボと言う名の者が立ち上がり、世界中に大飢饉が起こる、と御霊によって示した。それはクラウデオ・カイザルの治世に起きた。

29 それで、弟子たちは一人一人の能力に応じ、ユダヤに住んでいる兄弟たち援助を送ることを決めた。

30 彼らはこれを実行し、バルナバとサウロの手によって長老たちに送った。

12

1 さて、この時、ヘロデ王は教会の一部の人たちを危害を加えようと、手を伸ばし、

2 ヨハネの兄弟、ヤコブを剣で殺した。

3 すると、このことがユダヤ人を喜ばしたとわかったへ

ロデは、ペテロも逮捕した。種なしパンの期間中のことであった。

4 それで、ヘロデはペテロを逮捕し、投獄し、四人からなる一組の兵士四組に引き渡し、彼を守らせた。過越祭の後、国民の前に、彼を引き出すつもりであった。

5 従って、ペテロは牢獄に閉じ込められていたが、彼のため、教会によって祈りは中断することなく**神**に捧げられた。

6 そして、ヘロデは彼を引き出そうとした時の、その夜、ペテロは二本の鎖につながれて二人の兵士の間で眠っていた。そして、扉の前にいた番兵たちは牢獄を守っていた。

7 すると、見よ。**主**の御使いの一人が、彼の脇に立ち、一筋の光が牢獄を照らした。そして、彼はペテロのわき腹を打ち、彼を立たせ、言った。「すぐ立ちなさい。」すると、彼の鎖は彼の手から離れ落ちた。

8 御使いは彼に言った。「帯をしめて、サンダルを結びなさい。」ペテロはそうした。そして彼はペテロに言った。「上衣を着て、私について来なさい。」

9 それでペテロは外に出て、御使いについて行ったが、御使いを通して行なわれた事は、現実のこととは思わず、幻を見ていると思った。

10 二人は第一、そして第二の番兵の所を通過し、町に通じる鉄の門に着くと、門はひとりでに開いたので、彼らは出て行き、ある通りを下って行くと、御使いはペテロから急に離れた。

11 それで、ペテロは我に返り言った。「今、私は確信しました。**主**が御使いをお遣わしになり、ヘロデの手、また、すべてのユダヤ国民の期待から私を救い出してくださいました。」

12 それで彼はこのことを理解し、多くの人が集まって祈っていた所、すなわち、マルコと言う名のヨハネの母の家に行った。

13 それで、ペテロは門の扉を叩くと、ロダと言う名の少女が応対に出た。

14 ペテロの声であるとわかると、彼女は喜びのあまり門を開けずに駆け込み、ペテロが門の前に立っていると伝えた。

15 であるが彼らは少女に言った。「お前は狂っている。」しかしなお、少女が、そうなのだと、言い張ったので、彼らは、「それは彼の使いの者だ。」と言った。

16 しかし、ペテロは叩き続けると、彼らは扉を開け、ペテロを見て驚いた。

17 しかし、ペテロは何も言うなと手で合図し、**主**が彼を牢獄からどのようにして出してくださったかを、彼らに

語った。そして彼は言った。「行って、ヤコブと兄弟たちにこれらのことを伝えなさい。」そして彼は去って行き、他の所に行った。

18 さて、明るくなるやいなや、ペテロに起きたことに関して、小さくはない騒ぎが兵士たちの間にあった。**19** しかし、ヘロデはペテロを捜しても、見つけられず、番兵たちを取り調べ、死刑にすべしと命じた。それから、ユダヤからカイザリヤまで下って行き、そこに滞在した。**20** さて、ヘロデはツロとシドンの市民に対して大変怒っていたが、市民たちは心を合わせて彼の所に行き、王の侍従であるブラストに取り入り、平和を求めた。彼らの国はこの王の国から食料を供給されていたからである。**21** それで、設定された日に、王の盛装したヘロデは、王座に座り、彼らに向かい演説をした。**22** すると、市民たちは叫び続けた。「神の声だ！人間の声ではない！」**23** すると即座に、**主**の一人の御使いが彼を打った。**神**に栄光を捧げなかったからである。そして、彼は這う虫たちに食べられ、息が絶えた。**24** しかし、**神**の御言葉は成長し、数をました。**25** さて、使命を果たして、バルナバとサウロは、マルコと言う名のヨハネも連れ、エルサレムから帰ってきた。

13

1 さて、アンテオケの教会に、預言者や教師がいた。バルナバとニゲルと呼ばれるシメオンとクレネ人ルキオと領主ヘロデと共に育ったマナエンとサウロである。**2** 彼らは**主**に仕えて、断食をしていると、**聖霊**が言われた。「バルナバとサウロをわたしのために分けよ。わたしがさせる働きのため、彼らを召し出したのだから。**3** それから、彼らは断食し、祈り、二人に手を置き、送り出した。

4 **聖霊**に遣わされた二人は、セルキヤに下り、そこから船でキプロスに行った。**5** そして、サラミスに到着すると、ユダヤ人のシナゴーグで**神**の言葉を教えた。そして、彼らはヨハネを助手とした。**6** さて、島を通ってパポスに行くと、バルイエスというユダヤ人で、一人のにせ預言者の魔術師に出会った。**7** 魔術師は地方総督セルギオ・パウロと共にいた。総督は聡明な人であった。この人はバルナバとサウロを迎えにやり、**神**の御言葉を聞くことを願った。**8** しかし、魔術師のエルマ（彼の名前はそう訳すべきである）は、使徒たちに反対して、地方総督を信仰から遠ざ

けようとした。
9 それで、パウロとも呼ばれているサウロは、**聖霊**に満たされて、エルマをしっかり見つめ、
10 言った。「あらゆる悪巧み、あらゆる不正で満ちている、あなた、悪魔の息子よ、あらゆる義の敵よ、**神**のまっすぐな道を曲げることを止めないか。
11 そして今、見よ。**主**の御手は今、あなたに置かれている。そしてあなたは盲目になり、しばらく太陽を見ない。」すると、突然、彼の回りに黒い霧が下り、彼は手を引いて導いてくれる人を捜し回った。
12 すると、何が起きたかを目にしたこの地方総督は、**主**の教えに驚愕し、信じた。
13 さて、パウロと仲間たちはパポスから出航し、パンフリヤのペルガに行った。そして、ヨハネは彼らから別れ、エルサレムに戻った。
14 そして、彼らはペルガを離れ、ピシデヤのアンテオケに行った。彼らは安息日にシナゴーグに入り、座った。
15 律法と預言書の講読の後、シナゴーグの支配者たちは彼らに人を送って、言った。「男たちよ、兄弟たちよ、民のため、励みの言葉があったら、言ってください。」
16 するとパウロは立ち上がり、手で合図し、言った。「イスラエルの男たち、**神**を恐れる人たちよ、お聞きなさい。
17 このイスラエルの民の**神**は、私たちの先祖を選び、エジプトに、外国人として住んでいた彼らを、高められました。そして、御腕を高く上げ、民をエジプトから連れ出してくださいました。
18 そこで、およそ四十年間、荒野での民の行ないを堪え忍ばれました。
19 そして、カナンの地方で、**神**は七つの国を滅ぼし、イスラエルの土地を彼らにくじで分配されました。
20 その後、約四百五十年の間、預言書サムエルの時まで、**神**は士師を与えられました。
21 その後、彼らは王を願い、**神**はベニヤミン族の男、キスの息子サウロを四十年間与えられました。
22 そして、サウロを退けてから、**神**はダビデを王として彼らのため、立たせられました。**神**はダビデに証して言われました。『わたしの心にかなう男、わたしの意志をすべて行なう男、エッサイの息子ダビデをわたしは見つけだした。』
23 この男の種から、約束により、**神**はイスラエルのため、**救い主**、イエスを立たせられました。
24 ヨハネがイスラエルのすべての民に、悔い改めの浸礼を初めて教えた後、すなわちイエスが来られる前でした。

25 そして、ヨハネは道程を終える頃に、言った。『あなたがたは、私を誰だと思っているのですか。私はあの方じゃありません。しかし、見よ。私の後から来られる方がおられます。私はその方の足のサンダルのひもを解く価値もありません。』

26 男たち、兄弟たちよ、またアブラハムの家の息子たちよ、またあなたがたの中で**神**を恐れる人たちよ、この救いの言葉は、あなたがたに送られたのです。

27 なぜなら、エルサレムに住んでいる者たちとその支配者たちは、イエスを知らず、また安息日毎に読まれる預言者たちの声さえ知らなかったので、その方を裁くことにより、これらの声を成就してしまいました。

28 そして、その方の中に、死に価する理由を見いだせなかったのに、彼を死刑にすべしと、ピラトに願いました。

29 その方について書かれたすべてのことが成就して、彼を木から降ろして、墓の中に置きました。

30 しかし、**神**はその方を死人の中から復活させてくださいました。

31 イエスと共にガリラヤからエルサレムに上った人たちにより、何日もイエスは目撃され、そして彼らはこの民への証人です。

32 そして、この福音、私たちの先祖たちにされた約束を、私たちはあなたがたに伝えます。

33 イエスを復活させ、**神**はこのことを我らのため、彼らの子どものため成就されました。詩篇第二篇にも書いてあるように、『あなたはわたしの**息子**である。わたしは今日、あなたを生んだ。』

34 そして、もう朽ちるものに戻ることのないよう、**神**は死人たちの中から、イエスを復活させてくださったことについて、こう言われました。『ダビデの確かな聖なるものをわたしはあなたに与える。』

35 従って、詩篇の別の所では、**神**はこう言っておられます。『あなたはあなたの**聖なる者**に、その者が腐りはてることを見せることは許さない。』

36 それで、**神**のご意志により、彼の世代に仕えてから、ダビデは眠りに落ち、彼の先祖と共にうめられ、彼は腐りはてることを見ました。

37 しかし、**神**が復活させた方は、腐りはてることをご覧にならなかったのです。

38 従って、この方を通して、あなたがたに語られている、罪の赦しを、知っていただきたいです。

39 そして、モーセの律法によって義と認められなかった

すべてのことも、信じているすべての人は、この方によって、義と認められています。**40** 従って、預言者たちによって語られたことが、あなたの上に来ないように気をつけなさい。**41** 『見よ、侮辱する者たちよ。驚け、そして滅びよ。わたしはお前たちの日に、誰がお前たちに伝えても、お前たちが決して信じないわざを、わたしは行なうからだ。』」**42** それで、ユダヤ人はシナゴーグから出て行く時、この言葉を次の安息日に彼らに語ってくれるように願った。**43** そこで、シナゴーグの集会は終わったので、ユダヤ人と敬虔な改宗者は大勢パウロとバルナバに従った。二人は、彼らに話し、**神**の恵みにとどまるよう説得した。**44** 次の安息日に、町のほぼ全員、**神**の御言葉を聞きに集まった。**45** しかし、ユダヤ人は群衆を見て、妬みで満たされ、反対し、冒涜し、パウロの話した言葉に敵対した。**46** しかし、パウロとバルナバは大胆に言った。「**神**の御言葉は、まずあなたがたに語るべきだったが、あなたがたはそれを拒み、自らを永遠の命にふさわしくないと判断しているから、ほら、私たちは異邦人の方を向いています。**47** なぜなら、**主**はそのように私たちに命令されました。『わたしはあなたがたを異邦人への光として置いた。地球の果てまでの救いにするためである。』」**48** すると、異邦人たちはこれを聞き、喜び、**主**の御言葉に栄光をささげた。そして、永遠の命に指名されたみなの人は信じた。**49** そして、**主**の御言葉は、この地方全体に広げられた。**50** しかし、ユダヤ人たちは敬虔で優れた女たちと、町のおもだった男たちを扇動し、パウロとバルナバに対して迫害を加え、このユダヤ人たちの地から追い出した。**51** しかし、二人は彼らに対し足のほこりを払い落とし、イコニオムに行った。**52** そして弟子たちは喜びと**聖霊**で満たされていた。

14

1 さて、ことの次第はこうであった。イコニオムでユダヤ人のシナゴーグに彼らは共に入り、多数のユダヤ人、ギリシャ人も共に信じるように彼らは説いた。**2** しかし、信じないユダヤ人たちは、異邦人たちを動揺させ、兄弟たちに反対し、彼らの心に毒を入れた。**3** それで、彼らは長い間そこに滞在し、**主**にあって大胆に語った。ご自分の恵みの言葉を証する**主**は、彼らの手を通して、しるしと不思議なわざを行なうことを許された。

4 しかし、町の大多数は分かれた。ユダヤ人側と、使徒たち側であった。**5** それで、異邦人たち、ユダヤ人たちは、彼らの支配者たちと共に押し寄せ、彼ら二人を不当に扱い、石で殺そうとしたので、**6** 二人はそれに気づき、ルカオニヤの町であるルステラとデルベ、そしてその付近の地方にのがれた。**7** そして、彼らはそこで福音を伝えていた。

8 そして、ルステラに、足に力のない男が座っていた。母の胎内から足が不自由で、歩いたことは決してなかった。**9** この男はパウロが話すのを聞き、パウロは彼を見つめ、治される信仰があると分かり、**10** 大声で言った。「まっすぐ、足をつかって立ち上がりなさい。」すると、彼は飛びはね、歩いた。**11** すると、群衆はパウロが行なったことを見、声をはりあげ、ルカオニヤ語で言った。「神々が人間の形で、私たちのところに降りて来られました。」**12** そして、彼らはバルナバをゼウスと呼び、パウロをヘルメスと呼んだ。パウロは話し手の長であったからである。**13** その時、街の前にある、ゼウスの宮の祭司が、雄牛と花輪を門の所に持って来た。群衆と共に犠牲を捧げるつもりであつた。**14** しかし、使徒たち、バルナバとパウロはこれを聞き、自らの服を裂き、群衆の中に駆け込み、叫び、**15** 言った。「男たちよ、なぜこんな事をするのですか。私たちもあなたがたと同じ性質を持つ男であり、これら役に立たない物から、天と地と海と、その中にあるすべてのものを造った、生ける**神**に立ち返るように、あなたがたに福音を伝えているのです。**16** 過ぎ去った世代では、すべての国々は自らの道を歩むことを、この**神**は許されました。**17** しかし、**神**はご自分を、証されなかったわけではありません。**神**がなされたよいことの内には、天から我々に雨を与え、実りの季節を与え、私たちの心を食べ物と喜びで満たされました。」**18** このように言って、群衆が二人に犠牲をささげることを、彼らはかろうじて阻止した。

19 それで、アンテオケとイコニオムから、ユダヤ人たちはそこに行った。そして、群衆を説得し、パウロを投石の刑にした。そして、パウロが死んだと思い、彼らはパウロを町から引きずり出した。**20** しかし、弟子たちは彼の回りに集まると、彼は立ち上

がり、町に入った。そして、翌日バルナバと共にデルベに出発した。

21 そして、その町に福音を伝え、多くの弟子を作り、彼らはルステラとイコニオムとアンテオケに戻り、

22 弟子たちのたましいを強め、信仰にとどまるように強く勧め、言った。「私たちは多くの苦しみを通過し、**神**の王国に入らなければなりません。」

23 それで、二人はすべての教会で長老を任命し、断食をもって祈り、彼らが信じていた**主**に弟子たちを任せた。

24 そして、ピシデヤを通り、彼らはパンフリヤに行った。

25 さて、ペルガで御言葉を話し、二人はアタリヤに下った。

26 そこから、アンテオケへ出航した。そこは彼らが今完遂した**神**の働きのために、**神**の恵みへ渡された所であった。

27 二人は到着し、教会を集めて、**神**が二人と共になされたすべてのことを、また**神**が異邦人たちに信仰の扉を開いてくださったことを報告した。

28 二人は長い間、そこに弟子たちと滞在した。

15

1 さて、ある男たちが、ユダヤから下って来て、兄弟たちに教えた。「モーセの慣習に従って割礼を受けない限り、あなたがたは救われることはできない。」

2 それで、パウロとバルナバは、彼らと大衝突と大論争が起こり、パウロとバルナバ、それに、参加した数人が、エルサレムに上り、この件に関して、使徒たちと長老たちに問うべきであると、彼らは決めた。

3 それで、教会によって送り出された彼らは、フェニキヤとサマリヤを通過し、異邦人の改宗を詳しく伝え、全兄弟たちを大いに喜ばせた。

4 そして、彼らはエルサレムに着くと、教会、使徒たち、長老たちに歓迎された。そして**神**が彼らと共になされたことを、一部始終報告した。

5 しかし、パリサイ派の中で、何人かの信じる者たちが立ち上がり、言った。「彼らを割礼し、モーセの律法を守るよう、命じることが必要です。」

6 それで、使徒たちと長老たちはこの件をよく相談しようと、共に集まった。

7 多くの論争の後、ペテロは立って彼らに言った。「男たち、兄弟たちよ。かなり以前、あなたがたの知っているように、**神**は私たちの中から私をお選びになりました。それは、私の口を通して、異邦人が福音の言葉を聞き、信じるためでした。

8 それで、人の心を知っておられる**神**は、私たちにくだ

さったと同じように、聖霊を彼らに与え、異邦人たちに証され、

9 神は、私たちと彼らの間に区別をもうけず、彼らの心を信仰によって清められました。

10 それなのに、私たちも私たちの先祖たちも、負うことができなかったくびきを、弟子たちの首にかけ、あなたがたは今なぜ神を試すのですか。

11 しかし、彼らと同様に、主イエス・キリストの恵みにより、彼らが救われると同様、私たちも救われると、私たちは信じています。」

12 すると、全会衆は静まり、異邦人の間で、神はどれほど多くの不思議なわざとしるしを、パウロとバルナバを通して行なわれたかを、彼らが伝えるのを聞いた。

13 すると、彼らは黙ると、ヤコブは答えて言った。「男たちよ、兄弟たちよ、私の話を聞いてください。

14 異邦人の中から、御名のため、民を取り出すため、最初に神は異邦人を訪れられたことを、シモンは伝えました。

15 預言者たちの言葉はこれと一致します。書いてあるとおりです。

16 『この後、わたしは戻り、ダビデの倒された天幕を建て直す。わたしはその廃墟を再建し、それを立ち上げる。

17 これらをすべて行なっている主は言われる。人類の残りが、そして、わたしの名で呼ばれる全異邦人たちが主を求めるようになるためである。』

18 神のすべてのわざは、永遠から神はご存知です。

19 従って、異邦人の中から、神に向き合っている人たちを、惑わせるべきではない、と私は判断します。

20 しかし、偶像によるけがれ、性的な罪、絞め殺されたもの、血は避けよ、と私たちは彼らに書きます。

21 なぜなら、多くの世代を通じて、どの町でも、安息日ごとにシナゴーグでモーセは読まれ、説く人たちがいます。」

22 それで、使徒たち、長老たちは、全教会員と共に、彼ら自身の仲間の内から選んだ男たちを、パウロとバルナバと共に、アンテオケに遣わすことを、よしとした。選ばれたのは、兄弟たちの指導者たちで、バルサバと呼ばれるユダ、とシラスであった。

23 長老たちは彼らの手を使い、この手紙を書いた。「使徒たち、長老たち、そして兄弟たちから、アンテオケとシリアとキリキヤにいる異邦人の兄弟たちへ。

24 私たちはこう聞きました。私たちから行ったある人たちは、言葉によってあなたがたを悩まし、あなたがたのたましいを不安にし、言いました。『あなたがたは割礼を受け、

律法を守らなければなりません。』しかし、私たちはそんな命令を彼らに与えていません。

25 私たちは心を一つにして集まり、選ばれた男たちを、私たちの愛するバルナバとパウロと共に遣わすことをよしとしました。

26 彼らは、私たちの**主**イエス・キリストの御名のために、自らの命をかけた人たちです。

27 ですから、私たちはユダとシラスを遣わしました。私たちと同じ事を、彼らは口頭で伝えます。

28 次の不可避な事がら以上に、大きい重荷をあなたがたに与えないことは、**聖霊**にも私たちにも、よいと思いました。

29 すなわち、偶像に捧げられた物から、血から、絞め殺された物から、性的な罪から離れることです。これらのことから自らを守れば、あなたがたは繁栄します。健やかでありますように。」

30 それで、彼らは送り出され、アンテオケに着いた。そして、会衆を集め、手紙を渡した。

31 全員は手紙を読み、その励ましを喜んだ。

32 それで、ユダとシラス自身も預言者であったので、多くの言葉を通して兄弟たちを励まし、そして強めた。

33 そして、しばらくそこに滞在し、兄弟たちから使徒たちへの平和の言葉を添え、送り返された。

34 しかし、シラスは、そこに残るのをよしとした。

35 パウロもバルナバも、アンテオケに残り、大勢の他の人たちと共に、**主**の御言葉を教えたり伝えたりした。

36 それから数日後、パウロはバルナバに言った。「私たちが**主**の御言葉を語ったすべての町に戻り、私たちの兄弟たちを尋ね、彼らがいかに過ごしているかを見ましょう。」

37 それで、バルナバはマルコと呼ばれるヨハネを連れて行くことを決めた。

38 しかし、パンフリヤで彼らから離れ、働きに行かなかったマルコを連れて行くべきでないと、パウロは思っていた。

39 すると、二人の間の論争はあまりにも激しくなったので、互いに分かれた。それで、バルナバはマルコを連れて、キプロスへ出航した。

40 しかし、パウロはシラスを選び、兄弟たちから**神**の恵みへ任され、

41 そして、彼は諸教会を強固にしながら、シリア、キリキヤを通過した。

16

1 それから彼、パウロはデルベ、そしてルステラに行った。すると、見よ、そこにテモテという一人の弟子

がいた。信じている一人のユダヤ婦人の息子で、父はギリシャ人であった。

2 彼はルステラとイコニオムにいた兄弟たちに、評判がよかった。

3 パウロはテモテに同行して欲しかった。それで、その地方のユダヤ人たちのため、テモテを連れて行き割礼をした。彼の父はギリシャ人であることを、彼らは皆、知っていたからである。

4 それで、町々を通って行くと、エルサレムの使徒たちと長老たちで決められた規定を、彼らはみんなに伝えていた。

5 それで、諸教会は信仰を強められ、毎日に人数が増えた。

6 さて、フルギヤやガラテヤの地方を通過した時、彼らはアジアで御言葉を語るのを**聖霊**によって禁じられた。

7 ムシヤの方へ行ってから、ビテニヤに入ろうとしたが、**御霊**は許されなかった。

8 それで、ムシヤを迂回し、トロアスに下って行った。

9 すると、夜通し幻がパウロに現れた。一人のマケドニヤ人が立っていて、パウロに願って、言った。「マケドニヤまで来て、私たちを助けてください。」

10 パウロはこの幻を見て、マケドニヤの人たちに福音を伝えるように、**主**が私たちを召されたのであると分かり、私たちはただちに、マケドニヤに行こうとした。

11 それで、トロアスを出航し、サモトラケへ直航し、翌日、ネアポリス港に着いた。

12 そこからマケドニア地方の第一の町で、植民地のポリスであるピリピに行き、そして、数日間その町に滞在した。

13 安息日に、私たちは町を出て、普段、祈りが行なわれている川辺に行った。そこで、集まっていた女たちと話をしていた。

14 さて、テアテラ町の出身で、**神**を礼拝し、紫色の布を売る、ルデヤという一人の女が私たちの話を聞いていた。パウロによって話されたことに注意せよと、**主**は彼女の心を開かれた。

15 そして、ルデヤとその家の者全員が浸礼を受け、彼女は私たちに願って言った。「私が**主**に忠実であると判断したなら、私の家に来て滞在してください。」と彼女は懇願した。

16 さて、ことの次第はこうであった。私たちが祈りに行くと、占いの霊を持ち、占いで彼女の主人たちに利益をもたらしていた、奴隷の少女がいた。彼女は私たちと出会った。

17 この少女はパウロと私たちについて来て、叫び、言った。「救いの道を私たちに説いているこの人たちは、いと高き**神**の僕たちです。」

18 少女は幾日もこれを行なった。しかしパウロはとても困惑し、向きを変え、少女に言った。「イエス・キリストの御名によって、私はお前に命じる。少女から出よ。」すると、霊はその時出た。**19** しかし、彼女の主人たちは利益の望みがなくなったとわかった時、パウロとシラスを捕まえ、市場にいた支配者たちの所に引っ張って行った。**20** そして、行政官たちの所に連れて行き、言った。「この者たちはユダヤ人で、私たちの町を大混乱させています。**21** そして、ローマ人である私たちが、受け入れても守っても不法になる習慣を教えています。」**22** それで、群衆は彼らに反対して、立ち上がり、行政官たちは彼らの服をむしり取り、杖で打たれよ、と命じた。**23** 彼らに多くのムチを当て、牢獄に投げ入れ、看守に彼らを厳重に見張るよう命じた。**24** こう命令を受け、看守は彼らを奥の牢に入れ、足かせに足を固定した。**25** しかし、パウロとシラスは真夜中、**神**に祈り、そして賛美の歌を歌い、囚人たちは聞いていた。**26** すると突然、大地震があり、牢獄の土台が揺れた。すると、そのとたん、すべての扉が開き、全員の鎖は外れた。**27** そして、看守は眠りから覚め、牢獄の扉が開いているのを見、囚人たちはすでに逃げたと思い、剣を抜き、正に自らを殺そうとするところで、**28** パウロは大声で叫び言った。「自らを傷つけるな。我々全員はここにいる。」**29** それで、看守は灯りを求め、駆け込み、震えながらパウロとシラスの前にひれ伏し、**30** そして、二人を外に連れ出し言った。「先生たち、救われるために、私は何をすべきですか。」**31** そこで、彼らは言った。「**主**イエス・キリストを信じなさい。そうすれば、あなたも、あなたの家の者全員をも救われます。」**32** それから、看守と彼の家にいた全員に、二人は**主**の御言葉を話した。**33** そして、夜のその同じ時間、看守は二人を連れて行き、彼らのムチの傷を洗った。そしてすぐに彼と、彼に属するすべての人たちは、浸礼された。**34** そして、二人を自分の家の中に連れて行き、彼らの前に食べ物を置いた。そして、**神**を信じたことを家の者と全員で、看守は喜んだ。**35** 明るくなり、行政官たちは代理の役人を遣わし、言っ

た、「その男たちを放免せよ。」

36 それで、看守はこの言葉をパウロに報告して、言った。「行政官たちはあなたがたを釈放するため、代理人たちを遣わしました。ですから、すぐ出発してください。安らかに行ってください。」

37 しかし、パウロは彼らに言った。「無実のローマ人を公衆の面前でムチで打たせ、牢獄に入れ、そして今、秘密裏に追い出すのか。それは違う。彼ら自らが来て、私たちを連れ出せ。」

38 代理の役人たちはこの言葉を行政官たちに伝えた。するとパウロたちはローマ人であると聞き、行政官たちは恐怖を感じ、

39 そして、やって来て、二人に願い、連れ出し、町から出てくれるように頼んだ。

40 それで二人は牢獄を出、ルデヤの家に入った。そして、兄弟たちに会い、彼らを励まし、そして出発した。

17

1 さて、使徒たちはアムピポリスとアポロニヤを通り、テサロニケに着いた。そこに、ユダヤ人の一軒のシナゴーグがあった。

2 それで、パウロは彼の習慣のとおり、ユダヤ人たちの中に入り、三安息日にわたり聖書に基づき彼らと論じ合い、

3 キリストは苦しみ、死人の中から復活しなければならなかったと解釈し、論証し、言った。「私があなたがたに説くこのイエスこそが、あのキリストなのです。」

4 そして、その中のある人たちは信頼するにいたり、大勢の敬虔なギリシャ人はパウロとシラスの仲間になった。また、指導的立場にある女性も少なくなかった。

5 しかし、納得にいたらなかったユダヤ人たちはねたみ、市場の無頼漢たちを連れ、群衆を集め、町中を混乱させ、二人を群衆の所へ連れ出そうとヤソンの家を襲ったが、

6 二人を見つけ出せず、ヤソンと数人の兄弟たちを町の支配者たちの所へ、引きずって行き、大声で叫んだ。「世界を転覆したこの者たちはここにも来ている。

7 ヤソンはその者たちを受け入れ、そして全員、カイザルの布告に反するふるまいをし、イエスと言う別の王がいると言っている。」

8 それで、ユダヤ人たちは、これを聞いた群衆と町の支配者たちを動揺させた。

9 それで、ヤソンとその他の人たちから保証を取り、支配者たちは彼らを放免した。

10 それから、兄弟たちはただちに、夜、パウロとシラス

をベレヤへ送り出した。到着した二人はユダヤ人たちのシナゴーグに入った。
11 そこの人たちは、テサロニケの人たちより高貴であり、心をすべて整え、御言葉を受け入れ、それらの事はその通りなのか、毎日熱心に聖書を調べた。
12 それで、彼らの多くの者は信じた。その中にギリシャ人、評判のよい女も男も少なからずいた。
13 しかし、**神**の御言葉はパウロによってベレヤでも教えられていたと、テサロニケのユダヤ人たちは知り、そこにも行き、群衆を扇動した。
14 それで、兄弟たちは、直ちにパウロを送り出し、海に行かせたが、シラスとテモテはベレヤに残った。
15 それで、パウロを案内した人たちは彼をアテネに連れて行き、パウロの所に、シラスとテモテは大至急来るよう命を受け、彼らは去った。
16 さて、パウロが二人をアテネで待つ間、アテネの町は偶像で満たされていたので、彼の霊はかき乱された。
17 そこで、彼はシナゴーグで、ユダヤ人たちと、そして礼拝する異邦人たちと論じ合い、また毎日市場で、たまたまそこにいた人たちと論じ合っていた。
18 そこで、エピクロス派やストア派のある哲学者たちはパウロに出会った。そして、中には、「この知ったかぶり屋は何を言いたいのか。」と言い、また、パウロはイエスと復活の福音を彼らに伝えていたから、「外国の神々を宣言しているのだ。」と言う者もいた。
19 そして、彼らはパウロをアレオパゴスに連れて行き、言った。「あなたの話している新しい教理は、何なのか教えていただけますか。
20 なぜなら、奇妙に響くことを、あなたは我々に聞かせています。だから、これらのことは、どういう意味なのかを知りたいです。」
21 なぜなら、すべてのアテネ人とそこに滞在していた外国人は、新しいことを言ったり聞いたりするためだけに、時間を過ごしていた。
22 それでパウロはアレオパゴスの中央に立って言った。「アテネの男たちよ、すべてのことにおいて、あなたがたは宗教心があると認めます。
23 なぜなら、あなたがたの崇拝する物をよく観察しながら、街を通ると、『未知の**神**へ』、と刻んである碑文のある祭壇を見つけました。ですから、あなたがたが知らないで拝んでいる**神**、この方こそを私はあなたがたに伝えます。
24 世とその中にあるすべてのものをお造りになった**神**

は、天と地の**主**ですから、手で作られた神殿にはお住みになりません。

25 また、この方はすべての者に、命と息と万物とを与えてくださるのだから、必要なものが、何かあるかのように、人の手による奉仕は不要です。

26 そして、この**神**は一つの血から、人間たちのすべての国を造られ、全地上に住まわせ、また、人間の時を定められ、その居住境界を定められました。

27 私たち一人一人から**主**は確かに遠くないです。彼らが**主**を求め、**主**を見いだすようにとの望みのためです。

28 なぜなら、私たちは**主**にあって生き、動き、また存在します。あなたがたの仲間のある詩人たちも言ったように、『ゆえに、我らは**神**の子孫である。』と。

29 従って、私たちは**神**の子孫ですから、**神**、すなわち絶対者は、何か人間の技だとか、考えで形作られた金や銀や石などに、似ているなどと考えてはいけません。

30 まことに、この無知の時代を、**神**は大目に見てこられましたが、今、**神**はどこにいようと、すべての人たちに悔い改めるように命じておられます。

31 それで、**神**はご自身で任命された男の方により、ある日を、世界を正しく裁く日と定められました。**神**はその男の方を死人たちの中から復活させられたことにより、すべての人にこの確証を与えられました。」

32 それで、彼らは死者の復活を聞くと、ある者たちはあざ笑ったが、「このことについて、あなたにまたお聞きします。」と言う者もいた。

33 それで、こうしてパウロは彼らの中から出て行った。

34 しかし、その中のある男たちはパウロの仲間になり、信じた。その中に、アレオパゴス裁判官のデオヌシオが、またダマリスという名の女、また他にも彼らと共にいた。

18

1 さて、その後、パウロはアテネを出、コリントに行き、

2 そして、アクラという名前の一人のユダヤ人を見いだした。ポント生まれで、妻プリスキラと共に、最近イタリアから来ていた。なぜなら、クラウデオは全ユダヤ人に、ローマを出るように命じたからである。そしてパウロは彼らの所に行った。

3 それで、彼は同じ職業であったから、パウロは彼らと共に滞在し、働いた。彼らの職業はテント作りであったからである。

4 そこで、パウロは安息日毎にシナゴーグで論じ、ユダ

ヤ人、ギリシャ人たちを、共に納得させた。

5 そこで、シラスとテモテはマケドニアから下って来た時、パウロは霊に強く動かされ、イエスがあのキリストであると、ユダヤ人たちに証言していた。

6 しかし、彼らはパウロに反対し、冒涜したので、パウロは着衣を振り払い、彼らに言った。「あなたがたの血は、あなたがたの頭上にある。私は清い。今後、私は異邦人の所に行く。」

7 そして、彼はそこから離れ、ユストという、ある人の家に入った。彼は**神**を礼拝し、家はシナゴーグに隣接していた。

8 そして、シナゴーグの支配者であったクリスポは、家の者全員と共に**主**を信じた。そして、コリント人の多くは聞き、信じ、そして浸礼された。

9 さて、夜中に**主**は幻でパウロに言われた。「怖がらずに話しなさい。黙っていてはいけない。

10 わたしはあなたと共にいるからである。この町にわたしの民が大勢いるから、あなたを襲い、けがをさす者は誰もいない。」

11 それで、パウロはそこに一年六ヶ月滞在し、彼らの間に**神**の御言葉を教えていた。

12 さて、ガリオがアカヤ地方の総督であった時、ユダヤ人たちは団結し、パウロに対して立ち上がり、裁判の席に連れて行き、

13 言った。「この者は、人々に律法に反する方法で**神**を礼拝するように勧めています。」

14 そして、パウロが口を開けようとした時、ガリオはユダヤ人たちに言った。「ユダヤ人たちよ、もし不正か邪悪な犯罪であれば、お前たちに我慢する理由にもなるだろうが、

15 しかし、問題が言葉、名前、またお前たちの律法のことなら、お前たち自身でかたずけよ。なぜなら、私はそんなことの裁判官になりたくない。」

16 そして彼はユダヤ人たちを裁判の席から追い出した。

17 すると、ギリシャ人全員は、シナゴーグの支配者ソステネを捕まえ、裁判の席の前で彼を殴り続けた。しかし、ガリオはこれらのことを意に留めなかった。

18 さて、パウロはなお多くの日々そこに滞在した。それから、兄弟たちに別れを告げ、シリアへ出航した。プリスキラとアクラはパウロの供をした。パウロは誓いを立てていたから、ケンクレヤで髪の毛を切った。

19 そしてエペソに来て、二人をそこに残し、彼自身はそのシナゴーグに入り、ユダヤ人たちと論じ合った。

20 彼らはもっと長く共に滞在するようにと頼んだが、パ

ウロは同意しなかった。

21 しかし、別れを告げ、パウロは言った。「なんとしても、エルサレムの今度の晩餐は、私は守らなければなりません。しかし、**神**のご意志なら、私はまたあなたがたの所に戻ってきます。」そして、彼はエペソから出航した。

22 そして、カイザリヤに上陸し、教会に挨拶に上がってから、彼はアンテオケに下って行った。

23 そして、しばらくそこに滞在してから、パウロは出発し、すべての弟子たちを強めながら、ガラテヤとフルギヤの地方を順に回った。

24 さて、アレキサンドリ生まれで、弁が立ち、聖書に精通している、アポロという名前のユダヤ人の男がエペソに来た。

25 この男は**主**の道について、教えを受けたことがあり、霊にあって熱心で、ヨハネの浸礼だけ知っていたのに、**主**のことを正確に話し、教えた。

26 それで、彼は大胆にシナゴーグで話し始めた。アクラとプリスキラは聞き、アポロをそばに招き、**神**の道をさらに正確に説明した。

27 そして、アポロはアカヤへ渡ろうと決めた時、兄弟たちは弟子たちに手紙を書き、彼を受け入れてくれるように強く勧めた。そして、アポロは到着し、恵みを通して信じた人たちを大いに助けた。

28 なぜなら、彼はみんなの前でユダヤ人たちを力強く論破し、イエスはあのキリストであられると、聖書を通して示した。

19

1 それで、ことの次第はこうであった。アポロはコリントにいた間、パウロは北の地方を通り、エペソに着いた。そして、何人かの弟子を見いだし、

2 彼らに言った。「信じた時、**聖霊**を受け入れましたか。」すると、彼らはパウロに言った。「いや、**聖霊**なるものさえ、私たちは聞いたこがありませんでした。」

3 彼は彼らに言った。「では、何の根拠で浸礼を授けられましたか。」彼らは言った。「ヨハネの浸礼が根拠です。」

4 するとパウロは言った。「ヨハネは本当に悔い改めの浸礼で浸礼を授け、人々はヨハネの後に来る方、つまりキリスト・イエスを信じるべき、と民に言いました。」

5 彼らはこれを聞いた時、**主**イエスの御名を根拠で浸礼を授けられた。

6 そして、パウロは彼らの上に手を置いた時、**聖霊**は彼らの上に下り、彼らは言語で話し、預言をした。

7 男たちは全員でおよそ十二人であった。
8 それで、パウロはシナゴーグに入り、三ヶ月間、臆することなく話し、**神**の王国のことについて論じ納得させた。
9 しかし、ある者たちはかたくなに信ぜず、群衆の前で彼の語るこの道の悪口を言ったので、パウロは彼から去り、弟子たちを退かせ、毎日ツラノの学校①で論じ合っていた。
10 そして、これは二年間続き、ユダヤ人もギリシャ人も、アジアに住む者、全員が、**主**イエスの御言葉を聞いた。
11 それで、**神**はパウロの手により、いつもとは違う奇跡を行っていた。
12 それは、人々が手拭き、または前掛けを、パウロの体から病人のところへ持って行きさえすれば、病気は彼らを去り、悪霊は彼らから出て行った。
13 それで、巡回する悪魔払い師の中のある者たちも、悪霊がついている者たちに対して、**主**イエスの御名を呼ぶように決めて、言った。「パウロが説いているイエスによってお前に厳命する。」
14 このことをしている者の中に、ユダヤ人の大祭司、スケワの七人の息子たちがいた。
15 しかし、悪霊は答えて言った。「俺はイエスを知っている。パウロを知っている。お前たちは誰か。」
16 すると、悪霊が入っている男は、飛びかかり、打ち倒し、徹底的に七人をやっつけたので、彼らは裸にされ、傷を負い、その家から逃げ出した。
17 この事件は、エペソに住んでいたすべてのユダヤ人にも、ギリシャ人にも知れ渡ったので、全員の上に恐れが降り、**主**イエスの御名は大いにあがめられた。
18 そして、信じた多くの人たちは来て、行為を言い表し、表明した。
19 また、魔術を行なっていた多くの者たちは、この種の本を持ってきて、みんなの前で焼き尽くした。本の価値を計算すると、合計は銀貨五万枚になった。
20 従って、**主**の御言葉は力強く成長し、強くなった。
21 これらのことが成就され、パウロはマケドニ

9 ① 哲学の講堂であったと思われている。

ヤとアカヤを通って、エルサレムに行くことを御霊により決定し、言った。「エルサレムに行ってから、ローマも見なければなりません。」

22 それで、彼に仕えている二人、テモテとエラストをマケドニヤに遣し、パウロ自身はしばらくアジアに滞在した。

23 さて、その頃、この道について大騒動が起こった。

24 銀細工師で、デメトリオと言うある男が、アルテミスの宮々①を銀で作り、職人たちに、少なからずの利益を得させていたからである。

25 この男は彼らと同種の職業の者たちを呼び集めて、言った。「男たちよ、この仕事から私たちの富はきているのを、あなたがたは知っています。

26 そして、エペソでだけではなく、ほとんどアジア中に、手で作った神々は神ではない、とこのパウロは多くの人々を納得させ、遠ざけたことを、あなたがたは見聞きしています。

27 ですから、私たちのこの商売は成り立たなくなる危険性があるだけではなく、全アジア、全世界もが拝む、大いなる女神アルテミス①の宮は無くなったと思われ、彼女の偉大さは地に落とされそうです。」

28 さて、これを聞いた職人たちは、怒りで満たされ、叫び、言った。「偉大なるエペソ人のアルテミスよ！」

29 それで町全員は混乱で満たされ、パウロの同行者であったマケドニヤ人のガイオとアリスタルコを捕え、彼らはいっせいに劇場の中に突入した。

30 そして、パウロがその町の人々の中に入ろうとした時、弟子たちは彼を許そうとはしなかった。

31 それで、パウロの友人であった、アジア州の議員たちのある人々は、劇場に入らないようにと言う願いを、人を介してパウロに送った。

32 そこで、集会は混乱したので、大方の者はなぜ集まったか分からず、あることを叫ぶ者、また別なことを叫ぶ者も中にいた。

33 それで、彼らはアレキサンデルを群衆の中から引き出し、ユダヤ人たちは彼を前方に押し出した。そして、アレキサンデルは片手を振り、集まった人たちに自らを弁護したいと願った。

34 しかし、彼がユダヤ人であると群衆が分かる

---

24 ① 日本の神棚のような物であった。

27 ① ラテン語では、ディアナと言う女神。

と、全員声を一つにし、二時間ほど叫んだ。「エペソの偉大なるアルテミスよ！」

35 そして、町の書記は群衆を静め、言った。「エペソの男たちよ。エペソは、偉大なる女神アルテミスの宮と、またゼウスから降臨した像を守護している町であることを、知らない人はいるでしょうか。

36 ですから、これらのことは否定できないのですから、沈黙しなさい。急いですることは何もないのです。

37 なぜなら、あなたがたがここに連れて来た男たちは、宮の泥棒でもないし、あなたがたの女神を冒涜する者でもありません。

38 ですから、デメトリオと彼の仲間の職人たちが誰かに対して訴えがあれば、法廷は開いているし、地方総督たちもいます。互いに訴えさせましょう。

39 しかし、あなたがたが他のことで要求があるのなら、それは法律会議で決めましょう。

40 私たちは今日の騒動について、問いただされる危険があります。なぜなら、この秩序のない集合の理由を説明できないからです。」

41 これらのことを言って、彼は群衆を解散させた。

20

1 騒動が治まった後、パウロは弟子たちを彼のそばに呼び、挨拶し、マケドニヤへ行くべく出発した。

2 それで、多くの言葉で彼らを励ましながら、その地方を通り、ギリシャに入った。

3 そこに三ケ月滞在した。そして、彼がシリアへ出航しようとする時、ユダヤ人たちは彼に対して妨害を企んだので、マケドニヤを通って戻ろうと決めた。

4 ベレヤ人ソパテロ、テサロニケ人アリスタルコとセクンド、そして、デルベ人ガイオとテモテ、アジア人テキコとトロピモがパウロに同行していた。

5 この人々は先行し、トロアスで私たちを待っていた。

6 しかし、種なしパンの日々の後、私たちはピリピから出航し、トロアスで五日後に合流し、彼らと七日間そこに滞在した。

7 さて、その週の最初の日に、弟子たちはパンを裂くために集まっており、翌日出発する予定であったパウロは彼らに語り、真夜中まで話を続けた。

8 多くの灯火が、彼らの集まっていた上の部屋にあった。

9 パウロが長時間、論じていたので、ユテコという名の青年が窓に腰かけ、眠気に負け、深い眠りに沈み、三階か

ら落ち、抱き起こすと死んでいた。

10 しかし、パウロは下に降り、青年の上に身を伏せ、彼を抱擁し、言った。「諸君、騒いではいけない。彼の命はまだ彼の中にあります。」

11 そして、パウロは上に行き、パンを裂き、食べ、夜明けまで長い間話をしてから、出発した。

12 そして、彼らは生きている青年を連れて上がり、あり得ない慰めを得た。

13 それから、私たちは先に船に乗り、アソスに出航した。そこでパウロを船に乗せるためであった。自らそう命じていたのは、パウロは徒歩で行くつもりである。

14 パウロはアソスで私たちと会い、私たちは彼を乗船させ、ミテレネに行った。

15 私たちはそこから出航し、翌日、キヨスの対岸に行った。次の日、サモスに到着し、トログニオムに滞在した。その翌日、ミレトに行った。

16 なぜなら、アジアで時間を過ごさないよう、パウロはエペソに寄らないと、決めていたからである。パウロはできれば、五旬節の日にエルサレムにいたかったからである。

17 パウロは、ミレトからエペソに人を送り、教会の長老たちを呼び集めた。

18 長老たちがパウロの所に来ると、彼は長老たちに言った。「私がアジアに来た最初の日から、あなたがたの間で、私がいつもどういう生活をしていたか、あなたがたは知っています。

19 ユダヤ人たちの企みによって私に起こった、試練を伴うことで、多くの涙と、謙虚を尽くし、私は**主**に仕えました。

20 また、役に立つことは何も後ろに留めず、あなたがたに告げ、公でも、各家でも教え、

21 ユダヤ人にもギリシャ人にも、**神**に対する悔い改めと、私たちの**主**に対する信仰を証しました。

22 それで、見よ。私は今、霊に縛られ、エルサレムに向かっています。そこで私に何が起こるかわからないのですが、

23 縛る物と苦しみはすべての町で私を待ち受けていると、**聖霊**は証して言っておられます。

24 しかし、これらの中のもので、私を動かすものは何もありません。また、私は喜びを持って私の行程を終えることができるよう、また**主**イエスから頂いた責務、すなわち**神**の恵みの福音を完全に証することを終えるため、私の命は私自身にとって貴重なものとは思っていません。

25 見よ、あなたがたの間で**神**の王国を説いた私の顔を、もうあなたがたは見ることはないと、今、私はわかっています。

26 従って、私はすべての人の血に関して、無実であることを今日あなたがたに証をします。**27** 私はあなたがたに、**神**のすべてのご意志を伝えることから逃げなかったからです。**28** だから、あなたがた自身に、そして群れの者全員に配慮しなさい。**神**がご自分の血によって買い入れられた教会を牧会するために、**聖霊**はあなたがたを監督者にされたのです。**29** 私は知っているのです。私の出立後、残酷な狼があなたがたの間に入り、群れに情け容赦しません。**30** また、あなたがたの中からも男らが現れ、彼らの後ろに弟子たちを引いて行こうと、歪曲したことを言います。**31** 従って、用心しなさい。私が三年間夜も昼も休まずに、涙で、すべての人に警告したことを心に留めておきなさい。**32** それで兄弟たちよ、私は今**神**と**神**の恵みの御言葉に、あなたがたを委ねます。その御言葉はあなたがたを打立て、聖別されたすべての人々の間で、あなたがたに相続権を与えることができます。**33** 私は他人の金や銀や衣服を、不当に望んだことはありません。**34** かえって、私の必要とするもの、また、私と共にいた人たちの必要とするものを、この両手が満たしたことを、あなたがた自身が知っています。**35** こう働くことにより、弱い人を助けなければならないと、私はあなたがたに、あらゆる方法で示しました。また、『受け取るより、与える方がもっと祝福されている。』と言われた、**主**イエスの御言葉を心に留めなさい。」**36** パウロはこれらのことを言い終え、ひざまずき、全員と共に祈った。**37** 彼ら全員手放しで泣き、パウロの首にしがみ付き、口づけした。**38** 彼らが最も悲しんだのは、彼らは以後、パウロの顔は見ることはない、と言ったパウロの言葉であった。彼らは、船までパウロを見送りに行った。

21

1 さて、ことの次第はこうであった。私たちは彼らから別れ、出航し、直線コースをとり、コスに着いた。翌日はロドスに、そこからパタラに着いた。**2** そして、フェニキヤにまで行く船を見つけて、私たちは乗船し、出航した。**3** キプロスを目にし、その左側を通過し、シリアへと向かい、ツロで船は荷を降ろすことになっていたので、そこ

で着岸した。

4 弟子たちを探し出し、彼らと共にそこに七日間滞在した。エルサレムに上らないようにと、彼らは**御霊**を通して、パウロに言った。

5 その滞在の日々が終わり、私たちは出て、道を進むと、彼らは妻たちと子どもたちと共に、私たちが町を出るまで、我らに同行した。そして私たちは砂浜でひざまずき、祈った。

6 互いに挨拶を交わし、私たちは乗船し、彼らは家へ帰った。

7 ツロからの行程を終え、私たちはトレマイに着き、兄弟たちに挨拶をして、一日彼らと滞在した。

8 その翌日、パウロの仲間の私たちは出発し、カイザリヤに到着し、七人の中の一人であった伝道師、ピリポの家に入り、彼の所に滞在した。

9 この人には、預言する処女の娘が四人いた。

10 私たちは幾日か滞在していると、アガボという預言者がユダヤから下って来た。

11 この男は私たちのところに来て、パウロの帯を取り、彼の手足を縛り、言った。「**聖霊**は言われます。『こうして、エルサレムのユダヤ人たちはこの帯の持ち主を縛り、異邦人の手に渡す。』」

12 これらのことを聞くと、私たちも、そこの住民も、エルサレムに上らないよう、パウロに懇願した。

13 するとパウロは答えた。「泣きながらあなたがたは私の心を砕くとは、どういうことですか。なぜなら、縛られるだけでなく、**主**イエスの御名のため、私はエルサレムで死ぬ覚悟はできているからです。」

14 パウロは説得される様子がないので、私たちは中止し、言った。「**主**のご意志が行なわれますように。」

15 さて、この数日の後、私たちは荷を整え、エルサレムへ上って行った。

16 カイザリヤの弟子たち幾人かは、私たちと共に行き、私たちが泊まろうとする、最初から弟子の一人、キプロスのマナソンを連れて来た。

17 私たちがエルサレムに着くと、兄弟たちは喜んで私たちを受け入れてくれた。

18 翌日、パウロは私たちと共にヤコブのところに入ると、長老たちは全員すでにいた。

19 パウロは彼らに挨拶し、異邦人の間で**神**がパウロの奉仕を通してなさったことを詳しくパウロは伝えた。

20 彼らはこれを聞いて**主**に栄光を捧げた。そして、彼らはパウロに言った。「兄弟よ、幾万人ものユダヤ人が信じて

いることをご覧なさい。そして彼らは全員、律法に熱心です。**21** 異邦人の間にいるユダヤ人に、子どもたちに割礼はすべきでない、そして、慣習によって歩んではいけない、モーセを捨てよと、あなたは教えていると、ユダヤ人たちはそう知らされています。**22** ではどうでしょう。あなたが着いたと聞けば、会議はもちろん聞かれます。**23** したがって、私たちのいう通りにしてください。私たちの中に、誓願を立てている男が四人います。**24** 彼らを連れて行き、彼らと共に清めを受け、彼らが頭を剃れるよう、その四人の費用を払ってください。それは、あなたについて、教えられたことは事実無根であることで、あなたは秩序通り歩み、律法を守っている人であることを、すべての人が知るためです。**25** しかし、信じている異邦人に関しては、彼らはそのようなことは、行なう必要はないと、私たちは決めて書き留めました。ただし、偶像に捧げられた物、血、絞め殺された物、性的な罪を、彼らは遠ざけるべきです。」**26** それから、その男たちを連れて行ったパウロは、翌日、彼らと共に清めを受け、清めの日々が終了したと告げるべく、神殿の敷地に入った。その時が、一人一人の捧げ物をすべき日時であった。

27 それで、その七日間がほとんど終わった時、アジア出身のユダヤ人が神殿の敷地でパウロを見て、全群衆を扇動し、彼を捕まえた。**28** そして、叫んだ。「イスラエルの男たちよ、助けてください。この男は、いたる所で、国民、律法、この地、その他もろもろに反する教えをあらゆる人にしています。そしてまた、神殿敷地の中へ、ギリシャ人を入れ、この聖なる地を彼は汚してしまいました。」**29** なぜなら、彼らは以前、エペソ人のトロピモが、パウロと共に町の中にいるのを見かけたので、パウロが神殿の敷地内に彼らを連れて来たのだと想像したのである。**30** 町全体も混乱し、町の人々は駆け集まり、パウロを捕まえ、神殿の敷地から引きずり出し、すぐ各扉は閉められた。**31** 彼らは皆パウロの殺害しようとすると、エルサレム中が騒いでいると言う情報が守備隊の千人隊長に届いた。**32** 隊長は即刻兵士たちと百人隊長たちを連れ、彼らのところへ駆けつけた。隊長と兵士たちを見ると、彼らはパウロを殴打するのを止めた。**33** それで、隊長は近寄り、パウロを捕まえ、二本の鎖で縛るように命じ、そして、何者か、そして何をしたのか、

と問いただしていた。
34 すると、群衆の中のある者たちは、あることを叫び、またほかの者たちは別のことを叫んでいた。それで、大混乱のため、隊長は事実を確かめられず、パウロを城塞へ連れて行くように命じた。
35 階段に着くと、群衆の暴力のせいで、パウロは兵士たちによって担ぎ込まれるほかはなかった。
36 なぜなら、町の群衆は後を追い、「あの者を排除せよ」、と叫んでいたからである。
37 それから、城塞の中へ引き入れられようとした時、パウロは隊長に言った。「話しかけてもいいですか。」隊長は答えた。「お前はギリシャ語が話せるのか。
38 先ごろ、反乱を扇動し、四千人の暗殺者を荒野に導いた、あのエジプト人ではないのか。」
39 パウロは言った。「私はキリキヤのタルソ出身のユダヤ人で、卑しくない町の市民です。お願いします。町の人々に話をする許可をください。」
40 それで、隊長から許可を与えられ、パウロは階段に立ち、市民に手を振った。すると、大いなる沈黙あり、彼はヘブライ語で彼らに話しかけ、言った。

22

1 「男たち、兄弟たち、父たちよ、今あなたがたへの、私の弁明を聞いてください。」
2 パウロがヘブライ語で、彼らに話しかけているのを聞き、人々はさらに静かになった。彼は言った。
3 「私はまことのユダヤ人の男で、キリキヤのタルソで生まれ、この町でガマリエルの足もとで育てられました。我々の父祖たちの律法によって厳しく教えられ、あなたがた皆さんも今日熱心であると同じように、**神**に対して熱心でした。
4 死に至るまで、この道を迫害し、男も女も縛って、牢獄に引き渡しました。
5 大祭司も長老議会の全員も証するように、私は彼らから兄弟たちへの手紙を受け取り、ダマスコに行き、そこにいる人たちをも鎖で縛り、罰を受けさせるため、エルサレムに連れて行く途中でした。
6 さて、ことの次第はこうでした。旅行中、ダマスコに近づくと、天からのすごい光が、私の回りを突然照らしました。
7 私は地に倒れ、私に言う声を聞きました。『サウロよ、サウロよ、なぜわたしを迫害しているのか。』
8 それで私は答えました。『あなたはどなたですか、**主**

よ。』**主**は私に言われました。『あなたが迫害しているナザレのイエスである。』

9 私と共にいた者たちは当然この光を見て、恐れましたが、私に語った方の声は聞こえませんでした。

10 それで私は言いました。『私は何をすべきですか、**主**よ。』**主**は私に言われました。『立ち上がり、ダマスコに行け。そこで、あなたがなするべきことがすべて告げられる。』

11 そして、あの光の栄光で、私は見えなくなったので、共にいた者たちの手に導かれ、私はダマスコに入りました。

12 そこで、律法に沿って生きる敬虔な人で、そこに住んでいた全ユダヤ人に評判のよい、アナニヤと言う人が、

13 私のところに来ました。彼は立って、私に言いました。『サウロ兄弟よ、目が見えるようになりなさい。』と同時に、私は彼を見上げました。

14 するとアナニヤは言いました。『我々の父祖たちの**神**は、あなたが**神**のご意志を知るために、あなたを選ばれました。また、義なる方を見、その方の口からの声を聞くためにです。

15 あなたの見たこと、聞いたことは、あなたがすべての人への**神**の証人となるからです。

16 さあ今、なぜじっとしているのですか。立ち上がり、浸礼を受けなさい。そして、**主**の御名を呼び、あなたの罪を洗い流しなさい。』

17 それで、ことの次第はこうでした。私はエルサレムに戻り、神殿の敷地で祈り、忘我状態になりました。

18 そして、あの方が私に話しておられるのを見ました。『急いで、はやくエルサレムを出なさい。わたしについてのあなたの証を、彼らは受け入れないからです。』

19 それで私は言いました。『**主**よ、どこのシナゴーグでも私はあなたを信じる人々を牢獄に入れ、打ち据えていたことを、彼らは知っています。

20 そして、あなたの殉教者ステパノの血が流された時、私もそこに立って、彼の殺害に同意し、彼を殺す者たちの外套を見張っていました。』

21 すると、**主**は私に言われました。『行け。わたしはあなたをここから遠い異邦人たちに遣わす。』』

22 彼らは聞いていて、この言葉にくると、声を上げて言った。「地上からこの者を取り除け。生存する価値はない者だから。」

23 そして、彼らは叫び、上着を引きちぎり、土を空中に投げたので、

24 彼らがどんな理由で、彼に対してそう叫んでいたかを知るため、ムチ打ちで取り調べるべきであると言い、千人

隊長はパウロを城塞の中へ連れて行けと命令した。

25 それで、彼らはパウロを皮ひもで縛ると、パウロはそばに立っていた百人隊長に言った。「有罪判決を受けていないローマ市民を、ムチ打つことは、合法なのか。」

26 百人隊長はそれを聞き、千人隊長のところに行き、報告した。「この男は、ローマ市民ですから、これからなさることに気をつけてください。」

27 それで、千人隊長は行き、パウロに言った。「我に告げよ。お前はローマ市民か。」彼は言った。「そうです。」

28 千人隊長は答えた。「大金で、私はこの市民権を獲得した。」パウロは言った。「私は生まれながらの市民です。」

29 それで、パウロを問いただそうとした者たちは、即刻彼から引き下がった。そして、千人隊長はパウロがローマ市民であったことが分かり、また彼を縛ったことを恐れた。

30 翌日、パウロはなぜユダヤ人に訴えられたかと、確かなことを知りたくて、千人隊長はパウロの拘束を解き、大祭司たちと彼らの議会の全員に来るように命じ、パウロを連れて来て、彼らの前に立たせた。

23

1 するとパウロは議会全員を見据えて言った。「男たち、兄弟たちよ。この日まで私は、**神**の御前に私の全良心に恥じることなく生きてきました。」

2 すると、大祭司アナニヤはパウロの近くに立っていた者たちに、パウロの口を打てと命じた。

3 すると、パウロは彼に言った。「白く塗られた壁よ。**神**があなたを打つ。なぜならあなたは律法により私を裁くために座っているが、律法に反し私を打てと命じるからだ。」

4 すると、そばに立っていた者たちは言った。「お前は**神**の大祭司をののしるのか。」

5 するとパウロは言った。「兄弟たちよ、彼が大祭司とは知りませんでした。『人は民の支配者を悪く言ってはいけない。』と書いてあるからです。」

6 しかし、一部はサドカイ派の人たちで、他はパリサイ派の人たちであると気づき、パウロは議会に叫んだ。「男たち、兄弟たちよ。私はパリサイ人で、パリサイ人の子です。死人たちの希望と復活のことで、私は裁かれている最中です。」

7 彼がこう言った時、パリサイ派の人たちとサドカイ派の人たちの間で、論争が起こり、集会は分裂した。

8 なぜなら、サドカイ派の人たちは、復活なし、御使いなし、霊なし、と言い、パリサイ派の人たちはいずれもある、と認めるからである。

9 それで大騒ぎになった。パリサイ派の律法学者たちは

立ち上がり、反論して言った。「私たちはこの人に悪を見いだせない。しかし、霊または御使いが彼に話かけたのなら、**神**と戦うのはやめようでないか。」 **10** すると、大混乱になり、千人隊長はパウロが彼らに粉々に引き裂かれると恐れ、兵士たちに、下って行き、力づくでパウロを彼らの中から連れ出し、城塞の中へ連れて行けと命じた。

11 夜になり、**主**はパウロのそばにお立ちになり、言われた。「パウロよ、勇気を出せ。わたしのためにあなたはエルサレムで証をしたように、ローマでもわたしのために証をしなければならないからである。」

12 夜が明けると、ユダヤ人の中のある人たちは共に徒党を組み、互いを呪いの下に置き、パウロを殺すまでは、飲食をしないと言っていた。 **13** 四十人以上の者が、この共同謀議を企てた。 **14** 彼らは大祭司たちと長老たちのところに行き、そして言った。「パウロを殺すまでは何も食べないと、大いなる誓願を持って、私たちは互いを呪いの下に置きました。 **15** それで、今、パウロについて、あたかももっと取り調べることがあるかのように、明日、彼を連れてくるよう、千人隊長に議会と共に示してください。私たちは千人隊長が近くに来る前に、殺す手筈ができています。」

16 パウロの姉妹の息子は、彼らの待ち伏せを聞き、行き、城塞に入り、パウロに知らせた。 **17** それで、パウロは百人隊長の一人を近くに呼び、言った。「この青年を千人隊長のところに連れて行ってください。千人隊長に申し上げたいことがあるそうです。」 **18** それで百人隊長は青年を千人隊長のところへ連れて行き、言った。「囚人のパウロが私を呼び、この青年をあなたに連れて行くように、私に頼みました。青年はあなたに言いたいことがあるそうです。」

19 千人隊長は青年の手を取り、脇に連れて行き、密かに尋ねた。「私に言いたいこととは何か。」

20 青年は言った。「ユダヤ人たちは、あたかもパウロをもっと尋問すると言って、あなたにパウロを議会に連れて来るように頼むことを決めました。 **21** しかし、信用しないでください。なぜなら、彼らの中の四十人以上が待ち伏せしているからです。そしてその四十人は、パウロを殺すまで、飲食をしないと、互いを呪いの下に置いています。そして今彼らは準備でき、あなたからの知らせを待っているのです。」

22 それで千人隊長は青年を去らせ、「私に教えたこのこ

とを、誰にももらしてはいけない。」と命じた。

23 それから、彼は百人隊長を二人呼び、言った。「今夜の三時間目①に、カイザリヤに行くため、兵士二百人、騎兵七十人、槍兵二百人を整え、 **24** そして、パウロが乗る馬を準備し、総督ペリクスのところへ彼を無事に連れて行け。」 **25** 彼は次のように手紙を書いた。

26 「クラウデオ・ルシヤより、偉大なる総督ペリクス閣下にご挨拶を申し上げます。 **27** この男はユダヤ人に捕まり、彼らに殺されるところでした。彼はローマ市民であるとわかって、私は兵士たちを率いて、彼は助け出しました。 **28** そして、私は彼らがこの男を訴える理由を知りたく、彼らの議会の前に連れて行きました。 **29** 彼らの律法に関する件で訴えられていますが、死や鎖に値する刑に該当しないと分かりました。 **30** そして、ユダヤ人たちがその男に対して企んでいることが、私に伝えられ、私はすぐ彼をあなたのところに送り、また彼を訴える者たちはあなたの前で訴えよ、と命令しました。敬白。」

31 そこで、命令された通り、兵士たちはパウロを受け取り、夜中にアンテパトリスに連れて行き、 **32** そして翌日、騎兵たちがパウロと共に行くので、兵士たちは、彼らを残し、城塞に帰った。 **33** 兵士たちはカイザリヤに着き、総督に手紙を渡し、パウロをも彼の前に立たせた。 **34** 総督は手紙を読み、パウロはどの州の出身かと尋ねると、キリキヤからであるとわかり、 **35** 言った。「お前を訴える者たちも来たら、お前の話をよく聞く。」そして、ヘロデの官邸内で保護するよう命じた。

24

1 さて、五日後、大祭司アナニヤは長老たちと、テルトロという弁護士と共に下ってきた。この者たちはパウロに反対する根拠を総督に出した。 **2** テルトロは呼び出されると、パウロを訴え出し、言った。「あなたを通じて我々は大いなる平和を得て、またあなたの先見で、この国に繁栄がもたらされていますので、 **3** 最も高貴なるペリクスよ、私たちは常に、全

23
① 午前九時。

地域で、大いなる感謝を持って、それを受けています。
4 しかしながら、私はもうあなたをこれ以上煩わすことのないよう、あなたの寛容によって、私たちから一言、二言を聞いてくださるよう、お願い申し上げます。
5 なぜなら、あの者は疫病であり、世界中のユダヤ人の間で、混乱を起こす者で、ナザレ人の異端の首謀者であると、私たちは調査してわかったからです。
6 彼は神殿の敷地さえも汚そうとし、そして私たちの律法によって裁くつもりで、彼を捕らえました。
7 千人隊長ルシヤがやってきて、乱暴にも力ずくで私たちの手から彼を連れて行き、
8 彼を訴える者たちは、あなたのもとに行くように命じました。ご自分でパウロを取り調べになれば、私たちが彼を訴えているすべての件を、確かめることができます。」
9 ユダヤ人も全員同意し、これらのことはすべて事実であると主張した。
10 そこで、総督はパウロに話すよう、うなずくと、彼は答えた。「あなたは長年この国の裁判官であると私は知っておりますので、私はうれしく思い、自らのため弁明いたします。
11 なぜなら、私が礼拝のため、エルサレムに上ったのは、わずか十二日前であることは、あなたは確認することができます。
12 神殿の敷地で、誰か、人と論争している私を、また街であれ、シナゴーグであれ、群衆を扇動している私を、彼らは見かけたはずはありません。
13 そして、私を今訴えた事犯を、彼らは証明することができません。
14 しかし、あなたに、このことを言い表します。あの者たちが異端と呼んでいる道により、私は私の父祖たちの**神**を礼拝し、律法と預言者たちの書に書いてあるすべてのことを信じています。
15 彼ら自身も受け入れている希望、すなわち、死人の中から、正しい者たちも、邪悪な者たちも、両者とも未来に復活があるという希望を、私は**神**に対して抱いています。
16 したがって、いつも**神**と人間に対し、違反のない良心を持とうと、私はいつも努めています。
17 それで、多くの年月を経て、施しを私の国に、また捧げ物を持ってくるため参りましたが、
18 その最中、私は群衆といっしょでなく、騒ぎなどはなく、神殿の敷地に清められた私を、アジア出身のユダヤ人のある者たちが、見つけたのです。
19 もし私に対して何かの訴えがあれば、その者たちはこ

こ、あなたの前に出るべきです。**20** そうでなければ、私が議会の前に立っている間に、私に何かの不正を見つけたなら、ここにいる者たちにそれを言わせてください。**21** それとも、あの者たちの中に立ち、『死人たちの復活のことで、私は今日あなたがたに裁かれている最中です。』と私が叫んだ一言以外はありません。」

22 ペリクスはこれらのことを聞き、彼はこの道に関してもっと正確に知っていたので、「千人隊長ルシヤが下って来たら、お前たちに関する件を裁可する。」と言って、彼らの件を延期した。**23** そうして、パウロを保護し、自由を許し、また彼の関係者がパウロを訪ね、世話することを禁じてはいけないと、ペリクスは百人隊長に命じた。

24 数日後、ペリクスはユダヤ人である妻ドルシラと共に来て、パウロを呼び、キリストに対する信仰について聞いた。**25** そこで、パウロは義と、自制と、来たるべき裁きについて論じると、ペリクスは恐れ始め、答えた。「今のところは、去れ。時をみて、また呼ぶ。」**26** それと同時に、パウロを釈放し、金銭を引き出そうと、さらに、何度もパウロを呼び出し、彼と話をした。

27 しかし、二年経ってから、ポルキオ・フェストがペリクスの後任になったが、ペリクスはユダヤ人に迎合し、パウロをつないだままにした。

25

1 さて、フェストは彼の州に来て三日後、カイザリヤからエルサレムに上った。**2** すると、大祭司とユダヤ人たちの主だった者たちは、パウロに反対であることをフェストにはっきり告げた。そして願った。**3** 道中パウロを殺すため、待ち伏せしているので、パウロをエルサレムへ出頭させるよう願った。**4** しかし、パウロはカイザリヤで拘置されるべきであり、彼自身も急ぎそこに行く、とフェストは答えた。**5** それから、彼は言った。「ゆえに、お前たちの中で権威ある者たちは、私と共に下って行き、この男に関して何かあるなら、そこで訴えよ。」

6 彼らと共に十日以上滞在し、カイザリヤに下って行った。次の日、彼は裁きの席に座り、パウロを連れて来るように命じた。**7** そして、パウロが来ると、エルサレムから下って来たユダヤ人たちは、パウロを取り囲み、多くの重大な訴えを

したが、立証不能であった。

8 パウロは自ら弁明した。「ユダヤ人の律法に対しても、神殿に対しても、カイザルに対しても、私は何の罪も犯していません。」

9 しかし、フェストはユダヤ人たちに迎合しようと思い、パウロに答え、言った。「お前はエルサレムに上り、この事に関して私に裁かれることを望むか。」

10 しかし、パウロは言った。「私は当然裁かれるべき場所である、カイザルの裁き座の前に立ちます。よくご存じのように、私はユダヤ人たちに何も不正なことをしていません。

11 しかし、もし私が法を犯し、死に値する罪を犯したならば、死ぬことを拒みません。しかし、この者たちが訴えることが無であるなら、誰も私を彼らに渡すことができません。私はカイザルに上訴します。」

12 それで、フェストは議会と話し合い、答えた。「カイザルにお前は上訴した。カイザルのところにお前は行く。」

13 さて、数日経てから、アグリッパ王とベルニケは、フェストに挨拶のため、カイザリヤに来た。

14 そして、彼らはそこで多くの日も過ごしている間、フェストはパウロの件を王に知らせて言った。「ペリクスが囚人として残した一人の男がいます。

15 私がエルサレムにいた時、ユダヤ人の大祭司たちと長老たちがこの者のことを私に知らせて、裁きを願い出しました。

16 私は彼らに答えました。『訴えられた者が訴える者たちに、顔と顔を合わせて、自分に関する訴えを自ら聞く前に、その者を破滅に引き渡すのは、ローマ人の習慣ではない。』

17 したがって、ユダヤ人たちが集まった時、私は延期せず、翌日裁きの席に座り、その男を連れて来いと命じました。

18 訴える者たちは立ち上がると、私が思っていたほどの訴えをせず、

19 彼ら自身の宗教と、死んだイエスと言う者が、生きていると主張していたパウロに対して、いくつかのやり取りがありました。

20 それで、私自身はそういう問に関して戸惑い、

パウロに聞きました。『エルサレムに行き、そこでこれらの件に関して、裁きを受ける気があるか。』

21 しかし、パウロはアウグスト①の決断が下るまで、保護してくれるように上訴した時、彼をカイザルに送ることができる時まで、彼は保護されるべしと、命じました。」

22 すると、アグリッパはフェストに言った。「私もその者の話しを聞くと思います。」彼は「明日、聞かせましょう。」と言った。

23 次の日、アグリッパとベルニケは華麗に飾り立ててやって来て、千人隊長や町の主立った人たちと共に会堂に入ると、フェストは命じると、パウロは連れて来られた。

24 フェストは言った。「アグリッパ王、そして私たちと共にいるすべての男たちよ。エルサレムでもここでも、ユダヤ人全会衆が、もはやこの男は、生存する価値のない者だと叫び、私に願い出ました。その男をあなたがたは目にしているのです。

25 しかし、彼は死に価することを何も犯していず、そして、彼自身はすでにアウグストに上訴していたことがわかり、アウグストに送ることを私は決めました。

26 彼に関し、私の主君に文書にする、確かなことは何もありません。したがって、取り調べの後、何か文書にすることがあるように、この者をあなたがた、特にあなた、アグリッパ王の前に連れて来ました。

27 なぜなら、囚人を送るのに、その者に対する告訴状なしで送ることは、私にとって道理に合わないからです。」

26

1 するとアグリッパはパウロに言った。「お前は、自らの弁明が許されている。」それでパウロは手を伸ばし、弁明した。

2 「アグリッパ王よ、今日、あなたの前で全ユダヤ人たちが、私を訴えているすべてのことについて、私自身が弁明します。私は私自身、このことを幸いと思っています。

3 特に、ユダヤ人たちに関するすべての習慣、問題について、あなたは専門家だからです。したがって、お願い致します。忍耐して、私の言葉を

---

21 ① ローマ皇帝を尊敬するラテン語の称号。

お聞きください。

4 エルサレムで私の同国人と共に過ごした、青年時代の最初からの私の生活ぶりをユダヤ人全員が知っています。

5 もし彼らが証言をする気があれば、私たちの宗教のもっとも厳しい教派であるパリサイ人として、生きてきた私を、彼らは最初から知っています。

6 そして今、**神**が私たちの父たちに与えてくださった約束の希望のために、私は立ち、裁かれています。

7 私たちの十二部族は、この約束の実現を望み、夜も昼も熱心に**神**に仕えています。アグリッパ王よ、この希望のゆえに私は、ユダヤ人たちに訴えられています。

8 **神**が死人たちを復活させることは、あなたにとってなぜ信じ難いのですか。

9 そうです、私はナザレのイエスの御名に逆らい、多くのことをしなければならないと思いました。

10 その通りのことを、エルサレムでもしました。そこで、大祭司たちから権限を与えられ、聖徒たちを多く牢獄に閉じ込め、そして、彼らが殺された時、私もその聖徒たちに敵対の票を投じました。

11 そして、どこのシナゴーグでも彼らをたびたび罰し、無理に冒涜をさせせました。私は彼らに対して非常に激怒し、外国の町までも彼らを追いかけ、迫害しました。

12 このような事をしながら、大祭司たちからの権限と使命を携え、ダマスカスへ旅立ちますと、

13 真昼でした。王よ、道を行くと、私と同行者の回りを照らす、太陽より明るい天からの光を私は見ました。

14 そして、私たち全員、地に倒れ、ヘブライ語で私に話かける声を耳にし、その声は言われました。『サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか。家畜棒①を蹴るのは、あなたにはつらいことである。』

15 私は言いました。『**主**よ、あなたはどなたですか。』**主**は言われました。『わたしはあなたが迫害しているイエスである。

14
① 家畜を行かせるためであった、釘つきの棒。

16 しかし、起き上がり、自らの足で立て。なぜなら、あなたが見たこと、またわたしがこれからあなたに啓示することの、奉仕者と証人にするために、わたしはあなたに現われたのである。**17** わたしはあなたを国民から、また異邦人たちから救い出す。わたしはあなたをこの者たちに遣わす。**18** 暗やみから光へ、サタンの力から**神**の方へ彼らの向きを変えるため、彼らの目を開けるためである。それは、罪の赦しと、わたしに対する信仰によって聖別された者たちの間での相続を受けるためである。』**19** それゆえに、アグリッパ王よ、私はその天からのビジョンに対して不従順ではありませんでした。**20** しかし、まずダマスカスとエルサレムにいる人々に、またユダヤ全土、そして異邦人たちに、彼らは悔い改め、**神**の方を向き、悔い改めにふさわしい行為を行なうべきだと、私は説きました。**21** こんなわけで、ユダヤ人たちは神殿で私を捕まえ、私を殺そうとしたのです。**22** ですから、**神**から助けを頂き、私は今日までしっかり立ち、預言者たちとモーセが起こると言ったことのほか、何も言わず、地位の低い者にも高い者にも証をしてきました。

23 それは、キリストは苦しみ、死人たちの中から復活する最初の人になり、国民と異邦人に光を伝える、ということです。」**24** パウロがこう弁明していると、フェストは大声で言った。「パウロよ、お前は気が狂っている。学問のし過ぎがお前を狂気にした。」**25** パウロは言った。「最も高貴なるフェストよ、私は狂っていず、真理と道理にかなう言葉を言っています。**26** なぜなら、私が王の前で自由に話しているのは、王もこれらのことはご存じだからです。これらのことは片隅で行なわれなかったので、王はこれらのことは何一つ見逃さなかったのです。**27** アグリッパ王よ、あなたは預言者たちを信じていますか。信じていると私は確信しております。」**28** アグリッパはパウロに言った。「わずかな言葉で、私がクリスチャンになるよう、お前は私を納得させるのか。」**29** パウロは言った。「**神**に願うのはあなただけではなく、今日私の話を聞いてくださる全員が、この鎖は別ですが、言葉が少なくても多くても、私のようになることです。」**30** パウロはこう言うと、王も、同様に総督とベルニケ、そして彼らと共に座っていた人たちも立ち上がった。

31 そして、彼らは退いて互いに言った。「この人は、死刑や鎖に値することは、何もしていない。」 **32** またアグリッパはフェストに言った。「この男はカイザルに上訴しなかったならば、釈放されたであろうに。」

27

1 さて、私たちはイタリアへ出航すると決まった時、彼らはパウロと他の囚人を数人、アウグスト六百人部隊のユリアスという百人隊長に引き渡した。 **2** こうして、アジアの所々に立ち寄ろうと思い、アドラミテオからの船に私たちは乗った。テサロニケのマケドニヤ人アリスタルコも同行していた。 **3** 翌日、私たちはシドンに上陸した。ユリアスはパウロを親切に接し、友人のところに行って歓待されることを許した。 **4** そこから出航してから、向かい風であったので、私たちは風の当たらないキプロスの岸を航行した。 **5** キリキヤとパンフリヤの沖を通り、私たちはルキヤ地方のミラに着いた。 **6** そこで、百人隊長はイタリアへ航行するアレキサンドリヤの船を探し出し、私たちを乗せた。 **7** 数日間は遅々として進まず、苦労してクニドの沖に着き、風は我々の進行を許さず、サルモネの沖にある、風の当たらないクレテの側を航行した。 **8** 苦労してそこを通り、ラサヤと言う町の近くにある「良き港」と言う所に着いた。 **9** 多大な時が過ぎ、断食の時はすでに過ぎており、航行は危険になったので、パウロは彼らに助言し、 **10** 言った。「男たちよ、この航海は、船と積荷だけではなく、我らの命まで失う災難で、大きな損失を伴うと私には分かります。」 **11** しかし、百人隊長はパウロの言ったことより、舵手と船主を信頼した。 **12** そして、その港は冬を越すのに適さないから、そこからも出航し、何とかして南西と北西の方にあるピニクスというクレテの港で、冬を過ごそうと大多数の人は進言した。 **13** 南風が穏やかに吹き、望み通りになったと思い、錨を引き上げ、クレテのそばを航行した。 **14** しばらく経つと、ユーロクルドンという逆風の暴風が起き、 **15** 船はつかまり、風に向かって前進できず、私たちは船を風のふくままにした。 **16** そして、クラウダという小島の風下を進み、辛うじて小舟は手入れのできる状態になった。 **17** 小舟を船に引き上げ、ロープで船を補強し、スルテス

流砂に乗り上げることを恐れ、帆を降ろし、流された。

18 私たちは暴風に激しくもてあそばれたので、翌日、積荷を投棄した。

19 そして、三日目、私たちは自らの手で船具を投げ捨てた。

20 そして、太陽も星も、数日間見えず、大暴風に押しつけられ、ついに私たちは救われる希望はすべて取り去られていた。

21 しかし、彼らは長期間、食べ物を断っていたので、パウロは彼らの中央に立ち、言った。「男たちよ、私の言うことを聞き、クレテから出航しなければ、この災害と損失を受けなかったはずです。

22 そして、今、気を強く持つことを勧めます。失うのは船だけです。あなたがたの中で、命を失う人はいないからです。

23 なぜなら、私が所属し、また仕えている**神**の御使いが、今夜私のそばに立ち、

24 言いました。『恐れてはいけません、パウロよ。あなたはカイザルの前に、連行されて行かなければなりません。そして見よ、あなたと共にいる全員を、**神**はあなたに与えられました。』

25 ですから、男たちよ、気を強く持ちない。**神**が私に言われたことはそうなると、私は信じているからです。

26 ともかく、私たちはまずある島に漂着しなければなりません。」

27 十四日目の夜になり、私たちはアドリア海を為す術もなく漂うことになり、真夜中ごろ、何か陸地に近づいていると船員たちは気がした。

28 それで水深を測ると、二十オルギィア①であるとわかり、もう少し行き、また水深を測ると、十五オルギィアであるとわかった。

29 そこで、船が岩に乗り上げることを恐れ、船員たちは船尾から錨を四つ投げ下ろし、朝が来るように祈っていた。

30 それで、船員たちは船から逃げようとして、船首から錨を下ろすふりをして、小舟を海に降ろすと、

31 パウロは百人隊長と兵士たちに言った。「この人たちが船に残らなければ、あなたがたは救わ

---

28 ① 一オルギィアは、ほぼ二メートルであった。

れることができません。」

32 それで兵士たちは小舟の綱を切り落とした。

33 夜明けになろうとする時、パウロは全員に食べ物を取るように勧め、言った。「何も食べ物を手にせず、何も口にせず、待ち望むこと、今日で十四日目です。

34 ですから、食べ物を取るよう私は勧めます。これはあなたがたの生存のためであり、だれの頭からも髪の毛一本落ちないためです。」

35 パウロはこう言って、パンを受け取り、全員の前で**神**に感謝を捧げ、それを裂き、食べ始めた。

36 それで全員勇気付けられ、彼ら自身も食べた。

37 我ら総員、二百七十六人乗船していた。

38 さて、全員十分食べ、船を軽くし、小麦を海に投げ捨てた。

39 そして、朝になり、どこの地か分からなかったが、砂浜がある入り江が見え、できればそこに船を乗り上げようと計画し、

40 それで、錨を放し、海に捨て、一方、舵の綱を緩め、そして、風に帆を上げ、砂浜に向かった。

41 しかし、二つの海流が出会う所にぶつかり、彼らは船を陸地に乗り上げ、船首は突き刺さり、動けなくなり、船尾は波の力で破壊された。

42 囚人が一人と言え泳いで逃亡しないよう、彼らを殺すのが兵士たちの計画であった。

43 しかし、百人隊長はパウロを守ろうとして、兵士たちのその意図を中止させ、泳げる者は先に海に飛び込み、陸地まで行けと命じた。

44 そして後の者は、板や、船の一部で、全員、陸地に着いた。こうして、全員、無事に陸地に逃れた。

28

1 さて、危機を脱し、その島はマルタと呼ばれていると分かった。

2 そして、降る雨と寒さのため、その土着の人たちは火をたき、私たち全員を受け入れ、大いに親切にしてくれた。

3 しかし、パウロは柴をたくさん集め、火にくべると、一匹のまむしが熱の中から出て来て、パウロの手にしっかり付いた。

4 それで土着の人たちはその動物がパウロの手からぶら下がっているのを見て、互いに言った。「きっとこの男は人殺しで、海からは助かっても、正義は生きることを許さない。」

5 しかし、パウロはその動物を火の中へ振り落とし、何の害も受けなかった。

6 彼らは腫れ上がるか、突然倒れて死ぬかと思っていたが、長い間パウロを見ていても、何の害も彼に起きないと分かると、考えを変え、パウロは神であると言った。

7 その地方に、島の首長のポプリオという男の所有地があった。彼は私たちを歓迎し、三日間礼を持って、私たちを歓待してくれた。

8 すると、事件が起きた。すなわち、ポプリオの父は熱病と赤痢で寝ていたが、パウロは彼のところに入り、祈り、彼に手を置いて彼を治した。

9 このことがあり、島の病気のある他の人たちも来て、治された。

10 彼らはいろいろな方法で私たちに敬意を表した。そして、私たちが出航した時、必要な物を贈ってくれた。

11 三ヶ月後、島で冬を過ごした「デオスクロ」①の船首像がある、アレキサンドリヤの船に乗って出航した。

12 そして、シラクサに寄港し、三日間停泊した。

13 そこから私たちは巡航し、レギオンに着き、一日後南風が吹きだし、翌日私たちはポテオリに入港し、

14 そこで、私たちは兄弟たちを探し出し、七日間共に滞在するように勧められた。こうして私たちはローマのほうに行った。

15 そこで、兄弟たちは私たちのことを聞き、遠くアピオ・ポロとトレス・タベルネまで来て、私たちを迎えてくれた。パウロは彼らを見て、**神**に感謝し、勇気づけられた。

16 さて、私たちはローマに着くと、百人隊長は囚人たちを司令官に渡したが、パウロは彼自身を見張る兵士と共に、単独での滞在を許された。

17 そして、三日後のことであった。パウロはユダヤ人の指導者たちを呼び集めた。彼らが集まると、パウロは彼らに言った。「男たち、兄弟たちよ。我々の国民、そして父たちの習慣に反することは、何もしていないのに、私は囚人として、エルサレムよりローマ人たちの手に渡されました。

18 私を取り調べた彼らは、死刑にする理由がないので、私を釈放したかったのです。

20 しかし、ユダヤ人たちは反論し、私は止むをえず、カイザルに上訴しました。私は自国民を訴

---

11 ①「双子の兄弟」という意味。

える理由は何もなかったのですが、**20** 会って話すため、あなたがたをお呼びしました。なぜなら、イスラエルの希望のため、私はこの鎖で縛られているからです。」**21** すると彼らはパウロに言った。「ユダヤから、あなたについての手紙は受け取っていないし、またここに来た兄弟たちで、あなたの事を話した者、また、あなたを悪く言う者は誰もいませんでした。**22** それで、あなたから、あなたが考えていることを聞きたいです。なぜなら、この宗派に関して、すべての所で反対されていると、私たちは知っているからです。」**23** それで、ユダヤ人たちはパウロのために日を決めると、多くのユダヤ人は彼の宿舎に来た。パウロは彼らに**神**の王国を説明し、厳粛にそれを証し、またモーセの律法と預言者の書より、朝から晩までイエスについて彼らを納得させていた。**24** そして、ある者たちは、話されたことで納得させられたが、不信のままの者もいた。**25** それで、相互に同意のないまま、パウロが言った一言を聞き、別れた。「預言者イザヤを通して、私たちの父たちに**聖霊**は正に言われました。**26** 『この民の所に行き、言え。「聞くであろうが、お前たちは理解しない。見るであろうが、お前たちは認めない。」と。**27** なぜなら、この民の心は鈍感になった。彼らの持つ耳は聞こえず、彼らが持つ目は閉じてしまったのは、目で見ず、耳で聞かず、心で理解せず、翻って立ち戻って、私が治すことがないためである。』**28** したがって、**神**の救いはすでに異邦人に送られていて、そして異邦人はそれを聞くことを知りなさい。」**29** パウロはこう言うと、ユダヤ人たちは出て行き、互いの間で大論争をした。**30** そして、パウロはまる二年、自分自身の借家に住み、すべて彼のところに来る人々を受け入れ、**31** **神**の王国を説き、**主**イエス・キリストに関することを実に大胆に、禁止されることなく教えていた。

ローマ人への手紙

1

1 パウロ、イエス・キリストの僕、召された使徒、**神**の福音のために聖別された者。**2** 福音は、聖書によって**神**の預言者たちを通して約束されたものであり、**3** **神の御子息**についてです。この**御子息**とは、肉によってダビデの種から生まれた方です。**4** 力によって聖なるものの**御霊**で、死からの復活により、**神の御子息**と宣言されました。この方が、私たちの**主**イエス・キリストです。**5** 私たちはこの方により、恵みと使徒職を受けました。これは、この方の御名のため、すべての国の中で、従順に信仰に至るためです。**6** 彼らの間にいたあなたがたも、イエス・キリストの召された人たちです。**7** ローマにいる、**神**に愛され、召されたすべての聖徒に。私たちの**父**なる**神**と**主**イエス・キリストより、あなたがたに恵みと平安がありますように。

8 まず第一に、私はあなたがたの信仰が、全世界に語られていることを、皆さんのゆえに、まずイエス・キリストを通して私の**神**に感謝します。**9** なぜなら、いつも祈りの時に、私がどのようにして、絶えずあなたがたを覚えているかは、私は自らの霊で**御子息**の福音に仕えている**神**が、私の証人でおられます。**10** **神**の御意志によって、どうか今度はあなたがたの所に、成功裏に行けるよう、いつも私の祈りでお願いしています。**11** 私があなたがたに会うことを切に願っている理由は、あなたがたを揺るがない人とするために、何らかの霊的な賜物を与えるためです。**12** しかしそれは、あなたがたと私との同じ信仰を通して、互いに励まされるためでもあります。**13** しかし、兄弟たちよ、私はあなたがたをこれについて知らずにいてほしくありませんが、私はほかの異邦人の中に実があると同様に、あなたがたの中にも、少しでも実が得られるように、何度もあなたがたの所に行こうと計画したが、今まで妨げられてきました。**14** 私は、ギリシャ人にも未開人にも、賢い人にも愚かな

人にも負債のある者です。

15 それゆえに私としては、ローマにいるあなたがたにも、熱意を持って福音を宣べ伝えようとしているのです。

16 というわけで、私はキリストの福音を恥とは思っていません。福音はユダヤ人を初めギリシャ人にも、すべて信じる人にとって、救いに至る**神**の力だからです。

17 なぜなら、**神**の義はそれによって、信仰から信仰へと啓示されているからです。「義人は、信仰によって生きる。」と書いてあるとおりです。

18 そのわけは、不義の中に真実があるとする人間の、すべての不敬虔と不義に対して、**神**の怒りが天から現れています。

19 なぜなら、**神**に関して知り得ることは、彼らの中に表わされているからです。**神**がそれを彼らに表わされたゆえです。

20 というのは、目に見えない**神**の事柄、つまりその方の永遠の力と、**神**としての性質は、世界の創造からはっきりと気づかれるようになっています。それらは、その方の造られたものによって理解されています。そのために、彼らは言い逃れる余地がありません。

21 なぜなら、彼らは**神**を知っていた時、その方に**神**として栄光を捧げず、感謝もせず、むしろ考え方は空虚となり、彼らのその愚かな心は、暗くなったからです。

22 自分を賢いと自称しながら、愚かな者となってしまいました。

23 また、不朽の**神**の栄光を、朽ちてしまう人間や、鳥や、四つ足の動物や、這う動物の形の像に変えてしまいました。

24 そのため、**神**は彼らを彼ら自身の心の欲望に引き渡されました。これは、彼らが互いに自分の体をはずかしめるためです。

25 彼らは、**神**の真理をうそに入れ替え、創造者よりも造られたものを拝んだり、仕えたりしました。**創造主**は、永遠にほめたたえられます。アーメン。

26 そのため、**神**は彼らを破廉恥な愛欲に引き渡されました。つまり、彼らの女でさえ、生まれながらの本来の性愛を自然に反するものに変えてしまいました。

27 同様に、男も、女との生まれながらの本来の性愛を捨て、彼らの情欲で互いに燃え、男は男と不潔な破廉恥なことを行なっていて、そして彼らの誤りにふさわしい報いを、彼ら自身の体の中に受けているのです。

28 そして、このようにして、彼らは**神**を知識の中に留めることとさえ好まなかったので、**神**は、彼らを拒否された精神に引き渡されました。ゆえに、彼らは不適切なことをするようになりました。

29 彼らはあらゆる不義、性的な罪、悪、貪欲、悪意で満たされていて、妬み、殺人、争い、偽り、悪心、陰口でいっぱいになっています。

30 悪口を言う者、**神**を憎む者、暴言をはく者、高慢な者、大言をはく者、悪を企む者、親に従わない者、

31 無知な者、不誠実な者、無情な者、和解できない者、無慈悲な者です。

32 **神**の正しい定めを知りながら、つまり、これらのことを行なっている者たちは、死に値することを知りながら、彼らも同じことを行なっているだけではなく、またこれらを行なっている者たちに全く賛同しています。

2

1 それでは、ああ、裁いているすべての者よ、あなたは言い訳ができません。なぜなら、あなたも裁いている人と同じことをしているから、他人を裁くことによって、あなた自身をも、罪に定めていることになるのです。

2 しかし、このようなことを犯している者たちの上に、**神**の裁きが真理によることを、私たちは知っています。

3 ああ、そのようなことを犯している人たちを裁きながら、自分も同じことを犯しているあなたは、**神**の裁きを逃れることができると思っていますか。

4 また、**神**の善性、忍耐、寛容の富をバカにしていませんか。**神**の思いやりは悔い改めに導くことを知らないのですか。

5 しかし、あなたのかたくなさと、悔い改めない心によって、あなたは自分に怒りの日である、**神**の正しい裁きが啓示される日のために、自分の上に怒りを積み重ねています。

6 **神**は一人一人に、それぞれの行為に基づいて、報われます。

7 一方、良い働きの耐え忍びによって、栄光と敬意と不朽とを求めている人に、永遠の命を報いられます。

8 もう一方は争い好きで、利己的であり、真理を信頼せず、不義を信頼している者たちに、憤りと怒りを報いられます。

9 また、悪を行なうすべての人の魂の上に苦難と困難を、**神**は報いられます。まずユダヤ人の上に、次にギリシャ人の上にです。

10 しかし、善を行なうすべての人の上に、栄光と敬意と平安を、**神**は報いられます。まずユダヤ人の上に、次にギリシャ人の上にです。
11 なぜなら、**神**には偏見がないからです。
12 なぜなら、律法なしに罪を犯したすべての者は、同様に律法なしに滅ぼされます。律法の下に罪を犯したすべての者は、律法によって裁かれます。
13 （律法を聞くだけの者は**神**の前で義でないが、律法を実行する者は義と認められるからです。
14 なぜなら、律法を持たない異邦人が、生まれながら持っている者で律法を行なう時は、彼ら自身が律法なのです。
15 そういう人々は、心の中に書いてある律法を外に示しています。その人々の良心は彼らとともに証をして、お互いの間にある思いは、互いに責めたり、さらに互いに弁明したりすることもあります。）
16 このことは、**神**が私の伝える福音のとおりに、イエス・キリストを通して、人間の秘密を裁く日に実行されます。
17 心せよ。あなたはユダヤ人と自称し、律法の上に安住し、**神**を誇り、
18 ご意志を知り、律法に教えられ、より良いものを是認します。
19 あなたは、自分自身が盲人を導く者であり、暗闇の中にいる者たちの光であり、
20 また、愚か者たちの教師であり、幼児たちの先生であり、律法における知識と真理の姿を持っていると確信しています。
21 ゆえに、他人を教えている教師よ。自分に教えないのですか。盗んではいけない、と説教する人よ。自ら盗みをするのですか。
22 姦淫をしてはいけない、と言う人よ。姦淫をするのですか。偶像を忌み嫌う人よ。宮のものをかすめるのですか。
23 律法を自分の誇りとするあなたは、律法を破ることを通して、**神**を侮っているのですか。
24 なぜなら、書いてあるとおりに、「**神**の御名はあなたがたを通して異邦人の間で侮辱されているからである。」
25 なぜなら、律法を守っていれば、割礼は本当に有益であったが、律法を破る者になったら、割礼は無割礼になってしまったのです。

26 ですから、もし無割礼の者が、律法の正しさを守っているなら、その者の無割礼は、割礼として認められるのではありませんか。**27** そして、生まれたままで律法を全うする無割礼の者が、律法の文字と割礼がありながらも、律法の違反者であるあなたを、裁くことになるのです。**28** ゆえに、見た目にはユダヤ人であるからと言って、ユダヤ人ではなく、また、肉体的に見た目だけの割礼は、割礼ではありません。**29** かえって、中身がユダヤ人である者こそ、ユダヤ人であり、律法の文字によるものではなく、霊による心の割礼が割礼です。そういうユダヤ人の名誉は、人間からではなく、**神**からのものです。

3

1 では、ユダヤ人が優れているところは何ですか、また、割礼の利益は何ですか。**2** あらゆる面に大いにあります。第一に、ユダヤ人に**神**の御言葉が委ねられたのです。**3** なぜなら、信じない者たちがいたらどうでしょう。彼らの不信仰は**神**への信仰を無にするのでしょうか。**4** 断じて違います。すべての人が虚言をはいても、**神**は真実です。「あなたは、あなたの御言葉によって義と認められ、また裁かれる時に勝利を得られるように。」と書かれているとおりです。**5** しかし、もし私たちの不義が、**神**の義を明らかにするなら、私たちはどう言えばいいでしょうか。怒りをお下しになる**神**は、正しくないのでしょうか。（私は、ただの人間として、話しをしているのです。）**6** 断じて違います。もしそうなら、**神**はどういうふうに世を裁かれるのでしょうか。**7** なぜなら、もし私のうそによって、**神**の真理が栄光を増したとしたら、私はなぜ、まだ罪人として裁かれるのですか。**8** 「善が来るために、悪を行なおう。」とは、私たちは言っていません。私たちは、そう言っていると言われているが、それはいわれのない中傷です。こう言うことを言う者に対する裁きは、正しいのです。**9** では、どうでしょう。私たちの方が優れているのでしょうか。まったくそうではありません。なぜなら、ユダヤ人

もギリシャ人も罪の下にいることを、私たちはすでにはっきりさせました。
10 「正しい者はいない。一人もいない。」と書いてあるとおりです。
11 「理解している者はいない。**神**を探し求める者はいない。
12 人はすべて、道から離れてしまった。同時に彼らは役立たずになった。誰も善を行なっていない。一人もいない。」
13 「彼らののどは、開いた墓穴である。彼らは、彼らの舌で人をだましていた。」「まむしの毒が、彼らのくちびるの下にある。」
14 「彼らの口は、呪いや苦々しさで満ちている。」
15 「彼らの足は、血を流すことに速い。
16 彼らの道には、破壊と悲惨がある。
17 また、彼らは平和の道が分からなかった。」
18 「**神**への恐れは彼らの眼前にはない。」
19 しかし律法が言っていることは、律法の下にいる者たちに対して言われていると、私たちは知っています。それは、すべての口は、沈黙させられ、全世界が**神**に対して有罪になるためです。
20 ゆえに、**神**の御前に、律法の行ないによって、肉なる者はだれも義と認められることがありません。なぜなら、罪の知識は、律法を通してです。
21 しかし今、律法以外に、**神**の義が明らかにされています。このことは、律法と預言者たちによって証されています。
22 この義は、イエス・キリストにおける信仰によるものであり、すべての人たちに、また信じるすべての人たちの上にあります。なぜなら、そこには差別がないからです。
23 なぜなら、すべての者は罪を犯したことがあるから、**神**の栄光にとどかないのです。
24 その方の恵みにより、代価なしで、イエス・キリストにあるあがないを通して義と認められます。
25 それは、**神**は忍耐をもって今まで犯されてきた罪を見逃されてきました。しかし、ご自身の義を明らかにするため、キリストの血に対する信仰によって、キリストをなだめの供え物とされたのです。
26 これは正に今の時に、**神**ご自身が義であり、そしてイエスに対する信仰を持つ人を義と認められるために、**神**は自らご自分の義を証明するためです。

27 では、誇ることはどこですか。もう取り除かれました。どの律法を通してですか。行ないの律法か。そうではありません。ただ、信仰の律法を通してです。 **28** ですから、私たちは、人は律法の行ないなしに、信仰によって義と計算される、との結論に達しました。 **29** **神**はユダヤ人だけの**神**であられますか。異邦人の**神**ではないのですか。はい、異邦人の**神**でもあられます。 **30** なぜなら、**神**は唯一であり、**神**は割礼者を、信仰によって義と認められ、また割礼を受けていない者も信仰を通して義と認められるのです。 **31** それでは、私たちは信仰を通して律法を台無しにするのですか。断じて違います。それどころか我々は律法を堅くする者なのです。

4

1 では、私たちの父祖アブラハムは、肉において何を見付けたと言えばいいですか。 **2** というのは、もしアブラハムは行ないによって義と認められたとするならば、彼は誇りを持つことができます。しかし、**神**の御前では誇ることはできません。 **3** なぜなら、聖書は次のように言っているではありませんか。「アブラハムは**神**を信じた。そして、**神**はそれを彼にとって義と計算された。」 **4** しかし、働く人には、報酬は恵みによって計算されるものではなく、借りたもののように、計算されています。 **5** しかし、働かないで、**神**を敬わない人を義と計算される方を信じる人の信仰は、義と計算されています。 **6** ダビデも、行ないなしで、**神**に義と計算された人の幸せを、まったく同じように語りました。 **7** 「不法な行為が、赦され、罪を覆われた人たちは、幸せである。 **8** **主**が決して罪を計算されない人は、幸せである。」 **9** ところで、この幸せは割礼者の上に来るのですか、あるいは、無割礼者の上にも来るのですか。と言うのは、「アブラハムにとって、彼の信仰は義と計算された。」と私たちは言うからです。 **10** ですから、どういうふうに計算されたのですか。割礼の状態でしょうか、それとも無割礼の状態でしょうか。割礼の時ではなく、無割礼の時でした。

11 そして、アブラハムは割礼のしるしを受けました。それは、無割礼の時に持っていた信仰の義の証印でした。これは、無割礼で信じているすべての人の父祖とアブラハムがされるためであり、彼らも義と計算されるためです。**12** そして、アブラハムは割礼者だけの割礼の父祖ではなく、無割礼のままであった、私たちの父祖アブラハムの信仰の足跡を歩む者たちの割礼の父でもあります。**13** なぜなら、世界の相続人になるという約束が、アブラハム、またはその種に来たのは、律法を通してではなく、信仰の義を通してでした。**14** なぜなら、もし律法から出る人たちが相続人であったなら、信仰はむなしくされて、約束は無効にされてしまいます。**15** なぜなら、律法は怒りを生じます。また、律法がないところに律法の違反もありません。**16** このゆえに、律法の人だけではなく、私たち全員の父祖であるアブラハムの信仰から来る人にも、父祖アブラハムのすべての種への確かな約束であるために、恵みにより、信仰から出たのです。**17** 「私はあなたを多くの国の父祖に任じた。」と書いてあるように、アブラハムが信じた方の御前に、すなわち死人に命を与える方、存在しない人を存在するようにお呼びになる**神**です。**18** アブラハムは、「あなたの種はそうなる。」と告げられ、信じがたいことでありながら、希望を持って信じたがゆえに、多くの国々の父祖となりました。**19** そして、およそ百歳で自分の体がもう無能になっていること、またサラの胎が死んでいることを考えもせず、彼の信仰は弱くならなかったのです。**20** また、彼は**神**の約束を不信仰のゆえ疑うことなく、むしろ信仰によって力づけられ、**神**に栄光を捧げたのです。**21** また、**神**は約束されたことを果たすことを、アブラハムは十分に確信していました。**22** だからこそ、「そのことが彼の義と計算された。」**23** しかし、**神**がアブラアムを「義と計算された」、と言うことは、アブラハムだけのために書かれたのではありません。**24** また、私たちの**主**イエスを死人たちの中から復活させた方を、信じている私たち、それにこれから計算される私たちのためにも義となります。

25 この方は、私たちの悪業のために渡され、私たちが義と認められるために復活させられたのです。

5

1 こういうわけで、私たちは信仰によって義と認められたので、**主**イエス・キリストを通して、**神**との平和を持っています。
2 またこの方を通して、信仰によって私たちが立っているこの恵みの中に入ることを得たのです。そして、私たちは**神**の栄光の希望を誇るのです。
3 しかし、それだけではなく、また私たちは苦難の中で誇ります。なぜなら、苦しみが忍耐を生じることを知っているからです。
4 また、忍耐は練達を生じ、練達は希望を生じ、
5 その希望は、恥をかかせないことを知っています。なぜなら、私たちに与えられた**聖霊**を通して、**神**の愛が、私たちの心に注がれているからです。
6 なぜなら、私たちが弱かった時に、キリストは定められた時に、**神**を敬わない人たちのために死んでくださったのです。
7 なぜなら、正しい人のために死ぬ人はまれにはいます。また、善人のために、死に挑む人がいるでしょう。
8 しかし、私たちがまだ罪人であった時、キリストは私たちのために死んでくださり、それによって、**神**は私たちにご自分の愛を示してくださっておられます。
9 ゆえに、今その方の血によって義と認められている私たちは、なおさらのこと、その方を通して、怒りからも救われるのです。
10 したがって、私たちが敵でありながら、**神の御子息**の死を通して、**神**と和解することができたのなら、なおさらのこと、**御子息**の命によって、和解した私たちは救われます。
11 しかし、それだけではなく、私たちの**主**イエス・キリストを通して、私たちは**神**を誇りに思っています。今、キリストを通して和解を受け入れたのです。
12 したがって、罪が一人の人間を通して世に入ったように、また死もその罪を通して入りました。そして同じくすべての人が罪を犯したので、死はすべての人に入りました。
13 というのは、律法の時代以前にも、罪は世にありました。しかし、律法がない時は、罪の請求はされません。

14 しかし、死はアダムからモーセまで、アダムと同じ形で命令に服従しなかったことで罪を犯した人たちをも支配しました。アダムは来られる方の見本です。

15 しかし恵みの賜物は、この悪業と同じではありません。なぜなら、一人の人間の悪業を通して、大勢の人たちが死んだとしたら、**神**の恵みと、一人の人間、イエス・キリストによる恵みを通しての賜物は、なおさらのこと、大勢の人たちに満ち溢れたのです。

16 そして、この賜物は、罪を犯した一人の人間によるのではありません。なぜなら、裁きは一人の人間によって罰に至るが、この恵みの賜物は、数多くの悪業が正しい行ないに至るのです。

17 なぜなら、一人の人間の悪業によって、一人の人間を通して死が支配したとしたら、なおさらのこと、多くの恵みと義の賜物を受ける人たちは、一人の方、つまりイエス・キリストを通して命をもって支配します。

18 したがって、一人の人間の悪業を通して、罰はすべての人間に及んだと同じように、一人の人間の義を通して、正しい命に至る義がすべての人間に及んだのです。

19 なぜなら、ちょうど一人の人間の不従順を通して、大勢の人たちが罪人とされたと同様に、一人の人間の従順を通して大勢の人たちが義人とされるのです。

20 また、悪業が盛んになるために、律法がこっそり忍び込んできました。しかし、罪が盛んになった場所では、それ以上に恵みは溢れ出しました。

21 これは、罪が死によって支配するようになったと同じように、私たちの**主**イエス・キリストを通して、私たちが永遠の命に至るように、恵みが義を通して支配するためです。

6

1 では、どう言えばいいでしょうか。私たちは、恵みが豊かになるように、罪の中にとどまりましょうか。

2 断じて違います。罪に対して死んだ私たちが、どういう訳で、まだ罪によって生きると言うのですか。

3 キリスト・イエスにかかわる浸礼を受けた私たち一人一人は、キリストの死にかかわる浸礼を受けたことを、知らないのですか。

4 ですから、キリストが、**父**の栄光によって、死人たちの中から復活させられたと同じように、私たちはキリスト

ともに、浸礼によって葬られたのです。それは私たちも、新しくされた命にあって歩むためです。

5 なぜなら、もし私たちの死が、その方の死と同じ形で、共に発芽したのなら、またその方の復活の形にも預かるのです。

6 もとの私たちは、イエスと共に十字架につけられたことを、私たちは知っています。それは、私たちがもう罪に仕えないために、罪の体が破壊されるためです。

7 なぜなら、死んだ者は、罪から解放されているからです。

8 それで、私たちはキリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きることも私たちは信じています。

9 死人たちの中から復活されたキリストは、もう死ぬことはないと知っているからです。死はもうその方を支配していないのです。

10 キリストが死なれたと言うのは、罪に対して一度死なれたのであり、生きていると言うことは、**神**に対して生きているのです。

11 また、同様に、あなたがたも、罪に対しては死んでいると自分を計算しなさい。そして、**神**に対しては、私たちの**主**キリスト・イエスによって生きていると自ら計算しなさい。

12 ゆえに、その欲望に関する罪に聞き従わないために、死を免れないあなたがたの体を、罪に支配させてはいけません。

13 そして、あなたがたの体の各部を、罪の道具として不義に委ねてはいけません。むしろ、死人たちの中から生かされた人として、あなたがた自身を**神**に委ね、自分の体の各部を義の道具として**神**に捧げなさい。

14 なぜなら、罪はあなたがたを支配しません。それは、あなたがたは律法の下ではなく、恵みの下にいるからです。

15 それで、私たちは律法の下ではなく、恵みの下にいるので、罪を犯そうというのですか。断じて違います。

16 知らないのですか。つまり、あなたがたは、自分が奴隷として聞き従うために、自らを委ねる者の奴隷になります。罪であったら死に対して奴隷であり、従順であったら義に対して奴隷です。

17 しかし、あなたがたは罪に対して奴隷でしたが、伝えられた教えの鋳型に心から聞き従ったことを、**神**に感謝します。

18 そして、あなたがたは、罪から自由にされ、義の奴隷となったのです。

19 私は、あなたがたの肉の弱さのために、人間的に話し

ています。なぜなら、あなたがたは体の各部を、汚れと不法に奴隷として身をまかせ、不法に進んだことがあるように、今度は、聖さに進んで、あなたがたの体の各部を、義に奴隷としてまかせなさい。

20 なぜなら、あなたがたは罪の奴隷であった時、義から自由でした。

21 では、あなたがたは今、はずかしいと思っていることから、何の実を得ましたか。なぜなら、それらのことの行き着くところは死です。

22 しかし今は、罪から自由にされ、**神**に対して奴隷となったあなたがたは、聖さに至る実を持ち、行き着くところは永遠の命です。

23 なぜなら、罪の報酬は死ですが、**神**のくださる賜物は、私たちの**主**キリスト・イエスによる永遠の命です。

7

1 また、兄弟たちよ、私は律法を知っている人に話しているのですが、律法が人を支配するのは、生きている間だけなのを知らないのですか。

2 なぜなら、夫を持つ女は、夫が生きている間は、律法によって夫に縛られているが、夫が死ねば、妻は夫の律法から解き放たれます。

3 では、もし夫が生きている間に、彼女は他の男の妻になれば、姦淫の女と呼ばれます。しかし、もし夫が死ねば、彼女は律法から自由です。したがって、他の男に結ばれても、姦淫の女とはなりません。

4 私の兄弟たちよ。そう言う訳で、あなたがたもキリストの体を通して、律法に対して死人となっています。これは、私たちが**神**のために実を結ぶように、死人の中からよみがえられた、もう一人の別の方に、あなたがたが結ばれるためです。

5 なぜなら、私たちが肉にあったとき、律法による罪の情熱は、死に至る実を結ぶために、私たちの体の各部で働いていました。

6 それで今、私たちは縛られていたものに対して、死んでいるのですから、律法から私たちは自由になりました。これは、私たちが文字の古さによらず、霊の新しさによって仕えるためです。

7 ゆえに、私たちはどう言えばいいでしょうか。律法は

罪でしょうか。断じて違います。しかし、律法を通してではなければ、罪を知らなかったでしょう。なぜなら、律法が「むさぼってはいけない。」と言わなかったら、私はむさぼりを知ることはなかったでしょう。

8 しかし、罪はすきに乗じ戒めを通して、私の中にすべての欲望を作り出しました。なぜなら、律法なしでは、罪は死んでいるからです。

9 昔、私は律法なしで生きていたのです。でも、戒めが来た時、罪は生き返り、私自身が死んだのです。

10 そして、私は命をもたらす戒めが、死をもたらす、と言うことが分かりました。

11 ゆえに、罪は戒めを通してすきに乗じて私をだまし、戒めを通して私を殺しました。

12 実にこのように、律法は聖なるものです。戒めも聖であり、正しく、善なるものです。

13 では、私にとって善いものが、死になったのですか。断じて違います。でも、罪は罪として現れるために、私にとって良いものを通して、罪は私に死を作り出しました。それは、罪は戒めを通して極端に罪深くなるためでした。

14 なぜなら、私たちは、律法が霊的であることを知っています。しかし、私自身は肉に属し、罪の下に売られています。

15 ゆえに、私は、自分が行なっていることがわかりません。なぜなら、私は望むことをせず、忌み嫌うことをしてしまいます。

16 では、もし私は自分は望まないことをしているのなら、律法は善であると賛成します。

17 しかし今は、もはや行なうのは私ではなく、私の中に住み着いている罪なのです。

18 ゆえに、私は自分の中に、つまり私の肉の中に、何も良いものは住み着いていないことを知っています。なぜなら、決断する意思は私の中にあるが、善なることを行なう方法を見いだせないのです。

19 なぜなら、私が望む良いことを、私はしないが、望まない悪、そのことをなしてしまうのです。

20 しかし、私が自分が望まないことを、もしなしてしまったら、それはもう私自身が行なっているのではなく、私の中に住み着いている罪がなしたのです。

21 したがって、悪は、善を行なおうとしている私と共に

ある、と言う律法があるのを見いだしました。 **22** なぜなら、私の中にいる私自身は、**神**の律法を喜ぶけれど、 **23** もう一つの律法が、私の体の各部にあるのがわかります。その律法は私の知力の律法と戦って、私の体の各部にある罪の律法で、私をとらわれ人にしてしまいます。 **24** 私は何と浅ましい人間でしょう。誰が私をこの死の体から救い出してくれるのですか。 **25** 私は、私たちの**主**イエス・キリストを通して**神**に感謝します。それでは、結論として、私自身は、知力では**神**の律法に仕えているが、肉では罪の律法に仕えています。

8

1 ところが、肉によってではなく、キリスト・イエスにあって**御霊**によって歩む人たちに対して、もう処罰されることはありません。 **2** というのは、キリスト・イエスにある命の**御霊**の律法は、私を罪と死の律法から解き放ったのです。 **3** なぜなら、肉を通して弱かったところ、また律法がなしとげることができなかったところを、**神**は罪のために、ご自分の**御子息**を罪深い肉と同じような姿でお遣わしになる、その肉にある罪に有罪の判決をくださいました。 **4** これは、肉によってではなく、**御霊**によって歩む私たちの中に、律法の正当な要求が満たされるためです。 **5** なぜなら、肉による人たちは、肉のことを心にとめ、**御霊**による人たちは、**御霊**のことを心にとめます。 **6** なぜなら、肉が思うことは死ですが、霊が思うことは命と平安です。 **7** なぜなら、肉が思うことは、**神**に敵対するものです。それは、肉が思うことは**神**の律法に従わず、かつ従い得ないからです。 **8** また、肉にある人たちは、**神**を喜ばすことができません。 **9** しかし、**神**の**御霊**があなたがたのうちに本当に住んでおられるなら、あなたがたは肉にある人ではなく、**御霊**にある人です。たとえ誰であろうと、キリストの**御霊**を持っていない人がいたら、その人はキリストの人ではありません。 **10** また、キリストがあなたがたの中におられるなら、罪ゆえに体は死んでいるが、**御霊**は義ゆえに命であられます。 **11** しかし、イエスを死人たちの中から復活させた方の**御霊**が、あなたがたのうちに宿っているなら、キリストを死

人たちの中から復活させた方が、あなたがたの内に宿るご自身の**御霊**を通して、あなたがたの死ぬことになっている体を生かしてくださるのです。

12 ですから、兄弟たちよ。私たちは債務があるが、肉に対してではありません。ゆえに肉に従って生きる必要のない者です。

13 なぜなら、もし肉に従って生きるのなら、あなたがたは死ぬが、もし**御霊**によって体の行ないを殺したら、あなたがたは生きるのです。

14 というのは、**神**の**御霊**に導かれている人たちはすべて、**神**の子どもです。

15 なぜなら、あなたがたを再び恐怖に陥らせる奴隷の状態の霊を受けたのではなく、養子の**御霊**を受け、その**御霊**によって「アバ、**父**よ」と私たちが叫ぶのです。

16 **御霊**ご自身が、私たちの霊と共に、私たちが**神**の子どもであることの証をしておられます。

17 また、もし子どもであったら、相続人、つまり**神**の相続人であり、キリストと共に相続人です。これには、もし私たちが、キリストと共に栄光を受けるために、キリストと共に苦しむのなら、と言う条件があります。

18 しかし、私たちにこれから現れる栄光に比べれば、現在のこの苦しみは比較に価しない、と私は計算します。

19 それで、被造物の切なる望みは、**神**の子どもたちの出現を熱心に待つのです。

20 なぜなら、被造物は、むなしさの下の位に置かれたが、これは、自分の意志によらず、従わせた方の希望のゆえです。

21 なぜなら、同じ被造物は、腐り果てた奴隷の状態から、**神**の子どもの栄光ある自由へと解放されます。

22 というのは、被造物はすべて、今まで同様、ともにうめき、またともに産みの苦しみが続くことを、私たちは知っているからです。

23 それだけではなく、**御霊**の最初の収穫物を持つ私たちでさえも、自ら、自分たちの中で嘆き、養子にされること、つまり私たちの体のあがないを待ち望んでいます。

24 ゆえに、私たちはこの希望によって救われたのです。しかし、目に見える希望は希望ではないのです。なぜなら、人は見ているものを、それでもまだ望むのでしょうか。

25 しかし、もし私たちは見ていないものを望んでいるな

ら、忍耐をもって待ち望みます。

26 同じように、**御霊**も私たちの弱さを助けてくださいます。なぜなら、祈るべき言葉さえ知らない私たちに代わって、**御霊**ご自身が私たちのために、言葉にならない嘆きの声で、私たちに代わってとりなしてくださいます。

27 また、心を調べる方は、**御霊**の考えを知っておられます。なぜなら、**神**によって聖徒たちのために、**御霊**は弁護してくださるからです。

28 **神**を愛する人たち、つまり、**神**のご意志によって召された人たちのために、**神**はすべてのことをともに働かせて益にすると、私たちは知っています。

29 なぜなら、**神**はあらかじめご存知であった人を、ご自分の**御子息**の姿と同じになるよう、あらかじめ定められました。これは、多くの兄弟たちの中で、**御子息**が最初に生まれた子とするためです。

30 また、**神**はあらかじめ定めた人たちを召され、そして召された人たちを義と認められ、義と認められた人たちに栄光をも与えられました。

31 では、これらのことに対して私たちはどう言えばいいのでしょうか。もし**神**が私たちの側なら、だれが対抗しますか。

32 私たちすべてのために、ご自分の**御子息**を惜しまずに渡された方が、どうして**御子息**に加えて、私たちにすべてのものをも豊かにくださらないことがありましょうか。

33 誰が**神**の選ばれた者たちを訴えるのですか。義と認められるのは**神**です。

34 有罪判決を下す方は誰でしょうか。死なれ、なお、復活されたキリストが、今**神**の右手におられ、さらに私たちのために弁護をしてくださっています。

35 誰がキリストの愛から私たちを離れさせますか。艱難か、苦しみか、迫害か、飢饉か、裸か、危険か、あるいは剣ですか。

36 「私たちは、あなたのために一日中殺されてい

る。屠殺のための羊として数えられている。」と書いてあるとおりです。

37 しかし、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった方を通して、私たちは戦いを制覇した者以上の者です。

38 そこで、私は確信しています。死も、命も、使いたちも①、権威あるものたちも、力強いものたちも、現在あるものたちも、来るべきものたちも、

39 高いものも、深いものも、その他どのようなつくられたものも、私たちを私たちの主、キリスト・イエスにある**神**の愛から離すことはできないのです。

9

1 私はキリストにあって真実を言い、うそは言っていません。**聖霊**にあって私の良心も私とともに証をしています。

2 その証とは、私の苦しみは激しく、また私の心の痛みも果てしない、ということです。

3 なぜなら、私の兄弟たちのため、肉による私の同国民のため、代りとなって、私自身がキリストから呪われるようにと願うほどです。

4 その同国民とは、イスラエル人です。彼らには、養子にされること、栄光と諸契約と律法の授与と奉仕、それに約束があります。

5 父祖たちもイスラエル人です。そして、キリストは肉によっては彼らから来られました。この方は万物の上におられ、永遠に祝福されている**神**であられます。アーメン。

6 これは、**神**の御言葉が力を失ってしまったということではありません。イスラエル出身のすべての人たちが、イスラエル人ではないからです。

7 そして、アブラハムの種であるからといって、彼らすべてがアブラハムの子らではありません。しかし、「イサクによって、あなたの種と呼ばれる。」

8 つまり、肉の子どもである彼らは、**神**の子どもではなく、この約束の子どもたちは、種として

38

① 御使いたちも悪霊たちも含まれている。

数えられています。

9 なぜなら、これが約束の言葉なのです。「この時に、私は来る。そしてサラは男の子を産む。」

10 これだけではなく、レベカもあの人、つまり私たちの父祖イサクによって身ごもった時、

11 (なぜなら、その子どもたちはまだ生まれておらず、まだ善も悪も行なっていないのに、選びによる**神**のご意志が永久に有効であるためです。つまり、行ないによらずに、お呼びになる方によります。)

12 そのため、「兄は弟に仕える。」と彼女に告げたのです。

13 「わたしはヤコブを愛したが、エサウを憎んだ。」と書いてあるとおりです。

14 では、どう言えばいいでしょうか。**神**に不義がありましょうか。断じて違います。

15 なぜなら、**神**はモーセに言われました。「わたしは、誰であれわたしが憐れもうとする者を憐れみ、誰であれわたしが思いやろうとする者を思いやる。」

16 したがって決意する人からではなく、走る人からでもなく、憐れみを施す**神**からです。

17 なぜなら、聖書はファラオ に言います。「このためにこそ、わたしは、お前を立てた。つまり、わたしはわたしの力をお前において示し、またわたしの名が全世界に広く宣言されるためである。」

18 ですから、**神**は憐れむとされた人を憐れみ、強情にするとされた人を強情にします。

19 それで、あなたは私に言うでしょう。「**神**はまだ誰のあらさがしをなさるのですか。ということは、御心に反抗する者がいたのですか。」

20 いいえ。ああ人よ、それどころか、**神**に口答えするあなたは、何様のつもりなのか。形づくられたものは、形づくる方に、「なぜ私をこう造ったのか。」と言いますか。

21 陶工は、同じ粘土のかたまりから、一つの器を名誉を意味するために、もう一つを不名誉を意味するためにつくる権威を、粘土に対して持っていないのですか。

22 もし**神**が、ご自分の怒りを現し、ご自分の力を知らせることを決めたがゆえに、豊かな寛容をもって長く破壊のために整えられた器を忍ばれたならどうですか。

23 そして、このことは栄光へ至るために、あらかじめ準

備した、憐れみの器の上に、ご自分の栄光の豊かさをのせて知らせるためであるならどうでしょう。

24 これはまた、**神**はユダヤ人の中から召されただけではなく、異邦人の中から召された私たちでもあります。

25 また、ホセアの中で、「わたしの国民ではない国民を、わたしの国民と呼び、愛されていない女を、愛する人と呼ぶ。」と**神**が言うとおりです。

26 そして、「あなたがたは、わたしの国民ではない。」と言われた所で、そこで彼らは生ける**神**の子どもたちと呼ばれることになります。

27 イザヤもイスラエルについて叫んでいます。「イスラエルの子らが、海の砂の数ほどいても、残った者たちは救われるのです。

28 したがって、**主**は働きを終え、義によってその働きを縮められる。なぜなら、**主**は地上で縮めた働きを実行される。」

29 そして、イザヤが以前に言ったと同じく、「もし**万軍の主**が、私たちに種を残さなかったなら、私たちはソドムのようになり、あるいはゴモラのようにされたであろう。」

30 ゆえに、どう言えばいいでしょうか。義を追い求めなかった異邦人たちは、義を、つまり信仰からの義を得た、と言うことです。

31 しかし、義の律法を追い求めたイスラエルは、義の律法に到達しませんでした。

32 なぜでしょうか。彼らは義の律法を信仰からではなく、律法の行ないをもって追い求めたからです。つまり、彼らはつまずく石につまずいたのです。

33 「見よ。わたしは、シオンにつまずきの石、また妨げの岩を置く。そして、すべてこの方を信じる人は、辱めは受けない。」と書いてあるとおりです。

10

1 兄弟たちよ、私の心の希望、また**神**に対してイスラエルのための願いは、彼らが救われることです。

2 なぜなら、彼らは**神**への熱心さを持っているが、それは知識に従ったものではないことを、私は証言します。

3 なぜなら、彼らは、**神**の義に関して何も知らず、また自分自身の義を確立しようとしたから、**神**の義に屈服しなかったのです。

4 キリストは、信じる人すべてにとって、義に至る律法

の究極であられるからです。

5 なぜなら、モーセは、「律法の事柄を行なう人は、それらによって生きる。」と律法から出る義のことを書いています。

6 しかし、信仰から来る義は、このように言っています。「『誰が天国に上るか。』と心の中で言ってはいけない。」（これは、キリストを引き下すためです。）

7 または、「誰が底なしの所の中に下るか。」（つまり、死人たちの中からキリストを連れて上るために、と言うことです。）

8 しかし、それは何を言っていますか。「御言葉はあなたに近く、あなたの口の中に、そしてあなたの心の中にある。」それは、私たちが説く信仰の言葉です。

9 つまり、もしあなたの口で**主**イエスを言い表し、心の中で**神**がイエスを死人たちの中から復活させたと信じれば、あなたは救われます。

10 なぜなら、人は、義に至るために心で信じ、救いに至るまで口で言い表すのです。

11 なぜなら、「すべて**主**を信じる人は、辱めを受けることはない。」と聖書は言っています。

12 なぜなら、ユダヤ人とギリシャ人の間には、違いはありません。なぜなら、同じ**主**はすべての**主**でありながら、**主**を呼び求めるすべての人たちに対して、豊かでおられます。

13 それは、「すべて**主**の御名を呼び求める者は救われる。」からです。

14 ところで、信じたことのない方を、どうすれば呼び求めることができるでしょうか。また、聞いたこともない方を、どうすれば信じ得ましょうか。また、説く人がいなくては、どうすれば聞くことができましょうか。

15 そして、誰も遣わされなければ、どうすれば説くのですか。「平和の福音を伝道し、よいことの福音を伝道する人たちの足は、なんと麗しいことか。」と書いてあるとおりです。

16 しかし、すべての人たちは、福音に従ったわけはありません。なぜなら、「**主**よ、誰が私たちの知らせを信じたか。」とイザヤが言っています。

17 このように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは**神**の御言葉を通してきます。

18 しかし、私は言います。「彼らは聞かなかったのか。」

確かに聞いています。「彼らの声は全世界になりわたり、彼らの言葉は地の果てまで到達したのである。」

19 しかし、私は言います。まさかイスラエルは知らなかったと言うのですか。「私は、国民でない人たちで、あなたがたをねたませ、愚かな国であなたがたを怒らせる。」とモーセは最初に言いました。

20 しかし、イザヤは非常に大胆になり、「わたしは、わたしを捜さなかった人たちに見つけられた。わたしは、わたしを訪ねなかった人たちに、わたしの姿が現れた。」と言っています。

21 しかし、イザヤはイスラエルに、「不従順で反発を言う国民に、わたしは一日中、両手を伸ばした。」と言っています。

11

1 それでは、私は言います。**神**は、ご自分の国民を捨て去られたのですか。断じて違います。なぜなら、私自身もアブラハムの種で、ベニヤミン族のイスラエル人です。

2 **神**は、あらかじめ知っておられた、ご自分の国民を捨て去られたのではありません。聖書がエリヤについて言っていることを、あなたがたは知らないのですか。彼は**神**にイスラエルを訴えて、こう言っています。

3 「**主**よ、彼らはあなたの預言者たちを殺し、あなたの祭壇を破壊した。私一人が残され、彼らはその私の命を狙っている。」

4 しかし、**主**の御告げは、彼に何と言っていますか。「私は私自身のために、バアルにひざまずいたことのない七千人の男を残しておいた。」

5 従って、それと同じように、今この時点でも、恵みの選びによって残る人たちがいます。

6 それで、もし選びが恵みによるなら、それはすでに行ないからではありません。そうでなければ、恵みはすでに恵みではありません。しかし、もし選びが行ないからくるなら、すでに恵みではありません。そうでなかったら、行ないはすでに行ないではありません。

7 では、何でしょうか。イスラエルは、探し求めているものを得ませんでした。しかし、選ばれた者は得たが、他の者たちは盲目にされました。

8 それは書いてあるとおりです。「**神**はこの日に至るまで、彼らに眠りの霊、見えない目、また聞こえない耳を与

えられた。」

9 また、ダビデが言っています。「彼らの食卓は罠に、捕獲網に、つまずきに、また彼らに天罰となるように。

10 彼らの目は、暗くされ、見えなくなり、また彼らの背中が常に曲がっているように。」

11 それでは、私は言います。イスラエルは倒れるほどつまずいたのでしょうか。断じて違います。むしろ、その転倒によって、彼らがねたむようにと、救いは異邦人たちに及んだのです。

12 もし彼らの転倒は世の富、また彼らの衰えは異邦人たちの富となるなら、彼らの満ちていることは、なおさらのことです。

13 なぜなら、私はあなたがた異邦人に言います。私は異邦人への使徒であるから、私としては、自分の務めを名誉と思っています。

14 もし私は何とかして、私の肉に属するものをねたませて、そのうちから幾人かでも救えたらとさえ願っています。

15 なぜなら、イスラエルの見捨てられることが世の和解であるなら、もし死人の中からの命はなければ、彼らの加入は、何なのでしょうか。

16 そして、もし最初の収穫物が聖なるものなら、そのかたまりも聖なるものです。そして、もし根が聖なるものなら、その枝も聖なるものです。

17 しかし、もし何本か枝がもぎ取られ、野生のオリーブの木であるあなたが、彼らの中へ接木され、そのオリーブの木の根と豊かさの共有者になったとしたら、

18 あの枝に向かって誇ってはいけません。しかし、もし誇ったとしても、あなたが根を支えているのではなく、根があなたを支えているのです。

19 すると、「私を接木するために、あの枝はもぎ取られました。」とあなたは言うでしょう。

20 そのとおりです。不信仰のゆえに彼らはもぎ取られたが、あなたは信仰によって立ってきています。高慢にならず、恐れなさい。

21 なぜなら、もし**神**は自然の枝を惜しまなかったなら、あなたをも惜しまなかったかも知れないと、心に留めておきなさい。

22 ですから、**神**の慈愛と厳しさを考えなさい。堕落した

者たちの上に厳しさがあるが、もしあなたが神の慈愛にとどまれば、あなたの上に慈愛がとどまります。しかし、そうでないと、あなたも切り捨てられます。

23 そして、もし不信仰にとどまらなければ、彼らも接木されます。なぜなら、神は彼らを再び接ぎなおすことができるからです。

24 なぜなら、もしあなたが自然に生えた野生のオリーブの木から切り取られ、果樹園のオリーブの木に不自然につながれたのなら、なおさらのこと、あれら自然に生えた良い枝は、自分のオリーブの木に接木されるのではありませんか。

25 なぜなら、兄弟たちよ、あなたがたが自らを利口にすることなく、この奥義について無知であってほしくありません。この奥義とは、異邦人の満ちる時まで、イスラエルの一部は盲目になったのです。

26 こうして、書いてあるとおりに、全イスラエルは救われます。「救い出す方は、シオンから出て、そしてその方はヤコブから不敬虔を遠ざける。

27 そして、これはわたしから彼らへの契約であり、わたしが彼らの罪を取り去る時であろう。」

28 福音に関して、あなたがたが理由で、彼らは敵ですが、選びに関しては、父祖たちが理由で愛されています。

29 神の賜物と召命には、変更はないからです。

30 なぜなら、あなたがたも以前は神を信頼しなかったが、今はイスラエルの不信仰によって憐れみを受けたように、

31 同様に、今、この人たちが神を信頼しない理由は、あなたがたの憐れみを通して、彼らが憐れみを受けるためです。

32 なぜなら、神はすべての者を憐れむために、すべての者を不信仰の中へ、共に閉じ込められたのです。

33 ああ、神の知恵と知識の豊かさは何と深遠なもの！神の裁きは測れません。神の数ある道は、後をつけることもできません。

34 「それで、誰が主の知力を知っていたのか。または、誰が主の助言者になったのか。

35 または、誰が事前に主にさしあげて、お返しをもらうのか。」

36 それでは、すべてのものは、主から、主を通して、主へ。栄光が永遠に主にありますように。アーメン。

12

1 では、兄弟たちよ。あなたがたの体を、**神**に喜ばれる、聖なる生きた供え物として供えるように、**神**の憐れみを通して私は強く勧めます。これがあなたがたの理にかなった奉仕です。

2 そして、この世に迎合してはいけません。むしろ、あなたがたの考え方を一新によって、**神**の良い、好ましい、完全な御意志を確認できるように、今までと違った人になりなさい。

3 なぜなら、私に与えられた恵みを通して、あなたがたの中の一人一人に言います。考えるべき以上のことを考えてはいけません。しかし、**神**は各自に信仰の程度を測って与えられたように、健全な心で考えなさい。

4 というのは、私たちは一つの体に多くの部分を持っているが、体のすべての部分は同じ働きを持っていないというのと、ちょうど同じように、

5 私たちは数が多くても、キリストにあっては一つの体です。そして各自はお互いに体の一部なのです。

6 こうして、与えられた恵みによって異なっている賜物を私たちは持っているので、その賜物が預言の場合、信仰の度合いに応じて預言しましょう。

7 奉仕の場合は奉仕を行ない、教える人は教え、

8 勧める人は勧めを行ない、分け与える人は惜しまず分け与えましょう。指導する人は熱心に、憐れむ人はよろこんで憐れみましょう。

9 見せかけのない愛をしなさい。悪を憎んで、善に執着しなさい。

10 兄弟愛によって互いに親しみ、礼を尽くして互いに相手を上位としなさい。

11 怠けず勤勉に、霊において熱心に、**主**に仕えなさい。

12 希望によって喜び、苦難によって忍耐深く、祈りに励み、

13 聖徒たちの必要に応じて与え、もてなしを追い求めなさい。

14 あなたがたを迫害する人たちを祝福しなさい。祝福して、呪ってはいけません。

15 喜んでいる人たちと共に喜び、泣いている人たちと共に泣きなさい。

16 互いに同じ考えを持ちなさい。高ぶった考えをせず、

かえって低い人たちにあわせなさい。自分自ら知恵のある者になったと思ってはいけません。

17 どんな人にも悪に対して悪を返してはいけません。すべての人の前で、良いことを行なうように備えなさい。

18 もしできたら、あなたがたにかかわることである限り、すべての人と平和を保ちなさい。

19 愛する人たちよ、自らのために復讐せず、むしろ、復讐は怒りの場所に置きなさい。「『復讐はわたしのものであり、わたしが返す。』と**主**が言う。」と書いてあるからです。

20 「ゆえに、もしあなたの敵が、空腹であれば、食べさせなさい。もし喉が渇いていれば、飲ませなさい。そうすれば、あなたは彼の頭に燃えさかる石炭を積むことになるからである。」

21 悪に打ち負かされず、善をもって悪を打ち負かしなさい。

13

1 すべてのたましいは、上位の権威の支配を受けるべきです。なぜなら、**神**からではない権威はなく、今ある権威は**神**によって定められたのです。

2 ゆえに、権威ある人に抵抗する者は、**神**のその決定に反抗するのです。それで、反抗している者たちは裁きを受けます。

3 なぜなら、支配者たちは、善なる行ないに対しての恐れはなく、悪なる行ないに対しての恐れがあります。それなのに、あなたは権威を恐れないのですか。善を行ないなさい。そうすれば、同じ権威ある人から賛辞をもらいます。

4 なぜなら、彼は善のための、あなたに対する**神**の奉仕者です。もし悪事をすれば、恐れなさい。権威ある人は無意味に剣を帯びているわけではないからです。なぜなら、彼は**神**の奉仕者であり、悪を行なう人には激怒にいたって復讐をする人です。

5 ですから、その激怒のためだけではなく、良心のためにも支配を受ける必要があります。

6 このために、あなたがたは税金を納めています。というのは、権威ある人たちはこのことにこそ常に従事している、**神**の奉仕者であるからです。

7 従って、すべての人に対して任務を遂行しなさい。つまり、税金の人には税金を納め、関税の人には関税を納め、恐れるべき人には恐れ、礼をつくすべき人には、礼をつく

しなさい。

8 互いに愛し合うこと以外に、誰にも借りを持ってはいけません。なぜなら、他人を愛する人は律法を全うしているのです。

9 なぜなら、「姦淫をしてはいけない、殺人をしてはいけない、盗んではいけない、偽りの証言をしてはいけない、人のものをむやみに欲しがってはいけない」、またその他の命令でも、この言葉に要約されています。つまり、「自分自身のように、隣人を愛しなさい。」

10 愛は隣人に悪を行ないません。したがって、愛は律法の成就なのです。

11 そして私たちはこの時期を知って、これを行ないなさい。時期とは、もうすでに眠りからさめる時です。なぜなら、信じた時より、私たちの救いは今近づいているからです。

12 夜は過ぎ、日が近づきました。ですから、暗やみの行ないを脱ぎ捨て、光の武具を着ましょう。

13 昼であるようにつつましく歩みましょう。飲み会に出ず、酔わず、性的な罪や好色なことをせず、けんかやねたみをせず歩みなさい。

14 その上に、**主**イエス・キリストを身に付けなさい。そして、肉の欲望を満たすために、体を備えてはいけません。

14

1 いろいろな意見に対して論争せず、信仰の弱い人を受け入れなさい。

2 ちょうど、すべての物は食べられると信じている人がいる一方、弱い人は野菜だけ食べています。

3 食べる人は、食べない人をさげすんではいけません。また、食べない人は、食べる人を裁いてはいけません。なぜなら、**神**はその人を受け入れてくださったからです。

4 他人の家の僕を裁くあなたは、何様か。彼は自分の主人のために立つか、倒れるかということです。しかし、彼は立てられています。なぜなら、**神**は彼を立たせることができるからです。

5 ある日はほかの日より大切であると評価する人もいるし、すべての日は同じであると評価する人もいます。皆一人一人、各自の知力で、確信に満ちているようにしなさい。

6 その日を大切であると考えている人は、**主**のために心にとめています。その日を大切ではないと考えている人は、

その日を**主**のために大切ではないと考えています。食べる人は、**神**に感謝するから、**主**に対して食べています。そして、食べていない人は、**主**に対して食べていないが、**神**に感謝をしています。

7 なぜなら、私たちのうちの誰も自分のためだけに生きていないし、誰も自分のためだけに死ぬこともありません。

8 つまり、もし私たちは生きるのであれば、**主**に対して生きるのであり、もし死ぬのであれば、**主**に対して死ぬのです。したがって、たとえ生きようとも死のうとも、私たちは**主**のものなのです。

9 なぜなら、キリストは死んだ人も、生きている人も、両者を支配するために死なれ、復活され、生き返られたのです。

10 私たちは全員、キリストの裁きの座の前に立つのに、あなたはなぜ、あなたの兄弟を裁いたり、あなたの兄弟をさげすんだりするのですか。

11 なぜなら、「『わたし自身が生きる。』と**主**は言われる。『すべてのひざはわたしにひざまずき、すべての舌は**神**に声を出して言い表す。』」と書いてあります。

12 ですから、私たち一人一人、**神**に自分自身の言い開きをするのです。

13 そのために、私たちはもう互いに裁き合わないようにしなさい。その代わり、つまずく原因やつまずく物を兄弟の前に置かないように心を決めなさい。

14 何も、それ自体が汚いものはなく、もし誰かが何かを汚いものと考えているなら、その人にとって、それが汚いものです。私はそのことを知って、**主**イエスによって確信させられたのです。

15 しかし、あなたの兄弟があなたの食物を通して悲しんでいるなら、あなたはもう愛によって歩んではいません。キリストが死んでくださったその人を、あなたの食物で滅ぼしてはいけません。

16 ゆえに、あなたがたの善が侮辱されないようにしなさい。

17 なぜなら、**神**の王国は、食物や飲み物ではなく、義と平和と**聖霊**による喜びなのです。

18 ゆえに、これらのことで、キリストに仕える人は、**神**に喜ばれ、人々にも認められています。

19 それで、そのために、平和に関する物事とお互いに自分たちを築き上げることを追い求めましょう。

20 食物のことで、**神**の働きを破壊してはいけません。すべてのものは、確かに清いのです。しかし、食べることが人につまずく原因になる人にとっては、それは悪です。**21** あなたの兄弟が転んだり、つまずいたり、弱ったりさせるものなら、肉を食べたり、葡萄液を飲んだりしないことは、良いことです。**22** あなたは、信仰を持っていますか。**神**の御前に自分だけでその信仰を保ちなさい。自分で許したことで、自分を責めない人は幸せです。**23** しかし、疑う人は信仰によって食べていないので、もし食べれば、有罪の判決を受けます。なぜなら、信仰から出ていないすべてのことは罪だからです。

15

1 では、強い私たちは、自分自身を喜ばせずに、弱い人の弱点を支えるべきです。**2** それで、私たち一人一人は、隣人の人格を高めるために、その人たちを喜ばすべきです。**3** なぜなら、キリストでさえ、御自分を喜ばすことをなさらなかったからです。「あなたをそしる者のそしりが、私の上に降りかかった。」と書いてあるとおりです。**4** なぜなら、前もって書かれたことは、私たちの学びのために書かれたのです。御言葉の忍耐や勧めを通して、私たちが希望をもち続けることができるように書かれたのです。**5** さて、忍耐と守り慰めの**神**はキリスト・イエスによって、あなたがたもお互いに対して同じように考えることを、させてくださると望んでいます。**6** これは、心を一つにし、声を一つにし、私たちの**主**イエス・キリストの**父**である**神**に、栄光を捧げるためです。**7** ゆえに、キリストは、**神**の栄光のために、私たちを受け入れてくださったと同様に、お互いに自分たちを受け入れなさい。**8** それで、私は言います。イエス・キリストは、父祖たちへの約束を確かなものにするため、**神**の真理のために、割礼者たちの奉仕者になられたのです。**9** また、異邦人も**神**の憐れみのゆえに、**神**を誉め讃えるためです。「私はこのために、異邦人の間で、あなたに声を出して言い表し、あなたの御名を歌う。」と書いてあるとおりです。

10 そして、彼は再び言います。「異邦人たちよ。**神**の民とともに喜べ。」

11 そしてまた、「すべての異邦人たちよ、**主**を賛美しなさい。また、すべての国民よ、**主**を誉め讃えなさい。」

12 そしてまた、イザヤは言います。「エッサイの根があり、また異邦人たちを支配するために立ち上がる方がいます。異邦人は、その方に希望を抱く。」

13 では、信じることにより、希望の**神**があなたがたを、すべての喜びと平和で満たしてくださいますように。これは、あなたがたが**聖霊**の力によって希望で豊かになりますように。

14 そして、私の兄弟たちよ、あなたがたは善意に満ち溢れ、あらゆる知識で満たされ、互いに忠告できることと、私自身はあなたがたについて確信しています。

15 しかし、兄弟たちよ、ある部分を大胆に書いたのは、**神**が私に与えられた恵みにより、あなたがたに思い出してもらうためです。

16 それは、私は、異邦人に向けてイエス・キリストの奉仕者として、福音のために祭司の勤めをするのは、**聖霊**によって聖別された、異邦人である捧げ物が、**神**に受け入れられるようになるためです。

17 ですから、**神**に関する物事では、イエス・キリストにあって、私は誇りを持っています。

18 キリストが私を通して、言葉と業によって異邦人の従順のために、なされたこと以外は、私は絶対に話そうとは思いません。

19 私は、エルサレムから回って、イルリコに至るまで、力あるしるしと不思議な業により、そして**神**の**御霊**の力により、キリストの福音を完全に説いてきました。

20 こうして、私は、他人の土台の上に建てることがないように、キリストの御名が呼ばれたことのない所で、このように奮闘して福音を説くことに努めています。

21 しかし、「彼について教えられたことのない人たちは見て、聞いたことのない人たちは理解する。」と書いてあるとおりです。

22 この理由で、私はあなたがたの所に行くのに、とても妨害されていました。

23 しかし、今これらの地域にはもう私の場所はありません。

そして長年あなたがたの所に行くことを熱望してきたので、**24** もしスペインに行くとすれば、あなたがたの所に行くでしょう。なぜなら、旅行の途中であなたがたに会うことを望んでいるからです。そしてまず、いくらかでも、共に喜びを分かち合えば、その後、スペインに送り出されることを希望しています。

25 しかし、今は、聖徒たちに仕えるために、エルサレムに行きます。

26 なぜなら、マケドニヤとアカヤ の人たちは、エルサレムにいる貧しい聖徒たちに、いくらかの献金をすることに賛同したからです。

27 確かに彼らは賛同しました。聖徒たちは彼らの債務がある人です。なぜなら、もし異邦人が彼らの霊的な物事を貸してもらっているなら、彼らの肉体的な物において奉仕する義務もあるのです。

28 したがって、私はこれを終え、彼らにこの成果に印を押した時に、私はあなたがたの所を通ってスペインまで行きます。

29 そして、私はあなたがたの所に行く時、キリストの福音の祝福をたくさんたずさえて行くことと、私は確信しています。

30 さて、兄弟たちよ、私たちの**主**イエス・キリストのため、また**御霊**の愛のために、私のために**神**への祈りによって、私と共に奮闘することを、あなたがたに懇願します。

31 それは、私がユダヤにいる信仰のない人たちから救い出され、また私のエルサレムへの努めが、聖徒たちにとって好ましいものとなるためです。

32 それは、**神**のご意志によって喜びを持って、あなたがたの所に行き、共に休むためでもあります。

33 では、平和の**神**が、あなたがた全員と共におられますように。アーメン。

16

1 では、ケンクレヤにある教会の僕であり、私たちの姉妹でもあるフィベを、あなたがたに推薦します。

2 なぜ推薦するかというと、彼女を聖徒たちとして、**主**にあってふさわしく迎え入れてもらうためです。また、彼女があなたがたから必要とすることは何でも援助してください。なぜなら、彼女自身は、多くの人の助け手であり、

私にとっても助け手になった人です。

3 キリスト・イエスにあって、私と共に働く者であるプリスキラとアクラにご挨拶してください。 **4** 彼らは、私の命のために自分自身の首を危険にさらしてくれたのです。私だけではなく、異邦人のすべての教会も彼らに感謝しています。

5 また、彼らの家にある教会にもご挨拶してください。私の愛するエバネトにもご挨拶してください。彼はアカイアにおけるキリストのための、最初の収穫です。

6 私たちのために非常に苦労してくれたマリヤに、ご挨拶してください。

7 私の血縁で、いっしょに投獄されたことがあるアンデロニコとユニアスにご挨拶してください。この二人は使徒たちの間に名の通った者たちであり、私より先にキリストと共にいるのです。

8 主にあって私の愛するアムプリアトに、ご挨拶してください。

9 キリストにあって私たちと共に働く者、ウルバンにも、また私の愛するスタキスにご挨拶してください。

10 キリストによって良しと認められたアペレに、ご挨拶してください。アリストブロの家に属する者たちに、ご挨拶してください。

11 私の血縁ヘロデオンに、ご挨拶してください。ナルキンの家に属し、主にいる者たちに、ご挨拶してください。

12 主にあって苦労するツルパナとツルポサに、ご挨拶してください。主にあって多くの苦労をした愛するペルシスに、ご挨拶してください。

13 主にあって選ばれた人である、ルポスにご挨拶してください。また、ルポスと私の母にもご挨拶してください。

14 アスンクリト、フレゴン、ヘルメス、パトロバ、ヘルマス、そして彼らといっしょにいる兄弟たちにご挨拶してください。

15 フィロロゴとユリヤに、またネレオと彼の姉妹に、オルンパまた彼らといっしょにいる聖徒全員にご挨拶してください。

16 聖なる接吻で、互いにご挨拶をしなさい。キリストの諸教会は、あなたがたにご挨拶を送ります。

17 兄弟たちよ、私はあなたがたに懇願します。あなたが

たが学んだ教理と違って、分裂やつまずきを起こす者たちに注意して、彼らを分離しなさい。

18 なぜなら、そんな人たちは、私たちの**主**イエス・キリストに仕えていませんが、自分たちの腹に仕えているからです。そして彼らは、甘い言葉やまことしやかな言葉によって、無垢な人の心をだますからです。

19 なぜなら、あなたがたの従順は、みんなに行き渡っています。ですから、私はあなたがたのために喜んでいるが、私は、あなたがたが善いことについて賢くなり、悪いことに対して無知になってほしいです。

20 そして、平和の**神**がすぐ、あなたがたの足の下に、サタンを踏み砕いてくださいます。私たちの**主**イエス・キリストの恵みが、あなたがたと共にありますように。アーメン。

21 私と共に働く者であるテモテ、また、私の血縁であるルキオとヤソンとソシパテロは、あなたがたにご挨拶を送っています。

22 この手紙を書き記した私、テルテオから、**主**にあってご挨拶しています。

23 私と教会の全員の家主であるガイオは、あなたがたにご挨拶を送っています。市の管理職であるエラストとその兄弟クワルトからも、ご挨拶を送っています。

24 私たちの**主**イエス・キリストの恵みが、あなたがた全員と共にありますように。アーメン。

25 さて、私の福音により、また、イエス・キリストの宣教によって、あなたがたをかたく立てることができる方に、永遠の時から秘密にされた奥義の啓示によって、

26 (しかし、その啓示は今、預言者たちの御言葉を通して、また永遠の**神**の命令によって表われ、信仰の従順に至るまで、すべての国々に知られています。)

27 唯一の知恵ある**神**に、イエス・キリストを通して、栄光が永遠にありますように。アーメン。

コリント人への手紙　第一

1

1 神のご意思を通し、イエス・キリストの一人の使徒として召されたパウロと、我らが兄弟ソステネ、

2 コリントにある神の教会へ、キリスト・イエスによって聖別され、聖徒たちとして召された人々へ、いかなる所でも私たちの主であるイエス・キリストの御名を呼び求めるすべての人々へ。イエスは私たちの主であり、その人々の主です。

3 私たちの父なる神と主イエス・キリストより、あなたがたに恵みと平安がありますように。

4 キリスト・イエスによってあなたがたに与えられた御恵みゆえに、私はあなたがたのことで、私の神にいつも感謝しています。

5 また、キリストにより、すべての言葉、すべての知識に、あなたがたが豊かにされたことを、私の神に私はいつも感謝しています。

6 これは、キリストの証があなたがたの中で、確認されたと同じです。

7 それは、あなたがたが、どの賜物にも不足な者とならず、私たちの主イエス・キリストの出現を渇望しています。

8 そして、キリストは、あなたがたを最後まで確認して、私たちの主イエス・キリストの日に、あなたがたを咎められるところのない者にするためです。

9 神の御子息であられる、私たちの主イエス・キリストとの交流へあなたがたを召された神は、真実でいらっしゃいます。

10 では、私たちの主イエス・キリストの御名によって、私はあなたがた、兄弟に、お願いします。あなたがた全員、同じ事を話すこと、また、あなたがたの間に分裂がなく、むしろ、共通理解と、同じ判断で、完全に結びつくことです。

11 なぜなら、あなたがたのことで、私の兄弟たちよ、クロエの家人たちより、あなたがたの間に争いがあると、私に伝えられたからです。

12 それで、私はこう言います。あなたがた一人一人は言っています。「私はパウロに属する」、とか、「私はアポロに属する」、とか、「私はケパに属する」、とか、「私はキリストに属する」、と。

13 キリストは分裂されていますか。または、パウロはあなたがたのために、十字架につけられたのですか。または、あなたがたはパウロの名において浸礼を授けられたのですか。

14 あなたがたの中で、クリスポやガイオ以外、誰にも

浸礼を授けなかったことを、私は神に感謝します。

15 それは、誰も、私が私の名で浸礼を授けた、と誰も言えなくするためです。

16 しかし、私はステパナの家人にも浸礼を授けました。しかし、そのほか、誰に浸礼を授けたかは、わかりません。

17 キリストは私を、浸礼を授けに派遣されたのではなく、福音を説くために遣わされたのです。それは、キリストの十字架が無にならないためであり、言葉の知恵で語るためではありません。

18 なぜなら、十字架の言葉は、滅びる人々にとって愚かしいことではあるが、救われている私たちにとっては、神の力だからです。

19 それは、こう書いてあるからです。「私は、知者の知恵を滅ぼし、賢い者の知力を無にする。」

20 知者はどこでいるのですか。律法学者はどこにいるのですか。この時代の論者はどこにいるのですか。神はこの世の知恵を愚かにされたのではありませんか。

21 神の知恵により、世は知恵を通して神を知ることなく、信じる者たちを救うため、説かれた愚かさを通して、それは、神を喜ばせました。

22 ユダヤ人たちはしるしを要求し、ギリシャ人は知恵を探し求めるからです。

23 しかし、私たちは十字架につけられたキリストを説いているのです。それはユダヤ人たちにとってつまずくものであり、ギリシャ人たちにとって愚かさです。

24 しかし、ユダヤ人たちにも、ギリシャ人たちにも、召された人たちにとって、キリストは神の力であり、神の知恵なのです。

25 神の愚かさは人々より賢く、神の弱さは人々より強いからです。

26 あなたがたの召されたことを見てみなさい。兄弟たちよ、肉による知者、力ある者、高貴な者は、大勢の者は召されていません。

27 しかし、神は、知者たちを辱めるために、世の愚かなものを選ばれ、力ある者たちを辱めるために、世の弱いものを選ばれました。

28 そして、世の底辺にいて、軽蔑されているものを、そして存在しないものを神は選ばれました。それは、存在するものを存在しないものにするためです。

29 これは、どの肉も、神の御前に誇らないためです。

30 しかし、あなたがたは、キリスト・イエスの内にあり、神からの者です。キリスト・イエスは我らのため、神から

の知恵、そして義、そして聖別、そしてあがないとなってくださいました。

31「誇る者は、**主**にあって誇りなさい。」と書いてあるとおりのためです。

2

1 そして、兄弟たちよ。あなたがたの所に行った時、**神**の証をするのに口先上手に、または、巧みな知恵で、私は説いたのではありません。

2 あなたがたの間では、イエス・キリスト、つまり十字架につけられたイエス・キリストのほかは、私は何も知らない人間になると決めたからです。

3 私は弱気になり、恐れ、震えて、あなたがたと共にいました。

4 そして、私の言葉と私のメッセージは、人間の知恵で納得させる言葉ではなく、霊と力の証拠によるものでした。

5 それは、あなたがたの信仰は人間の知恵にあるのではなく、**神**の力にあるからです。

6 しかし、成人の間で、私たちは知恵を話します。今の時代の知恵でなく、無になろうとしている、今の時代の支配者の知恵でもなく、

7 それどころか、私たちは、**神**の奥義による知恵を話します。それは、**神**が何代も前の時代に、私たちの栄光のために**神**が定められた知恵、つまり隠された知恵です。

8 これは、この時代の支配者たちが誰も知らなかった知恵です。もしその知恵を知っていたならば、栄光の**主**を十字架につけることはありませんでした。

9 しかし、こう書いてあります。「**神**を愛する者たちのために、**神**が準備してくださったものを、見た目はなく、聞いた耳はなく、また人の心に入ったことがない。」

10 しかし、御自分の**御霊**を通して、**神**はそれらを私たちに啓示されました。それは、**御霊**はすべてのことを探知し、また**神**の深部をも探知するからです。

11 なぜなら、その人の内にあるその人の霊以外、誰がその人のことが分かりますか。同様に、**神**の**御霊**以外、誰も**神**のことが分かっていません。

12 それで、私たちが受けたのは、世の霊でなく、**神**からの**御霊**です。**神**から私たちに恵みで与えられたものを、私たちが知るためなのです。

13 霊的なことは霊的なことに対比させながら、人間の知恵が教える言葉でなく、**聖霊**が教える御言葉で、私たちはこれらのことを話します。

14 しかし、**神**の**御霊**のものは生まれたままの人間には愚

かなので、受け入れませんし、また理解できません。**神**の**御霊**のものは霊的に認知されるからです。
15 しかし、霊に属する人は、すべてのものを認知するが、その人自身は誰にも認知されません。
16「誰が、**主**に進言するほど、**主**の心を理解したのか。」しかし、私たちはキリストの心を持っています。

3

1 そして、兄弟たちよ、私はあなたがたを霊の人としては、話しできず、肉の人として、キリストにあっては赤子として話しをしました。
2 私はあなたがたに固形食を与えず、乳を与えました。それは、その時、あなたがたは未だ受け入れることができなかったからです。そして、今もまだ受け入れることができません。
3 それはまだあなたがたは肉の人だからです。互いに妬み、争い、分裂があるのは、あなたがたは肉の人で、人間として歩んでいるだけではありませんか。
4 なぜなら、一人は、「私はパウロ派だ」と言い、もう一人は、「私はアポロ派だ」と言う時、あなたがたは肉の人たちではないのですか。
5 それでは、パウロとアポロとは何者ですか。あなたがたは、**主**がこの二人に与えられたことを通してあなたがたは信じた奉仕者だけです。
6 私が植え、アポロが水をやり、**神**が成長させられたのです。
7 ですから、植える者、水をやる者は何者でもありません。育ててくださるのは**神**です。
8 ですから、植える者と水をやる者は一人であり、それぞれの働きに応じ、各自の報酬を受けます。
9 ですから、私たちは共に働く、**神**の労働者です。あなたがたは**神**の畑であり、**神**の建造物なのです。
10 私に与えられた**神**の御恵みにより、私は賢い建築家としてすでに据えた土台の上に、他の人が建てます。しかし、各自、その土台の上にどう建てるか、注意しなさい。
11 据えられている土台以外、土台を据えることができないからです。つまりこの土台はイエス・キリストです。
12 それで、もし誰かがこの土台の上に金、銀、宝石、木材、干し草、わらを使って建てるなら、
13 各自の働きは明らかになります。その日が宣言します。なぜなら、火によって明らかになり、そしてその火は各自の働きを試し、それがどんな働きなのかを証明します。
14 誰であれ土台の上の働きが残った者は、報酬を受けます。
15 誰であれその者の働きが燃え落ちると、その者は損害

を受けるが、その者自身は救われます。しかし、彼は火を通りぬけて救われるのです。 **16** あなたがたは**神**の神殿であり、**神**の**御霊**があなたがたの中に住んでおられることを知らないのですか。 **17** 誰であれ**神**の神殿を汚すなら、**神**はその者を滅ぼします。なぜなら、**神**の神殿は聖なるものであり、その神殿はあなたがたなのです。 **18** 自らを欺いてはいけません。もしこの時代、あなたがたの中で、自分が賢いと思う者がいるなら、その者は賢くなるために、愚か者になりなさい。 **19** 世の知恵は、**神**に比べると愚かだからです。それは、「**神**は知恵者たちを、その者たちの悪賢さで捕まえられる。」と書いてあるからです。 **20** そしてまた、「知者の考えは無益であることを、**主**はご存じである。」とあります。 **21** それでは、誰も人間のことで誇ってはいけません。すべてはあなたがたのことだからです。 **22** パウロであれ、アポロであれ、ケパであれ、世であれ、命であれ、死であれ、今あるものであれ、後に来るものであれ、すべてあなたがたのことだからです。 **23** そして、あなたがたはキリストのものであり、キリストは**神**のものなのです。

4

1 それで、私たちがキリストの僕、**神**の奥義の執事であると、人が勘定されるようにしなさい。 **2** そして次いで、忠実であることがわかることが、執事たちには要求されます。 **3** しかし、あなたがたや、また、人間の日①で裁かれることは、私にとって、極めて些細なことです。事実、私は自分自身さえも裁きません。 **4** なぜなら、私は自分自身に責めがあると思いませんが、このことで私は義と認められません。私を裁く方は**主**だからです。 **5** したがって、**主**が来られ、暗やみに隠れたものを照らし、心のたくらみを明らかにされるその時まで、何も裁いてはいけません。そして、その時、一人一人に**神**からの賛辞があります。 **6** さて、兄弟たちよ、あなたがたのために、こ

3 ① 十三章十三節の主の日（主のさばき）と対比しての、人間によるさばき。

のことを、私とアポロに当てはめてみました。あなたがたは書かれた以上のことは考えず、だれ一人として、他人に対し思いあがらず、私たちを通して学ぶためです。

7 なぜなら、誰があなたを他の人と違えて造ったのですか。そして、頂いていないなら、あなたがたは何を持っていますか。そして、もし本当にそれを頂いたのなら、あたかも頂いたものでないかのごとく、なぜ自慢するのですか。

8 あなたがたはもう満たされています。もう豊かなのです。私たちがいなくとも、あなたがたは王たちのように支配しています。本当に、あなたがたが、支配できればよいと思っています。私たちも共に支配するためです。

9 なぜなら、死刑を宣告された者たちとして、**神**は我々使徒たちを、最後に立たせられたのだ、と私は思います。つまり御使いにも人間にも、私たちを見せ物として世に示したのです。

10 私たちはキリストのために愚か者ですが、あなたがたはキリストにあって賢いのです。私たちは弱いが、あなたがたは強いのです。あなたがたは傑出しているが、私たちは恥ずべき者たちです。

11 現在まで、私たちは飢え、渇き、ぼろをまとい、そして殴られ、家はなく、

12 自らの手で働き、労働しています。ののしられる時、私たちは祝福します。迫害される時、私たちは耐えます。

13 侮辱される時、私たちは勧めます。私たちは世のごみのようになり、今まですべてのものの廃棄物になりました。

14 あなたがたに、恥をかかせるため、私はこれらのことを書くのではなく、私の愛する子どもたちとしての、あなたがたに警告するのです。

15 なぜなら、あなたがたはキリストにあって一万人の守役がいても、多くの父たちはいません。私はキリストにあって福音を通してあなたがたを生んだからです。

16 ですから、私はあなたがたに勧めます。私をまねなさい。

17 それで、**主**にあって忠実である、私の愛する息子、テモテをあなたがたに遣わしました。私がどこでも、どこの教会でも教えるキリストにある私の道を、テモテはあなたがたに、思い起こさせます。

18 しかし、あなたがたのある者たちは、私はあなたがたの所に行かないと、思い上がっています。

19 しかし、**主**の望みであれば、私はすぐあなたがたの所に行きます。そして、思い上がった者たちの言葉ではなく、その力のほどが分かります。

20 **神**の王国は言葉にあるのではなく、力にあるからです。

21 あなたがたは何が欲しいのですか。こん棒を持ってあなたがたの所に行きましょうか、または愛と優しさの霊を持って行きましょうか。

5

1 あなたがたの間に性的な罪が行なわれていると、報告があるのは確かです。それは異邦人の間でさえ、名付けられていないほどの性的な罪です。すなわち、ある男が自分の父親の妻を所有している、と言うのです。**2** そして、この行為をした者が、あなたがたの間から取り除かれることがないように、泣き悲しんだどころか、むしろ自慢しています。**3** 体は不在でも、霊は居るのですから、私はそこに本当に居るように、この行為をした者はすでに裁きました。**4** 私たちの**主**イエス・キリストの御名により、あなたがたが私の霊と、私たちの**主**イエス・キリストの力と共に、集まった時、**5** このような男こそをサタンに引き渡すのが肉が滅んで、霊が**主**イエスの日に救われるためです。**6** あなたがたの自慢は良くありません。パン種はほんの少しでも、塊全体をふくらませることを、あなたがたは知らないのですか。**7** それで、あなたがたは新しい塊になるように、古いパン種を完全に一掃しなさい。あなたがたは真に種無しの塊だからです。私たちの過越であられるキリストは、私たちのためにいけにえにされたからです。**8** 同様に、また悪意や悪をもたず、古いパン種でなく、誠実、真理をもってこの祭りを守っていきましょう。**9** 性的に不道徳な者とあなたがたは交際しないよう、私は私の手紙に書きました。**10** しかし、この世の性的に不道徳な者たち、貪欲な者たち、強奪する者たち、偶像崇拝者たちと、交際するな、と言う意味ではもちろんありません。そうであれば、人はこの世の外に出なくてはなりません。**11** ただ、もし兄弟と呼ばれる者が、性的に不道徳な者、貪欲な者、偶像崇拝者、ののしる者、酔っぱらい、強奪する者なら、そんな者と交際してはいけません。また、そんな者と食事さえ共にしてはいけません。**12** なぜなら、外の人たちを裁くことが、私のすべきことでしょうか。あなたがたが裁くのは内の者たちではないのですか。**13** 外の者たちは**神**が裁かれます。それで、このような悪人はあなたがたから遠ざけなさい。

6

1 あなたがたの中で、他人と対立する事があり、聖徒たちの前に行かず、正しくない者たちの前に行き、あえて裁きを求める者がいますか。
2 聖徒たちがこの世を裁くことを知らないのですか。そして、あなたがたによってこの世が裁かれるとしたら、あなたがたは最も小さい事を裁く価値もないのですか。
3 私たちが御使いたちを裁くことを知らないのですか。この世のことはいうまでもないことではないですか。
4 それで、この世に関する訴えがあれば、私たちは教会の中で最も軽視されている者たちを、裁く人の座に座らせましょう。
5 私はあなたがたの恥であるこのことを言います。どうですか。兄弟たちの間を裁ける知者は、あなたがたの間に一人もいませんか。
6 しかも、兄弟は兄弟を訴えます。そしてそれは未信者たちの前でです。
7 それで、互いに訴えること自体、すでに、あなたがたにとって完全な失態です。あなたがたはなぜ、あえて不正を受け入れないのですか。なぜあえて、騙されないのですか。
8 しかし、あなたがた自身が不正を行ない、かつ、欺きを行ないます。しかも、そんなことをあなたがたの兄弟たちへするのです。
9 不正な者たちは、**神**の王国を相続することはないと知らないのですか。騙されてはいけません。性的な罪を犯す者、偶像崇拝者、姦淫をする者、同性愛者たち、男色者、
10 泥棒、貪欲な者、酔っぱらい、悪口を言う者、強奪する者は、**神**の王国を相続することはありません。
11 そして、あなたがたの中の幾人かは、こういう者でした。しかし、洗われ、また聖別され、また**主**イエスの御名において、私たちの**神**の**御霊**によって義と認められました。
12 すべてのことは私にとって律法に合っていますが、その全部が役に立つとは限りません。すべてのことは私にとって律法に合っていますが、私は何事にも支配されることはありません。
13 食べ物は胃のためであり、胃は食べ物のためですが、**神**は胃も食べ物も滅ぼされます。ですから、身体は不道徳な性行為のためのものでなく、**主**のためのものです。そして、**主**は身体のためです。
14 そして、御自分の力を通して、**神**は**主**を復活させられ、私たちをも復活させてくださいます。
15 あなたがたの身体は、キリストの一部であることを知

らないのですか。それでは、私はキリストの一部を、売春婦の一部にしましょうか。そうなっては絶対にいけません。 **16** または、売春婦とつながっている者は、彼女と一体になっていることを知らないのですか。「この二人は一つの肉体になる。」と**神**は言われるからです。 **17** しかし、**主**とつながっている人は、**主**と一つの霊になります。 **18** 性的な罪を避けなさい。人が犯すことごとくの罪は身体の外であるが、性的な罪を犯す者は、自分の身体に対し罪を犯しています。 **19** また、あなたがたの身体は、あなたがたの中におられる、**神**からの**聖霊**の神殿であることを知らないのですか。そして、あなたがたは、あなたがた自身のものでありません。 **20** あなたがたは値段を付けられて買われた者たちだからです。従って、**神**の物である、あなたがたの身体とあなたがたの霊で、**神**に栄光を捧げなさい。

7

1 さて、あなたがたが私に書いたことについてですが、男が女を触れないことは良いことです。 **2** しかし、不道徳な性行為のゆえ、男は各自、自分自身の妻を持ち、また女は各自、自分自身の夫を持ちなさい。 **3** 夫である者は自分の妻に、あるべき愛を与え、妻である者は同様に夫に与えなさい。 **4** 妻である者は、自分自身の体を支配する権限はなく、夫にあります。また同様に、自分自身の体を支配する権限は夫にはなく、妻にあります。 **5** 暫時、祈りと断食に専心するため、同意なしに、互いを騙し欺いてはいけません。そしてまた、共になりなさい。あなたがたの自制心のなさに乗じて、サタンがあなたがたを誘惑しないためです。 **6** しかし、私が言うこれは許可です。命令ではありません。 **7** すべての男が、私自身のようであることを私は望んでいるからです。しかし、それぞれ人は、**神**の賜物をもっています。この人はこんなふうに、あの人はあんなふうにです。 **8** しかし、私は結婚をしていない人々、それに、未亡人たちに言います。私のようなままでいることは、その人々にとって良いことです。 **9** しかし、自制できない者たちは、結婚させなさい。情念の燃える火より、結婚した方がましだからです。 **10** さて、結婚している人々に命じます。命じるのは私ではなく、**主**です。妻は夫から去るべきではありません。 **11** しかし、女がもし去るとしても、再婚しないままでい

るべきであり、それとも、夫と和解をさせるべきです。そして、夫は妻を離婚してはいけません。

12 そのほかの人々に言います。**主**ではなく、私が言うのです。兄弟の誰かに、信じていない妻があり、この女が共に住むことに同意するなら、離婚してはいけません。

13 また、信じていない夫のいる妻は、この男が共に住むことに同意するなら、離婚してはいけません。

14 信じていない夫は妻によって聖別され、信じていない者の妻は夫によって聖別されているからです。そうでなければ、あなたがたの子どもたちは汚れていますが、今は聖なる者たちです。

15 しかし、信じていない者自身が去るのなら、去らせなさい。兄弟も姉妹もこういう場合、拘束の下にはいないのです。しかし**神**は私たちを平和へ召されたのです。

16 なぜなら、妻よ、あなたは、自分の夫を救えるかどうか、どうしてわかりますか。または、夫よ、あなたはあなたの妻を救えるかどうか、どうしてわかりますか。

17 しかし、**神**は一人一人に分け与えられたのだから、**主**が一人一人を召されたように、各自一人一人歩ませなさい。そして、私はすべての教会にこのように定めます。

18 誰かが、割礼の状態で召されたのですか。その者を割礼前の状態に戻してはいけません。誰かが、割礼のないままで召されたのですか。その者に割礼を受けさせてはいけません。

19 割礼は無意味であり、無割礼も無意味なのです。そうでなく、問題は**神**の命令を守ることなのです。

20 各自、一人一人は、召された召命にとどまりなさい。

21 奴隷の状態の時、召されたのですか。それを心にかけてはいけません。でも、もし、自由になれることがあれば、その機会をむしろ利用しなさい。

22 奴隷の状態で、**主**に召された人は、**主**の自由人だからです。同様に、自由人のままで召された人は、キリストの奴隷です。

23 あなたがたは値を付けて買い取られたのです。人間の奴隷になってはいけません。

24 兄弟たちよ、一人一人は、召されたその状態で**神**と共にとどまりなさい。

25 さて、処女たちについてですが、私は**主**からの命令はありません。しかし、**主**の哀れみにより、**主**に忠実な者とさせていただいた一人として、私は私の判断を伝えています。

26 目の当たりの危機であるなら、男はそのままの状態にとどまるのが良いと、私は思います。

27 妻と結ばれていますか。自由になることを求めてはい

けません。妻と結ばれていないのですか。妻を求めてはいけません。

28 しかし、もしあなたが結婚したとしても、罪を犯したことにはなりません。そして、もし処女が結婚したとしても、その人は罪を犯したことにはなりません。しかし、そうすると、彼らは肉において問題が起こりますが、私はあなたがたを守りたいのです。

29 しかし、兄弟たちよ、私はこのことを言います。時は短縮されたから、妻がいる者たちは、妻がいない者たちのように、

30 そして、泣く者たちは泣かない者たちのよう、喜ぶ者たちは喜ばない者たちのよう、買う者たちは持っていない者たちのように、

31 そして、世を己のために使う者たちは、使い切らないように。この世の有様は過ぎ去っていくからです。

32 しかし、あなたがたは心配しないでほしいのです。結婚していない者は、**主**のこと、つまり**主**をどう喜ばせるかを、心配するからです。

33 しかし、結婚している者は、世のこと、つまりどう妻を喜ばせるかを心配します。

34 妻と処女は違います。結婚していない女は、体も霊も聖なるものであるように、**主**の物事を心配します。しかし、結婚している女は、夫を喜ばせるために、世の事を心配します。

35 ついで、あなたがた自身の益のため、私はこれを言いますが、束縛するためではなく、適切なことのため、また雑念を持たず、**主**に仕えるためです。

36 しかし、いかなる男であれ、自分の処女に対して不適切な振舞いをしていると思ったとしても、その処女が花の年頃を過ぎていて、そうすべきなら、その男の思うようにさせなさい。彼は罪を犯していません。結婚させなさい。

37 しかし、その必要がなく、心かたく、しっかり立ち、自分の意志を支配する力を持っていて、しかも心中、断固とした決意で自分の処女を守る男は、良い行ないをしています。

38 それに、女を結婚させる男はは良い行ないをしていますが、結婚させない男はもっと良い行ないをしています。

39 夫が生きている間は、妻は法律に縛られています。しかし、もし女の夫が眠につけば、誰と結婚しようと自由ですが、**主**にある者に限ります。

40 しかし、私の判断では、もしそのままとどまれば、女はもっと幸せです。そして、私も**神**の**御霊**を受けていると思います。

8

1 さて、偶像に捧げられた物についてですが、私たち全員、知識を持っているのを、私たちは知っています。知識は人をふくらませるが、愛は建て上げます。**2** そしてもし、何でも知っていると思う者がいるなら、その者は、知るべき事さえも知りません。**3** しかし、**神**を愛する者であれば、その者は**神**に知られています。**4** それで、偶像に捧げられた物についてですが、偶像は世には無であり、**神**は唯一の方しかおられないことを、私たちは知っています。**5** なぜなら、それに天か地に、神と呼ばれるものがいたとしても（神も主も多くいるが）、**6** 私たちにとって、**父**なる**神**はお一人であり、すべてのものはこの方から出ており、そして私たちもこの方のためにいます。また、**主**イエス・キリストはお一人であり、すべてのものはその方を通してであり、そして私たちはその方を通して生きています。**7** しかし、すべての者たちの中にこの知識があるわけはないのです。それで、ある者たちは、偶像に親しみの気持ちを持ち、これまで、偶像に捧げられたものとしてそれを食べます。ですからその者たちの良心は弱く、汚れているのです。**8** しかし、食物が私たちを**神**の近くに引き寄せることはありません。食べても豊かにならないし、また食べなくても人後に遅れることはないからです。**9** しかし、あなたがたのこの自由裁量が、弱い人たちにとってのつまずきの石にならないよう、気をつけなさい。**10** なぜなら、もし知識があるあなたがたが、偶像の宮で食事をしているのを、判断力の弱い者が見れば、偶像に捧げられたものを食べるようと、勇気付けるではありませんか。**11** すると、キリストが、この者のために死んでくださったあの弱い兄弟は、あなたの知識のせいで、滅びることになりませんか。**12** しかし、このようにあなたがたは、兄弟たちに対して罪を犯し、彼らの弱い良心に傷をつけ、キリストに対して罪を犯しているのです。**13** 従って、もし食物が私の兄弟をつまずかせるなら、私は自分の兄弟をつまずかせないため、二度と再び決して肉は食べません。

9

1 私は使徒ではないのですか。私は自由ではない

のですか。私たちの**主**イエス・キリストに、私は会わなかったのですか。あなたがたは、**主**にあって私の働きではないのですか。

2 私が他の人には使徒でないとしても、それでもあなたがたにとって使徒です。あなたがたは、**主**にあって私の使徒職の印です。

3 私を取り調べる者たちへの弁明は、次の通りです。

4 私たちは、飲食する権利がないのですか。

5 他の使徒たち、**主**の兄弟たち、ケパと同様に、私たちは姉妹である妻を伴う権利がないのですか。

6 または、私とバルナバだけは、仕事をしない権利がないのですか。

7 自分の費用で、どんな時、誰が戦争に行きますか。ぶどう畑を作り、その果実を食べない者は誰ですか。または、群れを飼い、その乳を飲まない者は、誰ですか。

8 私はただの男としてこれらのことを言っていますか。それともまた、律法も同じ事を言っていませんか。

9 なぜなら、モーセの律法に、「穀物を脱穀している牛に、口輪でおおいをしてはいけない。」と書いてあります。**神**は牛のことを、心にかけてくださっているのですか。

10 または、**神**はそれを完全に私たちのためだけに、言っておられるのですか。耕す者は希望の内に耕し、希望の内に脱穀する者は、その耕す者の希望の取り分のいただくべきです。これは完全に、私たちのために書かれています。

11 私たちがあなたがたのために霊的なものを蒔いたのなら、あなたがたからの物質的なものを刈り入れるとしても、それはすごく負担なことでしょうか。

12 もし他の人々があなたがたに対して、この取り分の権利があるのなら、私たちは、なおさらのことではありませんか。しかし、私たちはこの権利を行使したことなく、キリストの福音を妨げないよう、すべてのことを忍んでいます。

13 聖なるものに仕える者たちは、神殿の物を食べ、また祭壇に仕える者たちは、祭壇の捧げ物の分配を食べることを知らないのですか。

14 同様に、福音を説く者たちは、福音によって生計を立てる、と**主**は定められました。

15 しかし、私自身はこれらのどれも使ってはいませんし、私にそうなるよう、これらのことを書いたわけではありません。私にとって、誰であれ、私の光り輝くものを無にするなら、私は死んだ方がましです。

16 私は福音を説いても、光り輝くものは何もないからです。私に科せられた必然だからです。そうです、もし福音

を説かなければ、それは、私には災です。

17 なぜなら、喜んでこれを実行すれば、私は、賞を手にします。しかし、私の意に反したとしても、私はその摂理は与えられたのです。

18 では、私の賞は何か。それは、私が福音を説く時、キリストの福音を代価なしで示すため、福音にある私の権威を私が悪用しないためなのです。

19 なぜなら、私はすべての人から自由であるにもかかわらず、より多く勝ち取るため、私、自分自身を、すべての人にとっての奴隷としたのです。

20 そして、ユダヤ人を勝ち取るため、ユダヤ人に対してはユダヤ人になり、律法の下にいる人々を勝ち取るため、律法の下にいる人々に対しては、律法の下にいる者と私はなりました。

21 また、律法のない人々に対しては、私は律法のない者になります。(**神**に対しての律法がないのではなく、それどころか、私はキリストに対しての律法の下にいます。)それは律法のない人々を勝ち取るためです。

22 弱い人々を勝ち取るため、私は弱くなりました。私は何とかして数人でも救うことができるように、すべての人に合わせて私は何にでもなりました。

23 そして、私はこれを福音のためにしています。あなたがたと共に福音を共有する者となるためです。

24 競争で参加する者は全員走るが、賞を受けるのは一人であることを知らないのですか。賞①を獲得できるように走りなさい。

25 そして、賞を受けるために競争する者たち全員は、すべてのことに節制します。それに、彼らは朽ちる冠を受けるためにやっていますが、私たちは朽ちることのない冠のためです。

26 すなわち、私はこのように目標を持たずには走っていません。このように、空を打つような拳闘をしません。

27 しかし、人に語った後、私自身が失格者にならぬよう、自分の体を律し、支配下においています。

10

1 その上、兄弟たちよ、私たちの父祖たちは全員、雲の下にいたこと、また全員が海中

---

24 ① 当時は一等賞しかなかった。

を通り抜けて来たことを、あなたがたが知らぬままでいて欲しくはありません。
2 雲と海の中で、全員モーセの方に浸されました。
3 全員、同じ霊的な食べ物を食べました。
4 そして、全員、同じ霊的な飲物を飲みました。父祖たちは、彼らについてきた霊的な岩から飲みました。その岩はキリストであられたからです。
5 しかし、**神**はその者たちの大多数を喜ばれませんでした。そこで、彼らの体は荒野に散らされました。
6 それで、彼らが悪事を渇望したと同様、私たちも彼らが渇望した悪事をしないために、これらの事は私たちの鑑になりました。
7 それで、彼らの中のある者たちのように、偶像崇拝者になってはいけません。「民は食べたり飲んだりするために座り、遊ぶために立ち上がった。」と書いてあるとおりです。
8 また、私たちは性的な罪を犯してはいけません。そして、彼らの中、犯した者、一日に二万三千人が倒れたのです。
9 また、ある者たちがしたように、私たちはキリストを試みてはいけません。彼らの中、試みた者たちは、あの蛇らに滅ぼされました。
10 また、ある者たちがしたように、不平を言ってはいけません。彼らの中のある者たちも、不平を言ってあの滅ぼす人に滅ぼされました。
11 さて、これらのことはすべてその者たちに、鑑として行なわれたのです。そして、各時代の週末にいる私たちへの、警告のために書かれました。
12 したがって、自分が立っていると思う者は、倒れないように気をつけなさい。
13 あなたがたを襲う試みは人には常のものです。しかし**神**は信頼できる方であられるので、あなたがたが耐え忍ぶことができないほどの試みは、お許しになりません。しかも、その試みには、あなたがたが耐え忍ぶことができるよう、逃れる道が添えてあります。
14 したがって、私の愛する者たちよ、偶像崇拝から逃れなさい。
15 私はあなたがたが賢い人として話をしています。自分たちで、私の言うことを判断しなさい。
16 私たちの祝福する、祝福のカップは、キリストの血の交流ではないのですか。私たちの裂くパンは、キリストの体の交流ではないのですか。
17 なぜなら、私たちは大勢でも、一つのパンであり、一つの体だからです。なぜなら、私たち全員、その一つのパ

ンを共に頂いているからです。

18 肉に関してのイスラエルを見なさい。捧げ物を食べる者たちは、祭壇の交流をしていないのですか。

19 それでは、私は何を言っているのでしょう。偶像は確かなものですか。また偶像に捧げられた物は確かなものですか。

20 それどころか、異邦人たちが捧げる物は、**神**にではなく、悪霊に捧げているのです。私はあなたがたが悪霊と交流する者であって欲しくはありません。

21 あなたがたは**主**のカップを飲んで、悪霊のカップを飲むことはできません。**主**の食卓に付き、悪霊の食卓には付けません。

22 それとも、私たちは**主**にねたみをおこさせますか。私たちは**主**より強いのですか。

23 すべてのことは私にとって合法であるが、すべてのことが役に立っているとは限りません。すべてのことは私にとって許されていますが、すべてのことが私を向上させるとは限りません。

24 誰もが、自分の利益を求めずに、互いの利益を求めなさい。

25 良心①の故に、何も問わずに、市場の肉屋で売られている物は何でも食べなさい。

26 地、そして、そこに満ち溢れているものは**主**のものだからです。

27 もし信者でない者たちの一人が、あなたがたを招待したら、行きたければ行き、そして良心の故に何も問わずに、あなたがたの前に置かれた物は何であれ食べなさい。

28 しかし、もし誰かあなたがたに、「これは偶像に捧げられた物だ。」と言ったとしたら、あなたがたにそう教えた人のためにも、また良心の故にも、食べてはいけません。地とその満ち溢れる物は、**主**のものだからです。

29 「良心」、あなた自身の良心ではなく、他人の良心のことを、私は言っています。なぜなら、私の自由がなぜ他人によって裁かれるのですか。

30 しかし、もし私が感謝をもって頂くのなら、なぜ私が感謝して頂くものを、人は悪く言うのですか。

31 ですから、何を食べようが、飲もうが、また何をしようが、すべて、**神**の栄光のためにしなさい。

25
① 人間に備わっている善悪を判断する力。

32 ユダヤ人にも、ギリシャ人にも、**神**の教会にも、妨害するものになってはいけません。 **33** 私も同様に、自分自身の益を求めず、多くの人が救われるため、多くの人の益を求めています。

11

1 私がキリストをまねるように、あなたがたも私をまねなさい。

2 さて、兄弟たちよ。私はあなたがたを誉めます。あなたがたはすべてのことにおいて私を忘れず、また私があなたがたに手渡したことを守っているからです。 **3** しかし、すべての人の頭はキリストであられ、女の頭は夫であり、キリストの頭は**神**であられることを知ってほしいのです。 **4** 頭を覆って祈ったり預言したりする男は皆、自分の頭を辱めています。 **5** しかし、頭を覆うことなく、祈ったり預言したりする女は、自分の頭を辱めています。剃った頭と同じだからです。 **6** もし女が、頭を覆っていなければ、毛を短く切らせなさい。しかし、女が短く切るのも剃るのも恥ずかしければ、覆わせなさい。 **7** 男は、**神**の写しと栄光であるから、当然、頭を覆ってはいけません。しかし、女は男の栄光です。 **8** 男は女から来たのではなく、女は男から来たからです。 **9** また、男は女のために創造されたのではなく、女は男のために創造されたからです。 **10** このために、御使いたちがいるのだから、女という者は頭に権威の象徴を置くべきです。 **11** しかし、**主**にあって、男は女から独立しているのではなく、また女も男から独立しているのでもありません。 **12** 女は男から来るように、男は女を通して来ます。しかし、すべては**神**から来るのです。 **13** 自分たちの間で判断しなさい。女は頭を覆わず**神**に祈るのは、あるべき姿でしょうか。 **14** もし男が長い頭髪をしていれば、その者にとって恥であるのは、自然の教えるところではありませんか。 **15** しかし、もし髪の長い女であれば、覆う物として与えられているのだから、それはその女にとっては栄光です。 **16** しかし、もし議論を望む者がいても、私たちも**神**の教会もそんな習慣はありません。

17 私がこれらの指示を与えても、あなたがたを誉めているのではありません。なぜなら、もっと良くするためではなく、もっと悪くするためにあなたがたは集まるからです。

18 なぜなら、先ず第一にあなたがたは教会として集まる時、あなたがたの間に分派がある、と私は聞いています。そして、私はある程度、信じています。**19** あなたがたの中で正しいと認められる人たちが、明白になるには、あなたがたの中に分派もなければなりません。**20** したがって、あなたがたは一か所に集まる時、主の晩餐を食べるためではありません。**21** そこで、食べる時、各自、自分の夕食を人に先んじて食べます。そのため、空腹の者もいれば、また、酔っている者もいます。

22 何たることですか。あなたがたは飲み食いする家がないのですか。それとも、あなたがたは神の教会を見下げ、無一物の者たちを辱めるのですか。私はあなたがたに何を言えばよいのか。このことで誉めましょうか。私は誉めません。

23 なぜなら、あなたがたに手渡した物は、私が主から受け取ったものです。主イエスが裏切られたその夜、主はパンを取られ、**24** そして、主が感謝をし、そのパンを裂き、言われました。「取って、食べなさい。これはあなたがたのために裂かれた私の体です。私の記憶のために、このことをしなさい。」**25** そして同じように夕食後、イエスはカップを取り、言われました。「このカップは、私の血による新しい契約である。私を忘れないため、これを飲むたびにこうしなさい。」**26** このパンを食べ、このカップを飲むたびに、主が来るまで、あなたがたは主の死を示すことになります。

27 したがって、ふさわしくないままでこのパンを食べたり、主のカップを飲んだりする人は誰でも、主の体と血に対して罪があります。**28** それで、自らを裁かせなさい。そうして人が、パンを食べるままに、カップを飲むままにさせなさい。**29** なぜなら、ふさわしくないままで食べたり飲んだりする者は、主の体をわきまえず、自らを裁くからです。**30** この理由で、あなたがたの中の多くは虚弱になり、病気になり、そして死んだ多くの者がいます。

31 しかし、私たちが私たち自身を裁くなら、私たちは裁かれることはありません。**32** しかし、私たちが裁かれる時、私たちは世と共に断罪されないため、私たちは主によって懲らしめられます。**33** したがって、私の兄弟たちよ、食べるために集まった時、互いに待ちなさい。**34** しかし、空腹の者がいれば、その者は家で食べさせなさい。裁きのために、あなたがたが集うことがないためで

す。残りの課題は私が行った時、指示します。

12

1 さて、兄弟たちよ、霊的な賜物について、私はあなたがたが無知であってほしくありません。

2 あなたがたは異邦人であり、どういうふうに導かれたとしても、物言わぬ偶像のもとに連れて行かれたことは、あなたがたは知っています。

3 ですから、あなたがたに、私は知ってもらいます。**神**の**御霊**により話す者は、イエスを呪われた者と呼びません。また**聖霊**によらなければ、誰もイエスは**主**であると言えないのです。

4 そして、賜物はいろいろありますが、同一の**御霊**です。

5 そして、奉仕はいろいろありますが、同一の**主**です。

6 そして、働きには種類はいろいろありますが、すべての中で、すべてを行なうのは同一の**神**です。

7 しかし、**御霊**の啓示が一人一人に与えられているのは、全員の利益のためです。

8 なぜなら、**御霊**を通してある者には智恵の言葉が与えられ、またある者には、同一の**御霊**によって知識の言葉が、

9 そして、ある者には同一の**御霊**によって信仰が、またある者には同一の**御霊**によっていやしの賜物が、

10 そしてまた、ある者には力あるわざ、ある者には預言、ある者には霊を判別する力、ある者には違う言語、ある者には言語の解釈の力が与えられています。

11 しかし、これらすべてのことは、同一の同じ**御霊**が、御自分のご意志により一人一人に分け与えられます。

12 なぜなら、多くの部分からなる体は一つであり、多くあるが、全部の部分で一体を成しているように、キリストも同じです。

13 そしてまた、ユダヤ人であろうとギリシャ人であろうと、奴隷であろうと自由人であろうと、私たちは唯一の**御霊**によって一つの体の中に浸され、そして、私たちは唯一の**御霊**を飲むことになりました。

14 そしてまた、体は多くの部分から成るもので、一部分ではありません。

15 もし、「私は手ではないから、私は体の部分ではない。」と足は言っても、体の部分の一つではありませんか。

16 そしてもし、耳が、「私は目ではないから、体の部分ではない。」と、言ったとしても、体の部分ではないのですか。

17 もし体全体が目ならば、聞く所はどこですか。もし全体は聞く所ならば、嗅ぐ所はどこですか。

18 しかし、**神**は今、その体の一部一部を、御自分の思う

まま、この体に配置されました。
19 そしてもし、各部がすべて一つの部分ならば、体はどこですか。
20 しかし、さて、体には本当に多くの部分はあるが、体は一つです。
21 そして、目は手に、「私はおまえは要らない。」と言えません。または、頭は足に、「私はおまえは要らない。」とも言えません。
22 しかし、体の弱く見える部分は、なおさら必要です。
23 そして、私たちがほかより立派でないと思っている体の部分に、ほかより立派な呼び方をし、そして、私たちの見苦しい部分には、他より上品な呼び方をします。
24 しかし、私たちの立派な部分には、何も必要とするものはありません。しかし、欠落している部分に、**神**は立派さをもっと与え、この体をお作りになりました。
25 それは、体に分裂がなく、この各部分が互いに同じ心配を共にするためです。
26 そして、一つの部分が苦しめば、すべての部分は苦しみます。また、一つの部分は誉れを受ければ、すべての部分は共に喜びます。
27 それで、あなたがたはキリストの体であり、一人一人はその部分です。
28 そして、**神**は教会に置かれたのは、まず第一に使徒たち、第二に預言者たち、第三に教師たち、その後に力ある業、その後にいやしの賜物、補助、先導者、複数の言語です。
29 全員、使徒ですか。全員、預言者ですか。全員、教師ですか。全員、力ある業を行なう人ですか。
30 全員がいやしの賜物を持っているのですか。全員は複数の言語で話をしますか。全員、通訳しますか。
31 しかし、最高の賜物を熱心に求めなさい。そして、私はあなたがたにさらにもっとすばらしい道を教えます。

13

1 もし私が人間の言葉、御使いの言葉で話しても、愛がなければ、私は音を立てるどらか、または騒々しいシンバルになってしまいます。
2 そして、私に預言の賜物があり、すべての奥義と知識を理解し、また山を動かせるほどの信仰のすべてがあったとしても、愛がなければ、無です。
3 そして、私の全財産を、貧しい人たちに食事のために与えても、また自分を燔祭として捧げても、愛がなければ、その燔祭は私に何の益ももたらしません。
4 愛は長期に耐え、思いやりがあります。愛はねたみま

せん。愛そのものは自慢しませんし、高慢にはなりません。

5 愛は無礼なことはせず、己の利益は求めず、怒らず、悪を考えず、

6 不正を喜ばず、真理を喜び、

7 何事をも忍び、何事をも信じ、何事をも希望し、何事をも耐えます。

8 愛は決してしおれることはありません。しかし、今ある預言、それらは廃止され、今ある諸言語、それは使用されなくなり、今ある知識、それは廃止されます。

9 なぜなら、私たちは一部しか知らない、一部しか預言しないからです。

10 しかし、完全なるものが来た時、部分なるものは廃止になります。

11 私が赤子であった時、赤子として話し、赤子として理解し、赤子として考えたが、成人になった時、赤子のものは捨てました。

12 なぜなら、私たちは今、鏡で謎を見ているが、その時、顔と顔とを合わせます。今私が知っているのは、部分なのです。その時、私が知られているように、すべて、知るところとなります。

13 そして今、残っているのは、信仰、希望、愛、この三つです。しかし、この中で最も偉大なのは、愛です。

14

1 愛を追求しなさい。その上、熱心に、霊的な賜物を探し求めなさい。特に、預言ができるようになるためです。

2 外国語で話す者は、人間にではなく、**神**に話しているからです。それで誰も理解できません。霊によってその者は奥義を話すのです。

3 しかし、預言する者は、人たちを建て上げることを、鼓舞を、慰めを語ります。

4 外国語で語る者は自らを建て上げるが、預言する者は教会を建て上げます。

5 あなたがた全員が、外国語で語ることを私は望んでいるが、それよりも、あなたがた全員が、預言するのを、私は望んでいます。なぜなら、自ら通訳しない限り、外国語で語っても、教会の成長のためになりません。外国語で話す者より、預言する者のほうが優れているからです。

6 しかし今、兄弟たちよ、もし私があなたがたの所に行き、外国語で話しても、啓示、知識、預言、教理によって説かなければ、あなたがたに何か利益がありますか。

7 笛や立琴のような命のない物でさえも、音を出す時、

音に違いがなければ、何が吹かれ、また、何がつま弾かれているのか、どうして分かるのですか。 8 もし、ラッパが、不明確な音を出せば、誰が自ら、戦いの準備をしますか。 9 同様に、あなたがたも、理解できる、安易な言葉を口にしなければ、何が話されたのかどうして理解されるでしょう。空に話すことになるからです。 10 多分、世には、それは多くの種類の言語はあるでしょうが、その中に、意味のないものは何一つありません。 11 したがって、もし私はその声の力を知らなければ、私は話す人にとって外国人であり、話す人は私にとって外国人です。 12 同様に、あなたがたも霊的な賜物を熱心に求めているのだから、教会を築き上げるために、あなたがたも豊かになるように求めなさい。 13 それで、外国語で説く者は、自ら通訳できるように祈りなさい。 14 なぜなら、もし私が外国語で祈れば、私の霊は祈っても、私の理解力は豊かになりません。

15 では、結論は何でしょう。私の霊で祈り、また私の理解力で祈ります。私の霊で聖歌を歌い、また私の理解力で聖歌を歌います。 16 そうではなければ、あなたが霊で祝福しても、学問と無縁な所にいる人は、あなたの言うことがわからないのに、どうしてあなたの祝福に「アーメン」①と言えますか。 17 なぜなら、あなたは見事に祝福していますが、他の人は成長しません。 18 あなたがたの誰よりも、私は複数の言語で話せることを、私の**神**に感謝しています。 19 しかし、教会では、人たちに教えることができるように、外国語の一万の言葉で説くより、むしろ、私は自分の理解による五語で話したいのです。 20 兄弟たちよ、知性では、子どもであってはいけません。しかし、悪意では赤子になり、知性では成人でありなさい。 21 律法に書いてあります。「外国語、つまり他の唇で、この国民に私は話します。しかし、この方法を使っても、それでも彼らは私の言葉を聞こうとしない。」と**主**は言われます。

---

16 ① 賛成という意味。

22 それで、外国語は信じる者のためではなく、信じない者に対してしるしであるが、預言は信じない者のためではなく、信じる者たちのためです。**23** したがってもし、教会全員が一カ所に集まった時、全員が外国語で話せば、学問がない者、あるいは信じない者が入って来れば、その者たちはあなたがたは狂っていると言いませんか。**24** しかし、全員が預言すれば、信者でない者、または学問がない者が入って来れば、その者は全員に罪ありとされ、問いただされます。**25** そして、このようにその人の心の秘密は現われます。それで、その人は地に身を倒し、**神**を礼拝し、**神**はまことにあなたがたの間におられると、口にします。**26** では、どうでしょう、兄弟たちよ、あなたがたが集まった時はいつも、各自、詩編の歌があり、教えがあり、外国語があり、啓示があり、解釈があります。これらすべてを、人を築き上げるために実行しなさい。**27** もし外国語を話す者がいれば、二人、多くても三人を交互に話しさせ、通訳は一人にさせなさい。**28** しかし、もし通訳者がいなければ、教会では話す者は黙らせなさい。そして、その者を**神**と彼自身に話すようにさせなさい。**29** 預言者を二人か三人に話させ、そしてその他の者たちに判断させなさい。**30** しかし、もし座っている別の誰かに何か啓示が与えられたら、先の一人を黙らせなさい。**31** あなたがた全員は預言することができるのだから、全員が学び、全員が励ましを受けることができます。**32** そして預言者たちの霊は、預言者たちに服します。**33** なぜなら、聖徒たちの全教会で行なわれているように、**神**は騒乱の源ではなく、平和の源であられます。**34** 教会では、女たちは話すことは許されていないから、あなたがたの女たちは黙らせなさい。また女たちは従順であるべきと、律法も言っています。**35** そして、女たちは教会で話すことは恥なのだから、女たちが何か質問があるなら、家で各自の夫に質問させなさい。**36** あるいは、**神**の御言葉は、あなたがたから出たのですか。または、あなたがただけに届いたのですか。**37** もし誰か、自分を預言者である、または霊的な者であると思っているなら、私があなたがたに書くことは、**主**の命令であることを認めなさい。**38** しかし、誰であれ無知の者がいれば、その者は無知の

ままにしておきなさい。

39 ですから、兄弟たちよ、預言できるように望みなさい。そして、外国語で話すことを禁じてはいけません。

40 すべてのことを適切に、秩序正しく行ないなさい。

15

1 それに、兄弟たちよ、私が以前あなたがたに説いた福音を、明確に伝えます。あなたがたはこれを受け入れ、そしてそれに立脚しているのです。

2 もし、訳も分からず信じたのでなく、私の説いた言葉をしっかりつかんでいれば、あなたがたもこの福音を通してもう救われているのです。

3 なぜなら、私が受け取ったものを、まずあなたがたに手渡しました。それは、キリストは聖書に従って私たちの罪のために死なれ、

4 そして埋葬され、そして聖書に従い三日目に復活されました。

5 そしてキリストはケパで目撃され、それから十二人に目撃され、

6 その後、五百人以上の兄弟たちに、同時に目撃されました。その中の大多数は現在も残っているが、眠りについている者もいます。

7 その後、イエスはヤコブに目撃され、それから使徒の全員に目撃されました。

8 最終的に、未熟児で生まれた、私のような者に目撃されました。

9 なぜなら、私は使徒たちの中のもっとも小さい者であり、**神**の教会を迫害した者で、使徒と呼ばれる価値のない者だからです。

10 しかし、私が今あるのは、**神**の恵みによるものです。そして、**神**の私への恵みは、無意味ではなかったのです。私は他の使徒たちより多く苦労しました。しかし、私ではありません。私と共にあった**神**の恵みがしたのです。

11 従って、私であろうが、他の使徒たちであろうが、私たちがそう説き、そしてあなたがたはそう信じました。

12 それで、キリストは死人たちの中から復活された、と説かれているのに、あなたがたの中のある者たちは、なぜ、死人の復活はないと言うのですか。

13 しかし、もし死人たちの復活がなければ、キリストは復活されていません。

14 そして、もしキリストが復活されていなければ、私たちの説くことは空虚であり、あなたがたの信仰も空虚です。

15 それで、もし、死人たちは復活しないのなら、**神**はキ

リストを復活させられたと、証言しているのだから、私たちは**神**の偽証人だと露見します。

16 もし死人たちが復活しないのなら、キリストも復活されていません。

17 そしてもし、キリストが復活されていないなら、あなたがたの信仰は何の役にも立たず、今もあなたがたは自らの罪の中にいます。

18 そしてまた、キリストにあって眠った人たちは、滅んでしまったことになります。

19 もし、私たちがキリストの希望を、この人生のみに持っているとしたら、私たちはすべての人の中で、最も哀れむべきものです。

20 しかし、キリストはもうすでに、死人たちの中から復活され、眠っている人たちの最初の収穫となられています。

21 というのは、人によって死がもたらされ、また同じく、人によって死人たちの復活ももたらされたからです。

22 アダムによってすべての人は死に、同じように、キリストによってすべての人が生きかえらせるからです。

23 しかし、各自、自らの順によります。最初の収穫であるキリスト、それからキリストがお出でになることに関係する者たちです。

24 それで、終わりの時が来ます。イエスが**父**なる**神**に王国を手渡す時です。すべての支配を、すべての権威を、そして力を、イエスが終わらせる時です。

25 なぜなら、敵をすべてご自分の足で服従させたまで、イエスは統治しなくてはならないからです。

26 滅ぼされる最後の敵は、死です。

27 なぜなら、「この方はすべてのものをご自分の足で足下に服従させられた。」「すべてのものはこの方の下に服従させられた。」と言うことは、すべてのものを、下に服従させた方は含まれていないことは、明らかです。

28 そして、すべてのものがこの方に足下に服従させられたその時、すべてのものを**御子息**の足下に服従させた方に、**御子息**も服従されます。**神**はすべての中に、すべてになられるためです。

29 そうでなく、もし死人たちが決して復活しないなら、死人たちのために浸礼を受ける者たちは、何をすることになるのですか。なぜ死人たちのために人は浸礼を受けるのですか。

30 また、私たちは、二十四時間いつもなぜ危険の状態ですか。

31 私たちの**主**キリスト・イエスにある、あなたがたの誇りにより私は断言します。私は毎日死んでいます。

32 私が人間のやり方で、エペソで野獣と戦ったとしたら、それは私に何の得があるでしょうか。死人たちが復活しないならば、「さあ、飲み食いしようじゃないか。明日は死ぬのだから」と。
33 騙されてはいけません。「悪い仲間は、良き習慣を損なう。」
34 義に目覚めなさい。罪を犯してはいけません。**神**の知識の無い者たちもいるからです。あなたがたを辱めるため、このことを私は言います。
35 しかし、こう言う者はいるでしょう。「死人たちはどういうふうにして復活させられますか。そして、彼らはどういう体で来ますか。」
36 愚かな者よ。あなたの蒔くものは、死ななければ、生かされません。
37 そして、あなたがたの蒔くものは、肉体になるものを蒔くのではなく、大麦であれ、他の穀物であれ、ただの穀物です。
38 しかし、**神**はご自分自ら望まれる通りに、蒔いたものに体を与えられます。また一粒一粒の種にそれぞれの体を与えられます。
39 肉はすべて同じではなく、一つに人の肉、もう一つに動物の肉、そして魚の肉、鳥の肉があります。
40 天国の体もあれば、地球の体もあります。しかし、天国の輝きは、地球の輝きとは違います。
41 太陽に独自の輝きがあり、月には別の輝きがあり、そして星々にも別々の輝きがあります。輝きに関しては、星それぞれで違います。
42 そして、死人たちの復活も同様です。体は腐って蒔かれ、腐りなく復活させられます。
43 恥で蒔かれ、輝きで復活させられます。力なく蒔かれ、力で復活させられます。
44 自然の体で蒔かれ、霊的な体で復活させられます。自然の体もあれば、霊的な体もあるのです。
45 そして、こう書いてあります。「最初の人であるアダムは、生き物となった。」最後のアダムは、命を与える**御霊**となられました。
46 しかし、霊的な人が最初ではなく、自然の人が最初で、霊的な人はその後です。
47 最初の人は土からで、土埃で造られています。第二の人は天からの**主**でおられます。
48 同様に、土埃で造られたこの人に、土埃で造られている者たちは同じで、天国の人は、天国にいる者たちと同じです。
49 そして、私たち、土埃で造られた者たちには姿がある

と同様、私たちも天国の人の姿をまといます。

50 それで、兄弟たちよ。私はこのことを言います。肉と血液は**神**の王国を相続することができず、または腐る者は腐らないものを相続できません。

51 見よ。私はあなたがたに奥義を教えます。私たちは全員が眠るわけではありません。しかし、私たち全員は変えられます。

52 一瞬、瞬きする間、最終のラッパで変えられます。このラッパが鳴り、死人たちは腐らず復活させられ、私たちは変えられるからです。

53 この腐らないものは腐らないものを身につけなければならず、そしてこの死ぬべきものは、不死を身につけねばならないからです。

54 それで、この腐らないものは腐らないものを身につけ、また死ぬべきものが死なないものを身につける時、「死が勝利に飲み込まれた。」と書いてある御言葉は実現します。

55 「死よ、お前の刺はどこにあるか。ハデス①よ、お前の勝利はどこにあるか。」

56 死の刺は罪であり、罪の力は律法です。

57 しかし、我らの**主**イエス・キリストを通して、我らに勝利を与えてくださる**神**に感謝すべきです。

58 ですから、私の愛する兄弟たちよ、あなたがたの働きは決して**主**にあって無駄ではないことを知り、しっかり立ち、動じず、常に十二分に**主**の働きをしなさい。

16

1 さて、聖徒たちのための献金については、私はガラテヤの諸教会に指示したように、あなたがたもそうしなさい。

2 あなたがたが受けた祝福に応じた貯えを、私が行った時、献金せずともよいように、週の最初の日に各自それを取っておきなさい。

3 そして、あなたがたの手紙によって、あなたがたが任命する人であれば、誰であれ、その①募金を持たせ、私が行ったら、エルサレムに遣わします。

4 しかし、もし私が同行するのが適切なら、その人たちと私は共に行きます。

5 そして、私はマケドニアを通り、通過する予定ですから、その時、私はあなたがたの所に行きます。

6 それで、私は留まるか、または、冬をあなた

---

55 ① 聖書の原語ギリシャ語では、ハデスは死人の場所で、地獄という意味もある。

3 ① エルサレムに飢饉があった。

がたと過ごす可能性もあります。私がどこへ行こうが、あなたがたが、私を旅行に送り出してくれるためです。**7** なぜなら、今のところ、私は途中ではあなたがたに会うことは望みません。しかし、**主**が許してくだされば、しばらくあなたがたと共に滞在することを望みます。**8** しかし、五旬節まで、私はエペソに滞在します。**9** それは、大きくて、収穫が期待できる門が私に開いていて、そして敵対する者が大勢いるからです。**10** さて、もしテモテが行ったら、恐怖を与えることなく、あなたがたと暮らせるようしっかり守りなさい。テモテは、私と同様、**主**の働きをしているのですから。**11** ですから、誰にもテモテを見下げさせてはいけません。そして、兄弟たちと私は共に、テモテを待っているのですから、平和裏にテモテを旅に送り出してください。**12** さて、私たちの兄弟であるアポロのことですが、兄弟たちと共にあなたがたの所へ行くように、私は強く勧めました。しかし、今のところ、アポロは行く気はありませんでした。しかし、都合が良ければ、アポロは行きます。**13** 気をつけていなさい。信仰に堅く立ち、男らしく、強くありなさい。**14** 行なうことは、すべて愛をもって行ないなさい。

15 兄弟たちよ、私はあなたがたに勧めます。知っての通り、ステパノの家の者たちは、アカヤの最初の収穫であり、聖徒たちへの奉仕に自らを定めました。**16** そのような人たちに、そして、私たちと共に働き、労働する人たちに、あなたがたは従うことを勧めます。**17** ステパナとポルトナトとアカイコが来たことを、私は喜んでいます。あなたがたの欠けていたことを補ったからです。**18** それで、彼らは私の霊とあなたがたの霊を休息させてくれたのだから、そのような人たちは認めなさい。**19** アジアの諸教会はあなたがたにご挨拶をします。アクラとプリスキラは、その家にある教会と共に、**主**にあって心からあなたがたにご挨拶をします。**20** 兄弟たちは全員あなたがたにご挨拶をします。聖なる口づけで、互いに挨拶をしなさい。**21** このご挨拶は、私、パウロ自らの手によるものです。**22** もし誰であれ**主**イエス・キリストを愛さなければ、その者は呪われるようにしなさい。**主**よ、おいでください。**23** 私たちの**主**イエス・キリストの恵みが、あなたがたと共にありますように。**24** 私の愛が、キリスト・イエスにあるあなたがたと共にあります。アーメン。

コリント人への手紙　第二

1

1 **神**のご意志により、イエス・キリストの使徒であるパウロと、私たちの兄弟であるテモテより、コリントにある**神**の教会へ、そして、アカヤ全土の聖徒たちへ。 **2** 私たちの**父**であられる**神**より、そして、**主**イエス・キリストより、あなたがたに恵みと平安がありますように。 **3** 私たちの**主**イエス・キリストの**父**なる**神**、哀れみの**父**、すべての慰めの**神**へ、祝福がありますように。 **4** 私たちが、**神**に慰められたあの慰めによって、あらゆる苦しみにいる人々を私たちが助けることができるように、**神**は、あらゆる苦しみの中にいる私たちを慰めてくださいます。 **5** キリストの苦難が私たちの中に、溢れんばかりにあるように、私たちの慰めもキリストを通して、溢れんばかりにあるからです。 **6** それで、もし私たちが苦しめられているなら、それはあなたがたの慰めと救いのためです。それは、私たちが苦しんでいる同じ苦しみを耐えるために、有益です。また、私たちが慰められるなら、それもあなたがたの慰めと救いのためです。 **7** そして、あなたがたはこの苦しみを共有するように、あなたがたは、この慰めの共有者になることを私たちは知っています。ですから、あなたがたに対する私たちは強く期待しています。 **8** 兄弟たちよ、アジアで出会った私たちの苦しみについて知らぬままでいてほしくありません。それは、計測できないほど、私たちの耐えれる力以上で、命さえ望みなしとなりました。 **9** しかし、私たち自身で自らに死刑の判決を下しました。それは私たち自身を信頼するからでなく、死人たちを復活させてくださる**神**を信頼したからです。 **10** **神**は私たちをこのようなひどい死から救い出してくださいました。そして、**神**は私たちを救ってくださるのです。これからもなお、**神**は私たちを救ってくださることを、私たちは信頼しています。 **11** あなたがたも祈りで私たちを共に助けてくださっています。これは、大勢の人々を通して、私たちに与えられた賜物に、大勢の人々による感謝が捧げられるためです。 **12** なぜなら、私たちの誇りは私たちの良心の証です。つまり、この世で、またあなたがたに対してますます豊かに、肉の知恵によらず、**神**の恵みによって、私たち自身が真っ直ぐに、**神**の誠実さで、ますます豊かに生活をしてきたこ

とです。

13 あなたがたが読み取り、または理解できること以外、私たちはあなたがたに他の何も書いていないからです。それで、あなたがたが最後まで理解するように、私は望んでいます。

14 同様に、あなたがたが部分的に私たちの言葉を理解したように、**主**イエスの日に、あなたがたは私たちの誇りであり、私たちもあなたがたの誇りなのです。

15 それで、このことを確信して、あなたがたが二度目の恵みがあるように、私はもっと前にあなたがたの所へ行くつもりでした。

16 そして、あなたがたの所を通ってマケドニアに行き、再びマケドニアからあなたがたの所に行き、そして、あなたがたに見送られてユダヤに行くつもりでした。

17 従って、これを計画している時、私はこの計画をいいかげんに立てたのでしょうか。それとも、私が計画する事は、肉に基づくから、そこには私の身に付いた、ハイ、ハイ、イイエ、イイエ、があるのでしょうか。

18 しかし、**神**は忠実であられますから、私たちのあなたがたへの言葉は、ハイ、イイエ、にはなりませんでした。

19 なぜなら、私たち、つまり私とシルワノとテモテを通して、あなたがたの間に語られた**神の御子息**であられるイエス・キリストは、「はい」でもあり、「いいえ」でもある方にはならず、「はい」となられました。

20 **神**の約束と言う約束はことごとく、その方により「はい」となり、その方により「アーメン」となり、私たちを通して**神**の栄光となったのです。

21 そして、キリストにあって、あなたがたと共に、私たちを、確かな者としてくださり、そして、私たちに油を注いでくださる方は**神**です。

22 **神**は私たちに判を押し、私たちの心の中で、**御霊**を保証金としてすでに与えてくださっています。

23 そして、私が二度とコリントへ行かなかったのは、あなたがたを煩わせないためであったことを、私の魂にかけ、**神**を証人として要求します。

24 と言うのは、私たちはあなたがたの信仰を支配したことはありません。あなたがたの喜びのために、ともに働く仲間です。あなたがたは信仰により立ってきたからです。

2

1 しかし、私はあなたがたの所に二度と、悲しみのままでは行かないと、自ら決めました。

2 なぜなら、もし私があなたがたを悲しませれば、私が

悲しくさせた人こそ、私を喜ばすのではないでしょうか。

3 そして、私は以前これと全く同じことを書きました。それは、私の喜びは、皆さん全員の喜びであると、全員に関して確信があるからです。私が行った時、私が喜ばすべき人たちから、悲しみをもらうことのないためです。

4 あなたがたを悲しませるためではなく、あなたがたに対する私の豊かな愛を、あなたがたが知るために、私は多くの困難と心の苦しみの中から、あふれる涙を通して、あなたがたにこれを書いたからです。

5 しかし、もし、誰かが悲しませたとしても、私を悲しませたことにはなりません。ある程度までは、あなたがた全員を悲しませました。全員に重荷を負わせたくないからです。

6 そんな人には、大多数の人による罰で十分です。

7 ですから、逆にその者を赦し慰めるべきです。そうしなければ、多分その者は、溢れんばかりの悲しみに、飲み込まれてしまいます。

8 従って、その者にあなたがたの愛を確認させるよう、私はあなたがたに勧めます。

9 あなたがたがすべてのことにおいて、すなおに従うかどうかを試すためにも、私はこれを書いたからです。

10 また、あなたがたが誰であれ赦すことは何でも、私も赦します。私が何であれ赦したなら、キリストの御前で、あなたがたのために、その人を赦したのです。

11 それはサタンにつけ込まれないためです。私たちはサタンの策略を知らないわけではないからです。

12 そして、私がキリストの福音を語るために、トロアスに行った時、主によって門が私に開かれた時、

13 私の兄弟テトスが見つからず、私の霊は不安でした。しかし、私は彼らに別れを告げ、マケドニヤに行きました。

14 主にあって常に私たちを勝利に導いてくださり、また私たちを通して、どこでも、ご自分の知識の香りをあらわしてくださる**神**に感謝します。

15 救われる者たちの間でも、滅ぶ者たちの間でも、私たちは**神**にとって、キリストのかぐわしい香りだからです。

16 ある者たちには、私たちは死に至る死の匂いですが、他の者たちには命に至る命の香りです。そして、この二つに、誰か叶うでしょう。

17 **神**の御言葉を売る多くのインチキ商人と私たちは違います。真摯で、**神**からの者です。**神**の御前でキリストによって私たちは話します。

3

1 私たちはまた、自らを推薦し始めているのです

か。それとも、ある人々のように、あなたがたからの推薦の手紙、またはあなたがたへの推薦の手紙は必要なのですか。

2 あなたがたが、私たちの心の中に書かれた、私たちの推薦の手紙なのです。すべての人に読まれ、知られています。

3 あなたがたは、私たちの奉仕による、キリストの明確な手紙です。インクでなく、生ける**神**の**御霊**により、石の板の上でなく、肉の板の上、つまり心の板の上に書かれています。

4 そして、キリストを通し**神**に対し、私たちはそう確信しています。

5 このままでは、私たちは自ら何事も考える力はありません。私たちの十分な資格は**神**からです。

6 **神**は、私たちを新しい契約に叶う奉仕者とされました。文字の者でなく、**御霊**による者です。文字は殺すが、**御霊**は命を与えられるからです。

7 もし石に書かれ、刻まれた文字の死の務めが栄光の内に来たので、そのため、モーセの顔の栄光は過ぎ去って行く栄光のゆえに、イスラエルの子らがしっかり見れなかったとしたら、

8 どうして**御霊**の務めはそれ以上の栄光がないのでしょうか。

9 もし有罪の裁きをする務めに栄光があるなら、義の務めははるかにもっと栄光があります。

10 なぜなら、また、このことに関して、かつて栄光とされたものは、すぐれたこの栄光のせいで、栄光ではなくなりました。

11 なぜなら、過ぎ去るものが栄光であったなら、残ったものはさらにもっと栄光に包まれています。

12 従って、このような希望があるから、私たちはとても勇敢に話します。

13 そして、イスラエルの子らが、過ぎ去りつつあるものの最後をはっきり見ることができないように、自分の顔に覆いをかけたモーセとは違います。

14 しかし、彼らの心は閉ざされました。なぜなら、今日まで、旧約聖書を読む時に、その覆いは取り除かれず、残っています。なぜなら、この覆いはキリストによって取り除かれるからです。

15 しかし、今日まで、モーゼの書が読まれる時、彼らの心に別の覆いがあります。

16 しかし、人が**主**に向く時、その覆いは取り除かれます。

17 そして、**主**は**御霊**であられ、**主**の**御霊**がおられる所に、自由があります。

18 しかし、私たちは皆、覆いのない顔で、鏡にうつる**主**の栄光を見ながら、栄光から栄光へと、**主**と同じ姿に変えられます。正に、**主**の**御霊**によるものです。

4

1 従って、哀れみを受けたので、私たちはこの役目があるのですから、私たちは落胆していません。**2** しかし、恥ずべき隠れたことは放棄しました。狡猾に歩まず、**神**の御言葉を悪用せず、真理を明確に示すことにより、**神**の御前ですべての人の良心に、私たち自身を勧めています。**3** しかし、もし私たちの福音が隠されているなら、滅び行く者たちの中に隠されているのです。**4** 今の時代の神は、信じないこの者たちの心を盲目にし、**神**の御姿であられるキリストの栄光の福音の光を、この者たちの上には、輝かせないためです。**5** 私たちは、私たち自身のことを説いていず、**主**であるキリスト・イエス、そしてイエスのため、あなたがたの奴隷である、私たちのことを、説いているのです。**6** 暗闇から光に輝けと、命じられたあの**神**は、イエス・キリストの顔にある、**神**の栄光の知識に光を与えるため、私たちの心を照らされたからです。

7 しかし、私たちはこの宝を土の器に入れて、持っています。卓越したこの力は、**神**からであり、私たちから出たのではありません。**8** 私たちはあらゆる側から圧迫されているが、窮地には立ってはいません。私たちは途方に暮れてはいますが、絶望はしていません。**9** 迫害されていますが、見捨てられてはいません。倒されましたが、全滅はしていません。**10** 私たちはいつも**主**イエスの死を身に負っています。それはまた、イエスの命が私たちの体に明らかになるためでもあります。**11** 生きている私たちが、絶えずイエスのために、死に渡されるのは、イエスの命もまた、私たちの死んでいく肉体に明らかになるためです。**12** ですから、死は私たちの中で稼動し、命はあなたがたの中で稼動しています。**13** そして、「私は信じたゆえに、話した。」と書いてあることによって、私たちは信仰の同じ霊を持っているから、私たちも信じるゆえに、話しています。**14** それは、**主**イエスを復活させせられた方が、私たちをもイエスと共に復活させ、そして、あなたがたと共に御前に

立たせてくださることを、私たちは知っているからです。

15 なぜなら、多くの人の中に広がった恵みが、**神**の栄光への感謝を豊かにするため、すべてはあなたがたのためです。

16 ですから、私たちは落ち込んでいません。たとえ、私たちの外なる者は腐っても、内なる者は日ごとに更新されます。

17 私たちのこの瞬間、軽い苦しみが私たちのために稼動しているのは、永遠の栄光の、卓越した重さのためです。

18 私たちは見えるものではなく、見えないものに注目しているのです。見えるものは一時的ですが、見えないものは永遠だからです。

5

1 なぜなら、もし私たちの地上の家、この仮小屋が破壊されれば、人手によらない、天国に、**神**による永遠の家があることを、私たちは知っています。

2 ですから、天国の家を身にまといたいと、熱望し、私たちはこの家にいてうめいています。

3 これを身にまとってしまえば、裸で発見されることはないからです。

4 なぜなら、この仮小屋にいる私たちは重荷を負い、うめいています。身につけている物を脱がされたくないからでなく、当然死ぬものが命に飲み込まれようと、さらにもっと身にまとうのです。

5 飲み込まれることこそのため、我々を整えてくださったのは**神**なのです。**御霊**の保証として、私たちに与えられたのです。

6 したがって、私たちは常に確信があります。私たちは肉体に滞在している間は、**主**から離れていることを知っています。

7 なぜなら、私たちは見ることによらず、信仰で歩みます。

8 そして、私たちは確信があります。肉体から離れ、**主**と共にいれるのは、むしろうれしいのです。

9 したがって、それに、ここにいても、いなくても、**主**に喜ばれるように狙いをつけています。

10 善であろうが、悪であろうが、肉体で行なったすべてのことにしたがい、報いを受けるため、私たち一人一人は、キリストの裁きの座の前に出頭しなくてはならないからです。

11 したがって、私たちは**主**の恐ろしさを知っているので、人々を説得しています。しかし、私たちは**神**に知られています。またあなたがたの良心にも知られていると、私は待ち望んでいます。

12 ですから、改めてあなたがたに私たち自身を薦めません。心ではなく、外見を誇る人たちに対して、あなたがた

が応じることができるように、私たちがあなたがたに代わって誇る機会を与えています。

13 なぜなら、もし私たちが発狂したとすれば、**神**のためです。または、もし私たちが正常であれば、あなたがたのためです。

14 なぜなら、一人のあの方がすべての人のために死んでくださったのだから、すべての人は死んだ、と私たちはこう判断しているから、キリストの愛が私たちを駆り立てています。

15 そして、その方がすべての人のため死なれたのは、生きる者たちは、もはや自らのため生きるのではなく、みんなのため死なれ、復活された方のため生きるためです。

16 したがって、これから私たちは肉により人を知ることをしません。しかし、私たちはキリストを肉によって知りましたが、今後、このようにキリストを知ることはしません。

17 それで、もし人がキリストの中にいれば、その人は新しく造られた人です。古いものは過ぎ去りました。見よ、すべてのものは新しくなったのです。

18 そして、すべてのものは**神**からのものです。イエス・キリストを通して、私たちを**神**と和解させ、私たちに和解の仕事を与えてくださったのです。

19 それはすなわち、**神**はキリストにあって、世をご自分に和解させ、人々の悪行の責任を彼らに転嫁せず、そして私たちに和解の御言葉を委ねられました。

20 それで、**神**は私たちを通して懇願しておられるように、私たちはキリストの大使です。私たちはキリストに代わって願います。「**神**と和解しなさい。」

21 なぜなら、私たちがキリストにあって**神**の義となるために、**神**は罪を知られない方を、私たちのために罪となさったのです。

6

1 それで私たちも、キリストと共に働く者として、あなたがたが**神**の恵みを空しく受け入れないように、勧めます。

2 なぜなら、**神**は言われます。「あなたがたを受け入れるべき時、私はあなたがたを聞いた。そして、救いの日に、あなたがたを救った。」見よ、今は受け入れるべき時です。見よ、今は救いの日なのです。

3 私たちの奉仕が咎められることはないよう、どんなつまずきになるものも与えません。

4 しかし、**神**に仕える者として、すべての面で私たち自身を推薦します。多大な忍耐に、苦難に、まさかの時に、

困難に、**5** むちの傷に、入獄に、暴動に、労苦に、不眠に、断食に、**6** 清廉に、知識に、長期の忍耐に、親切に、**聖霊**に、真摯の愛に、**7** 真理の御言葉に、**神**の力に、左右の手の義の武器によって、**8** 光栄と屈辱を通して、悪口と賞賛を通して、たぶらかす者たちのようだが、真実な者たちであり、**9** 知られてないようで、良く知られていて、死にそうだが、見よ、私たちは生きています。懲らしめの罰を受けたようだが、まだ殺されていません。**10** 悲しんでいるようだが、いつも喜んでいます。貧しいようだが、多くの人を富ませます。何も持っていないようだが、何でも持っています。

11 コリント人たちよ。私たちは何も隠さず話しています。私たちの口はあなたがたのために開かれています。**12** 私たちが、あなたがたを狭いところに閉じ込めているのではなく、あなたがたの感情そのものが、あなたがたを狭いところに閉じ込めています。**13** それで、その返礼として（私は子どもたちに話すように話しています）、あなたがたも開かれたものになりなさい。

14 信者ではない者たちと、不釣り合いなくびきにつながれてはいけません。なぜなら、義と無法は、何か仲間関係がありますか。また、光と闇は、何か合い通じるものがありますか。**15** また、キリストはベリアル①と、何か一致する所がありますか。また、信者は信者でない者とは、何か共通する所でもありますか。**16** そして、**神**の神殿は、偶像と何か一致するものがありますか。なぜなら、あなたがたは生ける**神**の神殿なのだから、**神**がすでに言われています。「私は彼らの中に住み、彼らの間を歩く。そして、私は彼らの**神**になり、彼らは私の民になる。」**17** したがって、「彼らの中から出て、別れなさい。」と**主**は言われます。「そして、汚れたものに触れてはいけない。そうすれば、私はあなたがたを受け入れる。」

---

15 ① 悪魔の名前で、価値なしという意味である。

18 「そして、私はあなたがたに一人の**父**になる。そして、あなたがたは私の息子たちと娘たちになる。」と**全能の主**が言われます。

7

1 したがって、愛する人たちよ、これらの約束を得たのだから、肉と霊のすべての汚れから、自らを清め、**神**の恐れで、完璧な聖になるよう、やり遂げましょう。 **2** 心を私たちに開いてください。私たちは誰にも不正をしたことはありませんし、誰をも堕落させたこともなく、誰からも物を騙し取ったことはありません。 **3** 私は非難するためにこれを言っているのではありません。以前、私はあなたがたに言ったからです。あなたがたは、私たちの心の中にいて、死ぬも生きるも一緒だからです。 **4** あなたがたに対して、私は勇敢に話し、大いにあなたがたを誇りにしています。私は慰めで満たされています。私たちのすべての苦しみの中で、私は非常に喜んでいます。 **5** なぜなら、私たちはマケドニアに来た時、私たちの体は休息は何もなく、そして、周りすべてと対立があり、外には争い、内には恐れがありました。 **6** しかし、意気消沈した者たちを慰める**神**は、テトスの来ることにより私たちを慰めてくださいました。 **7** テトスの来訪だけではありません。あなたがたの中にいて彼が受けた慰めにも慰められました。テトスがあなたがたの熱い望みと、あなたがたの悲しみ、私への熱心な思いを私たちに伝えてくれたことで、さらに私は喜びました。 **8** たとえ、私の手紙があなたがたを悲しませたとしても、以前は後悔したが、今は後悔していません。あの手紙があなたがたをわずかな時間、悲しませたのだ、と分かっているからです。 **9** 私は今喜んでいます。あなたがたが、悲しい目にあったからでなく、あなたがたの悲しみが、悔い改めに至ったからです。何も私たちから損は受けないため、あなたがたは**神**によって悲しい目にあったからです。 **10** **神**による悲しみは、後悔しない救いへの悔い改めを生み出すが、この世界の悲しみは死を生み出すからです。 **11** あなたがたが**神**により悲しんだそのものを見よ。そのものこそが、あなたがたの中に、いかに勤勉を生み、いかにあなたがた自身の弁明を、義憤を、恐怖を、渇望を、熱心を、潔白を生んだことか。あなたがた自身、このことには自ら無罪であると証明したのです。 **12** したがって、私はあなたがたに書いたのは、それは不正を犯した人のためではなく、また、その不正に苦しむ人

のためでもなく、**神**の御前に、あなたがたに対する、私たちの心づかいが、あなたがたに表れるためです。

13 したがって、私たちはあなたがたの慰めによって慰められました。そして、テトスの喜びのため、さらに喜びました。あなたがた全員により、テトスの霊が元気を取り戻したからです。

14 もしテトスにあなたがたのことを何か誇ったとしても、私は面目を失ってはいません。しかし、私たちはあなたがたに、すべて真実のことを話したと同様に、私たちのテトスに対する誇りは、真実と証明されました。

15 そして、テトスはあなたがた全員の従順を忘れず、恐れとおののきであなたがたが彼を受け入れたことを忘れず、あなたがたに対する愛情はますます豊かになっています。

16 それで、私は喜んでいます。あなたがたのことはすべて、自信を持っているからです。

8

1 また、兄弟たちよ、マケドニアの諸教会に与えられた**神**の御恵みを、私たちはあなたがたに知らせます。

2 すなわち、大試練の苦しみの中で、彼らの喜びの溢れと、底を突く貧困は、彼らの惜しみなく与える富となりました。

3 なぜなら、私は証します。能力に応じて、いや、能力以上に、彼らは自ら進んで、

4 その賜物と聖徒たちへの奉仕の交流を、私たちが受け入れるように、彼らは私たちに非常に熱心に願っていました。

5 そして、私たちが望んだようにではなく、彼らはまず自らを**主**に捧げ、そして**神**のご意志を通し、私たちにもマケドニア人は自らを捧げました。

6 これに関しては、テトスが前から始めていたので、この恵みをあなたがたコリント人の中で全うするよう、私たちはテトスに勧めました。

7 しかし、あなたがたはすべてのこと、つまり、信仰に、言葉に、知識に、そしてすべての不断の努力で豊かになっています。同様に、私たちに対するあなたがたの愛で、この恵みを豊かにしなさい。

8 私が話すのは命令ではなく、他者への不断の熱心で、あなたがたの愛の誠実を確認しているのです。

9 なぜなら、あなたがたは私たちの**主**イエス・キリストの御恵みを知っています。すなわち、キリストは富んでおられたが、あなたがたのため、貧しくなられました。キリストの貧しさを通して、あなたがたが豊かになるためです。

10 それから、このことに関して、提言します。あなたがたの益になることです。一年前から、あなたがたが始め、

そしてこれはあなたがたが自ら願っただけではなく、実行していたことです。

11 しかし、あなたがたは今していることを完了すべきです。それは、それを願う気持ちがあったと同様に、それを全うする気持ちを持ちなさい。

12 もし、先ず、進んで行なう意志があるなら、人は持っているもので受け入れられます。持っていないものではありません。

13 なぜなら、あなたがたが重荷を負い、他の人が楽をする、と言う意味ではありません。

14 ただ、平等に、あなたがたの豊かさが、今、彼らの欠乏を満たし、彼らの豊かさがあなたがたの欠乏を満たし、平等になるためです。

15 書いてあるとおりです。「多く集めた者は、あまった物がなく、またわずかしか集めた者でも、不足はなかった。」

16 しかし、あなたがたのため、同じ心くばりをテトスの心の中に供えている**神**に、感謝をしています。

17 なぜなら、テトスはその勧めを受け入れただけではなく、さらに熱心に、自由意志で、あなたがたの所に行きました。

18 そして、私たちは彼と共に兄弟を遣わしました。あの男の福音に関しての賞賛はどの教会でもありました。

19 それだけではなく、私たちと共にこの賜物を持って旅をするため、この兄弟は諸教会により、投票で選ばれました。**主**ご自身の栄光のため、またあなたがたの熱心さを示すため、この賜物は私たちにより管理されています。

20 私たちが管理しているこの豊かな賜物のことで、私たちを咎める者が出ることを避けるためです。

21 **主**の御前だけではなく、人の前でも、気をつけて正しい管理をしています。

22 また、私たちの兄弟を彼らと共に遣わしました。様々な場面で真剣であると、私たちは試して認めた男です。私たちはあなたがたを大いに信頼しているので、この兄弟は今、さらに熱心になっています。

23 もし誰かテトスのことを問うなら、彼はあなたがたに関して言えば私の仲間であり、共に働く者です。または、私たちの兄弟たちのことを尋ねるのなら、諸教会の使徒たちであり、キリストのご栄光なのです。

24 ですから、兄弟たちに、そして諸教会の前で、あなたがたの愛とあなたがたについての私たちの誇りの証拠を示しなさい。

9

1 さて、聖徒たちへの奉仕についてですが、私が

あなたがたに書く必要はありません。

2 なぜなら、私は進んでしようとするあなたがたの心を知っているからです。そして、マケドニアの人々へ、アカイアでは一年前、もう準備は完了していると私は自慢しました。あなたがたの熱心は、大部分の人を奮起させました。

3 それで、私たちのあなたがたについて、このことで自慢したことが、嘘にならないように、私は兄弟たちを遣わしました。それは、私が言ったように、あなたがたが、準備することができるためです。

4 もし、私と共に行った、あのマケドニア人たちは、あなたがたが、準備ができていないと分かれば、この自信満々の自慢が、当然あなたがたを含めて言うのですが、私には恥になってしまいます。

5 したがって、兄弟たちはあなたがたの所に先に行くように、また私があなたがたのｓ以前に約束した贈り物を、前もって準備してもらうように、私は勧める必要があると思いました。そうすると、贈り物は貪欲ではなく、祝福です。

6 しかし、このことを私は言います。惜しんで蒔く者は、収穫はわずかですが、豊かに蒔く者は、収穫は豊かです。

7 ですから、各自、惜しまずに、嫌々ながらでなく、決まりだからと言うのでなく、心の中で、目的を決めて与えなさい。喜びを持って与える人を**神**は愛してくださるからです。

8 そして、**神**はあなたがたへの、すべての恵みを豊かにできる方であられます。それは、あなたがたを何事をも満足させ、すべてのよい働きのために、豊かなものを持たせるためです。

9 それは書かれている通りです。「その方は広く散らし、貧しい人々に与えられた。その方の義は永遠にとどまる。」

10 そして、蒔く者に種を、そして、食べ物にパンをくださる方は、あなたがたにも、蒔く種をくださり、そして増やし、またあなたがたの義の実を増やしてくださいます。

11 一方、あなたがたは、すべての面に豊かで、何事も惜しまないので、そのことが、私たちを通し、**神**へ感謝をすることになります。

12 なぜなら、この奉仕の働きは、聖徒たちの必要を満たすだけではなく、**神**への幾多の感謝を通して、豊かになるからです。

13 この務めの証拠を通して、あなたがたの、キリストの福音に従うことを表明すること、またあなたがたが、彼らとすべての人々に惜しみなく分かち合うことが、**神**へ栄光を捧げています。

14 また、あなたがたの中に、非常に豊かな**神**の恵みがあ

るので、あなたがたを慕っている彼らは、あなたがたのための祈りにより、神に栄光を捧げています。

15 筆舌につくせない神の賜物に、神に感謝します。

10

1 さて、私、パウロは、キリストの優しさと思いやりで、あなたがたに勧めます。あなたがたと顔を合わせる時は、私はへりくだっているが、離れた時はあなたがたに対して確信をもって接しています。

2 しかし、私たちは、まるで肉によって歩んでいると思っている、あなたがたの中のどある人々に対して、私は確信をもってするつもりですが、皆さんといっしょの時、そんな考えで、私が確信を持ちすぎないように願っています。

3 私たちは肉で歩んでいますが、私たちは肉では戦いません。

4 なぜなら、私たちの戦いは肉によるものではなく、砦を引きずり倒す、**神**の強力な力だからです。

5 議論に、また**神**の知識に敵対し、自らを高めるすべての高きものを投げ倒し、すべての考えを捕虜とし、捕らえ、キリストの従順に連行します。

6 そして、あなたがたの従順が全うされると、すべての不従順を罰するので覚悟しています。

7 あなたがたは、外見でものを見るのですか。もし人は自ら自分がキリストの者であると確信しているなら、その人はキリストの者であると同様に、私たちもキリストの者です。自らその人に考えさせなさい。

8 なぜなら、我々を引きずり倒すためでなく、造り上げるため、**主**が我々に与えてくださった我々の権威を自慢することさえ、私は恥ずかしくありません。

9 それは、手紙であなたがたに恐怖をいだかせないためです。

10 「彼の手紙は重く、力強いのですが、彼の体格は貧弱で、彼の言葉は唾棄すべきです。」と人々は言っています。

11 私たちがいない時の手紙では言葉ですが、行った時はそのような行動を起こします。そんな人は、そう思わせておきなさい。

12 なぜなら、私たちは私たち自身を、あえて等級分けしませんし、お互いを賞賛しあったりしません。しかし、あの人たちは彼ら自身で互いを測り、互いを比較します。利口ではありません。

13 しかし、私たちは無制限に自慢しません。一定の領分、すなわち、私たちを任命された、あなたがたに及ぶ、一定の領分の中でしか自慢しません。

14 我々の権威があなたがたへ及ばない訳はありません。したがって、私たちは行き過ぎたことはしていません。な

ぜなら、あなたがたのところを目指し、私たちはキリストの福音をたずさえて来たのです。

15 無制限に他人の働きを自慢したりしません。ただ、あなたがたの信仰が豊かになるのにつれ、あなたがたにより、ますます私たちの領分が大きくなる望みを持っています。

16 それは、他の人の地にある、既に完成したものを自慢するのではなく、あなたがたの背後の地で、福音を宣べ伝えるためです。

17 しかし、「自慢する者は、**主**にあって自慢しなさい。」

18 自らを推挙する人は認められず、認められるのは、**主**が推挙する人だからです。

11

1 私のわずかな愚かしさに耐えてくれればいいと望んではいますが、私をもう耐えているでしょう。

2 **神**の妬みで、私はあなたがたを妬んでいます。あなたがたを無垢な処女として、キリストに捧げるため、私はあなたがたを一人の夫、キリストに、婚約させたからです。

3 しかし、あの蛇はその予測できないずるさで、エバを騙したように、キリストの持つ素直さが、あなたがたの知力も、腐敗するのではないかと、私は心配しています。

4 なぜなら、誰かが来て、私たちが語ったことのない別のイエスを語り、また、あなたがたが受け入れたことのない、別の霊を受け入れ、また、受け入れたことがない別の福音を受け入れるなど、それをあなたがたが我慢するかも知れません。

5 なぜなら、最も優れた使徒たちに比べても、私は少しも劣っていないと、思っています。

6 私は演説の訓練を受けていませんが、知識に関してはそうではありません。しかし、あなたがたの間ですべての点を、私たちは完全に明らかにしました。

7 あなたがたを高くするため、自らへりくだった私は、罪を犯したのですか。なぜなら、私は無報酬であなたがたに**神**の福音を説いたからです。

8 私は、あなたがたへ奉仕をするため、他の諸教会を強引に、他の諸教会に押し入り、彼らから賃金を得ました。

9 そして、あなたがたと共にいて、私は困った時、誰の重荷にもなりませんでした。マケドニアの兄弟たちが、足りない必要品を補ってくれたからです。あなたがたの重荷になることは、何事も避けましたし、今後もそうします。

10 私にはキリストの真理があるので、アカヤの地方で、この誇りを誇る私を誰も止められません。

11 なぜですか。私はあなたがたを愛していないからです

か。神はご存じです。

12 しかし、今、私がしている事は続けます。それは、私たちと同じように、彼らが誇れる立場を得ようと伺う機会を、切断するためです。

13 なぜなら、そういう者たちは偽使徒であり、狡猾な働き人で、自らをキリストの使徒たちに姿形を変えています。

14 そして、驚くことではありません。サタンさえも自らを光の御使いに姿形を変えるのです。

15 したがって、サタンの奉仕者たちも自らを義の奉仕者に姿形を変えることは、驚くことではありません。彼らの最後は彼らのわざと一致します。

16 私はもう一度言います。私は愚か者であると、誰にも思われたくありません。もし、そうでなければ、ほんの少し自慢しようとする、私を愚か者として受け入れてください。

17 私が話すことは、主によって話しているのではなく、愚か者でもあるかのように、この自慢話を自信をもって、話しています。

18 多くの者は肉で自慢しているので、私も自慢しましょう。

19 愚か者を喜んで耐えてくれるのは、あなたがた自身が賢いからです。

20 人があなたがたを奴隷にしても、人があなたがたをむさぼり食べても、人があなたがたから収奪しても、その人自身が高い地位につけば、その人があなたがたの顔面を殴っても、あなたがたはその人を我慢するでしょう。

21 私たちはこのことに弱すぎたよう、私は恥ずかしいことを言います。ですがしかし、人は自信があるなら、愚かなことをでも言います。私も自信があります。

22 彼らはヘブライ人ですか。私もそうです。彼らはイスラエル人ですか。私もそうです。彼らはアブラハムの種ですか。私もそうです。

23 彼らはキリストの奉仕者ですか。（愚か者として私は言います。）私はそれ以上の者です。労働はより多く、むち打たれの刑はより多く、牢獄に入れられたのもより多く、死はたびたびでした。

24 四十から一を引いたむち打ちを、ユダヤ人たちから、五度、私は受けました。

25 棒で三度殴られ、一度、投石の刑を受け、三度難船し、一昼夜海上にいたことがあります。

26 私は旅行が多く、水の危険、強盗の危険、同胞の危険、異邦人の危険、町の危険、荒れ果てた所の危険、海の危険、偽兄弟の危険にも遇いました。

27 疲労と重労働の苦しみ、たびたび眠れず、飢えと渇き、

たびたび食事できず、寒く、裸でした。**28** おまけに、他のこと、つまり毎日私に乗りかかってくる、全教会への重い心労です。**29** 弱いのは誰ですか。私は弱くないのですか。誰かがつまずかされる、私は義憤で燃えないのですか。**30** 私が自慢しなければならないのなら、自らの弱さについて自慢します。**31** 永遠に祝福されている、私たちの**主**イエス・キリストの**神**と**父**は、私がうそを言っていないことをご存じです。**32** ダマスカスでは、アレタ王の配下の総督は、私を逮捕しようと、ダマスカス人の町を軍隊で監視していました。**33** しかし、私はかごで城壁の窓から降ろされ、総督の手から逃げました。

12

1 私が自慢してもそれは無益なことは明らかです。それで、**主**の幻と啓示に話を進めます。**2** 私はキリストの中にいる男を知っていました。十四年前、（**神**はご存じですが、肉体と共にであったか、また、肉体から分離してか、私は分かりません。）この人は第三の天に引き上げられました。**3** そして、私はそういう人を知っています。**神**はご存じですが、肉体と共か、肉体から離れてか、私は分かりません。**4** というのは、その人はパラダイスの中へと引き上げられ、口にしがたい言葉、つまり人が口にしてはいけない言葉を彼は聞きました。**5** 私がこういう人なら、自慢もするが、自分自身の弱さ以外、私は自分のことは自慢しません。**6** なぜなら、私は愚か者ではないので、自慢したければ、真実を言います。しかし、見た目以上に、また、聞いた以上に、人々が私を評価しないため、私は自慢するのを差し控えます。**7** そして、あの啓示の桁外れの偉大さのため、傲慢にならないため、つまり、サタンの使いが私を痛めつけるため、一本のとげが、私の体内に与えられたのです。**8** これについては、抜いてくださるよう、私は三度**主**に願いました。**9** すると、**主**は私に言われました。「私の恵みはあなたにとって十分です。私の力は弱さの中で、完璧となるからです」。したがって、キリストの御力が私に宿るように、私はなおさら自らの弱さの中にいて自慢します。**10** それで、キリストのために、私は弱さ、侮辱、困窮、迫害、艱難を喜びます。弱い時に、私は強いからです。

11 あなたがたに強いられ、私は自慢する愚か者になりました。なぜなら、私はあなたがたに誉めてもらうはずでした。たとえ、私が取るに足らない者でも、最高の使徒の後は行きません。
12 まことに、使徒の数々のしるしは、あらゆる忍耐を伴い、あなたがたの間で行なわれました。それはしるしに、不可思議に、力ある業にです。
13 なぜなら、他の教会に比べ、何かあなたがたに、劣っているものがあるのですか。私自身が、あなたがたの重荷にならなかったこと以外はないのではないですか。私のこの間違いを許してください。
14 さて、三度目のあなたがたへ行く用意はできています。私はあなたがたの重荷にはなりません。あなたがたの物を求めるのではなく、あなたがたそのものを求めているからです。子どもが、親のため蓄えるべきではなく、親が子どもたちのため、蓄えるべきなのです。
15 そして、あなたがたの魂のため、私は大いに喜んで費やしますし、費やされもします。あなたがたを満ち溢れるほど、愛すれば愛するほど、より少なく愛されてもです。
16 私はあなたがたに重荷を負わせなかったにしても、ずる賢く、策略で、あなたがたを捕まえました。
17 あなたがたのところへ遣わした人たちを利用して、私はあなたがたから何かを騙し取りましたか。
18 私はテトスに頼み、テトスと共に私たちの兄弟を遣わしました。テトスはあなたがたから何かを騙し取りましたか。私たちは同じ霊で歩んだのではないのですか。同じ足跡を踏んだのではないのですか。
19 繰り返します。あなたがたの前で私たちは自己弁護をしていると思いますか。キリストにあって**神**の御前で私たちは言っています。しかし、愛する人たちよ、私たちがするすべてのことは、あなたがたの徳育のためです。
20 なぜなら、恐れていることがあります。私が行くと、私の望んでいないあなたがたを目にしないか、そして、あなたがたも望んでいない私を目にしないかです。また、争い、ねたみ、怒りの爆発、自己的な野望、悪口、ゴシップ、自惚れ、大騒ぎがあるのではと恐れています。
21 今度また私が二度目に行く時、あなたがたの前で、私の**神**が私をはずかしめ、また以前犯した、不潔、性的な罪、好色を悔い改めていない大勢の人たちのために、私は嘆き悲しむのではと恐れています。

13

1 今回行けば、あなたがたのところへは、三度目

になります。「二人か三人の証人の口をそろえて、すべての言葉は確認される。」

2 私は以前にもあなたがたに言ったが、二度目の時のように、前もって言います。今、そこにいない私は前に、罪を犯した人たちと、残り全員に、これを書きます。今度も行けば、容赦しません。

3 私の中にいるキリストが話していると言う証拠を、あなたがたは求めているからです。キリストはあなたがたに対して弱者ではなく、あなたがたの中にいるキリストは強い方なのです。

4 キリストは弱さによって十字架につけられたのに、**神**の力によって生きておられます。私たちもキリストにあって弱いのですが、**神**のあなたがたに対する力により、私たちはキリストと共に生きます。

5 あなたがたは信仰の中にいるかどうか、自らを調べなさい。自分たちを検査しなさい。イエス・キリストはあなたがたの中におられることが、自分自身でわからないのですか。ただし、あなたがたが失格していなければですが。

6 しかし、私たちは失格していないと、あなたがたが知ることを、私は望んでいます。

7 それで、あなたがたは悪を何も犯さないように、私は**神**に祈っています。それは、私たちは条件を満たしたように見えるためでなく、失格したように見えても、あなたがたが善を行なうためにです。

8 私たちは真理に敵対しては何もできないが、真理のためにはできるからです。

9 私たちは弱く、あなたがたが強い時、私たちはうれしいのです。そして、あなたがたが完璧になるのを祈っています。

10 私がこれらのことを書き送るのは、留守にしているからです。もし、そこにいたら、破壊するためでなく、徳育のため、**主**が私に与えられた権威を、厳しく適応しないためだからです。

11 最後に、兄弟たちよ、喜びなさい。完璧になり、励まされなさい。心を一つにし、平和になりなさい。そして、愛と平安の**神**があなたがたと共におられますように。

12 聖なる口づけで、互いに挨拶をしなさい。

13 すべての聖徒たちは、あなたがたに挨拶をおくります。

14 **主**イエス・キリストの恵み、**神**の愛、**聖霊**の交流があなたがた全員と共にありますように。アーメン。

ガラテヤ人への手紙

1

1 人間からでなく、また人間を通してではなく、イエス・キリストを通し、またイエスを死人たちの中から復活させられた**父**なる**神**を通し、使徒であるパウロより、**2** また、私と共にいる兄弟たちより、ガラテヤ地方の諸教会へ。**3** **父**なる**神**と私たちの**主**イエス・キリストより、あなたがたに恵みと平安がありますように。**4** 私たちの**神**であり、**父**であられる方の御意志により、この邪悪な時代から我々を救い出すため、**主**イエスは、ご自身を私たちの罪のために与えてくださいました。**5** **父**なる**神**に、栄光が世々永遠にありますように。アーメン。**6** キリストの御恵みにより、あなたがたを召された方から、あなたがたがかくも早く離れ、他の福音に向かったのを私は驚いています。**7** これは福音と別のもので、単にある者たちがあなたがたを撹乱して、キリストの福音を歪曲させようと願っているのです。**8** しかし、もし私たちにせよ、また天国からの御使いにせよ、私たちがすでに、あなたがたに説いた福音と違うどんな福音を説いても、その者を呪われ者とせよ。**9** 私たちは前に言ったように、私は今もう一度言います。誰であれ、あなたがたが受け入れた福音と違う福音を、あなたがたに説くなら、その者を呪われ者とせよ。**10** なぜなら、今私は人間を確信させようとしているのか、それとも**神**をなのですか。はたまた、人間を喜ばそうとしているのですか。なぜなら、もし私が人間をまだ喜ばせているのなら、私はキリストの僕ではありません。**11** しかし、兄弟たちよ、私が説いた福音は、人間によるものではないことを、私はあなたがたにはっきりさせておきます。**12** なぜなら、私はこの福音を人間から受けたのでも、教えられたのでもなく、イエス・キリストの啓示を通して受けたものだからです。**13** それに、以前、ユダヤ教であった私の行動を、あなたがたはすでに聞いています。私は**神**の教会を際限なく迫害し、荒らすところでした。**14** そして、同胞中、多数の同年輩の者より、私はユダヤ教の中で上位にいた、父祖たちの伝統には誰よりも熱心でした。**15** しかし、私の母の胎内から私を分かち、ご自身の御恵みを通して私を召された**神**が、

16 異邦人の間でイエスの福音を説くため、私の内に**御子息**を啓示されたことを**神**がお喜びになった時、私は肉と血にはすぐに相談しませんでした。
17 また、私より先に使徒であった人たちの所、エルサレムに上らず、アラビアに行き、ダマスカスに戻りました。
18 それから三年後、私はペテロに会って確かめるため、エルサレムに上りました。そして、彼と共に十五日間滞在しました。
19 しかし、**主**の弟であるヤコブ以外、他の使徒には会いませんでした。
20 それで、私があなたがたに書くことに関しては、**神**の御前で、見よ、私はうそをつきません。
21 その後、私はシリア、キリキヤの地方に行きました。
22 それで、キリストにある、ユダヤの諸教会では、私は顔では知られていませんでしたが、
23 彼らは、「私たちを前に迫害していた人が、前に荒らそうとした信仰を今、説いています。」と聞いていただけでした。
24 彼らは私のことで**神**に栄光を捧げていました。

2

1 それから十四年後、私はバルナバと共に、テトスも連れ、再びエルサレムに上りました。
2 そして、私は啓示によって上りました。それで、私が異邦人の間で説く福音をエルサレムの人たちに説明しました。これはどうしても私が走るため、また走ったことが無駄にならないよう、人望のある人たちに密かに伝えました。
3 しかし、私と共にいたテトスでさえ、ギリシャ人であっても、割礼を強制されませんでした。
4 しかし、密かに連れてこられた偽兄弟たちが現れました。私たちを奴隷にするため、彼らはキリスト・イエスによりもたらされた私たちの自由を探るため、忍び込みましたが、
5 福音の真実があなたがたと共にとどまるよう、私たちは一時も彼らに従わず、一歩も譲りませんでした。
6 しかし、ひとかどの人物に見えた者たちから——以前の現実は、私には何も関係はありません。**神**は人を外観で受け入れたりされません。——それで、ひとかどの人物に見えた者たちは、何も新しいことを私に付け加えませんでした。
7 しかし、それどころか、割礼者への福音がペテロに委ねられたと同様に、非割礼者への福音は私に委ねられたことを、彼らがわかった時、
8 (なぜなら、割礼者の使徒の役のために、ペテロを通して働いてくださった方は、また私を通して異邦人のために働いてくださったのです。)

9 そして、柱と思われていたヤコブとケパとヨハネが、私に与えられた恵みを知った時、交流の右手を私とバルナバに差し出しました。これは、私たちが異邦人たちに行き、彼らは割礼者たちに行くためでした。
10 貧しい人々を私たちが心に留めることだけをその三人が求めました。このことこそ、私が熱心に努力したことです。
11 ところが、ペテロがアンテオケに来た時、ペテロは非難されるべきでしたから、私は面と向かって彼に反対しました。
12 なぜなら、ある人々がヤコブのところから来る以前、ペテロは異邦人たちと共によく食事をしていました。しかし、その人々が来ると、ペテロは割礼の人々を恐れ、退き、自ら去りました。
13 そして、残りのユダヤ人たちもペテロと共に偽善を行なったから、バルナバでさえ彼らの偽善に魅了されました。
14 しかし、彼らは福音の真理に関して、正しく歩まないのを見た時、私は全員の前でペテロに言いました。「ユダヤ人でありながら、ユダヤ人の暮らしをせず、異邦人の暮らしをしているのなら、なぜ異邦人にユダヤ人の生活を強制しますか。」
15 私たち生まれながらのユダヤ人であり、異邦人なる罪人ではなく、
16 律法の働きによってでなく、キリスト・イエスに対する信仰を通して人は義と認められることを知り、私たちもキリスト・イエスを信じました。それは律法の働きによらずに、キリストに対する信仰によって、私たちは義と認められるためです。律法の働きで、肉である者は誰も義と認められないからです。
17 しかし、もしキリストによって義と認められようと求めながら、私たちでさえ罪人と分かったとしたら、キリストは罪の助力者でしょうか。断じてそうではありません。
18 なぜなら、もし私が破壊したものを再建するなら、私は自らを違反者であると自己宣伝をしています。
19 それで、**神**に対して生きるため、私は律法を通し律法に死にました。
20 キリストと共に私は十字架につけられました。そして、生きているのは、もう私自身ではなく、私の中に生きておられるキリストです。そして、今、肉に生きている私の命は、私を愛し、ご自分を私のために与えてくださった、**神の御子息**に対する信仰によって生きています。
21 私は**神**の御恵みを空しくしていません。なぜなら、もし義が律法を通してくるとすれば、それではキリストは空しく死なれたことになります。

3

1 あぁ、愚かなガラテヤ人たちよ。イエス・キリストがあなたがたの目の前で十字架につけられたのを、あなたがたの間で描いたのに、誰があなたがたに魔法をかけ、真理に従うことのないようにしたのですか。 **2** このことだけはあなたがたから、私は知りたい。あなたがたは、律法による行為から**御霊**を受けたのですか。それとも、信仰で聞くことからですか。 **3** あなたがたはそんなに愚かなのですか。**御霊**で始めたのに、今、肉によって完成されたと言うのですか。 **4** あなたがたは、かくも多くのことを、無意味に苦しんだのですか。もし本当に無意味であったとすれば…。 **5** それでは、あなたがたに**御霊**を与えて下さり、あなたがたの間で力ある御業を行なわれる方は、それを律法を通して行なわれるのですか、信仰で聞くことを通して行なわれるのですか。

6 それと同じように、「アブラハムは**神**を信じた。そして、**神**はそれを彼にとって義と計算された。」 **7** 従って、信仰の者たちのみ、その者たちがアブラハムの子たちであることを知りなさい。 **8** そして、**神**は異邦人たちを信仰によって義と認められると聖書は、予知し、前もってアブラハムに福音を説きました。「あなたにおいてすべての国民は祝福される。」 **9** それで、信仰の人々は、忠実なアブラハムと共に祝福されます。

10 なぜなら、一人一人律法の働きの者たちは、呪いの下にいます。なぜなら、「律法の書にすべしと書いてあるすべてのことを継続し、それらを実行しない者は、呪われている。」と書いてあるからです。 **11** しかし、**神**の御前には、律法によって義と認められる者は誰もいない、ということは明らかです。なぜなら、「義人は、信仰によって生きる」からです。 **12** しかし、律法は、信仰からではありません。かえって、「律法を行なう者は、律法によって生きるべし。」 **13** キリストは、私たちの身代わりに、呪われた者となり、律法の呪いから私たちを買い戻されました。なぜなら、「すべて木に掛かる者は、呪われている。」と書いてあるからです。 **14** それは、イエス・キリストによって、アブラハムの祝福が異邦人に行くためであり、私たちは信仰を通して**御霊**の約束を受けるためでした。

15 兄弟たちよ、私は人間の作法で話します。人間の契約でさえ、一旦結ばれると誰もそれを無効にし、またはそれ

に付け加えることはありません。

16 さて、アブラハムと彼の種にこの約束はされました。**神**は、「そして、種たちに」、と、大勢を指すのではなく、一人を指すように言われました。「そして、あなたの種に」、つまりその種はキリストであられます。

17 それで、私が言いたいのはこうです。**神**によりキリストに関して、先に確定された契約を、四百三十年後つくられた律法が、その約束を無とするため、契約を破棄することはありません。

18 なぜなら、もし相続が律法からくるものなら、すでに約束からのものではありません。しかし、**神**は約束によりアブラハムに相続を与えられました。

19 では、律法はなぜありますか。違反のため付け加えられたのであり、約束されたその種がくるまで、御使いたちを通して、仲介者の手によって定められました。

20 しかし、仲介者は一方のためだけではないが、**神**は一方の方です。

21 では、律法は**神**の約束に反しているでしょうか。断じてそうではありません。なぜなら、もし命を与えることができる律法が与えられたとすれば、間違いなく義は律法から出たでしょう。

22 しかし、イエス・キリストに対する信仰によって、約束は信じる人々に与えられるように、聖書はすべての人々を罪の下に囲い込んだのです。

23 しかし、信仰がくる前は、私たちは律法により守られ、後に明らかになる信仰がくるまで囲い込まれていました。

24 それで、私たちが信仰によって義と認められるため、律法が我々をキリストに導く教育係です。

25 しかし、信仰は来たので、私たちはもう教育係の下にいません。

26 なぜなら、あなたがた全員、キリスト・イエスに対する信仰を通して、**神**の子どもだからです。

27 それで、キリストの中へ浸礼された一人一人は、キリストを着たからです。

28 ユダヤ人もギリシャ人もなく、奴隷も自由人もなく、男も女もありません。なぜなら、あなたがた全員は、キリスト・イエスにあって一つだからです。

29 そして、あなたがたがキリストのものであるなら、アブラハムの種であり、そして約束により、相続人です。

4

1 では、私は言います。相続人は子どもである間は、すべてのものの所有者であるが、奴隷との相違はなく、

2 父が決めた日まで、相続人は家令や執事の下にいるに過ぎません。**3** 同様に、私たちも子どもであった時、世の基本の考えの下では、奴隷状態でした。**4** しかし、時の満ちる時期が来て、**神**はご自分の**御子息**を遣わされ、女から生まれさせ、律法の下に生まれさせられました。**5** それは、養子として我らが身分を受け入れるため、律法の下にいる者たちを**神**は買い戻し、**6** そして、あなたがたは子であるがゆえに、「アバ①、**父**よ」と叫ぶご自身の**御子息**の**御霊**を、あなたがたの心の中へ**神**は遣わされたのです。**7** そのように、あなたがたはもう、奴隷ではなく子です。そして、子なら、キリストを通して**神**の相続人です。

8 しかし、あなたがたは**神**を本当に知らなかった時、あなたがたは、本来神々ではないものに仕えました。**9** しかし今、**神**を知ったので、いや、**神**により知られたので、どうしてもう一度向きを変え、再び弱く貧しい世の基本に改めて奴隷になりたいのですか。**10** あなたがたは、日々、月々、各季節、各年を守っています。**11** あなたがたのため私が労働したことが、無駄であったかと、あなたがたのことを、私は心配しています。

12 兄弟たちよ、私もあなたがたのようになったのであるから、私のようにあなたがたもなることを私は求めます。あなたがたは全く私を損ねることをしなかったが、**13** 最初、私は肉の弱さのため、あなたがたに福音を説いたことをあなたがたは知っています。**14** そして、私の肉にある私の試練を、あなたがたは軽蔑せず、また拒否もせず、それどころか、あなたがたは私を**神**の使いとして、またキリスト・イエスとして受け入れてくれました。**15** では、あなたがたのあの祝福はどこへ行ったのですか。私はあなたがたについて証します。もしできることなら、あなたがたが目をえぐり出し、私に差し出すと…。**16** それでは、あなたがたに真理を言うので、私

---

6 ① 当時のユダヤ人の言語であったアラム語で、「お父ちゃん」というような意味。

はあなたがたの敵になったのですか。

17 彼らはあなたがたを熱心に求めているが、善意からではありません。むしろ、あなたがたが彼らのために熱心になるよう、あなたがたを排除したいのです。

18 しかし、私があなたがたと共にいる時だけでなく、善意からいつも熱心に求められるのはよいことです。

19 私の子どもたちよ、キリストがあなたがたの中で形づくられるまで、私はまた産みの苦しみをしています。

20 しかし、私は今あなたがたの側にいて、私の声の調子を変えたいです。なぜなら、私はあなたがたのことで困っているからです。

21 私に言いなさい。律法の下にいたい者たちよ、律法を聞かないのですか。

22 なぜなら、アブラハムに二人の息子がいました。一人は女奴隷から、一人は自由の女から生まれた、と書いてあります。

23 しかし、女奴隷からの子は肉によって生まれたが、自由の女から生まれた子は、約束によって生まれました。

24 これらのことは、アレゴリー①です。なぜなら、この女たちは二つの契約です。一つはシナイ山から出て、奴隷の子を産みました。それはハガルです。

25 なぜなら、ハガルは、アラビアにあるシナイ山であり、今のエルサレムに相当します。エルサレムは母子共に奴隷です。

26 しかし、上にあるエルサレムは自由であり、私たち全員の母です。

27 なぜなら、書いてあります。「おう、不妊の女よ、子を産めない女よ、喜べ。産みの苦しみのない女よ、さあ、喜び叫べ。見放された女は、夫のいる女より、子が多くいるからである。」

28 それで兄弟たちよ、イサクのように、私たちも約束の子どもです。

29 しかし、その時、肉によって生まれた人が、**御霊**によって生まれた人を迫害したように、今も同様です。

30 しかし、聖書は何と言っていますか。「女奴隷とその子を追放せよ。なぜなら、女奴隷の子は

24

① 意味が隠された話。寓話でも、比喩でもなく、象徴的な長い話。

決して、自由の女の子とともに相続できない。」とあります。

31 それで兄弟たちよ、私たちは女奴隷の子どもではなく、自由の女の子どもです。

5

1 したがって、キリストが私たちを自由にしてくださいました。その自由の中にしっかり立ち、再び奴隷の首輪に繋がってはいけません。

2 見よ。私、パウロはあなたがたに言います。もしあなたがたは割礼を受ければ、キリストはあなたがたにとって無益となります。

3 そして、すべて割礼を受ける者に、私は再度証します。その者は律法全体を守る債務があります。

4 律法によって義と認められようとするあなたがたは、キリストからの繋がりが切れ、御恵みから離れ落ちたのです。

5 なぜなら、私たちは**御霊**を通し、信仰により、義の希望を熱望しています。

6 キリスト・イエスにあって、愛を通して働く信仰以外、割礼であろうが、不割礼であろうが、役に立たないからです。

7 あなたがたはよく走って来ました。誰があなたがたを妨害したか、すなわち、真理に従うなと。

8 この誘いは、あなたがたを召してくださる方からのものではありません。

9 わずかなパン種が、パン生地全体を発酵させます。

10 あなたがたが二心でないことを、**主**にあって私は確信しています。しかし、誰であれ、あなたがたをかき乱す者は、そのさばきを負います。

11 そして兄弟たちよ、もし私はまだ割礼を説いていたとしたら、なぜ私はまだ迫害にあうのですか。そうしていたなら、十字架のつまずきが取り除かれているのです。

12 あなたがたを騒がす者たちが、彼ら自身が自らを斬り捨てることとさえ、望んでいます。

13 なぜなら、兄弟たちよ、あなたがたは自由に召されたと言って、肉のための機会として自由を使うためでなく、愛を通して互いに仕えなさい。

14 なぜなら、律法全体は、一言で十分です。つまり、「あなたの隣人を、自分自身のように愛しなさい。」

15 しかし、もしあなたがたが互いに噛み付き合い、また、互いにむさぼれば、互いに滅ぼされないように気をつけなさい。

16 では、私は言います。**御霊**によって歩みなさい。そうすると、あなたがたは肉の欲望を満たすことは決してありません。

17 なぜなら、肉は**御霊**に敵対することを欲します。そし

て、**御霊**は肉に敵対することを欲します。この二つは互いに敵対しています。ですから、あなたがたはしたいことをすることができないのです。
18 しかし、もしあなたがたが**御霊**によって導かれているなら、あなたがたは律法の下にいません。
19 では、肉の行為は明白であり、これらです——姦淫、性的な罪、汚れ、好色、
20 偶像崇拝、魔術、敵意、争い、ねたみ、怒り、不正競争、分裂、分派を起こすこと、
21 羨望、殺人、酩酊、酒宴、そのようなことです。私は以前に言ったように、先に言います。そのようなことを行なっている者たちは、**神**の王国を相続することはありません。
22 しかし、**御霊**の実は、愛、喜び、平安、寛容、やさしさ、善良、忠実、
23 柔和、自制心です。これらに敵対する律法はありません。
24 そして、キリストの者たちは、肉とその情熱と欲望を共に十字架につけました。
25 私たちは、**御霊**によって生きているなら、**御霊**によって歩もうではありませんか。
26 私たちは、思い上がる者にならず、互いに争いを求めたり、互いに妬んだりしてはいけません。

6

1 兄弟たちよ、もし人がどんな悪行であれ捕えられたなら、霊的であるあなたがたは、あなた自身もまた、誘惑されないように気をつけながら、そういう人を柔和な霊で正しなさい。
2 互いの重荷を負い、そのようにしてキリストの律法を全うしなさい。
3 なぜなら、何でもない只の人でありながら、自分を偉いと思うなら、その人は自分自身をだましています。
4 しかし、各自、自らの働きを調べなさい。そうすれば、自慢することは他人に対してではなく、自らのことにだけです。
5 なぜなら、各自、自らの責任を負うからです。
6 また、御言葉を教えられる者は、すべてのよいものを、教えてくれる人と分かち合いなさい。
7 迷わされてはいけません。**神**は侮られることはありません。なぜなら、蒔けば、その者がそれを刈り入れます。
8 なぜなら、自らの肉のために蒔く者は、肉から腐敗物を刈り入れます。しかし、**御霊**のために蒔く者は、**御霊**から永遠の命を刈り入れます。
9 そして、よいことをするのに、絶望してはいけません。

なぜなら、失望しなければ、時期が来ると我々は刈り入れるからです。
10 したがって機会があれば、すべての者たちに、特に信仰の家の者たちには、善を行ないましょう。
11 私が自らの手で、どんな大きな字を書いたかをご覧なさい。
12 肉にあって外見を立派に見せたい者たちは、キリストの十字架のため、ただ迫害されないように、あなたがたに割礼を受けるのを強制しています。
13 なぜですか。割礼派の者たちでさえ、律法を守らないのに、あなたがたに割礼を受けさせようと求めるのは、彼らがあなたがたの肉を自慢したいためです。
14 しかし、私たちの**主**イエス・キリストの十字架以外、私は断じて自慢してはいけません。これにより、世は私に対して十字架に架け、私は世に対して十字架に架けられたのです。
15 なぜなら、キリスト・イエスにあっては、割礼も不割礼もなんら益はないが、益は新しい創造です。
16 そして、この原則によって歩むすべての人々の上に、また**神**のイスラエルの上に、平安と哀れみがありますように。
17 今後、誰も私を煩わせないでください。私は**主**イエスのしるしを身に負っているからです。
18 兄弟たちよ、私たちの**主**イエス・キリストの御恵みが、あなたがたの霊と共にありますように。アーメン。

エペソ人への手紙

1

1 **神**のご意志を通して、イエス・キリストの使徒であるパウロより。エペソにいる聖徒たちと、キリスト・イエスにあって忠実な人たちへ。

2 私たちの**父**なる**神**と**主**イエス・キリストより、あなたがたに恵みと平安がありますように。

3 **神**、すなわち私たちの**主**イエス・キリストの**父**に、祝福がありますように。天の処所で、私たちをすべての霊的な祝福で、キリストによって祝福して下さり、

4 私たちがキリストの御前に、愛により神聖で、非のうちどころのない者であるようにと、世の始まりの前に、**神**はキリストによって私たちをそのように選ばれました。

5 それは、**神**のご意志の喜びに従い、私たちをイエス・キリストによってご自身の子とすることを、あらかじめ定められ、

6 **主**は私たちを、愛する方にあって私たちを恵まれた者とあらかじめ定められたのは、**主**の恵みの栄光の賞賛のためです。

7 **主**により、**主**の恵みの豊かさに応じ、**主**の血を通して私たちは贖いを、すなわち悪行の赦しを得ているのです。

8 **主**はすべての知恵と知力によって、その恵みを私たちのために溢れさせ、

9 自ら意図された喜びにより、ご自身のご意志の奥義を我々に明かになさいました。

10 それは、時が満ちたことによる摂理の時代に、キリストにあるすべてのもの、すなわち天にあるものを、また地にあるものを、**主**はキリストのうちにまとめて集められるためです。

11 すべてのことを、ご自身の定めにより行なう方のご計画のご意思により、あらかじめ定められた私たちも、相続の一つを得ました。

12 それは、最初にキリストを信頼した私たちが、キリストの栄光の誉れとなるためです。

13 真理の御言葉、すなわちあなたがたの救いの福音を聞き、あなたがたもキリストを信頼しました。あなたがたもキリストを信じたので、約束の**聖霊**によって証印を押されました。

14 購入されたものが買い戻されるまで、**聖霊**は私たちの相続の保証です。それは、**主**の栄光の誉れのためです。

15 したがって、**主**イエスに対するあなたがたの信仰と、すべての聖徒たちに対してあなたがたの愛を聞いた私も、

16 祈るたび、あなたがたに触れ、あなたがたのために感謝することを、止めたりしません。**17** それは、私たちの**主**イエス・キリストの**神**、すなわち栄光の**父**はあなたがたに、**神**の知識により、知恵と啓示の心を与えて下さり、**18** **神**の召されることの希望は何かと知るため、また聖徒たちにある**神**の相続の栄光の富は何であるかを知るため、あなたがたの心の目は明るくされ、**19** また、私たち信じる者に対して、いかに**神**の力が卓越であるかを、**神**の偉大な力ある働きにより、あなたがたが知るようになるためです。**20** **神**はキリストを死人たちの中から復活させた時、その力をキリストのうちに行なわれ、そしてキリストを天の処所でご自分の右に座らせられました。**21** すべての君主、権力者、実力者、支配者、および、この時代だけではなく、これから来る時代に、名前をつけて呼ばれるすべての名の、はるか上にキリストの御名を置かれました。**22** そして、**神**はすべてのものをキリストの足の下に置かれ、またすべてのものの頭であるキリストを、教会に与えられました。**23** 教会とは、キリストの体であり、すべてを満たす方の満ちているそのものです。

2

1 そして、悪行と罪によって死んでいた①が、**神**によって生かされたあなたがたよ。**2** かつて、この世の流れに従い、虚の権威の支配者、すなわち、不従順の子たちの中で今も働く霊に従い、あなたがたは歩んでいました。**3** 彼らの中で私たちも以前は、私たちの肉の欲望によって行ない、肉と知力の欲を満たし、他の者たちと同様、当然、怒りの子どもたちでした。**4** しかし、哀れみに富む**神**は、私たちを愛してくださったご自身の偉大な愛ゆえに、**5** 私たちは悪行の中で死んでいた時にも、**神**は私たちをキリストと共に生かし（あなたがたが救われたのは、恵みによる）、**6** 私たちを共に復活させ、キリスト・イエスにあって天の諸処に座らせてくださいました。**7** これは、キリスト・イエスにおいて、私たち

---

1 ① 斜字の言葉は原語にはなく、欽定訳で付け加えられた。

に向けた、神の思いやりにより、恵みの卓越した豊かさを、これから来る各時代に、示すためでした。

8 なぜなら、恵みにより、信仰を通してあなたがたは救われたのです。そして、それはあなたがた自身から出たのではありません。これは神の賜物です。

9 行ないから出たのではありません。誰も自慢しないためです。

10 私たちは神の作品なのですから、神が事前に用意なさった、よい業の中を歩むよう、キリスト・イエスの中に創造されたのです。

11 従って、このことを忘れてはいけません。すなわち、肉にあって、かつては異邦人であったあなたがたは、手で肉に割礼をした者に無割礼の者と呼ばれています。

12 当時のあなたがたは、キリストなしでイスラエルの国家から遠ざけられ、約束の契約には無縁であり、この世では希望なく、そして神もない人たちでした。

13 しかし、かつて、キリスト・イエスにあって遠く離れていたあなたがたは、キリストの血によって、今は近い者とされました。

14 二つを一体にし、中央の分離壁を破壊したキリストこそが、私たちの平和だからです。

15 キリストはご自分の肉により、敵対するもの、すなわち、いろいろな法令を含む戒めの律法を破棄されたのは、この二つから一人の新しい人を彼ご自身で創り出し、平和を創り出すためです。

16 そして、十字架を通して一体となった両者を、神に対して和解をさせ、それによって敵対するものを死滅させるためでした。

17 そして、キリストは来られ、遠ざけられていたあなたがたに、そして近くにいた人たちに平和を説かれました。

18 そのゆえ、キリストを通して私たち両者とも、一人の御霊によって、父のみもとに行くという到達があります。

19 それで、今あなたがたはもう見知らぬ者たち、また外国人ではなく、聖徒たちと同国人であり、神の家の者です。

20 その家とは、使徒たちと預言者たちの土台の上に建てられ、イエス・キリストご自身はその基準となるかなめ石です。

21 キリストにあって合体させられた建物全体は、主にあって聖なる神殿に成長します。

22 このキリストを通してあなたがたも神の住まわれる所として御霊にあって共に建てられています。

3

1 そのため、あなたがた異邦人のため、キリスト・

イエスの囚人である、私パウロは、
2 私に与えられた、あなたがたのための、**神**の恵みの摂理について、あなたがたが、聞いたことがきっとあると思いますが、
3 つまり、**神**は啓示によって私にその奥義を教えられました。（私は以前、手短に書いた通り、
4 もしあなたがたはそれを読めば、キリストの奥義に関して私の知識のほどが分かるはずです。）
5 この奥義は、今、**御霊**によってご自身の聖なる使徒たちと預言者たちに啓示されたようには、他の時代では人の子たちに啓示されませんでした。
6 これは、異邦人たちが福音を通して、同様に相続者となり、一体となり、キリストにより、**神**の約束を共に受ける者たちとなるためです。
7 私がその福音の奉仕者になったのは、**神**の力の働きに従い、私に与えられた**神**の恵みの賜物によります。
8 これは、異邦人たちの間では、探し出すことのできないキリストの富を説くように、全聖徒の中で最も小さい者より、さらに小さい私に、この恵みは与えられました。
9 また、イエス・キリストを通して万物を創造された**神**の内に、各時代から隠された奥義の共有、すべての人々に明らかにするためです。
10 それは、**神**の変幻自在な智恵を、教会を通して天の諸所にいる権威ある者たちにと権力者たちに、今、分からせるためです。
11 これは、私たちの**主**キリスト・イエスにあって、**神**が各時代に関するご意志により行われました。
12 **主**に対する信仰を通し、私たちは**主**にあって勇敢、そして確信による到達があります。
13 したがって、あなたがたのための、私の試練に絶望しないことを願います。それはあなたがたの栄光なのです。
14 それがため、私たちの**主**イエス・キリストの**父**に私はひざまずきます。
15 （全家族は、天にいる者も地にいる者も、キリストから名を付けられています。）
16 これは、ご自分の栄光の豊かさによって、ご自身の**御霊**を通して、内にいる自分を、強靭さを、あなたがたに**神**が与えられる願いです。
17 それは、信仰を通して、キリストがあなたがたの心にお住みになるためです。そして、あなたがたは愛に根ざして、しっかりと立たせられ、
18 聖徒たち全員と共に、その愛の幅、長さ、深さ、高さ

を知るためです。

19 また、**神**の満たしのすべてで満たされるため、人知を超えるキリストの愛を知るためです。

20 ついで、私たちの内で働いている力によって、私たちの願うこと、また考えることをはるかに超えて、すべてができるその方に、

21 教会の内に、キリスト・イエスにより、全世代にわたり、永遠から永遠に、**神**に栄光がありますように。アーメン。

4

1 従って、**主**の囚人である私は、あなたがたが召された召命にふさわしく歩むことを懇願します。

2 すべてに謙虚さと無私の心と、忍耐をもち、互いに愛をもって堪え忍び、

3 平和の絆によって**御霊**の一致を守ることを懇願します。

4 体は一つであり、**御霊**はお一人であられます。あなたがたの召命の唯一の希望で召されたのと同様です。

5 **主**はお一人、信仰は一つ、浸礼は一つ、

6 すべての者の**父**であられる**神**は唯一であられ、すべての者の上におられ、そして全員を貫き、またあなたがた全員の内におられます。

7 しかし、キリストの賜物の秤により、御恵みは私たち一人一人に与えられました。

8 そのため、**神**は言われます。「彼は上に高く昇られた時、捕囚を捕囚人とし、人々に賜物を与えられました。」

9 それで、「彼は昇られた。」という意味は、キリストはまず地の低い所に降りられた、という意味ではありませんか。

10 降りて来られたこの方こそ、すべてを満たすために、すべての天のはるか上に上られた方であられます。

11 そして、キリストは自ら、ある者たちは使徒、①ある者たちは預言者、ある者たちは伝道師、②ある者たちは牧師、あるいは教師としてくださいました。

12 それは聖徒たちを、奉仕のために完全装備して、キリストの体を築き上げるため、

13 **神の御子息**の信仰と、**御子息**に関する知識に

---

11 ① 初代教会の宣教師。
② 大衆伝道と個人伝道の専門家。自分の教会を持たず、各地を回り、地区教会に伝道とリバイバルを説く。

一体となり、完全な者に、キリストの満ちている秤の水準に私たち全員が到達するまでです。

14 それは人々のずるさにより、偽りのごまかしに至るまで、風波に吹き飛ばされ、どんな教理の風にもと連れ去られる子どもでは、私たちはもうありません。

15 それどころか、愛によって真理を話し、すべてのことにおいて私たちは成長し、頭であられるキリストに達することができます。

16 キリストよりのこの体全体は、各関節の働きにより、結合され、編み込まれ、各部はそれぞれ受け持つ働きを能率的に行なうことにより、体を成長させ、自ら愛により築き建てられます。

17 従って、私はこれを言い、**主**によって証します。あなたがたは、他の異邦人が彼らの価値のない知力によって歩むように、もう歩んではいけません。

18 彼らの理解力は暗黒で、彼らの内にある無知のため、また、盲目の心のため、**神**の命から遠ざけられ、

19 彼らは貪欲に、あらゆる不潔なことを行なうため、感覚が麻痺し、彼ら自らを肉欲に引き渡しました。

20 しかし、あなたがたはそうキリストを学んだわけではありません。

21 もし、あなたがたが、本当にイエスの話を聞き、イエスに教わったのなら、真理はイエスにあるのであるから、

22 あなたがたは、以前のあなたがたの行為に関することであるが、偽りの肉欲のために腐りはてる、あの古い男を脱ぎ捨てなさい。

23 あなたがたは自らの知力の霊で更新され、

24 真の義と聖さによって、**神**からつくられた新しい人をあなたがたは着るためです。

25 従って、虚偽を脱ぎ捨て、私たちは互いの一部分であるから、「互いの隣人に真理を言いなさい。」

26 「怒っても、罪を犯してはいけない。」怒りをそのままにして、太陽を沈ませてはいけません。

27 また、悪魔に場所を与えてはいけません。

28 盗みをしていた者はもう盗みをやめ、むしろ労働をし、必要とする人に何か与えることができるように、手を使い正しい働きをしなさい。

29 あなたがたの口から腐った言葉を一言も出さないようにしなさい。むしろ、聞き手に恵みを上げられるように、必要な時、徳を高めるよい言葉だけ言いなさい。

30 また、贖いの日まで封印を押された方であられる、**神**の**聖霊**を悲しませてはいけません。

31 すべての苦々しさ、憤り、怒り、大騒ぎ、悪口は、すべての悪意と共に、あなたがたから捨てなさい。**32** そして、あなたがたも互いに親切な者、あわれみ深い者になり、そして、**神**がキリストにより、あなたがたを赦してくださったように、互いに赦し合いなさい。

5

1 したがって、愛されている子どもとして、**神**をなぞる者になりなさい。**2** そして、キリストは私たちを愛され、私たちのため、**神**への良い香の捧げ物とし、いけにえとし、ご自身を捧げられたように、愛の内を歩みなさい。**3** しかし、聖徒たちとしてふさわしいように、性的な罪、すべての汚い行為、むさぼりは、あなたがたの間で口にすることとさえ、いけません。**4** また、卑わいなこと、馬鹿話し、汚い冗談、これらはそぐわないことは避け、むしろ感謝をしなさい。**5** なぜなら、性的な罪を犯した者、汚い者、偶像崇拝者であるむさぼる者は、誰もキリストと**神**の王国に相続するものはないと、あなたがたは知っているからです。**6** あなたがたは空虚な言葉で、何者にも騙されてはいけません。**神**の怒りは不従順な子たちの上に、これらのことが原因で来るからです。**7** それで、彼らと共に受ける者となってはいけません。**8** あなたがたは以前、暗やみであったが、今は**主**の内にある光なのだからです。光の子たちとして歩みなさい。**9** (**御霊**の実はすべての善いもの、正義、真理の内にあるからです。) **10** **主**にとって、受け入れることは、何であるか見つけ出しなさい。**11** そして、暗やみの実を結ばない行為を共にせず、むしろ、その行為を弾劾しなさい。**12** 彼らが密かに犯すことは、口にすることとさえ恥ずかしいことだからです。**13** しかし、すべて弾劾されるものは光により明確にされます。なぜなら、明確にするものは何であれ光だからです。**14** したがって、**神**は言われます。「起きよ、寝ている者。そして、死人たちの中から目覚め立て。すると、キリストはあなたを照らされる。」**15** それで、あなたがたは愚者としてではなく、賢者として、正確に歩み、**16** 時間を正しく使いなさい。今は邪悪の日々だからです。**17** それで、愚者でなく、**主**のご意志は何であるかを理解

しなさい。
18 そして、葡萄液に酔ってはいけません。放蕩はその中にあります。むしろ、**御霊**で満たされなさい。
19 そして、詩と賛美と霊的な歌で互いに語り合い、心の中で**主**に向かい歌い、誉め歌い、
20 いつも、私たちの**主**イエス・キリストの御名によって、すべてのものを、**父**なる**神**に感謝しなさい。
21 キリストに対する恐れの内にいて、互いに従いなさい。
22 妻たちよ、**主**に従うように、あなたがた自身の夫に従いなさい。
23 なぜなら、キリストは教会の頭であられ、自らはその体の救い主でもあられるように、夫は妻の頭だからです。
24 それで、教会がキリストに従うように、あらゆることにおいて、妻たちも自らの夫に従いなさい。
25 夫たちよ、キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を捧げられたように、あなたがたも、妻たちを愛しなさい。
26 それは御言葉により、沐浴することによって、キリストが教会を聖別し、清められるためであり、
27 栄光ある教会として、ご自分に贈るためです。しみ、しわなどの類がなく、かえって聖なる、無欠な教会になるためです。
28 そのように、夫たちは自らの身を愛するように、自らの妻を愛すべきです。自分の妻を愛する者は、自らを愛しています。
29 なぜなら、自らの身を憎む者は未だかつてなく、それどころか、これを育み、大切にします。正に**主**が教会に対してお行ないになるのと同じです。
30 なぜなら、私たちはキリストの体の一部であり、あの方の肉と骨からできているのです。
31 「それがため、男はその父と母を離れ、その妻と結ばれ、その二人は一つの体となる。」
32 この奥義は大きいです。しかし、私はキリストと教会のことを指して言っています。
33 ともかく、あなたがたも一人一人、自らの妻を自分自身のように愛し、妻も自分自身の夫に畏敬の念を持ちなさい。

6

1 子どもたちよ、**主**にあって自分の親たちに従いなさい。それは正しいことだからです。
2 「あなたの父と母に敬意をはらいなさい。」とは、約束を伴う最初の戒めです。
3 「それは、あなたが幸福であり、地上で長生きするためである。」と。

4 そして、父親であるあなたがたよ、あなたがたの子どもを怒らせてはいけません。むしろ、**主**のしつけと諭しで育てなさい。
5 僕たちよ、恐れおののきをもって、心から真摯に、キリストに対するように、あなたがたの肉からなる主人たちに従いなさい。
6 見た目だけの奉仕ではなく、人を喜ばすようではなく、キリストの僕たちとして、心底より**神**のご意志を行ない、
7 人間にするようにではなく、善意をもって進んで**主**に奉仕をしなさい。
8 それは、僕であれ、自由人であれ、人はどんなよい行為をしても、**主**から同じものを受けるとは知ってのとおりです。
9 そして、主人たちよ。僕たちに同じことをし、脅すのを止めなさい。あなたがた自身の**主**も天におられ、偏見のない方と、知ってのとおりです。
10 最後に、私の兄弟たちよ、**主**と**主**の強い力により強められなさい。
11 悪魔のずる賢さに立ち向かうことができるように、**神**の全武具を身につけなさい。
12 なぜなら、私たちの格闘は血と肉に対してではなく、数々の統治者、数々の権威、この時代の暗やみの支配者たち、天の所々にいるいろいろな悪霊たちに対してです。
13 そのため、**神**の全武具を手に取りなさい。悪の日に立ち向かうことができるように、またすべてのことを実行し、立つことができるためです。
14 したがって、立って、腰に真理の革帯を締め、義の胸当てを着け、
15 足に平和の福音の備えを履き、
16 すべての上、あの悪い者が放つ火矢を消すことができる信仰の大盾を手に取りなさい。
17 そして、救いのかぶと、そして**神**の御言葉である**御霊**の剣を受け取りなさい。
18 常に、**御霊**にあって、全祈り、全願いで祈りなさい。それが目的で、すべての聖徒たちのために、すべての忍耐力と願いによって目を覚ましていなさい。
19 また、福音の奥義を伝えるように、私は勇敢に口を開くのに、言葉が私に与えられるように、私のために祈りなさい。
20 そして、福音を勇敢に説くことができるため、祈ってください。私はそう説くべきです。(福音のために、私は鎖で繋がれている大使です。)
21 さて、私に関すること、そして私がどうしているかを、あなたがたも知ることができるように、愛する兄弟、**主**に

あって忠実な奉仕者であるテキコが、あなたがたにすべてを明らかにします。

22 あなたがたは私たちのことを知り、そして彼はあなたがたの心を安心させることができるよう、それが彼をあなたがたに遣わした目的です。

23 **父**なる**神**、そして**主**イエス・キリストから、兄弟たちに平安、また信仰を伴う愛がありますように。

24 私たちの**主**イエス・キリストを、朽ちない愛するすべての人の上に、恵みがありますように。アーメン。

ピリピ人への手紙

1

1 イエス・キリストの僕であるパウロとテモテ、ピリピにいるキリスト・イエスにあって、監督、執事たちと共にいる、すべての聖徒たちへ。

2 私たちの**父**なる**神**と**主**イエス・キリストより、あなたがたに恵みと平安がありますように。

3 あなたがたとのあらゆる思い出に、私は、私の**神**に感謝し、

4 いつも、あなたがた全員のことを祈るたびに、私は喜びをもって祈っています。

5 それは、最初の日から今に至るまで、福音に関してあなたがたと、親交があるからです。

6 あなたがたの内に、よい働きを始められた御方が、キリスト・イエスの日に至るまで、このよい働きを果たされると私は確信しています。

7 それと同様、あなたがたについて、こう考えるのは正しいのです。なぜなら、私はあなたがたを心の中に抱いているのですから、私の鎖につながる時、そして、この福音を守り、確認する時、あなたがた皆は、私の恵みを分かち合っているからです。

8 私は、イエス・キリストの心によって、あなたがた全員をいかに熱心に求めているかを、私の証人は**神**であられます。

9 そして、私はこう祈ります。すなわち、あなたがたの愛は、知識、そしてすべてを見分ける力によって、さらに、ますますあふれ出ますように。

10 それは、キリストの日まで、あなたがたは真摯で、非のない者になれるよう、優れているものを見分けることができるよう、あなたがた自身で試すためです。

11 **神**の栄光と誉れのために、イエス・キリストを通しての義の実であなたがたが満たされたからです。

12 さて、兄弟たちよ、私に起こったことは、かえって福音の推進力になったことを知ってほしい。

13 官邸全体に、そして他のすべての人にも、私の鎖は、キリストにあることと知れ渡りました。

14 そして、**主**にある兄弟たちのほとんどは、私の鎖によって自信をもって、さらに堂々と、恐れず御言葉を説いています。

15 ある者たちは、妬みと反目からキリストを説いています。また、ある者たちは善意から説いています。

16 前者は、己の野心からキリストを説いており、真の心なく、私の鎖の苦痛を増やそうと考えています。

17 後者は、私が福音の防御を任命されたと知り、愛からキリストを説いています。**18** しかし、それが何でしょう。どちらの道も、口実であろうが、真実であろうが、キリストは説かれています。そして、私はこのことを喜び、またこれからも喜びます。**19** なぜなら、あなたがたの祈りとイエス・キリストの**御霊**が下さるものを通して、これが、救い出されることになると、私は知っているからです。**20** これは、切なる期待と希望により、すなわち、なんら恥じることなく、勇敢に、常に、今も、キリストが私の体の中で、偉大になられるためです。私の生死に関わりありません。**21** 私にとって、生きることはキリストであり、死ぬこととは利益だからです。**22** しかし、もし私が、肉体により生きるなら、それは私の労働が実となります。それでは、どちらを選ぶべきか、私には分かりません。**23** しかし、私はこの二つ、生と死に押し潰されそうです。私が望むことは、世を去り、キリストと共になることです。その方がはるかによいのです。**24** しかし、私が肉体に留まる方が、あなたがたにはより必要です。**25** そして、私は留まって、引き続き、あなたがたの信仰の推進と喜びを共にすることは分かっています。私はこのことを確信しています。**26** これは、あなたがたのところへ、私が今度現れることで、私の中におられるキリスト・イエスにより、あなたがたの誇りが満ち溢れるためです。**27** ただ、キリストの福音にふさわしく市民として生活しなさい。そうすれば、私が行って、あなたがたに会っても、行かなくても、一つの霊にしっかり立ち、心を一つにして福音の信仰のため共に戦う、あなたがたのことを聞くでしょう。**28** (そして、敵対する者たちのいかなるものにも、恐れてはいけません。) それは①敵対する者にとっては破滅の証拠であるが、あなたがたにとっては救い、つまり、**神**からの救いの証拠です。**29** なぜなら、キリストのためにあなたがたに与えられていることは、キリストを信じるだけでは

28
① 恐れないこと。

なく、キリストのために苦しむことです。 **30** あなたがたが私の中に見て、また今、聞いている苦闘が同じようにあなたがたに与えられているのです。

2

1 従って、キリストに少しでも励みがあるなら、少しでも愛の慰めがあるなら、少しでも**御霊**の交流、少しでも心と哀れみがあるなら、 **2** あなたがたは同じ考え方と同じ愛をもって、同じ気持ちと、一致した心で、私の喜びで満たされなさい。 **3** 何事も利己的な野望や、尊大によらず、かえって謙虚に、他の人は自分よりも、優れていると思いなさい。 **4** 各自、自分のことだけでなく、他の人のことにも心を配りなさい。 **5** ですから、キリスト・イエスも持たれることの考え方を、あなたがたも持ちなさい。 **6** イエスは、**神**の本性であられるのに、**神**と平等であられることを固守すべきとは思われず、 **7** イエスはご自分を空しくされ、僕の本性を受け入れられ、人間の姿になられました。 **8** そして、外観は人間として現れ、自らへりくだり、死に至るまで、つまり十字架の死に至るまでも、従順になられました。 **9** ゆえに、**神**もまたイエスを非常に高い地位につけられ、イエスにすべての名の上の御名をお与えになりました。 **10** それは、イエスの御名において、天上にいる者、地上にいる者、地下にいる者①、すべての者がひざまずくためです。 **11** また、すべての舌は、**父**なる**神**の栄光に至り、イエス・キリストは**主**であられると明言するためです。 **12** ですから、私の愛する人たちよ、私がいる時だけではなく、今はなおさら、私の不在の時こそ、あなたがたはいつも聞き従ってきたように、最大限に、恐れおののき、あなた自身の救いを実行しなさい。 **13** なぜなら、**神**の善なる喜びを望ませ、実行させるように、働きかける方は、あなたがたの中にいる、**神**であられるからです。

---

10 ① 「Underworld」、かかわりを持った悪霊と一緒に地下にいる者。

14 すべて、不平不満や言い争いをせずに行ないなさい。**15** それは、歪曲し、邪悪なこの世代の中で、あなたがたは傷がなく、非の打ち所のない、**神**の純粋な子どもとなるためです。この邪悪な者たちの中で、あなたがたは世の光として輝いているのです。**16** 私の走りは無駄でなかったし、また無駄な働きもしなかったと、キリストの日に私が誇れるように、命の御言葉をしっかり堅持しなさい。**17** 万が一、私があなたがたの信仰の供え物と奉仕のために捧げられたとしても、私は幸せであり、あなたがた全員と共に喜びます。**18** この同じ理由で、あなたがたも幸せになり、そして、私と共に喜びなさい。**19** それで、あなたがたの近況を知れば、私も勇気づけられるから、私はすぐあなたがたのところに、テモテを遣わします。そうなるよう、**主**イエスにあって望んでいます。**20** なぜなら、あなたがたの近況を、心底心配してくれる、彼と同じ心を持つ人は、私にはいません。**21** なぜなら、人は皆、自分自身のことを求め、キリスト・イエスのことは求めていないからです。**22** しかし、あなたがたは証明されたテモテの性格を知っています。つまり、テモテは父に仕える息子として、私と共に福音に仕えました。**23** ゆえに、私の身辺の成り行きを見極めしだい、すぐにテモテを遣わそうと望んでいます。**24** それで、私自身も近いうちに行けるものと、**主**を信頼しています。**25** しかし、私の兄弟であり、共に働く者であり、戦友であり、また、あなたがたの使徒であり、私の不足を補ってくれたエパフロデトを、あなたがたのところに遣わすのが必要があると思いました。**26** なぜなら、エパフロデトはあなたがた全員を深く慕っていたからです。また、あなたがたに病気だと伝わったので、エパフロデトがとても悩んでいました。**27** というのは、エパフロデトは、実に死ぬほどの病気になりましたが、**神**は彼を哀れんでくださいました。さらに、**神**はエパフロデトだけではなく、私にも悲しみの上に悲しみを重ねないよう、私をも哀れんでくださいました。**28** したがって、私はエパフロデトをとても切にあなたがたに遣わしました。あなたがたは再会を喜び、そして私の悲しみを和らげるためです。**29** ですから、**主**にあって溢れる喜びを持って、エパフロデ

トを受け入れなさい。そして、こういう人々を尊敬しなさい。
30 なぜなら、私への、あなたがたの奉仕が足りないところを補うため、エパフロデトは己の命を考えず、キリストの働きのため、死の直前に至ったのです。

3

1 最後に、私の兄弟たちよ、**主**にあって喜びなさい。同じことを書きますが、私には煩わしくなく、あなたがたにとっては安全のためです。
2 犬どもには気をつけなさい。悪をなす者たちにも気をつけなさい。切り離しをする者たちにも気をつけなさい。
3 なぜなら、**御霊**によって**神**を礼拝し、キリスト・イエスのことを誇りとし、肉に信頼を置かない私たちこそが、割礼者なのです。
4 にも関わらず、私も肉に信頼を置くことができます。誰か、肉に信頼を置くと考える人が他にいるなら、私はなおさらのことです。
5 私は八日目に割礼を受け、イスラエルの国民であり、ベンヤミン族であり、ヘブル人らしいヘブル人であり、律法に関してはパリサイ人であり、
6 熱心なことと言えば、教会を迫害し、律法にある義について言えば、非の打ち所のない者でした。
7 しかし、私にとって利益であったものが、キリストのためには、損失であると私は思うに至りました。
8 しかし、それゆえ、私の**主**キリスト・イエスを知るということは、比べようがないすばらしさのゆえに、すべてのものは損失であると、私は思うに至っています。私はキリストのためにはすべてのものを損失とし、キリストを得るためには、それらを廃棄物であると思うに至っています。
9 そして、律法による自己本位の義を持たず、キリストへの信仰に基づき、信仰を通しての**神**からの義を持ち、キリストの内に私が見いだされるのです。
10 それは、私がキリストの死に同化され、その方の復活の力と苦しみを共有することを理解するためです。
11 それは、私がどうしても、死者たちからの復活を達成したいのです。
12 私はもうそれを達成しているとか、または、完璧になったということではないのです。かえって、私はキリストに捕らえられた者なので、その捕らえられた目的となるものを得るため、私は追い続けています。
13 兄弟たちよ、すでに追いついたとは、自ら結論を出していません。しかし、私がしようとしていることは一つです。つまり、後にあるものを忘れ、前にあるものに手を伸

ばし、

14 キリスト・イエスにある**神**の高い召命の賞のため、目的地を目指し、前進しています。

15 ゆえに、成熟している私たちは、このように考えましょう。そして、もし何か違う考えを、あなたがたがもつなら、**神**はそれを明らかにしてくださいます。

16 ともかく、この同じ原則により、すでに達した所まで、同じことを考えて歩みましょう。

17 兄弟たちよ、共に私のことを模範とする人になりなさい。そして、私たちを模範として、同じように歩む人たちに心を留めなさい。

18 なぜなら、私が幾度も話した人々のことを、今も涙して書いているのですが、大勢の人々が、キリストの十字架の敵として歩んでいるのです。

19 この者たちの行き着くところは破滅であり、彼らの**神**は彼らの腹①であり、彼らの栄光は恥の中にあり、彼らは世俗的に考えます。

20 しかし、私たちの国籍は天国にあります。そこから私たちは**救い主**、すなわち**主**イエス・キリストを渇望しているのです。

21 **主**は何事もご自分に従わせることができる働きにより、ご自分の栄光の体の形になるように、私たちの粗末な体を変身させてくださいます。

4

1 ですから、私の敬愛する心を慕う兄弟たち、私の喜びであり、冠でもある兄弟たちよ。このように**主**にあってしっかり立ちなさい。愛しい人たちよ。

2 **主**にあって同じ考えを、私はユウオデヤに勧め、またスントケにも勧めます。

3 そして、真の仲間よ、この婦人たち、ユウオデヤとスントケを助けてくれるよう、あなたにもお願いします。この婦人たちは、命の書に名前が記載されている、クレメンスや、他の私の同労者たちと福音のため、私と共に、働いたのです。

4 いつも**主**にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。

5 あなたがたの寛容をすべての人に知らせなさい。**主**はすぐ側におられます。

6 何も心配せず、感謝をもって、すべてのことについて祈りと願いで、あなたがたの求めている

---

19 ① 当時の人には、腹は食欲、欲望の象徴であった。

ことを、**神**に知っていただきなさい。

7 そして、人智を超える**神**の平安が、キリスト・イエスにあって、あなたがたの心と思いを守ります。

8 最後に、兄弟たちよ、すべての真実なこと、すべての威厳のあること、すべての正しいこと、すべての清いこと、すべての愛すべきこと、すべての誉められるべきこと、何であれ徳があったら、何らかの賞賛できるなら、これらのことを深く考えなさい。

9 私をとおして学んだこと、受け入れたこと、聞いたこと、見たことを実行しなさい。そして、平安の**神**はあなたがたと共におられます。

10 しかし、私が**主**にあって大いに喜んだのは、今ついにあなたがたの私への心配が、再び、今すでに実ったからです。心配してくれたのですが、あなたがたには機会がありませんでした。

11 私は困窮しているから、言っているわけではありません。私はいかなる状態であっても、満足することを学んだからです。

12 私は辱めも豊かさも知っています。どんな所でも、またどんな事にも、満腹と空腹、繁栄と衰退を身につけました。

13 私を強めてくださるキリストにより、私は何でもできます。

14 にも関わらず、あなたがたは私の苦難を良くぞ共にしてくれました。

15 さて、福音の宣教の開始、私がマケドニアから出かけた時、あなたがた以外、どの教会も、私と物のやり取りに関しては協力してくれなかったことを、あなたがたピリピ人も知っています。

16 というのは、テサロニケにいた私にさえ、一再ならず、私の窮乏のため援助を送ってくれました。

17 私が求めているのは贈り物ではなく、あなたがたの帳簿の溢れる実りです。

18 それで、あなたがたからのものを、エパフロデトから受け取り、私は、何でもあり余るほど持っていて、満ちています。これらは**神**には、香ばしい香りで、ふさわしい捧げ物であり、好ましいものです。

19 そして、キリスト・イエスにより、栄光にある**神**の豊かさをもって、私の**神**は、あなたがたの必要をすべて満たしてくださいます。

20 それでは、私たちの**父**なる**神**に、栄光が世々永遠にありますように。アーメン。

21 キリスト・イエスにある、すべての聖徒たちに挨拶してください。私と共にいる兄弟たちも、あなたがたに挨拶

を送りますおく。

22 すべての聖徒たちはあなたがたに挨拶を送ります。特に、カイザル家所属の人たちから、挨拶を送ります。

23 私たちの**主**イエス・キリストの御恵みがあなたがた全員と共にありますように、アーメン。

コロサイ人への手紙

1

1 **神**のご意志を通して、イエス・キリストの使徒であるパウロ、そして我らの兄弟テモテより、
2 コロサイにいる聖徒たち、すなわち、キリストにあって忠実な兄弟たちへ。私たちの**父**なる**神**と**主**イエス・キリストより、あなたがたに恵みと平安がありますように。
3 私たちの**主**イエス・キリストの**父**なる**神**に、私たちは感謝し、いつもあなたがたのために祈っています。
4 それは、キリスト・イエスへの、あなたがたの信仰と、すべての聖徒たちへのあなたがたの愛を聞いた時からです。
5 それは、あなたがたのために天に備えられている希望のためです。あなたがたは以前、福音の真理の御言葉の中にこの希望を聞いています。
6 その福音は、全世界に達したように、あなたがたに達しており、あなたがたが真理によって**神**の御恵みを聞いて理解したあの日以来、あなたがたの間に、そして実が結ばれたように、全世界で福音は実を結びつつあります。
7 それは、私たちの愛する僕仲間であり、あなたがたのための忠実な、キリストの奉仕者であるエパフラスからも、あなたがたも学んだとおりです。
8 エパフラスもあなたがたの愛を、**御霊**によって私たちに伝えました。
9 こういう理由で、このことを聞いた日以来、私たちもあなたがたのため、すべての知恵と霊的な理解により、あなたがたが**神**のご意志の考えに満たされるように、祈り、また願い続け、止めたりしません。
10 また、完全に**主**に喜んで頂くため、あなたがたは**主**にふさわしく歩み、すべてのよい行ないで、あなたがたが実を結び、**神**の知識に関して、あなたがたが成長することを願っています。
11 あなたがたは、**神**の栄光ある力により、喜びをもってすべての忍耐と耐えしのびのため、すべての力によって強められ、
12 光の中にいる聖徒たちの相続を、共に受け入れる資格あるものと、私たちをしてくださった**御父**に、感謝するように祈っています。
13 **御父**は私たちを暗黒の力から救い出し、ご自分の愛の**御子息**の王国に移してくださったのです。
14 この**御子息**の血を通して私たちには贖いがあります。すなわち、罪の赦しです。
15 **御子息**は目に見えない**神**の御姿であられ、全創造の長

子であられます。

16 なぜなら、天にあるものも、地にあるものも、見えるものも、目に見えないものも、王座も政府も、支配者も権力も、すべては**御子息**によって造られました。すべてのものは**御子息**を通し、また**御子息**のために造られました。

17 そして、**御子息**はすべてのものに先立って存在され、すべてのものは**御子息**の手中に存在しています。

18 また、始まりであり、死人たちの中から生まれた長子であられる**御子息**は、体の頭、すなわち教会の頭です。それは、**御子息**がすべてのことにおいて第一者となられるためでした。

19 すべて満ちているものが、**御子息**の中に宿ることが、**御父**を喜ばせたからです。

20 そして、**御子息**を通し、地上であろうと天であろうと、ご自分が万物を和解させるため、**御子息**の十字架の血を通して平和を造られました。

21 そして、自らの悪行により、以前は遠ざけられ、心中、敵であったあなたがたを、**御子息**は今、和解されました。

22 それは、ご自分の肉の体で死を通し、あなたがたを聖なる者、非難されるところのない、責めのない者として**御子息**の御前に立たせるためです。

23 ただし、あなたがたが、この信仰に引き続き踏み留まり、しっかりと基礎に立ち、耳にした福音の希望から、もし移ることがなければです。その福音とは、天下のすべての者に説かれ、私パウロが奉仕者となっている福音です。

24 今、あなたがたのため、私は自分の苦しみを喜び、キリストの体である教会のため、キリストの苦悩に欠けているものを、私の肉によって私は満たします。

25 **神**の御言葉を成就するため、あなたがたのため、**神**から与えられた摂理により、私はその教会の奉仕者になりました。

26 各時代から、何代にわたり隠されて来た奥義が、今、**神**の聖徒たちに啓示されたのです。

27 異邦人の間にこの奥義の栄光の富が何であるかを聖徒たちに教えることを、**神**は定められました。それは、あなたがたの中におられるキリスト、つまり栄光の希望です。

28 すべての人をキリスト・イエスにあって完全な人として立たせるために、私たちはキリストを説き、すべての人に警告し、あらゆる知恵を持ってすべての人に教えています。

29 私の中で力強く働くキリストの働きにより、このために、私もまた懸命に努力しています。

2

1 あなたがた、そしてラオデキヤの人たちのため、

私の肉体の顔を見たことのない人たちのため、私はどんなに大きな争いをしているかを、知って欲しいからです。

2 それは、その人たちの心が励まされ、愛で結ばれ、理解力の確信の全幅的な豊かさを得、そして**神**、すなわち**御父**とキリストの二人の奥義の知識に到達するためです。

3 知恵と知識のすべての宝は、キリストの中に隠されています。

4 今、私がこのことを言うのは、何人も甘言で、あなたがたを惑わすことがないためです。

5 なぜなら、私の体はそこにいないが、私の霊は、あなたがたと共にいて、あなたがたの秩序正しさ、それにキリストに対する信仰の不変なことを知り、私は喜んでいます。

6 したがって、あなたがたは、**主**であられるキリスト・イエスを受け入れたように、彼にあって歩み、

7 教えられたとおり、キリストに根を張り、**主**によって建てられ、信仰にあっては動かず、感謝をもって信仰に溢れていなさい。

8 キリストによらない、人間の伝統だとか、この世の基本原則だとかによる、虚ろである欺瞞と哲学①であなたがたを獲物にする者がいないかと、気をつけなさい。

9 キリストには、**神性**の全てが形をもって、宿っておられるからです。

10 そして、すべての権力と権威の頭であられるキリストのうちにあなたがたはいて、完成されています。

11 キリストにあって、あなたがたも人の手によらない割礼を受けました。つまり、キリストの割礼によって、肉体的な罪の体を脱ぎ捨てることにより、

12 あなたがたはキリストにあって浸礼により、共に葬られ、また、その浸礼により、キリストを、死人たちの中から復活させられた**神**の働きに対する信仰を通し、あなたがたはキリストと共に復活しました。

13 そして、**主**はあなたがたのすべての違法行為を赦し、あなたがたの悪行と肉の割礼のないままで、死んでいるあなたがたを、**主**はキリストと共

---

8 ① ギリシャのストア派、スパルト派。

に生き返らせてくださいました。

14 それは、私たちをさいなむ、手書きの数々の勅令、つまり、私たちには正反対なものをぬぐい去りました。そして、キリストは道を塞ぐものを取り去り、十字架に釘付けされました。

15 権威ある者と力ある者を武装解除され、公のさらし者にし、この者たちを十字架によって凱旋なさいました。

16 ですから、食物や飲物に関して、また祭りや新月や安息日に関して、誰にもあなたがたを裁かせてはいけません。

17 これらは来るべきものの影であるが、実体はキリストに関わりのあるものです。

18 謙虚なふりと、御使いたちへの礼拝にふけり、見てもいないものに攻め入り、自らの肉の心で膨らんでいる者に、あなたがたの報奨を騙し取られてはいけません。

19 そういう者は、頭にしっかり結びついていません。頭は体全体に、関節と靭帯を通し栄養を送ります。そして**神**に育てられて成長するためです。

20 従って、もしあなたがたが、世の基本原則から離れて、キリストと共に死んだのなら、なぜこの世に生きているかのように、自らを世の規則に従うのですか。

21 つまり、「触れるな、味見するな、掴むな。」

22 これらはすべて、用いれば消滅するものです。それは、人々の命令や教理によるのです。

23 これらはまったくのところ、自らつくった宗教とへりくだり、肉体の苦行、これら三つは知恵の様相を呈しているが、肉体の満足に関しては、逆効果です。

3

1 それで、もしあなたがたはキリストと共に復活させられたなら、天にあるものを求めなさい。そこに、キリストが**神**の右手に座っておられます。

2 地上にあるものではなく、天にあるものに心を留めなさい。

3 あなたがたはすでに死に、あなたがたの命は、**神**におられるキリストと共に隠されているからです。

4 私たちの命であられるキリストがお現われになると、あなたがたもキリストと共に、栄光のうちに現われます。

5 従って、あなたがたの地上にある各部、つまり性的な罪、汚れ、情欲、悪欲、偶像崇拝である強欲は殺しなさい。

6 これらのことが理由で、**神**の怒りは不従順の子たちの上に来ます。

7 あなたがたも以前、これらのことによって生活していた時、これらのことによって歩んでいました。

8 しかし今、あなたがた自身、これらすべてのこと、つ

まり怒り、憤り、悪意、そしり、あなたがたの口から出る、卑猥な言葉は脱ぎ捨てなさい。
9 互いに嘘を言ってはいけません。なぜなら、あなたがたは古い人をその行為と共に脱ぎ、
10 新しい人を着たからです。新しい人を創造された方の姿形に似せて、その方の知識により、新たにされたのです。
11 そこには、ギリシャ人もユダヤ人も、割礼者も無割礼者も、野蛮人も、スクテヤ人も、奴隷も自由人も、区別はないが、キリストはすべてであられ、すべての人の中におられます。
12 従って、**神**に選ばれた聖なる、愛されている人たちとして、憐れみの心、思いやり、へりくだり、柔和、そして忍耐を身にまといなさい。
13 互いに堪え忍び、互いに赦し合いなさい。もし誰であれ誰かに不満があるなら、キリストがあなたがたを赦してくださったように、あなたがたも互いに赦さなければなりません。
14 しかし、これらすべてのことの上に、完全の結びである愛をまといなさい。
15 そして、あなたがたの心は、**神**の平安の支配に任せなさい。そのためにも、あなたがた全員は、一体として召されたのです。そして、感謝をする人でいなさい。
16 キリストの御言葉を、あなたがたの中に豊かに住まわせ、あらゆる知恵で、互いに教え諭し、詩と賛美と霊の歌を、心から恵みによって**主**に歌いなさい。
17 そして、あなたがたのすることは、言葉によろうが行為によろうが、すべて、**主**イエスの御名によって行ない、イエスを通して**父**なる**神**に感謝しなさい。
18 妻たちよ、**主**にある者として、ふさわしく、夫に従いなさい。
19 夫たちよ、妻たちを愛し、そして、妻たちに対して苦々しい思いをもってはいけません。
20 子どもたちよ、すべてのことについて両親に従いなさい。なぜなら、**主**はこのことを、お喜びになるからです。
21 父たちよ、子どもたちを苛立たせてはいけません。自信を喪失させないためです。
22 僕たちよ、陰日向なく、迎合せず、真摯の心で**神**を恐れ、すべてについて、肉の主人たちに従いなさい。
23 そして何をしようが、人にするのではなく、**主**にするように、心を込めてしなさい。
24 **主**から、相続の報酬を受けることを知っています。あなたがたは**主**キリストに仕えているからです。

25 しかし、不正を行なう者には、その者の行なうことに、仮借ない報復があります。そして、それに差別の扱いはありません。

4

1 主人たちよ、あなたがたにも天に**主人**がおられることを心得て、僕たちを正しく、そして、平等にものを与えなさい。

2 祈りの時は、感謝をもって熱心に、警戒して、祈り続けなさい。

3 それと同時に、御言葉を説くため、すなわち、キリストの奥義を話すため、**神**は私たちのために、御言葉の扉を開けてくださるように、私たちのために祈ってください。私もその奥義のために鎖につながれているのです。

4 私が話さなければならない通り、明確に奥義を話せるよう、祈ってください。

5 外部の人たちに対しては、知恵で歩み、時間を正しく使いなさい。

6 あなたがたの言葉はいつも優雅さがあり、塩で味付けしなさい。一人一人にどう答えるべきかを知るためです。

7 愛する兄弟、忠実な奉仕者、**主**にあって同労の僕であるテキコが、私についてのすべての情報をあなたがたに伝えます。

8 私がテキコをあなたがたに遣わしましたのは、テキコがあなたがたの状態を知り、あなたがたの心を慰めるためです。正に、これが目的です。

9 あなたがたの一人であり、忠実で愛する兄弟、オネシモを、共に遣わしました。彼らはここで起こっていることの一部始終を、あなたがたに明らかにします。

10 私共々、囚人であるアリスタルコが、バルナバの従兄弟であるマルコと共に、あなたがたに挨拶を送ります。あなたがたはマルコについて指示を受けているのですから、あなたがたのところに行ったら、歓迎してください。

11 そして、ユストと呼ばれているイエスも挨拶を送ります。割礼を受けている人の中、**神**の王国のために働く同労者は、この三人だけです。このアリスタルコ、マルコ、ユストは私には慰めなのです。

12 あなたがたの仲間の一人で、キリストの僕であるエパフラスが、あなたがたに挨拶を送ります。あなたがたが**神**のご意志のすべてに、完全な者として立ち、全うされるため、エパフラスはいつも祈りによってあなたがたのため、熱心に働いています。

13 なぜなら、あなたがたと、ラオデキアにいる人たち、

そして、ヒエラポリスにいる人たちに対して、エパフラスは大変熱心なことを、私は証します。

14 愛する医者のルカ、そしてデマスはあなたがたに挨拶を送ります。

15 ラオデキヤにいる兄弟たち、そして、ヌンパと彼の家にある教会に、挨拶してください。

16 そして、この手紙はあなたがたの間で読んだなら、ラオデキア人の教会にも読ませなさい。そして、あなたがたは、ラオデキアからの手紙を、読みなさい。

17 そして、「**主**にあって与えられた奉仕を、全うするため、留意せよ。」と、アルキポに言いなさい。

18 この挨拶状は、私パウロ自らの手によるものです。私の鎖を忘れないでください。恵みがあなたがたと共にありますように。アーメン。

テサロニケ人への手紙 第一

1

1 パウロ、シラス、そして、テモテから、**父**なる**神**と**主**イエス・キリストにあってテサロニケの人たちの教会へ。私たちの**父**であられる**神**と**主**イエス・キリストより、あなたがたに恵みと平安がありますように。

2 私たちは祈りの中で、皆さんのことに触れ、いつも、**神**に感謝しています。

3 私たちの**神**と**御父**の御前に、あなたがたの信仰のわざ、愛の働き、私たちの**主**イエス・キリストへの希望の忍耐を絶えず、忘れずにいます。

4 愛する兄弟たちよ、皆さんは、**神**の指名であると、私たちは知っています。

5 なぜなら、私たちの福音は言葉だけではなく、力と**聖霊**と強い確信によってあなたがたに伝えられました。あなたがたのために私たちは力になったので、私たちはどんな種類の人間であったかは、あなたがたは知っての通りです。

6 そして、多くの苦しみの中、**聖霊**の喜びをもって、御言葉を受け入れたから、あなたがたは私たちと**主**を手本にしました。

7 ですから、マケドニアとアカヤにいるすべて信じる人にとって、あなたがたは模範になったのです。

8 なぜなら、マケドニアとアカヤでだけではなく、すべての所であなたがたから**主**の御言葉は響き渡っています。あなたがたの**神**に対する信仰は広がったので、私たちは何も言わなくてもよいのです。

9 なぜなら、私たちは、どんなふうにして、あなたがたの中に入ったかを、また、生ける、すなわち真の**神**に仕えるため、あなたがたがいかにして偶像から離れ、**神**の方に向きを変えたかを、

10 そして、来るべき怒りから私たちを救い出してくださるイエス、つまり死者たちの中から蘇らせら方の、天からの**御子息**イエスを待つようになったかを、テサロニケの人たち自身が伝えているのです。

2

1 それで、兄弟たち。私たちが、あなたがたを訪ねたことは、無駄でなかったと、あなたがた自身も知っているのです。

2 しかし、以前ピリピで、私たちが苦しみと侮辱を受けたのは、知っての通りです。多くの論争のうちで、あなたがたに**神**の福音を恐れなく伝えるため、私たちの**神**は私たちを大胆にしました。

3 なぜなら、私たちが勧めたのは、偽りや汚れから出たものでなく、また狡猾から出たものでもありません。 **4** しかし、福音に預かることを、私たちは**神**に認められているのですから、人を喜ばすのではなく、私たちの心を試す**神**を、喜ばすべく話しています。 **5** なぜなら、あなたがたは知っての通り、いかなる時も、へつらいの言葉を口にしなかったし、口実をもうけ、強欲なこともしていません。**神**こそが証人であられます。 **6** また、我々はキリストの使徒として、要求することができた時、私たちは栄光をあなたがたからであろうと、他の人々からであろうと、求めませんでした。 **7** しかし、母が自分の子たちを慈しみ育てるように、私たちはあなたがたの間で優しく接しました。 **8** このように、私たちには、あなたがたを恋い焦がれるようになりました。**神**の福音だけでなく、喜んで私たちの命も与えようとしました。なぜならば、私たちには、あなたがたは愛しい人となったからです。 **9** なぜなら、兄弟たちよ、私たちの労働と労苦を、あなたがたは忘れていないからです。それは、誰の重荷にもならないよう、私たちは昼夜の別なく働き、**神**の福音をあなたがたに宣べ伝えたからです。 **10** あなたがた、信じる人たちの間で、いかに敬虔に、正しくて、咎められることのないよう、私たちがふるまったことは、あなたがたと**神**が証人です。 **11** あなたがたは知っての通り、父が自らの子たちに接するのに、私たちはあなたがた一人一人に勧め、励まし、かつ証しました。 **12** それは、あなたがたを、ご自身の王国と栄光に呼んでくださる**神**に、ふさわしく歩むためでした。 **13** ですから、私たちも絶えず**神**に感謝しています。なぜなら、私たちから聞いた**神**の御言葉を、人間の言葉としてではなく、**神**の本当の御言葉として信じ、受け入れたあなたがたには、その御言葉は力を発揮します。 **14** したがって、兄弟たちよ、ユダヤにあってキリスト・イエスにある諸教会に倣う者にあなたがたはなりました。なぜなら、あの人たちがユダヤ人たちによって苦しんだのと同じことを、あなたがた同国人には苦しめられたからです。 **15** そのユダヤ人たちは、**主**イエスと彼ら自身の預言者たちを殺しただけではなく、私たちをも迫害しました。そして**神**を喜ばせず、すべての人に敵対し、 **16** 彼らは、異邦人が救われるようにと、私たちが異邦人に語りかけるのを禁じました。そのように、ユダヤ人たち

は自らの罪を膨らませ、ユダヤ人たちの頭上の、**神**の怒りは極限に達したのです。

17 しかし、兄弟たちよ、暫時、私たちの姿は取り去られましたが、心は残っています。それどころか益々、皆さんの顔をいっそう見たいと言う思いに駆れました。

18 ですから、私たち、特に私パウロは再度に渡り、あなたがたのところに行こうとしましたが、サタンは私たちを妨害しました。

19 それに、私たちの希望は、または喜びは、はたまた、喜びの冠は何ですか。**主**イエス・キリストの再臨の時、**主**の御前にいるあなたがたではありませんか。

20 なぜなら、あなたがたが、私たちの栄光であり、喜びなのです。

3

1 ですから、私たちはもう耐えられなくなり、私たちだけがアテネに留まった方がよいと思いました。

2 そして、信仰に関してあなたがたを揺ぎない者にし、あなたがたの信仰を勇気付けるため、私たちの兄弟、そしてキリストの福音に関しては、共に労働する者である、テモテを遣わしました。

3 それは、この数々の苦難によって、誰も動揺しないためです。なぜなら、あなたがた自身、知っての通り、私たちはこのことに任命されているのです。

4 それにまた、以前あなたがたと共にいた時、私たちは苦難に会うであろうと、あなたがたに言いました。正に、そうなったのは、あなたがたも知っての通りです。

5 そのため、誘惑者があらゆる手段で、あなたがたを誘惑するのではないかと思い、私はもう耐えられなくなり、あなたがたの信仰を知ろうと、私たちの働きが無駄にならないため、人を遣わしました。

6 しかし、あなたがたの信仰と愛の良い知らせを携え、すでにテモテは、あなたがたのところから、私たちのところに来ています。そしてまた、あなたがたはいつも、私たちのよい思いを保持し、私たちに会いたいと切望しています。それは私たちも同じです。

7 したがって、兄弟たちよ、あなたがたの信仰によって、私たちのすべての苦しみと艱難の中にあって、あなたがたのことで、私たちは慰められました。

8 なぜなら、あなたがたがしっかり**主**に立っているなら、私たちは、生きて行けます。

9 なぜなら、私たちの**神**の御前に、あなたがたのために喜ぶ私たちのすべての喜びのために、**神**に感謝するために、あ

なたがたのために何をお返しできるでしょうか。

10 あなたがたの顔を見て、あなたがたの信仰で欠けているところを完全なものにするため、私たちは昼も夜も切に祈っています。

11 ですから、私たちの**神**と**父**ご自身と、私たちの**主**イエス・キリストが、私たちがあなたがたのところへ行く道を、指示してくださいますように。

12 そして、私たちがあなたがたを愛しているように、あなたがたの互いの愛、またすべての人に対するあなたがたの愛が強まり、豊かになるように、**主**がそうしてくださいますように。

13 それは、私たちの**主**イエス・キリストが、ご自身の全聖徒たちを連れ、来臨の時、私たちの**神**と**父**の御前に、あなたがたの心が聖なることに関しては、咎のないものとして、**主**が確定してくださるためなのです。

4

1 後、少しですが、兄弟たちよ、**神**に喜んで頂くにはどう歩めばよいのかを、私たちから受け入れたのだから、今後も、益々歩み方を進むように、**主**イエスにあって、私たちはあなたがたに、願い、また勧めます。

2 **主**イエスによって、私たちが皆さんに与えた命令は何か、皆さんは知っているからです。

3 なぜなら、あなたがたが聖別されることこそ、つまりあなたがたが性的な罪を避けること、これこそが**神**のご意志なのです。

4 聖別と誉れによって、一人一人が自らの器①を所持する方法を知らなくてはなりません。

5 それは、**神**を知らない異邦人のように、抑えられない性的な欲望に身を任せてはいけません。

6 それは、このことに関して、人は誰も一線を超えて、自らの兄弟から騙し取ってはいけません。**主**はすべてこのことに関して、罰を与えられる方であられることは、私たちはあなたがたに警告し、証をしました。

7 なぜなら、**神**は私たちを不潔のゆえではなく、聖別のため呼ばれたからです。

8 それで、これを拒む者は人間を拒むのではなく、ご自身の**聖霊**を、私たちに下さった**神**を拒むことになります。

9 しかし、兄弟愛について、私があなたがたに

---

4 ① 二とおりの解釈があります。(1)妻、(2)自分の体。

書く必要はありません。互いに愛し合うように、あなたがた自身は**神**から教えられているからです。

10 そして、あなたがたは本当に、マケドニア全土にいるすべての兄弟をそのように愛しています。しかし、兄弟たちよ、益々そうするよう、あなたがたに勧めます。

11 また、あなたがたは安穏な生活をするように努力し、自らの仕事を大切にし、私たちがあなたがたに命じたように、自らの手で働きなさい。

12 それは外部の人々に対して、正当に歩み、何も不足がないようになるためです。

13 しかし兄弟たちよ、眠についた者たちに関して、無知であって欲しくありません。希望のない人々のように、あなたがたが悲しまないためです。

14 なぜなら、イエスは死んで復活されたと信じているなら、そのようにイエスによって眠った人々は、**神**が連れて来られます。

15 それで、私たちは**主**の御言葉に基づき、このことをあなたがたに言います。つまり、**主**の来臨まで生きて留まる私たちは、眠っている人々より先になることは決してありません。

16 それで、**主**ご自身は叫び声で、御使いの頭の声で、**神**のラッパで天から降って来られます。そして、キリストにある死者たちが先ず復活します。

17 次いで、生きて留まっている私たちが、空中で**主**に会うために、私たちは先の人々と共に、雲の中に瞬時に引き上げられます。このようにして、私たちはいつまでも**主**と共にいます。

18 ですから、今の一つ一つの言葉で、互いに慰め合いなさい。

5

1 しかし兄弟たちよ、その時と時期について、私があなたがたに書く必要はありません。

2 なぜなら、**主**の日は夜中の泥棒のように来ることを、あなたがた自身、よく知っているからです。

3 なぜなら、人々が「平和で、安全だ」と言うその時、妊婦に出産の陣痛が来るように、突然の壊滅が人々の上に来ます。そして決して逃げおおせません。

4 しかし、兄弟たちよ、泥棒が来るようにその日が人々を襲ったとしても、皆さんは暗やみの中にはいません。

5 あなたがた全員、光の子であり、昼の子です。私たちは夜の者でも、闇の者でもありません。

6 したがって、他の人々のように、眠っていてはいけません。かえって、警戒し、素面でいましょう。

7 なぜなら、眠る人々は夜に眠り、酔う者たちは夜、酔います。

8 しかし、我々昼の者は、信仰と愛の胸当てをつけ、救いの希望としての甲冑をかぶり、素面でいましょう。**9** なぜなら、**神**は私たちを、怒りのために定められたのではなく、私たちの**主**イエス・キリストを通して、救いに預かるため、定められたのです。**10** 私たちが、目覚めていようが眠っていようが、**主**は私たちのために死んでくださったのです。イエスと共に生きるためです。**11** ですから、あなたがたはすでに行なっているように、互いに慰め合い、互いに啓発しなさい。**12** そして兄弟たちよ、皆さんにお願いします。皆さんの間で働く人々、そして、**主**にあってあなたがたの上に立ち、あなたがたを教え諭す人々を認めるよう、勧告します。**13** また、その人々の働きのゆえ、愛をもって、特に高く評価し、尊敬しなさい。互いに平和を保ちなさい。**14** さて、兄弟たちよ。無規律な生活をする者たちに警告しなさい。絶望をした者たちを元気付けなさい。弱い者たちを強固な者にし、すべての人に対して忍耐強くありなさい。**15** いかなる人に対しても、悪に対し悪で報いず、皆さん自身にも、そして、すべての人のために、善なることを追求しなさい。

16 どんな時でも、喜びなさい。**17** 絶えず祈りなさい。**18** これはあなたがたのため、イエス・キリストにおける**神**のご意志なのだから、すべてのことについて感謝しなさい。**19** **御霊**を拒否してはいけません。**20** 預言を軽視してはいけません。**21** すべてのものを分析し、よいものをかたく握りしめなさい。**22** いかなる姿形の悪も避けなさい。**23** どうか、平和の**神**ご自身が、皆さんを完全に聖別してくださいますように。そして、皆さんの霊、魂、肉体が、私たちの**主**イエス・キリストの来臨の際、咎められるところがないように、保全されますように。**24** あなたがたを召してくださる方は誠実な方であられます。皆さんをそうして下さるのもその方であられます。**25** 兄弟たちよ、私たちのために祈ってください。**26** 聖なる口づけで、兄弟たち全員に挨拶をしてください。**27** 聖なる兄弟たち全員に、この手紙を読み聞かせよ、と**主**によってあなたがたに命じます。**28** 私たちの**主**イエス・キリストの御恵みが、あなたがたと共にありますように。アーメン。

テサロニケ人への手紙　第二

1

1 パウロ、シルワノ、テモテより、私たちの**父**なる**神**と**主**イエス・キリストにあるテサロニケの人たちの教会へ。

2 私たちの**父**なる**神**と**主**イエス・キリストより、あなたがたへ恵みと平安がありますように。

3 兄弟たちよ、私たちが、常にあなたがたのことで**神**に感謝をするのは当然のことです。なぜなら、あなたがたの信仰は大いに成長しており、そして、あなたがた一人一人、互いの愛は豊かになっているからです。

4 ですから、すべての迫害と苦しみにあって、あなたがたの示す忍耐と信仰を、**神**の諸教会の間で、私たちは自慢しています。

5 **神**の王国にふさわしいと認められるため、**神**の裁きは正しいという証拠です。あなたがたもその王国のため、苦しんでいるのです。

6 当然、あなたがたを苦しませる者たちに、**神**は苦で報います。それは**神**にとって正義だからです。

7 また、**主**イエスがご自分の力ある御使いたちと共に天から現れ、苦しんでいるあなたがたに、私たちと共に、休息を下さることも、**神**の正義です。

8 **主**はその時、**神**を知らない者たちと、私たちの**主**イエス・キリストの福音に従わない者たちに、燃えさかる復讐の火を与えられます。

9 **主**の御前から、また**主**の御力の栄光から、この者たちは永遠の破滅に至る罰に処せられます。

10 それは、あなたがたの間で、私たちの証は信じられたので、**主**がおいでになるその日、ご自分の聖徒たちの間で栄光を受けられるため、信じる者たちの間で賞賛されるために来られます。

11 したがって、**神**があなたがたをこの召命に記帳するのにふさわしいと認め、あらゆるよきことの善なる喜び、そして力が備わった信仰の働きで満たしてくださるように、私たちはいつも祈っています。

12 そして、私たちの**神**と**主**イエス・キリストの御恵みにより、あなたがたの中で、私たちの**主**イエス・キリストの御名は、栄光をお受けになり、そしてあなたがたは**主**の中で栄光を与えられるように、私たちはいつも祈っています。

2

1 さて、兄弟たちよ、**主**イエス・キリストの来臨と、イエスのところに集う、私たちの集まりのことで、

皆さんにお願いします。

2 つまり、霊からであろうが、言葉からであろうが、私たちから出たと言われるような手紙からであろうが、キリストの日がもうすでに来たと聞いても、簡単に動揺しないよう、お願いします。

3 誰からも、いかなる方法でも、騙されないようにしなさい。背教がまずきて、そして、罪の者、つまり破滅の子が現れない限り、その日は来ません。

4 破滅の子は、**神**と呼ばれ、礼拝されるすべてのものに敵対し、自らをその上の高きにつけます。それは、**神**として、**神**の神殿の中に座り、自らを**神**であると示すためです。

5 私がまだ皆さんと共にいた時、これらのことを教えたのを、忘れたのですか。

6 そして、時がきてその者が現れるのを、阻止しているものは何か、皆さんは今、知っています。

7 なぜなら、不法の奥義はもうすでに働いています。ただ、今、阻止している方が取り除かれるまで抑えられています。

8 そして、それから、不法の者が現れます。**主**はこの者をご自分の口からの息でせん滅させ、ご自分の来臨の光によって滅ぼされます。

9 この不法の者が現れるのは、サタンの働きによるもので、あらゆる力、しるし、偽りの不思議な業によるものです。

10 またそれは、救われるため、真理の愛を受け入れることなく、滅んでいく者たちの間に、あらゆる不義の欺瞞を使って現れます。

11 そしてこのために、**神**を受け入れなかった者たちが、その嘘を信じるように、**神**はその者たちに強い思い込みを送られます。

12 また、それは真理を信じないで、不義を楽しんだすべての者が裁かれるためです。

13 しかし、**主**に愛されている兄弟たちよ、皆さんのことを、私たちがいつも**神**に感謝するのは当然です。なぜなら、**神**は**御霊**の聖別と真理を信じることにより、救いのため、最初から皆さんをお選びになったからです。

14 私たちの**主**イエス・キリストの栄光を獲得させるため、**神**は私たちの福音によって、この真理に皆さんを召されたのです。

15 従って、兄弟たちよ、しっかり立ち、言葉や、また私たちの手紙によってあなたがたに教えられた伝統を握りしめなさい。

16 では、私たちを愛し、御恵みにより永遠の慰めと、すばらしい希望を与えてくださった、私たちの**主**イエス・キ

リストご自身と、私たちの**神**であられ、**御父**であられる方が、**17** 皆さんの心を慰め、皆さんが使うすべての言葉と行ないが、善きものとなるよう、**主**が立たせてくださいますように。

3

1 最後に、兄弟たちよ、あなたがたの所と同様に、**主**の御言葉がすばやく走り、そして栄光を受けるように、私たちのために祈ってください。**2** また、私たちが無法な者たちから、そして悪者たちから救い出されるように祈ってください。なぜなら、すべての人が信仰を持っている訳ではないからです。**3** しかし、皆さんをしっかり立たせ、悪魔から守ってくださる**主**は、真実な方です。**4** そして、あなたがたは私たちが命じることを実行し、また今後も実行すると、**主**にあって私たちは確信しています。**5** そして**主**が、皆さんの心を**神**の愛の中へ、そしてキリストの忍耐の中へ導いてくださいますように。**6** 兄弟たちよ、私たちの**主**イエス・キリストの御名により、私たちはあなたがたに命じます。私たちから受け入れた教理によってではなく、無秩序に歩むすべての兄弟たちから離れなさい。**7** なぜなら、私たちは皆さんの間で無秩序でなかったから、皆さんたち自ら、模範として私たちにどう従うべきかを、以前から理解しています。**8** そして、私たちは他人のパンを只で食べませんでした。かえって、皆さんの誰の重荷にもならないよう、夜も昼も疲労困憊するまで働き、努めを果たしました。**9** それは私たちに権威がない訳ではなく、あなたがたがどのように、私たちの模範に従うべきか、私たち自身が模範を示すためでした。**10** なぜなら、私たちが皆さんと共にいた時でさえ、私たちは皆さんにこう命じました。「誰であれ働かないのなら、その者は食べてはいけない。」**11** あなたがたの間を無秩序に歩み、まったく働かず、人のことに口を出す者がいると、私たちは聞いているからです。**12** それで、そういう者たちも静かに働き、己のパンを食べるように、私たちの**主**イエス・キリストを通して私たちは命じ、かつ勧めます。**13** しかし、皆さん、兄弟たちよ、良い行ないをするのに、たゆまず良い行ないに励みなさい。**14** 誰であれ、この手紙にある言葉に従わない者がいれば、その者が恥じ入るよう、交際してはいけません。**15** しかし、その人を敵と判断せず、兄弟として諭しなさい。

16 では、平和の**主**ご自身が、どんな状況下でも、あらゆる方法で、あなたがたに平和を与えられますように。**主**があなたがた全員と共におられますように。

17 この挨拶は、私パウロ自らの手によるものです。どの手紙にもこう私の手で書いたのは、私パウロが書いたというしるしです。

18 私たちの**主**イエス・キリストの御恵みが、皆さん全員と共にありますように。アーメン。

テモテへの手紙　第一

1

1 私たちの**救い主**である**神**と、私たちの希望である**主**イエス・キリストの命令により、イエス・キリストの使徒であるパウロより、

2 信仰にあって真の息子であるテモテへ。私たちの**父**なる**神**と私たちの**主**であるキリスト・イエスより、恵み、哀れみ、平和がありますように。

3 私がマケドニアに入っていた時、あの者たちが、他の教理を教えないよう、命じることができるように、エペソに残るようあなたに勧めました。

4 そして、たわごとや、果てしなく続く系図の話しに耳を傾けてはいけないと勧めました。それらは、信仰による敬虔な教えを構築するのではなく、むしろ問題を持ち込むからです。

5 さて、この命令の目的は愛です。清い心から、またよい良心から、偽りのない信仰から出る愛です。

6 ある者たちはこれらのことから道を失い、空しい話に向きを変えてしまいました。

7 彼らは己の言うことも、己が主張することをも理解せずに、律法の教師になりたがっています。

8 しかし、もし人が合法的に律法を使うなら、律法は良いものであると、私たちはわかっています。

9 律法は正しい人のためではなく、不法者らと不従順な者たちのため、つまり、**神**に敵対する者たちと罪人たちのため、邪悪な者と俗悪な者、父を殺す者たち、そして母を殺す者たち、人殺したちのために作られたことを知っています。

10 また、性的な罪を犯す者たち、男色をする者たち、誘拐犯人たち、嘘つきたち、偽証者たち、その他、健全な教理に反対する者のため、律法が作られたと知っています。

11 これは、私に任された、祝福された**神**の栄光ある福音による教理です。

12 そして、私を能力のある者とされた、**主**キリスト・イエスに私は感謝します。忠実な者として認め、私を奉仕の場に置かれたからです。

13 以前私は**神**を冒涜する者、迫害する者、暴言をはく者でしたが、知らずに、信じていない時行なったので、哀れみを得ました。

14 そして、私たちの**主**の恵み、またキリスト・イエスと共にある信仰と愛は、途方もなく豊かになりました。

15 キリスト・イエスは罪人たちを救うためにこの世に来

られたとは、まことの言葉であり、あらゆる面で受け入れるのに価する言葉です。私はその罪人たちの先頭にいます。

16 しかし、私がこの理由で哀れみを得たのは、イエス・キリストがあらゆる忍耐を先ず私に示し、永遠の命のためにキリストを信じようとする者たちのため、私を型とするためです。

17 では、永遠の**王**に、不死の方、目に見えない方、知恵ある**神**に、永遠から永遠まで栄誉と栄光がありますように。アーメン。

18 我が息子テモテよ、前もってあなたに関する預言により、私はこの任を任せます。それはこの預言によりあなたが有利な戦いをするためです。

19 信仰とよい良心を持ち続けなさい。ある者たちは信仰とよい良心を拒み、信仰の船を難破させました。

20 難破した中には、ヒメナオとアレキサンデルがいます。冒涜をしないことを学ぶように、私は彼らをサタンに引き渡しました。

2

1 従って、何よりもまず先に、すべての人たちのために祈り、願い、とりなし、そして感謝をするように、私は強く勧めます。

2 王たち、そしてすべて権威ある人たちのために、私たちがすべての敬虔と真摯で、穏やかで平和の生活をおくるためです。

3 なぜなら、これは善いことであり、私たちの**救い主**である**神**の御前に、認められるからです。

4 **神**はすべての人は救われ、そして、真理の知識に至ることを望んでおられます。

5 なぜなら、**神**は唯一であり、そして、唯一の仲介者、つまり人としてのキリスト・イエスが**神**と人間との間におられます。

6 定められた時に証されるように、キリストはすべての人のため、身代金としてご自分を与えられました。

7 私はそのために説教者、使徒に指名されました。キリストにあって、私は嘘を言っていません。真理を言っています。また信仰と真理にある異邦人の教師に指名されました。

8 ですから、罪を犯していない手を上げ、怒りや疑いを持たず、いかなる所でも男たちは祈ってほしいです。

9 同様に女たちもたしなみと節度を保ち、編んだ髪、金、真珠、高価な衣服で身を飾ったりせず、つつましい衣服で自らを飾ってほしいです。

10 むしろ**神**を敬うと言い表す女にふさわしく、善い行為

で飾ってほしいです。

11 女は静かに、すべて従順に学ぶべきです。 **12** 女が男を教えたり、男の上に権威を持つことを私は許さず、女は黙っていることを許します。 **13** アダムが最初に造られ、次いでエバが造られたからです。 **14** また、アダムは騙されなかったが、その女は騙され、あやまちを犯しました。 **15** しかし、自制を持って、信仰、愛、そして聖なる内に留まり続ければ、女たちは子を生むことを通し救われます。

3

1 「監督の地位を求めるなら、その者は、良い働きを求めている。」これは真実な言葉です。 **2** 監督は非難されるところなく、一人の妻の夫であり、自らを制し、真摯な態度で、品位があり、客をよくもてなし、教える才能があり、 **3** 葡萄液を好まず、暴力を好まず、金銭に執着せず、かえってやさしく、争いを好まず、貪欲でなく、 **4** 自らの家庭を良く治め、子の尊敬を一身に受け、従わせている人であるべきです。 **5** （自らの家庭を治める方法のわからない人が、いったいどうやって、**神**の教会の世話をするのでしょうか。） **6** プライドで膨らみ、悪魔と同じさばきに陥らないように、初心者であってはいけません。 **7** くわえて、監督は外の人たちの間で、良い証がなければなりません。非難に陥らず、また悪魔の罠にも陥らないためです。

8 同じように、執事も尊厳があり、二枚舌を使わず、多量の葡萄液を好まず、金銭に貪欲でなく、 **9** 清い良心に、信仰の奥義を持ち続けます。 **10** しかし、この人たちをまず細かく吟味し、非難されるところがなければ、執事として務めさせなさい。 **11** その妻たちも同様に尊厳があり、悪口を言う人ではなく、自らを制し、すべてのことにおいて誠実であるべきです。 **12** 執事たちは一人の妻の夫であり、自らの子どもたちと家庭を良く治める者であるべきです。 **13** 執事たちとして良く仕えて来た者たちは、己によい地位とキリスト・イエスにある信仰で強い自信を獲得するからです。

14 近いうちにあなたのところへ行きたいので、私はこれらのことをあなたに書きます。 **15** しかし、もし遅くなれば、**神**の家で、すなわち生きる**神**の教会で、真理の柱と基礎である教会で、どうふるまう

べきかをあなたが分かるように、私は書いています。**16** そして、誰でも認めるように、敬虔の奥義は偉大です。
神は肉において現れ、**御霊**によって義と宣言され、
御使いたちに目撃され、異邦人たちの間に説かれ、
世に信じられ、栄光のうちに上げられました。

4

1 さて、**御霊**ははっきりと言っておられます。後の時代に、ある者たちはこの信仰から離れ、惑わす霊たちや悪霊たちの教えに気を取られ、**2** 偽善によってうそを言い、その者たちは自らの良心を熱い鉄で焼かれ、**3** 結婚を禁じるのです。そして、真理を知り、信じる者たちが、感謝を持って受けるべき、**神**により作られた食べ物を、その者たちは遠ざけるよう命じています。**4** なぜなら、**神**の作られたすべての物は良い物であり、感謝をもって受け入れるなら、投げ捨てる物は何もありません。**5** それは、**神**の御言葉と祈りによって聖別されているからです。**6** これらのことを兄弟たちに定着させつつ、信仰の言葉をあなたが心して、従っていた良い教えの栄養で育った、イエス・キリストの良い奉仕者になります。**7** しかし、俗悪なたわごと、それと老女の作り話は拒否し、敬虔に向け自らを鍛えなさい。**8** なぜなら、体の鍛練は少々の益はあるが、約束された今の命と後で来る命のため、敬虔はすべてに有益です。**9** これは真実な言葉であり、すべて受け入れるに値する言葉です。**10** すべての人々、特に信じる人々の**救い主**である生ける**神**を、私たちは信頼しているから、それで、私たちはそのために労働し、侮辱されています。**11** これらのことを命じ、教えなさい。**12** 誰にでもあなたの若さを軽んじさせてはいけません。かえって、言葉にも、行為にも、愛にも、霊にも、信仰にも、清さにも、信者たちの模範になりなさい。**13** 私が行くまで、読むこと、勧めること、教えることに専念しなさい。**14** 預言を通して、長老たちの按手によってあなたに与えられた賜物をなおざりにしてはいけません。**15** あなたの成長がすべての人に明らかになるよう、これらのことを深く考え、全身全霊で当たりなさい。**16** あなた自身、そして教理に心を配りなさい。これらのことに留まっていなさい。そうすれば、あなたは、あなた

自身をも、あなたの言葉を聞く人たちをも救います。

5

1 老人を叱責してはいけません。むしろ父として勧め、年下の男には兄弟として勧めなさい。**2** 年上の女性は母として、年下の女性は姉妹として、すべての清さを持って勧めなさい。

3 本当の未亡人には礼をもって接しなさい。

4 しかし、子ども、または、孫がいれば、どんな未亡人であれ、まずその子どもたちに家庭の中で**神**を敬うことを、また親に報いることを学ばせなさい。これは**神**の御前に良いことであり、**神**が受け入れてくださるからです。

5 しかし、一人残された真の未亡人は、**神**に信頼を置き、夜も昼も**神**に願いと祈りを続けています。

6 しかし、快楽を追い求める女は、生きながら死んでいます。

7 それで、未亡人たちが非難されることのないように、これらのことを命じなさい。

8 しかし、誰であれ、家族の者たちに、特に自らの家の者たちを顧みなければ、その者は信仰を否定したのであり、不信者より悪いです。

9 六十歳以下の未亡人は名簿に載せてはいけません。載せるのは、一人の男の妻であった人で、**10** 行ないの評判のよい者でなければなりません。すなわち、子どもたちを育てあげたか、旅人を宿泊させたか、聖徒たちの足を洗ったか、苦しんでいる人たちを助けたか、数々の良い行為を苦労して行なった者であるかです。

11 しかし、若い未亡人たちはキリストに背き、好色になると、結婚を望むので拒否しなさい。**12** この若い未亡人たちは最初の信仰を捨てたのだから、裁かれます。**13** おまけに、彼女たちは怠ける癖が身につき、家から家へと歩き回ります。そして、怠けるだけではなく、うわさ話を言う者になり、他人のことに口を出す者になり、言ってはいけないことを言います。

14 そのため、若い未亡人たちは結婚し、子どもを産み、家庭を管理し、敵対する者に非難する余地を与えることのないように私は望みます。**15** なぜなら、すでに、未亡人の中のある者たちは、サタンのほうへ向きを変えてしまっています。

16 信じる男か女に、未亡人のいる者がいれば、その者に援助させなさい。教会が真の未亡人たちを助けることができるよう、教会の重荷になってはいけません。

17 良く指導する長老たち、特に御言葉と教理で苦労する

長老たちは、倍の尊敬に値する人であると思いなさい。

18「穀物を踏んで脱穀している雄牛に、口に袋をかけてはいけない」、また、「働き人はその者の賃金にふさわしい」、と聖書は言っているからです。

19 二人、または三人の証人からではなければ、長老に対する訴えを受理してはいけません。

20 他の者たちも恐れるよう、罪を犯している者たちを全員の前でとがめなさい。

21 **神**と**主**であるイエス・キリスト、また選ばれた御使いたちの前で、私はテモテにおごそかに命じます。これらのことを偏見なく行ないなさい。不公平に行なってはいけません。

22 誰とでも即、按手をしてはいけません。また、他人の罪を共に犯してはいけません。自らを清く保ちなさい。

23 これからは水だけ飲まず、胃のため、よく病気になるのだから、葡萄液を少し用いなさい。

24 ある者たちの罪は明らかで、先に裁きに行くが、その後から行く者もいます。

25 同様に、きわめて目立つ善行もあるが、他の善行も隠れることはあり得ません。

6

1 くびきの下にいる奴隷たちは、**神**の御名とその教理が冒涜されないよう、彼ら自身の主人に礼のすべてをつくすべきです。

2 そして、信者の主人を持つ奴隷たちは、主人たちは兄弟だからと言って、見下げてはいけません。むしろ、益を受ける者たちは信者であり、愛されているのだからますますよく仕えなさい。これらのことを教え、勧めなさい。

3 もし、異なることを教え、健全な言葉、すなわち私たちの**主**イエス・キリストの御言葉と、敬虔と一致する教理に同意しない者がいれば、誰であれ、

4 その者は傲慢であり、何も知らず、そして、言葉についての討論と論争にとりつかれています。その結果、ねたみ、争い、ののしり、悪意の疑い、

5 心が腐り、心理を失った者たちの無益な論争です。彼らは利益を敬虔と考えています。こういう者たちから身を引きなさい。

6 しかし、満足を伴う敬虔は、大きな利益です。

7 なぜなら、私たちはこの世界に、何も持たずやってきて、そして、何も持ち出すことができないのは間違いありません。

8 そして、食べ物と着る物があれば、それで私たちは満足すべきです。

9 しかし、金持ちになりたがる者たちは、誘惑と罠に陥ります。また、人たちを、崩壊と破滅の中で溺死させる、多くの愚かな有害な欲望にも陥ります。**10** 金銭を愛することは、諸悪の根源だからです。ある者たちは金銭を貪欲に求め、信仰からはずれ、数々の悲しみで自らを突き刺しました。**11** しかし、**神**の男であるあなたよ、これらのことを避け、そして義、敬虔、信仰、愛、忍耐、柔和を追い求めなさい。**12** 信仰のよい戦いを戦い、永遠の命をしっかり握りしめなさい。このためにあなたも召され、多くの証人たちの前でよい告白を言い表したのです。**13** すべてのものに命を与える**神**の前で、そして、ポンテオ・ピラトの前でよい告白を証したキリスト・イエスの前で、私はあなたに命じます。**14** それは、私たちの**主**イエス・キリストの出現まで、無傷で、非の打ちどころのないままで、この命令を守りなさい。**15** ご自分の時代に、王の**王**であり、主の**主**である祝福された唯一の**主権者**が、ご自分の出現を明らかになさいます。**16** **主**のみが不死であり、近寄れない光の中に住み、いかなる者の目に触れず、またいかなる者も目にできない方です。その方に対して畏敬の念を、そして永遠の力がありますように。アーメン。

17 この世の金持ちたちに命じなさい。高慢にならないよう、不確かな富に希望を置かず、楽しむため、豊かにすべてのものを私たちに与えてくださる、生ける**神**に希望を置きなさい。**18** また、善を行ない、十分に善い行ないをし、喜んで与え、ためらわずに分かち合うように、金持ちたちに命じなさい。**19** そうして、永遠の命をしっかり握りしめることができるように、やがて来るその時のため、彼ら自身のために良い土台を準備させなさい。**20** おお、テモテよ。誤って知識と呼ばれている、反対論の俗悪なたわごとを避け、あなたに委ねられたものを守りなさい。**21** この反対論を認め、信仰に迷ってしまった者がいます。恵みがあなたと共にありますように。アーメン。

テモテへの手紙　第二

1

1 神のご意志により、キリスト・イエスにある命の約束に従い、イエス・キリストの使徒であるパウロより、**2** 愛する子であるテモテへ、父なる神、および、私たちの主キリスト・イエスより、恵み、哀れみ、そして平安がありますように。

3 夜も昼も祈りの中で、私は絶えずあなたを思い、私の父祖たちが仕えたように、清い良心で仕える神に感謝しています。**4** あなたの涙が私の心にあり、私が喜びで満たされるため、あなたに会うことを切に願っています。**5** それは、偽りのない、あなたの中にある信仰に思い至るからです。その信仰は最初にあなたの祖母ロイスと母ユニケにあった、そしてあなたにもあると私は確信しています。**6** そういう訳で、私の按手を通してあなたの中にある神の賜物を再び燃え上がらせることを、心に留めて欲しいです。**7** なぜなら、神は私たちに小心者の霊ではなく、力の、そして、愛の、そして慎みの霊を与えて下さったからです。**8** したがって、私たちの主の証、また、主の囚人である私を恥じてはいけません。むしろ神の力に従い、福音のために私と共に苦しみなさい。**9** 神は私たちを救い、そして、聖なる召命で私たちを召されました。それは私たちの行ないによるのではなく、永遠の時の以前からが始まる以前、キリスト・イエスによって、神ご自身のご意志と私たちに与えられた御恵みによります。**10** そして、この御恵みは今、私たちの救い主イエス・キリストのお現れになったことにより啓示されました。イエスは死を無力にし、命と不死に、福音で光を当てられました。**11** 私はその福音の説教者、使徒、異邦人の教師として任命されました。**12** そのため、私はこれらの苦痛を受けているが、恥じてはいません。信じている方を私は知っており、その方は、私がお任せしたものを、例のその日まで守ってくださることができると、私は確信しているからです。

13 キリスト・イエスにある信仰と愛をもって、私から聞いた健全な言葉の模範をしっかり握りなさい。**14** あなたに任されたあの良いものを、私たちの中に住んでおられる聖霊で守りなさい。

15 アジアにいる者は皆、私を拒否したのは知っての通りです。その中にフゲロとヘルモゲネもいます。**16** オネシポロの家の者全員に主の哀れみがありますよう

に。彼は幾度も私を励まし、私の鎖を恥としなかったからです。

17 それどころか、ローマに着いた時、オネシポロは非常に熱心に捜し、私を見つけ出しました。

18 **主**のもとで哀れみを、例のその日に**主**がオネシポロに与えられますように。彼はエペソで私にいろいろな奉仕をどれほどしてくれたかを、あなたがよく知っての通りです。

2

1 したがって、我が子よ、キリスト・イエスにある恵みによって、強くありなさい。

2 そして、多くの証人の間で私からあなたが聞いたことを、他人にも教え得る真実な男たちに委ねなさい。

3 したがって、イエス・キリストの良い兵士として、苦難を耐え忍びなさい。

4 戦いに臨んでいる兵士は、生活のことに巻き込まれることはありません。入隊させてくれた人を喜ばせるためです。

5 また、運動競技を争う者は、規則に従って競技しなければ、冠は与えられません。

6 よく働く農家が先ず収穫の分配を取るべきです。

7 私の言うことを良く考えなさい。なぜなら、**主**があなたに、すべてのことに関して、理解力を与えてくださるのです。

8 私の福音により、ダビデの種である、死人たちの中から復活させられたイエス・キリストを忘れてはいけません。

9 私はこの福音のため鎖に繋がれ、犯罪人として苦しんでいます。しかし、**神**の御言葉は繋がれていません。

10 したがって、選ばれた者たちのため、私はすべてを堪え忍んでいます。永遠の栄光と共に、キリスト・イエスにある救いを彼らも頂くためです。

11 これは真の言葉です。すなわち、私たちはキリストと共に死んだなら、私たちはキリストと共に生きます。

12 私たちは堪え忍ぶなら、キリストと共に支配します。キリストを否定すれば、キリストも私たちを否定されます。

13 私たちが忠実でなくとも、キリストは忠実のままであられます。キリストはご自分を否定されることができません。

14 これらのことを人々に覚えさせ、何の役にも立たず、聞き手を破滅させるような言葉の論争しないように、**主**の御前で彼らに命じなさい。

15 真理の御言葉を正しく解釈する働き人として、恥じることなく、**神**に自らを捧げるよう励みなさい。

16 そうして、邪悪な無駄話は避けなさい。そう言うものはますます神聖でないものを増やすことになります。

17 さらに、彼らの言葉はガンのように広がります。ヒメナオとピレトはこの類の者です。

18 この者たちは、真理から外れ、復活はもう終わったと言って、ある者たちの信仰を覆します。 **19** それでも、**神**の強固な土台は立っています。これに、「**主**はご自分の者を知っている」、と言うしるしがあり、また、「キリストの御名を呼ぶすべての者は、不義から離れよ。」とあります。 **20** そして、立派な家庭には、金銀の器だけではなく、木や粘土の器もあり、誉れのため、また不浄のための器もあります。 **21** もし誰であれ、これらの不義を離れ、自らを清めれば、その者は**主**のために聖別され、役に立つ器となり、すべての善い業のために備えられ、誉れの器になります。 **22** また、若い時の欲望から逃れ、清い心から**主**を呼び求める人たちと共に義、信仰、愛、平和を追求しなさい。 **23** しかし、愚かな、無知な論争は争いを起こすことをあなたは知っているのだから、避けなさい。 **24** そして、**主**の僕は争ってはいけません。誰にでも柔和であり、教えることができ、堪え忍び、 **25** 穏やかに敵対する者を正しなさい。もしかして、その者たちが真理を知るため、**神**は悔い改めの心をくださるでしょう。 **26** そうすると、悪魔の意を行なうため、囚われた者たちは、悪魔の罠を逃れ、正気に戻ることはあり得ます。

3

1 しかし、最後の日々に危険な時が来ることを知っておきなさい。 **2** それは、人々は己を愛する者になり、金銭を愛する者になり、大言をはく者になり、高慢な者になり、冒涜者になり、両親に不従順になり、感謝しない者になり、不義になり、 **3** 愛のない者になり、和解できない者になり、悪口を言うようになり、自制心がなくなり、粗暴な者となり、善いものをさげすみ、 **4** 裏切り者になり、勝手気ままの者になり、不遜な者になり、**神**を愛するより、快楽を愛する者になるからです。 **5** 敬虔な姿形をしながら、敬虔の力を否定する者となります。そういう者たちから離れよ。 **6** なぜなら、この類の者たちは、家人たちの中に忍び込み、数々の欲望に引き渡されている女たち、つまり罪を負った愚かな女たちを虜にします。 **7** 常に学んではいても、真理に関わる知識に達することができない者たちです。 **8** 正に、ヤンネとヤンブレがモーセに敵対したように、

この者たちも真理に敵対します。心の腐った者たちであり、信仰に関しては不合格者です。**9** しかし、ヤンネとヤンブレの愚かさもすべての人に明らかになったように、そういう者たちの愚行も明らかになるので、これ以上進みません。**10** しかし、あなたは私の教理、生き様、目的、信仰、寛容、愛、忍耐についてきました。**11** アンテオケで、イコニオムで、ルステラで起きた私への迫害と苦悩、私が耐えた迫害をあなたはついてきました。私は何という迫害を耐えたでしょう。そのすべての迫害から、**主**は私を救い出してくださいました。**12** そして、すべてキリスト・イエスにあって敬虔に生きたい者は全員迫害を受けます。**13** しかし、悪い者たちと詐欺師たちはますます悪質になり、騙し、騙されます。**14** しかし、誰から学んだかを忘れず、学び、そして、確信したことに、あなたはとどまりなさい。**15** そして、キリスト・イエスによる信仰を通して、救いのための、あなたを智者にする聖書を、あなたは小さい時から知っていることを忘れてはいけません。**16** 聖書はすべて**神**の息吹①であり、教理のため、間違いを正すため、更正のため、義の指導のために有益です。**17** それは**神**の男が完成し、すべての善い業に向け準備されるためです。

4

1 したがって、**神**の御前と、ご来臨、そして王国の折、生きている者たちと死人たちを裁く**主**イエス・キリストの御前に、私はあなたを厳命します。**2** 御言葉を説きなさい。時が良くても悪くても備えなさい。すべての寛容と教えで、納得させ、叱責し、勧めなさい。**3** なぜなら、人々は健全な教理に耐えられず、自らの欲望により、耳障りのいいことを聞きたがり、己自身のため、教師の数を増し、**4** 自らの耳を真理から遠ざけ、たわごとの方に向きを変えます。**5** しかし、すべてに気をゆるめず、苦しみを耐え、巡回伝道師の働きをし、奉仕を全うしなさい。

16
① 普通は「霊感」と訳すが、ギリシャ語から考えて、これは不適切である。また、「霊感」とは、元々仏教語である。

6 さて、私はすでに注ぎの供え物として注がれていて、私の去る時はすでに来ています。**7** 私は立派に戦い、完走し、信仰を守ってきました。**8** 最後に、正しい裁判官である**主**が、かの日に私に与えてくださる義の冠は、私のために保管されています。そして、私のためにだけではなく、**主**の来臨を慕うすべての者のためです。

9 私の所に急いで来るように努力しなさい。**10** なぜなら、デマスは今の世を愛し、私を捨て、テサロニケの方へ去りました。また、クレスケンスはガラテヤに、テトスはダルマテヤに去り、**11** ルカのみが私と共にいます。マルコの所に行き、連れて来なさい。マルコは奉仕のため、私には有用な人物だからです。**12** そして、私はテキコをエペソに遣わしました。**13** トロアスでカルポの所に置いてきた外套、それと書物、特に羊皮紙の書物を持って来なさい。**14** 銅細工人のアレキサンデルは、私に一度ならず大変な悪をしました。**主**が彼の行為に応じて彼に報われますように。**15** アレキサンデルは強く私たちの言葉に抵抗したから、あなたも彼に気をつけなさい。

16 私の最初の弁明の時、全員私を見捨て、誰も共に立ちませんでした。このことで彼らが罪と定められませんように。**17** しかし、**主**は私と共に立ち、私を強固にしてくださったので、御教えは私を通して完全に理解され、また全異邦人が聞くことができるためです。そして、私はライオンの口から助け出されました。**18** そして、**主**はすべての悪い行為から私を救い出し、ご自身の天の王国のために私をお守りくださいます。栄光は永遠から永遠まで**主**にありますように。アーメン。

19 プリスカとアクラにご挨拶をしてください。また、オネシポロの家人にご挨拶をしてください。**20** エラストはコリントに留まったが、私は病気のトロピモをミレトに残して来ました。**21** 冬になる前に、何としてでも早く来なさい。ユブロ、プデス、リノス、クラウデヤ、またすべての兄弟たちが、あなたによろしくと言っています。

22 **主**イエス・キリストがあなたの霊と共におられますように。恵みがあなたと共にありますように。アーメン。

テトスへの手紙

1

1 **神**の僕の一人、そして、イエス・キリストの使徒の一人であるパウロ。**神**が選ばれた者たちの信仰、そして、敬虔を生じる真理の知識により、

2 時の始まる以前、嘘をつくことのできない**神**が、約束された永遠の命の望みです。

3 しかし、私たちの**救い主**であられる**神**の命令により、私に委ねられた宣教で、時至り、**神**はご自分の御言葉を明らかにされました。

4 共の信仰により、私の真の子の一人であるテトスへ。**父**なる**神**であられ、私たちの**救い主**であられる**主**イエス・キリストより、恵み、哀れみ、平安がありますように。

5 私があなたをクレテに残した理由は、私があなたに命じたように、不十分な所を順に補い、そしてすべての町で長老を選ぶためです。

6 長老となるべき者は、非難されるところがないか、一人の妻の一人しかいない夫かどうか、忠実な子供がいて、その子供は放蕩や不従順で訴えられたことはないか、という条件です。

7 なぜなら、監督は非難されるところがない人でなければなりません。すなわち、**神**の執事として非難されるところがなく、放縦でなく、気短でなく、葡萄液を好まず、暴力をふるわず、金銭欲のない人であるべきです。

8 反対に、よく人をもてなし、善なるものを愛し、冷静で思慮深く、公正で、敬虔で、自らを律し、

9 教えられた真実の御言葉を握っている人であるべきです。それは、健全な教理で勧め、反対者たちを糾弾することができるためです。

10 なぜなら、不従順な者、無駄話をする者、人を騙す者は多くいます。特に割礼者に多くいます。

11 そういう者たちの口を閉じるべきです。彼らは汚い利益のため、教えてはいけないことを教え、家人全員をひっくり返します。

12 クレテ人自身である、つまりクレテ人の一人の預言者は言いました。「クレテ人はいつも偽りを言う者で、悪い獣で、怠け者の大食漢である。」

13 この証は本当です。したがって、信仰で健全になるために、彼らを厳しく糾弾しなさい。

14 ユダヤ人のたわごとや、真理から向きを返る者たちの命令①に留意しないようにするためです。**15** きよい者にとって、すべてがきよいのですが、汚されて信じない者たちにとってきよいものは何もなく、心と良心さえもが汚されています。**16** **神**を知っていると言いながら、彼らは行ないで**神**を否定し、憎むべき者であり、不従順であり、すべてのよい業から見捨てられた者です。

2

1 しかし、あなた自身は健全な教理のためにふさわしいことを、話しなさい。**2** すなわち、年老いた男たちは酒を飲まず、威厳があり、慎み深く、信仰、愛、忍耐に健全でありますように。**3** 同様に、年老いた女たちも、行ないが**神**にかなう者であり、他人の中傷を言う者ではなく、多量の葡萄液を好まず、善なることを教える人であるように、**4** そして、若い女たちに自分の夫を愛することと、自分の子どもを愛することを、年老いた女たちは勧めるように、**5** また、思慮深く、貞淑であり、自分の家を守る人であり、善良で、自分自身の夫に従順であるように、勧めるようにしなさい。それは**神**の御言葉が冒涜されないためです。**6** 同様に、若い男たちは正常な心であるように勧めなさい。**7** すべての点に、あなた自らがよい行ないの模範を示し、教理では、高潔であり、品格があり、清廉潔白を示しなさい。**8** 糾弾の余地がない健全な言葉を言いなさい。あなたに関して悪く言うことが皆無で、反対者が恥じ入るためです。**9** 僕たちは、口答えせず、すべてのことに、自分自身の主人たちを満足させるよう、逆らわないように勧めなさい。**10** くすねることなどせず、むしろすべてに、忠誠を示しなさい。私たちの**救い主**であられる**神**の教理を美しくするためです。**11** なぜなら、救いをもたらす**神**の御恵みはすべての人に表れており、**12** 不敬虔、そして世俗的な欲望を否定し、真摯に、

---

14 ① 世間の常識。

正しく、敬虔深くこの時代を生きるべきであり、

13 祝福の希望、そして偉大なる**神**と私たちの**救い主**であられるイエス・キリストの現れ、また栄光の来臨を待ち望むように、私たちに教えています。

14 すべての違法な行ないから私たちを贖うため、またよい行ないに熱心な、特別な国民を、ご自身のために清めるため、キリストはご自身を私たちのためにお与えになりました。

15 これらのことを話し、勧め、すべての権威をもって糾弾しなさい。誰からも疎んじられてはいけません。

3

1 支配者たちと権威者たちの支配下に入り、命令に従い、すべてのよい行ないのために備え、

2 人の中傷を言わず、平和的に、穏やかに、すべての人に対して謙虚であるように忘れないようにさせなさい。

3 なぜなら、私たちも以前は愚かで、不従順であり、欺かれ、様々な欲望と快楽に仕え、悪意とねたみの内に生活し、憎み、互いに憎まれていました。

4 しかし、私たちの**救い主**であられる**神**の親切と愛が現われた時、

5 私たち自らが行なった義の行為によってではなく、**神**ご自身の哀れみによって、**救い主**は私たちを救ってくださいました。新生の洗浄と**聖霊**の更新とを通してです。

6 私たちの**救い主**イエス・キリストを通して、**聖霊**は豊かに注がれました。

7 それは、キリストの御恵みによって義と認められた私たちは、あの永遠の命の希望による相続人となるためです。

8 これは信頼すべき言葉です。ですから、**神**を信じた人々が思慮深く、よい行ないを続けることができるように、これらのことをあなたが絶えず断言することを、私は求めます。これらのことは人々にとってよいこと、また役に立つことです。

9 しかし、愚かな議論、系図、論争、律法に関する争いは役に立たず、むだであるから、避けなさい。

10 一度か二度の忠告の後、分裂を起こす者①を拒否しなさい。

11 あなたの知っているとおり、そういう者は歪んでいて、自らを有罪としていながら、罪を犯しています。

12 アルテマスかテキコをあなたのところに遣わす時、ニコポリにいる私のところにがんばって来なさい。私はそこに冬を過ごすと決めたからです。

13 律法の専門家ゼナスとアポロは、道中不足なものがないよう、急ぎ送り出しなさい。

14 そして私たちの仲間たちも、どうしても人が必要とする物を与えるために、よい行ないを維持することを学ばせなさい。実を結ばない者にならないためです。

15 私と共にいる者全員、皆さんに挨拶を送ります。信仰を添えて、私たちを愛している人々に挨拶を送ってください。恵みがあなたがた全員と共にありますように。アーメン。

---

10 ① 異端者。

ピレモンへの手紙

1

1 キリスト・イエスの囚人であるパウロと、私たちの兄弟テモテより、私たちの同労者である、愛するピレモンへ。**2** また、愛するアピヤ、そして私たちの戦友アルキポ、そしてあなたの家にある教会へ、**3** 私たちの**父**なる**神**と**主**イエス・キリストから、あなたがたに恵みと平安がありますように。**4** 私は祈りで、常にあなたのことに言及し、私の**神**に感謝しています。**5** **主**イエスに対して、またすべての聖徒たちに対して、あなたの持っている愛と信仰を聞き及んでいます。**6** それは、あなたの内にあるすべてのよい行ないが知られることで、キリスト・イエスに向けての、あなたと共有している信仰が、力あるものとなるためです。**7** 私たちはあなたの愛に、大きな喜びと慰めを得ているのは、兄弟よ、聖徒たちの心は、あなたを通して鼓舞されているからです。**8** ゆえに、ふさわしいことは何でも、キリストにあって、あなたに大いに大胆に命じることができるのが、**9** 愛のため、このように老齢なパウロ、そして今イエス・キリストの囚人ですが、あえて、お願いします。**10** 私は、鎖につながれた状態で、生んだ子、オネシモのために、お願いします。**11** オネシモは以前、あなたにとって役立たずでしたが、今はあなたにも、私にも役に立っています。**12** 私はオネシモを送り返します。ですから、あなたはオネシモ、私の心であるこの人を受け入れてください。**13** 福音のため、鎖につながれた私の世話を、あなたに代わってオネシモにさせるため、私はオネシモを手元に置きたかったのです。**14** しかし、あなたの許可なしで、私は何事もしたくありませんでした。それは、あなたの良い行ないが、義務からでなく、自発的である、必要があったのです。**15** なぜなら、あなたがオネシモを永遠に受け入れるために、オネシモは多分しばらくの間、そのために出て行きました。**16** もう奴隷としてではなく、奴隷を超越する、愛する兄弟として、特に私にとってはそうですが、あなたにとってはなおのこと、肉にあっても**主**にあっても、オネシモを受け入れてください。**17** ですから、私を仲間として思っているのなら、オネシ

モを私だと思って、受け入れてください。

18 しかし、もしオネシモがあなたに負い目があるなら、また、負債があるなら、それは私の帳簿に記載してください。

19 私、パウロは、自分の手で書いています。私は支払いします。あなた自身が負債であることは、触れないでおきます。

20 そうです、兄弟よ、主にあるあなたからの喜びを、私にください。**主**にあって私の心を鼓舞してください。

21 私が言ったこと以上のことを、あなたはしてくれると知っています。それで、あなたが実行してくれると確信し、これを書きました。

22 それで、私のために、宿舎を用意してください。あなたの祈りを通して、私があなたの所に、行かせて頂けると希望しているからです。

23 キリスト・イエスにあって、私と共に囚人であるエパフラスが、あなたに挨拶を送ります。

24 私の同労者、マルコとアリスタルコとデマス、ルカも挨拶を送ります。

25 私たちの**主**イエス・キリストの御恵みが、あなたがたの霊と共にありますように。アーメン。

ヘブル人への手紙

1

1 多くの時代に、いろいろな方法で、昔預言者たちを通し、父祖たちに語られた**神**は、

2 この最後の日々に、**神の御子息**を通して私たちに語られました。**神**は**御子息**をすべてのものを引き継ぐ者と指名されました。また、この方を通して**神**は森羅万象を造られたのです。

3 **御子息**は**神**の栄光の輝き、またその本質の完全な現われであり、ご自分の御言葉の力によって、すべてを支えておられます。**御子息**はご自身を通して私たちのもろもろの罪をきよめられた後、高い所におられる、至高者の右に座られました。

4 **御子息**は相続によって御使いたちよりもっと優秀な御名を得られたことで、御使いたちよりはるかに優れた方となられました。

5 なぜなら、「あなたはわたしの**子**であり、わたしは今日あなたを生んだ。」と、以前どの御使いに、**神**は言われましたか。さらにまた、「わたしは彼のために**父**となり、彼はわたしに**子**となる」と**神**が言われたことがありますか。

6 そして、この長子を世に導き入れられた時、「**神**のすべての御使いたちに、この方を礼拝させなさい」と言われます。

7 そして、「ご自分の御使いを霊にし、ご自分の奉仕者を火の炎にする」と御使いについて言われます。

8 しかし、**御子息**に言われます。「**神**よ、あなたの御座は、永遠から永遠までであり、義の笏はあなたの王国のである。

9 あなたは義を愛し、不義を憎まれた。従って、**神**、すなわちあなたの**神**はあなたに喜びのオリーブ油を、あなたの仲間の者たち以上に、注がれた。」

10 そして、「**主**よ、あなたは最初に地の土台を据えられ、そして、天はあなたの手の作品である。

11 天と地は消滅するが、あなたは残られる。そして、これらすべては上着のように古くなる。

12 あなたは天と地を、外套のように巻かれると、天と地は変わる。しかし、あなたは同じであり、あなたの年齢は終わることがない。」

13 しかし、「わたしはあなたの敵をあなたの足台にするまで、わたしの右に座りなさい。」と、**神**はどの御使いに言われたことがあったでしょうか。

14 御使いたちは、救いを相続する人々に奉仕するため遣わされた、仕える霊ではありませんか。

2

1 従って、聞いたことを絶対に漂失させないため、さらに真剣に注意しなければなりません。2 なぜなら、御使いたちを通して話された御言葉が、確かであると証明され、すべての違反と不従順が公正な報酬を受けたなら、3 最初、主によって話され、主の御言葉を聞いた人たちにより確認され、私たちに伝えられた、この偉大な救いを無視したなら、どうして私たちは逃れることができるでしょうか。4 神ご自身のご意志による、しるしと不思議な業、数々の奇跡、そして聖霊の賜物で、神もまた証言しておられます。5 なぜなら、私たちが話している、来たるべき世界を、神は御使いたちの権威の下に置かれてはいません。6 しかし、一人の人が、あるところで証して言っています。「あなたが心に留めてくださる人間とは何者か。また、あなたがはぐくんでくださる人の子とは、何者か。7 あなたは彼を御使いたちより少し低くされた。あなたは彼に栄光と栄誉の冠をかぶらせ、御手の作品の上に置かれた。8 あなたは万物を彼の足の下に置き従わせた。」なぜなら、神が万物を彼の下に置き、服従させたのだから、神は人の子に従わないものは、何も残していません。しかし今はまだ、人の子の下にあるすべてのものを、私たちは目にしていません。9 しかし、御使いたちより少し低くされたイエスが、死の苦しみのため、栄光と名誉の冠をお受けになったことを、私たちは見ています。それは、イエスが神の御恵みによって、すべての人のために、死をお味わいになるためでした。10 なぜなら、万物のものは神のため、そして、万物を作られたのは神であられます。多くの子を栄光に導くのに、神がこの子たちの救いの先導者を、苦しみを通し、完璧な方にされました。それをやり遂げるには、神にとってふさわしいことでした。11 実際に、聖別する方も聖別される者たちも、すべて一つから出たものです。そのため、イエスは彼らを兄弟と呼ぶことを恥とせず、12 言われます。「私は御名を私の兄弟に告げる。集会中に、あなたを賛美する歌を歌う。」13 そしてまた、「私はあの方を信頼する。」そしてまた、「見よ、神が私に与えてくださった、子どもたちと私はここにいる。」14 それで、この子どもたちは同じ肉と血を持っているから、その方自身も同じ血と肉を持っておられました。それ

は死の力を持っている者、つまり悪魔を、死を通し滅ぼすためです。
15 そして、死の恐怖のため、全生涯、拘束されている人々を解放してくださるのです。
16 なぜなら、間違いなくこの方は、御使いたちに助け出すのではなく、アブラハムの種に助け出してくださいます。
17 それで、民の罪を消去するため、**神**の領域に関して、キリストは哀れみ深い忠実な大祭司になり、すべての点でご自分の兄弟たちと同じになられる必要があったのです。
18 なぜなら、キリストご自身、苦しまれ、試みられたのですから、試みに会う者たちを助けることがおできになるのです。

3

1 従って、聖なる兄弟たちよ、天の招待に預かる人々よ、私たちの証の使徒と**大祭司**であられるキリスト・イエスについて深く考えなさい。
2 モーセが自ら**神**の家全体に忠実であったように、キリストもご自分を任命された方に対して忠実であられました。
3 なぜなら、家を建てる人はその家より栄光があるように、モーセ以上に栄誉を与えられるのに、ふさわしい方なのです。
4 家という家は人によって作られます。しかし、万物を造られたのは**神**であられます。
5 そしてのちに話される証として、モーセは**神**の家全体に、僕としてまことに忠実でした。
6 しかし、キリストはご自身の家の**御子息**として、忠実に取り仕切っておられます。もし私たちが希望の確信と誇りを最後までしっかり握っていれば、私たちがその家なのです。
7 従って、**聖霊**が言われるように、「今日、もしあなたがたが**神**の御声を聞くことがあれば、
8 荒野での試練の反逆の時のように、自らの心を頑なにしてはいけない。
9 そこで、あなたがたの父祖たちは**神**であるわたしを試し、試み、わたしの業を見ていた。
10 だから、わたしはその世代に対して憤って、言った。『彼らはいつも心の中で道を外れ、わたしの道を理解しなかった。』
11 それで、わたしは憤りながら宣誓した。『その者たちはわたしの休息の場に入ることはない。』」
12 兄弟たちよ、あなたがたの中で誰一人として、生ける**神**から離れ、不信の悪い心の者がいないように気をつけなさい。
13 むしろ、あなたがた誰一人もが、罪によりごまかされ

て頑なにならぬように、今日と呼ばれる日の内に、毎日互いに勧め合いなさい。

14 なぜなら、もし私たちの最初の確信をしっかり最後まで持ち続ければ、私たちはキリストと繋がっている者となります。

15 それはこう言われている間です。「今日、もしあなたがたが**神**の御声を聞くことがあれば、荒野の試練の反逆の時のように、自らの心を頑なにしてはいけない。」

16 というのは、聞いて反逆をしたのは誰ですか。それはもちろん、モーセに導かれてエジプトを出た全員ではありませんか。

17 それに、**神**は誰に対して四十年間憤っておられましたか。罪を犯し、荒野で死んで倒れたあの者たちにではなかったのですか。

18 そして、彼らは**神**の休息に入ることはないと、誰に対して**神**は宣誓されたのですか。従わなかった者たちに対してではなかったのですか。

19 そして、不信仰のために、彼らは入れなかったのだと、私たちは分かります。

4

1 従って、**神**の休息に入る約束は残されていると言って、あなたがたの中に、到達しない者がいないよう、恐れましょう。

2 なぜなら、もちろん、私たち同様、福音は彼らにも説かれましたが、説かれた言葉は役には立ちませんでした。聞いたその者たちは、聞いたことに信仰を結びつけなかったからです。

3 「それで、わたしは憤りながら宣誓した。『あの者たちは、わたしの休息に入ることはない。』」と**神**が言われたように、信じた私たちはその休息に入っています。しかし、あの数々の御業は世の基礎づくりの時に、完成されています。

4 なぜなら、**神**はある箇所で七日目についてこのように言っておられます。「そして**神**はご自分の全作業を終えて、七日目にお休みになられた。」

5 また、この箇所にも、『彼らはわたしの休息に入ることはない。』とあります。

6 ある人々が休息に入ると言うことは、まだ残っているからです。そして、これを最初に説かれた人々は、不従順のため、入りませんでした。

7 ですから、**神**はある日を指定し、ダビデを通して「今日」と言われ、かなり長い時を経てから言われたように、「今日、御声を聞くことがあれば、あなたがたは自らの心

を頑なにしてはいけない。」

8 なぜなら、もしヨシュアが彼らを休ませたなら、**神**は後で、別の日については言及されなかったでしょう。

9 **神**の民のために、休息はまだ残っているのです。

10 なぜなら、**神**はご自分の御業を休まれたように、**神**の休息に入った人も自らの行為を休みとするからです。

11 従って、同じ不信仰のあの見せしめに誰も陥らないよう、その休息に入るため、懸命に努力しましょう。

12 なぜなら、**神**の御言葉は生きていて、力に溢れ、いかなる両刃の剣より鋭く、たましいと霊、また、関節と骨髄の分かれ目までも突き通し、心の思いと考えを判別する能力があります。

13 そして、**神**から隠れることのできる被造物は何一つなく、私たちが弁明せねばならない**神**の御目には、すべては裸であり、開け放たれています。

14 数々の天を通って来られた偉大なる大祭司、**神の御子息**イエスが私たちについていることを知っておられ、私たちが宣言したことをかたく保持しましょう。

15 なぜなら、私たちの大祭司は私たちの数々の弱さに関して、同じ心を持っていない大祭司ではなく、私たちと同様、あらゆる点で誘惑されたのに、罪の圏外におられました。

16 従って、哀れみを受けるため、そして必要な時に御恵みをいただくため、私たちは恐れず、御恵みの王座に近づきましょう。

5

1 それで、どの大祭司も人々の中から選び出され、人々の代わりに**神**に関する事柄で指名されています。それは、大祭司が罪のための捧げ物も生け贄も、捧げるためです。

2 大祭司自身も弱さをまとっているので、無知な人や迷っている人にやさしく同情することができます。

3 従って、彼は民のためと同様に、同様に大祭司自身のためにも、罪のために捧げなければなりません。

4 そして、誰もこの名誉を、己のためには手にしません。**神**に召された人、アロンのような人だけです。

5 そして、このように、キリストは大祭司になられるために、ご自分に栄光を与えられたのではありません。しかし、「あなたはわたしの**子**である。私は今日あなたを生んだ。」とキリストに言われた方が、そうなさいました。

6 また、別の箇所でその方は言われました。「あなたは永遠にメルキゼデクの系統の祭司である。」

7 キリストは肉体であられた日々、祈りと懇願を激しい叫びと涙で、ご自分を死から救うことのできる方に捧げ、

敬虔の故、聞き入れられました。
8 **御子息**であられたのに、苦しまれた数々のことにより、従順を学ばれました。
9 そして完遂され、ご自分に従うすべての者たちの、永遠の救いの源泉になり、
10 「メルキゼデクの系統の祭司として」**神**に召されました。
11 彼について、私たちは話すべきことは多々ありますが、説明は難しい。あなたがたは聴力が鈍くなったからです。
12 なぜなら、もう、教師になっていなくてはならない時なのに、**神**の御言葉の基本原則の数々を、あなたがたにもう一度教える人が必要です。あなたがたには、固形食でなく、ミルクが必要です。
13 なぜなら、すべてミルクを飲む者は、乳飲み子なのだから、義の御言葉には経験がないのです。
14 しかし、固形食は成人に達した人たちの物です。すなわち、五感を使うことにより、善悪を判断できるよう、鍛えた人たちのものです。

6

1～2 そういうわけで、キリストの基本原則の詳細は後に残し、成熟に向けて前進しましょう。死んでいる行為①からの悔い改めと、浸しの教理、手を置くこと②、死人の復活、永遠の裁きなどの、**神**に対する信仰の基礎を築くことなしにです。
3 **神**が許してくだされば、私たちはこれを実行します。
4 なぜなら、次のことは不可能です。一度光に照らされ、そして、天の賜物を味わい、**聖霊**に預かる者たちになり、
5 **神**の善き御言葉と来るべき時代の力を味わった者たちが、
6 背教をしたならば、再度、悔い改めに導くことなど不可能です。彼ら自ら、**神の御子息**を改めて十字架につけ、**御子息**を人前で辱めるからです。
7 なぜなら、よく降る雨を飲み、それを耕す人たちのために役に立つ植物をもたらす土地は、**神**から祝福を受けます。
8 しかし、茨やあざみが生じさせれば、その土地は見捨てられ、呪われたも同然で、その土地の終焉は焼却です。

---

1 ① むなしい行為。
2 ② 按手礼。

9 しかし、愛する人たちよ、私たちはこうは言っているが、あなたがたに関してさらに良い、つまり、これもまた、救いを伴うことと私たちは確信しています。**10** なぜなら、あなたがたが示した**神**の御名に対し働きや愛の労働、昔も今もしている聖徒たちへの奉仕を忘れられるほど、**神**は不公正な方ではあられません。**11** そして、あなたがた一人一人が、この希望に全幅の確信を示し、最後まで勤勉でいることを私たちは望んでいます。**12** それは、あなたがたは怠惰にならずに、信仰と忍耐を通して約束を相続する人たちを見習う人になるためです。**13** なぜなら、**神**はアブラハムに約束された時、ご自分より偉大な方によって宣誓することがあり得なかったので、ご自分をさしてお誓いになり、**14** 言われました。「間違いなく、あなたを祝福することで、あなたを祝福し、あなたを増やすことで、あなたを増やす。」**15** それで、アブラハムは忍耐を持って耐えた後、その約束を獲得しました。**16** なぜなら、確かに、人々はより大きいものによって宣誓します。そして確証を生じるための誓いは、すべての論争を終わりにします。**17** 約束の相続者にご自分の約束が変わらないことをさらに示そうと決心され、**神**は誓いを立てられ、仲立ちなされました。**18** それは、**神**は偽ることができない、二つの不変のものにより、私たちには力強い慰めがあるためです。目の前に置かれた希望をしっかりつかむため、私たちは災難を逃れたのです。**19** 私たちがたましいの錨として持っているこの希望は、確実であり、また不動です。そして、私たちの希望は幕の中に入って行くのです。**20** 私たちのため、メルキゼデクの系統での、永遠の大祭司とされたイエスは、先駆けとしてそこに入られました。

7

1 それで、サレムの王であり、最高位の**神**の祭司であるこのメルキゼデクは、王たちの虐殺から帰るアブラハムに会い、アブラハムを祝福しました。**2** アブラハムはこの人にすべてのものの十分の一を捧げました。このメルキゼデクとは、まず、「義の**王**」と訳され、それからサレムの**王**、すなわち「平和の**王**」と訳されています。**3** メルキゼデクは父もなく、母もなく、系図もなく、日々の始まりも命の終わりもなく、**神の御子息**のようにされ、いつまでも祭司としてとどまります。

4 それで、族長アブラハムさえも戦利品の最上のものから十分の一を分け、捧げられたこの人が、いかに偉大であったかを想像して見なさい。**5** そして、もちろんレビの息子たちの中で、アブラハムの体から出たのに、祭司職を受ける者たちは、民から、すなわち彼らの兄弟たちから、律法によって十分の一献金を受けよ、との命令があります。**6** しかし、彼らの系図から出ていない人が、アブラハムから十分の一献金を受け、この約束を有するアブラハムを祝福されました。**7** 下位の者が上位の者に祝福されるのは、矛盾は全くありません。**8** 一方で、死すべき者たちは十分の一献金を受けるが、他方で、生きていると証言されているその人はそれを受けます。**9** そして、十分の一献金を受けたレビさえも、アブラハムを通して十分の一献金を捧げたと言えます。**10** なぜなら、レビの父がメルキゼデクに会った時、レビはまだ彼の父の体の中にいました。**11** その祭司職の下で民は律法を受けました。従って、もしレビ人の祭司職を通してのものが完璧であるなら、アロンの系統によって立たせずに、メルキゼデクの系統によって、もう一人の祭司を召し出す必要がありますか。**12** なぜなら、祭司職と言うものを変えれば、律法も変える必要があります。**13** これらのことについて言われている方は、他の部族に属しておられ、祭壇に仕えたことのない部族です。**14** なお、モーセが祭司職について何も言及しなかった部族であるユダから、私たちの**主**が上がられたことは事実だからです。**15** それに、メルキゼデクのようなもう一人の祭司が上がられたことによって、さらにもっとはっきりします。**16** この方は肉体に関する律法の命令を通さず、終わることのない命の力によって来られました。**17** なぜなら、この方は証されています。「あなたは永遠にメルキゼデクの系統の祭司である。」**18** こうして、一方、以前の命令は脆弱、また役に立たないことのため、廃止です。**19** なぜなら、律法で完成したものは何もありませんでしたが、他方、良い希望がもたらされ、その希望を通して私たちは**神**に近づくのです。**20** そして、その方は宣誓なしに、祭司にされませんでした。**21** （なぜなら、その者たちは宣誓なしで祭司になったが、

この方はご自分にこう言われた神の宣誓によって、なられました。すなわち、「主は宣誓して、悔やまない。『あなたは永遠にメルキゼデクの系統の祭司である。』」）

22 イエスがさらに有利な契約の保証人になられたことによってです。

23 そして、多くの祭司は職を続けることはできませんでした。死が妨害するからです。

24 しかし、この方は永遠に留まりますから、この方は変わることのできない祭司職についておられます。

25 そして、人々のため、とりなしをされるため、常に生きておられます。従って、またご自身を通して神に行く人々を、完全に救うことがおできになります。

26 それで、こういう大祭司が私たちにふさわしいのです。この方は聖であられ、悪意がなく、汚れていず、罪人からは隔離されておられ、そして処々の天より高くなっておられます。

27 この方は他の大祭司のように、まずご自身の罪のため、それから民の罪のため、毎日生け贄を捧げることを要求なされません。なぜなら、ご自分を捧げた時、一度で、すべてを完結されたからです。

28 律法は弱さのある男たちを大祭司として任命しますが、律法の後に来た誓いの言葉は、永遠に完全無欠の御子息を任命します。

8

1 私たちの話していることの要点はこうです。私たちには、天におられる、至高者の王座の右に座っている大祭司がおられます。

2 人間ではなく、主が建てられた真の幕屋と、その大祭司はこの聖所の奉仕者です。

3 なぜなら、すべての大祭司は、捧げ物と生け贄を捧げるために任命されています。従って、この大祭司も何か捧げる物を持っておられる必要があります。

4 それで、もしイエスが地上におられたなら、祭司になることはありません。律法によって捧げ物を捧げる祭司たちがいるからです。

5 祭司たちは天の写しと影に対して仕えているのであって、その写しと影はモーセが幕屋を建てようとした時、神から厳しくお告げを受けたその型のとおりのものです。つまり、「山上で示された型に模して、注意してすべてを造りなさい。」と神はこう指示されました。

6 しかし、さらにイエスは、前よりよい、優れた奉仕を受けられました。ですからイエスは、さらによい約束に基

く、さらによい契約の仲介者なのです。

7 なぜなら、あの最初の契約に欠点がなかったとすれば、第二の契約を求める余地はなかったでしょう。

8 なぜなら、祭司たちを非難して、**神**は言われます。「見よ、と**主**は言われる。わたしにはイスラエルの家とユダの家と、新しい契約を結ぶ日々が来つつある。

9 それは、イスラエルの父祖たちをエジプトの地から導き出すために、父祖たちの手を取った、あの日の契約とは同じでない。彼らはわたしの契約にとどまらなかったからである。それで、わたしは彼らを無視した、と**主**は言われる。

10 なぜなら、その日々の後、イスラエルの家とわたしが結ぶ契約はこれである、と**主**は言われる。わたしはわたしの律法を彼らの英知の中に入れ、彼ら各自の心に刻む。そして、わたしは彼らの**神**となり、彼らはわたしの民となる。

11 その中の誰も、隣人に、また兄弟に、『**主**を知りなさい。』と言って、教えることはない。なぜなら、最も小さい者から最も偉大な者まで、彼ら全員、わたしを知るからである。

12 こうして、わたしは彼らの不義を哀れみ、彼らの罪と不法の行為を、わたしはもう思い出さない。」

13 「新契約」と**神**は言われます。**神**は最初の契約を旧と宣言とされたのです。それで、旧となったものは、古くなり、消え去ろうとしているのです。

9

1 それで、無論、最初の契約にも**神**への奉仕に関する規定があり、そして地上の聖所がありました。

2 なぜなら、天幕は準備されていました。前部は聖所と呼ばれる所で、燭台と机と供えのパンがあり、

3 それから、第二の幕の後ろに、至聖所と呼ばれる、天幕の後部があり、

4 そこに黄金の香壇と、全面、黄金でおおわれている契約の箱があり、その中にマナが入っている金の壺があり、芽を出したアロンの杖、そして契約の二枚の石板がありました。

5 その箱の上に、贖罪蓋を翼でおおっている栄光のケルビム①がありました。こういうことを、私たちは今、詳しく話をすることはできません。

6 さて、これらのものはこのように準備されると、祭司たちはいつも天幕の前部に入り、奉仕を行なっていました。

7 しかし、後部には、大祭司が年に一度、自らのために、また民が無知で犯した罪のために捧げる血を必ず携え、一人で入りました。

8 最初の天幕がまだ立っていたころは、至聖所に入る道はまだ明確にされてはいなかった、と**聖霊**は示しておられます。

9 天幕は今の時代のための象徴です。捧げ物も、生け贄も捧げられるが、その捧げ物も生け贄も、それを捧げる奉仕をする人を、良心に関しては完全なものにはできません。

10 それはただ単に、食べ物や飲み物、さまざまな浸しに関することであり、改正される時まで、課せられた肉の規定です。

11 しかし、キリストは、来るべき良きものの大祭司として来られました。手で造られたのではない、つまりこの世の創造ではない、もっと優れた、さらに完璧な天幕を通して、キリストは来られたのです。

12 山羊の血、子牛の血でもなく、ご自身の血で聖なる所々にただ一度だけ入り、永遠の贖いを得られたのです。

13 なぜなら、もし肉体を清めるために、雄牛や山羊の血や、また汚れた者たちにふりかけた、雌牛の灰が、聖別するとしたら、

14 永遠の**御霊**を通して、欠点一つも無いご自身を**神**に捧げられた、キリストの血は、なおさらのこと、生きておられる**神**に仕えるため、あなたがたの良心を死んでいる行為から、浄化されるのではありませんか。

15 そしてこのために、キリストは新しい契約のただ一人の仲介者であられます。それは、キリストは死なれたゆえに、呼ばれた者たちが永遠の相続の約束を受けることができるように、最初の契約①の下での違反をお贖いになるためです。

16 なぜなら、遺言①書がある場合、遺言者の死を示す必要もあるのです。

---

5 ① ケルビムとは、翼のある天使である。

15 ① モーセの契約。

16 ① 新約聖書のギリシャ語には、「契約」と「遺言」は同じ単語である。

17 なぜなら、遺言者は生きている間、その遺言書には何の力もありません。人が死んだ後、有効になります。**18** 従って、最初の契約でさえ、血なしで確定されたのではありません。**19** なぜなら、律法によって、命令はモーセによってすべての民に教えられ、モーセは子牛と山羊の血を手に取り、水、真紅の羊毛、そしてヒソプで、契約の書そのものとすべての民にふりかけ、**20** 言いました。「これは**神**があなたがたに命令された契約の血です。」**21** そしてモーセは同様に、天幕に、そして奉仕のすべての器具にも血をふりかけました。**22** そして、律法によると、ほとんどすべてのものは血によって清められます。それで、血を流さずに罪の赦しはありません。**23** 従って、天にあるものの写しはこれらによって清める必要があったが、天のもの自体はこれらより良い生け贄によって清められます。**24** なぜなら、真のものの複製品に、すなわち手で作られた聖所に入られたのではなく、天国それ自体に、私たちのため、今、**神**の御前にお目見えされるため、キリストはお入りになられたのです。**25** それは、毎年、大祭司は彼以外の血を持ち、至聖所に入るが、それと違い、キリストは幾度も、ご自分を捧げる理由はありえません。**26** そうすれば、キリストは世の初めから幾度となく苦しまねばならなかったでしょう。しかし今、世々の終わりに、ただ一度ご自分の犠牲によって罪を取り除くために現れてくださったのです。**27** そして、人間には一度死ぬことと、その後の裁きが定められているように、**28** 同様に、多くの人の罪を負うため、キリストは一度捧げられました。そして、キリストを熱望して待っている人々に、キリストは二度目、罪なしで、救いのために現れます。

10

1 なぜなら、律法にあるのは、来るべき良きものの影であり、その良きものの姿そのものではありません。毎年、絶えず捧げ続ける、同じ生け贄で、律法は近づく人々を完全にすることは決してできません。**2** それでは、捧げ物が、捧げられることは終わったはずではありませんか。なぜなら、礼拝者たちはひとたび清められれば、もう罪の自覚はなかったはずです。

3 しかし、その生け贄の中に、毎年罪を思い起こさせるものがあります。**4** 雄牛や山羊の血が罪を取り除く可能性はないからです。**5** 従って、**主**がこの世に入られた時、言われました。「あなたは生け贄も捧げ物も好まなかったので、あなたはわたしのために体を準備した。**6** 全焼の生け贄も、罪のための生け贄も、あなたはお喜びにならなかった。**7** それでわたしは言った。『見よ、わたしは来る。巻物の書に、わたしについて書かれている。おう**神**よ、あなたのご意志を実行するためである。』」**8** 以前、言いました。「生け贄と捧げ物も、全焼の生け贄も、罪のための生け贄も、律法通りに捧げられた物、あなたはそれらを望まれず、お喜びにもならなかった。」**9** それでその方は言われました。「見よ。**神**よ、わたしはあなたのご意志を実行するために来る。」その方は次のものを立てられるため、前のものを取り払われるのです。**10** そのご意志によって、イエス・キリストの体を捧げられることを通し、私たちは全員、一度で永久に聖別されたのです。**11** そして、すべての祭司は毎日立ち上がり仕え、罪を取り除くことのできない同じ捧げ物を繰り返して捧げているのです。**12** しかし、一度、永遠に一つの生け贄を罪のため捧げた後、この方は**神**の右に座られ、**13** その時から、その方の敵がその方の足台にされるまで待っておられます。**14** 一つの生け贄により、聖別されている人々を永遠に完璧にされたからです。**15** しかし、**聖霊**も私たちに証されています。なぜなら、**聖霊**は以前言われました。**16** 「『それらの日々の後、わたしが彼らと結ぶ契約はこれである。』と**主**は言われる。『わたしはわたしの律法を彼らの心に入れ、彼らの英知にそれを記録する。』」**17** さらに後で言われました。「彼らの罪と不法の行為を、わたしはもう決して思い出さない。」**18** それで、これらの赦しがある以上、罪のための生け贄はもう存在しません。**19** 兄弟たちよ、従って、イエスの血によって大胆に至聖所に入り、**20** イエスが私たちのために、垂れ幕、つまりご自分の肉体を通り、生きる新しい道を確定されました。

21 そして、**神**の家を仕切る大祭司がおられるのだから、**22** 偽りのない心をたずさえ、信仰による全幅の確信で、そして後ろ暗い良心だったが、水を振りかけられた心で、そして純水で洗った体で、近づきましょう。**23** 約束してくださった方は真実なのですから、私たちの希望の言い表わしを、揺れ動くことなく、堅く握りしめましょう。**24** そして、愛と善い行ないを鼓舞するため、互いに配慮しましょう。**25** ある人々のように、共に集まることを止めたりせずに、かの日が近づいているのが見えて、なおさらのこと、互いにもっと励まし合いましょう。**26** なぜなら、真理の知識を受けてから、もし私たちが故意に罪を犯せば、もう罪への捧げ物は残っていません。**27** ただ、例の恐ろしい、あの予想される裁き、そして、敵対するものたちを食い尽くす、燃える怒りが残るだけです。**28** モーセの律法を拒む者は誰であれ、二人、または三人の証言で、情け容赦なく、死に至ります。**29** それで、**神の御子息**を踏みつけ、自らを聖別してくれた契約の血を、不潔とみなし、そして御恵みの**御霊**を侮辱した者は、なおさらのこと、どれほどもっと厳しい刑罰に値することを考えてみなさい。**30** なぜなら、「復讐は我にあり、我は借りは返す。」と**主**は言われます。そしてまた、「**主**はご自分の民を裁かれる」と言われた方を私たちは知っています。**31** 生ける**神**の手中に落ちると、恐ろしいことになります。**32** それで、明るみに出された後、あなたがたは、数々の苦しみの偉大なる戦に、耐えた以前の日々を思い出しなさい。**33** 時に、あなたがたは数々の非難、数々の迫害に会い、さらし者にされ、また時には、そのように扱われた人々の仲間にもなりました。**34** なぜなら、繋がれた私を、あなたがたは哀れみ、あなたがたの持ち物を奪うことを喜んで認めてくれました。天国ではあなたがたはもっと良い、不朽の物があると、自分たちの間に知っていたからです。**35** 大いなる褒賞があるのだから、自分たちの確信を捨て去ってはいけません。**36** なぜなら、**神**のご意志を行なった後、あなたがたが約束を受けるためには、忍耐が必要なのです。**37** 「なぜなら、今しばらく時間が経つと、来るべき方は来られる。遅れることはない。**38** それで、義人は信仰によって生きる。それで、退く者

がいれば、わたしの魂はその者を喜ばない。」

39 しかし、私たちは破滅まで退く者ではなく、魂を保つことに至るまで信じる者たちです。

11

1 さて、信仰は望むものの形態であり、目に見えないものの証拠を得るものです。

2 長老たちは、この信仰により、良い証は得られたからです。

3 私たちは信仰により、万物は、**神**の御言葉から造られたと、理解しています。ですから、目に見えるものは、目に現れているものから成ったのではありません。

4 アベルは信仰により、カインよりはるかに優れた捧げ物を、**神**に捧げました。**神**はアベルの捧げ物を認められ、アベルは正しいと証されました。アベルはこれを通して、死んでもまだ、語っています。

5 信仰により、エノクは連れ去られたので、エノクは死を見ませんでした。「そして、**神**はエノクを連れ去られたので、エノクは探しても見つからなかった。」連れ去られる前、エノクは**神**を喜ばせたと、この証を得ていたからです。

6 信仰がなければ、**神**に喜んで頂くことは不可能です。なぜなら、**神**の所に行く者は、**神**は存在され、そして、**神**を熱心に求める者に報酬を与えてくださることを、信じなければなりません。

7 信仰によりノアは、まだ見えていないものについて、警告され、敬虔な恐れに動かされ、自らの家の者たちを救うため、箱船を整えました。このことでノアは、世を裁き、信仰による義の相続者になりました。

8 信仰により、遺産として、受け取るべき所に出発せよ、と使命を受けた時、アブラハムは従い、行く所も知らず、出て行きました。

9 信仰により、外国に住んでいるように、アブラハムは約束の地に滞在し、同じ約束の共同相続者である、イサクとヤコブと共にテント生活をしていました。

10 それは、設計者も制作者も**神**であられる、土台のある町をアブラハムは待ち望んでいたからです。

11 信仰により、サラ自身も子を宿す力を受け、年齢が過ぎて子を産みました。約束された方が真実な方と、よく分かったからです。

12 従って、もう死んだも同然の一人の男から、空の星のように数多く、海辺の砂のように数え切れない子どもが生まれました。

13 この人々は全員、信仰を抱いて死にました。これらの

約束を受けずに、この人々は、遠くからこれらの約束を見て、確信し、その約束を歓迎し、自分たちは地上の外国人で、逗留者であると、認めました。

14 なぜなら、このようなことを言う人々は、祖国の地を求めていると、表明しています。

15 そして、真剣に、出立した国を思ったならば、帰る機会はありました。

16 しかし、彼らは今、さらに良い国、つまり天の御国を求めています。ですから、彼らの**神**と呼ばれることを**神**は恥とせず、彼らのために市を準備されました。

17 信仰により、試されたアブラハムはイサクを捧げ、数々のあの約束を受けたアブラハムは、ただ一人の生まれた息子を捧げました。

18 その息子について言われました。「あなたの種はイサクにあり、と言われる。」

19 **神**は死からさえも、イサクを復活させることができると、アブラハムは考えた末、結論を出し、比喩の言葉通りに、死から息子を受け取りました。

20 信仰により、来るべき数々のことに関して、イサクはヤコブとエサウを祝福しました。

21 信仰により、死に臨んでいたヤコブは、杖の頭部に身をゆだねながら、ヨセフの息子たちを一人一人祝福し、それから礼拝しました。

22 信仰により、死に臨んでいたヨセフは、イスラエルの子らの出国について思い、自分の骨について命じました。

23 信仰により、モーセは生まれると、両親はその子の美しさを見たので、王の命令を恐れず、三ケ月間、隠しました。

24 信仰により、年齢に達した時、パロの娘の息子と呼ばれることをモーセは拒み、

25 罪の短期間の快楽を楽しむより、むしろ**神**の民と共に苦しむことを選び、

26 エジプトの宝より、キリストの迫害の方が大いなる富と判断しました。なぜなら、その報いを求めていました。

27 信仰により、モーセは王の怒りを恐れず、エジプトを後にしました。モーセが耐えたのは、目では見えない方を、見ていたからです。

28 長子たちを亡き者とした方が、子どもたちに手を触れることがないよう、モーセは過越祭と、血を振り掛けることを守りました。

29 信仰により、彼らは紅海を陸上と同様に通過したが、そこを、同様に通過しようとしたエジプト人たちは、飲み

込まれました。

30 信仰により、七日間包囲されて、エリコの城壁は倒れました。

31 信仰により、売春婦のラハブは、平和裏にあの間諜たちを受け入れ、信じない者たちと共には滅びませんでした。

32 私はこれ以上、何を言いましょう。ギデオン、バラク、またサムソン、エフタ、またダビデ、サムエル、預言者たちについても話せば、時間は足りません。

33 信仰を通して、彼らは数々の王国を征服し、義を行ない、約束を得、ライオンの口を閉じ、

34 火の力を消し、剣の刃を逃れ、弱さから強くされ、戦いの勇者になり、外国人の軍隊を逃走させせました。

35 女たちは死んだ者たちを、復活させてもらいました。他の人たちはさらに良い復活を獲得するため、釈放を受け入れず、拷問されました。

36 他の人たちは侮辱され、ムチで打たれ、それに鎖と投獄の試練を受けました。

37 彼らは投石刑で殺され、のこぎりで二つに切断され、試され、剣で殺害されました。羊や山羊の皮を着てさまよいました。極貧状態で、苦しめられ、虐待されました。

38 この世は、この人々に、価値のあるところではありませんでした。この人々は砂漠や山、地のけもの穴、洞窟と、さまよい歩きました。

39 この人々は全員、信仰を通して証を得ましたが、例の約束①は受けませんでした。

40 この人々には、私たちと別に、完璧にならぬよう、**神**は私たちのために、さらに良いものを準備されました。

12

1 その理由で、私たちはまた、雲霞のごとき証人に、包囲されているのだから、各自の重荷と、容易に私たちを捉える罪を放棄し、忍耐を持って私たちの前に置かれている競走を走りましょう。

2 私たちの信仰の創始者であり、完成者であるイエスを見つめて走りましょう。イエスは、ご自分の御前に置かれた喜びのため、あの十字架を耐

---

39 ① 旧約聖書にある、キリストを預言した約束。

え、恥をものともせずに、ついに**神**の王座の右に座られました。
3 あのような、罪人たちからの、敵意に耐えた方のことをよく考えなさい。あなたがたが魂の内に疲れ果て、弱り果てないためです。
4 あなたがたはまだ、罪に立ち向かい、血を流すまで戦ってはいません。
5 そして、子どもに話すように話した勧めを、あなたがたは忘れています。すなわち、「わが子よ、**主**のしつけを軽んじてはいけない。また、**主**にとがめられて、落胆してはいけない。
6 なぜなら、**主**は愛する者をしつける。そして**主**は受け入れる子たち一人一人を、ムチ打たれる。」
7 もしあなたがたがしつけを堪え忍ぶなら、**神**はあなたがたを子として扱っておられます。父からしつけを受けない子がいるでしょうか。
8 しかし、もし誰でもが受けるしつけを、受けない人がいるなら、その人は私生児です。
9 その上、私たちには、私たちを正す人間の父がいて、敬意をはらいました。なおさらのこと、霊の**父**に従順を示して、生きて行くべきではありませんか。
10 なぜなら、人間の父たちは、数日間、父たちにとって十分と思うまで、私たちにしつけを与えましたが、**神**は、私たちの益のため、私たちが**神**の聖を受け入れるため、私たちにしつけを与えました。
11 さて、どのしつけも、その時は、喜ばしいものでなく、悲しみです。しかし、後で、義の平安な実が、しつけによって訓練された人々に実ります。
12 ですから、衰弱した両手、また麻痺した両の膝を強め、
13 そして、あなたがたの足のために、まっすぐな道をつくりなさい。そうすれば、不自由な足は関節をはずすことがなく、それどころか、治癒します。
14 すべての人と共に、平和、そして聖を追い求めなさい。聖なしには、誰も**主**を見ることはありません。
15 **神**の御恵みに、欠落する者がいないよう、また、苦みの根が芽生えて問題を起こし、それにより、大勢の者が汚れることがないよう、注意深く見張りなさい。
16 また、一椀の食事のため、自らの長子権を売ったエサウのような、性的な罪を犯す者や、反宗教の者を出さないためです。
17 なぜなら、知っての通り、後になっても、祝福を受け継ぐことを願い、エサウは涙を流しながら悔い改めるべき時を求めても、拒否されました。

18 なぜなら、触れることができる、火で燃える山に、また暗黒や、暗やみ、嵐に、あなたがたは近づいてはいないからです。**19** また、ラッパの音や、言葉を話す声もあり、それらを聞いていた者たちが、もう話さないで欲しいと懇願したあの声に、あなたがたは山に近づいてはいないからです。**20**「そして、野獣であっても、その山に触れれば、石打刑で殺されるか、矢で打たれなければならない。」と命じられたことに耐えられなかったからです。**21** そして、その光景は、あまりにも戦慄すべきものだったので、「私はとても怖くて震えている。」とモーセは言ったほどです。**22** しかし、あなたがたはシオンの山と、生きておられる**神**の都、すなわち天国のエルサレムに、また無数の御使いたちの集まりに来て、**23** 天国に登録された総会、すなわち長子たちの教会に、またすべてのものの裁判官であられる**神**に、また完全にされた正しい人たちの霊のところに来て、**24** 新しい契約の仲介者であられるイエスの所に、またアベルの血より雄弁に語る、注ぎの血の所に来たのです。**25** 語られる方を拒否しないように気をつけなさい。なぜなら、地上で警告を語られた方を拒んだ者たちが、逃れることができなかったのに、まして、天から語られる方に背を向け、逃れることはあり得ません。**26** その時、その方の御声は地を震わせたが、今その方は約束して言われます。「後、もう一度、私は地だけではなく、天をも震わせる。」**27** またこの「後、もう一度」とは、震えるもの、つまり造られたものは取り去られ、震えることのできないものは残ることを示しています。**28** 従って、私たちは不動の王国を受けるのだから、畏敬と畏怖を持って、**神**に仕えることができる恵みを保持しましょう。**29** なぜなら、私たちの**神**は焼き尽くす火であられる方だからです。

13

1 兄弟愛が続くようにしなさい。**2** 旅人をもてなすことを忘れてはいけません。なぜなら、これによって御使いたちとは気がつかず、もてなした人々がいるからです。**3** あなたがたも、共に、鎖でつながれているのだ、そして、同じ肉体だ、と言う気持ちで、あの虐待されている囚人た

ちを、忘れてはいけません。

4 結婚はすべての面で、貴ばれるべきです。その寝台を汚してはいけません。性的な罪を犯す者たち、また、姦淫をする者たちを**神**は裁かれます。

5 あなたがたの行為に、金銭欲があってはなりません。そして、今、持っているもので満足しなさい。「あなたを決して置き去りにしないし、見捨てもしない。」と**神**ご自身は言われているからです。

6 ですから、私たちは自信を持って言えます。「**主**は私の助け人である。私は恐れない。人間は私に何をできるか。」

7 あなたがたを導く人たちであり、あなたがたに**神**の御言葉を話された人たちを忘れてはいけません。その人たちの行ないの結果をよく考え、その人たちの信仰生活をまねなさい。

8 イエス・キリストは昨日、今日、そして、永遠に同じであられます。

9 さまざまに異なる、そして奇妙な教理に惑わされてはいけません。なぜなら、食べ物でなく、恵みによって揺れ動かない心を持つのは立派なことです。食べ物中心の生活をして、その食べ物で益を得た者はいません。

10 私たちには祭壇があります。天幕に仕える者たちはその祭壇から食べる権利はありません。

11 なぜなら、罪のため、大祭司が持って来た数々の動物の血は、聖所に運び入れられますが、その動物の死体は野営地の外で焼かれます。

12 従って、ご自身の血によって民を聖別されるため、イエスも門外で苦しまれたのです。

13 ですから、私たちは、イエスの言われなき侮辱を負って、野営地の外におられるイエスのところに行きましょう。

14 なぜなら、私たちには、地上に永続する市はありません。しかし、私たちは来るべき市を求めています。

15 従って、キリストを通し、**神**に賛美の捧げ物、つまり、御名をほめたたえる私たちの唇の果実を、**神**に絶えず捧げましょう。

16 しかし、良い行ないをすること、そして分かち合うことを忘れてはいけません。**神**はそのような捧げ物を、大いに喜ばれるからです。

17 あなたがたを導く人たちに服従し、従いなさい。導く人たちは、後で申し開きをしなければならない人として、あなたがたの魂の見張りをするのです。導く人たちが、悲しむことなく、喜びを持って、努めが果たせるようにしなさい。そうでなければ、あなたがたには利益はありません。

18 私たちのために祈りなさい。なぜなら、私たちには優れた良心があり、すべてのことに、恥ずべき行為はしないという、確信があるからです。
19 しかし、私が早急にあなたがたのところに戻れるように、あなたがたがこの祈りを実行するよう、切に願います。
20 そして、永遠に有効な契約の血により、羊たちの偉大なる羊飼いであられる**主**イエスを、死人たちの中から復活させられた平和の**神**は、
21 ご自身のご意志をあなたがたは実行するため、すべての良い働きに関して、あなたがたを備えてくださり、イエス・キリストを通して、ご自身の御目に喜ばしいことをなさいますように。イエスに永遠から永遠まで、栄光がありますように。アーメン。
22 皆さんにお願いします。私の勧めの言葉を受け入れてください。そのために、私は言葉の少ない手紙をあなたがたに書いたのです。
23 私たちの兄弟テモテが、釈放されたことを承知しておいてください。テモテがすぐ来れば、テモテと共にあなたがたに会いましょう。
24 あなたがたを指導する人たちと、すべての聖徒たちに挨拶をしてください。イタリアからの聖徒たちは、あなたがたに挨拶をしています。
25 あなたがた全員に、御恵みがありますように。アーメン。

ヤコブの手紙

1

1 謹啓。**神**と**主**イエス・キリストの僕であるヤコブより、ディアスポラ①の十二部族へ。
2 私の兄弟たちよ、様々な試練にあっても、その一つ一つは、すべて喜びであると承知しなさい。
3 信仰の試練が忍耐を生むのは、知っての通りです。
4 しかし、忍耐を完全に働かせなさい。あなたがたが、何も欠けたところのない、完全無欠な者になるためです。
5 あなたがたの中で、誰であれ、知恵に欠ける人がいれば、**神**に願わせなさい。**神**は叱責せず、誰にでも惜しげなく、知恵を与えてくださいます。
6 しかし、その人は疑うことなく、信仰によって願わせなさい。なぜなら、疑う人は、風に追い立てられ、荒れ狂う海の波のようです。
7 ですから、そんな人には、**主**から何かを受け取るであろうなどと、思わせてはいけません。
8 そういう人は二心があり、すべての道で不安定です。
9 身分の低い兄弟は、高められたことを、喜びなさい。
10 そして、金持ちは、低くされたことを喜びなさい。なぜなら、野の花のように、金持ちは枯れていきます。
11 太陽は焼け付く熱を伴い、昇るやいなや、草を枯らし、その花々は落ち、その美しい姿は消滅します。金持ちも同様に、その道半ばで消え失せます。
12 誘惑を堪え忍ぶ人は祝福されます。なぜなら、その者は認められると、**主**はご自分を愛する者に与えてくださると、約束された命の冠を、その人は受けるからです。
13 人が誘惑された時、「私は**神**に誘惑された。」と言わせてはいけません。なぜなら、**神**が悪に誘惑されることはあり得ないし、まただれも、**神**ご自身は誘惑なさいません。
14 しかし、人は各自、自らの欲望に引き寄せられ、おびき寄せられるのです。
15 次に、欲望がはらめば、罪を生みます。そして罪は時がみつると、死を生みます。
16 私の愛する兄弟たちよ、騙されてはいけま

---

1 ① 他国に住むユダヤ人たち。

せん。

17 良い賜物、完璧な贈り物は、すべて上から、色々な光を持っておられる**御父**から降りて来ます。**御父**は何の変化も、向きを表す影もないかたであられます。

18 私たちが**神**の造られたものからの、最初の収穫物の一つになるように定められ、真理の御言葉によって**神**は私たちを生み出されました。

19 ですから、私の愛する兄弟たちよ、各自それぞれ、聞くにすばやく、語るに遅く、怒りに遅くなりなさい。

20 人の怒りは**神**の義を生まないからです。

21 従って、すべてのおぞましいもの、溢れる悪を捨て去り、あなたがたの中に植え付けられていて、あなたがたの魂を救うことができる御言葉を、へりくだって受け入れなさい。

22 しかし、自らを欺いて、御言葉を聞くだけの者ではなく、実行する人になりなさい。

23 なぜなら、人は誰であれ、御言葉を聞くだけで実行しなければ、鏡の中の、生まれたままの自分の顔を、調べている人のようです。

24 なぜなら、その者は自分を調べはしたが、離れ去ると、自分がどんな姿だったたか、たちどころに忘れます。

25 しかし、完全な、すなわち自由の律法を細部まで見、律法に留まり、聞いて忘れる人ではなく、働きを実行するなら、その人は行ないにより祝福されます。

26 もしあなたがたの中で、自分を宗教心のある人であると思っているのに、口を慎まず、自分の心を欺けば、その人の宗教心は無益です。

27 **神**であられ、**御父**であられる方の御前での、清く、汚れない宗教心とはこうです。つまり、困窮時に、孤児や未亡人を訪問し、そして、この世からの汚れに染まらず、自らを汚れない者として維持することです。

2

1 私の兄弟たちよ、栄光の**主**であられる私たちの**主**イエス・キリストの信仰を、差別を持って保持してはいけません。

2 なぜなら、黄金の指輪の男が、豪華な服を着て、あなたがたの集会に来たとします。そして、不潔な服を着ている貧しい男も来たとします。

3 あなたがたは豪華な服を着ている人に注目し、その男に言うでしょう。「この上席にお座りください。」そして、貧しい人に、「向こうに立つか、それとも私の足台の下に座りなさい。」と言うでしょう。

4 これでは、あなたがた自身の間で差別をし、あなたが

たが、悪意ある裁判官になったのではないですか。

5 私の愛する兄弟たちよ、聞きなさい。**神**はこの世の貧しい人たちを選び、信仰に富ませ、そして、**神**を愛する人たちを、約束された王国の相続人にされたではありませんか。

6 しかし、あなたがたはこの貧しい人を見下しました。金持ちたちはあなたがたを虐げ、裁判所に引きずり出す人々ではないですか。

7 あなたがたの呼ばれている尊い御名①を、金持ちたちは冒涜していませんか。

8 「あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい。」と、聖書による王家の律法を、あなたがたが全うしているならば、あなたがたは良くやっています。

9 しかし、差別をすることは罪を犯すことなのですから、律法により、差別したあなたがたは、犯罪者とみなされます。

10 なぜなら、誰であれ、律法をすべて守っても、一つにでもつまずけば、全律法の有罪者となるからです。

11 なぜなら、「姦淫をしてはいけない。」と言われている方は、「殺人をしてはいけない。」とも言われています。それで、あなたは姦淫はしなくても殺人をすれば、あなたは、律法の犯罪者となってしまいます。

12 自由の律法を通し、裁かれる者として話し、かつ、行動しなさい。

13 哀れみを示さなかった者には、哀れみのない裁きがあります。哀れみは裁きに打ち勝ちます。

14 我が兄弟たちよ、誰かが、あの人は信仰があると言ったところで、行動が伴わなければ、何の得があるでしょうか。信仰はその人を救うことができますか。

15 もし、兄弟や姉妹が裸で、日々の糧に欠いていて、

16 そして、あなたがたの一人が、「安らかに行きなさい。暖を取り、十分に食べなさい。」と言っても、体に必要な物を与えなければ、何の益があるでしょうか。

17 このように、信仰も同様です。信仰だけでは、行動が伴わなければ、死んでいます。

18 しかし、ある人は言います。「あなたは信仰

---

7 ① すなわち、キリスト者、クリスチャン。

があるが、私には行動がある。行動のない、あなたの信仰を見せなさい。そうすれば、私は行動によって私の信仰を見せます。」

19 神がお一人であられるとあなたは信じています。それはよいことです。悪霊どもでさえ信じて、震えています。

20 しかし、愚かな人よ、行動を伴うことはない信仰は死んでいるとでも、理解したいのか。

21 自らの子イサクを、祭壇の上に捧げた時、行動によって義と認められたのは、我々の父、アブラハムではなかったのですか。

22 信仰にアブラハムの行動が伴い、行動により、信仰が全うされたことが、分からないのですか。

23 そして、「アブラハムは神を信じた。そして、そのことを彼にとって義と計算された。」という聖書は成就されました。そして、アブラハムは神の友と呼ばれました。

24 人は信仰だけではなく、行動によって義と認められていることは、あなたがたは分かっています。

25 また同様に、あの使者たちを受け入れ、他の道から彼らを送り出した時、行動によって義と認められたのは、遊女、ラハブではなかったのですか。

26 なぜなら、霊のない肉体は死んでいると同様に、行動のない信仰も死んでいます。

3

1 私の兄弟たちよ、私たち教師は、人一倍厳しい裁きを受けることは知っているのですから、あなたがたの内、多くの人は、教師になってはいけません。

2 私たちは皆、多くのことで失敗するからです。誰であれ言葉で失敗しないなら、その人は完全な男で、体全体に、はみをつけることもできます。

3 見よ。私たちに従わすため、馬にはみをくわえさせ、そして馬の全身を引き回します。

4 そして、船も御覧なさい。巨大ですが、激しい風で押されても、ほんの小さい舵一つで、操舵手の思うまま、向きを変えます。

5 そして、同様に、舌は小さい一つの器官ですが、巨大なことを誇ります。小さい火一つで、どんなに大きな森も燃えるかを考えなさい。

6 ですから、舌は火です。そして、不義の世界です。体全体を汚すため、そして、自然の周期に放火し、地獄により燃やされているように、私たちの器官の一つに組み入れられています。

7 なぜなら、獣と鳥、地を這うもの、海の生き物、すべ

ての種類は、人により制御されている、また制御されたことがあります。

8 しかし、舌を制御することができる人は、誰もいません。舌は手に負えない悪であり、死に至る毒で満たされています。

9 私たちの**父**なる**神**を、私たちは舌で祝福し、そして**神**の形に似せてつくられた、人間を呪います。

10 祝福も呪いも同じ口から出ます。私の兄弟たちよ、こんなことがあってはいけません。

11 泉は同じ穴から、清水と苦い水を同時に出すことがありますか。

12 私の兄弟たちよ、イチジクの木がオリーブを実らせ、また、ぶどうのつるがイチジクを実らせることができますか。同様に、どんな泉も塩水と清水の両方を出しません。

13 あなたがたの間で、賢く、そして理解力のある人は誰でしょうか。その人はよい生き様で、自らのわざは、知恵のあるへりくだりによって、行なわれていると示しなさい。

14 しかし、もしあなたがたが心の中に、突き刺さるねたみと利己主義を持っているなら、自慢してはいけないし、そして、真理に逆う、うそを言ってはいけません。

15 この知恵は上から下ったのではなく、地上のもので、肉に属するものであり、悪霊からのものです。

16 なぜなら、ねたみと利己主義のあるところに、混乱とすべての悪が存在します。

17 しかし、上からの知恵はまず清いものであり、それに平和的であり、柔和であり、逆らわず、哀れみと良い実で満たされ、差別なく、そして、偽善はありません。

18 そして、義の実は、平和をつくりだす人々により、平和裏に蒔かれます。

4

1 戦争や争いは、あなたがたの中のどこから来るのでしょうか。あなたがたの体の中、快楽を求めて戦う欲望から来るのではないですか。

2 そして、あなたがたは渇望しても持てません。人を殺し、また不当に望めば手に入れられません。あなたがたは戦をし、争っています。それでも、あなたがたは所持していません。お願いしないからです。

3 また、あなたがたは願っても受けとれません。自らの快楽に費やすために、見当はずれな願いをしているからです。

4 姦淫する男たち、また、姦淫する女たちよ。世との友情は、**神**に敵対することと、分かっていないのですか。世の友人になろうとする者は、自らを**神**の敵にしているのです。

5 または、「私たちの中に住んでいる**御霊**は、ねたむほ

ど求めておられる。」と聖書は、意味もなく言っているとでも思うのですか。

6 しかし、**神**は御恵みをさらに下さいます。従って、言われます。「**神**は傲慢な者たちには逆らうが、謙虚な者たちには御恵みを与えられる。」

7 ですから、**神**には服従しなさい。悪魔に敵対しなさい。そうすると、悪魔はあなたがたから逃げます。

8 **神**のそばに近づきなさい。そうすれば、**神**はあなたがたに近づいてくださいます。罪人たちよ、あなたがたの手を清潔にしなさい。二心の者たちよ、あなたがたの心を清めなさい。

9 苦しみなさい。そして、悲しみなさい。そして、泣きなさい。あなたがたの笑いを悲しみに、あなたがたの喜びを悲嘆に変えなさい。

10 自ら、**神**の御前にへりくだりなさい。そうすると、**神**はあなたがたを高くしてくださいます。

11 兄弟たちよ、互いに悪口を言ってはいけません。兄弟の悪口を言って、兄弟を裁く者は、律法の悪口を言い、それを裁いています。しかし、もし律法を裁けば、あなたは律法を守る人ではなく、裁判官です。

12 律法を定める方は一人です。この方は、救いも消滅もできる方です。互いに裁くあなたがたは、誰なのですか。

13 「今日か明日、私たちはある町に行き、そこで売買をして、一年間過ごし、儲けよう。」と言っているあなたがたは、待ちなさい。

14 しかし、明日は何が起こるか、あなたがたは分かりません。なぜなら、あなたがたの命とは何ですか。命は少しの間現れ、消えて行くかすみに過ぎません。

15 その代わりに、あなたがたは言うべきです。つまり、「**主**がお望みになれば、私たちは生きて、あれもしよう、これもしよう。」

16 しかし今、あなたがたは傲慢、そのものを誇っています。そういう誇りはすべて悪です。

17 従って、よいことをすべきと分かっていながら、しない人には、それは罪になります。

5

1 金持ちたちよ、来なさい。あなたがたの上に来る、あなたがたの悲惨のために、泣き、かつ、うめきなさい。

2 あなたがたの富は腐りはて、あなたがたの服は虫に食われてしまいました。

3 あなたがたの黄金も銀も腐食し、そのさびはあなたがたに敵対する証拠となり、あなたがたの肉を火のように食

い尽くします。あなたがたは最後の日々に宝を積み上げたのです。

4 見よ。あなたがたの土地で刈り入れをした、労働者たちから騙し取った賃金が叫んでいます。そして、その刈り入れをした人たちの叫び声も叫び、安息日の**主**の耳にとどいています。

5 あなたがたは快楽と贅沢の中で、地上に暮らしてきています。虐殺の日に、あなたがたは心を太らせたのです。

6 あなたがたに抵抗しない義人を、あなたがたは有罪にし、殺害しました。

7 従って、兄弟たちよ、**主**の来臨まで忍耐しなさい。地の尊い実りを農夫はどのようにして待つか、考えなさい。早い雨と後の雨を受け取るまで、農夫は忍耐して待つのです。

8 あなたがたも忍耐して持ちなさい。**主**の来臨は近づいているから、あなたがたの心を揺るがないものにしなさい。

9 兄弟たちよ、罪に定められないように、互いに不平を言い合ってはいけません。見よ。裁判官は戸口に立っておられます。

10 私の兄弟たちよ。**主**の御名で説いた預言者たちを、苦難を耐え忍ぶことと、忍耐の模範として受け入れなさい。

11 見よ。耐え忍ぶ人たちを、私たちは祝福された人たちと認識しています。あなたがたはヨブの忍耐を聞きました。そして、**主**により意図された結果も見ました。つまり、**主**はとても同情深く、哀れみ深い方であられます。

12 しかし、私の兄弟たちよ。何より、天により、また、地により、また他の誓い方でもいけません。偽善に陥らないように、「肯定」は「肯定」とし、「否定」は「否定」としなさい。

13 あなたがたの中で、苦しんでいる人がいますか。その人は祈らせなさい。喜んでいる人はいますか。その人には、詩篇の歌を歌わせなさい。

14 あなたがたの中で、病気の人はいますか。その人に、教会の長老たちを呼びなさい。そして、**主**の御名によって、長老たちは病人に油を注ぎ、病人のために祈ります。

15 そして、信仰の祈りは病人を救い、**主**はその人を立ち上がらせてくださいます。そして、その人が罪を犯したなら、赦されます。

16 あなたがたの悪行を互いに言い表し、治されるため、互いに祈りなさい。正しい人の忠実で、そして熱心な祈りは力があります。

17 エリヤは、私たちと同じような心の人であったが、雨が降らないように熱心に祈りました。すると、三年と

六ヶ月の間、地に雨は降りませんでした。

18 そして、エリヤがまた祈ると、空は雨を降らせ、地はその実を実らせました。

19 兄弟たちよ、あなたがたの中の誰かが、真理から離れ迷い出し、その人を連れ戻したとしたら、

20 一人の罪人を、その離れ迷い出した道から、連れ戻す人は、死から一つのたましいを救い出し、無数の罪を遮断する人であると、その人に教えなさい。

ペテロの手紙　第一

1

1 イエス・キリストの使徒の一人であるペテロより、ポント、ガラテヤ、カパドキヤ、アジア、ビテニヤに散らされた、ディアスポラ＊の選ばれた逗留者たちへ。

2 その散らされたことは、以前から**父**なる**神**がご存じであったことで、**御霊**の聖別により起こったこと、そしてイエス・キリストへの従順と、キリストの血の振りかけのためです。あなたがたに、恵みと平安が幾重にもありますように。

3 私たちの**主**イエス・キリストの**父**なる**神**は誉め讃えられますように。**神**は、ご自分の満ち溢れる哀れみにより、イエス・キリストの死者たちの中からの復活を通し、私たちが生きる希望を持てるように、私たちを再び生まれさせてくださいました。

4 それは、朽ちることも汚れることもなく、また消え去ることもない受け継ぐ宝＊を、あなたがたのため、天国に確保されました。

5 終わりの時に、用意されている救いの啓示のため、私たちは信仰により、**神**の力に守られています。

6 このためあなたがたは、少しばかり、必要であれば、いろいろな試練で、悲しみにあってきていますが、あなたがたはおおいに喜んでいます。

7 それは、消えてなくなる黄金よりもっと尊い、あなたがたの信仰の験は、火によって試されても、イエス・キリストの現れの時、誉れと名誉と栄光に至るように認められるためです。

8 あなたがたはイエスを見たことがなくても、愛しています。今イエスを見なくても、あなたがたは信じて、栄光に満たされ、言い表せない喜びで喜び、

9 あなたがたの信仰の極み、つまりあなたがたの魂の救いを受けているからです。

10 この救いに関しては、あなたがたへの恵みの預言をした、預言者たちが聞き取り、丹念に調べました。

11 預言者たちの中におられたキリストの**御霊**が、キリストの苦難と、それに続く栄光をあらかじめ証し、それが何なのか、また、どのような時かを、預言者たちは調べていました。

12 預言者たちが仕えていたのは、彼ら自身のためでなく、私たちのためであると、預言者たちに明らかになりました。しかし、それは今、天から遣わされた**聖霊**によってあなたがたに福音を説いた人たちを通して、あなたがたに告げ知らされたことです。これらのことに対して、御使いた

ちは、よく調べたいと願っています。

13 従って、あなたがたの心の帯を締め、身を慎み、イエス・キリストの現れの時にもたらされる、あなたがたに恵みに、全幅の希望を置きなさい。

14 それは、無知であった時のように、昔の欲望に従っていたあなたがたではなく、従順な子どもとしてです。

15 むしろ、あなたがたを召された方は、聖なる方なのだから、あなたがた自身もすべての行ないで聖なる人になりなさい。

16 「わたしは聖なのだから、あなたがたも聖でありなさい。」と書いてあるからです。

17 そして、差別せずに、一人一人のわざに応じて裁く方を**父**と呼ぶなら、ここに、異国人としている間、恐れを持ってふるまいなさい。

18 あなたがたの父祖たちから、慣習で受け継いだ空しい行ないから、銀、または金のような、朽ちるものによってあなたがたは、買い戻されたのでなく、

19 傷もなく、汚れもない子羊であるキリストの大切な血によって買い戻されたことを知っています。

20 真にキリストは、世界の基礎の置かれる前に、あらかじめ知っておられましたが、この終わりの時代にあなたがたのため出現されました。

21 キリストを死人たちの中から復活させられ、そしてその方に栄光を与えられた**神**を、キリストを通しあなたがたは**神**を信じているので、それによって、あなたがたの信仰と希望は**神**にあります。

22 真摯な兄弟愛のため、**御霊**を通し、真理に従うことを通し、あなたがたは自らのたましいを清められたのだから、清い心で、熱心に互いを愛し合いなさい。

23 あなたがたが新しく生まれたのは、腐る種からではなく、腐らない種からです。**神**の永遠に生きる、そして過ぎ去らない御言葉を通してです。

24 なぜなら、「すべての肉は草のようであり、また人間のすべての栄光は草の花のようである。草は枯れ、その花は落ち去るが、

25 **主**の御言葉は永遠に過ぎ去らない。」すなわち、あなたがたに述べ伝えられた福音とは、この言葉なのです。

2

1 従って、すべての悪意、すべての欺き、偽善、ねたみ、またすべての悪口を捨て去り、

2 生まれたばかりの乳児のように、理にかなった御言葉の混ざり物のない乳を求めなさい。それは成長するためです。

3 （もし、実際に、あなたがたは、**主**は恵み深い方だと、味わったのならです。）

4 人間に拒否されたが、**神**の選択であり、尊い生ける石としてのキリストのもとに行きながら、

5 あなたがたも、生ける石として、霊的な家、すなわち、聖なる祭司職を建て上げられています。イエス・キリストを通し、**神**が受け入れられることのできる、霊的な捧げ物を捧げるためにです。

6 従って、聖書の中にもあります。「見よ。すみの土台石をわたしはシオンに置く、選択されたものであり、尊いものである。そして、この方を信じる者は、決して辱めを受けない。」

7 それで、信じるあなたがたにとって、この方は尊いが、不従順な者たちにとって、「家を建てる者たちが拒んだ石が、これこそすみの土台石になった。」ということです。

8 そして、「つまずきの石、妨害の岩」になりました。彼らは御言葉に従わないので御言葉につまずきます。このつまずきは定められていたのです。

9 しかし、あなたがたは選ばれた民族であり、王の祭司職であり、聖なる国民であり、暗やみからご自分のすばらしい光の中へ、あなたがたを呼び出された方の徳を説くための、あの方の持ちものとされた人民なのです。

10 あなたがたは以前、どの民でもなかったのですが、今は**神**の民です。以前、哀れみを得ることはなかったが、今は哀れみを得ている人たちです。

11 愛する人たちよ、他国人であり、逗留者であるあなたがたに私は勧めます。たましいと戦争する肉体の欲望を避けて、

12 異邦人たちの間では、ふるまいを正しなさい。異邦人たちがあなたがたを悪を行なう者たちだと非難する時、あなたがたの善い行ないを見て、臨みの日には、異邦人たちが**神**をあがめるためです。

13 従って、**主**のために、人の立てたすべての制度に自分を服従させなさい。最高統治者の王に、

14 また、悪を行なう者たちを罰するために、また善を行なう者たちを賞賛するために、王に遣わされた総督にも従いなさい。

15 善行で、愚かな者たちの無知を沈黙させるのです。なぜなら、これは**神**のご意志です。

16 自由だからと言って、その自由を不道徳を隠すために使わず、**神**の僕として使いなさい。

17 すべての人を礼をもって接しなさい。兄弟である人た

ち（兄弟間柄？）を愛しなさい。**神**を恐れなさい。王には礼をもって接しなさい。

18 僕たちよ、全面的に恐れて、良い主人、優しい主人だけでなく、過酷な主人たちにも服従しなさい。

19 なぜなら、**神**に対する良心のため、不正に苦しみ、悲しみを耐え忍ぶなら、それは推賞すべきことだからです。

20 なぜなら、罪のため殴られ、それに耐えたと言って、一体何の手柄があるでしょう。しかし、善を行なっていて苦しむのなら、それを耐えたのは**神**の御前で推賞されるべきことです。

21 なぜなら、あなたがたは、このために召されたのです。すなわち、キリストもまた、私たちのために苦しまれ、あなたがたが**主**の足跡に従うように、私たちに模範を残されたのです。

22 キリストは何の罪も犯さず、その口には何の偽りも見いだされませんでした。

23 キリストはののしられても、ののしり返しはなされませんでした。苦しまれても、脅迫されず、正しく裁く方にご自分を委ねられました。

24 キリストが木にかけられ、ご自分の身に私たちの罪を負われました。それは、罪と係わりを断った私たちが*、義のため生きるためです。あなたがたはキリストのこのお受けになった傷でいやされたのです。

25 なぜなら、あなたがたは迷子の羊のようであったが、今、あなたがたのたましいの羊飼いであり、監督者である方のもとに、帰ってきたのです。

3

1 同様に、妻たちよ、あなた自身の夫たちに従いなさい。御言葉に従っていないとしても、夫たちは一言も言わず、妻たちの振る舞いによって獲得されるためです。

2 恐れを伴う、あなたがたの慎み深い振る舞いを夫たちが見ることによってです。

3 その振る舞いは外面的なもので、すなわち、頭髪を編み、黄金を身につけ、衣服を身につけることであってはいけません。

4 むしろ、穏やかで静かで、滅びることのない心を、内に秘めたものを飾りとしなさい。それは**神**の御前ではとても尊いのです。

5 なぜなら、昔、**神**に希望をたくした聖なる婦人たちも、このように、自らを飾り、各自の夫たちに従っていました。

6 そのようにしてサラはアブラハムに従い、アブラハムを「主」と呼んでいました。もし、あなたがたがよい行な

いをし、どんな脅かしをも恐れなければ、あなたがたはサラの娘たちです。

7 夫たちは同様に、理解をもって妻たちと暮らしなさい。あなたがたより弱い器として、また共に命の恵みを受け継ぐ者として、妻たる者に敬意を払いなさい。それは、あなたがたの祈りが中断されないためです。

8 最後に、あなたがた全員が、心を一つにし、互いを思いやり、兄弟として愛して、やさしい心を持って、礼儀正しく、

9 悪に悪を持って報わず、侮辱に侮辱を持って報わず、それどころか、祝福しなさい。あなたがたは、この事のため召されたと知っています。すなわち祝福を受け継ぐためです。

10 なぜなら、「命を愛し、幸せな日々を過ごしたいと求める者は、舌を悪から、また偽りを話すことから口を遠ざけなさい。

11 その者は悪から顔をそむけ、善を行ないなさい。平和を捜し、これを追い求めなさい。

12 なぜなら、**主**の目は義人に注がれ、**主**の耳は義人の祈りに傾けられているが、**主**の顔は悪を行なう人々から目を離さない。」

13 そして、もしあなたがたが善行を追う者になれば、誰があなたがたに害を加えるのですか。

14 しかし、あなたがたは義のために苦しんでも、祝福されています。「彼らの恐怖を恐れてはいけないし、また、取り乱してはいけない。」

15 しかし、心の中で**主**なる**神**を聖なるものとして分け、あなたがたの中にある希望の理由を、あなたがたに説明を尋ねる人たちに、誰にでも、へりくだり、畏敬の心で、いつでも答弁できるように用意をしなさい。

16 優れた良心を持ちなさい。それは、ある人たちがあなたがたを悪を行なう者として侮辱する時、キリストにある、あなたがたの善い行ないをののしる者たちが、恥じ入るためです。

17 なぜなら、もし、善を行ない、苦しみを受けるのが**神**のご意志なら、悪を行なって、苦しむよりまさっています。

18 なぜなら、キリストも一度、罪のため苦しみをお受けになりました。正しい方が正しくない者の代わりに、肉において殺され、**御霊**によって生かされました。私たちを、**神**のところに伴って行くためです。

19 その**御霊**によって、キリストは牢獄にいる霊たちの所に行って、説かれました。

20 以前、この霊たちは従わなかったのです。それは、ノアの時、箱船が準備されている間、一度は**神**が長い間、**神**

は忍耐して待っておられた間です。水で救われたのはほんのわずか、すなわち八人でした。

21 今、私たちを救う浸礼の呼応する型もあります。その浸礼は肉の汚れを取ることではなく、**神**に対して優れた良心での、イエス・キリストの復活を通しての返答です。

22 キリストは天国に行かれ、**神**の右側におられます。御使いたちや権威ある者たちや権力ある者たちはキリストに隷属させられました。

4

1 従って、キリストは肉において私たちのために苦しまれたので、あなたがたも同じ考えで武装しなさい。肉において苦しんだ人は罪を終わりにしたからです。

2 それは、もう肉の残りの時を、人間の欲望のためでなく、**神**のご意志に従って生きるためです。

3 なぜなら、私たちは過去の人生を、異邦人の心のままに十分に過ごしました。すなわち、好色、欲望、酩酊、飲み会、酒席、そして、忌まわしい偶像崇拝の道を歩んだのです。

4 これらのことに関して、あなたがたが異邦人たちと共に、同じふしだらな生活の極みへ走らないことを、異邦人たちは不思議に思い、あなたがたの悪口を言います。

5 生者たち、そして死者たちを裁く体制を整えられている方に、異邦人たちは決算することになります。

6 このため、死んだ人たちにも福音が説かれたのは、肉体により人たちに裁かれるのに、霊によって**神**に従って生きるためです。

7 しかし、すべての終わりは近づきました。ですから、真剣に、そして注意深く祈りなさい。

8 とりわけ、「愛は数多くの罪を覆う」のだから、互いに心を込めた愛を持ちなさい。

9 不平を言わず、互いにもてなしなさい。

10 一人一人が賜物を受けたのだから、**神**の多様な恵みの執事としてその賜物で互いに奉仕しなさい。

11 誰か話しをするなら、**神**のオラクル①として話をさせなさい。誰か奉仕をするなら、**神**が与えられた能力で奉仕させなさい。**神**がイエス・キリストを通して、すべてのことに栄光を受けるため

---

11 ① **神**からの啓示。

です。栄光と主権が永遠から永遠までイエス・キリストにありますように。アーメン。

12 愛する人たちよ、あなたがたにやって来る火の試練のことを、たとえ不思議なことが、あなたがたに起こっているように、不思議と思ってはいけません。

13 むしろ、キリストの苦しみを共にできるほど、喜びなさい。キリストの栄光があらわれる時も、あなたがたが、無上の喜びに歓喜できるためです。

14 あなたがたはキリストの御名のため、叱責されても、あなたがたは祝福されています。なぜなら、**神**と栄光の**御霊**は、あなたがたの上に休息されるからです。彼らの側では、キリストは冒涜されるが、あなたがたの側ではキリストは栄光をお受けになります。

15 しかし、あなたがたの中、何人も殺人者、泥棒、悪を行なう者、他人に干渉する者として、苦しむことがあってはいけません。

16 しかし、クリスチャンとして苦しむ人がいたら、恥じることなく、その人にこのことで、**神**に栄光を捧げさせなさい。

17 なぜなら、**神**の家で裁きが始まる時が来ました。そして、まず私たちの間で始まれば、**神**の福音に従わない人たちの結末は何でしょうか。

18 では、「正しい人が何とか辛うじて救われるなら、不敬虔な者や罪人はどこに姿を現わすのか？」

19 そして、そのように、**神**のご意志によって苦しむ人たちは、正しい行ないをしながら、自らのたましいを真実な創造者としての、**神**に委ねなさい。

5

1 私はあなたがたの中の長老たちに勧めます。私も同じ長老であり、キリストの苦しみの証人であり、また、やがて明らかにされる、栄光を共にする者です。

2 あなたがたの間にいる**神**の群れを、牧会しなさい。強制によらず、自発的に、不正な利益のためでなく、熱心に世話をする人として仕えなさい。

3 また、委任された人たちの支配する者にならず、群れの模範になりなさい。

4 そして、牧者の長が現れた時、あなたがたは消え去ることのない栄光の冠を受けます。

5 同様に、若者たちよ、あなたがたの長老たちに自分から従いなさい。そして全員が、互いに従い、謙虚を身にまといなさい。「**神**は傲慢な者たちに敵対し、へりくだる人たちに恵みを与えられる。」とあるからです。

6 ですから、**神**の力ある手のもとで、あなたがた自身、

へりくだりなさい。時が来ると、あなたがたを**神**が高めてくださるためです。

7 あなたがたの心配のすべてを、**神**に投げかけなさい。**神**はあなたがたを真剣に考えてくださっているからです。

8 あなたがたの敵である悪魔は、吠えながら歩き回るライオンのように、むさぼり食い尽くせる者を、探し求めているのだから、気をゆるめず、用心深くありなさい。

9 世にいるあなたがたの兄弟である人たちも、この同じ苦しみを経験していると理解し、信仰にしっかり立ち、悪魔に対抗しなさい。

10 キリスト・イエスによって私たちをご自分の永遠の栄光に召された、すべての恵みの**神**は、あなたがたがしばらく苦しんでから、あなたがたを完全な者とし、確立し、強め、安定した者にしてくださいます。

11 永遠から永遠まで、栄光と主権はキリストにあります。アーメン。

12 私たちの忠実な兄弟であると、私は認めているシルワノを通し、私があなたがたに短く手紙に書いたのは、あなたがたが立っているのは、これこそが**神**の真の恵みであると勧め、証するためです。

13 あなたがたと共に選ばれ、バビロンにいる婦人と、私の息子であるマルコからも、共に挨拶を送ります。

14 愛の口づけで互いに挨拶をしなさい。キリスト・イエスにいるあなたがた全員に、平安がありますように。アーメン。

ペテロの手紙　第二

1

1 イエス・キリストの僕、そして使徒であるシモン・ペテロ、私たちの**神**と**救い主**イエス・キリストの義によって、私たちと同じ尊さの信仰を得た人たちへ。**2** **神**と私たちの**主**イエスを知ることにより、幾重にも恵みと平安があなたがたにありますように。**3** それは、栄光と徳により、私たちを召された**神**を知ることで、この方の**神**としての力は、命と敬虔に関するすべてのものを私たちに与えられたからです。**4** このことで、私たちには途方もない、大きく、尊い約束が与えられました。それらを通し、あなたがたは**神**の性質を共有する者となり、この世にある欲望に起因する腐朽を逃れるためです。**5** そして、この理由こそそのため励んで、すべて勤勉に、あなたがたの信仰に徳を加え、徳に知識、**6** 知識に自制、自制に忍耐、忍耐に**神**を敬う心、**7** **神**を敬う心に兄弟愛、兄弟愛に愛を加えなさい。**8** なぜなら、これらのことがあなたがたのものになり、満ちれば、あなたがたは私たちの**主**イエス・キリストを知ることに、役立たずではなく、また実を結ばない者でもありません。**9** なぜなら、これらのことに欠ける者は、盲目であり、近視であり、以前の罪は清められたことを忘れています。**10** 従って、兄弟たちよ、さらにあなたがたが召されたこと、選ばれたことを確かなものとするよう励みなさい。なぜなら、これらのことを行なえば、あなたがたは決してつまずくことはありません。**11** なぜなら、このように、私たちの**主**、**救い主**であるイエス・キリストの永遠の王国に入ることは、あなたがたに十分に与えられます。**12** このために、あなたがたはこれらのことを理解し、提示した真理に、しっかり立っていても、あなたがたがこれらのことを忘れたりしないよう、私は常に気をつけています。**13** しかし、私がこの天幕にいる間、あなたがたを思い起こさせることにより、鼓舞することは、正しいことと思っています。**14** 私たちの**主**イエス・キリストが私に示してくださったように、私はまもなくこの天幕を畳むことを知っています。**15** そして、私の死後、これらのことを、あなたがたが忘れないことを確実にするため、私は努力します。**16** なぜなら、私たちの**主**イエス・キリストの力と来臨

をあなたがたに教えた時、私たちは巧妙なたわごとに従った訳ではありませんでした。むしろ、私たちは**主**の尊厳の目撃者でした。

17 なぜなら、「これは私の愛しい**息子**である。私は**息子**を喜びとする。」と言う声がすばらしい栄光より来て、イエスは**父**なる**神**より誉れと栄光を受けました。

18 そして、私たちが**主**と共に聖なるあの山の上にいた時、天から来たこの声を聞きました。

19 それで、あの確かな預言者の言葉を私たちは受けました。これは、夜が明ける前、明けの明星があなたがたの心に昇るまで、暗いところを照らす灯りとして、注意するのはよいことです。

20 まず知りなさい。聖書の預言は、いかなる個人の解釈もあり得ないと、

21 なぜなら、むかし、預言は決して人間の決める意志から来たのではなく、**神**の聖なる人たちが、**聖霊**に動かされて、口にしたのです。

2

1 しかし、国民の中に偽預言者たちが来たし、あなたがたの間にも、秘かに壊滅的な異端をもたらす偽教師たちがやって来ます。偽教師たちは、自分たちを贖われた**主**さえ否定し、早々と壊滅を自らにもたらします。

2 そして、多くの人たちは彼らの壊滅の道に従います。偽教師たちを通して真理の道は冒涜されます。

3 そして、貪欲によって、彼らは偽りの言葉で、あなたがたを搾取します。彼らの裁きは長い間、昔から怠惰ではなく、また彼らの壊滅は眠ることはありません。

4 なぜなら、もし**神**は罪を犯した御使いたちを見逃さず、彼らを地獄に投げ込み、裁きに備えて、闇黒の鎖に繋がったなら、

5 大昔の世界を見逃さず、八人の一人、義の説教者であるノアを救い、敬虔でない者たちの世界には洪水をもたらし、

6 そして、ソドムとゴモラを灰燼にし、彼らを滅ぼと定め、後の不敬虔に生活をする者たちのため、見せしめとし、

7 不法者たちの汚い行ないに悩まされた、正しいロトを救い出されたなら、

8 (なぜなら、その正しい人は、彼らの間に住み、日々、彼らの不法の行ないを見聞きして、正しい魂を苦しめました。)

9 敬虔な人たちを誘惑から救い出す方法を、また罰を受ける不義の者たちを裁きの日に備える方法を**主**はご存じです。

10 それは、特に肉による不潔な情欲に歩み、権威をさげすむ者たちです。彼らは横柄であり、得手勝手です。栄光

ある人たちの悪口を言うのを恐れません。

11 しかし、能力と力で、さらに優れている御使いたちでさえ、**主**の御前でその者たちをそしり、訴えることはしません。

12 しかし、捕らえられ、破滅させられるためにつくられた、理性のない自然の野獣のように、この者たちは理解していない事の悪口を言い、自らの腐敗のうちに完全に滅ぼされ、

13 そして、不義の報酬を受け取ります。昼日中、享楽を是とする者たちのようです。この者たちはしみであり、汚点であり、あなたがたと宴会を共にしながら、自らの虚構を楽しみ、

14 姦淫でいっぱいの目をし、その目は罪を止めることができず、揺れ動くたましいを誘惑します。彼らは欲望で鍛えられた心を持ち、呪われた子たちです。

15 彼らは正しい道を捨てて、迷いに入り、不義の報酬を好むベオルの息子バラムの道に従いました。

16 しかし、バラムはその悪のために咎められました。口を利かないロバが、男の声で話して、預言者の狂気を止めさせました。

17 この者たちは水のかれた井戸であり、嵐に吹き飛ばされる雲であり、闇黒の闇がこの者たちのために、永遠に確保されています。

18 なぜなら、彼らは虚しい、大言壮語し、間違いの中に住んでいる者たちから何とか逃れた者たちを、肉の欲を通して、好色で誘惑します。

19 彼らはその人たちに自由を約束しながら、彼ら自身が腐朽の奴隷なのです。人は征服するものに、奴隷の状態にされるからです。

20 なぜなら、もし**主**と**救い主**であるイエス・キリストの知識によって、世の汚れを逃れて後、またその汚れに絡みつかれ、征服されたなら、初めの状態より終わりの方が、彼らにとってなお悪い状態です。

21 なぜなら、義の道を知り、彼らにもたらされた聖なる命令から向きを変えるより、それを知らなかった方がましです。

22 しかし、あの真の諺通り、彼らにそれは起こりました。すなわち、「犬は自らの吐いた物の所に戻る。」そして、「めす豚は体を水で洗い、そしてどろの中で転がる。」

3

1 愛する人たちよ、私は今ようやくこの第二の書簡をあなたがたに書いています。(両方の手紙を、記憶を呼び起こす方法として、あなたがたの清い心を揺り動かしたいのです。)

2 それは以前、聖なる預言者たちによって話された言葉と、**主**である、**救い主**の使徒たちである私たちの命令を、心に留めてもらうためです。

3 まず、このことを理解しなさい。すなわち、最後の日々に、あざける者たちがやってきて、自分たちの欲望のまま歩み、

4 こう言います。「あの人の来臨の約束はどこにある。なぜなら、父祖たちが眠って以来、創造の始まりから、すべては変化のないまま流れている。」

5 なぜなら、彼らはこのことについては、故意に無知です。すなわち、昔から、天は**神**の御言葉によって存在し、地は水から立ち上がり、水によってできています。

6 この水により、かつて存在したあの世界は、水の下になり、消滅しました。

7 しかし、同じ御言葉によって、今、守られている天と地は火に焼かれるため、裁きの日、そして不敬虔な者たちが滅びるまで、確保されます。

8 しかし、愛する人たちよ。この一つのことは無知であってはいけません。すなわち、**主**と共ならば、一日は千年と同じ、そして千年は一日と同じなのです。

9 ある人々の是とするのと違い、ご自分の約束に関して、**主**は遅れたりしません。むしろ、**主**は私たちに対して忍耐深く、一人も滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに至ることを望んでおられます。

10 しかし、**主**の日は深夜の泥棒のようにやって来ます。そして、天は大音響と共に消滅し、万物の構成物は白熱で滅びます。そして、地球と地球にあるすべての業は焼き尽くされます。

11 したがって、すべてこれらの物は破壊されるのだから、聖い生き方をし、敬虔でいるには、あなたがたはどういう人であるべきですか。

12 **神**の日を待ち望み、その日が早めに来るように努力していますか。**神**の日のため、天は燃えて、消え失せ、そして万物の構成物は燃え尽きます。

13 しかし、**主**の約束によって、私たちは義が住む新しい天、新しい地を待っています。

14 愛する人たちよ。従って、これらのことを待ち望み、汚れも咎められることもなく、平和であると**主**が分かるように、勤勉でいなさい。

15 そして、私たちの**主**の忍耐は、救いと考えなさい。私たちの愛する兄弟パウロは、パウロに与えられた知恵により、あなたがたにそう書いたとおりです。

16 パウロはまた自分の全書簡で、これらのことを話して

います。中には難しくて理解が困難なところがあります。聖書の別の箇所と同様に、無知な者、心定まらぬ者たちはパウロの書簡を歪曲し、自ら破滅に至ります。

17 従って、愛する人たちよ。あなたがたは前もってこのことを知っているのだから、悪人たちの不法の過ちにより導かれ、あなたがた自らの動かぬ心を失わないように気をつけなさい。

18 そして、私たちの**主**であり、**救い主**であるイエス・キリストの恵みと知識によって成長しなさい。今も永遠も、キリストに栄光がありますように。アーメン。

ヨハネの手紙　第一

1

1 それは最初からのものでした。私たちが御言葉を聞いたものでした。私たちが私たちの目で見たものでした。私たちがしっかり見たものでした。私たちの手で触ったものでした。つまり、命の御言葉でした。

2 そして、この命は明らかにされ、そして、私たちはそれを見て、証をし、また、**御父**と共にあった、この永遠の命を私たちに示されました。

3 私たちが見たこと、聞いたことをあなたがたに伝えます。それはあなたがたが私たちと交流できるためであり、この私たちの交流は**御父**との交流であり、またあの**御子息**イエス・キリストの交流でもあります。

4 そして、私たちがこれらのことをあなたがたに書くのは、あなたがたの喜びが満ちるためです。

5 そして、私はあの方から聞き、またあなたがたに伝えるメッセージは、これです。すなわち、**神**は光であり、**神**には暗闇はまったくありません。

6 もし、私たちがあの方と交流があると言いながら、暗闇の中を歩んでいるなら、私たちは嘘つきであり、真理を行なっていません。

7 しかし、あの方が光の中におられるように、私たちも光の中を歩んでいれば、私たちは互いに交流があり、そして、あの方の**御子息**であるイエス・キリストの血は、私たちをすべての罪から清めます。

8 もし、「私たちには、罪はない。」と言うならば、私たちは自分自身をだましています。また、私たちの中に真理がありません。

9 私たちは自らの罪を言い表せば、あの方は、誠実で正しい方ですから私たちの罪を赦し、私たちをすべての不義から清めてくださいます。

10 私たちは、「罪を犯したことがない。」と言えば、私たちはあの方を嘘つきとし、あの方の御言葉は、私たちのうちにはありません。

2

1 我が子たちよ、あなたがたが罪を犯さないように、私はこれらのことを書きます。そして、もし誰であれ罪を犯せば、私たちには、唯一の**御父**と共にいる正しい方、つまり、イエス・キリストという助け主がおられます。

2 そして、その方ご自身は、私たちの罪のため、また私たちの罪のためだけではなく、全世界の罪のための唯一の供え物です。

3 そして、もしこの方の命令を守れば、私たちはこの方を知っていると、これによってわかるのです。**4** この方を知っていると言いながら、この方の命令を守らない者は、嘘つきであり、そして真理はその者の中にはありません。**5** しかし、その方の御言葉を守るその者の中には、**神**の愛はまことに全うされています。私たちはその方のうちにいると、これによって知ります。**6** この方にとどまっていると言う者は、この方が歩まれたと同様に、自分自身もそう歩むべきです。

7 兄弟たちよ、あなたがたに新しい命令を私は書いているのではありません。あなたがたが最初から持っている古い命令です。古い命令とは、あなたがたが最初から耳にしていた御言葉なのです。**8** また、私はあなたがたに新しい命令を書きます。それは、その方にあって、またあなたがたにあって真理です。なぜなら、暗闇は過ぎ去り、真実の光がもうすでに輝いているからです。**9** 光の中にいると言いながら、自分の兄弟を憎む者は、今でも暗闇の中にいるのです。**10** 自らの兄弟を愛する者は、この光の中にとどまっています。また、その者の中につまずきになるものはありません。**11** しかし、自分の兄弟を憎む者は、暗闇の中にいます。また、その者は暗闇の中を歩んでいます。そして、その暗闇はその者の目を盲目にしたから、彼は自分がどこへ行くのかわかりません。

12 我が子たちよ。私が書くのは、この方の御名のゆえに、あなたがたの罪はすでに赦されているからです。**13** 父親たちよ、あなたがたは、最初からおられる方を知っているので、あなたがたに書きます。若者たちよ、あなたがたは、悪者を打ち破ったので、あなたがたに書きます。幼い子どもたちよ、あなたがたは唯一の**御父**を知ったのだから、あなたがたに書きます。**14** 父親たちよ、あなたがたは、最初からおられる方を知っているので、私はあなたがたに書きました。若者たちよ、あなたがたは強く、また**神**の御言葉はあなたがたのうちにとどまり、またあなたがたは悪者を打ち破ったので、あなたがたに書きました。

15 世を、また世にあるものを愛してはいけません。もし誰であれ世を愛すれば、唯一の**御父**の愛はその者の中にはありません。**16** すべて世にあるもの、つまり肉の欲望、目の欲望、

生活の思い上がりは、唯一の**御父**から来たものではなく、世から来たものだからです。**17** そして、世とその欲望は消え去るが、**神**のご意志を行なう人は、永遠にとどまります。

18 我が子たちよ、今が最後の時です。また、反キリストが来るとあなたがたが聞いたように、今、多くの反キリストがいます。そのため、今が最後の時であると私たちは分かります。**19** 彼らは、私たちの中から出て行ったが、私たちの仲間ではありませんでした。なぜなら、彼らが私たちの仲間であったなら、私たちとともにきっと残ったでしょう。しかし、彼ら全員、私たちの仲間ではないことが明らかになるように、出て行ったのです。

20 そして、あなたがたは**聖い方**から、油を注がれた①のだから、すべてのことを知っています。**21** あなたがたは真理を知らないから、あなたがたに書いたのではなく、あなたがたは真理を知っており、また真理から出た嘘はないからです。**22** イエスはキリストであることを否定する者以外、嘘つきは誰か。唯一の**御父**を、そして**御子息**を否定する者こそが、反キリストです。**23** **御子息**を否定する者は誰であれ、唯一の**御父**が共にはおられません。**御子息**を言い表す人は、*唯一の**御父**が共におられます。*①

24 したがって、あなたがたが初めに聞いたことを、あなたがたの中にとどまらせなさい。初めに聞いたことをあなたがたの中にとどまらせば、あなたがたは唯一の**御父**に、そして**御子息**にもとどまっているのです。**25** そして、これはこの方があなたがたに約束された約束なのです。つまり、永遠の命なのです。

26 あなたがたを惑わす者たちについて、これらのことをあなたがたに書きました。**27** しかし、あなたがたがこの方から頂いた、油を注がれたことは、あなたがたの中にとどまっています。そして、いかなる人もあなたがたを教える必要はありません。しかし、あの油を注がれたことが、あなたがたにすべてのことは、嘘でない、真理を教えます。また、ちょうど油を注がれたことが、あなたがたを教えたように、あなたがたはキリストの中にとどまります。

---

20 ① 王、祭司、預言者を任命するときの儀式で、油を頭に注ぐ。

23 ① この斜体の言葉は原文にはないが、英語の欽定訳にある。

28 そして今、我が子たちよ、**主**の中にとどまりなさい。それは**主**が現われる時、自信を持ち、**主**の再臨の時、恥じることなく、御前にいるためです。**29** もしあなたがたが、この方は正しい方と知っているならば、正しいことを行なうすべての人は、この方から生まれたことは、あなたがたは分かっています。

3

1 **御父**が私たちにくださった、見事な愛を見よ。これは私たちが**神**の子と呼ばれるためです。このため、世は**神**を知らないから、世は私たちのことを知りません。**2** 愛する人たちよ。私たちはすでに**神**の子どもです。そして、私たちはどうなるかは、まだ啓示されていません。しかし、キリストが現われると、私たちはキリストに似るようになることは分かっています。なぜなら、キリストをありのままの姿で見るからです。**3** そして、この希望を自らの中に抱く者は誰であれ、キリスト同様の聖さに自らを聖めます。**4** 誰であれ罪を犯す者は、不法をも行なっています。そして、罪は律法を犯すことです。**5** それで、あなたがたは、キリストが私たちの罪を取り除くために現われたことが知っています。そして、キリストの内に罪がありません。**6** キリストの内にとどまる人は誰であれ、罪を犯し続けません。罪を犯し続ける者は誰であれ、まだキリストを見ていないか、知らないからです。**7** 子どもたちよ、誰もあなたがたを人に惑わされてはいけません。キリストは正しいのと同様、正しいことを行ない続ける人は、正しいのです。**8** 罪を行ない続ける者は、悪魔から出ています。悪魔は最初から罪を犯しているからです。悪魔のすることを無効にするために、**御子息**は現われたのです。**9** **神**から生まれたすべての人は、罪を犯し続けません。キリストの種がその者の内にとどまっているからです。そして、**神**から生まれたので、罪を犯し続けません。**10** これによって、**神**の子たちと悪魔の子たちは明らかになります。義を行なわないすべての者、また自分の兄弟を愛していない者は、**神**からの者ではありません。**11** なぜなら、私たちは互いに愛すべきである、とのメッセージは、私たちは初めから聞いていたのです。**12** 悪人から出て、自分の弟を無慈悲に殺したカインのようになるな。では、彼はなぜ弟を無慈悲に殺しましたか。カインの行為が悪で、弟の行為が善であったからです。

13 私の兄弟たちよ。もし世があなたがたを憎むとしても、驚いてはいけません。 **14** 兄弟たちを愛しているので、私たちは死から命に移ってきたことを、私たちは知っています。兄弟を愛さない者は、死にとどまります。 **15** 自分の兄弟を憎む者は誰であれ人殺しです。そして、人殺しは誰であれ自分のうちに、永遠の命がとどまっていないと、あなたがたは知っています。 **16** 私たちは、これによって**神**の愛を知っています。つまり、イエスは私たちのために、ご自分の命を投げ出してくださいました。それで、私たちも、兄弟のために命を捨てるべきです。 **17** しかし、世の富を持ちながら、自分の兄弟が困窮するのを見ても、兄弟から自分の心を閉じてしまう者が、どうして**神**の愛がその者の中にとどまるでしょうか。 **18** 私の子どもたちよ。私たちは、言葉や舌によって愛するのでなく、行為と真理によって愛しましょう。 **19** そして、これによって私たちは真理から出たことがわかり、そして、**神**の御前に私たちの心を私たちは穏やかにします。 **20** それは、もし私たちの心が、私たちを責めれば、**神**は私たちの心より偉大であり、そして**神**はすべてをご存じだからです。 **21** 愛する人たちよ。もし心にやましいところがなければ、**神**に対して率直でいれます。 **22** そして、願うなら私たちは何なりと、**神**から頂きます。**神**の命令を守り、**神**の目に喜ばれることを行なっているからです。 **23** そして、これこそが**神**の命令です。すなわち、私たちは**神の御子息**イエス・キリストの御名を信じ、**神**がくださった命令に従って、互いに愛し合うことです。 **24** また、**神**の命令を守り続ける人は**神**の内にとどまり、そして、**神**はその人の内にとどまり続けてくださいます。また、**神**が私たちにくださる**御霊**によって、**神**が私たちの中にとどまり続けていることがわかります。

4

1 愛する者たちよ。多くの偽預言者が世に出ているから、すべての霊を信ぜず、その霊が**神**から出たかどうかを知るため、確かめなさい。 **2** イエス・キリストは肉体で来られた、と認める霊はすべて**神**から出ています。これによって、あなたがたはその霊は**神**の**御霊**と分かります。

3 そして、イエス・キリストは、肉体で来られたと認めない者は、**神**から出ていません。また、来るとあなたがたが聞いたことのある反キリストの霊が正にこれであり、そしてそれはもうすでに世に来ています。
4 子どもたちよ。あなたがたは、**神**から出た者であり、その霊たちに打ち勝っています。あなたがたの中におられる方は、世にいる者より偉大であられるからです。
5 その霊たちは世から出ています。従って、その霊たちは世のことを話し、また世は彼らに耳を傾けます。
6 私たちは**神**から出ています。**神**を知っている者は、私たちに耳を傾けます。**神**から出ていない者は、私たちに耳を傾けません。これによって、私たちは真理の霊と偽りの霊が分かります。
7 愛する者たちよ。お互いに愛し合いましょう。なぜなら、愛は**神**から出ているからであり、また人を愛する者はすべて**神**から生まれ、**神**を知っています。
8 **神**は愛であられますから、人を愛さない者は、**神**が分かりません。
9 **御子息**を通して私たちが生きるために、**神**は唯一生まれた、ご自分の**御子息**を世に遣わされ、これにより**神**の愛が私たちに明らかにされました。
10 愛はここにあります。すなわち、私たちが**神**を愛したのではなく、**神**が私たちを愛され、ご自分の**御子息**を、私たちの罪のなだめの供え物として、遣わされました。
11 愛する者たちよ。もし**神**がこのように私たちを愛してくださったなら、私たちも互いに愛し合うべきです。
12 誰も、いかなる時にも、**神**を熟視した者はいません。もし私たちが、互いに愛しているならば、**神**は私たちの中にとどまり、また**神**の愛は私たちの中に全うされています。
13 **神**が私たちにご自分の**御霊**を与えてくださったことで、私たちは**神**にとどまり、そして**神**が私たちにとどまっておられることが分かります。
14 そして、**御父**が**御子息**を世の**救い主**として遣わされたことを、私たちは見て分かり、そして証しています。
15 誰であれ、イエスは**神の御子息**であられると言い表す人に、その人に**神**はとどまってくださり、そしてその人は**神**にとどまります。
16 そして、私たちは、**神**が私たちの中に持っておられる愛を知り、そして信じました。**神**は愛であられます。そして、この愛にとどまる人は、**神**の中にとどまります。また、**神**はその者の中にとどまってくださいます。
17 愛はこれによって私たちの間に全うされています。そ

れは私たちが裁きの日に自信を持つためです。ちょうどあの方のように、私たちもこの世にいるからです。

18 愛に恐れはありません。それどころか、完全な愛は、恐れを追い出します。なぜなら、恐れは刑罰を内に持っています。恐れる者は、完全な愛の内にいないからです。

19 私たちは、あの方を愛しているでしょう。なぜなら、あの方こそは先に私たちを愛してくださったからです。

20 もしある者が、「私は**神**を愛している」と言いながら、その者の兄弟を憎んでいれば、その者は嘘つきです。なぜなら、会ったことのある自分の兄弟を愛さない者が、どうして会ったことのない**神**を、愛することができますか。

21 そして、私たちが持っているこの命令は、あの方からのものです。すなわち、**神**を愛する者は、自らの兄弟も愛すべきです。

5

1 誰であれ、イエスがキリストであると信じる者は、**神**からの生まれです。そして、お生みになった方を愛するすべての者は、その方から生まれた者をも愛します。

2 私たちが**神**を愛し、**神**の命令を守る時、私たちは**神**の子どもを愛していることが、これでわかります。

3 なぜなら、**神**の命令を守ること、これこそが**神**の愛だからです。そして、**神**の命令は、重くはないのです。

4 なぜなら、**神**から生まれたすべての者は、世に打ち勝っているからです。そして、私たちの信仰、これこそが世に打ち勝った勝利なのです。

5 イエスが**神の御子息**であられると信じている者ではなければ、一体、誰が世に打ち勝つ者でしょうか。

6 この方は、水と血を通して来られました。すなわちイエス・キリストです。水によるだけではなく、水と血によってです。そして、証をするのは**御霊**であられ、**御霊**は真実であられるからです。

7 なぜなら、天に三人の証人、つまり、**御父**と**御言葉**と**聖霊**がおられるからです。そして、この三人はお一人であられます。

8 そして、地上には、証をするものは三つあります。つまり、**御霊**と水と血です。そして、この三つは一つになりました。

9 もし私たちが人間の証言を受け入れるなら、**神**の証言はもっと偉大です。これはご自分の**御子息**について証された**神**の証言だからです。

10 **神の御子息**を信じる者は、その者の中にこの証言を持っています。**神**を信じない者は、**神**を嘘つきにしてしま

いました。なぜなら、その者は**神**がご自分の**御子息**についてされたこの証言を、信じなかったからです。

11 そして、この証言とは、**神**が私たちに永遠の命を与えてくださったこと、また、この命は**神の御子息**にある、と言うことです。

12 **御子息**を持つ者は、命を持っています。**神の御子息**を持っていない者は、命を持っていません。

13 私が、**神の御子息**の御名を信じるあなたがたに、これらのことを書いた理由は、あなたがたは永遠の命を持っていることを知るためであり、また**神の御子息**の御名を信じ続けるためです。

14 そして、その方のご意志に従い、私たちが願うものは何でも、その方は聞いてくださると、これがその方に対する、私たちの持っている確信です。

15 そして、私たちはその方が聞いてくださると分かれば、私たちは**神**に何を願っても、願ったものを私たちが**神**から頂いている、ということが分かります。

16 もし誰であれ、その者の兄弟が、死に至らない罪を犯しているのを見て、願えば、**神**は、死に至らない罪を犯している者に命を与えてくださいます。死に至る罪があれば、祈れとは、私は言いません。

17 すべての不義は罪です。死に至らない罪もあります。

18 **神**から生まれた者は誰であれ、罪を犯し続けない、ということを私たちは知っています。しかし、**神**から生まれた者は、自分自身を守っておられるので、邪悪な者は彼に触れることはありません。

19 私たちは**神**から出ており、また全世界は悪の中に横たわっていることを、私たちは知っています。

20 しかし、私たちが真実であられる方を知るために、**神の御子息**が来られ、また私たちに理解力を与えられたことを、私たちは分かっています。そして真実の方、すなわち、**神の御子息**イエス・キリストの中に私たちはいます。この方は真実の**神**であられ、永遠の命であられます。

21 子どもたちよ。自らを偶像から離しておきなさい。

アーメン。

ヨハネの手紙　第二

1

1 長老より、真理によって私が愛している、選ばれたご婦人とその子どもたちへ。私だけではなく、真理を知ったすべての人々も、あなたがたを真理によって愛しています。**2** 私たちの中に留まり、かつ、永遠に私たちと共にある真理のゆえです。**3** 真理と愛とによって、**父**なる**神**と、**御父の御子息**であられる**主**イエス・キリストからの、御恵み、哀れみ、平安があなたがたと共にありますように。

4 私たちは、**御父**から命令を受けたのだから、あなたの子どもたちの中に、真理によって歩んでいる者を見つけ、大いに私は喜びました。**5** そして今、ご婦人よ、お願いしたいことがあります。私は今、新しい命令を書いているようですが、そうではありません。すでに初めから受けている命令を書いているのです。つまり、私たちは互いに愛し合うことです。**6** そして、私たちがあの方の命令によって歩むことこそ、それが愛なのです。あなたがたは最初から聞いていたように、これによって歩むこと、それが命令なのです。

7 なぜなら、イエス・キリストが肉によって来られたことを言い表さない、道を迷わせる多くの者たちが世界に入って来ました。これは道を迷わせる者であり、反キリスト①なのです。**8** 私たち自らが働いて得たものを、失うことがないように、それどころか、十分な報酬を受けるよう、あなたがた自身で注意しなさい。**9** 誰であれ、不正を犯して、キリストの教理に留まらない者には、**神**は宿られません。キリストの教理に留まる人、その人には**御父**も**御子息**も留まっておられます。**10** 誰であれ、この教理を持たずに、あなたがたのところに来たら、家に入れてはいけませんし、挨拶の言葉も言ってはいけません。**11** なぜなら、その者に挨拶する人は、その者の悪い行為を共に加わるからです。

12 あなたがたに書きたいことはたくさんありますが、紙とインクで書きたくはありませんでし

---

7 ① キリストに敵対する者。

た。むしろ、私たちの喜びが満たされるように、あなたがたの所に行き、面と向き合い、話すことを望んでいます。
13 あなたの選ばれた姉妹の子どもたちが、あなたに挨拶をします。アーメン。

ヨハネの手紙 第三

1

1 長老より、私が真理によって愛している、愛しいガイオへ。

2 愛する者よ、あなたのたましいが栄えていると同様に、あらゆることにあなたが栄え、かつ健康であることをお祈りします。

3 なぜなら、あなたの中の真理、そして、その真理の道をあなたが歩んでいると、兄弟たちが来て証した時、私は非常に喜びました。

4 私の子どもたちが、真理によって歩んでいると、聞くこと以上の喜びは、私にはありません。

5 愛する者よ、あなたが兄弟たちに、また外国人たちにも、行なっていることは信頼に値します。

6 この人々は、あなたの愛を教会の前で証しました。この人々を**神**にふさわしい者として送り出すなら、あなたは賞賛されることをしたことになります。①

7 なぜなら、この人々は、異邦人から何も取らずに、御名のために出かけたのです。

8 従って、真理のため、共に働く者になれるよう、私たちは、このような人々を受け入れる義務があります。

9 私は教会に手紙を書きました。しかし、彼らの間で、頭になりたがるデオテレペスは、私たちを歓迎はしないでしょう。

10 従って、デオテレペスが行なっている行為を、また悪意ある言葉で私たちの悪口を、もし私が行けば、デオテレペスに思い出させてやります。そして、このことだけで、満足しないデオテレペスは、自ら進んで兄弟たちを歓迎せず、歓迎を求める人々を拒否し、教会の外へ追い出してしまいます。

11 愛する者よ、悪に従わず、善に従いなさい。善を行なう人は、**神**からの人であるが、悪を行なう人は、**神**を見たことのない者です。

12 すべての人から、そして真理それ自体からも、デメテリオは証されています。また、私たちも証をしています。そして、あなたがたは私たちの証が真実であると知っています。

13 書くことが数多くありましたが、しかし、今

6 ① つまり、集まった人の前で。

は筆とインクで書くつもりはありません。

14 しかし、私はあなたにすぐに会い、面と向き合い、話すことを望んでいます。あなたに平安がありますように。我が友人たちから挨拶を贈ります。名指しで挨拶してください。

ユダの手紙

1

1 イエス・キリストの僕、ヤコブの兄弟であるユダより、**父**なる**神**によって聖別され、イエス・キリストによって、庇護の下にあり、招かれた人たちへ。
2 哀れみと平和と愛が、幾重にもあなたがたにありますように。
3 愛する人々よ、私たちが共有する同じ救いについて、あなたがたに、真剣に書いていると、信仰のため、熱心に戦うことを勧める要があると気が付きました。その信仰とは、その昔、聖徒たちに、たった一度の与えられた信仰です。
4 なぜなら、ある者たちが、密かに忍び込んでいるからです。昔、この裁きにつけるべき者たちとして、書き留められた不敬虔な者たちです。**神**の御恵みを際限のない欲望に変え、唯一の**主**であられる**神**と、私たちの**主**イエス・キリストを否定している者たちです。
5 しかし、**主**がエジプトの地から民を救ってから、後で信じない者たちを破滅させられたことを、あなたがたは、以前は知っていました。このことを改めて思い出してもらおうと私は決めました。
6 また、自らの義務を守らず、己の居住地を離れた御使いたちを、**主**は大いなる日の裁きにそなえ、永遠の鎖で繋ぎ、暗やみの下に拘留されています。
7 ソドムとゴモラ，そしてその周辺の町々もそれらと同様に、性的な罪に自らを渡してしまい、他の肉体を求めたので、見せしめとされ、永遠の火の刑罰に苦しんでいます。
8 同様に、夢を見るこの者たちは肉体を汚し、権威を拒み、栄光ある者たちを侮辱しています。
9 しかし、御使いの頂点にいるミカエルは、悪魔と対決し、モーセの亡きがらについて論争した時、悪魔に対して、あえて侮辱の攻撃の言葉を口にせず、「**主**がお前をたしなめるように。」と言いました。
10 しかし、この者たちは、己の知らないことは何でも悪く言います。また、知性のない動物のように、本能のままで知ることの内に、自ら腐り果てています。
11 この者たちに災いあれ！なぜなら、彼らはカインの道を歩み、貪欲に利益のためバラムの轍を踏み、コラの反乱で消滅しました。
12 この者たちは、あなたがたの愛の宴の危険な暗礁です。臆することなく、あなたがたと共に宴の席につき、己たちのみに装います。この者たちは、風に運ばれる、水分のない雲であり、実のない晩秋の木で、二度死んでいるので、

根から引き抜かれています。

13 荒れ狂う海の波であり、自らの恥を泡にして出す、暗黒の闇が永遠に備えられた、行く所のない星たちです。

14 ところで、アダムから七代目のエノクも、この者たちについて預言して、言いました。「見よ、**主**は一万人のご自分の聖徒たちと共に来られる。

15 すべての者の裁きを行ない、そして、その者どもの中の、不敬虔の者どもすべて、不敬虔な方法で犯した、不敬虔な行為を、不敬虔な罪人どもが、キリストに対し、口にした赦しがたい言葉の数々を、吐いた者どもを彼らの罪に定めるためである。」

16 この者どもは不平を言う者どもであり、不満を言う者どもであり、己が欲望のまま歩んでいます。彼らは大げさな言葉を吐き、利を得るためには人々にへつらいます。

17 しかし、あなたがた、愛する人々よ、私たちの**主**イエス・キリストの使徒たちによって、以前話された言葉の数々を忘れてはいけません。

18 それは、終わりの時代に、自らの不敬虔な欲望に従って歩む、あざける者たちが来ると、使徒たちがあなたがたに言ったからです。

19 この者たちは、**御霊**を持たず、分裂を引き起こす、みだらな者たちです。

20 しかし、あなたがた、愛する人々よ、あなたがたのもっとも聖なる信仰で自らを築き、**聖霊**により祈り、

21 永遠の命に至る私たちの**主**イエス・キリストの哀れみを求めながら、**神**の愛の中であなたがた自身を守りなさい。

22 そして、人を見極め、ある者は哀れみなさい。

23 そして、他の人々は炎から引き上げ、恐怖心を与えて助け出し、肉により汚されたものは、衣服さえもいといなさい。

24 さて、あなたがたをつまずきから守り、傷のない者として、大いなる喜びを持って、あの方の栄光の御前に、あなたがたを立たせることができる方、

25 この知恵ある唯一の方、つまり、私たちの**救い主**であられる**神**に、栄光と威厳、支配力と権威が、今も永遠もありますように。アーメン。

ヨハネの黙示録

1

1 イエス・キリストの啓示、すなわち**神**がイエスの僕たちに、すぐ起こるはずの事を示すため、イエスがご自分の御使いを通して、ご自分の僕ヨハネに送られ、知らせたものである。

2 ヨハネは**神**の御言葉、そしてイエス・キリストの証言、そしてヨハネが見たすべてのことについて証した。

3 この預言の言葉を読む人々と聞く人々、またこの預言に書いてあることを守る人々は幸いである。時は近いからである。

4 ヨハネより、アジアにある七つの教会へ。現在おられる方、以前おられた方、またこれから来られる方より、またその方の王座の前にいる七つの**霊**より、あなたがたに恵みと平安があるように。

5 そして、忠実な証人であられ、死人の中からの最初に生まれた方であられ、また、地の国王たちの支配者であられるイエス・キリストより。私たちを愛し、自らの血によって罪から私たちを洗ってくださった方、

6 ご自分の**父**なる**神**のため、私たちを国王と祭司にしてくださった方へ、栄光と支配する力が永遠から永遠までありますように。アーメン。

7 見よ、その方は雲とともに来られる。そして、すべての目、その方を刺した者たちさえも、その方を見る。そして、地のすべての諸族は、その方のことで嘆く。そうなる。アーメン。

8 「わたしは**アルファ**であり、**オメガ**であり、初めであり、終わりである。」と、**主**は言われる。この方は今おられ、以前おられた、そしてこれから来られる、**全能者**であられる。

9 イエス・キリストの苦難と王国と忍耐を共にして、あなたがたの兄弟であり仲間でもある私ヨハネは、**神**の御言葉とイエス・キリストの証のために、パトモスという島にいた。

10 **主**の日に、私は**御霊**に在り、背後からラッパのような大声を聞いた。

11 その大声は言われた。「わたしは**アルファ**であり、**オメガ**である、最初であり、最後である。」そして、「あなたの見ることを巻物に書き、アジアにある七つの教会、すなわち、エペソ、スミルナ、ペルガモ、テアテラ、サルデス、フィラデルフィヤ、ラオデキヤに送れ。」

12 それで私は、私に話かけた声を見ようと振り返った時、七つの金の燭台を見た。

13 次に、七つの燭台の真ん中に、足元までの衣を着て、胸に金の帯をしめている、人の**子**のような方がおられた。**14** その方の頭と髪の毛は、羊毛のように白く、雪のように白く、そして目は火の炎のようであった。**15** また、その方の足は、炉で精練された上質の青銅のようであり、その声は、多量の水流のようであった。**16** そして、その方は右手に七つの星を持っておられ、鋭い両刃の剣が口から出て、彼の表情は、強く輝く太陽のようであった。

17 私はその方を見た時、死人のように彼の足下に倒れた。しかし、その方はご自分の右手を私の上に置かれ、私に言われた。「恐れてはいけない。わたしは最初であり、最後である。**18** わたしは生きているが、死んでいた。そして見よ、わたしは永遠に生きている。アーメン。そして、わたしは地獄と死の鍵を持っている。**19** あなたの見たこと、今あること、これから起こることを書き記せ。**20** わたしの右手にあなたが見た七つの星の奥義、七つの金の燭台の奥義である。七つの星は七つの教会の使いであり、あなたが見た七つの燭台は、その七つの教会である。

2

1 エペソにある教会の使いに書け。『右手に七つの星を持ち、七つの燭台の間を歩く方が、これらのことを言われる。

2 「あなたの働き、あなたの労働、あなたの忍耐、また悪人たちにがまんできないことをわたしは知っている。そして、自らが使徒であると言っているが、そうでない者たちをあなたは試して、その者たちが嘘つきであることをはっきりさせた事を、わたしは知っている。**3** そしてあなたは耐え、忍耐があり、わたしの名のために労働したが、疲れていない。**4** しかし、あなたに苦言を言う。最初の愛から離れてしまったことだ。**5** だから、落ちる前のところを思い出しなさい。そして悔い改め、最初の働きをしなさい。悔い改めない限り、わたしはすばやくあなたの所に行き、あなたの燭台をその場所から取り去る。**6** しかし、あなたにこのことがある。すなわち、わたしも憎むニコライ派の行ないを憎んでいることである。

7 **御霊**が諸教会に言われることを、耳のある一人一人に聞かせよ。**神**のパラダイスの中心にある命の木から、勝利

を得る者にはわたしは食べさせる。」』

8 そして、スミルナにある教会の使いに書け。『最初であり、最後であり、死んでいたが生き返った方は、これらのことを言われる。

9 「あなたの働き、苦難と貧しさを、わたしは知っている。(しかし、あなたは豊かである。)そして、彼ら自身、ユダヤ人でないのに、ユダヤ人だと言う者たちの冒涜を知っている。その者たちはサタンのシナゴーグである。

10 これから苦しむことをあなたがたは何一つ恐れてはいけない。見よ、悪魔はあなたがたの中のある人たちを、試すため牢獄に投げ入れる。そして、あなたがたは十日間の苦難にあう。死まで忠実であれ。そうすればわたしはあなたがたに命の冠を与える。

11 耳のある一人一人に、**御霊**が諸教会に言うことを聞かせよ。勝利を得る者は、第二の死から、傷つけられることはない。」』

12 そして、ペルガモの教会の使いに書け。『両刃の鋭い剣を持つ方がこれらのことを言われる。

13 「わたしはあなたの働き、あなたの住んでいる所、サタンの王座のある所を知っている。サタンが住んでいる所で、わたしの忠実な殉教者アンテパスが、あなたがたのそばで殺された時でさえ、あなたはわたしの名を堅持し、否定しなかった。そして、わたしへの信仰を否定しなかった。

14 しかし、わたしはあなたにいくつか苦言がある。そこにバラムの教えを堅持する者たちがいるからである。バラムはイスラエルの子らの前に、つまずきの石を置くことを、偶像に捧げられた物を食べることを、性的な罪を犯すことをバラクに教えた。

15 だから、あなたの中には、わたしが忌み嫌うニコライ派の教理を信じる者たちもいる。

16 悔い改めなさい。さもないと、わたしは急ぎあなたの所に行き、わたしの口の剣でその者たちと戦う。

17 **御霊**が諸教会に言われることを、耳のある一人一人に聞かせよ。勝利を得る者に、わたしは隠れたマナ①の中から与え食べさせる。また、彼に白い石を与える。その石の上には、受ける者以外誰も知らない、新しい名前が書いてある。」』

---

17 ① 天国のパン。

18 また、テアテラにある教会の使いに書け。『火の炎のような目を持ち、良質の青銅の足を持つ**神の御子息**が言われる。
19 「あなたの行ない、愛、奉仕、信仰、忍耐を知っている。そして最初のものより、最後のものの行ないの方は優っている。
20 しかし、わたしはあなたに苦言がいくつかある。すなわち、自らを預言者と呼ぶイゼベルという女で、性的な罪を犯すように、偶像に捧げられた物を食べるようにと、わたしの僕たちに教えたり、そそのかしたりすることを、あなたは許していることだ。
21 そして、その性的な罪を悔い改める時間をその女に与えたが、女は悔い改めなかった。
22 見よ。もしイゼベルたちはその行為から悔い改めなければ、わたしはその女を病の床に投げ込み、そしてその女と姦通を犯している者たちを、大きな苦難の中に投げ込む。
23 そして、わたしはイゼベルの子どもたちを「死」で殺す。そして、すべての教会は、わたしは人の精神と心を探る者であると、知るようになる。そして、わたしはあなたがた一人一人にあなたがたの働きによって与える。
24 それで、あなたがたとテアテラにいる残りの者たちに言う。この教えを受けていない、また人の言うサタンの深さを知らなかった者たちには、わたしは他の重荷を負わせない。
25 だが、わたしが来るまで、持っているものをしっかりつかんでいなさい。
26 そして、勝利を得て、最後までわたしの行ないを守る者に、国々の上に立つ権威をわたしはその者に与える。
27 彼は鉄の杖で国々を羊飼いのように支配する。国々は土の器のように砕かれると、わたしがわたしの**父**から受けたと同様である。
28 そして、わたしは彼に夜明けの星を与える。
29 **御霊**が諸教会に言われることを、耳のある一人一人に聞かせよ。」』

3

1 そして、サルデスにある教会の使いに書け。『**神**の七つの**霊**と七つの星を持っておられる方はこう言われる。「わたしはあなたの働きを知っている、あなたは生者という名があるのに、死者である。
2 目を覚まし、死にかけているが、残っているものを強固にせよ。**神**の御前に、あなたの働きが完成したのを、わたしは見ていないからである。
3 だから、どういうふうに受けたか、聞いたかを覚えていよ。従って、もし目を開けていなければ、わたしはどろ

ぼうのようにあなたの所に来る。そして、どの時間にわたしがあなたの所に来るか、あなたにはわからない。
4 サルデスにさえも、服を汚していない何人かの名がある。その者たちは白を着て、わたしと共に歩くのに、ふさわしい者だからである。
5 勝利を得る者は、白い服を着せられる。そして、その者の名を命の書から消さず、その者の名をわたしの**父**と**父**の御使いたちの前に、わたしは言い表す。
6 耳がある人よ、**御霊**が諸教会に言われることを聞きなさい。」』
7 そして、フィラデルフィアにある教会の使いに書け。『聖なる方、真実の方は言われる。彼はダビデの鍵を持っておられる方が開けるが、閉じる者はいない。閉じるが、開ける者はいない。
8 「わたしはあなたの働きを知っている。見よ。わたしはあなたの前に開いている扉を与えた。そして、あなたはわずかな力があり、わたしの言葉を守り、わたしの名を否定しなかったから、その扉を閉じることができる者は誰もいない。
9 見よ。自分たちはユダヤ人であると言いながら、そうではない、嘘をつく者たち、つまりサタンの会堂の者たちを見よ。彼らをあなたの足の前にひざまずかせ、わたしがあなたを愛したことを分からせる。
10 なぜなら、あなたはわたしの堪え忍びの命令を守ったので、地に住んでいる者たちを試すため、全世界にやって来る試練からわたしはあなたを守る。
11 見よ。わたしはすばやく来る。あなたの冠を取る者がいないよう、しっかり持っていよ。
12 勝利を得る者を、わたしの**神**の神殿の一本の柱にする。そして、その者はもう決して外に出ることはない。それに、わたしはその者にわたしの**神**の名と、わたしの**神**の天国から降りて来る、わたしの**神**の都である新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名をその者に書く。
13 耳がある人よ、**御霊**が諸教会に言われることを聞きなさい。」』
14 そして、ラオデキヤにある教会の使いに書け。『**アーメン者**、すなわち忠実と真の証人である、**神**の創造の源である方は言われる。
15 「あなたの働きをわたしは知っている。すなわち、あなたは冷たくもなく、熱くもない。冷たい者か、熱い者か、どちらかをわたしは望む。
16 それで、冷たくもなく、熱くもない生ぬるいあなたを、わたしは口から吐き出す。

17 あなたは、「私はお金持ちで、豊かになったので、何も要らない」と言いながら、みじめで、哀れで、貧しく、盲目で、裸であることを知らないので、**18** 豊かになるために、火で精錬された黄金をわたしから買うように、わたしから白い衣を買い、身に着け、恥ずかしい裸があらわにならぬよう、わたしは勧める。また、目が見えるように、目薬を買い、目につけよ。**19** わたしが愛するすべての者を、わたしはたしなめたり懲らしめたりする。だから、真剣に行ない、悔い改めよ。**20** 見よ。わたしは戸口に立ち、たたく。誰であれ、わたしの声を聞いて、戸を開ければ、わたしはその者のところへ、中に入り、その者と共に食事をし、その者はわたしと共に食事をする。**21** わたしも勝利を得て、わたしの**父**と共に、**父**の王座に座ったように、勝利を得る者に、わたしと共にわたしの王座に座る権威を与える。**22** 耳がある人よ、**御霊**が諸教会に言われることを聞きなさい。」』

4

1 これらの後、私は見た。見よ、天国の戸の一つは開いていた。私が聞いた最初の声は、ラッパのように私にこう話し、言った。「ここに上がって来たら、これから起こらなければならないことを、私はお前に見せる。」**2** たちどころに私は**御霊**の内にいた。見よ、天国に一つの王座があり、一人の方がその王座に座っておられた。**3** そして、王座に座っておられた方は、碧玉や赤めのうの石のようであった。王座の回りに、エメラルドのように見える虹があった。**4** 王座の回りに、二十四の王座があった。そして、王座に、白い衣を着ている二十四人の長老が座っているのを、私は見た。その人々は頭に黄金の冠をかぶっていた。**5** そして、王座からいなずま、雷、またいろいろな声がやって来た。王座の前に、**神**の七つの**霊**である炎の、七つの灯火が燃えていた。**6** あの王座の前に、水晶のようなガラスの湖があった。王座の真ん中に、また王座の回りに、前と後ろに、目で満ちている四つの生き物がいた。**7** 最初の生き物は獅子のようであり、二番目の生き物は子牛のようであり、三番目の生き物は人の顔を持ち、四番目の生き物は飛ぶ鷲のようであった。**8** それぞれ六つの翼を持つ四つの生き物は、回りにも内にも眼球で満ち、彼らは昼も夜も休まず、「聖なる、聖なる、

聖なる、以前おられた、現在おられる、これから来られる、**全能者**なる**神**である**主**。」と言っている。

9 そして、生き物たちが、永遠から永遠まで生きておられ、王座に座っておられる方に、栄光と敬意と感謝を捧げる時、

10 二十四人の長老は、王座に座っておられる方の前に倒れ伏し、永遠から永遠まで生きておられる方を礼拝し、王座の前に自らの冠を投げて、言う。

11 「**主**よ、あなたは栄光と敬意と力を受けるにふさわしい方であられます。あなたはすべてのものを創造され、すべてのものはあなたのご意志を通して存在し、創造されたからです。」

5

1 そして、王座に座っておられる方の右手に、内側にも裏にも書いてある、七つの封印で封をしてある巻物を、私は見た。

2 次いで、「封印を解き、巻物を開けるのに、ふさわしい方は誰であるか。」と、一人の強健な御使いが大声ではっきり言っていることも私は見た。

3 しかし、巻物を開け、あるいは見ることができる人は、天にも地にも地の下にも、誰もいなかったのである。

4 それで、巻物を開けて読むのに、ふさわしい人として、誰も認められなかったので、私は激しく泣いていると、

5 長老の一人は私に言った。「泣くな。見よ。ユダ族の**獅子**、ダビデの**根**は、巻物を開け、その七つの封印を解くために、勝利を得た。」

6 そこで、私は見た。すると、見よ、王座の真ん中に、四つの生き物の真ん中に、長老たちの真ん中に、すでにほふられた**子羊**が立っておられた。**子羊**には、地に派遣された**神**の七つの**霊**である、七本の角と七つの目があられた。

7 次いで、**子羊**は来られ、王座に座っておられた方の右手からその巻物を受け取られた。

8 さて、**子羊**が巻物を受け取った時、四つの生き物と二十四人の長老たちは、**子羊**の御前に倒れ伏した。みな、一人一人、竪琴と、聖徒たちの祈りである、香料で満たされた黄金の鉢を持っていた。

9 そして、彼らは新しい歌を歌い、言った。「あなたは巻物を受け取られ、その封印を解かれるのに、ふさわしい方であられます。なぜなら、あなたはほふられ、そしてすべての部族、言語、国民と国々から、あなたの血によって私たちを**神**に買い戻してくださり、

10 私たちの**神**のために、あなたは私たちを王たちと祭司たちにしてくださいました。そして、私たちは地で支配します。」

11 次いで、私は見渡し、王座の回りにいる大勢の御使い、生き物たち、長老たちの声を聞いた。その数は一万の一万倍、また何千という数の何千倍であった。**12** 彼らは大声で言った。「ほふられた**子羊**は、力と富と知恵と権力と名誉と栄光と祝福を受けるのに、ふさわしい方であられます。」**13** そして、天にも、地にも、地の下にも、海の上にもいるすべての生き物、またその中にいるすべての生き物の言うことを私は聞いた。「王座に座っておられる方に、また**子羊**に、永遠から永遠まで祝福と栄誉と栄光と力強さがありますように。」**14** そうすると、四つの生き物は、「アーメン」と言った。そして、二十四人の長老は倒れ伏し、永遠から永遠まで生きる方を礼拝した。

6

1 さて、**子羊**が封印の一つを解いたのを見た時、雷のような声で、「来て、見よ。」と四つの生き物の一つが言うのを、私は聞いた。**2** 私は見た。なんと、白い馬がいた。それに乗っている人は弓を持ち、冠が一つ与えられており、勝利を得ながらにして、勝利を得るために出て行かれた。**3** **子羊**は第二の封印を開けた時、第二の生き物が、「来て見よ。」と言うのを、私は聞いた。**4** すると、もう一頭の真紅の馬が出て行った。そして、地から平和を取り去ること、また、人たちが殺し合うことは、この馬に乗っているその人に与えられ、そして大きな剣も彼に与えられた。**5** **子羊**は第三の封印を解いた時、第三の生き物が、「来て見よ。」と言うのを私は聞き、それで、私は見た。なんと、黒い馬がいた。乗っている人は、片手に秤を持っていた。**6** そして、四つの生き物の中から、私は声がこう言うのを聞いた。「小麦一升は、一デナリ①で、大麦三升は、一デナリです。そして、オリーブ油と葡萄液をだめにしないでください。」**7** そして、**子羊**が第四の封印を解いた時、私は第四の生き物の声を、こう言うのを聞いた。「来て見よ。」**8** それで、私は見た。見よ、青白い馬がいた。

---

6 ① ローマ帝国の銀貨。一デナリは一般労働者の一日分の賃金。

そして、乗っている人の名は「死」で、地獄がこの人と従った。そして、地の四分の一の上に、剣、飢餓、死、地の獣で殺す権威が彼らに与えられた。

9 そこで、**子羊**が第五の封印を解いた時、祭壇の下にいる、**神**の御言葉と自らの証のため、殺された人たちの魂を私は見た。

10 そして、彼らは大声で叫んで言った。「聖なる真の**主**よ、いつまでですか。地に住んでいる者たちに、裁きと私たちの血の復讐は…。」

11 次いで、一人一人に白い上着が与えられ、彼らと同様に殺される、仲間である僕たち、兄弟たちの数が満たされるまで休むべきであると、言われた。

12 **子羊**が第六の封印を解いた時、私は見た。そして見よ、大地震があり、太陽は獣毛の荒布の毛のように黒くなり、月は血のようになった。

13 そして、強い風で揺れるイチジクの木が未熟のイチジクを落とすように、空の星は地に落ちた。

14 そして、巻物が巻かれるように、空は巻かれて行き、すべての山と島はその場所から移動させられた。

15 そこで、地の国王たち、地位のある者たち、金持ち、司令官たち、力ある者たち、それにすべてのどれい、また自由人も、洞くつの中、山の岩の中に身を隠し、

16 山と岩に言った。「私たちの上に倒れ落ち、王座に座る方の顔から、また**子羊**の怒りから、私たちを隠してくれ。

17 なぜなら、**子羊**の怒りの大いなる日が来たのだ。誰が立てるのか。」

7

1 さて、これらのことの後、四人の御使いは地の四隅に立って、風が地と海とどの樹木にも吹かないように、地の四つの風を手に持っているのを私は見た。

2 その時、生きている**神**の封印を持っているもう一人の御使いが、日の出る方から昇っているのを、私は見た。地と海を損なう権威が与えられた四人の御使いに、別の御使いが大声で叫んで、

3 言った。「私たちが**神**の僕たちに、額に封印を押すまで、地、海、また樹木を損なってはいけない。」

4 それで、私は封印を押された人たちの数を聞いた。イスラエルの子らの全部族から、十四万四千人が封印を押された。

5 ユダの部族から封印を押されたのは一万二千、ルベンの部族から封印を押されたのは一万二千、ガドから封印を押されたのは一万二千、

6 アセルの部族から封印を押されたのは一万二千、ナフ

タリの部族から封印を押されたのは一万二千、マナセの部族から封印を押されたのは一万二千、**7** シメオンの部族から封印を押されたのは一万二千、レビの部族から封印を押されたのは一万二千、イッサカルの部族から封印を押されたのは一万二千、**8** ゼブルンの部族から封印を押されたのは一万二千、ヨセフの部族から封印を押されたのは一万二千、ベニヤミンの部族から封印を押されたのは一万二千であった。

9 これらの事の後、私は見た。見よ、誰も数えられない、すべての国々、部族、国民、言語からの人たちが、王座の前と**子羊**の前に立ち、白い上着を着、しゅろの枝を手にし、**10** 大声で叫んで言った。「救いは、王座に座る方、すなわち私たちの**神**と、**子羊**のものである。」**11** そこで、すべての御使いは、王座と長老たちと四つの生き物の回りに立ち、王座の前で顔を下にして伏し、**神**を礼拝し、**12** 言った。「アーメン。祝福と栄光と知恵と感謝と栄誉と力と権力が永遠から永遠まで、私たちの**神**のものである。アーメン。」

13 そして、長老の一人が答えて私に言った。「白い上着を着ている人たちは誰ですか。また、どこから来たのですか。」**14** 私は彼に言った。「旦那、あなたは知っています。」そうすると長老は私に言った。「この人たちは、大いなる艱難から出て来て、**子羊**の血によって上着を洗い、白くしたのです。**15** だから、彼らは**神**の王座の前にいて、**神**の神殿で昼も夜も**神**に仕えています。王座に座っておられる方は彼らの上に天幕を張られます。**16** 彼らはもう空腹にもならず、のども渇きません。太陽は彼らを打たず、また暑さも彼らを打ちません。**17** なぜなら、王座の真ん中におられる**子羊**は彼らを牧し、彼らを生きている泉の水に導いてくださるからです。そして、**神**はすべての涙を彼らの目から拭き取ってくださいます。」

8

1 さて、**子羊**は第七の封印を解いた時、およそ三十分間、天国は静かになった。

2 次いで、**神**の御前に立つ七人の御使いを私は見た。そこで、彼らに七つのラッパが与えられた。**3** そこで、黄金の香炉を持っているもう一人の御使いが来て、祭壇のところに立った。御使いはすべての聖徒たちの祈りと共に、王座の前にある黄金の祭壇で捧げるため、彼に多くの香が与えられた。

4 すると、聖徒たちの祈りと共に、香の煙は御使いの手から**神**の御前に上がって行った。**5** そこで、御使いは香炉を取り、祭壇からの火で満たし、地に投げた。すると、声、雷、稲妻、地震があった。**6** そこで、七つのラッパを持つ七人の御使いは、鳴らす準備をした。

7 そして、最初の御使いは鳴らした。すると、血と混じったひょうと火とがその後に来て、地に投げられると、樹木の三分の一は燃え尽き、すべての緑の草は燃え尽きた。

8 そこで、第二の御使いは鳴らした。すると、火で燃える大きな山のような物が、海の中に投げ出されると、海の三分の一は血になった。**9** そして海にいる、命ある、創造された物の三分の一は死に、船の三分の一は破壊された。

10 そこで、第三の御使いは鳴らした。すると、たいまつのように燃えている大きな星が、天から落ちてきて、川の三分の一と水の泉の上に落ちた。**11** その星の名は「苦ヨモギ」と言う。そして、水の三分の一は苦ヨモギとなった。それで、水は苦くされたので、そのために多くの者が死んだ。

12 そこで、第四の御使いは鳴らした。すると、太陽、月、星、それぞれの三分の一は叩かれ、それらの三分の一は暗くなり、昼も三分の一は輝かず、夜も同じであった。

13 そして、天国の真ん中を飛ぶ一人の御使いを私は見、そして聞いた。御使いは大声で言った。「地に住む者たちへ、災い、災い、災いがある。三人の御使いがこれから鳴らすラッパの、残っている三つの音のためである。」

9

1 そこで、第五の御使いが鳴らすと、天から地へ落ちる星を私は見た。そして、底なし穴の鍵がその星に与えられた。

2 星は底なし穴を開けると、大きな炉の煙のような煙が穴の中から立ち上がって来た。そこで、穴の煙のため、太陽と空気は暗くなった。

3 次いで、煙からイナゴが地に出て来た。そうして、地のサソリが持っている力のような力が、イナゴたちに与えられた。**4** 地の草や、いかなる緑にも、いかなる樹木にも危害を与えてはいけない、と彼らに命じられた。ただ、額に**神**の封印のない者たちは除く、ということであった。

5 そこで、殺さないが、五ケ月間、人間を苦しませることが、イナゴたちに与えられた。イナゴの人を刺す苦痛は、

サソリの苦痛であった。
6 その期間は、人々は死を探すが、死は見つからず、また死のうとするが、死は人々から逃げる。
7 そして、イナゴたちの形は、戦闘準備ができた馬のようであり、また、頭には、黄金作りのような冠があり、その顔は人間のような顔であった。
8 さらに、イナゴには、女の髪の毛のような毛があり、獅子のような歯があり、
9 また、彼らは、鉄製のような胸当てを着けており、その翼の音は、多くの馬が戦場に駆けて行く戦車のような音であった。
10 さらに、彼らはサソリのような尾があり、その尾には、人間に五ヶ月間危害を与える力のある針があった。
11 さらに、イナゴたちの上に、底なし穴の御使いである王が君臨し、その名はヘブライ語でアバドンで、ギリシャ語ではアポリオン①である。
12 一つの災いは過ぎ去ったが、見よ、その後二つの災いが来る。

13 そこで、第六の御使いは鳴らした。すると、**神**の前にある黄金の祭壇の四本の角から、私は一つの声が言うのを聞いた。
14 その声は、ラッパを持つ第六の御使いに言った。「大ユーフラテス川で縛られている四人の御使いを解きなさい。」
15 そこで、人類の三分の一を殺すため、一時間、一日、一ヶ月、一年間と準備された四人の御使いが解かれた。
16 それで、騎兵隊の人類は二億であった。私は彼らのその人数を聞いたのである。
17 そして、私が幻で見たのは、馬と、それに乗る、火、ヒヤシンス、硫黄の胸当てをしていた者たちである。馬の頭は獅子の頭のようであり、さらに、馬の口から、火、煙、それに硫黄が出ていた。
18 この三つによって、すなわち、馬の口から出た火、煙、それに硫黄によって、人類の三分の一は殺された。
19 馬たちの力は口と尾にあったからである。それは、尾は蛇のように頭があったからである。これらで危害を加えたのである。

---

11 ①「破壊する者」と言う意味である。

20 しかし、この災いで殺されず残った者たちは、自らの手の行為を悔い改めず、拝してはいけない悪霊を拝し、見たり聞いたり歩いたりすることのできない、黄金、銀、真鍮、石、木材でできた偶像を拝した。

21 また、彼らは自らの殺人、まじない、性的な罪、盗みをも悔い改めなかった。

10

1 そして、雲をまとったもう一人の強い御使いが、天から降って来るのを私は見た。頭に虹をつけ、顔は太陽のようであり、両足は火の柱のようであった。

2 御使いは手に、開いた小さな巻物を持ち、右足を海上に、左足を地上に置き、

3 獅子がうなるように、大声で叫んだ。そして、御使いが叫んだ時、七つの雷が声を出した。

4 そして、七つの雷が声を出した時、私は書こうとしたが、天からの声が私に話しかけるのを私は聞いた。声は私に言った。「七つの雷が話したことは封じて、書いてはいけない。」

5 そこで、海上と地上に立っている、私が見た御使いは、手を天へ伸ばし、

6 永遠から永遠まで生きておられる方、すなわち天とその中にあるものと、地とその中にあるものを創造された方によって、もはや時はなくなる、と御使いは誓った。

7 しかし、第七の御使いが吹く日々に、御使いが吹こうとしたら、**神**がご自分の僕である預言者たちに福音を説いたように、**神**の奥義は成就する。

8 そこで、私が天から聞いた声は再び私に話して言った。「行って、海と地の上に立っている御使いの手から、開かれた小さな巻物を受け取れ。」

9 それで、私は御使いの所に行って、「小さな巻物をください。」と言った。御使いは私に言った。「受け取り、それを食べてしまえ。それはお前の腹を苦くするが、口の中で蜂蜜ほど甘くなる。」

10 それで、私は御使いの手から小さな巻物を受け取り、すべて食べてしまった。すると、私の口の中で、蜂蜜ほど甘かったが、食べてから、私の腹は苦くなった。

11 そして、御使いは私に言った。「多くの国民、国々、言語、国王たちについて、お前はもう一度預言しなければならない。」

11

1 そこで、定規のような葦の棒が私に与えられ、そして御使いが立ち上がり、言った。「立ち上がり、**神**の

神殿、祭壇、それに、そこで礼拝する人たちを計れ。 **2** しかし、神殿の外にある中庭は、異邦人に与えられているから除く、計ってはいけない。そして、異邦人は、この聖なる都を四十二ヶ月間踏みつける。 **3** そして、わたしの二人の証人に権威を与える。彼らは荒布を着て、千二百六十日間預言する。」 **4** この二人は、全地の**神**の御前に立つ、二本のオリーブの木であり、二つの燭台である。 **5** そして、もし彼らに危害を加えたいと望む者がいれば、火が口から出て、彼らの敵を飲み込む。そして、彼らに危害を加えたいと望む者は誰であれ、このようにして殺されなければならない。 **6** この二人は、彼らの預言をする日々の間に、雨が降らないよう、天を閉じる力を持ち、水を血に変えるため、水を支配する力、そしてさらにこの二人の望み通りに、地をあらゆる災いで打つ力を持つ。 **7** そして、二人は彼らの証を終えると、底なし穴から上がってくる獣が二人と戦争し、打ち勝ち、二人を殺す。 **8** そこで、霊的にソドムとエジプトと呼ばれる大都市の道に、二人の死体は横たわる。そこは私たちの**主**も十字架につけられた都である。 **9** 国民、部族、言語、国々からなる者たちは、三日半彼らの死体を見るが、その者たちは死体を墓に入れることを許さない。 **10** この証人たちのことで、地に住む者たちは喜び楽しみ、互いに贈り物をし合う。この二人の預言者は、地に住む者たちを苦しめたからである。 **11** 次いで、その三日半の後、**神**からの命の**御霊**が、この預言者たちに入り、二人は自分の足で立ち上がった。そして、これを見た者たちの上に、大恐怖が襲った。 **12** すると、「ここに上がって来い。」と、預言者たちは天から彼らに話す大声を聞いた。すると二人は雲の中に入り、天国に上った。彼らの敵たちもこれを見た。 **13** さて、同じ時間に、大地震があり、その都の十分の一は倒れた。この地震で、七千人は殺され、残った者たちは恐れ、天の**神**に栄光を捧げた。 **14** 第二の災いは過ぎ去った。見よ、第三の災いは急ぎ来る。 **15** すると、第七の御使いが吹いた。それで、天に大声がして、言った。「この世の王国は私たちの**主**の王国、**主**のキリストの王国となりました。そして、この方は永遠から永遠に支配されます。」 **16** そこで、**神**の御前で、王座に座っていた二十四人の

長老たちは、顔を下にして倒れ伏し、**神**を礼拝して、**17** 言った。「**全能の神**であられる**主**よ、今おられ、以前おられ、これからおられる方、私たちはあなたに感謝します。あなたは御自分の偉大なる力を受け取り、統治なされたからであられます。

18 それで、各国は腹をたて、あなたの怒りが来て、死人の時、すなわち死人が裁かれる時、そして、あなたの僕である預言者たちと聖徒たち、そしてあなたの御名を恐れる小さな者たちにも、地位のある者にも、あなたがほうびを下さる時が来ました。そして、地を破壊する者たちをあなたが破壊される時が来ました。」

19 すると、**神**の神殿が天国で開かれ、**神**の契約の箱が**神**の神殿の中に見えた。そして、いなずま、様々な音、雷、地震、大きな雹があった。

12

1 さて、空に大きなしるしが現れた。太陽をまとい、月を足の下にし、十二の星の冠を頭にした一人の女であった。

2 女は腹に子どもがおり、産みの陣痛と苦しみで叫んでいた。

3 すると、天にもう一つのしるしが見えた。見よ、七つの頭と十本の角があり、王冠をかぶっている七つの頭の、巨大な真紅の龍がいた。

4 天の星の三分の一を、龍の尾は引き、地に投げつけた。そして、子を生もうとしている女の前に立った。それは、生まれたら直ちにむさぼり食うためである。

5 女は、すべての国々を鉄の杖で支配する男の子を産むと、その子どもは**神**と**神**の王座へ引き上げられた。

6 すると、女は荒野の中へ逃げた。そこは、千二百六十日間、人たちが女を養うために、**神**によって準備された、女の持っていた土地であった。

7 そして天で戦争が始まった。ミカエルと彼の御使いたちは龍と戦った。それで、龍とその使いたちも戦ったが、

8 勝利を得ず、また天に彼らの場所はもう見つからず、

9 そこで、年老いた蛇で、悪魔ともサタンとも呼ばれている、全世界を騙す巨大な龍は追い出され、地に投げ飛ばされた。龍の使いたちも龍と共に投げ飛ばされた。

10 すると、天で大声で言う声を私は聞いた。「今、救いが、力が、我々の**神**の王国が、**神**のキリストの権威が来た。我々の**神**の御前に、我々の兄弟たちを昼夜訴えた者は、投げ落とされたからである。

11 そして、**子羊**の血と自らの証しの言葉で、兄弟たちは龍に打ち勝った。そして、彼らは死に至るまで自分たちの

命を愛でることはなかった。

12 だから、天および天に住む人たちよ、祝え。しかし、地と海に住む者たちには災いである。なぜなら、悪魔は自分の時間は短いと知り、大いなる怒りをもって、あなたたちの所に下って来たからである。」

13 さて、龍は地まで投げ飛ばされたと知り、あの男の子を産んだ女を迫害した。

14 しかし、荒野にある自らの場所へ飛べるように、女には大きな鷲の翼が二つ与えられて、女は蛇の眼前から離れそこへ行き、そこでひと時、ふた時、半時と、世話を受けている。

15 それで、蛇は口から川のように水を女の背後へ吐き出し、女を洪水で流してしまおうとしたが、

16 地は女を助け、口を開け、龍が口から吐き出した洪水を飲みほした。

17 すると、龍は女に対して怒った。そして、**神**の命令を守り、イエス・キリストの証をする、この女の他の子孫たちと戦うため、出て行った。

13

1 さて、私は海の砂の上に立った。そして、七つの頭と十本の角があり、角に十の冠をつけられた獣が海から上がって来るのを、私は見た。その頭に**神**を冒涜する名前があった。

2 さて、私が見た獣は、豹に似ていたが、足は熊の足に似て、口は獅子の口に似ていた。龍は獣にその力とその王座と巨大な権威を与えた。

3 そこで、死ぬほどの怪我をさせられた、獣の頭の一つを私は見たが、死ぬほどの怪我は、治されていた。そして、全世界は獣のことを驚き、この獣について行った。

4 そして、全世界の者たちは、獣に権威を与えた龍を拝み、また獣を拝んで言った。「この獣に似ている人がいるか。誰がこの獣と戦争ができるか。」

5 それで、大きな事や**神**を冒涜する事を言う口が獣に与えられ、また、獣に四十二ケ月、切れ目なく行なう権威が与えられた。

6 すると、**神**に逆らい、侮辱をした。すなわち、獣は**神**の御名、**神**の天幕、天国で天幕に住む人たちを冒涜するため、口を開けた。

7 そして、聖徒たちと戦争をし、聖徒たちを打ち破ることが、獣に与えられた。また、すべての部族、言語、国々の上に立つ権威が、獣に与えられた。

8 世界の基礎の時よりほふられた**子羊**の命の書に、名を

書かれていない、地に住む者はすべてこの獣を拝む。

9 耳がある者なら、聞かせよ。

10 捕らわれに導く者は、捕らわれに入り、剣で殺す者は、剣で殺されなければならない。ここに聖徒たちの忍耐と信仰がある。

11 さらに、別の獣が、地から出てくるのを私は見た。この獣は子羊に似ている角が二本あり、龍のように話していた。

12 そして、獣は最初の獣のすべての権威をその前で行使し、地と地に住んでいる者たちに、死ぬほどの怪我が治された最初の獣を拝ませる。

13 そこで、彼は人たちの眼前で、火を空から地に降らせるほど、大きいしるしを行なう。

14 そして、獣の眼前で行なうために与えられたしるしを通して、彼は地に住んでいる者たちを騙し、剣で打たれても、生きている獣のため、像を作れと、地上に住む者たちに命じる。

15 像が話しをし、また像を拝まないすべての者を殺すことができるように、獣の像に息が与えられた。

16 そしてすべての者に、すなわち小さい者にも、地位のある者にも、富む者にも貧しい者にも、自由人にも奴隷にも、すべての者の右手または額に印を、獣は受けさせる。

17 また、獣の刻印、または獣の名前、またはその名前の数字がある者ではなければ、誰も売買できないように彼はさせる。

18 これは知恵である。獣の数は男の数であるから、理解力がある人は、獣の数を計算せよ。その数は六百六十六である。

14

1 さて、見よ、シオン山に**子羊**が立っておられた。そして、**子羊**の**御父**の御名が額に書かれた十四万四千人が、その**子羊**と共に立っているのを私は見た。

2 そして、天からの声を聞いた。多くの水流の声のようであり、大音響の雷のような声であった。また、立琴奏者が奏でる立琴の声も私は聞いた。

3 そして、彼らは王座の前で、また四つの生き物と長老たちの前で、新しい歌と思われる歌を歌った。それで、地から買い戻された十四万四千人の外は、誰もその歌を学べなかった。

4 この人たちは女で汚されていない、童貞であるから、**子羊**がどこへ行っても、ついて行く人々である。彼らは、人々の中から買い戻され、**神**と**子羊**への初物である。

5 そして、**神**の王座の前で潔白なので、彼らの口の中には偽りが見つからないのである。

6 次いで、もう一人の御使いが中空を飛んでいるのを私

は見た。地に住むすべての国々、部族、言語、国民に語るための永遠の福音を持ち、**7**「**神**を恐れて、**神**に栄光を捧げよ。**神**の裁きの時が来たからである。そして、天と地、海と水の泉を造られた方を拝せよ。」と大声で言った。**8** また、もう一人の御使いが後から来て、言った。「バビロンは倒れた、倒れたのだ。あの偉大な都市だ。彼女の性的な罪の怒りの葡萄液を、すべての国々に飲ませたからだ。」

9 それで、第三の御使いがその二人の後から来て、大声で言った。「獣とその像を拝み、額や手に獣の印を受けるなら、その者は誰であれ、**10** **神**の怒りのさかずきに注がれた、水で薄めない**神**の怒りの葡萄液も飲む。その者は、聖なる御使いたちの前で、また**子羊**の御前で、火と硫黄で苦しめられる。**11** そして、その者たちの苦しみの煙は世々限りなく立ち上り、そして、獣とその像を拝む者たち、またその名の印を受ける者たちも、昼も夜も休息はない。**12** ここに聖徒たちの忍耐がある。ここに**神**の命令とイエスの信仰を守る人たちがいる。」**13** それから、私に話しかける、天からの声を聞いた。「『今後、**主**にあって死ぬ者たちは、祝福されている。』と書きとめよ。」**御霊**は言われる、「そうだ、彼らが労働から開放されるためだ。そして、彼らのわざは彼らの後から来る。」

14 それで私は見た。見よ、白い雲があり、その雲の上に、人の**子**のような方が座っておられた。頭に黄金の王冠をかぶり、手に鋭い鎌を持っておられた。**15** 次に、もう一人の御使いは神殿から出て来て、雲の上に座っておられる方に大声で叫んだ。「あなたの鎌を入れ、刈り取ってください。地の作物は実り、あなたが刈り入れる時が来たからです。」**16** それで、雲の上に座っておられる方は、地に鎌を入れ、地は刈り取られた。

17 次いで、もう一人の御使いが、天国にある神殿から出て来た。この御使いも鋭い鎌を持っていた。**18** すると、火を制する力を持つ、もう一人の御使いが、祭壇から出て来て、鋭い鎌を持っている

御使いに、大声で叫んで言った。「地のぶどうは完全に熟しているので、あなたの鋭い鎌を入れ、地のぶどうのつるの房を刈り集めよ。」
19 それで、御使いは地へ鎌を入れ、地のぶどうのそのつるを刈り集め、**神**の怒りの大いなる葡萄絞り器の中に投げ入れた。
20 そこで、葡萄絞り器は都の外で踏まれ、葡萄絞り器から出た血は、馬のくつわに届き、千六百スタディオン①の遠くまで達した。

15

1 次に、大きな驚くべきもう一つのしるしを、私は天に見た。七つの最後の災いを持つ七人の御使いたちであった。この七つの災いで**神**の怒りは完了するからである。
2 それから、火と混ざり合ったガラスの海を私は見た。また、獣、獣の像、その名、その印、その名の数に対して勝利を得た人々が**神**の竪琴を持ち、ガラスの海の上に立っているのを私は見た。
3 彼らは、**神**の僕モーセの歌と、**子羊**の歌を歌い、言った。「**全能の主**である**神**よ、あなたのわざは偉大にして驚くべきものです。聖徒たちの**王**よ、あなたの数ある道は、正義であり、正しいのです。
4 **主**よ、あなただけが聖なる方なのですから、誰があなたを恐れず、誰があなたの御名に栄光を捧げないのでしょうか。あなたの正しい裁きは、明らかになったのですから、すべての国々は、あなたの御前に来て拝します。」
5 そこで、この出来事の後、私は見た。見よ、天国にある、証の天幕の神殿が開かれた。
6 そして、光り輝く混じりけのない亜麻布を着、胸に黄金の帯をしめ、七つの災いを持つ七人の御使いが神殿から出て来た。
7 そこで、四つの生き物の一つは、永遠から永遠まで生きておられる**神**の怒りで満たされた、七つの黄金の鉢を七人の御使いに与えた。
8 すると、**神**の栄光と**神**の力から出る煙で、神殿は満たされた。七人の御使いの七つの災いが完了するまで、誰も神殿の中に入ることができなかったのである。

16

1 それから、神殿から、七人の御使い

---

20 ① 一スタディオンは、一六五メートルである。

に話す大声を私は聞いた。「行って、**神**の怒りの七つの鉢を、地に注げ。」

2 そこで最初の御使いは行って、自分の鉢を地の上に注いだ。すると、獣の印のある者たちに、また獣の像を拝む者たちに、悪の苦しいできものができた。

3 また、第二の御使いは彼の鉢を海上に注いだ。すると、海は死人の血のようになり、海の中のすべての生き物は死んだ。

4 また、第三の御使いは彼の鉢を、諸々の川と水の泉の上に注いだ。そうすると、みな血になった。

5 それから、私は水の御使いが言うのを聞いた。「今おられ、以前おられ、そしてこれからもおられる**主**よ、あなたはこれらのことを裁かれたから、正しい方であられます。

6 なぜなら、彼らは聖徒たちと預言者たちの血を流し、あなたはその血を彼らに与え、飲ませられたからです。彼らはふさわしい者たちだからです。」

7 それから、もう一人の御使いが、祭壇から言うのを私は聞いた。「そうです。**全能の神**であられる**主**よ、あなたの裁きは正しく、しかも正義です。」

8 すると、第四の御使いは彼の鉢を太陽の上に注ぐと、人間を火で焼くことが、その御使いに与えられた。

9 そして、人々は激しい熱で焼かれ、そして人々はこの災いの上に立つ権威を持つ**神**の御名を冒涜し、悔い改めずに**神**に栄光を捧げなかった。

10 それで、第五の御使いは彼の鉢を、獣の王座の上に注いだ。すると獣の王国は暗くなった。そこで、人々は痛みのため、舌をかんだ。

11 そして、その人々の痛みとできものとのために、天の**神**を冒涜して、自らの行為を悔い改めなかったのである。

12 それから、第六の御使いは彼の鉢を大ユーフラテス川に注いだ。すると川の水は干上がった。日の出から来る王たちの道が準備されるためである。

13 それで、蛙のような三つの不浄な霊が、龍の口から、獣の口から、にせ預言者の口から出て来るのを、私は見た。

14 それで、それらはしるしを行なう悪霊たちの霊である。その霊たちは、**全能の神**の大いなる日の戦いのため、地と全世界の支配者たちを集めに出かけて行く。

15 「見よ。私は泥棒のように来る。恥をかかぬよう、裸で歩かないですむように、自分の服を注意して守る人は幸いだ。」

16 それで、ヘブライ語でハルマゲドンと呼ばれている所に、霊たちは王たちを連れて来た。

17 それから、第七の御使いは彼の鉢を空中に注いだ。すると、天国の神殿、つまり王座から大声が来て、言った。「ことは終わった。」 **18** すると、音と雷といなずま、そして、大地震があった。それは、人間が地上に存在して以来、かつてない、たいへんな巨大地震であった。 **19** それから、大いなる都は三つの部分に割れ、国々の都は倒れた。そして、**神**の怒りの葡萄液のさかずきが与えられるため、大バビロンは、**神**の御前に思い出された。 **20** そして、すべての島々は逃げ出し、山々は見つからなかった。 **21** そして、一つが一タラント①の重さの、大きな雹が天から人々の上に降った。それで、この雹の災いが非常に大きかったので、人々はこの災いのことで、**神**を冒涜した。

17

1 さて、七つの鉢を持つ七人の御使いの一人が、私の所に来て、私と話をし、言った。「ここに来なさい。多くの水流の上に座っている大売春婦の裁きをお前に見せる。 **2** 地の王たちは彼女と性的な罪を犯し、地に住む者たちは、彼女の性的な罪の葡萄液で酔わされた。」 **3** それで、御使いは**御霊**によって私を荒野へ携え、そして、冒涜の名で満ちており、七つの頭と十本の角を持つ、真紅の獣の上に座っている女を、私は見た。 **4** 女は紫と真紅の服を着て盛装し、黄金と貴重な宝石と真珠で飾りたて、忌まわしいもの、自らの性的な罪の汚れで満たされた黄金のさかずきを、手に持っていた。 **5** そして、彼女の額には、「奥義、大いなるバビロン、すなわち売春婦と地のおぞましいものの母。」という名が書かれてあった。 **6** それで、聖徒たちの血と、イエスの証人たちの血で酔っていたその女を、私は見た。そして、彼女を見て、私は大いなる驚きで驚いた。 **7** しかし、御使いは私に言った。「お前はなぜ驚いたのか。私は、女の奥義と、七つの頭と十本の角を持つ、彼女を乗せている獣の奥義をお前に教える。

---

21 ① 約三五キログラム。

8 お前の見た獣は以前はいたが、今はいない。そして、底なし穴から上がって来て、滅びに向かう。そして、地の土台から、命の書に名前が書かれていない、以前はいたが今はいない、存在するこの獣を見ると、地に住んでいる者たちは驚く。

9 知恵のある心は、ここにある。七つの頭は、この女が座っている七つの山のことである。

10 そして、七人の王もいる。五人は倒れたが、一人はいる。そしてもう一人はまだ来ていない。その王は来ると、しばらくの間、滞在しなければならない。

11 そして、以前はいたが、今はいない、八人目の王で、七人の一人である獣は滅びに向かう。

12 お前の見た十本の角は、まだ王国を受け取っていない十人の王であるが、彼らは獣と共に一時の間、王としての権威を受け取る。

13 この王たちは、心が一つで、彼らの力と権威を獣に与える。

14 この王たちは**子羊**と戦争をするが、**子羊**は彼らを破られる。**子羊**は主の**主**で、王の**王**だからであられる。そして、**子羊**と共にいる者たちは召され、選ばれ、忠実な者たちである。」

15 それから、御使いは私に言った。「お前が見た、売春婦が座っていた水流水は、国民と群衆と国々と言語である。

16 そして、お前が見た獣にある十本の角は、この売春婦を憎み、彼女を荒廃させて裸にし、彼女の肉を食べ、彼女を火で焼き尽くす。

17 なぜなら、**神**の御言葉が成就するまで、御心を実行すること、心を一つにすること、彼らの王国を獣に与えることを、**神**は彼らの心の中に与えられたからである。

18 そして、お前の見た女は、地の王たちを支配する、大いなるあの都である。」

18

1 その後、一人の御使いが、偉大な権威を持って天から降って来るのを私は見た。すると、地は彼の栄光で照らされた。

2 彼は大声で力強く叫び、言った。「大バビロンは倒れた。倒れたのだ。バビロンは悪霊の住家、すべての汚れた霊の牢獄、すべての不潔で、忌み嫌われる鳥のためのおりになった。

3 なぜなら、すべての国々は、彼女の性的な罪の怒りの葡萄液を飲んでしまった。また地球の王たちは彼女と性的な罪を犯してしまった。また地球の商人たちは、彼女の有り余る贅沢で金持ちになった。」

4 それから、天からのもう一つの別の声が言うのを私は聞いた。「我が民よ、お前たちは彼女の罪を共にせず、ま

た彼女の災いを受けないため、彼女から出よ。

5 彼女の罪は天に達し、**神**は彼女の不義を覚えられたからである。

6 彼女がお前たちに返したように、彼女に返し、彼女の行為に応じて、二倍にして返せ。彼女が混ぜたカップの中に、彼女に対しては二倍混ぜよ。

7 彼女自身が自分に栄光を与え、贅沢に暮らしていたと同じだけ、彼女に同じ苦しみと悲しみを与えよ。なぜなら、彼女は自らの心の中で言っている。『私は王女として座っており、未亡人ではない。私は悲しみを見ることがない。』

8 このために、彼女の災い、すなわち死、悲しみ、嘆き、飢饉は、一日で来る。そして、彼女をさばく**神**であられる**主**は力ある方であるから、彼女は火で完全に焼かれる。

9 そして、彼女と性的な罪を犯し、彼女と共に贅沢に暮らした、地球の王たちは、彼女を焼く煙を見て、彼女のために泣き、嘆く。

10 彼女の苦しみを恐れ、彼らは遠く離れて立って、言う。『災いだ、災いだ。あの偉大な都、バビロン、あの力ある都よ、お前の裁きは一時の内に来た。』

11 そして、地球の商人たちは、彼女のために泣き悲しむ。彼らの商品を買う者はもう誰もいないからである。

12 それは、金と銀の商品、宝石と真珠、緻密な亜麻布と紫、絹と真紅、あらゆる種類の香木、あらゆる種類の象牙細工、あらゆる高価な木材、青銅、鉄、大理石で作られた物、

13 シナモンと香、香油と没薬、葡萄液、油、細かい麦粉と麦、家畜、牛と羊、馬と戦車、そして、人間の体と魂である。

14 そして、お前の魂が欲しがる果物は、お前から去ってしまい、また、豊かで、見事な物も去ってしまい、お前はもう、それを見いだせない。

15 これらの物を売り、彼女により金持ちになった商人たちは、彼女の苦しみを恐れ、遠く離れて立ち、泣き悲しみ、

16 そして、言っている。『緻密な麻布や紫布や真紅の服をまとい、黄金と宝石と真珠で着飾っていたあの偉大な都に、災いだ、災いだ。

17 一時であんな巨大な富が荒廃したのだから。』そして、すべての船長、船で旅行する者たち、水夫、すべて海の仕事をする者たちは、遠く離れて立って、

18 彼女の焼かれる煙を見て、叫んで言った。『この偉大な都に似ている物が何かあるか。』

19 そして、彼らは自らの頭の上にちりをかけ、泣き悲しみ、叫んで言う。『災いだ。偉大な都、海に船を持つこの

都の者はすべて、彼女の富で金持ちになった。彼女は一時で荒廃させられたから、災いだ。』

20 天よ、また聖なる使徒たちよ、預言者たちよ、彼女のことで喜べ。**神**はあなたがたの裁きで、彼女を裁いたからである。」

21 そこで、一人の力の強い御使いが、大きな石臼のような石を手に取り、海中に投げ、言った。「大いなる都バビロンはこのようにして、乱暴な力で打ち倒され、もはや見いだされることはない。

22 立琴を弾く者たち、音楽家たち、笛を吹く者たち、ラッパを吹く者たちの音は、お前の中ではもう聞こえない。そして、いかなる技を持つ職人もお前の中では見いだせない。また石臼の音もお前の中では、もう聞こえない。

23 そして、灯火の光はお前の中ではもう輝かず、また花婿と花嫁の声はお前の中ではもう聞こえない。なぜなら、お前の商人たちは、地球の地位ある者たちであり、またお前のまじないによって騙されたからである。

24 そしてまた、預言者たちと聖徒たち、また地上でほふられたすべての人たちの血が、彼女の中に見いだされたのである。」

19

1 さて、これらのことの後、大群衆の大声が天国で言うのを、私は聞いた。「ハレルヤ。救いと栄光と敬意と力は、私たちの**神**である**主**に。

2 **神**の裁きは真実で、正しいからです。なぜなら、性的な罪で地を腐敗させた大売春婦を、**神**は裁かれ、また、彼女によって流された、ご自分の僕たちの血の復讐を、**神**は彼女になされたからです。」

3 そして、大群衆はまた言った。「ハレルヤ。彼女の煙は世々限りなく昇ります。」

4 そして、二十四人の長老と四人の生き物はひれ伏し、王座に座っておられる**神**を拝して言った。「アーメン、ハレルヤ。」

5 すると、王座からの声が言った。「お前たち、**神**のすべての僕たちよ、**神**を恐れる小さな者も大きな者も、我らの**神**を誉めたたえよ。」

6 すると、あたかも多量の水流と百雷のような、大群衆の声が言うのを私は聞いた。「全能の**神**であられる**主**は、支配しておられるのですから、ハレルヤ。

7 私たちは喜び、大いに喜び、**神**に栄光を捧げましょう。なぜなら、**子羊**の結婚式の時が来て、**子羊**の新妻は彼女自

ら準備したからです。」

8 新妻は緻密で清潔な、光り輝く麻布で着飾るのを許された。その麻布は聖徒たちの義の行為だからである。

9 すると、御使いは私に言った。「書きとめよ。『**子羊**の婚礼の宴に呼ばれた者たちは、幸いである。』」そして、その御使いは私に言った。「これらは**神**の真の御言葉である。」

10 そこで、私は御使いを拝するために、彼の足下にひれ伏した。しかし、御使いは私に言った。「止めよ！私はあなたの、またイエスの証を持つ兄弟たちと同様に僕なのだ。イエスの証は預言の霊だから、**神**を拝せよ。」

11 さて、天が開いたのを私は見た。見よ、白い馬がいた。そして馬上の方は、**忠実**と**真**と呼ばれ、義によってその方は裁き、また戦争をされる。

12 その方の目は、火の炎のようであった。また、その方の頭に、多数の王冠があった。そして、ご自分以外に誰も分からない御名が書いてあった。

13 その方は、血の付いた衣を着ておられた。そして、その方の御名は、「**神**の**御言葉**」①と呼ばれた。

14 そして、白くて清潔で、緻密な麻布を着ている、天国の諸々の軍隊は、白い馬に乗っておられるその方に従った。

15 そして、その方の口から鋭い剣が出ていた。それは、その方はその剣で国々を打たれるためである。そして、その方は自ら鉄の杖で国々を支配される。そして、その方は**全能の神**の荒々しさと怒りの葡萄絞り器を自ら踏まれる。

16 その方の衣と腿に、「**王の王**、**主の主**」、という御名が書いてある。

17 そこで、太陽の中に立っている一人の御使いを、私は見た。そして、彼は大声で叫び、中空を飛ぶすべての鳥に言った。「大いなる**神**の宴会に来て集え。

18 その宴会でお前たちはが、王の肉、千人隊長の肉、力強き者の肉、馬の肉、そして馬に乗る者の肉、すべての人の肉、つまり自由人、奴隷、小さい者、地位ある者の肉をすべて食べるためだ。」

19 そして、馬上の方とその方の軍隊と戦争をするため、獣と、地の王たちと、彼らの軍隊が集まっ

13
① ロゴスというギリシャ語は、意味が広い。言葉、説明、理性、話題、メッセージ、考えなどの意味がある。

たのを、私は見た。

20 そこで、獣も、獣の前でしるしを行なった偽預言者も、捕まえられた。偽預言者はそのしるしによって、しるしを受けた者たち、また獣の像を拝んだ者たちたをも迷いに導いた。この二者は生きたまま、硫黄で燃える火の湖に投げ込まれた。

21 そして、残った者たちは、馬上の方の口から出る剣で殺された。そして、すべての鳥は彼らの肉で満たされた。

20

1 それから、底なし穴の鍵と、大きな鎖を手に持って、天から降って来る御使いを、私は見た。

2 そして、古くからの蛇、つまり悪魔、またサタンである龍を、御使いは捕まえて、千年間これを縛った。

3 そして、国々をこれ以上騙さないよう、御使いはサタンを底なし穴に投げ込み、千年が終わるまで彼を閉じ込め、彼を封印した。しかし、この後、サタンはしばらくの間、解放されなければならない。

4 そして、私は座席を見た。すると、人々は座席に座り、裁きがその人々に渡された。それから、イエスの証のため、**神**の御言葉のために首をはねられ、また獣と獣の像を拝せず、また獣のしるしを、彼らの額と手に受けなかった者たちの魂を私は見た。その人々はキリストと共にこの千年を生き、支配した。

5 しかし、残りの死人たちは、この千年が終わるまで、生き返ることはなかった。これは第一の復活である。

6 第一の復活に参加した者は、祝福され、また聖なる者である。この人々に対して、第二の死の力は及ばず、その人々は**神**とキリストの祭司になり、キリストと共にこの千年を支配する。

7 それで、この千年が終わると、サタンはその牢獄から解放される。

8 それから、サタンは、地の四隅にある国々、つまりゴグとマゴグを欺きに出て行き、戦争のため、海の砂の数ほどの人、国々を連れて来る。

9 ゴグとマゴグは、地の全面に出て行き、聖徒たちと聖徒たちの陣営と愛された都を包囲した。すると、**神**のもとから出た火が、天から降って出て、ゴグとマゴグをむさぼり食べた。

10 そして、国々を欺いた悪魔は、獣とにせ預言者のいる、火と硫黄の湖に投げ込まれた。そして、彼らは昼も夜も、世々限りなく苦しめられる。

11 次いで、大きな白い王座と、そこに座っておられる方

を私は見た。地と天はその顔から逃れたが、彼らのための場所は見つからなかった。

12 そして、**神**の御前に立っている、地位のない死人たちと、地位のある死人たちを私は見た。それから、諸々の巻物が開かれた。また、もう一本の巻物、つまり、命の巻物が開かれた。そして、死人たちは巻物に書かれたこと、つまり、彼らの行為に応じて裁かれた。

13 そこで、海は海の中にいた死人たちを出し、死と地獄はその中にいた死人たちを放棄した。そして、一人一人、自らの行為によって裁かれた。

14 次に、死と地獄は、火の湖に投げ込まれた。これが第二の死である。

15 そして、命の巻物に名前が書かれていないと分かった者は、いかなる者も、火の湖に投げ込まれた。

21

1 さて、私は新しい天と新しい地を見た。もとの天ともとの地は過ぎ去ったからである。それに海はもうなかった。

2 それで、私ヨハネは、聖なる都である新しいエルサレムが、**神**のもとから出て、天国から降ってくるのを見た。夫のために着飾って準備した花嫁としてである。

3 また、天国からの大声がこう言うのを、私は聞いた。「見よ。**神**の天幕は人間と共にある。そして**神**は人間と共に住まわれ、彼らは**神**の民となる。そして、**神**自らが彼らと共におられ、彼らの**神**となる。

4 そして、**神**は彼らの目から涙のしずくを、ことごとくぬぐい取ってくださる。そして、死も、悲しみも、嘆きも、苦痛も、もはやない。以前のものは過ぎ去ったからである。」

5 すると、王座に座っておられる方が言われた。「見よ。わたしはすべてのものを新しくする。」そして、その方は私に言われた。「これらの言葉は真実であり、確かであるから、書きとめよ。」

6 そして、その方は私に言われた。「完了した。わたしこそが**アルファ**であり、**オメガ**①であり、始めであり、終わりである。命の水の泉から、渇く者に値なしで与える。

7 勝利を得る者は、すべてを受け継ぐ。そして、

---

6 ① ギリシャ語のアルファベットの最初と最後の字。

わたしはその人の**神**となり、その人はわたしの子となる。

8 しかし、臆病者、不信の者、忌まわしい者、殺人者、性的不道徳者、魔術師、偶像崇拝者、すべて嘘をつく者は、火と硫黄で燃える湖に、彼らの居場所がある。これが第二の死である。」

9 そして、七つの最後の災いで満たされた、七つの器を持っていた七人の御使いの一人は、私のところに来て、私と話して言った。「来なさい。**子羊**の妻である花嫁を、私はあなたに見せる。」

10 それで、御使いは霊によって私を大きくて高い山に携え、偉大な都である聖なるエルサレムが、**神**のもとから出て、天国から降りて来るのを私に見せた。

11 それは**神**の栄光の輝きがあった。都の光はとても貴重な宝石のように、透明な碧玉のようであった。

12 また、都、新しいエルサレムには、十二の門のある、大きくて高い塀がある。その門に十二人の御使いがいて、十二部族の名前に当たるイスラエルの子らの名前が、その門に書いてある。

13 東側に三つ、北側に三つ、南側に三つ、西側に三つの門があった。

14 さて、この都の塀には、十二の基礎があり、**子羊**の十二使徒の名前がその基礎にあった。

15 そこで、私と話していた人は、黄金の測り竿を持っていた。都とその門とその塀を測るためである。

16 そして、都は四角い形で広がっている。その長さはその幅と同じ大きさで、その人が都を測り竿で測ると、一万二千スタディオン①であった。その長さと幅と高さは同じである。

17 それから、その人はその塀を測った。人の測定では、つまり御使いの測定では、百四十四ペーキュス①であった。

18 そして、その塀は碧玉で作られ、都は透明なガラスのような純金でできていた。

19 そして、都の塀の基礎は、ありとあらゆる宝石で飾られていた。第一の基礎は碧玉、第二はサファイヤ、第三はカルセドニ①、第四はエメラルド、

20 第五は赤縞めのう、第六は赤めのう、第七は

---

16 ① 一スタディオンは、一六五メートル。

17 ① 男の指先から肘までの距離。

19 ① 玉髄、めのう。

貴かんらん石、第八は緑柱石、第九は黄玉、第十は緑玉髄、第十一は青玉、第十二は紫水晶であった。

21 そして、十二の門は十二の真珠で、個々の門はそれぞれが一つの真珠であった。都の通りは、透明なガラスのような純金でできていた。

22 しかし、都の中に私は神殿を見なかった。**全能の神**である**主**と**子羊**が都の神殿であられるからである。

23 都の中には、都を照らす太陽、月は不要であった。**神**の栄光が都を照らし、**子羊**は都の光であられるからである。

24 そして、救われた人たちの諸国は、都の光の中を歩く。そして、地の王たちは自分たちの栄光と名誉を、都の中に携え持って行く。

25 その門は終日、決して閉じられない。そこに夜がないからである。

26 人たちは国々の栄光と名誉を都の中へ携えて行く。

27 汚す者、忌まわしい者、嘘をつく者は、誰であれ、決して都に入らない。**子羊**の命の巻物に書いてある者たちだけが入る。

22

1 さて、御使いは、**神**と**子羊**の王座から進み出て、水晶のように輝く、命の水の澄んだ川を私に示した。

2 その大通りの中央に、また川の両岸に木があり、それは十二の果物のなる命の木である。その木は毎月その果物を実らせる。その木の葉は、国々のいやしのためである。

3 そして、もうすでに呪いはなく、**神**と**子羊**の王座はその中にあり、**神**の僕たちは**神**に仕える。

4 僕たちはその方の顔を見る。その方の御名が僕たちの額にある。

5 そこに夜がない。僕たちは灯火や太陽の光は不用である。**神**である**主**は彼らを照らされるからである。そして、僕たちは世々限りなく支配する。

6 それで、御使いは私に言った。「これらの言葉は真実であり、真である。」そして、ご自分の僕たちに今すぐ起こるべきことを示すため、聖なる預言者たちの**神**である**主**は、ご自分の御使いたちを派遣された。

7 「見よ、私は今すぐ来る。この書の預言の言葉を守る人は、祝福されている。」

8 それで、私、ヨハネはこれらのことを見て、そして聞いた。そして、私はこれらのことを聞き、そして見た時、これらのことを、私に示した御使いの足下に、拝するために私はひれふした。

9 しかし、御使いは私に言った。「そんなことをしない

ように気をつけよ。私はあなたの兄弟である預言者たちと、この巻物の言葉を守る人たちの仲間の使いだからである。**神**を拝せよ。」

10 それで、御使いは私に言った。「この巻物の預言の御言葉を封印してはいけない。時は近いからである。

11 不義なる者は、不義のままにしておきなさい。汚い者は、汚いままにしておきなさい。聖なる人は聖なるままにしておきなさい。正しい人は、正しいままにしておきなさい。」

12 「そして、見よ。わたしは今すぐ来る。わたしの報いはわたしと共にあり、一人一人にその行為に応じて報酬を与える。

13 わたしはアルファであり、オメガである。始めであり、終わりである。最初であり、最後である。」

14 命の木の権利を持つため、また門を通って都に入れるため、**神**の命令を実行する人たちは、祝福されている。

15 しかし、犬たち、魔術師たち、性的な罪を犯す者たち、殺人者、偶像崇拝者たち、嘘を愛したり実行したりする者たちは、外にいる。

16 「諸教会で、あなたがたにこれらのことを証するため、わたし、イエスは自らの御使いを使わした。わたしはダビデの根であり、子孫であり、光り輝く明けの明星である。」

17 そして、**御霊**と花嫁は、「来てください。」と言う。聞いた人は、「来てください。」と言いなさい。そして、渇いた人は来させなさい。望む者は誰であれ、値なしで命の水を取らせなさい。

18 しかし、この巻物の預言の御言葉を聞くすべての人に、私は共に証する。この御言葉に誰であれ、何かを付け加えれば、**神**はこの巻物に書いてある災いをその者に付け加えられる。

19 そして、もし誰であれ、この巻物のこの預言の御言葉から何か取り除けば、**神**はその者の所をこの命の巻物から、聖なる都から、またこの巻物に書いてあるものから取り除く。

20 これらのことを証される方は言われる。「そうです。わたしは今すぐ来る。」アーメン。そうです。**主**イエスよ、来てください。

21 私たちの**主**イエス・キリストの御恵みがあなたがたすべてと共にありますように。アーメン。

重要な質問 聖書の答え

① **神の存在がどうして分かるでしょうか？** *ヨハネ 1:14,18; ヨハネ 8:47; ヨハネ 14:9-14; ヨハネ 20:29-31; 使徒 17:23-31; ローマ 1:20。*

② **「多数の神々」か「唯一の神」か、どちらですか？** *ヨハネ 17:3; テモテ第一 2:5。*

③ **聖書が信頼できると知るにはどうすればよいでしょうか？** *ヨハネ 5:39-40; ヨハネ 7:17; 使徒 17:11-12。*

④ **どのようにして私は聖書を理解できますか？** *ルカ 11:13; ヨハネ 16:13; コリント第一 2:9-14。*

⑤ **もし人ができる限り良い行ないを尽くせば、死んだら天国に入るでしょうか？** *ヨハネ 3:5-6, 36; ローマ 3:19-20; ガラテヤ 3:10-11。*

⑥ **私はイエス・キリストに頼る信仰がなくても、天国に入る別の道があるでしょうか？** *ヨハネ 14:6; 使徒 4:12; 使徒 16:30-31; ヨハネ第一 5:11-13。*

⑦ **私は罪人ですか？** *ローマ 3:10-12, 23; ヨハネ第一 1:8-10。*

⑧ **罪の結果は何ですか？** *ローマ 6:23; 黙示 21:8。*

⑨ **私は罪の罰から救われるには何をしなければなりませんか？** *ヨハネ 3:16; ヨハネ 5:24; ヨハネ 17:3; 使徒 16:30-31; ローマ 10:9-13。*

⑩ **私が罪の罰から神に赦された確信を持つことができますか？** *ヨハネ 10:28-29; エペソ 1:7; ローマ 8:1,35-39; エペソ 2:8-9;*

必要な時の
助け

恐れる時 ページ
マタイ 10:28 24
テモテ第二 1:7 466
ヘブル 13:5-6 496

不安のある時
マタイ 6:19-34 15
ピリピ 4:6-7 439
ペテロ第一 5:6-7 512

愛する人を亡くした時
マタイ 5:4 10
コリント第二 1:3-4 396

人を赦せない時
マタイ 6:14-15 14
マタイ 18:21 45
ルカ 23:34 192
コリント第一 13 章 387
エペソ 4:31-32 430

災害の恐れがある時
ルカ 8:22-25 145

がっかりした時
マタイ 5:11-12 10
コリント第二 4:8-18 400
ピリピ 4:4-7 439

疑いのある時
マタイ 8:26 19
ヘブル 11 章 491

危機に直面している時
マタイ 6:25-34 15
ヘブル 4:16 481

信仰が薄い時 ページ
ヘブル 11 章 491

友人からの助けを損なう時
ルカ 17:3-4 172
ローマ 12:14-21 359
テモテ第二 4:16-18 470

寂しくなる時
テモテ第二 4:16-18 470
ヘブル 13:5-6 496

神の守りを必要とする時
ピリピ 4:19 440

平安を必要とする時
ヨハネ 14:4 246
ヨハネ 16:33 254
ローマ 5:1-5 344
ピリピ 4:6-7 439

病気や苦しみのある時
ローマ 8:28,38,39 351
コリント第二 12:7-10 411
ヤコブ 5:14-15 504
ペテロ第一 4:12-13, 19 512

悲しみがある時
マタイ 5:4 10
ヨハネ 14 章 246
コリント第二 1:3-4 396
テサロニケ第一 4:13-18 453

感謝の心がある時
テサロニケ第一 5:18 454
ヘブル 13:15 496

誘惑される時 ページ
マタイ 26:41 67
コリント第一 10:12-14 382
ピリピ 4:8 440
ヤコブ 4:7 503
ペテロ第二 2:9 515
ペテロ第二 3:17 518

心が疲れている時 ページ
マタイ 11:28-30 27
コリント第一 15:58 394
ガラテヤ 6:9-10 422

心配があるとき
マタイ 6:19-34 15
ペテロ第一 5:6-7 512

人生の問題の 対策

姦通 ページ
マタイ 5:27-32 11

怒り
マタイ 5:22-24 11

高慢
ルカ 18:9-14 175

死
ヨハネ 11:25-26 237
ヨハネ 14:1-6 246

憎しみ
マタイ 5:43-48 12

疑い
マタイ 14:28-33 36

酔っ払うこと
ルカ 21:34-36 185
コリント第一 6:10 375
ガラテヤ 5:21 422

敵
マタイ 5:43-48 12

不幸に会う時 ページ
マタイ 10:16-19 23

不安
マタイ 6:19-34 15

欲張り
マルコ 7:21-23 93
ルカ 12:13-31 160

堕落
ヨハネ 3:19-21 205
ローマ 1:18-32 337

離婚
マルコ 10:2-12 100

欲望
マタイ 5:27-28 11
マルコ 4:18-19 84
テモテ第二 2:22 468

復讐 ページ
マタイ 5:43-48 12
ローマ 12:19-21 360

この新約聖書は、まことの神様の贈り物、すなわち主イエス・キリストによる永遠の命を受け入れるお招きを知らせます。あなたが自分の人生の大きな必要を認め、罪に対して悔い改めてイエス・キリストに対する信仰を持つように、下記の教えを考えてください。

⑴　あなたは、自分が神様から離れた罪人であること、永遠の天罰の地獄に向かっていることを認めなければなりません。

「あなたがたの咎が、あなたがたと、あなたがたの神との仕切りとなり、あなたがたの罪が御顔を隠させ、聞いてくださらないようにしたのだ。」（旧約聖書イザヤ書 59 章２節）

⑵　あなたは罪の罰から救われる（「再び生まれる」と呼ばれる）必要があります。

イエスは答えて彼に言 われた。「まことに、まことに、あなたに言います。人は新しく生まれるのでなければ、神の王国を見ることができないのです。『あなたがたは、新しく生まれなければならない。』とわたしがあなたに言ったことを、不思議に思ってはいけません。」
（ヨハネ福音書３章３、７節）

「人の子（イエス・キリスト）は、失われた人を捜し、救うために来たからです。」
（ルカ福音書 19 章 10 節）

⑶　あなたは、罪の罰から自分を救うことはできません。

私たち自らが行なった義の行為によってではなく、神ご自身の哀れみによって、救い主は私たちを救ってくださいました。新生の洗浄と聖霊の更新とを通してです。（テトス書３章５節）

「なぜなら、恵みにより、信仰を通してあなたがたは救われたのです。そして、それはあなたがた自身から出たのではありません。これは神の賜物です。行ないから出たのではありません。誰も自慢しないためです。」（エペソ書２章８～９節）

⑷　イエス・キリストは、あなたが地獄の裁きから救い出される方法を備えてくださいました。

「わたしと父とは、一つなのです。」（ヨハネ福音書 10 章 30 節）

「イエスは彼かれに言い われた。『わたしこそがその道であり、真理であり、命なのです。わたしを通してではなければ、誰も父の所に行く者はいません。』」（ヨハネ福音書 14 章６節）

「わたしは羊たちに命を持たせ、しかも羊たちがその命を溢れるばかりに持つために来たのです。」（ヨハネ福音書 10 章 10 節）

「キリスト・イエスは罪人たちを救うためにこの世に来られたとは、まことの言葉であり、あらゆる面で受け入れるのに価する言葉です。私はその罪人たちの先頭にいます。」（テモテ第一 1 章 15 節）

「山羊の血、子牛の血でもなく、ご自身の血で聖なる所々にただ一度だけ入り、永遠の贖いを得られたのです。」（ヘブル書 9 章 12 節）

「なぜなら、私が受け取ったものを、まずあなたがたに手渡しました。それは、キリストは聖書に従って私たちの罪のために死なれ、そして埋葬され、そして聖書に従い三日目に復活されました。」
（コリント第一 15 章 3 〜 4 節）

⑸ **あなたは天国に入り、神様の救いを得るように、悔い改めて、信仰によって主イエス・キリストを受け入れなければなりません。「悔い改め」という意味は、聖なる神様に対する考え方と自分の罪深い状態に対する考え方を変える「U ターン」のようなことです。**

*「神に対する悔い改めと、私たちの**主**に対する信仰」*（使徒 20 章 21 節）

「正しい人でなく、わたし（イエス・キリスト）は罪人を呼び集め、悔い改めさせるために来ました。」（マルコ福音書 2 章 17 節）

「あなたがたにわたしは言います。いいえ。しかし、あなたがたも悔い改めなければ、全員、そのように消滅します。」
（ルカ福音書 13 章 3 節）

*「**主**イエス・キリストを信じなさい。そうすれば、あなたも、あなたの家の者全員をも救われます。」*（使徒 16 章 31 節）

*「しかし、この方（イエス・キリスト）を受け入れた一人一人、すなわち、彼の御名を信じた人々には、**神**の子どもとなる権利を、この方は与えられた。」*（ヨハネ福音書 1 章 12 節）

*「つまり、もしあなたの口で**主**イエスを言い表し、心の中で神がイエスを死人たちの中から復活させたと信じれば、あなたは救われます。なぜなら、人は、義に至るために心で信じ、救いに至るまで口で言*

い表すのです。」（ローマ 10 章９～ 10 節）

⑹　イエス・キリストをあなたの救い主として
受け入れる機会がある日は今日です。

「見よ、今は受け入れるべき時です。見よ、今は救いの日なのです。」
（コリント第二６章２節）

*「従って、**聖霊**が言われるように、『今日、もしあなたがたが**神**の御声を聞くことがあれば、自らの心を頑なにしてはいけない。』」*
（ヘブル３章７～８節）

⑺　只今、あなたを地獄の罰から救い、あなたに永遠の命を
与えて下さるように、主イエス・キリストを呼び求めてください。

*「なぜなら、ユダヤ人とギリシャ人の間には、違いはありません。なぜなら、同じ**主**はすべての**主**でありながら、**主**を呼び求めるすべての人たちに対して、豊かでおられます。それは、『すべて**主**の御名を呼び求める者は救われる。」からです。」*（ローマ 10 章 12 ～ 13 節）

あなたが悔い改め、神様の前でへりくだり、自分の罪の天罰に向かっている状態を認め、信仰によって主イエス・キリストを信じ、あなたの罪が完全に赦されるようにキリストにだけ頼るように、私たちはお勧めします。

「またわたし（キリスト）は、わたしの所に来る人を決して追い出しはしません。」（ヨハネ福音書６章 37 節）

どうぞ、心より神様に向かって次のような言葉で願ってください。

「まことの神様､私は神様の教えを犯した罪人であると知っています。罪人として、私は自分で希望がなく、地獄の罰を受けるにふさわしい者です。しかし、イエス・キリストは私の罪のためにこの世に来られ、十字架で私の代わりに私の罪の罰を背負って、私の救いの道を用意してくださいました。聖書に書いてある通りに、キリストは墓から復活され、現在生きておられる救い主です。只今、私の罪の赦しと永遠の命を頂くようにキリストにだけ頼ります。私を救い、神様の子供にしてくださり、天国にある永遠の住まいを与えてくださった恵みを感謝します。この日から私が神様の教えである聖書に従うことができますように助けてください。イエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン。」

キリストを信じて受け入れる決定はあなたの選択です。それを選ぶのはあなただけです。もし、あなたはこの最も重要な決定に関してもっと知りたいなら、この聖書を渡した教会にご連絡ください。案内できれば嬉しいです。

もし、あなたは救い主イエス・キリストを受け入れた人なら、あなたはまことの神様の子供になります。神様の子供として、毎日神様の素晴らしさを他の人に表すように生活してください！

①　神様にあなたを救っていただいた後、神様の約束で安心してください。
*「しかし、これらのことが書かれてあるのは、イエスがキリストであり、**神の御子息**であることをあなたがたが信じるように、また信じた上で、イエスの御名によってあなたがたが命を持つようになるためである。」*
（ヨハネ福音書 20 章 31 節）

「まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしの言葉を聞いて、わたしを遣わされた方を信じる者は、永遠の命を持ち、また裁きに入ることはなく、死から命に移っているのです。」（ヨハネ福音書 5 章 24 節）

②　聖書が教える通りに、主イエス・キリストに従ってください。
「わたしの羊たちはわたしの声を聞きます。そして、わたしは彼らを知っています。それで、羊たちはわたしについて来ます。」（ヨハネ福音書 10 章 27 節）

「わたしを愛しているのであれば、わたしの命令を守りなさい。」
（ヨハネ福音書 14 章 15 節）

③　神様の御言葉（聖書）に従ってください。
「それから、彼の言葉を喜びを持って受け入れた人たちに、浸礼を授けた。そしてその日、およそ三千の魂が彼らに加えられた。」（使徒 2 章 41 節）

「そして、愛と善い行ないを鼓舞するため、互いに配慮しましょう。ある人々のように、共に集まることを止めたりせずに、かの日が近づいているのが見えて、なおさらのこと、互いにもっと励まし合いましょう。」
（ヘブル書 10 章 24 ～ 25 節）

④　聖書を毎日読んでください。
「生まれたばかりの乳児のように、理にかなった御言葉の混ざり物のない乳を求めなさい。それは成長するためです。」（ペテロ第一 2 章 2 節）

⑤　一日中祈り続けてください。
「何も心配せず、感謝をもって、すべてのことについて祈りと願いで、あなたがたの求めていることを、神に知っていただきなさい。そして、人智を超える神の平安が、キリスト・イエスにあって、あなたがたの心と思いを守ります。」（ピリピ４章６～７節）

「従って、何よりもまず先に、すべての人たちのために祈り、願い、とりなし、そして感謝をするように、私は強く勧めます。」（テモテ第一２章１節）

⑥　イエス・キリストの福音（救いに関する良いお知らせ）を伝えてください。
「しかし、他にはいかなる救いもありません。なぜなら、私たちが救われる必要がある御名は他には、天の下、人間の間には与えられていないからです。」（使徒４章 12 節）

「そして、イエスは十一人に言われた。『全世界に行き、すべての造られた者に福音を説きなさい。』」（マルコ福音書 16 章 15 節）

この新約聖書は、あなたの地域にある教会によるギフトとしてあなたに渡されました。あなたの幸せと永遠の喜びのために用意されました。神様の御言葉の教えで他の助けと導きのために、遠慮せずにご連絡ください。

MRI 装置は、医療科学分野に革命を起こした。1977 年、レイモンド・ダマディアン博士により MRI 装置が発明されました。2001 年のレメルソン MIT 賞の受賞およびロナルド・レーガン元大統領から 1988 年にアメリカ国家技術賞を授与されたことにより、博士の名前はアメリカ発明家の殿宮入りを遂げ、歴史上最も優れた発明家のひとりとして認められました。MRI 装置の発明に至るまでの話や、生命の起源に関する多数の科学的な議論について批評するダマディアン博士の考えは、あなたを驚かせ、あなた自身の世界観についてもう一度考えさせてくれることでしょう。医学用 MRI 装置による驚くべき画像や最先端のアニメーションをご覧ください。あなたの思考の世界をさらに広げましょう。下記のリンクでご覧ください。

mrimovie.ca